ISSN 0285-1121

# 日本学校歯科医会会誌

Journal of The Japanese Association of School Dentists

## 日本学校歯科医会
# 創立70周年記念号



平成15年
89

社団法人日本学校歯科医会

# 70周年記念式典

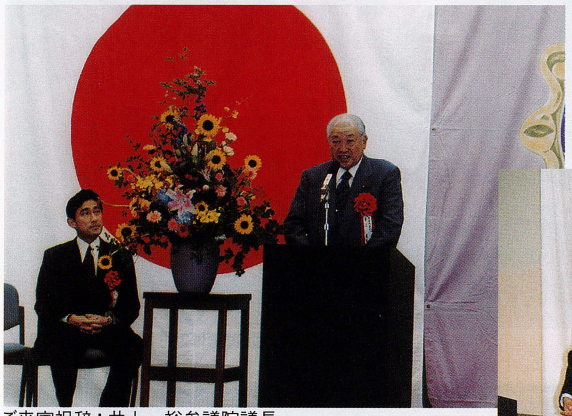
## 学校歯科医制度70周年及び
## 社団法人日本学校歯科医会設立30周年記念式典

平成13（2001）年6月27日
会場　新歯科医師会館大会議室

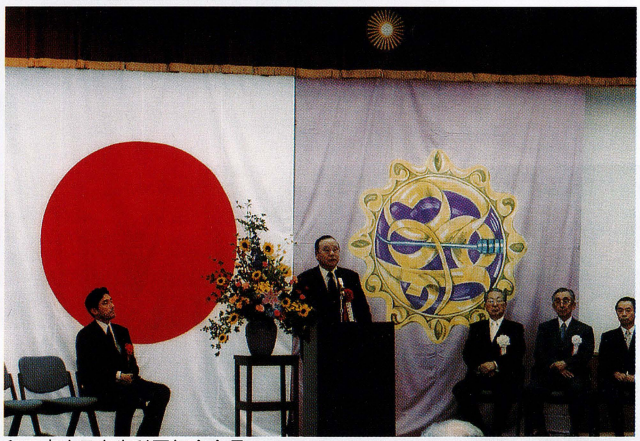




西連寺愛憲会長挨拶


ご来賓祝辞：井上　裕参議院議長


岸田文雄文部
科学副大臣


臼田貞夫日本歯科医師会会長


矢野 亨日本学校保健会会長


大島慶久参議院議員


会場の新歯科医師会館大会議室

# 70周年記念式典



表彰状を渡す岸田文部科学副大臣



表彰式・全国6ブロック代表の先生方



文部科学大臣表彰は233名の先生方が受賞



会場での受賞者の先生方





会場で記念撮影の受賞された先生方

# 学校歯科保健アジア会議

平成13（2001）年7月17日～19日
会場　東京・都市センターホテル



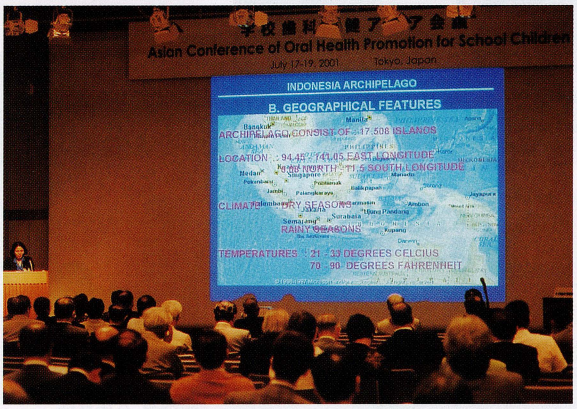
西連寺愛憲会長の挨拶

学校歯科保健アジア会議は、
学校歯科医制度70周年・社団法人日本学校歯科医会
設立30周年を記念して
初めて開催された国際会議です。

西連寺愛憲会長
による挨拶



各国・地域報告

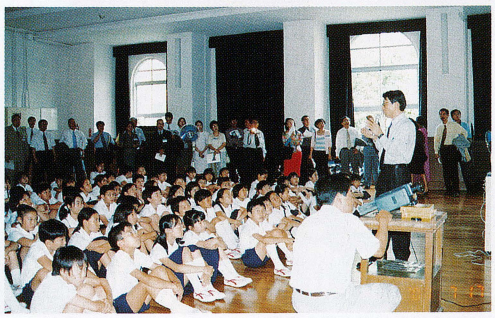


各国・地域報告



教育グループによるパネルディスカッション


泰明小学校での公開授業


公開授業から

# 学校歯科保健アジア会議



展示会場



質疑応答



報告者へ西連寺愛憲会長から感謝状の贈呈




閉会式・全体総括



会長招宴での各国・地域からの参加者の方々




アジア会議参加者の記念撮影



バングラデッシュ、スリランカの代表

# 全国学校歯科保健研究大会

## 第60回東京大会

平成8（1996）年11月21日～22日
会場　東京・上野
東京文化会館／上野精養軒




参加者で埋まった会場の東京文化会館




全日本よい歯の学校文部大臣表彰






シンポジウム




秋篠宮殿下のご挨拶




全体協議会



高等学校部会

# 全国学校歯科保健研究大会

## 第61回福島大会

平成9（1997）年10月16日～17日
会場　福島県文化センター／福島市立福島第三小学校／福島市立北信中学校

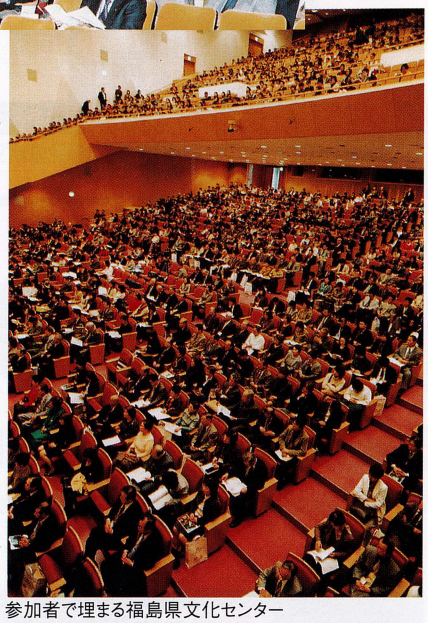


開会式



福島市立福島第三小学校での公開授業


会場にて


参加者で埋まる福島県文化センター

## 第62回沖縄大会

平成10（1998）年11月19日～20日
会場　沖縄コンベンションセンター／沖縄ハーバービューホテルほか


開会式



全日本学校歯科保健優良校文部大臣表彰



アトラクションの「琉球舞踊」



次期開催地・北海道のデモンストレーション

## 第63回札幌大会

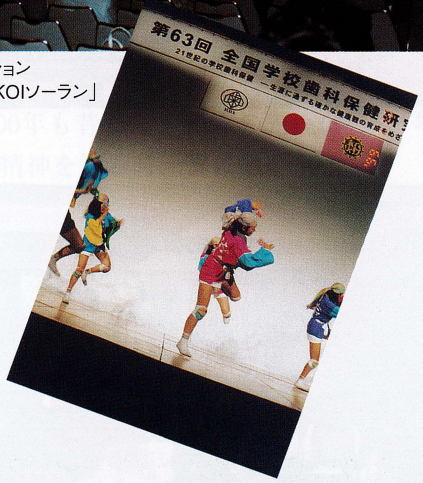
平成11（1999）年9月30日～10月1日
会場　ロイトン札幌（札幌市）



開会式



アトラクション
「YOSAKOIソーラン」






全日本学校歯科保健優良校文部大臣表彰

## 第64回高知大会

平成12（2000）年11月30日～12月1日
会場　高知県立県民文化ホール／高知新阪急ホテル


杉の子幼稚園「ハハハ3きょうだいマーチ」


講演の橋本大二郎高知県知事



開会式



懇話会にて（高知新阪急ホテル）

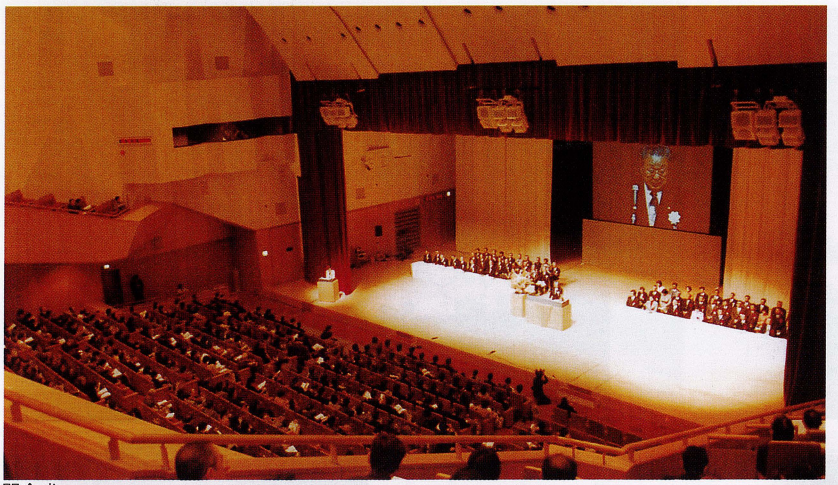

高知市立横浜小学校での公開授業

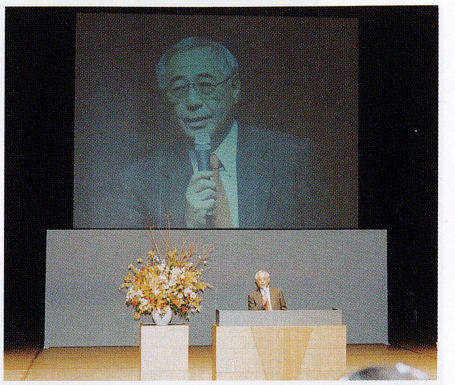

杉の子幼稚園での公開保育

# 全国学校歯科保健研究大会

## 第65回大阪大会

平成13（2001）年11月15日～16日
会場　大阪府大阪国際会議場（グランキューブ大阪）


開会式


記念講演　テーマ「こころとからだ」 講師：渡辺淳一氏


幼稚園・保育所（園）部会での発表


アトラクション・文楽「二人三番叟」


社団法人日本学校歯科医会事務局のある新歯科医師会館


社団法人日本学校歯科
医会分室のある三番町
パークライフ（704号）



# 序　　文



社団法人日本学校歯科医会
会長　**西連寺　愛憲**

日本学校歯科医会は創立以来70周年を迎えました。自らの会長に在任中に，この記念すべき慶事を迎えて70周年記念号を発刊し，会員諸兄姉にお贈りできますことは大きな喜びであり，光栄に存じます。

顧みますれば，この70年の間には大変多くのことがありました。更に，前身である日本聯合学校歯科医会が設立される以前の明治時代の学校衛生の頃より数えると100年も昔から，我々の先達は子どもたちの歯科保健向上のため活動をしており，そのボランティア精神を知る時，真に頭の下がる思いであります。

20年前に発刊した日本学校歯科医会50周年記念誌には，学校歯科の前夜ともいうべき明治時代の我々の先達の活動から，昭和46年の社団法人の設立までについてを詳しく記してありますのでそれをご覧いただくこととし，本誌では，その50年間のエッセンスとその後の20年間に重点を置き，各種事業別にまとめ，また，関係法規や制度の推移，あるいはまた叙勲をはじめとする各種表彰の栄に浴された先達のお名前も資料として供しております。

本書によりまして，当会の組織としての歴史の外に学校歯科保健活動に心血を注いだ多くの先輩諸兄姉の偉業とも言うべき足跡も明らかにし，現在の会員の皆様に広くお知らせし，かつ次代を担う方に語り継ぐことができれば幸いと存じます。

20世紀のはじめに生まれた学校衛生，特に学校歯科衛生の思想は，歯科医学の発達や国民の経済状況をはじめあらゆる環境の影響を受けつつ学校歯科保健として発展し成長してまいりました。

特に近年，20世紀末にう蝕罹患率の上昇を止め，罹患率の低下に成功してからは，それまで手の廻らなかった歯周病やその他の疾病，異常に目を向けることができるようになり，現在は口腔機能の健全育成を前面に打ち出し活動するまでになりました。その陰にある多く諸先輩の血のにじむような努力を忘れることはできません。

幸い，昭和46年に文部省（現，文部科学省）から社団法人として許可されて以降，当会は同省の指導と協力を得ながら事業を展開してまいりましたが，近年は相互協力による事業も多くなり，21世紀となると同時に平成13年からは同省の委託を受けての事業も行うこととなりました。そして，「従来，文部科学省の行って来た歯科保健に関わる事業は，日本学校歯科医会と協力して行うか，逐次，日本学校歯科医会に移行する」と言われるまで信頼されるようになっております。

これらは偏に，古くから「学校歯科保健」に努力を惜しまなかった先輩と現在の会員の皆様のご尽力のお陰にほかなりません。

本誌上をお借りし，これまでの学校歯科保健に貢献された諸賢と今の学校歯科保健を支えてくださっている会員の皆様に心からの感謝を捧げ，また，本誌編纂にあたり，それぞれご多忙の中をご尽力賜った記念誌編纂委員会の諸氏に心より御礼申し上げます。

目　次

# 日本学校歯科医会　創立70周年記念号


Ｏ　ｒＡ……1
学校歯科医制度70周年及び社団法人日本学校歯科医会設立30周年記念式典／
学校歯科保健アジア会議
全国学校歯科保健研究大会／本会事務局

◆序　　文　　社団法人日本学校歯科医会会長　西連寺　愛憲　……9

## 第１編　日本学校歯科医会50周年のあゆみ　13

**第１章　学校歯科保健と日本学校歯科医会のあゆみ**……14
（第１期）　学校歯科保健の夜明け～学校歯科医の誕生まで……15
（第２期）　日本聯合学校歯科医会時代……17
（第３期）　日本学校歯科医会時代……19
（第４期）　社団法人日本学校歯科医会の誕生……21

**第２章　全国学校歯科医（保健）大会のあゆみ**……23

**第３章　むし歯半減運動と全日本よい歯の学校表彰**……27

**第４章　学校保健の制度と法令の推移**……29

## 第２編　日本学校歯科医会50周年後のあゆみ　31

**第１章　日本学校歯科医会事業のあゆみ（年表）**……32

**第２章　全国学校歯科保健研究大会**……53

**第３章　学校歯科保健研究協議会／むし歯予防推進指定校協議会**……83
**歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会**

**第４章　全日本学校歯科保健優良校表彰**……96
**全日本よい歯の学校表彰／奥村賞**

**第５章　歯科保健に関する図画・ポスターコンクール**……105

第６章　全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会 ……107
第７章　学校歯科保健研修会(ワークショップ)……116
第８章　国際交流／学校歯科保健アジア会議 ……124
第９章　各種委員会活動 ……130
第10章　学校歯科保健の制度と法令の推移 ……140
第11章　刊　　行　　物 ……147
会誌／広報紙／月間報告書

第３編　加盟団体略史　167

第４編　資　　料　205

(社)日本学校歯科医会 歴代会長 ……206
(社)日本学校歯科医会 加盟団体名簿……207
(社)日本学校歯科医会 歴代役員 ……210
１．叙勲・褒章 ……216
２．文部大臣表彰者 ……222
３．(社)日本学校歯科医会会長表彰受賞者 ……232
４．各種委員会委員一覧……251
５．学校保健統計の流れ(文部科学省資料) ……269
６．むし歯予防推進指定校／歯・口の健康つくり推進指定校 ……282
７．日本学校保健会センター事業 ……288

◆編　集　後　記 ……290

**◆表紙◆**




２つの半円球体から浮き出る会のマーク。それは口腔の健康の向上に多大な貢献を積み重ねてきた日本学校歯科医会の輝かしいイメージです。上下の半円球は，口腔であり，同時に，卵から生まれ出てここまで発展してきた日本学校歯科医会も象徴しています。

# 第１編

# 日本学校歯科医会50周年のあゆみ

# 第1章 学校歯科保健と日本学校歯科医会のあゆみ

●日本学校歯科医会のあゆみ

昭和７年（1932年）日本聯合学校歯科医会設立
昭和29年（1954年）日本学校歯科医会設立
昭和46年（1971年）社団法人日本学校歯科医会設立

●学校歯科保健のあゆみ

昭和６年（1931年）学校歯科医及び幼稚園歯科医令公布
昭和７年（1932年）学校歯科医職務規程制定
昭和33年（1958年）学校保健法制定
昭和53年（1978年）文部省『小学校／歯の保健指導の手引』刊行
むし歯予防推進指定校制度制定

日本学校歯科医会は昭和57年（1982年）に『社団法人日本学校歯科医会五十周年記念誌』を発行している。明治期の学校歯科保健黎明期から昭和57年の日本学校歯科医会50周年までの永きにわたり，諸先輩の並々ならぬ努力により創立期の幾多の苦難の道を乗り越え，組織の確立と学校歯科保健の向上に尽くしてきた歩みを余すことなく網羅している。

本誌は50周年以後今日までの20年間のあゆみを主な内容として編纂しているので，重複をさけるため第一編では五十周年の大きな流れのみを掲載した。

# 第１期 ◆ 学校歯科保健の夜明け～学校歯科医の誕生まで

（～昭和６年・1931年）

| | |
|---|---|
| 明治４年（1871年） | 文部省設置 |
| 明治６年（1873年） | 文部省に医務局を置く |
| 明治16年（1883年） | ドイツ医学を学ぶ者を中心に「大日本私立衛生会」を設立 |
| 明治18年（1885年） | 学校令発布 |
| 明治21年（1888年） | 「学生生徒の活力検査に関する訓令」発布 |
| | 体格検査の様式を定める |
| 明治24年（1891年） | 直邨善五郎三重県下４小学校の初めての口腔検査を行う |
| 明治27年（1894年） | 「小学校における体育及び衛生に関する訓令」発布 |
| 明治31年（1898年） | 勅令２号で公立学校に学校医をおく規程を公布 |
| 明治33年（1900年） | 文部省「学生生徒身体検査規程」の制定 |
| | 歯牙に関しては「齲歯の有無を検査すべし」となっていた |
| 明治34年（1901年） | 東京市麹町区内６小学校に学校身体検査臨時補助医員として歯科医師を委嘱 |
| 明治39年（1906年） | 歯科医師法制定 |
| 明治40年（1907年） | 日本聯合歯科医師会結成 |
| 大正元年（1912年） | 大日本学校衛生協会設立 |
| 大正３年（1914年） | 第１回文部省学校衛生講習会開催，第１回学校衛生協議会開催 |
| 大正７年（1918年） | 小林富次郎が教員を対象に４日間の口腔衛生講習会を始める |
| 大正10年（1921年） | 東京市本郷区学校歯科医会設立 |
| 大正11年（1922年） | 学校衛生主事会議「都市の学校に学校歯科医をおくべし」決議 |
| 大正14年（1925年） | 青森県令で学校医規則中に歯科医を加える |
| | （以後各県令で学校歯科医が設置される） |
| 昭和元年（1926年） | 幼稚園令公布，歯科医師会令制定 |
| 昭和３年（1928年） | 第１回むし歯予防デー |
| 昭和６年（1931年） | 学校歯科医及び幼稚園歯科医令公布 |
| | 第１回全国学校歯科医大会（東京） |

## 1 学校歯科保健のあゆみ

明治10年（1877年）頃の学校歯科保健活動の夜明けの時代は，我が国の医学はドイツ医学の影響が強いこともあり，また伝染病予防対策が求められていたため，学校では保健管理的な対応が中心であった。

明治20年（1887年）代になって初めて小学校で児童1,428人を対象に歯科医師による歯の検査が実施されるようになった。明治34年（1901年）に東京で「生徒身体検査臨時補助医員」という名で現在のような学校歯科医の原型になる組織的な歯の検査が行われるようになった。この時期の学校歯科保健の流れは，学校保健と同様，保健管理を指向したものであった。

大正３年（1914年）に文部省は東京帝国大学で全国の学校医を対象とした講習会を開催した。これが全国学校保健大会のはしりであったと言われている。さら大正７年（1918年）には学校保健を推進していくためには教職員の理解が不可欠ということから東京において口腔衛生講習会が開催され大正12年（1923年）まで続けられたが，学校歯科保健推進にこの講習会が果たした役割は大きかったと言われている。大正14年（1925年）青森県令で「学校医規則」を制定し，歯科医師に対しても学校における歯科医事について委託することができるという条項が加えられ，「学校歯科医」という名称も公式に用いられるようになった。同年には３県で学校歯科医制度が認められるようになった。

昭和３年（1928年）６月４日に「むし歯予防デー」ができて，この日を中心に全国的に様々なイベントが開催され歯科医師による啓発運動が展開されるようになり，徐々に保健教育を重視する活動がされるようになった。また，このころ歯科医師の中には学校内に歯科医療器械・器具を持ち込んで児童の初期う蝕を抑制するための校内診療方式を行う人が次第に増えてきた。

昭和６年（1931年）には33府県令で学校歯科医が設置されるようになり，「学校歯科医及び幼稚園歯科医令」が公布され，学校歯科医が制度として確立した。

## 2 学校歯科医会のあゆみ

明治24年（1891年）三重県の歯科医直邨善五郎が津市の小学校で歯の検査を行い，我が国で初めて児童のむし歯統計報告をした。これが学校検診の始まりとされている。

明治30年（1897年）には京都で杉原順三，榎本元吉が第二高等小学校の児童1,057名について調査した成績を報告している。この年制定された学生生徒身体検査規程は明治33年（1900年）に改訂され，う歯の有無を検査することが定められて，学校医が歯の検査を行っていたが，次第に学校医の委嘱を受けた歯科医師が行うようになってきた。大正10年（1921年）代になると委嘱を受けて診査する歯科医師も全国的に増加して，都道府県単位の学校歯科医会が創られ，口腔診査の他に学校保健に関連した周知活動や校内処置等も行うようになった。

昭和４年（1929年），日本歯科医師会は「日本歯科医師会制定標準口腔診査票」を作成した。う歯は５度分類で記入するようになっていた。

# 第２期 ◆ 日本聯合学校歯科医会時代

（昭和７年・1932年～昭和28年・1953年）

| | |
|---|---|
| 昭和７年（1932年） | 日本聯合学校歯科医会設立総会<br>（学校歯科医会23団体加盟）<br>学校歯科医職務規程制定<br>第２回全国学校歯科医大会（東京） |
| 昭和12年（1937年） | 「保健所法」公布，「学校身体検査規程」を制定 |
| 昭和16年（1941年） | 学校歯科医令公布10周年記念式典 |
| 昭和17年（1942年） | 文部省主催学校歯科衛生協議会・講習会（神戸市）<br>日本聯合学校歯科医会主催の教員向け講習会のルーツ |
| 昭和18年（1943年） | 第13回全国学校歯科医大会（東京）<br>（この後大会は第２次世界大戦のため中断） |
| 昭和21年（1946年） | 日本聯合学校歯科医会が発展的に解消し，日本学校衛生会創立 |
| 昭和22年（1947年） | 「教育基本法」・「学校教育法」公布 |
| 昭和24年（1949年） | 「保健体育審議会令」公布，「学校身体検査規程」が制定され，「学徒歯科検査票」が制定された |
| 昭和25年（1950年） | 第14回全国学校歯科医大会（名古屋） |

## 1 学校歯科保健のあゆみ

昭和７年（1932年），学校歯科医職務規程が制定され，学校歯科医の職務として「１，齲歯その他の歯牙疾患の予防上必要な診査と処置を行う。２，要請によって歯科衛生に関する講話を行う。３，必要と認めたことは申告する。」等があげられていた。この予防処置の範囲が「概ね歯牙の清掃，鍍銀法，乳歯の抜歯，初期う蝕の処置及び充填等，真に予防上必要なる程度」とされ永くこの考えが受け継がれることとなった。

昭和14年（1939年）文部・厚生両省の事務次官通達として，「う歯予防思想普及に関する通牒」が出され，戦前における学校歯科保健の基礎になり，この通達の目的が戦後の児童生徒等の歯科保健教育に引き継がれてきた。

昭和20年（1945年）の太平洋戦争後は米国の影響を強く受けて，保健教育面が強調されるようになったが，昭和30年（1955年）代では児童生徒のう歯が多発し，また放置されている状況の中で，予防処置の実施よりもむしろ治療の指示・勧告に重点が置かれ，保健管理の面の色濃いものになっていた。

昭和24年（1949年），文部省は「学校身体検査規程」を制定し，「学徒歯牙検査票」とその記入法が定められた。検査項目は現在歯，要抜去歯，処置歯，う歯（永久歯は３度分類）歯牙沈着物，歯ぎん炎，歯槽膿漏，不正咬合，その他の歯疾である。

## 2 学校歯科医会のあゆみ

昭和７年（1932）４月７日に日本学校歯科医会の前身である「日本聯合学校歯科医会」が設立された。以後，毎年総会が全国学校歯科医大会と同時に開催された。

同年，日本歯科医師会は口腔検査票を定めた。６年間連続使用する検査票で，現在使われている健康診断票の原型といえる検査票である。歯式欄の他に，歯列咬合，咀嚼能力，粘膜状態，清掃状態を甲乙丙で記入する欄があり，永久歯う蝕は浅在，深在，残根の３度分類，処置の状況をそれぞれの記号で歯式の欄に記入するようになっていた。

毎年開催された総会も太平洋戦争の激化に伴って昭和18年（1943年）の第12回を最後にして開かれなくなり，日本聯合学校歯科医会の活動は休止した。

戦後，昭和21年（1946年）３月，日本聯合学校歯科医会は発展的に解消し，学校歯科保健は「財団法人日本学校衛生会歯科医学部会」として継続されることになった。昭和22年（1947年）に第１回全国学校衛生大会が開かれ，以後毎年各地で開かれた。

昭和26年（1951年）から全国学校衛生大会は名称が全国学校保健大会に変わり，各部会は職域協議会と変わったので，歯科医学部会は全国学校歯科医協議会として招集され，大会の名称は当日協議の結果，戦前からの名称を引き継いで第15回全国学校歯科医大会とすることになった。

学校歯科医職務規程
（文部省令第二号
昭和七年二月一日・一九三二年）

学校歯科医職務規程左ノ通定ム

学校歯科医職務規程

第一条　学校歯科医ハ学生生徒児童身体検査規程ニ依リ学生生徒児童ノ歯牙検査ヲ行フヘシ

第二条　学校歯科医ハ其ノ担当学校ニ於テ学生生徒児童ノ齲歯其ノ他ノ歯牙疾患ノ予防上必要ナル診査並処置ヲ行フヘシ

第三条　学校歯科医ハ学校長ノ請求ニ応シ学生生徒児童又ハ其ノ保護者等ニ対シ歯科衛生ニ関スル講話ヲ為スヘシ

第四条　学校歯科医ハ学校ニ於ケル歯科衛生上必要ト認メタル事項ニ就キ管理者又ハ学校長ニ申告スヘシ

第五条　学校歯科医ハ其ノ執務ノ大要ヲ学校歯科医執務日誌ニ記入シ其ノ都度学校長ニ提出スヘシ

第六条　学校歯科医ハ本令ニ掲クルモノノ外官立学校、公私立ノ大学、高等学校及専門学校ニ在リテハ夫々当該学校長、其ノ他ノ学校ニ在リテハ地方長官ノ命ヲ承ケ学校ニ於ケル歯科衛生ニ関スル職務ニ従事スヘシ

第七条　本令ノ実施ニ関シ必要ナル規程ハ官立学校、公私立ノ大学、高等学校及専門学校ニ在リテハ夫々当該学校長、其ノ他ノ学校ニ在リテハ地方長官之ヲ定ムルコトヲ得

第八条　幼稚園歯科医ノ職務ニ付テハ前各条ノ規程ヲ準用ス

# 第３期 ◆ 日本学校歯科医会時代

（昭和29年・1954年～昭和45年・1970年）

| | |
|---|---|
| 昭和29年（1954年） | 日本学校歯科医会設立総会（出雲市） |
| | 第18回全国学校歯科医大会（出雲市） |
| 昭和30年（1955年） | 学童う歯半減運動発起 |
| 昭和32年（1957年） | 日本学校歯科医会会誌第１号発刊 |
| 昭和33年（1958年） | 学校保健法制定（学校歯科医必置制） |
| 昭和34年（1959年） | 奥村賞設定 |
| | 「日本学校安全会法」公布 |
| | 日本学校歯科医会事務所を日本歯科医師会館に移す |
| 昭和35年（1960年） | 全日本よい歯の学校表彰事業開始 |
| 昭和36年（1961年） | 第２次むし歯半減運動の発動 |
| | 児童福祉法により３歳児健診が始まる |
| 昭和37年（1962年） | むし歯半減運動に中学校も加わる |
| 昭和41年（1966年） | 第30回全国学校歯科医大会記念式典 |
| | 第３次むし歯半減運動の発動 |
| | 『学校歯科の手引き』発刊（日本学校歯科医会） |

## 1 学校歯科保健のあゆみ

学校保健の諸活動は法的根拠を学校教育法の条文においていたが，昭和33年（1958年）学校保健法が制定され，学校歯科保健活動も活動期に入った。学校歯科保健がただ保健管理面での活動展開ではなく教育面への指向も強まってきた。学校での予防処置を中心とした展開ではなく，健康診断後の治療の指示に重点を置くような方向付けに変わってきた。これにより，より教育を重視して取り組むことになり，教育活動，特に特別活動の中での保健指導に重点が置かれるようになった。ここに「管理と指導の調和」が求められてきた。

歯・口腔の健康診断は就学時の健康診断と児童生徒，幼児の定期健康診断で実施することになり，健康診断の項目等は従来とほぼ同じだが，永久歯う蝕が４度分類に変わった。

## 2 学校歯科医会のあゆみ

昭和29年（1954年）の第４回全国学校保健大会前日に日本学校歯科医会設立総会が開催され，「日本学校歯科医会」が成立した。また，これまでは全国学校保健大会の前日に全国学校歯科医大会を開催していたが，歯科は，全国学校保健大会とは別に独自の時期と場所で開催するということを文部省等に働きかけ，昭和30年（1955年）の第19回全国学校歯科医大会は東京で開催された。以後毎年，全国各地で総会並びに全国学校歯科医大会が開催されてきた。

我が国の児童生徒のう蝕罹患状態は，昭和20～22年ごろから，年をおって増悪の一途を辿っていた。しかもこれに対応する全体的な歯科医療の供給態勢は極めて貧弱でありまさに憂慮すべき状況であった。学童のむし歯の蔓延を何とかくい止めたいという願いは今日でも思いもよらないほど強いものがあった。

昭和30年（1955年）第19回全国学校歯科医大会が東京で開かれたとき，日本学校歯科医会は「未処置のむし歯を持っている児童を５ヵ年で半減すること」を目標とする「むし歯半減運動」の展開を宣言した。そしてただちにその実現の準備を行い，「学童のむし歯半減運動」実施要項をつくり，昭和31年（1956）度から５ヵ年計画で実施することとなった。この運動は日本学校歯科医会と財団法人日本学校保健会の共催という形で実施されることになったが，主管官庁である文部省もこれには大きな関心を寄せ，これに呼応して昭和31年（1956年），「学校の児童生徒などのう歯予防の徹底について」という通牒を各都道府県に出した。学校歯科保健における活動の展開としては理想的な形で進められることになった。

また，昭和35年（1960年）には「むし歯半減運動」の趣旨徹底，普及を図るために「保健教育と保健管理とによって学童のむし歯半減を達成した学校ができるだけ多くなることを」期待して「全日本よい歯の学校表彰」を始めた。条件は「全校児童の永久歯う歯の50%以上が処置を完了している」ということだけであった。したがって，あくまで全国の小学校の永久歯う歯の処置率を50%以上に引き上げることが目標であったわけである。

その前年，昭和34年（1959年）に学校歯科保健活動の先駆者であった奥村鶴吉が死去し，遺族の申し出により学校歯科保健の振興に資するために奥村賞の基金を設けた。この賞はその後昭和53年（1978年）より日本学校歯科医会の運営に委ねられることとなった。




奥村賞授与

# 第４期 ◆ 社団法人日本学校歯科医会の誕生

（昭和46年・1971年～昭和56年・1981年）

| | |
|---|---|
| 昭和46年（1971年） | 社団法人日本学校歯科医会設立認可 |
| | 第35回全国学校歯科医大会（千葉） |
| 昭和48年（1973年） | 学校保健センター的事業発足 |
| 昭和49年（1974年） | 第38回全国学校歯科保健大会に名称を変更（京都府） |
| 昭和51年（1976年） | 第４次むし歯半減運動の発動 |
| 昭和52年（1977年） | 第41回全国学校歯科保健大会（横浜） |
| | 広報『日学歯』第１号，月間報告書第１号発刊 |
| 昭和53年（1978年） | 文部省『小学校／歯の保健指導の手引』刊行 |
| | むし歯予防推進指定校制度制定 |
| | 「学校歯科保健研究協議会」を開催 |
| 昭和54年（1979年） | 第１回「歯科衛生士のための学校歯科保健研修会」開催 |
| | 「歯科保健指導車の整備運営の指針」答申 |
| 昭和55年（1980年） | 日学歯『小学校／学校歯科医の活動指針』刊行 |
| 昭和56年（1981年） | 日本学校歯科医会法人化10周年記念祝賀会 |
| | 第45回全国学校歯科保健研究大会開催（東京都） |
| | 「研究大会」と名称変更，常陸宮同妃殿下ご臨席 |

## 1 学校歯科保健のあゆみ

昭和47年（1972年）「保健体育審議会答申 ― 児童生徒等の健康の保持増進に関する施策について ―」は学校保健に関する諸問題が続出していた時期における具体的な答申であり，学校保健法令の改正を通して児童生徒等の健康問題に広範囲に対応する活動の契機になった。この答申で提言され，㈶日本学校保健会に昭和48年度（1973年度）から学校保健センター的事業が組織された。

そして歯科領域では昭和53年（1978年）度から「歯口腔委員会」が設置され「刷掃指導による歯肉炎の予防」，「う蝕予防の理論と実際」の実践理論に関する研究が展開された。昭和55年（1980年）から「歯の保健

指導委員会」が設置され，全国調査や「学級担任のための歯の保健指導」を刊行し啓発活動を推進した。また，昭和53年（1978年）文部省が『小学校／歯の保健指導の手引』を刊行，学校歯科保健の推進に大きな影響を与えた。さらに各都道府県教育委員会ごとに「むし歯予防推進指定校」が指定され，実践研究が蓄積されることになった。

## 2 学校歯科医会のあゆみ

日本学校歯科医会は，昭和46年（1971年）11月25日付けで文部大臣から社団法人日本学校歯科医会の設立許可があり，同日から「社団法人日本学校歯科医会」として発足した。第１回総会が昭和47年（1972年）５月に開催された。昭和49年（1974年）の第５回総会以後，総会は年２回持たれるようになり，加盟団体長会議も開かれるようになった。

また，昭和52年（1977年）からは加盟団体との連絡を密にするために，『日学歯月間報告書』が出されることになった。さらに，会誌のほかに16ページ程度の広報『日学歯』を年４回刊行することになった。こうして加盟団体，会員との連携を深めて組織の充実を図った。また文部省との連携も緊密化を図り，『小学校／歯の保健指導の手引』の編集にも積極的に協力した。

昭和56年（1981年）第19回総会の時に，社団法人日本学校歯科医会の設立10周年記念式典が挙行された。

**社団法人日本学校歯科医会設立十周年記念式典**




式辞をのべる湯浅泰仁会長と来賓の方がた




感謝状を受ける向井喜男名誉会長

# 第2章 全国学校歯科医（保健）大会のあゆみ







学校歯科の鐘の引きつぎ・奈良県～日学歯～岩手県

日本学校歯科医会の最も大きな行事の１つに数えられる，全国学校歯科医大会が開催されたのは，昭和６年（1931年）に遡るが，当時は未だ日本聯合学校歯科医会がなかったので帝国学校衛生会，東京市学校歯科医会の共催で行われた。太平洋戦争で中断したものの昭和56年（1981年）で第45回を迎えた。大会の成果を大会宣言として出すようになったのは第19回大会（昭和30年）からであった。大会メインテーマが示されるようになったのは第32回大会（昭和43年）からで，第45回大会（昭和56年）では「自分でつくる歯の健康一心も体も健やかな児童生徒の育成」であった。

大会の協議内容としては，学校保健行政に関するものが最も多く次いで学校歯科保健管理に関する問題が協議題としてとりあげられた。

## １．大会の推移

全国学校歯科保健大会は，日本学校歯科医会の大きな事業の一つである。はじめて全国学校歯科医大会が行われたのは昭和６年（1931年）のことであるが，その時はまだ日本聯合学校歯科医会がなかったので，帝国学校衛生会と東京市学校歯科医会との共催で行われ，第２回の時もそうであった。

日本聯合学校歯科医会が開催地の学校歯科医会と共催の形で，大会を持つようになったのは第３回（昭和８年）の福岡の大会の時からである。これは昭和18年（1943年）の第13回まで続けられたが，太平洋戦争の戦局の推移によって中止された。

再開されたのは昭和25年（1950年）名古屋においてである。この時にも，まだ日本学校歯科医会はなかったので，開催地の学校歯科医会が他のいろいろな団体や機関との共催という形で開いた。それにその頃は，まだ学校歯科医だけで単独に全国的な集会を持つほどには充実されていなかったので，全国学校衛生大会あるいは全国学校保健大会の時期に合わせて開催された。

全国学校保健大会とは離れて，別個に全国学校歯科医大会が開かれるようになったのは，昭和30年（1955年）東京で行われた第19回大会の時からである。

この時は日本学校歯科医会は主催者になっている。その後昭和49年（1974年）の京都の第38回の時から，学校歯科医大会の名称を全国学校歯科保健大会と改めた。これは学校歯科医以外の関係者の参加が次第に多くなってきたためである。昭和56年（1981年）東京での第45回からは全国学校歯科保健研究大会となった。

## ２．全体協議題および大会宣言の推移

第１回から第45回までの大会で協議された協議題は全部で452件であった。その内容によって分けて見ると次の通りである。

◇学校保健行政に関するもの　（94件）

学校歯科医の処遇とか，公務災害補償とか，教育委員会に技師をおくとかいうような当局への要望など。

◇学校歯科保健管理，特に校外処置，勧告などに関するもの（90件）

要保護，準要保護の範囲とか，洗口場の設置とか，教員の検診というようなもの

◇歯牙および口腔検査に関するもの　（48件）

検査の実施や，検査票に関することなど

◇学校歯科保健に関する事業　（42件）

巡回診療車，全国的なキャンペーン，表彰というようなもの

◇歯科処置に対する費用の国庫給付，う蝕予防法など　（32件）

◇学校歯科保健制度に関するもの　（30件）
　学校歯科医の設置，学校保健法など
◇学校歯科における教育，保健指導に関するもの　（30件）
　教科，指導訓練のようなもの
◇教育関係者への歯科衛生教育に関するもの　（23件）
◇日本学校歯科医会の組織に関するもの　（19件）
◇全国的なキャンペーンに関するもの　（14件）
◇全国学校歯科医大会に関するもの　（14件）
◇養護教諭に関するもの　（12件）
◇学校保健委員会に関するもの　（４件）
◇その他

大会の成果を**「大会宣言」**としてだすようになったのは，第19回大会（昭和30年）の時からである。この19回の時には，**むし歯半減運動**の宣言であった。

「最近，社会環境の向上にともない，児童生徒のう歯が急激に増加しつつあり，しかもその90%以上が未処置のままに放置されていることは，国民保健の上からも，まことに憂慮に耐えない。よって，われわれはあらゆる関係当事者と協力し，適切な健康教育と健康管理とにより，う歯を一掃すべく，まず第一段階の目標として,児童生徒の未処置う歯あるものを半減せしめるよう,強力なる運動を展開することを宣言する。」

以後，その時の協議内容によって宣言は変わっている。

◇第23回大会（昭和34年）　第２次むし歯半減運動の宣言
◇第26回大会（昭和37年）　大会の教育指向が明確になった内容
◇第31回大会（昭和42年）　『学校歯科の手引き』を中心とする内容
◇第32回大会（昭和43年）　砂糖消費量とむし歯の関係に触れる内容
◇第40回大会（昭和51年）　第４次むし歯半減運動の宣言
◇第43回大会（昭和54年）　国際児童年との関わりを盛り込む内容
◇第45回大会（昭和56年）　国際障害者年との関わりを盛り込む内容

## ３．大会メインテーマの推移

大会のメインテーマが示されるようになったのは，昭和43年（1968年）の第32回大会からである。

◇**第32回全国学校歯科医大会**　昭和43年（1968年）・熊本県
「**学校歯科衛生の総意を結集するために**」

◇**第33回全国学校歯科医大会**　昭和44年（1969年）・滋賀県
「**学校歯科衛生の向上のために**」

◇**第34回全国学校歯科医大会**　昭和45年（1970年）・静岡県
「新しい学校教育課程を歯科保健にどう生かしたらよいか」

◇**第35回全国学校歯科医大会**　昭和46年（1971年）・千葉県
「保健管理と指導の調和」

◇**第36回全国学校歯科医大会**　昭和47年（1972年）・秋田県
「学校歯科への相互理解を深めるために」

◇**第37回全国学校歯科医大会**　昭和48年（1973年）・東京都
「学校歯科保健の計画性を高めるために」

◇**第38回全国学校歯科保健大会**　昭和49年（1974年）・京都府
「学校歯科保健の効果的な予防活動の方途をもとめて」

◇**第39回全国学校歯科保健大会**　昭和50年（1975年）・香川県
「保健指導と保健管理の調和 ― 地域社会とともに ―」

◇**第40回全国学校歯科保健大会**　昭和51年（1976年）・栃木県
「保健指導と保健管理の調和 ― よりよい予防活動のあり方をもとめて ―」

◇**第41回全国学校歯科保健大会**　昭和52年（1977年）・神奈川県
「保健指導と保健管理の調和 ― よりよい歯科保健活動の実践をめざして ―」

◇**第42回全国学校歯科保健大会**　昭和53年（1978年）・大阪府
「保健指導と保健管理の調和 ― 実践をとおして学ぶ学校歯科保健 ―」

◇**第43回全国学校歯科保健大会**　昭和54年（1979年）・兵庫県
「保健指導と保健管理の調和 ― 思考による実践をもとめて ―」

◇**第44回全国学校歯科保健大会**　昭和55年（1980年）・鹿児島県
「保健指導と保健管理の調和」

◇**第45回全国学校歯科保健研究大会**　昭和56年（1981年）・東京都
「自分でつくる歯の健康 ― 心も体も健やかな児童・生徒の育成 ―」

# 第3章 むし歯半減運動と全日本よい歯の学校表彰





むし歯半減運動は日本学校歯科医会の行ってきたもっとも大きな事業の一つである。国民全体を対象として歯科保健の向上を狙いとしたキャンペーンとしては，昭和３年（1928年）から続けられている「むし歯予防デー」（歯の衛生週間）があるが，学童の未処置のむし歯を半分に抑えよう，というような具体的な目標を明示したキャンペーンは内外を通してもあまり例を見ないものであった。

後にその目標は全体的に達せられるようになったが，昭和30年（1955年）にこれが提唱された時には全国の学校現場に与えた影響は大きく，熱っぽい雰囲気であった。その後昭和35年（1960年）から，この運動を具体的な場で実践した学校を対象とした「全日本よい歯の学校表彰」が始まり，学校歯科保健の推進に大きな役割を果たした。

# １．むし歯半減運動

### ◆第１次学童むし歯半減運動

昭和29年（1954年）日本学校歯科医会が設立され，昭和30年（1955年）11月に東京で第19回全国学校歯科医大会が開催された。当時は我が国の児童生徒のう蝕罹患状況は増加の一途を辿っており，何とかしたいという思いが今日では考えられないほど強いものであった。国民の死亡順位第１位であった結核の死亡率が昭和29年には戦前の半分になったことにヒントを得て，同大会において学童のむし歯罹患の半減を目標としたキャンペーンを展開することが提案された。

日本学校歯科医会は直ちにその実現の準備を行い，「学童のむし歯半減運動」実施要項をつくり，昭和31年度から５ヵ年計画で実施されることになった。

### ◆第２次むし歯半減運動

昭和36年（1961年）横浜で開催された第25回全国学校歯科医大会において，さらに第２次運動を行うことが決められた。昭和37年（1962年）度からは中学校も加えられることになった。このころから，学校歯科保健活動の重点が予防処置の実施から次第に治療指向に移り，保健教育の充実の方向に転換が始まった。

### ◆第３次むし歯半減運動

昭和41年（1966年）から第３次運動が始まった。このころから，全日本よい歯の学校は増加しつづけ，昭和42年には2,000校に近づいた。昭和46年度からは連続10年，昭和49年度からは連続15年に及ぶ学校は別に表彰することになった。このころには処置完了歯率50%を超える学校が小学校で4,500校にもなり，初期の目標を達したと考えられてきた。こうして表彰基準の見直しが図られながら10年間続けられた。

### ◆第４次むし歯半減運動

昭和51年（1976年）10月栃木県で開催された第40回全国学校歯科保健大会において，「第４次むし歯半減運動」が始まった。永久歯未処置う歯半減の目標はほぼ達したという認識の下に，「永久歯の新しく発生するう歯を現状の半分に抑える」ことを目標にしたものであった。そしてそれを達成するのに，単に保健管理的な方向からではなく，指導と管理の組み合わせによって推進しようという狙いがあった。具体的に直接の指標として，小学校では第一大臼歯，中学校では第二大臼歯の新たなう蝕発生の抑制を挙げた。

# ２．全日本よい歯の学校表彰

全日本よい歯の学校表彰は，学童むし歯半減運動の趣旨徹底，普及を図るために「保健教育と健康管理とによって，学童のむし歯半減を達成した学校が出来るだけ多くなること」を期待して昭和35年（1960年）度から始めたものである。加盟団体および都道府県教育委員会を通して「全日本よい歯の学校表彰調査票」を配布し，書面審査の上「全校児童の永久歯う歯の50%以上が処置を完了している」という条件を満たした学校を表彰した。これに昭和37年（1962年）度からは中学校も加えることになった。

さらに受賞校が増え続けたので，昭和52年（1977年）度からは小，中学校とも３年生の下顎の第一大臼歯あるいは第二大臼歯の状態を調べる項目を加えた。しかしそれでも極めて多くの学校が表彰を受けることになり，その意義が薄れてきたので，昭和56年（1981年）の東京の大会では，う歯半減運動のさらなる方向転換が求められることになり，一応全日本よい歯の学校表彰は昭和57年（1982年）度で休止することとなった。

# 第4章 学校保健の制度と法令の推移

**学校保健と称される以前の学校衛生が，教育行政の場に姿を現すのは明治20年代であり，その行政が推進されたのは，日清戦争から日露戦争に至る明治30年代である。**

**その後，満州事変から太平洋戦争終結までの学校衛生は，一進一退を示しながら推移したが，戦後，日本国憲法および教育基本法の理念を受け，やがて学校保健法の制定のもとに学校保健へと学校衛生は脱皮していった。**

## 1 学校衛生制度の揺籃期 ― 明治期の学校衛生 ―

明治時代の学校衛生制度のあゆみを通覧すると，学校衛生行政が特に推進されたのは，日清戦争から日露戦争に至る30年代が中心となっている。この時代に整備された主な法令は，明治30年（1897年）の学校清潔方法，学校生徒身体検査規程，公立学校に対する学校医設置の勅令，明治31年（1898年）の学校医職務規程，学校伝染病予防及消毒方法などである。

## 2 学校衛生制度の整備 ― 大正・昭和初期の学校衛生 ―

大正初年から昭和６年（1931年）の満州事変勃発の頃までの時代は，学校教育制度のうえからは，明治時代の制度を引き継ぎこれを整備し充実させる時代であった。大正４年（1915年）には学校衛生調査会を設け，翌大正５年（1916年）には文部省に学校衛生官が置かれた。地方においては大正13年（1924年）学校衛生職員制の制定により道府県に一人ずつの学校衛生技師を置くことになった。大正の終わり頃から，各地方で学校歯科医を設置する県令が制定され，昭和５年（1930年）には27の府県に設置されるようになった。

こうしたなか，日本歯科医師会は文部大臣に対して，全国の学校に学校歯科医の制度を適用すべきことを建議した。そして昭和６年（1931年）６月22日「学校歯科医及幼稚園歯科医令」（勅令第144号）が制定されることになった。永年の夢が実現したのであるが，本令の第一条に「各学校ニ学校歯科医ヲ置クコトヲ得」となっており，まだ必置制ではなかった。

## 3 戦時教育行政期 ― 昭和戦中期の学校衛生 ―

昭和６年（1931年）９月の満州事変勃発の頃から，昭和20年（1945年）８月の太平洋戦争終結までの我が国は，国の総力を挙げて戦争を遂行した国家総動員体制の時代であった。昭和７年（1932年）「学校歯科医職務規程」が定められ，学校の身体検査に際して，歯牙の検査は学校歯科医が行うこととなった。

昭和15年（1940年）国民体力法が公布され，昭和16年（1941年）文部省大臣官房体育課を体育局に昇格させ，国民の体力管理が法制化された。この年「国民学校令」が公布された。この法令は養護訓導の制度化や特殊教育の制度化，体操教科の中に衛生を位置づける等画期的な制度であった。しかし太平洋戦争の勃発と共に学校教育も戦時体制に応じたものになった。

## 4 戦後教育改革期 ― 学校衛生から学校保健へ ―

昭和20年（1945年）８月の終戦を機に，日本の教育行政はもとより国政全般にわたり大きな改革が行われた。この頃から昭和33年（1958年）学校保健法公布までの時代は，学校衛生が学校保健へと変容していく時代であった。

昭和24（1949年）文部省設置法が公布され，戦後の新しい文部省が発足した。学校保健の主管課は初等中等教育局保健課となったが，昭和33年（1958年）文部省体育局が復活することになり初等中等教育局保健課は名称を学校保健課と改められた。地方においても教育委員会の設置に伴い保健体育課または保健課などが設置され保健行政を司ることになった。

また，昭和22年（1947年）には「学習指導要領」が出され，教育の一般目標，教育課程等が示された。保健教育は教育目標として重要なものとされ，教科としては体育において指導することとした。

## 5 学校保健制度の充実期 ― 学校保健法の成立以後 ―

戦後，昭和22年（1947年）の学校教育法制定をはじめ学校教育関係の法令が整備されるにつれ，学校保健関係の法令の整備が急がれた。文部省も保健管理の重要性に鑑み，昭和33年（1958年）「学校保健法」を制定公布した。ついで「学校保健法施行令」「学校保健法施行規則」が制定公布され，学校における保健管理の制度は確立された。

以後の学校保健管理活動は系統化されるとともに，計画的な運営ができるようになった。昭和34年（1959年）「学校安全会法」が公布され，学校管理下における児童生徒の負傷，疾病または死亡に関し，必要な給付が行われることになった。

学校歯科保健教育に関しては，昭和53年（1978年）文部省によって『小学校／歯の保健指導の手引』が作成刊行された。それにともない，「むし歯予防推進指定校」の制度が行われ学校歯科保健の発展に大きく貢献した。

# 第2編

# 日本学校歯科医会
# 50周年後のあゆみ

# 第1章 日本学校歯科医会事業のあゆみ（年表）

## ◆昭和57年度（1982年）～ 平成13年度（2001年）





昭和57年（1982年）度から平成13年（2001年）度までの20年間の（社）日本学校歯科医会の事業のあゆみを年表としてまとめた。

ここでは各年度ごとに総会・加盟団体長会，各種研究大会・研修会，図画ポスター審査会など主な事業のあゆみを通覧しやすく年表とした。各種研究大会，各種委員会活動，表彰事業などの詳細はそれぞれの章をご参照いただきたい。

年表下段には歯科界の主な行事，出来事を収録した。

# 昭和57年度 1982年度

◆加盟団体数 60　◆会員数 13,978　◆会費 7,000円

**昭和57年**

**６月22日** 第21回総会
　昭和56年度事業報告，昭和56年度収支決算報告，協議題として「第５次むし歯半減運動の提言」を上程
　社団法人日本学校歯科医会設立10周年記念事業収支決算
　総会終了後創立50周年記念パーティを開催

**９月14日** 奥村賞審査会開催（５小学校受賞）

**９月30日** ㈳日本学校歯科医会50周年記念誌発行

**９月29日** 昭和57年度むし歯予防推進指定校協議会（福岡県）

**９月30日～10月１日** 昭和57年度学校歯科保健研究協議会（福岡県）

**10月15日～16日** 第46回全国学校歯科保健研究大会（愛媛県）
　「第５次むし歯半減運動」のスタートが宣言された
　大会参加者2,237名

**10月28日** 第32回全国学校歯科医協議会（山形県）

**10月28日～30日** 第32回全国学校保健研究大会（山形県）

**12月11日** 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会
　（応募総数89点，優秀賞図画６点，ポスター６点）

**昭和58年**

**１月22日～23日** 学校歯科保健研修会（東京都）
　歯科衛生士対象　87名参加

**２月４日** 昭和57年度加盟団体長会

**３月26日** 第22回総会
　昭和58年度事業計画案，昭和58年度収支予算案，役員改選で湯浅泰仁会長選出
　予算額：109,120,000円

**¨　W**

**昭和57年　４月　唇顎口蓋裂の歯科矯正を保険に導入**
**４月　歯科技工法の改正により，歯科技工士免許が厚生大臣免許となる**
**８月　老人保健法成立**
**10月　第70回 FDI ウィーン大会**
**昭和58年　１月　薬価基準一部改正**
**２月　老人保健法施行**

## 昭和58年度　1983年度

◆加盟団体数 60　◆会員数 14,629　◆会費 7,000円

**昭和58年**

| | |
|---|---|
| 6月28日 | 第23回総会<br>昭和57年度歳入歳出決算，向井喜男名誉会長に推薦，<br>協議題として，歯科保健推進モデル校表彰について協議 |
| 10月14日 | 昭和58年度むし歯予防推進指定校協議会（埼玉県） |
| 10月13日～14日 | 昭和58年度学校歯科保健研究協議会（埼玉県） |
| 10月27日 | 第33回全国学校歯科医協議会（京都府） |
| 10月27日～29日 | 第33回全国学校保健研究大会（京都府） |
| 11月25日～26日 | 第47回全国学校歯科保健研究大会（福岡県）<br>「保健指導と保健管理の調和」をテーマに<br>約1,400名が参加した<br>（学校歯科保健推進モデル校表彰事業） |

**昭和59年**

| | |
|---|---|
| 1月13日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会<br>（応募総数88点，最優秀賞図画６点，ポスター５点） |
| 1月21日～22日 | 第５回全国学校歯科保健研修会（東京都）<br>歯科衛生士対象87名参加 |
| 2月11日 | 湯浅泰仁会長逝去 |
| 2月28日 | 昭和58年度加盟団体長会 |
| 3月17日 | 故湯浅泰仁会長合同葬 |
| 3月27日 | 第24回総会<br>昭和59年度事業計画案，昭和59年度収入支出予算案，<br>今後の会務運営について審議，関口龍雄会長代行<br>予算額：111,870,000円 |

¨　W

**昭和58年　11月　第71回 FDI 東京大会**
**11月　第15回日本歯科医学会総会**

# 昭和59年度 1984年度

◆加盟団体数 60　◆会員数 15,067　◆会費 7,000円

**昭和59年**

**６月20日** 第25回総会
　昭和58年度収入支出決算，余剰金の一部運営基金繰入の件について
　寄付金の奥村賞基金繰り入れについて審議，関口龍雄会長に就任
　湯浅泰仁先生をしのぶ会

**７月10日** 各委員会委員長会議

**９月11日** 学校歯科保健推進モデル校審査委員会

**９月28日～29日** 第48回全国学校歯科保健研究大会（山形県）
　初めて第１日目にシンポジウム開催　1,300名参加

**10月17日** 昭和59年度むし歯予防推進指定校協議会（愛知県）

**10月18日～19日** 昭和59年度学校歯科保健研究協議会（愛知県）

**10月31日** 第34回全国学校歯科医協議会（東京都）

**10月31日～11月２日** 第34回全国学校保健研究大会（東京都）

**昭和60年**

**１月９日** 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会
　（応募総数91点，最優秀賞図画６点，ポスター６点）

**１月19日～20日** 第６回全国学校歯科保健研修会（東京都）
　歯科衛生士及び学校保健関係者が対象となった。79名出席

**２月20日** 昭和59年度加盟団体長会

**３月27日** 第26回総会
　昭和60年度事業計画案，
　昭和60年度予算案，
　役員改選を行い関口龍雄会長再選
　予算額116,950,000円

**¨　W**

**昭和59年　４月**　診療報酬改定
**５月**　厚生省「将来の歯科医師需給に関する検討委員会」設置
**８月**　第72回 FDI ヘルシンキ大会
**10月**　健康保険法改正（被用者本人１割負担実施）

**昭和60年　３月**　厚生省，我が国のエイズ患者初めて確認

## 昭和60年度　1985年度

◆加盟団体数 58　◆会員数 14,973　◆会費 7,000円

**昭和60年**

**６月25日**　第27回総会
　昭和59年度収入支出決算，事業報告，社団法人日本学校歯科医会
　名誉会長推薦の件で向井喜男先生推薦，
　余剰金の一部運営基金繰り入れについて

**９月10日**　奥村賞審査委員会

**９月12日**　昭和60年度全日本よい歯の学校表彰審査会

**９月18日**　昭和60年度むし歯予防推進指定校協議会（大阪府）

**９月19日～20日**　昭和60年度学校歯科保健研究協議会（大阪府）

**10月25日～26日**　第49回全国学校歯科保健研究大会（奈良県）
「全日本よい歯の学校表彰」58校
　今年度から文部大臣賞（１校）受賞，2,026名参加

**10月31日**　歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会
　（総応募数89点，各６点が最優秀賞受賞）

**11月７日**　第35回全国学校歯科医協議会（長崎県）

**11月７日～９日**　第35回全国学校保健研究大会（長崎県）

**昭和61年**

**１月18日～19日**　第７回全国学校歯科保健研修会（宮城県）
　歯科衛生士，学校保健関係者対象，参加者86名

**２月１日～２日**　第７回全国学校歯科保健研修会（岐阜県）
　参加者82名

**２月18日**　昭和60年度加盟団体長会
　昭和61年度事業計画案の大綱について，同収入支出予算案の大綱について

**３月20日**　第28回総会
　昭和61年度事業計画案，昭和61年度収支予算案，
　定款の一部改正について
　予算額122,370,000円

**¨　W**

**昭和60年　４月　岐阜歯科大学が朝日大学歯学部と改称**
**４月　診療報酬改定**
**９月　第73回 FDI ベオグラード大会**
**12月　医療法一部改正交付**

# 昭和61年度 1986年度

◆加盟団体数 55　◆会員数 14,820　◆会費 7,000円

**昭和61年**

| | |
|---|---|
| 6月24日 | 第29回総会<br>昭和60年度収入支出決算，余剰金の一部運営基金繰入の件について |
| 9月19日<br>～20日 | 第50回全国学校歯科保健研究大会（岩手県）<br>「全日本よい歯の学校表彰」58校（文部大臣表彰３校）<br>50回記念文部大臣表彰学校歯科医156名，約1,500名参加 |
| 10月４日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会<br>（総応募数89点，図画６点，ポスター６点が最優秀作品に決定） |
| 10月23日 | 第36回全国学校歯科医協議会（栃木県） |
| 10月23日<br>～25日 | 第36回全国学校保健研究大会（栃木県） |
| 11月５日 | 昭和61年度むし歯予防推進指定校協議会（神奈川県） |
| 11月６日<br>～７日 | 昭和61年度学校歯科保健研究協議会（神奈川県） |

**昭和62年**

| | |
|---|---|
| １月29日<br>～30日 | 第８回全国学校歯科保健研修会（大阪府）<br>歯科衛生士，学校保健関係者対象参加者69名 |
| ２月６日<br>～７日 | 第８回全国学校歯科保健研修会（福岡県）<br>参加者76名 |
| ２月17日 | 昭和61年度加盟団体長会 |
| ３月14日 | 第30回総会<br>昭和62年度事業計画案，昭和62年度収入支出予算案，<br>運営基金一部取崩しの件，役員改選で加藤増夫会長選任<br>予算額：121,070,000円<br>『高等学校／学校歯科医の活動指針』発刊 |

¨ W

昭和61年　４月　歯科医師国家試験年１回となる
10月　一人法人の設立認可
12月　厚生省エイズ対策専門会議設置
11月　第74回 FDI マニラ大会

昭和62年　１月　老人保健法改正（入院１日300円，外来１か月400円→800円）

# 昭和62年度　1987年度

◆加盟団体数 55　◆会員数 15,479　◆会費 7,000円

**昭和62年**

| | |
|---|---|
| ６月23日 | 第31回総会<br>昭和61年度収入支出決算，余剰金の一部運営基金繰入の件，<br>理事の選任を行い，関口龍雄名誉会長に選任 |
| ９月29日 | 昭和62年度むし歯予防推進指定校協議会（東京都） |
| ９月30日<br>～10月１日 | 昭和62年度学校歯科保健研究協議会（東京都） |
| 10月15日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会<br>（総応募数92点，図画６点，ポスター６点を最優秀作品に決定） |
| 10月23日<br>～24日 | 第51回全国学校歯科保健研究大会　約1,500名参加<br>（メインテーマ：学校歯科保健の包括化）（岐阜県）<br>「全日本よい歯の学校表彰」57校，最優秀校３校に文部大臣賞<br>奥村賞１校，奥村賞推薦賞１校，（この年で奥村賞は休止） |
| 11月11日 | 第37回全国学校歯科医協議会（大阪府） |
| 11月11日<br>～13日 | 第37回全国学校保健研究大会（大阪府） |
| 12月１日<br>～２日 | 第９回全国学校歯科保健研修会（神奈川県）<br>歯科衛生士，学校保健関係者対象73名 |

**昭和63年**

| | |
|---|---|
| １月14日 | 新歯科医師会館定礎式 |
| １月25日 | 事務所移転 |
| ２月４日<br>～５日 | 第９回全国学校歯科保健研修会（広島県）<br>歯科衛生士・学校保健関係者対象103名 |
| ２月５日 | 新歯科医師会館竣工式 |
| ２月23日 | 昭和62年度加盟団体長会開催<br>昭和63年度事業計画案の大綱，昭和63年度予算案の大綱，第32回総会の提出議案の大要について協議 |
| ３月８日 | 第32回総会（予算総会）<br>運営基金の一部取崩し，昭和63年度事業計画案，昭和63年度収入支出予算案，定款の一部変更の件について，協議「第６次むし歯半減運動」について<br>予算額：118,950,000円 |

¨　W

昭和62年　５月　エイズ予防財団設立
10月　第16回日本歯科医学会総会
10月　第75回 FDI ブエノスアイレス大会

昭和63年　３月　薬価基準全面改正

# 昭和63年度 1988年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 16,353　◆会費 7,000円

**昭和63年**

**６月28日** 第33回総会
　昭和62年度収入支出決算，余剰金処分案，理事・監事の選任について

**８月20日～21日** 今年度から学校歯科保健・指導者研修セミナー（ワークショップ）として，内容も新たに，学校歯科医を対象にスタートした。
第10回学校歯科保健研修会（福島県）学校歯科医対象46名参加

**９月27日～29日** 昭和63年度むし歯予防推進指定校協議会（栃木県）
昭和63年度学校歯科保健研究協議会（栃木県）
　講義のほかに研究発表として「当面する学校歯科保健の諸問題」

**10月14日～15日** 第52回全国学校歯科保健研究大会（青森県）1,545名参加
「全日本よい歯の学校表彰」65校，文部大臣表彰５校
第６次むし歯半減運動スタート

**11月10日** 第38回全国学校歯科医協議会（長野県）

**11月10日～12日** 第38回全国学校保健研究大会（長野県）

**11月28日** 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会
（総応募数99点，最優秀賞各７点）

**12月17日～18日** 第10回全国学校歯科保健研修会（大阪府）
　53名出席

**平成元年**

**１月28日～29日** 第10回学校歯科保健研修会（福岡県）
　30名出席

**２月21日** 昭和63年度加盟団体長会開催

**３月10日** 第34回総会
　昭和63年度補正予算案，平成元年度事業計画案，平成元年度予算案，
　定款・施行細則の一部改正，役員改選で加藤増夫会長再選
　予算額：123,710,000円（補正予算　131,649,207円）

**W**

**昭和63年　６月**　診療報酬改定
**７月**　文部大臣，厚生大臣，私立歯科大学協会長に歯科大学入学定員20%削減の完全実施要望
**10月**　第76回FDIワシントン大会
**11月**　昭和62年医療経済実態調査公表
**平成元年　３月**　薬価基準全面改正告示

# 平成元年度　1989年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 16,911　◆会費 7,000円

**平成元年**

| | |
|---|---|
| 6月29日 | 第35回総会<br>昭和63年度事業報告，昭和63年度収入支出決算，余剰金処分案<br>定款・施行細則の一部改正 |
| 7月8日 | 第11回学校歯科保健研修会（愛知県） |
| ～9日 | 学校歯科医　38名出席 |
| 7月22日 | 第11回学校歯科保健研修会（埼玉県） |
| ～23日 | 27名出席 |
| 7月29日 | 第11回学校歯科保健研修会（東京都） |
| ～30日 | 118名出席 |
| 9月12日 | 平成元年度むし歯予防推進指定校協議会（鹿児島県） |
| 9月13日 | 平成元年度学校歯科保健研究協議会（鹿児島県） |
| ～14日 | |
| 10月27日 | 第53回全国学校歯科保健研究大会（和歌山県），約2,000名参加 |
| ～28日 | 「全日本よい歯の学校表彰」74校，文部大臣表彰６校 |
| 11月２日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会（応募総数99点，最優秀賞各７点） |
| 11月18日 | 第39回全国学校歯科医協議会（茨城県） |
| 11月16日 | 第39回全国学校保健研究大会（茨城県） |
| ～17日 | |
| 12月９日 | 第11回学校歯科保健研修会（愛媛県） |
| ～10日 | 34名出席 |

**平成２年**

| | |
|---|---|
| 2月20日 | 平成元年度加盟団体長会 |
| 2月23日 | 「赤色３号」に関する特別委員会開催 |
| 3月13日 | 第36回総会<br>平成２年度事業計画案，平成２年度予算案，運営基金の一部取崩しについて，会費等についての特別委員会設置について<br>予算額：131,030,000円<br>「会費等に関する特別委員会」設置 |

¨　W

平成元年　9月　第77回 FDI アムステルダム大会　　平成２年　3月　薬価基準全面改正告示

# 平成2年度 1990年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 18,201　◆会費 7,000円

**平成２年**

| | |
|---|---|
| ５月12日 | 第12回学校歯科保健研修会（宮城県） |
| ～13日 | 学校歯科医48名出席 |
| ６月28日 | 第37回総会 |
| | 平成元年度事業報告，平成元年度収入支出決算，余剰金処分案について |
| ６月30日 | 第12回学校歯科保健研修会（京都府） |
| ～７月１日 | 学校歯科医43名出席 |
| ９月26日 | 平成２年度むし歯予防推進指定校協議会（千葉県） |
| ９月27日 | 平成２年度学校歯科保健研究協議会（千葉県） |
| ～28日 | |
| 10月19日 | 第54回全国学校歯科保健研究大会（広島県）約2,000名参加 |
| ～20日 | 全日本よい歯の学校表彰87校 |
| | 最優秀校６校に文部大臣賞，特別賞受賞校６校に日本歯科医師会長賞 |
| 10月29日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会 |
| | （応募総数93点，最優秀賞各７点） |
| 11月17日 | 第40回全国学校歯科医協議会（沖縄県） |
| 11月14日 | 第40回全国学校保健研究大会（沖縄県） |
| ～16日 | |
| 12月１日 | 第12回学校歯科保健研修会（沖縄県） |
| ～２日 | 32名出席 |

**平成３年**

| | |
|---|---|
| ２月７日 | 全国健康教育研究協議会（日学歯後援） |
| ２月19日 | 平成２年度加盟団体長会 |
| ３月12日 | 第38回総会 |
| | 平成２年度収入支出補正予算案，平成３年度事業計画案，平成３年度予算案，役員改選で加藤増夫会長三選 |
| | 予算額：138,850,000円 |
| | 『幼児・児童・生徒の歯・口腔のはたらき』冊子発刊 |

¨　W

**平成２年　４月　診療報酬改定**
**６月　第１回日本国際歯科学会開催（幕張メッセ）**
**９月　第78回 FDI シンガポール大会**

# 平成 3 年度　1991 年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 18,768　◆会費 7,000円

**平成３年**

| | |
|---|---|
| ５月25日 | 第13回学校歯科保健研修会（静岡県） |
| ～26日 | 学校歯科医40名出席 |
| ６月20日 | 第39回総会 |
| | 平成２年度事業報告，平成２年度収入支出決算，剰余金処分案，定款施行細則の一部改定ならびに会長表彰規程について |
| ６月20日 | 学校歯科医制度60周年・（社）日本学校歯科医会設立20周年記念式典 |
| | 於 新歯科医師会館大ホール　文部大臣表彰　185名受賞 |
| ７月13日 | 第13回学校歯科保健研修会（東京都） |
| ～14日 | 97名出席 |
| ７月20日 | 第13回学校歯科保健研修会（群馬県） |
| ～21日 | 33名出席 |
| ９月18日 | 平成３年度むし歯予防推進指定校協議会（福島県） |
| ９月19日 | 平成３年度学校歯科保健研究協議会（福島県） |
| ～20日 | |
| 10月18日 | 第55回全国学校歯科保健研究大会（宮城県） |
| ～19日 | 全日本よい歯の学校表彰79校，文部大臣表彰６校，特別賞（日本歯科医師会会長賞）８校　1,912名参加 |
| 10月30日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会 |
| | （総応募数95点，最優秀図画９点・ポスター９点） |
| 11月７日 | 第41回全国学校歯科医協議会（奈良県） |
| 11月７日 | 第41回全国学校保健研究大会（奈良県） |
| ～８日 | |
| 11月30日 | 第13回学校歯科保健研修会（香川県） |
| ～12月１日 | 41名出席 |

**平成４年**

| | |
|---|---|
| ２月18日 | 平成３年度加盟団体長会 |
| ３月17日 | 第40回総会 |
| | 平成４年度事業計画案，平成４年度収入支出予算案について |
| | 予算額：144,200,000円 |

¨　W

**平成３年**
- 4月　歯科医師国民年金基金がスタート
- 6月　厚生省医療実態調査実施
- 7月　第17回日本歯科医学会総会
- 8月　救急救命士法施行
- 10月　第79回 FDI ミラノ大会

**平成４年**
- 2月　文部省『小学校／歯の保健指導の手引』改正
- 3月　歯科材料価格基準の改正告示

# 平成4年度 1992年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 19,264　◆会費 7,000円

**平成４年**

| | |
|---|---|
| ５月30日 | 第14回学校歯科保健研修会（青森県） |
| ～31日 | 学校歯科医51名出席 |
| ６月23日 | 第41回総会 |
| | 平成３年度事業報告，平成３年度収入支出決算，余剰金処分案について |
| ７月18日 | 第14回学校歯科保健研修会（宮崎県） |
| ～19日 | 32名出席 |
| 10月１日 | 第31回全日本よい歯の学校表彰審査会 |
| 10月21日 | 平成４年度むし歯予防推進指定校協議会（長野県） |
| 10月22日 | 平成４年度学校歯科保健研究協議会（長野県） |
| ～23日 | |
| 10月28日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会　－今年度から中学生も対象－ |
| | （総応募数133点，最優秀図画６点，ポスター11点，特別賞１点（盲学校）） |
| 11月５日 | 第42回全国学校歯科医協議会（山梨県） |
| 11月５日 | 第42回全国学校保健研究大会（山梨県） |
| ～６日 | |
| 11月13日 | 第56回全国学校歯科保健研究大会（徳島県）1,762名参加 |
| ～14日 | 全日本よい歯の学校表彰81校（文部大臣賞６校，日歯会長賞８校） |
| 11月28日 | 第14回学校歯科保健研修会（兵庫県） |
| ～29日 | 33名出席 |

**平成５年**

| | |
|---|---|
| ２月16日 | 平成４年度加盟団体長会 |
| ３月16日 | 第42回総会 |
| | 平成５年度事業計画案，平成５年度収入支出予算案について，役員改選で |
| | 加藤増夫会長四選 |
| | 予算額：147,700,000円 |

¨　W

**平成４年　４月　診療報酬改定**
**９月　医療保険審議会スタート**
**９月　第80回 FDI ベルリン大会**

## 平成5年度　1993年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 20,428　◆会費 7,000円

**平成５年**

| | |
|---|---|
| ６月５日～６日 | 第15回学校歯科保健研修会（茨城県）<br>学校歯科医29名出席 |
| ６月22日 | 第43回総会<br>平成４年度事業報告，平成４年度収入支出決算，余剰金処分案，運営基金の一部取崩しの件について |
| ７月10日～11日 | 第15回学校歯科保健研修会（岐阜県）<br>41名出席 |
| ７月22日 | 第15回学校歯科保健研修会（東京都）　52名出席 |
| 10月５日 | 平成５年度むし歯予防推進指定校協議会（青森県） |
| 10月６日～７日 | 平成５年度学校歯科保健研究協議会（青森県） |
| 10月７日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会<br>（総応募数146点，最優秀図画９点，同ポスター18点，特殊学級特別賞１点） |
| 10月19日 | 全日本よい歯の学校表彰審査会 |
| 10月30日～31日 | 第15回学校歯科保健研修会（山口県）<br>36名出席 |
| 11月12日 | 第43回全国学校歯科医協議会（大分県） |
| 11月11日～12日 | 第43回全国学校保健研究大会（大分県） |
| 12月２日～３日 | 第57回全国学校歯科保健研究大会（埼玉県）約3,000名参加<br>全日本よい歯の学校表彰88校（文部大臣賞６校，日歯会長賞８校） |

**平成６年**

| | |
|---|---|
| ２月15日 | 平成５年度加盟団体長会 |
| ３月15日 | 第44回総会<br>平成５年度収入支出補正予算，平成６年度事業計画案，平成６年度収入支出予算案，運営基金の一部取崩しの件，本会の今後の運営に関わる会費負担について<br>予算額：151,200,000円（補正予算　159,280,368円） |

¨　W

**平成５年**　７月　厚生省歯科技工料調査実施
９月　第81回 FDI イエテボリ大会

**平成６年**　１月　「歯科技工法」が「歯科技工士法」に改正

# 平成6年度 1994年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 20,888　◆会費 7,000円

**平成６年**

| | |
|---|---|
| ５月28日～29日 | 第16回学校歯科保健研修会（北海道）<br>学校歯科医対象41名出席 |
| ６月22日 | 第45回総会<br>平成５年度事業報告，平成５年度収入支出決算，余剰金処分の件，平成７年度からの日学歯会費の件，定款施行細則の一部改正（第35条表彰慶弔規程ならびに第41条１項正会費額の改定），本会役員の一部変更の件について |
| ７月16日～17日 | 第16回学校歯科保健研修会（福井県）<br>40名出席 |
| ９月29日～30日 | 第58回全国学校歯科保健研究大会（富山県）約1,400名参加<br>全日本よい歯の学校表彰88校<br>（文部大臣賞６校，日本歯科医師会特別賞８校） |
| 10月６日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会（総応募数141点，最優秀図画９点，ポスター18点） |
| 10月18日 | 平成６年度むし歯予防推進指定校協議会（宮崎県） |
| 10月19日～20日 | 平成６年度学校歯科保健研究協議会（宮崎県）<br>第６課題「児童生徒の歯周疾患」 |
| 11月10日 | 第44回全国学校歯科医協議会（和歌山県） |
| 11月10日～11日 | 第44回全国学校保健研究大会（和歌山県） |
| 11月26日～27日 | 第16回学校歯科保健研修会（鹿児島県）37名出席 |

**平成７年**

| | |
|---|---|
| ２月17日 | 平成６年度加盟団体長会<br>平成７年度事業計画の大綱について，平成７年度予算の大綱について |
| ３月14日 | 第46回総会<br>平成７年度事業計画案，平成７年度収入支出予算案についておよび役員の選任協議，兵庫県南部地震被災会員への対応について<br>西連寺愛憲会長就任<br>予算額：169,216,000円 |

## W

**平成６年**
- ４月 診療報酬改定
- ７月 「口腔保健」をテーマに世界口腔保健学術大会を東京で開催
- ７月 地域保健法公布（保健所法を改正）
- ８月 国際エイズ会議（横浜）で歯科のシンポジウム開催
- 10月 第82回 FDI バンクーバー大会

**平成７年**
- １月 阪神・淡路大震災，歯科医師も甚大な被害

## 平成7年度　1995年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 21,589　◆会費 10,000円

**平成７年**

| | |
|---|---|
| ５月27日～28日 | 第17回学校歯科保健研修会（高知県）<br>学校歯科医37名出席 |
| ６月20日 | 第47回総会<br>平成６年度事業報告，平成６年度収入支出決算，余剰金処分の件，名誉会長推薦の件，兵庫県南部地震災害地への対応の件について審議，加藤増夫前会長を名誉会長に推薦，災害地への対応については神戸市，兵庫県に対して本年度会費相当額を復興費用に充てていただくことになった |
| ７月１日～２日 | 第17回学校歯科保健研修会（神奈川県）51名参加 |
| ７月20日 | 第17回学校歯科保健研修会（東京都）50名参加 |
| ９月30日～10月１日 | 第17回学校歯科保健研修会（長野県）38名参加 |
| 10月12日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会（総応募数139点，最優秀図画６点，ポスター９点） |
| 10月19日～20日 | 第59回全国学校歯科保健研究大会（愛知県）約4,000名参加<br>全日本よい歯の学校表彰89校（文部大臣賞６校，日本歯科医師会特別賞７校） |
| 10月31日 | 平成７年度むし歯予防推進指定校協議会（群馬県） |
| 11月１日～２日 | 平成７年度学校歯科保健研究協議会（群馬県） |
| 11月16日 | 第45回全国学校歯科医協議会（徳島県） |
| 11月16日～17日 | 第45回全国学校保健研究大会（徳島県） |

**平成８年**

| | |
|---|---|
| ２月16日 | 平成７年度加盟団体長会 |
| ３月27日 | 第48回総会<br>平成８年度事業計画案，平成８年度収入支出予算案，運営基金の一部取崩しの件について<br>予算額：218,290,000円 |

**W**

**平成７年　４月　学校保健法施行規則一部改正に伴い歯・口腔の健康診断大幅に改正**
**10月　第83回 FDI 香港大会**
**11月　第18回日本歯科医学会総会を開催**

**平成８年　１月　卒業直後臨床研修制度が法制度化**

# 平成8年度 1996年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 22,047　◆会費 10,000円

**平成８年**

**５月11日～12日** 第18回学校歯科保健研修会（秋田県）
学校歯科医42名参加

**６月26日** 第49回総会
平成７年度事業報告，平成７年度収入支出決算，余剰金処分の件
総会終了後第１回顧問・参与と役員との懇談会を開催

**７月６日～７日** 第18回学校歯科保健研修会（滋賀県）46名参加

**10月23日** 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会
（総応募数144点，最優秀図画７点，ポスター11点）

**11月14日** 第46回全国学校歯科医協議会（佐賀県）

**11月14日～15日** 第46回全国学校保健研究大会（佐賀県）

**11月20日** 平成８年度学校歯科保健研究協議会・平成８年度むし歯予防推進指定校協議会（東京都）今年度は同時に開催

**11月21日～22日** 第60回全国学校歯科保健研究大会（東京都）約2,000名参加
「メインテーマ：21世紀の学校歯科保健－確かな健康観の育成」
第60回大会を記念して199名が文部大臣表彰受賞
秋篠宮同妃両殿下のご臨席をいただき開催，全日本よい歯の学校表彰は表彰校87校，文部大臣賞６校，日本歯科医師会特別賞８校

**12月７日～８日** 第18回学校歯科保健研修会（熊本県）
32名参加

**平成９年**

**２月19日** 平成８年度加盟団体長会
平成９年度の事業方針について，ほか

**３月19日** 第50回総会
平成９年度事業計画案，同収入支出予算案，役員選出は西連寺会長再選
予算額：222,680,000円

**W**

**平成８年　４月　診療報酬改定**
**６月　歯科医師法の一部改正可決成立**
**９月　標榜診療科名に「歯科口腔外科」を追加**
**９月　第84回 FDI オーランド（米国）大会**

# 平成9年度　1997年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 22,501　◆会費 10,000円

**平成９年**

| | |
|---|---|
| ５月10日～11日 | 第19回学校歯科保健研修会（広島県）<br>学校歯科医33名参加 |
| ５月19日 | 平成９年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会（東京都）<br>－今年度より名称変更－ |
| ６月25日 | 第51回総会<br>平成８年度事業報告，平成８年度収入支出決算，剰余金処分，事務所分室設置特別検討委員会設置の件について |
| ７月12日～13日 | 第19回学校歯科保健研修会（千葉県）<br>49名出席 |
| ７月17日 | 第19回学校歯科保健研修会（東京都）53名出席 |
| ９月25日 | 第47回全国学校歯科医協議会（鳥取県） |
| ９月25日～26日 | 第47回全国学校保健研究大会（鳥取県） |
| 10月９日 | 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール審査会<br>（総応募数148点，最優秀図画６点，ポスター12点） |
| 10月16日～17日 | 第61回全国学校歯科保健研究大会（福島県）約2,000名参加<br>全日本よい歯の学校表彰87校，（文部大臣賞６校，日本歯科医師会特別賞９校） |
| 11月13日～14日 | 平成９年度学校歯科保健研究協議会（兵庫県） |
| 11月29日～30日 | 第19回学校歯科保健研修会（愛知県）<br>44名出席 |

**平成10年**

| | |
|---|---|
| ２月18日 | 平成９年度加盟団体長会 |
| ３月25日 | 第52回総会<br>平成10年度事業計画案，平成10年度収入支出予算案，運営基金の一部取崩しの件について<br>予算額：229,290,000円 |

**¨　W**

**平成９年　４月　診療報酬改定**
**７月　厚生省，「歯科医師の需給に関する検討会」発足**
**９月　第85回 FDI ソウル大会**
**12月　介護保険法案が成立**

# 平成10年度 1998年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 22,638　◆会費 10,000円

**平成10年**

| | |
|---|---|
| 5月23日～24日 | 第20回学校歯科保健研修会（山形県）<br>学校歯科医30名出席 |
| 5月25日 | 平成10年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会（東京都・歯科医師会館） |
| 6月20日～21日 | 第20回学校歯科保健研修会（和歌山県）<br>43名出席 |
| 6月24日 | 第53回総会<br>平成９年度事業報告，平成９年度収入支出決算，余剰金処分の件<br>顧問・参与との懇談会 |
| 7月25日～26日 | 第20回学校歯科保健研修会（佐賀県）<br>45名出席 |
| 10月８日 | 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査会<br>（総応募数143点，最優秀図画６点，ポスター12点） |
| 11月５日 | 第48回全国学校歯科医協議会（宮城県） |
| 11月５日～６日 | 第48回全国学校保健研究大会（宮城県） |
| 11月19日～20日 | 第62回全国学校歯科保健研究大会（沖縄県）約2,000名参加<br>全日本学校歯科保健優良校表彰90校，（文部大臣賞６校，<br>日本歯科医師会特別賞９校） |
| 11月20日 | 平成10年度学校歯科保健研究協議会（沖縄県）<br>初めて第62回全国大会と併催 |

**平成11年**

| | |
|---|---|
| 2月17日 | 平成10年度加盟団体長会<br>平成11年度事業の基本的考え方，計画の大綱，同予算の大綱について |
| 3月24日 | 第54回総会<br>平成11年度事業計画案，平成11年度収入支出予算案について<br>役員選任で西連寺愛憲会長三選<br>協議題，選挙規則ならびに関連事項について<br>予算額：235,200,000円 |

¨　Ẅ

平成10年　4月　診療報酬改定
4月　社会保障の歳出上限制（キャップ制）停止
5月　厚生省の「歯科医師の需給に関する検討会報告書」案発表
10月　第86回 FDI バルセロナ大会

## 平成11年度　1999年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 22,931　◆会費 10,000円

**平成11年**

| | |
|---|---|
| 5月22日～23日 | 第21回学校歯科保健研修会（栃木県）<br>学校歯科医44名出席 |
| 5月26日 | 平成11年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会<br>（東京都・歯科医師会館） |
| 6月12日～13日 | 第21回学校歯科保健研修会（岐阜県）<br>33名出席 |
| 6月23日 | 第55回総会<br>平成10年度事業報告，平成10年度収入支出決算，余剰金処分，選挙規則・定款改正等検討特別委員会設置について<br>顧問・参与との懇談会 |
| 7月10日～11日 | 第21回学校歯科保健研修会（徳島県）<br>33名出席 |
| 7月12日 | 各種委員会第１回合同開催（学校関係１，３，４，普及関係１～３，制度関係１～３） |
| 7月15日 | 第21回学校歯科保健研修会（東京都）　37名出席 |
| 8月4日 | 第38回全日本学校歯科保健優良校表彰審査委員会 |
| 9月30日～10月1日 | 第63回全国学校歯科保健研究大会（北海道）約2,000名参加<br>全日本学校歯科保健優良校表彰91校，（文部大臣賞８校，日本歯科医師会特別賞10校） |
| 10月6日 | 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査会<br>（総応募数149点，図画６点，ポスター12点，特別賞１点） |
| 11月18日 | 第49回全国学校歯科医協議会（岐阜県） |
| 11月18日～19日 | 第49回全国学校保健研究大会（岐阜県） |

**平成12年**

| | |
|---|---|
| 2月16日 | 平成11年度加盟団体長会 |
| 3月22日 | 第56回総会<br>平成12年度事業計画案，平成12年度収入支出予算案を審議，協議題として定款及び定款施行細則一部改正並びに選挙規則制定上程<br>予算額：237,800,000円 |

¨　W

平成11年　10月　第87回 FDI メキシコシティー大会　　平成12年　１月　自民党に歯科小委員会設置（初会合）

# 平成12年度 2000年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 23,059　◆会費 10,000円

**平成12年**

| | |
|---|---|
| 5月20日～21日 | 第22回学校歯科保健研修会（奈良県）<br>学校歯科医40名出席 |
| 5月26日 | 平成12年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会<br>（東京都・国立オリンピック記念青少年総合センター） |
| 6月17日～18日 | 第22回学校歯科保健研修会（岩手県）<br>43名出席 |
| 6月28日 | 第57回総会<br>平成11年度事業報告，平成11年度収入支出決算，余剰金処分の件，定款及び定款施行細則の一部改正並びに選挙規則制定の件，理事選任（補充と交代），顧問・参与との懇談会 |
| 6月28日 | 第１回学校歯科保健アジア会議組織委員会総会 |
| 7月15日～16日 | 第22回学校歯科保健研修会（長崎県）<br>38名出席 |
| 10月５日 | 歯・口の健康に関する図画・ポスター審査会（総応募数148点，最優秀図画６点，ポスター12点） |
| 10月18日 | 全日本学校歯科保健優良校表彰審査委員会 |
| 11月９日 | 第50回全国学校歯科医協議会（福岡県） |
| 11月９日～10日 | 第50回全国学校保健研究大会（福岡県） |
| 11月30日～12月１日 | 第64回全国学校歯科保健研究大会（高知県）約2,000名参加<br>全日本学校歯科保健優良校表彰90校，（文部大臣賞８校，日本歯科医師会特別賞10校） |

**平成13年**

| | |
|---|---|
| 2月22日 | 平成12年度加盟団体長会<br>学校歯科保健アジア会議について報告，他 |
| 3月21日 | 第58回総会<br>運営基金並びに学術研修表彰等基金の一部取崩しの件，平成13年度事業計画案，平成13年度収入支出予算案について審議，役員選挙で西連寺愛憲会長四選<br>予算額：239,300,000円 |

¨ W

平成12年　4月　診療報酬改定を実施
　　5月　第19回日本歯科医学会総会・第22回アジア太平洋歯科大会開催
　　11月　第88回 FDI パリ大会
　　12月　8020推進財団設立

# 平成13年度　2001年度

◆加盟団体数 54　◆会員数 23,230　◆会費 10,000円

**平成13年**

| | |
|---|---|
| 5月22日 | 平成13年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会（東京都）<br>今年度以降文部科学省委託事業となる |
| 6月27日 | 第59回総会，学校歯科医制度70周年・社団法人日本学校歯科医会<br>設立30周年記念式典，記念式典において学校歯科医233名が文部科学大臣表彰を受ける。顧問・参与との懇談会<br>総会日程：平成12年度事業報告，平成12年度収入支出決算，余剰金処分の件 |
| 7月17日 | 学校歯科保健アジア会議海外招待者参加による公開授業見学 |
| 7月18日～19日 | 学校歯科保健アジア会議（東京都） |
| 8月30日 | 第23回学校歯科保健研修会（東京都）<br>学校歯科医58名出席 |
| 9月8日～9日 | 第23回学校歯科保健研修会（埼玉県）<br>36名出席 |
| 10月18日 | 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査会<br>（総応募数146点，最優秀作品・図画６点，ポスター12点） |
| 10月20日～21日 | 第23回学校歯科保健研修会（岡山県）<br>37名出席 |
| 11月8日 | 第51回全国学校歯科医協議会（千葉県） |
| 11月8日～9日 | 第51回全国学校保健研究大会（千葉県） |
| 11月15日～16日 | 第65回全国学校歯科保健研究大会（大阪府）　約3,500名参加<br>全日本学校歯科保健優良校表彰84校，（文部科学大臣賞８校，日本歯科医師会特別賞10校） |
| 12月8日～9日 | 第23回学校歯科保健研修会（長野県）<br>39名出席 |

**平成14年**

| | |
|---|---|
| 2月20日 | 平成13年度加盟団体長会 |
| 3月20日 | 第60回総会<br>運営基金並びに学術研修表彰等基金の一部取崩しの件，平成14年度事業計画案，平成14年度収入支出予算案，選挙規則改正の件が協議題として上程<br>予算額：242,300,000円 |

W

**平成13年　8月　21世紀歯科医療検討会議が中間報告**
**9月　第89回 FDI クアラルンプール大会**

# 第2章 全国学校歯科保健研究大会

## ◆第46回（昭和57年・1982年）～第65回（平成13年・2001年）




昭和６年（1931年）東京において，第１回全国学校歯科医大会が開催されてから太平洋戦争での中断はあったものの70年近い歴史をもつ由緒ある大会である。途中で名称は変更されていったが，昭和50年（1975年）からは時代のニーズを先取りする形でテーマ，サブ・テーマを決め，この統一した主題のもとにシンポジウムや領域別研究協議会が行われて現在に至っている。

第65回大会〔平成13年（2001年）〕から主題を「変革に向けての学校歯科保健の飛躍」としている。

# １．全国学校歯科保健研究大会のこれまでのあゆみ



第56回大会から

本全国大会は，昭和６年（1931年）の第１回大会が開かれて以来，途中戦争による中断はあったものの，平成13年（2001年）で65回を数える学校保健の領域では他に例を見ない長い伝統と歴史をもった大会である。現在の「全国学校歯科保健研究大会」の名称は昭和56年の第45回大会からであり，メインテーマは昭和50年から，「保健指導と保健管理の調和」とすることにし，毎年サブテーマを決めて，この実現を目指してきた。この進め方は昭和61年（1986年）まで12年間にわたって継続された。

文部省は昭和53年『小学校／歯の保健指導の手引』を出し，同年「むし歯予防推進指定校」による研究活動を展開したが，ここに進められた学級における歯科保健指導の実践とその充実は大きく学校を変えることになった。その結果，歯科保健における「指導と管理の調和」に関する実践的研究は飛躍的に進んだ。

そして，小学校でのこの活動は幼稚園から高等学校までの一貫性が求められ，さらに学校・家庭・地域との連携が進められることになった。このことは日本学校保健会による「むし歯予防啓発推進事業」によって強く支えられた。

こうして，この大会の主題としてきた「指導と管理の調和」は初期の目標を達したと総括され，昭和62年(1987年)の第51回大会からメインテーマを「学校歯科保健の包括化」とすることになった。具体的に「発達段階に即した学校歯科保健活動……」をどのように進めるかをその年のサブテーマとして展開されてきた。

健康に関する考え方，取り組み方も時代と共に変化するとともに，歯科保健に対する取り組みも疾病志向から健康志向へと変わってきた。

文部省は平成７年度から健康診断に関する法令（学校保健法施行規則）の改正を行ったが，これは昭和33年（1958年）の学校保健法制定以来の大きな改正であり，ヘルスプロモーションの理念に基づく健康志向への転換を図ったものであった。

21世紀を迎え，超高齢化社会のなかで，幼児から高齢者に至るまで誰もが健康で，生き甲斐のある充実した人生を送ることのできる社会の実現が重要な政策課題になってきた。児童生徒一人ひとりが主体的に自らの健康改善を図ろうとする意欲と強い意志を育てることが求められた。そこで平成８年（1996年）第60回の節目の大会から主題を10年に及ぶ「学校歯科保健の包括化」の成果を踏まえて，「21世紀の学校歯科保健 ―確かな健康観の育成 ―」とした。

新しい時代の教育の在り方を論ずる中で，「生きる力」と「ゆとり」がキーワードとなった。歯科保健指導が「問題発見問題解決型学習」として評価され，その継続的な実践活動が教育課題解決の一助となることが認められてきた。つまり地道で継続的な歯科保健活動が「生きる力」を育むことが証明されたのである。

そこで本大会は，「心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の育成」という学校教育目標の達成に向けて，主体的に生きることのできる幼児・児童生徒の健康づくりを目指し平成13年（2001年）第65回大会から主題を「変革に向けての学校歯科保健の飛躍」とした。

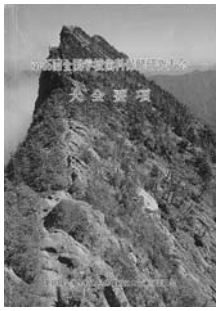
このように，本全国大会は健康教育の流れを先取りする形で議論を深め，多くの成果を残してきた。日本の未来を担う子どもたちの心身共に健全な育成を願う本大会の研究協議は，今後ますます大きな期待が寄せられることになった。

## ２．大会ごとの概要

第46回（昭和57年・1982年）～第65回（平成13年・2001年）までの全国学校歯科保健研究大会の概要を示すと，以下のとおりである。

### 第46回全国学校歯科保健研究大会

**◆昭和57年（1982年）10月15日・16日**
**◆愛媛県　松山市民会館**



主題：「**保健指導と保健管理の調和　― 地域と学校で実践する歯科保健活動 ―**」

**１日目**

式典・「全日本よい歯の学校表彰」（経過措置として行われた）
「奥村賞」（努力賞５校）
記念講演・日本学校歯科医会会長　湯浅泰仁「日本学校歯科医会50年を顧みて」
特別講演・愛知学院大学歯学部教授　榊原悠紀田郎「学校歯科保健の展望」
全体協議会
第１号議案：歯科保健が学校保健計画の中に確実に，しかも充分に位置づけられることを強く要望する（愛媛県歯科医師会）
第２号議案：学校歯科研修会受講者に対する受講修了証交付方の要望について（大阪府公立学校歯科医会）
第３号議案：第５次むし歯半減運動の展開について（日本学校歯科医会）

**２日目**

領域別研究協議会
第一領域・テーマ「学校で実践するよりよい歯科保健活動」
公開授業（松山市立味酒小学校）と研究発表（３題）
第二領域・テーマ「地域で実践するよりよい歯科保健活動」
歯科保健活動紹介（愛媛県大洲喜多歯を守る運動をすすめる会の歩み）と研究発表（３題）
大会宣言文のなかで，新たな「第５次むし歯半減運動」の推進を宣言した。
大会参加者2,237名。

## 第47回全国学校歯科保健研究大会



◆昭和58年（1983年）11月25日・26日
◆◆福岡県　福岡サンパレス

主題：「**保健指導と保健管理の調和**
**― 21世紀に生きる子どもを育てる健康教育の創造 ―**」

**１日目**

領域別研究協議会
第一領域・テーマ「学校におけるよりよい歯科保健活動」
公開授業（北九州市立青山小学校）と実践発表（３題）
第二領域・テーマ「養護学校におけるよりよい歯科保健活動」
福岡市立生の松原養護学校において３題の実践発表
第三領域・テーマ「地域におけるよりよい歯科保健活動」
福岡市都久志会館において３題の実践発表と
九州大学歯学部中田　稔教授，東京歯科大学高江洲義矩教授による講演

**２日目**

式典・「学校歯科保健推進モデル校表彰」
この賞は第５次むし歯半減運動の発動を機に全日本よい歯の学校表彰が再開されるまでの暫定的措置として設けられ，59校が受賞
「奥村賞」（努力賞１校）
特別講演・福岡県粕屋郡篠栗町教育長　林　覚雅氏　「子どもの心を育てる」
全体協議会
第１号：学校歯科保健推進のための組織活動の充実について（大阪市学校歯科医会）
第２号：学校歯科保健に関する段階的指導指針の具体化及び地域歯科保健センターの開設について（大阪府立高等学校歯科医会）
第３号：う蝕予防の効率化を図るために関係機関への歯科衛生士の配置について（横浜市学校歯科医会）
第４号：学校歯科保健研究協議会受講者に対する受講修了証の交付について（福岡県学校歯科医会）
本大会で「第５次むし歯半減運動」を機軸に学校・家庭・地域が一体となって健康教育を推進することを宣言した。
大会参加者約1,400名

## 第48回全国学校歯科保健研究大会

**◆昭和59年（1984年）９月28日・29日**
**◆山形県　山形グランドホテル**




主題：「**保健指導と保健管理の調和　― ライフサイクルの中の歯科保健 ―**」

この大会では新しい試みとして，大会前日に行われていた領域別協議会に代わるものとして第１日目にシンポジウムが行われた。

**１日目**

座長・愛知学院大学教授　榊原悠紀田郎

シンポジスト

| | | |
|---|---|---|
| 「学校歯科保健と教員の役割」 | 山形大学教育学部教授 | 杉浦　守邦 |
| 「最近における学校歯科保健に関する施策について」 | 文部省体育局教科調査官 | 吉田瑩一郎 |
| 「歯科保健指導を中心に進める歯科保健対策」 | 日本大学松戸歯学部教授 | 森本　　基 |
| 「学校歯科保健と地域歯科保健活動の連携」 | 東京歯科大学教授 | 高江洲義矩 |

**２日目**

式典・「学校歯科保健推進モデル校表彰」61校

「奥村賞」（推薦賞１校，努力賞２校）

記念講演・東武動物公園長　西山登志雄氏

「動物賛歌 ― 母と子のふれあいを求めて ―」

実践事例発表

前年度から日本学校保健会センター的事業としてスタートした「むし歯予防啓発推進事業」に関する埼玉県の３つの取り組みが発表された。

全体協議会

| | |
|---|---|
| 第１号：教職員の学校歯科検診の強化徹底について | （鹿児島県学校歯科医会） |
| 第２号：学校歯科健康診断時における環境整備について要望する | （宮城県学校歯科医会） |
| 第３号：学校給食後の歯みがきの徹底について行政指導を要望する。 | （宮城県学校歯科医会） |
| 第４号：第５次むし歯半減運動の強力な推進を要望する | （愛媛県歯科医師会） |

大会参加者約1,300名。

## 第49回全国学校歯科保健研究大会

◆昭和60年（1985年）10月25日・26日
◆奈良県　奈良県文化会館




主題：「**学校歯科保健の管理と指導の調和　― 基本的生活習慣の形成と食生活 ―**」

この大会では，第一日目に大会式典（開会式・表彰式），記念講演，シンポジウムを，そして二日目に，領域別研究協議，全体協議会という今日のスタイルが採られた。

**１日目**

式典・「全日本よい歯の学校表彰」58小学校

この年から最優秀校には文部大臣表彰が贈られることになった。

東京都世田谷区立桜小学校

「第27回奥村賞」（努力賞１校）

記念講演・壺阪寺住職　常磐勝憲氏「近代化とは」

シンポジウム（座長・大阪歯科大学小西浩二教授）

「丈夫な歯を育てる習慣づくり　― やりぬく強い子をめざして ―」
奈良県国栖小学校教頭　山本　賢一

「口腔病（むし歯，歯周病，咬合異常）の予防　― 現代社会環境と口腔病の予防 ―」
奈良県歯科医師会　今岡　久

「基本的生活習慣と食生活　― 歯の保健指導の立場から ―」
文部省体育局教科調査官　吉田瑩一郎

「食生活を中心とした基本的生活習慣の形成　― 管理と調和を中心に ―」
日本大学松戸歯学部教授　森本　基

**２日目**

領域別研究協議会

第一領域・「基本的生活習慣と食生活」をテーマに明治小学校の公開授業と研究発表

第二領域・「たべるということ」をテーマに基調講演と事例報告

全体協議会

第１号：咀嚼能力を育成する運動の展開を要望する。（名古屋市学校歯科医会）

第２号：学校教職員の健康診断規定の中に歯・口腔に関する検査項目の充実を図るよう強く要望する。（東京都学校歯科医会）

第３号：学校給食の運営に学校歯科医および学校保健関係者の参加を要望する。（奈良県歯科医師会）

大会参加者2,026名。

# 第50回全国学校歯科保健研究大会

◆昭和61年（1986年）９月19日・20日
◆岩手県　岩手県民会館




主題：「**学校歯科保健の管理と指導の調和**
**― 学校・家庭・地域が一体となった学校歯科保健活動 ―**」

## １日目

式典・50回の記念すべき大会ということで，156名の学校歯科医が文部大臣表彰を受けるという意義深い大会であった。
「全日本よい歯の学校表彰」受賞校58校のうち，３校が文部大臣表彰を受けた。
奥村賞には応募校がなかった。
記念講演・岩手大学名誉教授　板橋　源氏「平泉藤原氏の成立とその文化」
全体シンポジウム（座長・日本大学松戸歯学部森本　基教授）
「学校歯科保健の管理と指導の調和　― 岩手県下の実践活動と将来 ―」
岩手医科大学歯学部教授　片山　剛
「学校歯科保健の実践活動　― むし歯半減運動の展開と変遷を通して ―」
東京歯科大学　高江洲義矩
「学校教育における歯科保健活動
― むし歯予防推進指定校とむし歯予防啓発推進事業の実践を通して ―」
文部省体育局体育官　吉田瑩一郎

## ２日目

領域別研究協議会
第一領域・雫石町立西根小学校での公開授業と研究発表
第二領域・「学校におけるむし歯予防活動のすすめかた」をテーマに研究協議
全体協議会
第１号議案：学校歯科保健の重要課題として教員研修の充実強化を希望する。
（大阪市学校歯科医会）
第２号議案：21世紀にむけて文部省の「むし歯予防推進指定校」制度の充実・強化を要望する。（東京都学校歯科医会，宮城県学校歯科医会，埼玉県歯科医師会，神奈川県歯科医師会学校歯科部会，名古屋市学校歯科医会，大阪府学校歯科医会，福岡県学校歯科医会）
第３号議案：学校教職員の健康診断規定の中に歯・口腔に関する検査項目の充実を図るよう強く要望する。（岩手県歯科医師会）
昭和46年第35回大会からこの大会まで続いたメインテーマ「保健管理と保健指導の調和」は新たなテーマに変わることになった。大会参加者約1,500名。

## 第51回全国学校歯科保健研究大会

◆昭和62年10月23日・24日
◆岐阜県　岐阜市文化センター




主題：「**学校歯科保健の包括化　― 発達段階に即した学校歯科保健のあり方を求めて―**」

**１日目**

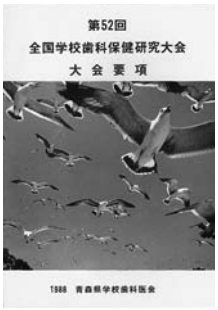
式典・「全日本よい歯の学校表彰」57校（最優秀校３校に文部大臣賞が授与された）
第29回「奥村賞」１校，「奥村賞推薦賞」１校（この大会を最後に奥村賞は休止することになった。）
記念講演・長良川鵜匠杉山秀夫氏「長良川の鵜飼」
シンポジウム・テーマ「発達段階に即した学校歯科保健のあり方を求めて」
（座長　大阪歯科大学教授　小西　浩二）
「発達段階における児童生徒の歯の保健指導と目標」　文部省体育局体育官　吉田瑩一郎
「歯科保健から見た児童生徒の発達課題 ― 心身の発達段階 ―」
朝日大学歯学部教授　可児　瑞夫
「歯科保健指導における学校歯科医の役割」　岐阜市立本荘小学校学校歯科医　蒲生　勝巳
「習慣形成の心理のメカニズム」　広島大学学校教育学部教授　西山　啓二

**２日目**

分科会・テーマ「歯科保健指導の進め方」
小学校（幼稚園）分科会・本巣郡穂積小学校の公開授業と２題の研究発表
中学校分科会・研究発表２題
高等学校分科会・研究発表３題
全体協議会
第１号：学校歯科検診に使用する器具（ミラー，ピンセット，エクスプローラーなど）の数および滅菌消毒器具，薬剤の整備を図ることを要望する。（大阪府学校歯科医会，大阪市学校歯科医会，滋賀県歯科医師会，京都府学校歯科医会，和歌山県学校歯科医会，兵庫県学校歯科医会，奈良県歯科医師会）
第２号：学校保健委員会の充実強化［学校歯科保健・学校教育の啓発］を要望する。（大阪市学校歯科医会）
第３号：生涯にわたる歯・口腔の健康を守るため，小・中・高等学校における歯科保健の教育内容と指導時間数の充実・強化を要望する。（岐阜県歯科医師会）
「保健指導と保健管理の調和」を家庭・地域にまで発展，定着させることを目標に「学校歯科保健の包括化」として，展開することを宣言した。
大会参加者約1,500名。

# 第52回全国学校歯科保健研究大会

◆昭和63年（1988年）10月14日・15日
◆青森県八戸市　八戸市公会堂




主題：「**学校歯科保健の包括化　― 発達段階に即した学校歯科保健指導を進めるために ―**」

## １日目

式典・「全日本よい歯の学校表彰」65校（文部大臣賞５校）

シンポジウム（座長・日本大学松戸歯学部教授　森本　　基）

「子供の発達段階からみた歯科保健指導の目標」　明海大学歯学部教授　中尾　俊一

「学校における歯科保健指導の指導計画」　文部省体育局体育官　吉田瑩一郎

「健康な体づくりに進んでとりくむ子どもの育成　～歯や口の保健指導に焦点をおいて～」
神奈川県川崎市立小田小学校長　須藤　孝子

「学校歯科保健の推進に果たす学校歯科医の役割　～特に組織活動を通じて～」
八戸市学校歯科医会会長　立花　義康

記念講演・神奈川歯科大学口腔生化学　斉藤　　滋教授

「古代食を考える～学校給食への提言～」

## ２日目

「歯科保健指導の実践」をテーマにそれぞれの部会で公開授業と研究協議が行われた。

幼稚園・小学校部会・八戸市長者小学校の公開授業と３つの研究発表

中学校部会・八戸市立第一中学校の公開授業と３つの研究発表

高等学校部会・青森県立八戸西高等学校の公開授業と３つの研究発表

全体協議会

第１号：「歯周疾患」の保健教育・管理に関する学校保健環境の整備とその拡充を要望する。
（神奈川県歯科医師会）

第２号：学校教職員の健康診断規定の中に歯・口腔に関する検査項目の充実を図るよう強く要望する。（東京都学校歯科医会）

第３号：児童・生徒の健全な歯周組織と咬合の育成を図るため，学校給食内容の改善と給食後の歯みがきの実施を要望する。（青森県学校歯科医会）

「第６次むし歯半減運動」の推進を盛り込んだ大会宣言を発表して幕を閉じた。

大会参加者1,545名。

## 第53回全国学校歯科保健研究大会

◆平成元年（1989年）10月27日・28日
◆和歌山県　和歌山市民会館




主題：「学校歯科保健の包括化　― 発達段階に即した歯科保健指導の展開と生活化を目指して ―」

**１日目**

式典・「全日本よい歯の学校表彰」74小学校（最優秀校の６校に文部大臣賞）
記念講演・作家藤本義一氏　「現代人を考える」
シンポジウム（座長・大阪歯科大学教授　小西　浩二）
「発達段階に即した歯科保健指導の展開と生活化をめざして
― 生活化をめざした歯科保健指導をよりよく進めるために ―」
日本体育大学教授　吉田瑩一郎
「発達段階に即した学校歯科保健指導の展開と生活化をめざして
― 実践力を育てる歯科保健指導の進め方 ―」　日本大学松戸歯学部教授　森本　基
「発達段階に即した学校歯科保健指導の展開と生活化をめざして
― 家庭・地域への働きかけと連携のあり方 ―」　明海大学歯学部教授　中尾　俊一
「発達段階に即した学校歯科保健指導の展開と生活化をめざして
― 学校歯科保健指導に果たす学校歯科医の役割 ―」　日本学校歯科医会常務理事　石川　實

**２日目**

部会別研究協議
幼稚園・小学校部会・和歌山市立高松小学校での公開授業と３つの研究発表
中学校部会・４つの研究発表
高等学校部会・３つの研究発表
全体協議会
第１号：学校保健委員会の設置とその実効ある運営を要望する。　（千葉県歯科医師会）
第２号：学校における歯周保健教育の充実及び歯周疾患検査基準の確立を要望する。
（東京都学校歯科医会）
第３号：就学児童健診時に，六歳臼歯を主体とした歯口清掃の指導・強化・徹底の協力を行政に望む。　（青森県学校歯科医会）
学校歯科保健活動の生活化を進めると共に「第６次むし歯半減運動」の推進を目指した大会宣言をもって閉幕した。
大会参加者約2,000名。

# 第54回全国学校歯科保健研究大会

**◆平成２年（1990年）10月19日・20日**
**◆広島県　広島厚生年金会館**




主題：「**学校歯科保健の包括化　― 発達段階に即した歯科保健指導と生活化推進 ―**」

## １日目

式典・「全日本よい歯の学校表彰」87校

（最優秀校６校に文部大臣賞と副賞が，この年より優秀校６校には日本歯科医師会会長賞として特別賞が贈られた。）

記念講演・シナリオライターのジェームス三木氏「人生とドラマ」

シンポジウム（座長・大阪歯科大学教授　小西　浩二）

「発達段階に即した学校歯科保健指導と生活化の推進を図るために」
文部省体育局体育官　猪股　俊二

「実践力を育てる学校歯科保健指導計画と指導の在り方」
岡山県教育庁保健体育課課長補佐　守屋　靖

「歯科保健を進めるための学校・家庭・地域の果たす役割とその連携」
日本体育大学教授　吉田瑩一郎

「歯科保健指導に果たす学校歯科医の役割」　広島県歯科医師会常務理事　高木　勇蔵

## ２日目

部会別研究協議

「幼稚園，保育所部会」・２つの発表

「小学校部会」・広島市立吉島東小学校の公開授業と研究発表（４題）

「中学校部会」・広島市立美鈴が丘中学校での公開授業と研究発表（４題）

「高等学校部会」・広島県立広島皆実高等学校での公開授業と研究発表（５題）

全体協議会

第１号：学校健診をより万全にするために照明および検診器具等の整備拡充をを要望する。（青森県学校歯科医会）

第２号：児童生徒の歯・口腔の健全な育成を図るため「むし歯予防推進校」制度のさらなる充実強化を要望する。（東京都学校歯科医会）

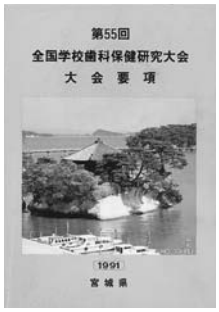
第３号：学校保健委員会の設置ならびに充実を要望する。（広島県歯科医師会）

健康課題の日常生活での意識化と幅広い学校歯科保健活動の積極的な推進を宣言して幕を閉じた。

大会参加者約2,000名。

# 第55回全国学校歯科保健研究大会

◆平成３年（1991年）10月18日・19日
◆宮城県　仙台サンプラザ




主題：「**学校歯科保健の包括化**
**― 発達段階に即した歯科保健指導と生活化 ―**」

## １日目

式典・「全日本よい歯の学校表彰」79小学校
（このうち６校の最優秀校に文部大臣表彰が，８校に特別賞として日本歯科医師会会長賞が贈られた。）

記念講演・東北大学名誉教授・盛岡大学長　高橋富雄　「正宗と常長」

シンポジウム（座長・日本大学松戸歯学部教授　森本　　基）

「学校歯科保健の包括化」　文部省体育局体育官　猪股　俊二

「学校における歯科保健指導の指導計画と指導の在り方」
日本体育大学教授　吉田瑩一郎

「学校・家庭・地域の果たす役割とその連携」　明海大学歯学部教授　中尾　俊一

「発達段階に即した歯科保健指導と生活化　― 学校歯科医の役割 ―」
宮城県歯科医師会常務理事　中條　幸一

## ２日目

部会別協議会

「幼稚園・保育所部会」・仙台市立東二番町幼稚園での公開授業と３研究発表

「小学校部会」・仙台市立広瀬小学校での公開授業と３研究発表

「中学校部会」・仙台市立広瀬中学校での公開授業と３研究発表

「高等学校部会」・宮城県立広瀬高等学校での公開授業と２つの発表

全体協議会

第１号：学校歯科健診をより万全にするために検査器具及び検査場の整備拡充を要望する。（宮城県歯科医師会）

第２号：学校保健委員会の設置並びに活動の充実を強く要望する。（埼玉県歯科医師会）

第３号：学校健診の基準見直しの際に教育的な事後措置に活用できるような様式を考慮されることを要望する（富山県学校歯科医会）

大会参加者1,912名。

# 第56回全国学校歯科保健研究大会

**◆平成４年（1992年）11月13日・14日**
**◆徳島県　徳島市立文化センター**




主題：「**学校歯科保健の包括化**
**― 発達段階に即した学校歯科保健活動と生活化を図るために ―**」

## １日目

式典・「全日本よい歯の学校表彰」81校
（最優秀校６校が文部大臣表彰，特別賞８校が日本歯科医師会長表彰）
記念講演・作家渡辺淳一氏 「それぞれの才能」
シンポジウム
（座長・日本体育大学教授　吉田瑩一郎，副座長・日本大学松戸歯学部教授　森本　基）
「小学校における学校歯科保健活動の重点と進め方　― 観察と体験を通して ―」
東京都江東区立第二亀戸小学校養護教諭　三木とみ子
「心豊かにたくましく生きぬくために」
青森県西津軽郡木造町立木造中学校学校歯科医　川島　慶三
「高等学校における歯科保健活動の重点と進め方　― 今何故高等学校の歯科保健なのか ―」
大阪府立和泉養護学校学校歯科医　龍門　敦子
「子供に見られる咬合異常と個別指導の着眼点」　東京医科歯科大学歯学部教授　黒田　敬之

## ２日目

部会別協議会
「幼稚園・保育所部会」・５つの研究発表
「小学校部会」・徳島市立佐古小学校の公開授業と３つの研究発表
「中学校部会」・徳島市立城西小学校の公開授業と３つの研究発表
「高等学校部会」・３つの研究発表
全体協議会
第１号：学校における健康診断のうち，「歯科健康審査」について，教育的な事後措置に活用できる様式を考慮の上，基準を改訂されることを要望する。（徳島県学校歯科医会）
第２号：児童生徒の健康な歯・口腔の育成を図るため「むし歯予防推進指定校」研究活動の継続を要望する。（高知県学校歯科医会）
第３号：春秋叙勲推薦基準の見直しを強く要望する。（神奈川県歯科医師会）
第４号：日本体育・学校健康センター法施行規則における災害共済給付金の見直しを要望する。（近畿地区学校歯科医会（学校歯科部）連絡協議会）
第５号：昭和31年から６次に亘って日本学校歯科医会が展開してきた「むし歯半減運動」の発展

的解消を宣言し，新たに「歯・口腔の健康」を具現するための新しい運動展開を開始することを要望する（緊急動議）。　（東京都学校歯科医会）

これを踏まえて，「むし歯半減運動」の発展的解消と，新たな「歯・口の健康」を具現化する運動の展開を宣言した。

大会参加者1,762名。

## 第57回全国学校歯科保健研究大会

**◆平成５年（1993年）12月２日・３日**

**◆埼玉県　大宮ソニックシティ大ホール**




主題：「**学校歯科保健の包括化**

**― 発達段階に即した学校歯科保健活動と生活化を図るために ―**」

**１日目**

式典・「全日本よい歯の学校表彰校」86校

（６校に文部大臣賞と副賞が，７校に特別賞として日本歯科医師会長賞）

記念講演・放送タレント永六輔氏，放送パーソナリティ遠藤泰子氏　「誰かとどこかで」

シンポジウム（座長・日本大学松戸歯学部教授　森本　　基）

「学校歯科保健指導計画と指導のあり方」　文部省体育局体育官　猪股　俊二

「学校歯科保健指導の目標と内容の検討」　明海大学歯学部教授　中尾　俊一

「学校歯科保健活動における学校歯科医の課題」

埼玉県歯科医師会学校歯科部常任委員　森田　芳和

「おしゃれと歯の健康」　埼玉県羽生市立西中学校校長　今成　　力

**２日目**

部会別研究協議会

「幼稚園・保育所（園）部会」・大宮市立幼児教育センター付属幼稚園の公開授業，３研究発表

「小学校部会」・大宮市立桜木小学校での公開授業と３研究発表

「中学校部会」・大宮市立大成中学校での公開授業と３研究発表

「高等学校部会」・３研究発表

「口腔機能部会」・４名の学識者による研究協議

全体協議会

第１号：教育的な事後措置に適する健康診断の基準に関する検討を要望する。

（愛知県歯科医師会）

第２号：「歯・口の健康つくり推進指定校」制度の展開を要望する。

（福島県歯科医師会学校歯科医部会）

第３号：給食後の歯口清掃の習慣化を図るために，洗口場等の環境整備とその充実方を要望する。（埼玉県歯科医師会）

第４号：春秋叙勲推薦基準の見直しを強く要望する。（大阪府学校歯科医会）

大会参加者約3,000名。

## 第58回全国学校歯科保健研究大会

**◆平成６年（1994年）９月29日・30日**

**◆富山県　富山県民会館**




主題：「**学校歯科保健の包括化**

**― 発達段階に即した歯科保健活動の生活化達成をめざして ―**」

### １日目

式典・「全日本よい歯の学校表彰」88校

（最優秀６校に文部大臣賞と副賞が，８校に特別賞として日本歯科医師会長賞）

記念講演・漫画家富永一郎氏　「人生みな恩人」

シンポジウム（座長・日本大学松戸歯学部教授　森本　　基）

「学校歯科保健指導の目標と学習内容の関連について」 日本体育大学教授　吉田瑩一郎

「学校における歯科保健指導計画の作成と指導の重点」

文部省体育局学校健康教育課教科調査官　戸田　芳雄

「進んでよい歯をつくる宮川っ子をめざして」 富山県中新川郡上市町立宮川小学校長　廣田　　功

「顎口腔系の健全な発達を考えた歯科保健指導を……」

沖縄県歯科医師会学校歯科担当理事　宮城　正廣

### ２日目

領域別研究協議会

公開授業は富山市立東部小学校と富山市立芝園中学校

「幼稚園・保育所（園）部会」，「小学校部会」，「中学校部会」ではそれぞれ３つの，「高等学校部会」，「口腔機能部会」では２つの研究発表

全体協議会

第１号：地方交付税積算基準による学校医等の手当の完全支給を要望する。（青森県学校歯科医会）

第２号：CO・GO ならびに咀嚼機能の問題について教育的周知の徹底を要望する。（福島県歯科医師会学校歯科医部会）

第３号：学校保健委員会の設置並びに活動の充実を強く要望する。（富山県学校歯科医会）

大会参加者約1,400名。

## 第59回全国学校歯科保健研究大会

◆平成７年（1995年）10月19日・20日
◆愛知県　名古屋国際会議場




主題：「**学校歯科保健の包括化　― 発達段階に即した歯科保健指導の展開 ―**」

**１日目**

式典・「全日本よい歯の学校表彰」89校
（最優秀校６校に文部大臣賞と副賞が，特別賞校７校に日本歯科医師会長賞が授与）
記念講演・中村メイコ「私の生き方」
シンポジウム・テーマ「発達段階に即した学校歯科保健指導の展開」
座長・日本大学松戸歯学部教授　森本　　基
「学校における歯科保健指導計画の作成と指導の重点」
文部省体育局学校健康教育課教科調査官　戸田　芳雄
「学校歯科保健指導の指導計画と指導の重点」　日本体育大学教授　吉田瑩一郎
「学校歯科保健の包括化－発達段階に即した歯科保健指導の展開」
石川県立金沢北陸高等学校　津雲　達雄
「発達段階に即した歯科保健活動の展開
― 学校歯科保健活動に環境改善の手法の導入を提言する―」
愛知県歯科医師会専務理事　坂井　　剛

**２日目**

特別テーマセッション・「特殊教育における歯科保健活動を通して」
領域別研究協議会
小学校部会・公開授業（名古屋市立大宝小学校）と３研究発表
中学校部会・４研究発表
高等学校部会・２研究発表
口腔機能部会・２研究発表
全体協議会
第１号：春秋叙勲推薦基準の見直しを要望する　（和歌山県学校歯科医会）
第２号：学校での健康診断の「保健調査」の調査項目内容の検討を要望する
（高知県歯科医師会学校保健部）
第３号：地方交付税積算基準による学校歯科医等の手当の完全支給を要望する
（愛知県歯科医師会）
第４号：学校での健康診断（歯・口腔）をより万全にするために照明および検診器具の
整備拡充を要望する　（福島県歯科医師会学校歯科医部会）

過去10年間にわたった主題「学校歯科保健の包括化」は初期の目的を達したとしてこの大会で終了した。

大会参加者約4,000名。

## 第60回全国学校歯科保健研究大会




◆平成８年（1996年）11月21日・22日

◆東京都　東京文化会館

主題：「21世紀の学校歯科保健　― 確かな健康観の育成 ―」

### １日目

式典・皇室から秋篠宮同妃殿下がご臨席され，お言葉を述べられた。

第60回を記念して，文部大臣表彰が行われ，199名の先生方が受賞の栄に浴された。

「全日本よい歯の学校表彰」87校

文部大臣賞６校，日本歯科医師会特別賞８校

記念講演・「今，学校にもとめられているもの」　跡見学園女子大学教授　西村　文男

シンポジウム（座長・NHK 放送総局専門委員　小六　英介）

「教育職の専門的立場から，教育の中に占める健康教育の位置付け」

国際武道大学教授　猪股　俊二

「確かな健康観の育成」　大阪大学歯学部口腔生理学教授　森本　俊文

「学校における健康教育と歯科保健活動」　全国養護教諭連絡協議会会長　中村　道子

「確かな健康観の育成を目指す学校歯科保健活動における学校歯科医の役割と関わり方」

日本大学松戸歯学部衛生学教授　森本　基

### ２日目

領域別研究協議会

「幼稚園・保育所部会」，「小学校部会」，「中学校部会」，「高等学校部会」の４部会でそれぞれ基調講演と３題の研究発表があった。

全体協議会

第１号：学校での健康診断（歯科）の普及徹底を要望する　（東京都学校歯科医会）

第２号：学校教職員の健康診断規定の中に歯・口腔の検査項目を入れることを要望する　（大阪府学校歯科医会）

第３号：春秋叙勲推薦基準の見直しを要望する　（鹿児島県学校歯科医会）

第４号：学校保健委員会の設置とその活動の充実，特に歯科保健活動の活性化を要望する　（福島県歯科医師会学校歯科医部会）

大会参加者約2,000名。

# 第61回全国学校歯科保健研究大会

◆平成９年（1997年）10月16日・17日
◆福島県　福島県文化センター




主題：「21世紀の学校歯科保健　― 確かな健康観の育成を目指して ―」

## １日目

式典・「全日本よい歯の学校表彰」87校
文部大臣表彰（最優秀校６校），日本歯科医師会長賞（特別賞９校）
記念講演・「動物の歯と健康」　元東京都恩賜上野動物園園長　増井　光子
シンポジウム（座長・東京医科歯科大学教授　岡田昭五郎）
「確かな健康観の育成をめざす学校における健康教育と歯科保健活動の在り方」
奥羽大学歯学部口腔衛生学教授　楠　　憲治
「歯科医学からみたこれからの健康観と学校歯科保健活動の在り方」
日本大学歯学部小児歯科学教授　赤坂　守人
「確かな健康観の育成をめざす学校歯科保健活動のすすめかた」
千葉県佐原市第五中学校　　多田美津子
「確かな健康観の育成をめざす学校歯科保健活動における学校歯科医の役割とかかわり方」
滋賀県大津市立平野小学校学校歯科医　人見　晃司

## ２日目

公開授業・福島市立福島第三小学校，福島市立北信中学校
領域別研究協議会
「幼稚園・保育所部会」，「小学校部会」，「中学校部会」，「高等学校部会」でそれぞれ基調講演と研究発表が行われた。
全体協議会
第１号：保健室備品，特に歯科の健康診断用の検診器具ならびに消毒設備および照明等の整備拡充を要望する　（福島県歯科医師会学校歯科医部会）
第２号：春秋叙勲推薦の見直しを要望する　（東京都学校歯科医会）
第３号：学校での健康診断（歯科）の充実と事後措置の更なる普及徹底を要望する　（沖縄県歯科医師会学校歯科医会）
第４号：給食後の歯口清掃の習慣化を図るために洗口場等の環境整備とその充実を要望する　（福井県学校歯科医会）
大会参加者約2,000名。

# 第62回全国学校歯科保健研究大会

**◆平成10年（1998年）11月19日・20日**
**◆沖縄県　沖縄コンベンションセンター**




主題：「**21世紀の学校歯科保健　― 長寿につながる確かな健康観の育成をめざして―**」

## １日目

式典・「全日本学校歯科保健優良校表彰」90校
このうち文部大臣賞６校，日本歯科医師会長賞９校
記念講演・「ムー大陸は琉球にあった」琉球大学理学部物質地球科学科教授　木村　政昭
シンポジウム（座長　日本学校歯科医会専務理事　森本　　基）
「長寿につながる健康観の育成を目指す学校における健康教育と歯科保健活動の在り方」
国際武道大学教授　猪股　俊二
「新しい学校歯科健康診断と保健教育の課題」　日本大学歯学部小児歯科学教授　赤坂　守人
「成長期に現れる不正咬合と顎機能障害への対応」
鹿児島大学歯学部歯科矯正学教授　伊藤　学而
「歯科医学からみたこれからの健康観と学校歯科保健活動の在り方
（歯周病学の立場から歯周問題を中心に）」
日本大学歯学部保存学教室歯周学講座助教授　伊藤　公一

## ２日目

領域別研究協議会
「幼稚園・保育所部会」，「小学校部会」，「中学校部会」，「高等学校部会」の４部会でそれぞれ講義と２題ずつの研究発表があった。
全体協議会
第１号：学校歯科検診用の照明と感染症に対する設備の充実を要望する
（沖縄県歯科医師会学校歯科医会）
第２号：学校歯科保健教育の充実を図る意味からも学校教職員の歯科健康診断実施を望む
（北海道歯科医師会）
第３号：学校管理下でのスポーツ外傷に対する対策の検討を望む　（愛知県歯科医師会）
第４号：学校での健康診断における探針の使用（ガイドライン）についての検討を要望する
（近畿地区学校歯科医会連絡協議会）
この大会では平成10年度学校歯科保健研究協議会が併催された。
大会参加者約2,000名。

## 第63回全国学校歯科保健研究大会

◆平成11年（1999年）９月30日・10月１日
◆北海道　ロイトン札幌




主題：「21世紀の学校歯科保健　―生涯に通ずる確かな健康観の育成を目指して―」

### １日目

式典・「全日本学校歯科保健優良校表彰」91校
　うち最優秀校（文部大臣表彰）８校，特別賞（日本歯科医師会長賞）10校
記念講演・「冒険への挑戦と子育て」　プロスキーヤー　三浦雄一郎氏
シンポジウム（座長・日本学校歯科医会専務理事　森本　　基）
「生涯に通ずる確かな健康観の育成をめざす学校における健康教育と歯科保健活動の在り方」
国際武道大学教授　猪股　俊二
「歯科医学からみた生涯に通ずる健康観と学校歯科保健活動の在り方」
明海大学歯学部口腔衛生学教授　安井　利一
「生涯に通ずる確かな健康観の育成を目指す学校歯科保健活動の進め方」
東京都中央区立有馬小学校長　木暮　義弘
「学校歯科保健活動における学校歯科医の役割とかかわり方」
東京都教育庁体育部保健給食課歯科保健担当係長　白井　淳子

### ２日目

領域別研究協議会
「幼稚園・保育所（園）部会」，「小学校部会」，「中学校部会」，「高等学校部会」の４部会に分かれてそれぞれ基調講演と３名の研究発表があった。
全体協議会
第１号：学校保健委員会の設置とその活動の充実，特に歯科保健活動の活性化を要望する（北海道歯科医師会）
第２号：学校歯科保健の新たな具体的目標の設定を要望する（沖縄県歯科医師会学校歯科部会）
第３号：学校保健統計調査の継続実施を要望する（東京都学校歯科医会）
第４号：学校保健法に基づく児童生徒の医療券による医療援助制度の内容改善について（滋賀県歯科医師会）

大会参加者約2,000名。

## 第64回全国学校歯科保健研究大会

◆平成12年（2000年）11月30日・12月１日
◆高知県　高知県立県民文化ホール




主題：「21世紀の学校歯科保健　－８０２０につながる確かな健康観の育成をめざして－」

### １日目

式典・「全日本学校歯科保健優良校表彰」90校
　うち最優秀校（文部大臣賞）８校，特別賞（日本歯科医師会長賞）10校
記念講演・「龍馬の手紙からみる《いろは丸事件》」　高知県立坂本龍馬記念館長　小椋　克己
シンポジウム（座長・国際武道大学大学院教授　猪股　俊二）
「確かな健康観の育成を目指す学校歯科保健教育
　～生涯を通じて健康に「生きる力」をはぐくむために～」
文部省体育局学校健康課長　高杉　重夫
「21世紀の学校歯科保健への期待　～確かな健康観の育成をめざす県行政の進め方～」
高知県知事　橋本大二郎
「21世紀の学校歯科保健　～８０２０に繋がる確かな健康観の育成をめざして～」
母子愛育会・日本子ども家庭総合研究所長　平山　宗宏
「８０２０につながる確かな健康観の育成をめざして
　～歯科医学からみた21世紀の学校歯科保健への期待～」
明海大学歯学部口腔衛生学教授　安井　利一

### ２日目

公開授業・「杉の子幼稚園」・「横浜小学校」
　領域別研究協議会・「幼稚園・保育所（園）部会」，「小学校部会」，「中学校部会」，「高等学校部会」の４部会でそれぞれ基調講演と２つの研究発表があった。
文部省解説・「新しい学習指導要領と健康教育」文部省体育局教科調査官　戸田　芳雄
全体協議会
　第１号：学校歯科医の認定制度についての検討を望む　（高知県歯科医師会）
　第２号：スポーツ歯科についての検討を更に進めることを望む　（北海道歯科医師会）
　第３号：学校歯科保健教育の更なる充実を図る意味から学校教職員の歯科健康診断実施を望む　（沖縄県歯科医師会）
　第４号：春秋叙勲推薦基準の見直しを強く要望する　（東京都学校歯科医会）
大会参加者約2,000名。

## 第65回全国学校歯科保健研究大会

◆平成13年（2001年）11月15日・16日
◆大阪府　大阪国際会議場（グランキューブ大阪）




21世紀最初の記念すべき本大会では20世紀における研究の成果を踏まえ，新しいテーマを掲げた。

主題：「**変革に向けての学校歯科保健の飛躍**
**― 生涯にわたる健康意識の向上と実践力の育成をめざして ―**」

**１日目**

式典・「全日本学校歯科保健優良校」84校
　うち最優秀校（文部科学大臣賞）８校，特別賞（日本歯科医師会長賞）10校
記念講演・「こころとからだ」作家　渡辺淳一
シンポジウム（座長・大阪大学大学院歯学研究科教授　森本　俊文）
「生涯にわたる健康意識の向上をめざす健康教育と歯科保健活動」
順天堂大学スポーツ健康科学部大学院教授　大津　一義
「生涯にわたる健康意識の向上をめざす行政の進め方」　大阪府健康福祉部長　高杉　豊
「生涯にわたる健康意識の向上と実践力の育成をめざす学校歯科保健活動の進め方」
明海大学歯学部口腔衛生学講座教授　安井　利一
「生涯にわたる健康意識の向上をめざす学校歯科医の職務」
日本学校歯科医会理事　中條　幸一

**２日目**

領域別研究協議会・「幼稚園・保育所（園）部会」，「小学校部会」，「中学校部会」，「高等学校部会」の４部会での基調講演，研究発表と大阪府歯科医師会によるプレゼンテーション「盲・聾・養護学校協議会」が開催された。
文部科学省解説・「新学習指導要領と健康教育」
　文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課　戸田　芳雄
全体協議会
　第１号：学校での健康診断の精度を高めるための取り組みを要望する（大阪府歯科医師会）
　第２号：スポーツ歯科についての検討を継続して進めることを要望する
（福島県歯科医師会）
　第３号：学校歯科健康診断結果の集計処理の電算化を要望する　（山口県歯科医師会）
大会参加者約3,500名。

# 全国学校歯科保健研究大会年次表

| 回 | 開催地 | 年　月　日 | 回 | 開催地 | 年　月　日 |
|---|---|---|---|---|---|
| ❶ | 東　京 | 昭和６年４月６日 | ㉞ | 静　岡 | 昭和45年10月25日～26日 |
| ❷ | 東　京 | 昭和７年４月８日 | ㉟ | 千　葉 | 昭和46年10月28日～29日 |
| ❸ | 福　岡 | 昭和８年５月20日～22日 | ㊱ | 秋　田 | 昭和47年10月10日～11日 |
| ❹ | 名古屋 | 昭和９年５月20日～22日 | ㊲ | 東　京 | 昭和48年11月17日～18日 |
| ❺ | 東　京 | 昭和10年５月19日～20日 | ㊳ | 京　都 | 昭和49年10月12日～13日 |
| ❻ | 山　梨 | 昭和11年５月３日～５日 | ㊴ | 香　川 | 昭和50年11月15日～16日 |
| ❼ | 大　阪 | 昭和12年５月16日～18日 | ㊵ | 栃　木 | 昭和51年10月30日～31日 |
| ❽ | 静　岡 | 昭和13年５月１日～３日 | ㊶ | 神奈川 | 昭和52年９月30日～10月１日 |
| ❾ | 京　都 | 昭和14年９月13日～15日 | ㊷ | 大　阪 | 昭和53年11月17日～18日 |
| ❿ | 宮　崎 | 昭和15年５月11日～13日 | ㊸ | 兵　庫 | 昭和54年11月９日～10日 |
| ⓫ | 秋　田 | 昭和16年６月14日～16日 | ㊹ | 鹿児島 | 昭和55年11月14日～15日 |
| ⓬ | 兵　庫 | 昭和17年５月９日～10日 | ㊺ | 東　京 | 昭和56年11月13日～14日 |
| ⓭ | 東　京 | 昭和18年５月16日～17日 | ㊻ | 愛　媛 | 昭和57年10月15日～16日 |
| ⓮ | 名古屋 | 昭和25年10月21日 | ㊼ | 福　岡 | 昭和58年11月25日～26日 |
| ⓯ | 福　岡 | 昭和26年10月５日 | ㊽ | 山　形 | 昭和59年９月28日～29日 |
| ⓰ | 宮　城 | 昭和27年８月３日 | ㊾ | 奈　良 | 昭和60年10月25日～26日 |
| ⓱ | 香　川 | 昭和28年11月14日～15日 | ㊿ | 岩　手 | 昭和61年９月19日～20日 |
| ⓲ | 島　根 | 昭和29年10月８日 | (51) | 岐　阜 | 昭和62年10月23日～24日 |
| ⓳ | 東　京 | 昭和30年11月23日～24日 | (52) | 青　森 | 昭和63年10月14日～15日 |
| ⓴ | 北海道 | 昭和31年８月５日～６日 | (53) | 和歌山 | 平成元年10月27日～28日 |
| ㉑ | 岐　阜 | 昭和32年７月21日～22日 | (54) | 広　島 | 平成２年10月19日～20日 |
| ㉒ | 栃　木 | 昭和33年10月24日～25日 | (55) | 宮　城 | 平成３年10月18日～19日 |
| ㉓ | 青　森 | 昭和34年10月11日～12日 | (56) | 徳　島 | 平成４年11月13日～14日 |
| ㉔ | 和歌山 | 昭和35年９月25日～26日 | (57) | 埼　玉 | 平成５年12月２日～３日 |
| ㉕ | 神奈川 | 昭和36年11月12日～14日 | (58) | 富　山 | 平成６年９月29日～30日 |
| ㉖ | 京　都 | 昭和37年11月23日～24日 | (59) | 愛　知 | 平成７年10月19日～20日 |
| ㉗ | 山　形 | 昭和38年10月５日～６日 | (60) | 東　京 | 平成８年11月21日～22日 |
| ㉘ | 富　山 | 昭和39年９月18日～19日 | (61) | 福　島 | 平成９年10月16日～17日 |
| ㉙ | 東　京 | 昭和40年10月17日～18日 | (62) | 沖　縄 | 平成10年11月19日～20日 |
| ㉚ | 大　阪 | 昭和41年11月19日～20日 | (63) | 北海道 | 平成11年９月30日～10月１日 |
| ㉛ | 名古屋 | 昭和42年11月11日～12日 | (64) | 高　知 | 平成12年11月30日～12月１日 |
| ㉜ | 熊　本 | 昭和43年11月10日～12日 | (65) | 大　阪 | 平成13年11月15日～16日 |
| ㉝ | 滋　賀 | 昭和44年９月21日～22日 | (66) | 宮　崎 | 平成14年10月10日～11日 |

# 大会宣言一覧

**◆大会の成果を「大会宣言」として出すようになったのは昭和30年（1955年）に開催された第19回大会からである。この時には「むし歯半減運動」の宣言であった。**

## ●昭和五十七年

大会宣言

管理と指導の調和を基本理念として、学校歯科保健関係者のすべてが、その総力をあげて取り組んだ強力な運動が実を結び児童・生徒のむし歯処置状況については、多大な成果をあげている。

しかしながら、予防医学の見地からは、今後とも、なお一層の努力目標を設定する必要を認める。

すなわち、学校歯科保健の推進においては、その管理の充実はもとより保健教育に当たり、行政・学校並びに地域が三位一体となった強力な取り組みが今後の最重要な方策と考える。

したがって、今回の「第五次むし歯半減運動」の提言とその趣旨をよくふまえて、児童・生徒の歯科疾患の処置率の向上に意を尽し、さらに、その口腔の健康維持と増進に努める態勢をより強固に確立することが急務である。

われわれ参加者一同は、現状を直視し、観念的把握にとどまることなく、より充実した組織的・計画的・永続的な活動の実践を熱と意気をもって推進していくことにより、その大いなる成果を期するものである。

日本の次の世代を担う若き人たちへの責を果たさんことを誓い、その決意をここ愛媛の地において表明するものである。

右宣言する。

昭和57年10月15日
第46回全国学校歯科保健研究大会

## ●昭和五十八年

大会宣言

心身ともに健康で躍動的な子どもを育成することは、教育に携わる者の共通の願いである。われわれは、学校歯科保健教育の実践をとおして、常に子どもの健やかな成長を願ってきた。

本研究大会の根幹は、多年の研究成果をふまえ、21世紀に生きる子どもの健康教育のあり方を創造せんとするものである。

同時に「第5次むし歯半減運動」を機軸として、学校・家庭・地域が一体となり歯科保健教育及び管理に関する諸問題を解決し、真の健康教育を積極的に推進することをここに宣言する。

昭和58年11月26日
第47回全国学校歯科保健研究大会

## ●昭和五十九年

大会宣言

われわれは、学校保健関係者の協力のもとに歯科疾患の予防を中心とした諸活動を展開し、学校歯科保健の管理と指導の調和をはかり、次代を担う児童生徒の健康づくりを推進してきた。

今や世界の長寿国となった日本においては、今後さらに心豊かで健康な人生を送るために、ライフサイクルの中における歯科保健の積極的な教育と管理の充実が必要であり、学校・地域・行政との緊密な連携がいっそう望まれるところである。

われわれは、さらに21世紀に生きる児童生徒の歯科保健の向上をめざし、国際的視野に立って第5次むし歯半減運動を力強く推進したい。

ここに、新たなる決意をもってその実現のために努力することを宣言する。

昭和59年9月29日
第48回全国学校歯科保健研究大会

## ●昭和六十年

大会宣言

われわれは学校歯科保健における管理と指導の調和を基盤に広く学校保健関係者ともども積極的な活動を展開してきた。

基本的生活習慣の形成、特に食生活全般について歯・口腔の機能の充実向上が強く望まれる。そのためには、行政はもとより地域と家庭との強力な連携のもとに、保健教育の徹底を図ることの重大さを痛感するものである。

加うるに本年は、国際青年の年である。本大会は将来の青年になるべき21世紀を担う児童・生徒の歯科保健対策について、口腔全般の発育と形成に対する、指導と管理を今後の前進に資すべく充分検討がなされなければならない。

われわれ参加者一同は、この実態を認識し、より充実した組織的、計画的活動によって、さらに大いなる効果をあげるべく一層の努力を決意するものである。

右宣言する。

昭和60年10月26日

第49回全国学校歯科保健研究大会

## ●昭和六十一年

大会宣言

われわれは、学校歯科保健について管理と指導の両面からその調和を図り、学校保健関係者と共に積極的に取り組んできた。

第50回を迎える本大会では、21世紀を担う児童・生徒の健やかな心身の育成を目指して、行政はもとより学校・家庭・地域が一体となり、歯科保健向上のための施策を強力に推し進める必要を痛感した。

国民生活の向上が生活環境・食生活さらには基本的生活習慣に変化をもたらしている現在、歯、のみならず口腔という広い視野に立ち、計画的でより実践的、そして適切な判断に基づいた保健管理と保健指導の徹底を図り生涯を通しての歯の健康づくりの一層の充実が強く望まれている。

われわれ参加者一同は、この実態を認識し、より充実した組織的・計画的な実践活動によって、さらに大いなる効果をあげるべく一層の努力を決意するものである。

右宣言する。

昭和61年9月20日

第50回全国学校歯科保健研究大会

## ●昭和六十二年

大会宣言

私達は、すべての学校保健関係者との協力によって、保健指導と保健管理の調和を図り、児童・生徒の歯・口腔の健康の保持増進に努めて来た。

第51回大会を機に、新たに21世紀に向けて、行政はもとより、学校・家庭・地域が一致協力のもとに学校歯科保健の向上を積極的に推し進める決意をしなくてはならない。

ここに私達は、児童・生徒をはじめ国民すべてが健康に生活出来るよう学校歯科保健の確立を目指し、保健指導と保健管理の調和を家庭・地域にまで発展・定着させることを目標に「学校歯科保健の包括化」として、展開に踏み出すこととする。

私達参加者一同は、この現実を認識し、より充実した組織的かつ継続的な実践活動によって、更に大いなる発展を遂げるよう一層の努力を決意するものである。

右宣言する。

昭和62年10月24日

第51回全国学校歯科保健研究大会

## ●昭和六十三年

大会宣言

われわれは、生涯を通じての健全な歯・口腔の育成を目的として、学校歯科保健の包括化を、学校・家庭・地域・行政と一致協力して推進し、その活動を展開してきた。

また、第5次むし歯半減運動では、むし歯の発生抑制のみならず、歯の健全強化のための運動も実施してきた。

今、ここに歯・口腔の保健に問題のあるものの指導・管理・生活構造の向上改善をも加えた「第6次むし歯半減運動」を始めるに当たり、更に歯周組織の保護、咬合の確保・維持をとり上げ幅広く積極的な学校歯科保健活動を展開し、児童・生徒そして国民の健康な生活向上のため、更に一層努力することを宣言する。

昭和63年10月15日
第52回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成元年

大会宣言

われわれは、21世紀を担う子供たちの生涯を通じた歯・口腔の健康の保持増進を目的として、生活構造の向上および学校保健、組織的活動の改善強化を図り、学校・家庭・地域・行政が一体となった包括的な歯科保健活動の展開に努めてきている。

今ここに、第53回大会の開催を期に、幼児・児童・生徒が歯・口腔の問題を自らの健康課題としてとらえ、生涯を通じて健康に活動できるよう生活化を目指した新たな運動を推進するとともに、「第6次むし歯半減運動」と相俟って、う蝕の抑制はもとより、歯周組織の保護強化、正常な咬合の確保等幅広い学校歯科保健活動を積極的にすすめ、豊かな心とたくましく生きる幼児・児童・生徒の育成を目指すことを宣言する。

平成元年10月28日
第53回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成二年

大会宣言

われわれは、21世紀を担う子どもたちの生涯を通ずる健康の保持増進を目的として、学校歯科保健教育の改善充実を図り、学校・家庭・地域・行政が一体となった包括的な歯科保健活動の展開に努めてきている。

今ここに、第54回大会の開催を期に、幼児・児童・生徒が、歯・口腔の問題を自らの健康課題としてとらえ、活力のある日常生活ができるようにすることを目指した新たな運動を推進し、う蝕の抑制はもとより、歯周組織の保護強化、健全な咀嚼・咬合の育成等、幅広い学校歯科保健活動を積極的に進め、豊かな心と、たくましく生きる幼児・児童・生徒の育成を目指す学校教育活動の目標達成に寄与することを宣言する。

平成2年10月20日
第54回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成三年

大会宣言

われわれは21世紀に心豊かで健康な社会を迎えるために、幼児・児童生徒の歯・口腔の健康管理に努めてきた。

第55回大会は「学校歯科保健の包括化」の下に、発達段階に即した歯科保健指導の生活化を求め、より具体的な研究協議を展開し、その中で、むし歯の抑制・歯周組織・咀嚼・咬合の健全育成を学校歯科保健教育の課題として、積極的に取り組むことを確認した。

さらにこれらを通して、豊かな心をもち、たくましく生きる幼児・児童生徒の育成を目指す学校教育目標の達成に、寄与することを決意するものである。

右宣言する。

平成3年10月19日

第55回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成四年

大会宣言

われわれは21世紀に心豊かでたくましく生きる幼児・児童生徒の歯・口腔の健康の保持増進を目的として、学校・家庭・地域・行政が一体となった包括的な歯科保健活動の展開に努めてきている。

第56回大会は「学校歯科保健の包括化」の主題の下に、発達段階に即した歯科保健指導の生活化を求め、従来より更に踏み込んだシンポジウムや研究協議を展開し、むし歯の抑制はもとより、歯周組織・咀嚼・咬合の健全な育成等、幅広い学校歯科保健活動を積極的に進める事を確認した。

さらに、この活動を充実・発展させるために昭和31年から6次に亘って日本学校歯科医会が展開してきた「むし歯半減運動」の発展的解消を宣言し、新たに「歯・口の健康」を具現するための新しい運動展開を開始する事をも確認した。

これらを通して、豊かな心でたくましく生きる幼児・児童生徒の育成を目指す学校教育目標の達成に寄与することを決意するものである。

右宣言する。

平成4年11月14日

第56回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成五年

大会宣言

われわれは、21世紀に心豊かでたくましく生きる幼児・児童・生徒の歯・口腔の健康の保持増進を目的として、学校・家庭・地域・行政が一体となって、包括的な歯科保健活動を精力的に進めてきている。

第57回大会は「学校歯科保健の包括化」を主題として、発達段階に即した歯科保健活動と生活化を図るために、従来より更に踏み込んでシンポジウムや研究協議を展開し、むし歯の抑制はもとより、歯肉炎を予防し、咀嚼・咬合の健全な育成にまで研究・協議の範囲を広め、新しい考え方から学校歯科保健活動に積極的に取り組んでいることを確認した。

さらに、「歯・口腔の健康づくり」を具現するために、新しい運動の展開を積極的に進めることをも確認した。

これらを通して、豊かな心でたくましく生きる幼児・児童・生徒の育成を目指す学校教育目標の達成に、学校歯科保健の立場から側面的に寄与することを決意するものである。

右、宣言する。

平成5年12月3日

第57回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成六年

大会宣言

われわれは、生涯にわたって〝自分の健康は自分で守る〟という立場から、21世紀に心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の歯・口腔の健康の保持・増進を目指して、学校・家庭・地域と行政が一体となって、包括的な歯科保健活動を精力的に展開してきている。

第58回の本大会では「学校歯科保健の包括化」を主題として、〝発達段階に即した歯科保健活動の生活化達成をめざして〟をサブテーマに、第57回までの成果と経験の上に立って、更に研究協議を深めた。

現在、国民運動として進めてきている8020運動の達成には、適切なブラッシングの習慣化と共に、う蝕抑制はもとより、歯肉炎の予防や咀嚼・咬合、栄養にまで内容を広めた学校歯科保健活動の重要性を確認した。

時あたかも、本年は〝国際口腔保健年〟にあたり、今後も「歯・口腔の健康つくり」を推進するために、治療から予防へと新しく運動を展開する方向も確認した。

われわれは、今後とも心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の育成を目指す学校教育目標達成に、学校歯科保健の立場から側面的に寄与していくことを決意するものである。

右、宣言する。

平成6年9月30日

第58回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成七年

大会宣言

われわれは、生涯にわたって〝自分の健康は自分で守る〟と言う立場から、21世紀に心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の歯・口腔の健康の保持・増進を目指して、学校・家庭・地域が一体となって、包括的な歯科保健活動を精力的に展開してきている。

第59回の本大会において「学校歯科保健の包括化」を主題とし〝発達段階に即した歯科保健指導の展開〟をサブテーマに、保健管理と保健指導の調和をめざして、研究協議を深めてきた。

そして、来るべき21世紀の学校歯科保健活動は、咀嚼システムの育成を含めた総合的な口腔機能の発達を促すべきであることを確認した。

また、「歯・口腔の健康つくり」を通して、人としての生き方・生きる質を高めていく時代であることを認識し、観察と体験を重視した指導を通じ、自らの健康問題に自発的に取り組む児童生徒の育成を図る必要性も確認した。

われわれは、今後とも心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の育成を目指す学校教育目標達成に、学校歯科保健の立場から側面的に寄与していくことを決意するものである。

右、宣言する。

平成7年10月20日

第59回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成八年

大会宣言

われわれは、21世紀に心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の歯・口腔の健康の保持増進をめざして学校・家庭・地域と行政が一体となって包括的な歯科保健活動を精力的に展開してきている。

第60回の本大会では、これまでの「学校歯科保健活動の包括化」で得られた成果と経験に立脚し、さらなる発展をめざした「21世紀の学校歯科保健」という新たな主題のもとに「確かな健康観の育成」を副題に挙げて研究協議を深めた。

平成七年度から改正された学校保健法施行規則のめざすところは幼児・児童生徒の健康増進であり、われわれの求めている歯・口腔の健康は、う蝕抑制、歯肉炎の予防や咀嚼・咬合から栄養にまで内容を広めた学校歯科保健活動がより重要になってきていることが確認され、このことは国民的運動として展開されている8020運動の達成にも繋がるものである。

ここに「心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の育成を目指す」学校教育目標達成に、学校歯科保健の立場から一層の努力を行い、21世紀に向けて、確かな健康観を育むことを決意するものである。

右、宣言する。

平成8年11月22日

第60回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成九年

大会宣言

われわれは、21世紀に心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の歯・口腔の健康の保持増進をめざし学校・家庭・地域と行政が一体となって包括的な歯科保健活動を精力的に展開してきている。

昨年は60回大会を期として「学校歯科保健活動の包括化」で得られた成果と経験に立脚し、さらなる発展をめざした方向への転換を図り、すなわち「21世紀の学校歯科保健」という新たな主題のもとに、本年は「確かな健康観の育成をめざして」を副題に挙げて研究協議を深めた。

学校保健のめざすところは、幼児・児童生徒の健康増進であり、われわれの進めている学校歯科保健活動は歯・口腔の健康保持増進を軸にう蝕抑制、歯肉炎の予防や咀嚼・咬合から栄養にまで内容を広めたものとして、より一層重要であることを確認した。このことは国民的運動として展開している8020運動の達成にも繋がるものである。

前年につづき「心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の育成を目指す」学校教育目標達成に、学校歯科保健の立場から一層の努力を行い、21世紀に向けて、確かな健康観を育むことを決意するものである。

右、宣言する。

平成9年10月17日

第61回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成十年

大会宣言

われわれは、21世紀に心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の歯・口腔の健康の保持増進をめざし学校・家庭・地域と行政が一体となって包括的な歯科保健活動を精力的に展開してきている。

第60回大会からは「21世紀の学校歯科保健」という新たな主題のもとに活動を続け、本年は「長寿につながる確かな健康観の育成をめざして」を副題に挙げてシンポジウムと研究協議を深めた。

学校保健のめざすところは、幼児・児童生徒の健康増進であり、われわれの進めている学校歯科保健活動は歯・口腔の健康保持・増進を軸にう蝕抑制、歯肉炎の予防や咀嚼・咬合から栄養にまで内容を広めたものとして、より一層重要であり、このことは国民的運動として展開されている8020運動の達成に深く関わり、真の長寿につながるものである。

ここに「心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の育成を目指す」学校教育目標達成に、学校歯科保健の立場から一層の努力を行い、21世紀に向けて、確かな健康観を育むことを決意するものである。

右、宣言する。

平成10年11月20日

第62回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成十一年

大会宣言

われわれは、21世紀に心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の歯・口腔の健康の保持増進をめざし学校・家庭・地域と行政が一体となって包括的な歯科保健活動を精力的に展開してきている。

第60回大会からは「21世紀の学校歯科保健」という新たな主題のもとに活動を続け、本年は「生涯に通ずる確かな健康観の育成をめざして」を副題に挙げてシンポジウムと研究協議を深めた。

学校保健のめざすところは学校教育の理念と目標に基づく幼児・児童生徒の健康の保持増進にあり、われわれの取組んでいる学校歯科保健活動は平成7年度に歯・口の健康診断をスクリーニングとヘルスプロモーションに改めて、歯・口腔の健康の保持増進を軸に咀嚼・咬合の健全育成を目指し栄養摂取にまで内容を広めた活動として、より一層の展開を図った活動を行っている。このことは歯科界が国民運動として進めている8020運動の達成に向けての運動として真に生涯に通ずる健康観の育成につながるものと確信している。

ここに「心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の育成を目指す」学校教育目標達成に、学校歯科保健の立場から一層の努力を行い、21世紀に向けて、確かな健康観を育むことを決意するものである。

右、宣言する。

平成11年10月1日

第63回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成十二年

大会宣言

われわれは、21世紀に心ゆたかに逞しく生きる幼児・児童生徒の歯・口腔の健康の保持増進を目指し、学校・家庭・地域と行政が一体となって包括的な歯科保健活動を精力的に展開してきている。

第60回大会から本大会まで、「21世紀の学校歯科保健」の主題のもとに活動を続け、本年は「８０２０につながる確かな健康観の育成を目指して」を副題にかかげ、シンポジウムと研究協議を深めた。学校保健の目的は、学校教育の理想と目標に向けて幼児・児童生徒の健康を限りなく高めるところにある。

われわれが実践している学校歯科保健活動は、ヘルスプロモーションの理念に基づいて学校における歯・口の健康診断をスクリーニングと位置づけ健康度評価の視点を重視し、更に歯・口腔の健康の保持増進を軸に咀嚼・咬合の健全な発達を目指して一層の展開をはかってきた。

特に本年は歯科保健に関して障害児の自立と支援を課題として、協議を深めたところである。このことは歯科界が国民運動として進めている８０２０運動が、全ての国民にとって生涯に通じる健康の確立の基盤になるものと確信しているからである。

ここに「心ゆたかに逞しく生きる幼児・児童生徒の育成」という学校教育の目標の達成に向けて、学校歯科保健の立場からなお一層の努力を傾注して21世紀を展望した確かな健康つくりを推進することを決意するものである。

右、宣言する。

平成12年12月１日
第64回全国学校歯科保健研究大会

## ●平成十三年

大会宣言

われわれは、21世紀に心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の歯・口の健康の保持増進を目指し、学校・家庭・地域と行政とが一体となった包括的な歯科保健活動を積極的に展開してきた。

本年度から主題を「変革に向けての学校歯科保健の飛躍」と改題した。それは学校歯科保健活動は教育活動そのものであるとの認識に立ち、社会の変革や価値観の多様さを踏まえつつ、歯科医学はもとより行動科学、社会科学等の知見を統合して、歯・口の健康づくりを通じて幼児・児童生徒一人一人が生涯健康を創出できるように学習と実践の理論を構築して、幼児・児童生徒を支援することが喫緊の課題として指向されているからである。今大会は副題を「生涯にわたる健康意識の向上と実践力の育成をめざして」として具体的に実践の方向性を指示して、シンポジウム・研究協議を深めてきたところである。

われわれが実践している学校歯科保健は学校における歯・口の健康診断をスクリーニングと位置付け、健康度評価の視点を重視し、学校における教育活動と連動しながら、幼児、児童生徒の歯・口の健康の保持増進を図ることを意図している。

ここに「心豊かにたくましく生きる幼児・児童生徒の育成」という学校教育目標の達成に向けて、学校歯科保健の立場からなお一層の努力を傾注して今世紀を主体的に生きていくことができる幼児・児童生徒の健康づくりに寄与することを決意するものである。

右、宣言する。

平成13年11月16日
第65回全国学校歯科保健研究大会

# 第3章 学校歯科保健研究協議会

## むし歯予防推進指定校協議会
## 歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会

### ◆昭和57（1982）年度～ 平成13（2001）年度






本協議会は，昭和38年（1963年）文部省主催の「学校歯科医講習会」として開始され，昭和46年（1971年）に「文部省・学校保健（歯科）講習会」と改称して開催，さらに，昭和53年（1978年）に文部省から『小学校／歯の保健指導の手引』が刊行されたのを機に「学校歯科保健講習会」と再び改め，翌54年（1979年）からは前日に「むし歯予防推進指定校協議会」を開くようになり，講習会と称していた会議を「学校歯科保健研究協議会」という名称にした。平成10年（1998年）まで続けられ，平成11年（1999年）からは全国学校歯科保健研究大会に取り込まれた。

「むし歯予防推進指定校協議会」は平成９年（1997年）に学校歯科保健研究協議会と離れて開催され，名称を「歯・口の健康つくり推進指定校協議会」とした。その後平成10年から「歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会」として東京で開催されている。

なお，平成13年度からは日本学校歯科医会が文部科学省からの委託事業として行うことになった。

## 昭和57（1982）年度

◆**開催地**　福岡県
◆**期　日**　昭和57年（1982年）９月30日・10月１日
◆**主　催**　文部省・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・福岡県学校保健会・㈳日本学校歯科医会
福岡県学校歯科医会・福岡市学校歯科医会
◆**趣　旨**　歯に関する保健指導について研究協議を行い，学校における歯科保健活動の充実に資する
◆**対　象**　⑴国公私立の学校の校長，教頭及び教員等で都道府県内において学校保健の指導的役割を果たしている者
⑵国公私立の学校歯科医
⑶都道府県及び指定都市教育委員会の担当者
◇**全体会**（９月30日）
特別講演　「学校保健の心身医学的考察」
シンポジウム　「家庭との連携を密にした歯の保健指導の在り方について」
◇**分科会**（10月１日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅰ　学校保健の課題
講義Ⅱ　子どものむし歯－その予防と展望
講義Ⅲ　歯口清掃と間食の指導
講義Ⅳ　歯の保健指導と学校保健委員会の進め方
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅴ　う蝕予防と学校歯科保健教育
講義Ⅵ　学校における歯科保健活動と学校歯科医
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（９月29日）
公開授業と校内参観
講義
①むし歯予防推進指定校の運営について
②研究活動のあり方について
研究発表・協議　「本校における健康教育について」

## 昭和58（1983）年度

◆**開催地**　埼玉県
◆**期　日**　昭和58年（1983年）10月13日・14日
◇**全体会**（10月13日）
講義Ⅰ　学校保健行政の動向
講義Ⅱ　むし歯予防の今日的課題
講義Ⅲ　子供の発達課題と歯の保健指導
講義Ⅳ　歯の保健指導の進め方と評価
シンポジウム　「家庭との連携を密にした歯の保健指導のあり方について」
◇**分科会**（10月13日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅴ　歯口清掃とその指導
講義Ⅵ　間食とその指導
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅶ　これからの学校歯科保健と学校歯科医
講義Ⅷ　むし歯予防の指導と評価
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（10月14日）
公開授業
研究発表・協議
シンポジウム　テーマ　「むし歯予防を効果的に進めるための家庭，地域社会との連携

はどうあればよいか」

## 昭和59（1984）年度

**◆開催地**　愛知県
**◆期　日**　昭和59年（1984年）10月18日・19日
◇**全体会**（10月18日）
講義Ⅰ　学校保健行政の動向
講義Ⅱ　子供の発育と歯の保健指導
講義Ⅲ　学校における歯の保健指導と家庭との連携の在り方
講義Ⅳ　教育評価と歯の保健指導の在り方
シンポジウム　「家庭との連携を密にした歯の保健指導の進め方について」
◇**分科会**（10月19日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅴ　歯口清掃とその指導
講義Ⅵ　間食とその指導
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅶ　学校における歯の保健活動と学校歯科医の役割
講義Ⅷ　むし歯予防の指導と評価
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（10月17日）
公開授業と児童活動
シンポジウム「家庭における歯の保健指導と学校歯科医の在り方」
研究発表・協議
①「保健的生活習慣の育成をめざして」
②「学校・家庭・地域が一体となったむし歯予防活動をめざして」
③「よい歯を自分でつくる児童の育成」
④「むし歯予防につとめ，自主的に歯みがきをする子を育てる」

## 昭和60（1985）年度

**◆開催地**　大阪府
**◆期　日**　昭和60年（1985年）９月19日・20日
◇**全体会**（９月19日）
講義Ⅰ　学校保健行政の動向
講義Ⅱ　学校における歯の保健指導と刷掃指導
シンポジウム　「子どもの発達に応じた歯の保健指導の指導計画と進め方について」
◇**分科会**（９月20日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅲ　歯の保健指導の授業の進め方について
講義Ⅳ　教育評価と歯の保健指導の評価
講義Ⅴ　間食とその指導
講義Ⅵ　学校保健委員会の組織・運営のあり方について
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅶ　学校における歯及び口腔の健康診断のあり方
講義Ⅷ　歯の保健指導における学校歯科医の役割
講義Ⅸ　学校歯科保健における DMF の意義
講義Ⅹ　学校保健委員会と学校歯科医
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（９月18日）
公開授業
講義　歯の保健指導の研究活動の在り方について
研究発表・協議　「みんなで取り組む保健活

動をめざして－自ら進んで歯を大切にする子を育てる」

## 昭和61（1986）年度

◆**開催地**　神奈川県
◆**期　日**　昭和61年（1986年）11月６日・７日
◇**全体会**（11月６日）
講義Ⅰ　学校保健行政の動向
講義Ⅱ　子どもの健康増進を考える
シンポジウム　「幼稚園，小学校，中学校の一貫した歯の保健指導の在り方について」
◇**分科会**（11月７日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅲ　児童生徒の歯・口腔の発達と保健指導
講義Ⅳ　歯の保健指導の指導計画と授業の進め方
講義Ⅴ　児童生徒の歯ぐきの病気とその指導
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅵ　学校保健安全計画の立案・実施における学校歯科医の役割
講義Ⅶ　学校における歯の健康に問題を持つ児童・生徒の保健指導
講義Ⅷ　学校における歯の保健指導と学校歯科医
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（11月５日）
講義　「むし歯予防推進指定校の運営について」
研究発表・協議　「健康な体づくりに進んで取り組む子どもの育成 ― 歯や口の保健指導に焦点をおいて ―」

## 昭和62（1987）年度

◆**開催地**　東京都
◆**期　日**　昭和62年（1987年）９月30日・10月１日
◇**全体会**（９月30日）
講義Ⅰ　学校歯科保健活動の現状と課題
講義Ⅱ　教育課程の基準の改善の方向と学校における歯の保健指導
研究発表・協議　「当面する学校歯科保健の諸問題について」
◇**分科会**（10月１日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅲ　学校における歯の保健指導計画と授業の進め方
講義Ⅳ　咀嚼と健康
講義Ⅴ　歯肉の健康と歯口清掃（指導の実際）
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅵ　学校における歯・口腔の健康診断と診断基準
講義Ⅶ　Life cycle を踏まえての歯科医療
講義Ⅷ　「学校歯科医の活動指針」の活用とこれからの学校歯科医
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（９月29日）
研究発表・協議　「習慣化と内面化を図る歯の保健指導」
「自ら進んでよい歯をつくる長者っ子の育成」
「心も体も生き生きとした児童の育成を図る保健指導」他３題

## 昭和63（1988）年度

◆**開催地**　栃木県
◆**期　日**　昭和63年（1988年）９月28日・29日
◇**全体会**（９月28日）
講義Ⅰ　教育課程の改善と歯の保健指導
講義Ⅱ　子どもの発達課題からみた歯の保健指導
研究発表・協議　「当面する学校歯科保健の諸問題について」
◇**分科会**（９月29日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅲ　歯の保健指導を効果的に進めるための授業の在り方
講義Ⅳ　咀嚼の意義と食生活に関する指導
講義Ⅴ　歯のみがき方と指導の実際
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅵ　学校における歯の保健指導と学校歯科医
講義Ⅶ　歯・口腔の健康診断とその指導
講義Ⅷ　学校歯科保健における個別指導
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（９月27日）
講義Ⅰ　「むし歯予防推進指定校の運営について」
講義Ⅱ　「むし歯予防推進校に期待する」
発表　「家庭及び地域社会との連携を図り進んでむし歯予防に取り組むこどもの育成」
「歯の健康を自ら考え，主体的に取り組む子どもの育成」

## 平成元（1989）年度

◆**開催地**　鹿児島県
◆**期　日**　平成元年（1989年）９月13日・14日
◇**全体会**（９月13日）
講義Ⅰ　新しい学習指導要領における歯科保健教育と指導
講義Ⅱ　生涯を通じる健康と学校における歯科保健指導
研究発表・協議
⑴自立の芽生えを育てる幼稚園における歯の保健指導はどのようにしたらよいか。（幼稚園）
⑵むし歯予防の取り組みを通して基本的生活習慣を体得させるための効果的指導の工夫（小学校）
⑶学校を中心とした歯の保健指導の充実を図るためにはどうしたらよいか。（中学校）
⑷幼（保）・小・中学校の一貫性を図る歯の保健指導を進めるためにはどのようにしたらよいか（学校歯科医）
◇**分科会**（９月14日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅲ　歯の保健指導の指導計画と授業の進め方
講義Ⅳ　咀嚼の意義とその指導の進め方
講義Ⅴ　生きることと口
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅵ　学校歯科医の今日的役割と活動の在り方
実践報告
⑴健康な歯・輝く笑顔をめざして40年の道
⑵歯科保健指導の充実を図るためには学校歯科医はどうしたらよいか

◇**むし歯予防推進指定校協議会**（９月12日）
実践報告　自ら進んでむし歯予防に努める子供の育成

## 平成２（1990）年度

◆**開催地**　千葉県
◆**期　日**　平成２年（1990年）９月27日・28日
◇**全体会**（９月27日）
講演　「動物にみる健康のヒント」
講義Ⅰ　「新しい学習指導要領における歯科保健教育と指導」
シンポジウム　「長寿社会に向かって健康で生活できる子どもが育つには」
◇**分科会**（９月28日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅱ　歯科保健と歯周疾患
研究実践発表・協議
①歯の健康を幼児の内面にどう意識化させていくか（幼稚園）
②う歯予防の大切さを理解し，進んでう歯予防に取り組む児童を育てるにはどうしたらよいか（小学校）
③自分の健康な歯づくり活動の推進(中学校)
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅲ　学校歯科医の今日的な役割と活動の在り方
講義Ⅳ　噛んで天下を盗った男たち
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（９月26日）
実践報告　「むし歯予防に対する意識を高め，むし歯予防の習慣形成と実践力を高める指導は，どのようにしたらよいか ― 家庭・地域・学校歯科医との連携をめざして ―」

## 平成３（1991）年度

◆**開催地**　福島県
◆**期　日**　平成３年（1991年）９月19日・20日
◇**全体会**（９月19日）
講義Ⅰ　学校歯科保健の現状と課題
講義Ⅱ　日本の子どものう蝕
研究発表・協議
⑴健康づくりをめざし主体的に取り組む子どもの育成
⑵自分の歯は，自分で守る子供の育成
⑶学校歯科保健指導の推進に果たす学校歯科医の役割
◇**分科会**（９月20日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅲ　歯周疾患と学校の対応
講義Ⅳ　むし歯予防再考
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅴ　学校歯科医の職務
講義Ⅵ　学校管理下おける歯牙障害と災害共済
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（９月18日）
実践報告　「むし歯予防の意識を高め，自らむし歯予防に取り組む児童を育てる指導はどのようにしたらよいのか ― 特に，日常生活の実践を通して ―」

## 平成４（1992）年度

◆**開催地**　長野県
◆**期　日**　平成４年（1992年）10月22日・23日
◇**全体会**（10月22日）
　講義Ⅰ　学校歯科保健の現状と課題
　講義Ⅱ　児童生徒の歯列・咬合の問題を考える
　研究発表・協議
　⑴自ら健康な歯をつくってゆく子どもの育成をめざして
　⑵歯周保健指導の理論と実際
　⑶児童生徒の歯周疾患の対応
◇**分科会**（10月23日）
　⑴第一分科会（教員部会）
　　講義Ⅲ　食と噛むこと
　　講義Ⅳ　児童生徒の歯周疾患
　⑵第二分科会（学校歯科医部会）
　　講義Ⅴ　これからの歯科医療と学校歯科
　　講義Ⅵ　学校歯科医の役割と展望
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（10月21日）
　実践報告　「自ら健康づくりに気づき，ねばり強く実践する子供を育てるにはどうしたらよいか ― 歯科保健指導を通して ―」

## 平成５（1993）年度

◆**開催地**　青森県
◆**期　日**　平成５年（1993年）10月６日・７日
◇**全体会**（10月６日）
　講義Ⅰ　これからの歯・口腔の健康診断と事後措置，そして学校における対応の在り方
　講義Ⅱ　学校歯科保健の現状と課題
　シンポジウム　「学校歯科保健活動の定着と普及を図るために」
◇**分科会**（10月７日）
　⑴第一分科会（教員部会）
　　講義Ⅲ　生涯にわたる主体的な健康つくり ― 歯の課題を通して ―
　　講義Ⅳ　これからの学校歯科保健活動の在り方，進め方
　⑵第二分科会（学校歯科医部会）
　　講義Ⅴ　児童生徒の咀嚼の発達と咀嚼能力の評価
　　講義Ⅵ　「全身の健康のための歯と口腔の健康つくり」へ向けて
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（10月５日）
　実践報告　「自ら考え行動する子を育てる指導法の研究 ― 子どもが自ら問題を解決していく特別活動を核として ―」

## 平成６（1994）年度

◆**開催地**　宮崎県
◆**期　日**　平成６年（1994年）10月19日・20日
◇**全体会**（10月19日）
　講義Ⅰ　学校歯科保健の現状と課題
　講義Ⅱ　８０２０と学校歯科保健
　講義Ⅲ　口腔の健康を機能面から考える
　講義Ⅳ　これからの学校歯科保健活動
◇**分科会**（10月20日）

⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅴ　食教育と歯科保健
講義Ⅵ　児童生徒の歯周疾患
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅶ　健康行動と咀嚼
講義Ⅷ　教育としての学校歯科保健
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（10月18日）
実践報告　「進んで健康づくりに取り組む子どもの育成」
研究協議　「学校及び家庭・地域社会との連携による保健指導を通して，口腔の健康に適した生活習慣を定着させるための具体的な方法について」

## 平成７（1995）年度

◆**開催地**　群馬県
◆**期　日**　平成７年（1995年）11月１日・２日
◇**全体会**（11月１日）
講義Ⅰ　学校歯科保健の現状と課題
講義Ⅱ　これからの学校歯科保健活動
講義Ⅲ　児童生徒の咀嚼など口腔機能に関する諸問題
講義Ⅳ　口腔及び食事と児童生徒の健康
◇**分科会**（11月２日）
⑴第一分科会（教員部会）
講義Ⅴ　学校歯科保健の考え方・進め方
― 障害児の歯科保健を含めて ―
講義Ⅵ　学校・家庭・地域の連携で進める歯・口の健康つくり
⑵第二分科会（学校歯科医部会）
講義Ⅶ　学校歯科医の職務と期待
講義Ⅷ　児童生徒の歯及び口腔の健康診断と事後措置
◇**むし歯予防推進指定校協議会**（10月31日）
研究報告　「自分の体を知り，すすんで健康づくりに取り組む子どもの育成」
実践発表　「健康に関心を持ち，主体的に健康づくりに取り組む子どもの育成」，
「自分の健康に関心をもち，たくましい心と体づくりに取り組む子の育成」，
「子どもたちが，主体的に取り組む健康つくり」，他２題

## 平成８（1996）年度

◆**開催地**　東京都
◆**期　日**　平成８年（1996年）11月20日
今年度は「学校歯科保健研究協議会」と「むし歯予防推進指定校協議会」が同時に開催された。
◇**講義Ⅰ**　学校歯科保健の現状と課題
**講義Ⅱ**　児童生徒の健康診断の改正と学校歯科保健活動
◇**実践発表Ⅰ**　「自らが自分の健康に関心を持ち，進んで健康な体づくりに取り組む児童の育成」
**実践発表Ⅱ**　「仲間とともに自ら進んで健康つくりに励む子の育成」
**実践発表Ⅲ**　「進んで健やかな心と体つくりに励む下熊谷っ子を目指して」
**実践発表Ⅳ**　「心身共に健やかで自己を豊かに表現できる子どもの育成」

## 平成９（1997）年度

◆**開催地**　兵庫県

◆**期　日**　平成９年（1997年）11月13日・14日

◇**全体会**（11月13日）

講義Ⅰ　学校歯科保健の現状と課題

講義Ⅱ　健康診断の役割とこれからの学校歯科保健活動

講義Ⅲ　小児科医からみた児童生徒の健康課題

講義Ⅳ　口腔機能の発達に関する諸問題

◇**分科会**（11月14日）

⑴第一分科会（教員部会）

講義Ⅴ　学校教育の課題と学校歯科保健

講義Ⅵ＜その１＞健康診断を生かした保健指導の実際

＜その２＞研究指定校における健康診断を生かした保健指導

⑵第二分科会（学校歯科医部会）

講義Ⅶ　学校歯科医の職務と期待される役割

講義Ⅷ　阪神・淡路大震災の体験と学校歯科保健

◎**平成９年度「歯・口の健康つくり推進指定校協議会」今年から名称が変わり，次の通りの趣旨，主催によって運営される。**

◆**趣　旨**　歯及び口腔に関する保健教育並びに歯・口の健康つくり推進指定校の運営等について協議を行い，学校歯科保健活動の充実を図る。

◆**主　催**　文部科学省，社団法人日本学校歯科医会

◆**対象者**　平成９・10年度歯・口の健康つくり推進指定校関係者（研究担当者，学校歯科医等）及び各都道府県・指定都市教育委員会等において歯科保健の指導を担当する者。

◆**開催地**　東京都（国立オリンピック記念青少年総合センター）

◆**期　日**　平成９年５月19日

講義Ⅰ　歯・口の健康つくり推進指定校の研究を進めるに当たって

講義Ⅱ　児童生徒の歯・口の健康課題

実践発表Ⅰ　「主体的に健康づくりに取り組む人間性豊かな児童の育成」をめざして

実践発表Ⅱ　「子供達が主体的に取り組む健康つくり」

実践発表Ⅲ　「生涯にわたり健康でたくましく生き抜く子どもの育成 ― 歯や口に関する指導を通して ―」

## 平成10（1998）年度　学校歯科保健研究協議会（沖縄大会と併催）

◆**開催地**　沖縄県

◆**期　日**　平成10年（1998年）11月19日・20日

今年度の学校歯科保健研究協議会は沖縄県で開催された「第62回全国学校歯科保健研究大会」と併催された。来年度から本協議会は全国学校歯科保健研究大会の中に取り込まれることになり，今まで後援団体であった文部省が主催団体となる。

◎**平成10年度「歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会」**

◆**開催地**　東京都（新歯科医師会館）

◆**期　日**　平成10年５月25日

講義Ⅰ「学校における歯・口の健康つくりの進め方」－２年次への課題－
文部省教科調査官　戸田芳雄
講義Ⅱ「児童生徒の歯・口の健康課題」
明海大学歯学部教授　安井利一
実践発表Ⅰ「自分の健康をみつめ，実践する児童の育成」
実践発表Ⅱ「進んで健康つくりに励む子の育成」
－セルフエスティームを高めることを通して－
実践発表Ⅲ「個性豊かで，思いやりと広い心を持つ児童の育成」

## 平成11（1999）年度「歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会」

◆**開催地**　東京都（新歯科医師会館）
◆**期　日**　平成11年（1999年）５月26日
講義Ⅰ「学校における歯・口の健康つくりの進め方」
－研究を進めるに当って－
文部省教科調査官　戸田芳雄
講義Ⅱ「児童生徒の歯・口の健康と食べる機能について」
昭和大学歯学部教授　向井美惠
実践発表Ⅰ「自ら学び実践できる児童の育成」
実践発表Ⅱ「自分の体をよく知り，すすんで健康的な生活をおくる子」
実践発表Ⅲ「健康つくりに関心を持ち，進んで実践する子供の育成を目指して」

## 平成12（2000）年度「歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会」

◆**開催地**　東京都（国立オリンピック記念青少年総合センター）
◆**期　日**　平成12年（2000年）５月26日
講義Ⅰ「学校における歯・口の健康つくりの進め方」
文部省教科調査官　戸田芳雄
講義Ⅱ「児童生徒の歯・口の健康の現状と課題」
明海大学歯学部教授　安井利一
実践発表Ⅰ「心と体を育てる教育活動のあり方」
実践発表Ⅱ「学びの意志をもって活動し，広く発信しようとする惜陰っ子の育成」
実践発表Ⅲ「自分の心と体を大切にする児童の育成 ― 歯・口の健康つくりを通して ―」

## 平成13（2001年）年度 「歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会」

◆**開催地** 東京都（国立オリンピック記念青少年総合センター）

◆**期　日** 平成13年（2001年）５月22日

解説 「学校における歯・口の健康つくりの進め方」－研究を進めるに当たって－

文部科学省体育官　戸田芳雄

講義 「児童生徒の歯・口の健康の現状と課題」

日本大学歯学部教授　伊藤公一

実践発表Ⅰ 「自ら進んで健康つくりに励む子 ― 歯と口の健康つくりの日常化を目指して ―」

実践発表Ⅱ 「自分のからだ　見つめて発見　やる気で元気」

実践発表Ⅲ 「自ら働きかけ，ともに追求しようとする児童の育成 ― 情報を活用した健康教育を核にして ―」

平成13年度より，文部科学省の委託事業として日本学校歯科医会が行うことになった。



歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会

以下，参考資料として「むし歯予防推進指定校実施要領」（要約）及び文部科学省委嘱「歯・口の健康つくり推進指定校実施要領」（要約）を掲載する。

〈参考資料１〉

## ●むし歯予防推進指定校　実施要領（要約）

### １．趣　旨

小学校の大部分の児童がむし歯を保有していることにかんがみ，学校における歯に関する保健活動を通じて，児童のむし歯を予防するための具体的な方法について実践的に研究を行い，今後におけるむし歯の予防活動の充実に資する。

### ２．研究内容

⑴むし歯予防のための保健指導の方法
⑵むし歯予防のための家庭および地域社会の連携の在り方
⑶むし歯予防の成果に関する評価の方法

### ３．研究実践期間

２年間

### ４．対象推進指定校

推進指定校は，各都道府県教育委員会が推薦する公立の小学校の中から指定するものとし，推進指定校数は，各都道府県当たり１校（指定都市を含む道府県については当該指定都市の数を加えた数，東京都については４校）とする。

### ５．推進指定校の研究計画

推進指定校は，校内の研究体制を整備し，目標をもって研究活動を推進するとともに，年度ごとにその成果を把握し，それに基づいて次年度に進むよう計画的に研究を行うようにする。

### ６．状況報告

推進指定校は，初年度の終わりに研究の中間報告を，研究の終了時に研究成果報告書をそれぞれ文部省の指定する様式に従って，当該都道府県教育委員会を経由して文部省に提出するものとする。

### ７．文部省との連絡協議

文部省においては，毎年度１回連絡協議の機会を設け，むし歯予防の推進について意見および情報の交換を行うものとする。

### ８．経　費

文部省は，推進指定校の調査研究に要する経費を予算の範囲内で支出委任する。

〈参考資料２〉

# ●文部科学省委嘱
# 「歯・口の健康つくり推進指定校」実施要領（要約）

社団法人日本学校歯科医会

## １．趣　旨

小学校の大部分の児童がむし歯を保有していること，高学年から歯肉炎が多くなっているとの指摘があることに加えて，咀嚼機能の健康な発達を図ることの重要性にかんがみ，学校における歯・口の保健指導を通じて，児童が口腔の健康つくりを実践できるようにするための具体的な方法等について研究を行い，生涯にわたって心身ともに健康な生活を送る基礎を培うため，歯・口の健康つくり推進指定校（以下「推進指定校」という。）を指定する。

## ２．推進指定校の対象

推進指定校の対象は，小学校とする。

## ３．推進指定校の指定

⑴　社団法人日本学校歯科医会（以下，「学校歯科医会」という。）は，都道府県（指定都市）教育委員会が別紙様式１（略）の事業計画書に基づき推薦するもののうちから推進指定校を指定するものとし，推進指定校数は，原則として各都道府県・指定都市当たり１校（ただし，東京都については２校。）とする。

⑵　学校歯科医会は，文部科学省に指定書の交付を依頼するものとする。

## ４．指定期間

原則として２か年とする。

## ５．研究主題

⑴　歯・口の健康つくりのための保健指導の方法

⑵　歯・口の健康つくりのための家庭および地域社会との連携の在り方

⑶　歯・口の健康つくりの成果に関する評価の方法

## ６．推進指定校の運営

⑴　推進指定校は，都道府県学校歯科医会（歯科医師会），都道府県（指定都市）教育委員会および市区町村教育委員会の指導の下に調査研究を実施する。

⑵　推進指定校は，第１年度の終わりに研究の中間報告書を，また，研究終了後速やかに研究報告書を作成し，都道府県(指定都市)教育委員会を経て，学校歯科医会に提出するものとする。

⑶　推進指定校は，校内の研究体制を整備し，計画的に調査研究を進めるものとする。

⑷　推進指定校は，研究報告書等の配布，研究発表会の開催等により，研究成果を公表するものとする。

## ７．連絡協議会の開催

学校歯科医会は，推進指定校の適切な運営に資するため，歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会を毎年度１回開催するものとする。

## ８．経　　費

⑴　都道府県（指定都市）教育委員会は，原則として，前年度の２月末日までに別紙様式４（略）の所要経費調書を毎年度学校歯科医会に提出すること。

⑵　学校歯科医会は，推進指定校の調査研究に要する経費（諸謝金，印刷費等）を予算の範囲内で支出委任する。

第4章

# 全日本学校歯科保健優良校表彰

（平成11年～平成15年）

## 全日本よい歯の学校表彰

（昭和56年～平成10年）

## 奥村賞

（昭和62年～平成15年）





日本学校歯科医会が実施していた学童むし歯半減運動の趣旨の徹底，普及を図るために昭和35年（1960年）から始めたものである，表彰基準は，永久歯処置率50%以上の学校を表彰の対象とした。昭和56年（1981年）には5,000校を超える表彰校が出たので，昭和57年（1982年）で一旦休止，昭和58年から59年のあいだは暫定的に「学校歯科保健推進モデル校表彰事業」を行った。

昭和60年（1985年）から「全日本よい歯の学校表彰事業」が再開され，平成11年度からは名称が「全日本学校歯科保健優良校表彰」となり現在に至っている。

また，奥村賞については昭和34年（1959年）に奥村鶴吉のご遺族が故人の遺志を体して，学校歯科衛生の振興に資するために奥村賞の基金を設定され，昭和62年（1987年）まで続けられた。

# 1．全日本よい歯の学校表彰

## ◆経　過

全日本よい歯の学校表彰は，日本学校歯科医会が，学童むし歯半減運動の趣旨の徹底，普及を図るために「保健教育と保健管理とによって，学童のむし歯半減を達成した学校ができるだけ多くなること」を期待して昭和35年度（1960年）から始めたものである。このために加盟団体及び都道府県教育委員会を通じて全国の学校に「全日本よい歯の学校表彰調査票」を配布し，該当する学校はこれに記入して加盟団体の審査を経て，中央審査会に提出してもらい，書類審査の上で該当校を表彰するものである。

## ◆条　件

「全校児童の永久歯う歯の50%以上が処置を完了している」というだけであった。したがって，優劣，順位決めなどはなく，あくまでも全国の小学校の永久歯処置率を50%以上に引き上げることが目標であった。これはある時間を経過すれば，その水準を超える学校数が多くなり，この表彰行事自体が意味を失うことが当初から予想されていた大変ユニークな表彰企画であった。

そして，昭和56年（1981年）には表彰校が5,000校を超える事態となったので，表彰基準の検討も含めて，想を新たにするために，全日本よい歯の学校表彰は，昭和57（1982）年度で休止することになり，学校歯科保健推進モデル校表彰事業に引き継がれることになった。

**よい歯の学校表彰校数の年次推移**
**（昭和37年から中学校も入る）**

| | 小　学　校 | | | 中　学　校 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 年 | 総　数 | 表彰校 | % | 総　数 | 表彰校 | % |
| 35 | | 188 | | | | |
| 36 | 26,741 | 454 | 1.7 | | | |
| 37 | 26,690 | 651 | 2.4 | 12,746 | 176 | 1.3 |
| 38 | 26,540 | 813 | 3.0 | 12,536 | 189 | 1.5 |
| 39 | 26,326 | 982 | 3.7 | 12,374 | 251 | 2.0 |
| 40 | 26,136 | 1,301 | 4.9 | 12,332 | 386 | 3.1 |
| 41 | 24,900 | 1,721 | 6.9 | 11,960 | 486 | 4.0 |
| 42 | 25,649 | 1,990 | 7.7 | 11,753 | 547 | 4.6 |
| 43 | 25,406 | 2,222 | 8.6 | 11,569 | 666 | 5.7 |
| 44 | 25,201 | 2,312 | 9.1 | 11,338 | 747 | 6.5 |
| 45 | 24,790 | 2,452 | 9.9 | 11,040 | 725 | 6.6 |
| 46 | 24,540 | 3,215 | 13.1 | 10,839 | 1,095 | 10.1 |
| 47 | 24,324 | 3,540 | 14.5 | 10,685 | 1,212 | 11.3 |
| 48 | 24,592 | 3,839 | 15.6 | 10,836 | 1,335 | 12.3 |
| 49 | 24,606 | 4,050 | 16.8 | 10,802 | 1,417 | 13.1 |
| 50 | 24,652 | 4,408 | 18.1 | 10,751 | 1,528 | 14.2 |
| 51 | 24,716 | 4,663 | 18.9 | 10,719 | 1,627 | 15.2 |
| 52 | 24,777 | 3,723 | 15.0 | 10,723 | 1,174 | 10.9 |
| 53 | 24,826 | 4,113 | 16.6 | 10,777 | 1,215 | 11.3 |
| 54 | 24,899 | 4,367 | 17.5 | 10,746 | 1,345 | 12.5 |
| 55 | 24,945 | 4,433 | 17.7 | 10,779 | 1,458 | 13.5 |
| 56 | 25,004 | 5,089 | 20.3 | 10,810 | 1,690 | 15.6 |

# ２．学校歯科保健推進モデル校表彰事業

＜昭和58年（1983年）～ 昭和59年（1984年）＞

## ◆目　的

第５次むし歯半減運動の発動を契機として，その目的に向かって学校歯科保健活動を推進し，他校の模範とするに足りうる活動をしている学校を表彰し，もって第５次むし歯半減運動の目的達成を図ろうとするものである。

## ◆方　法

日学歯加盟団体は，各都道府県，政令指定都市の教育委員会と協議の上，当該都道府県の小学校の中からモデル校の条件を満たす学校を選定し，推薦する。

## ◆選考基準

①　数年間以上にわたって，学校保健全般の活動が充実していること

②　学校歯科保健について次のことが当てはまること（要約）

ⅰ　学校保健安全計画で歯科保健の位置づけが明確であること

ⅱ　昭和58年度の健康診断の結果について，６年生のむし歯数（処置完了歯を含む）の平均が３歯以下であること

ⅲ　昭和57年度の６年生の平均むし歯数も３以下であること

ⅳ　学校歯科医の活動は「学校歯科医の活動指針」に沿って行われていること

ⅴ　歯科保健指導の活動を年間を通して行っていること

〔備考〕○この表彰は全日本よい歯の学校表彰が再出発するまでの暫定措置とする

○全日本よい歯の学校表彰が再開されたときには中止する

スタートは，昭和58年度からであった。

※　昭和60年度からは，全日本よい歯の学校表彰が再開されている。これは継続中の第５次むし歯半減運動のねらいを達成した学校を表彰して，この運動の趣旨を徹底し普及することを目的としている。

従来の全日本よい歯の学校表彰の場合のように到達目標の最低限度達成を指標とするものではなくて，第５次むし歯半減運動の趣旨を高度に達成したものを対象とする。各都道府県及び政令指定都市毎に１校を選定するものとする。「保健指導と保健管理の調和」を評価の重点とする。

その後，平成11年度から名称が「全日本学校歯科保健優良校表彰」に変わった。

昭和60年（1985年）から「全日本よい歯の学校表彰」事業が再開され，平成11年（1999年）からは名称が「全日本学校歯科保健優良校表彰」と変更された。

## ３．全日本学校歯科保健優良校表彰

全日本学校歯科保健優良校表彰規程を要約すると，下記のようである。

### ◆名　称

全日本学校歯科保健優良校表彰

### ◆主　催

㈳日本学校歯科医会，㈶日本学校保健会

### ◆後　援

文部省（現・文部科学省），㈳日本歯科医師会

### ◆目　的

文部省『小学校／歯の保健指導の手引』の理念に基づき，改正された健康診断の内容に応じた活動を推進し，全国に範とするに足る成果をあげた学校の表彰を行い，もって歯・口の健康つくりの目的達成を図るとともに心の健康を含めた確かな健康観の育成を目指すものである。

### ◆方　法

① 日本学校歯科医会加盟団体は，各都道府県，一部政令指定都市の教育委員会と協議の上選考委員会を設け，当該都道府県並びに政令指定都市の小学校の中から歯・口の健康つくり計画を立案して実践を継続し，成果を上げた学校を選定し本会へ推薦する。

② 推薦された学校のうち，特に優れた成果を上げている学校については日本学校歯科医会による実地審査を行い，最優秀校として文部大臣に申請する。

③ 推薦された学校のうち，優れた成果を上げている学校数校については特別賞として日本歯科医師会に申請する。

### ◆推薦のための選考基準

① 学校保健安全計画における歯科保健の位置づけが明確であり，特色ある歯科保健目標が設定されていること。また，保健教育，保健管理，組織活動がバランスよく機能していること（少なくとも３ヵ年以上にわたってこれが確認できること）。

② 歯科保健活動を年間を通して行っていること。

― 学級活動及び学校行事で毎学期１回以上，改定された健康診断の内容に応じて活動を実施していること。
― 児童活動で歯の保健の問題が取り上げられていること。

③　健康診断における歯の検査の結果が次を満たしていること。
― ６年生の永久歯のう歯総数が一人平均３歯以下であること（一人平均 DMF 歯数が四捨五入して3.00以下であること）。
― ６年生の歯の汚れの著しい者（歯垢の状態「２」の者）が少ないこと（10%以下）。
―（優良校としては歯肉炎所有者率が減少傾向にあることも評価基準の対象とする）。

④　健康相談はじめ個別的な歯科保健指導を学校歯科医と連携をとり定期的に行っていること（養護教諭あるいは学級担任が事後措置として CO のあるもの，GO の者への歯科保健指導を行っており，また歯列・咬合・顎関節に異常のあるものに対しても学校歯科医と相談の上，歯科保健指導・歯科健康相談を行っていること）。

⑤　学校歯科医の活動は「学校歯科医の活動指針」に沿って行われていること。
― 少なくとも年間10回程度は勤務していることが望ましい。
― 学校保健委員会に常時出席していること。

## ４．むし歯半減運動

昭和30年当時，児童の未処置う歯はいちじるしく多く，かつそれが増加の勢いを示していたことから，これに歯どめをかけるために，ひとまずそれを半減することを目標として始められたのが「児童むし歯半減運動」である。

これには学校歯科医はもちろん，いろいろな学校保健関係者が力を合わせて実践に，周知にと努力が続けられ，昭和31年から５年ごとに第１次から第４次まで，内容に多少の改変を加えながら実践がすすめられてきた。

その結果ようやく，永久歯のう歯の処置を50%以上完了する学校が全体の20%を超えようというところまできたので，ここに半減の運動目標はほぼ達せられたと判断された。

このような状況を踏まえ，更に世界保健機関（WHO）が提言している西暦2000年のときに全世界の12歳児の永久歯 DMF を３以下にしようという国際的な目標達成の線にも沿って，新たなねらいで第５次，第６次のむし歯半減運動が展開されていったのである。

こうして，戦後激増するう蝕に対処するため先ず未処置う歯を半減するために始められた「むし歯半減運動」であったが上記の通り，５ヵ年計画で第６次を重ね，この運動の成果も初期では考えられなかった程まで達したのを機に，平成４年度をもって発展的に解消し，平成５年度からは「歯・口の健康つくり運動」にその役目を譲った。

第１次むし歯半減運動　昭和31年～35年まで

第２次むし歯半減運動　昭和36年～40年まで
第３次むし歯半減運動　昭和41年～50年まで
第４次むし歯半減運動　昭和51年～56年まで
第５次むし歯半減運動　昭和57年～62年まで
第６次むし歯半減運動　昭和63年～平成４年まで

## ５．奥村賞について

### ◆経　緯

奥村鶴吉は，昭和７年(1932年)日本聯合学校歯科医会の創立とともにその理事長を務め，昭和13年(1938年）には会則の変更によって会長に就任した。

以降ずっと学校歯科衛生とともに歩み，昭和34年（1959年）に逝去された。

奥村家のご遺族は，故人の遺志を体して学校歯科衛生の振興に資する為に奥村賞の基金を設定した。そして奥村賞基金管理委員会によって管理されてきたが，その後昭和53年（1978年）に管理委員会からその運営全般を日本学校歯科医会に委譲する事となった。

### ◆奥村賞授賞規定

**趣　　旨**：

学校歯科衛生の振興に資するため奥村賞を設ける。

**授賞対象**：

学校歯科衛生に関する研究または学校に於ける業績が優秀と認められ，かつ直ちに学校歯科の進展に寄与するものに授賞する。ただし，授賞されるものには個人たると団体たるとを問わないが最終発表が３年以内のものに限る。

**推薦方法**：

１．日本学校歯科医会の加盟団体長は，個人又は団体の受賞候補者をいずれか１件またはそれぞれ１件ずつ選定し，日本学校歯科医会あて所定の期日までに推薦すること。

２．奥村賞審査委員は，日本学校歯科医会長あて受賞候補者を推薦することができる。

**推薦書類**：

推薦に当たっては，日本学校歯科医会加盟団体長又は奥村賞審査委員の推薦状とともに次の書類を添付すること。

A．学校歯科衛生に関する論文については，ⅰ．論文要旨（400字程度），ⅱ．学校歯科衛生の振興に寄与する意義（400字程度），ⅲ．原著論文。

B．学校歯科衛生に関する現場活動については，ⅰ．学校歯科衛生の実績を向上せしめた趣旨とその意義（400字程度），ⅱ．業績の経過と資料（統計，写真等を含む）。

**審査方法**：

日本学校歯科医会の奥村賞審査委員会が選定し，全国学校歯科保健研究大会席上で表彰する。

**受賞者**：

奥村賞は，原則として毎年１回１件に対して授賞する。ただし，優秀なるものに対しては推薦賞，努力賞を贈呈する。

## ◆奥村賞受賞の実績

| 回次 | 年度 | 奥村賞 | 推薦賞 | 努力賞 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1959 | 八戸市学校歯科医会 | | |
| 2 | 1960 | 富士川小学校（甲府） | | |
| 3 | 1961 | 富山県学校歯科医会 | | |
| 4 | 1962 | 琴平小学校（香川） | 高橋一夫<br>京都市学校歯科医会<br>福岡市学校歯科医会 | |
| 5 | 1963 | 埼玉県学校歯科医会 | 神土小学校（岐阜）<br>八代学校歯科医会 | |
| 6 | 1964 | 礎小学校（新潟） | 神代小学校（長崎） | |
| 7 | 1965 | なし | | |
| 8 | 1966 | なし | | |
| 9 | 1967 | 多度津小学校（香川） | | |
| 10 | 1968 | なし | 八人町小学校（富山） | |
| 11 | 1969 | なし | 栃原義人 | |
| 12 | 1970 | なし | 京都市学校歯科医会<br>東三国小学校（大阪）<br>佐伊津小学校（熊本）<br>佐世保市学校歯科医会 | |
| 13 | 1971 | 相楽小学校（京都） | 薮波小学校（富山） | |
| 14 | 1972 | 豊浜東小学校（香川） | 栄小学校（茨城）<br>方県小学校（岐阜） | |
| 15 | 1973 | 佐伊津小学校（熊本） | 上市中央小学校（富山） | 大津市学校歯科医会 |
| 16 | 1974 | 香南小学校（香川） | 宮地小学校（岐阜）<br>八幡区学校歯科医会 | |
| 17 | 1995 | なし | 塚本小学校（大阪）<br>津和小学校（茨城） | |
| 18 | 1976 | 京都市学校歯科医会 | | 薬利小学校（栃木） |
| 19 | 1977 | 塚本小学校（大阪） | 稲沢中学校（愛知） | |
| 20 | 1978 | 片浦小学校（神奈川） | | 長地小学校（長野） |
| 21 | 1979 | 城東小学校（熊本） | 歌敷山小学校（兵庫） | |
| 22 | 1980 | 鶴見中学校（神奈川） | 油井小学校（福島） | |
| 23 | 1981 | なし | なし | 城西小学校（福島）<br>東小学校（埼玉） |
| 24 | 1982 | なし | なし | 道後小学校（愛媛）<br>百合丘小学校（川崎）<br>水尾小学校（大阪）<br>薬利小学校（栃木）<br>有済小学校（京都） |
| 25 | 1983 | なし | なし | 美野島小学校（福岡） |
| 26 | 1984 | なし | 長地小学校（長野） | 大富小学校（山形）<br>水尾小学校（大阪） |
| 27 | 1985 | なし | | 放出小学校（大阪） |
| 28 | 1986 | なし | | |
| 29 | 1987 | 佐良土小学校（栃木） | 養基小学校（岐阜） | |

## ○全日本学校歯科保健優良校表彰　最優秀校一覧

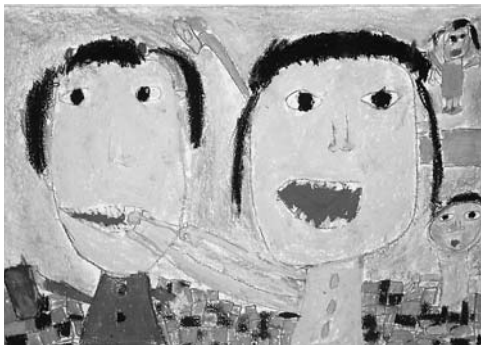
| 年　度 | 回 | 最優秀賞（文部科学大臣賞）受賞校 | | |
|---|---|---|---|---|
| 昭和60年度 | 24 | 東京都　桜小学校 | | |
| 昭和61年度 | 25 | 青森県　出来島小学校 | 福島県　城西小学校 | 愛知県　旭南小学校 |
| 昭和62年度 | 26 | 横浜市　笠間小学校 | 奈良県　北野小学校 | 岡山県　和気小学校 |
| 昭和63年度 | 27 | 宮城県　荒町小学校<br>大阪市　阿倍野小学校 | 長野県　通明小学校<br>熊本県　山内小学校 | 大阪府　日新小学校 |
| 平成元年度 | 28 | 岩手県　金田一小学校<br>和歌山県　田中小学校 | 千葉県　中国分小学校<br>愛媛県　久米小学校 | 埼玉県　常盤小学校<br>福岡市　美野島小学校 |
| 平成２年度 | 29 | 群馬県　西小学校<br>富山県　成美小学校 | 神奈川県　くぬぎ台小学校<br>神戸市　北須磨小学校 | 長野県　長地小学校<br>島根県　原井小学校 |
| 平成３年度 | 30 | 青森県　出野里小学校<br>東京都　第二亀戸小学校 | 山形県　八幡小学校<br>滋賀県　水口小学校 | 千葉県　幕張東小学校<br>大阪府　野田小学校 |
| 平成４年度 | 31 | 青森県　三条小学校<br>福井県　東郷小学校 | 山形県　浜田小学校<br>広島県　吉島東小学校 | 千葉県　横戸小学校<br>佐賀県　仁比山小学校 |
| 平成５年度 | 32 | 札幌市　二条小学校<br>大阪市　福島小学校 | 埼玉県　高砂小学校<br>山口県　奈古小学校 | 岐阜県　東白川小学校<br>沖縄県　神原小学校 |
| 平成６年度 | 33 | 山形県　本郷東小学校<br>愛知県　大野小学校 | 横浜市　千秀小学校<br>福井県　福井南養護学校 | 長野県　鍋屋田小学校<br>富山県　安野屋小学校 |
| 平成７年度 | 34 | 群馬県　南陽台小学校<br>長野県　岡谷小学校 | 東京都　旭丘小学校<br>岐阜県　中野方小学校 | 横浜市　桜井小学校<br>香川県　太田南小学校 |
| 平成８年度 | 35 | 青森県　種差小学校<br>富山県　福野小学校 | 福島県　三島小学校<br>京都府　百々小学校 | 名古屋市　大宝小学校<br>沖縄県　清水小学校 |
| 平成９年度 | 36 | 秋田県　湖北小学校<br>静岡県　横内小学校 | 栃木県　植野小学校<br>和歌山県　鳥屋城小学校 | 千葉県　名戸ヶ谷小学校<br>福岡県　祝町小学校 |
| 平成10年度 | 37 | 千葉県　旭小学校<br>大阪府　上神谷小学校 | 埼玉県　桜木小学校<br>高知県　稲生小学校 | 岐阜県　日吉小学校<br>沖縄県　城岳小学校 |
| 平成11年度 | 38 | 札幌市　豊水小学校<br>福島県　渡辺小学校<br>香川県　仁尾小学校 | 青森県　西園小学校<br>東京都　泰明小学校<br>長崎県　福島小学校 | 山形県　富士見小学校<br>静岡県　井宮小学校 |
| 平成12年度 | 39 | 札幌市　西岡北小学校<br>山梨県　明野小学校<br>高知県　安和小学校 | 茨城県　下高津小学校<br>名古屋市　東丘小学校<br>沖縄県　津覇小学校 | 東京都　水神小学校<br>広島県　昭和中央小学校 |
| 平成13年度 | 40 | 宮城県　幸町小学校<br>大阪府　東深井小学校<br>愛媛県　中川小学校 | 福島県　水保小学校<br>山口県　大道小学校<br>鹿児島県　武岡台小学校 | 和歌山県　上秋津小学校<br>徳島県　昼間小学校 |

## ○全日本学校歯科保健優良校表彰　特別賞受賞校一覧

| 年　度 | 回 | 特別賞（日本歯科医師会会長賞）受賞校 | | |
|---|---|---|---|---|
| 平成２年度 | 29 | 山 形 県　平野小学校 | 千 葉 県　幕張東小学校 | 東 京 都　赤坂小学校 |
| | | 京 都 府　太泰小学校 | 岡 山 県　総社西小学校 | 広 島 県　向原小学校 |
| 平成３年度 | 30 | 宮 城 県　味明小学校 | 宮 城 県　光明養護学校 | 群 馬 県　上郊小学校 |
| | | 千 葉 県　横戸小学校 | 神奈川県　相川小学校 | 岐 阜 県　温知小学校 |
| | | 富 山 県　杉原小学校 | 香 川 県　平井小学校 | |
| 平成４年度 | 31 | 群 馬 県　長野小学校 | 埼 玉 県　国神小学校 | 埼 玉 県　高砂小学校 |
| | | 東 京 都　立川市立第七小学校 | 東 京 都　南小岩小学校 | 大 阪 府　南横山小学校 |
| | | 徳 島 県　椿小学校 | 鹿児島県　皆与志小学校 | |
| 平成５年度 | 32 | 群 馬 県　元総社南小学校 | 千 葉 県　八ヶ崎第二小学校 | 埼 玉 県　桜木小学校 |
| | | 東 京 都　西ヶ原小学校 | 静 岡 県　浦川小学校 | 和歌山県　東山東小学校 |
| | | 岡 山 県　石相小学校 | | |
| 平成６年度 | 33 | 群 馬 県　高崎市立養護学校 | 千 葉 県　本町小学校 | 静 岡 県　田沢小学校 |
| | | 山 梨 県　山梨大教育学部附属小学校 | 岐 阜 県　中野方小学校 | 京 都 府　伏見板橋小学校 |
| | | 大 阪 市　晴明丘南小学校 | 鹿児島県　霜出小学校 | |
| 平成７年度 | 34 | 山 形 県　琢成小学校 | 茨 城 県　郡戸小学校 | 神奈川県　厚木小学校 |
| | | 神奈川県　荻野小学校 | 名古屋市　大宝小学校 | 富 山 県　福野小学校 |
| | | 島 根 県　玉湯小学校 | | |
| 平成８年度 | 35 | 北 海 道　勇足小学校 | 茨 城 県　結城西小学校 | 埼 玉 県　桜木小学校 |
| | | 新 潟 県　夏戸小学校 | 岐 阜 県　宮地小学校 | 大 阪 市　放出小学校 |
| | | 島 根 県　内中原小学校 | 鹿児島県　蒲生小学校 | |
| 平成９年度 | 36 | 札 幌 市　西岡北小学校 | 山 形 県　山形市立第三小学校 | 福 島 県　清水小学校 |
| | | 埼 玉 県　本太小学校 | 大 阪 市　上福島小学校 | 神 戸 市　向洋小学校 |
| | | 島 根 県　来島小学校 | 香 川 県　池田小学校 | 鹿児島県　古江小学校 |
| 平成10年度 | 37 | 山 形 県　琢成小学校 | 福 島 県　福島第一小学校 | 栃 木 県　薄葉小学校 |
| | | 群 馬 県　城南小学校 | 東 京 都　第一大島小学校 | 神奈川県　崇善小学校 |
| | | 愛 知 県　英比小学校 | 名古屋市　桶狭間小学校 | 大 阪 市　中津小学校 |
| 平成11年度 | 38 | 千 葉 県　新宿小学校 | 埼 玉 県　仲町小学校 | 埼 玉 県　仲本小学校 |
| | | 名古屋市　自由ヶ丘小学校 | 岐 阜 県　稲津小学校 | 滋 賀 県　びわ北小学校 |
| | | 大 阪 府　東深井小学校 | 大 阪 市　日本橋小学校 | 山 口 県　山口大教育学部附属山口小学校 |
| | | 鹿児島県　名山小学校 | | |
| 平成12年度 | 39 | 福 島 県　上郷小学校 | 栃 木 県　黒羽小学校 | 千 葉 県　増尾西小学校 |
| | | 埼 玉 県　北湖和小学校 | 神奈川県　東汲沢小学校 | 岐 阜 県　養正小学校 |
| | | 滋 賀 県　八幡小学校 | 岡 山 県　牧石小学校 | 香 川 県　太田南小学校 |
| | | 福 岡 県　片縄小学校 | | |
| 平成13年度 | 40 | 山 形 県　松原小学校 | 茨 城 県　上大野小学校 | 千 葉 県　光ヶ丘小学校 |
| | | 埼 玉 県　常盤小学校 | 岐 阜 県　上矢作小学校 | 滋 賀 県　大原小学校 |
| | | 大 阪 府　松原小学校 | 京 都 府　橋本小学校 | 大 阪 市　東九条小学校 |
| | | 福 岡 県　北小倉小学校 | | |

※平成２年度から（社）日本歯科医師会会長表彰（特別賞）が設けられ，現在に至っている。

# 第5章 歯科保健に関する図画・ポスターコンクール









日本歯科医師会が昭和36年（1961年）から実施していた「歯の衛生に関する図画・ポスターコンクール」を，昭和52年（1977年）から日本学校歯科医会が引き継いで現在に至っている。

「歯科保健に関する児童の図画・ポスターコンクール」は，小学校１～３年生は図画，小学校４～６年生及び中学生はそれぞれポスター，ということで全国から加盟団体を通して募集し，審査委員会による審査の結果，最優秀賞，優秀賞を毎年決定している。養護学校から応募があった場合には特別賞も設けている。平成10年より歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールと名称を変更。

# １．歯科保健に関する図画・ポスターコンクール

昭和36年から日本歯科医師会の主催によって行われてきた「歯の衛生に関する図画ポスター」の募集は，昭和52年度から日本学校歯科医会によって“次の世代を担う小学校，中学校の児童・生徒を対象にして口腔保健に関する理解と認識を深める”趣旨で行われることになった。

全国の都道府県における地方審査を通過した図画，ポスター各１点を日本学校歯科医会に応募していただき，審査委員会の厳正な審査により最優秀図画及びポスターと優秀賞を選定している。なお平成４年度から中学生のポスター募集も始め，小学生１～３年生による図画，小学生４～６年生によるポスター，中学生によるポスターの３部門とした。

最優秀作品については，作品を返却しないので図画及びポスターを写真にし，図書カードと賞状，副賞（図書券），盾とともに加盟団体に送付，また，優秀賞については，応募作品に賞状，副賞（図書券）を添えて加盟団体に送っている。

# ２．これまでのコンクール審査結果

| 年　度 | 応募校数 | 最優秀（図画） | 最優秀（ポスター） | 優　秀 | 特 別 賞 |
|---|---|---|---|---|---|
| 昭和52年度 | 76 | 6 | 6 | 64 | |
| 53 | 81 | 6 | 6 | 69 | |
| 54 | 92 | 6 | 6 | 80 | |
| 55 | 90 | 6 | 6 | 78 | |
| 56 | 89 | 6 | 6 | 77 | |
| 57 | 89 | 6 | 6 | 77 | |
| 58 | 88 | 6 | 5 | 77 | |
| 59 | 91 | 6 | 6 | 79 | |
| 60 | 89 | 6 | 6 | 77 | |
| 61 | 89 | 6 | 6 | 77 | |
| 62 | 92 | 6 | 6 | 80 | |
| 63 | 99 | 7 | 7 | 85 | |
| 平成元年 | 99 | 7 | 7 | 85 | |
| 2 | 93 | 7 | 7 | 79 | |
| 3 | 95 | 9 | 9 | 77 | |
| 4 | 133 | 6 | 11 | 115 | （盲 学 校）1 |
| 5 | 146 | 9 | 18 | 118 | （特殊学級）1 |
| 6 | 141 | 9 | 18 | 114 | |
| 7 | 139 | 6 | 9 | 124 | |
| 8 | 144 | 7 | 11 | 126 | |
| 9 | 148 | 6 | 12 | 130 | |
| 10 | 143 | 6 | 12 | 125 | |
| 11 | 149 | 6 | 12 | 130 | （養護学校）1 |
| 12 | 148 | 6 | 12 | 130 | |
| 13 | 146 | 6 | 12 | 128 | |

＊平成４年度から中学生も対象になった。

# 第6章 全国学校保健研究大会 全国学校歯科医協議会







全国学校保健研究大会並びに全国学校歯科医協議会は昭和26年（1951年）に第１回が福岡市で開催され，現在に至るまで50余年に及ぶ永い歴史を持ち学校保健の国体とも呼ばれている。

大会の第１日目に全国学校歯科医協議会が開催されるケースが多く，日本学校歯科医会が後援団体に入っている。全国学校保健研究大会は，学校保健の啓発と普及を目的に各都道府県を巡回するかたちで開催されている。

本研究大会は，初日に全体会があり文部科学大臣表彰など式典，特別講演等があって，２日目には課題別研究協議会が開かれ，この協議会の中で歯科領域の講義，研究発表や協議が行われる。

# １．全国学校保健研究大会の歴史

## １）全国学校衛生大会の始まり

現在の全国学校保健研究大会は，大正９（1920）年に設立された帝国学校衛生会の総会として大正11年５月に東京で開催された第１回全国聯合学校衛生会総会がルーツである。この時には学校歯科の活動は各地で始まっていたが，この総会には歯科医は全く参加していなかった。

第３回全国衛生大会から，学校歯科医学部が開かれ，終戦後，昭和22年（1947年）に帝国学校衛生会が日本学校衛生会に改組されたのを契機として，全国学校衛生大会として再出発をして25年（1950年）までこの名称で開かれている。

この大会の３回目の時から学校歯科医のセクションが始まり，昭和25年に名古屋で開催された第４回大会の時から戦前に引き続いた形で第14回全国学校歯科医大会として再開されるようになった。

## ２）全国学校保健大会

終戦後，それまで学校病の処置，予防を含んだ「衛生」を学校に持ち込んだ形の「学校衛生」がGHQの示唆もあって，学校病の予防までも含んだ健康指向の「学校保健」の考え方に変ってきた。この考えは学校医を含めて学校保健関係者には馴染みがうすかったが，昭和26年（1951年）に日本学校衛生会が日本学校保健会に改名されたころから次第に健康指向の考え方が浸透し，大会の名称も「全国学校保健大会」と改められ，第１回全国学校保健大会が福岡県で開催された。その後はこの大会では「学校保健」の実現に向けての主題が中心となった。実際に昭和29年（1954年）の学校給食法，33年（1958年）の学校保健法，34年（1959年）の日本学校安全会法等が相次いで施行されている。

学校保健法成立後はこの大会では学校現場におけるその実施，定着に向かっての研究，協議が大きな流れになっていて，健康診断の充実，養護教諭の必置制，保健室の充実などの問題が論じられている。

## ３）全国学校保健研究大会

昭和42年（1967年）の第17回大会から「全国学校保健研究大会」と名称が変更されている。

新しい学校保健の考えが定着するにつれて，昭和47年（1972年）には保健体育審議会が「児童生徒等の健康の保持増進に関する施策について」の答申を出し，これに基づいて学校における健康診断などの改革が行われたり，学校保健センター設立等が提案され，昭和48年（1973年）からは財団法人日本学校保健会が国庫補助を受けてその事業を実施するようになった。

また，保健体育審議会は平成９年（1979年）に「保健教育，安全教育及び給食指導等を統合した概念を健康養育として整理し，児童生徒の健康課題に学校が組織として一体的に取り組む必要がある」という趣旨の答申を出し，健康教育として学校保健を包括することが強調された。

全国学校歯科医大会は昭和25年（1950年）の第４回全国学校保健大会以来，この大会に連動して毎回その大会前日に開催されていたが，昭和30年（1955年）の第５回全国学校保健大会の時，アジア歯科医学大会の日程と重なったので，第19回全国学校歯科医大会が別な日に東京で開催されたのをきっかけに，学校

保健大会とは別個に開催されるようになった。そのため，学校保健大会に参加した学校歯科医のために主催府県が学校歯科医懇談会を開催していたが（昭和35年），大会参加の学校歯科医が増加してきたので，昭和52年（1977年）に神戸で開催された大会から「全国学校歯科医協議会」として名称を変えて開催されるようになって現在に至っている。

## ２．大会の概要

全国学校保健研究大会は学校保健の国体とも言われる。主催は文部科学省，（財）日本学校保健会，日本体育・学校健康センター，開催地の教育委員会，学校保健会である。

開催趣旨は，未来社会を志向し現代社会に適応した逞しい身体と豊かな心を兼ね備えた児童生徒の育成を目指して，当面する学校保健及び学校安全に関する諸問題について研究協議を行い，その充実発展に寄与することにある。

大会初日に全体会が行われ，式典（文部科学大臣表彰など）・特別講演などが行われる。二日目には課題別研究協議会が開催され，この中に歯科領域の研究協議が含まれている。大会初日の全体会のあとに「全国学校歯科医協議会」が開催される場合が多い。同会の主催は開催地の学校歯科医会（または歯科医師会）で（社）日本学校歯科医会，開催地の教育委員会が後援している。

具体例として，平成13年度の全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会は以下のとおり。

### ◆第51回全国学校保健研究大会

**・主　題**：

生涯を通して，心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
― 21世紀をになう子どもの心と体を一体として捉えた健康つくり ―

**・主　催**：

文部科学省，千葉県教育委員会，千葉市教育委員会，財団法人日本学校保健会，日本体育・学校健康センター，千葉県学校保健会，千葉市学校保健会

**・期　日**：

平成13年11月８日（木）～ ９日（金）

**・会　場**：

全体会＝千葉市千葉ポートアリーナ，課題別研究協議会＝千葉市内８会場

**・日　程**：

表彰式（学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う）
シンポジウム：テーマ「心豊かにたくましく生きる力を育む薬物乱用防止教育の推進」
課題別研究協議会第６課題「歯・口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
講義「学校歯科保健における健康教育の課題」―とくに歯・口の健康つくりと食教育について―，
日本大学歯学部小児歯科学講座教授　赤坂守人
研究発表校は３校および学校歯科医１名

**日　程**




## ◆第51回全国学校歯科医協議会

・**主　催**：社団法人千葉県歯科医師会
・**後　援**：社団法人日本学校歯科医会，千葉県教育委員会，千葉市教育委員会
・**期　日**：平成13年11月８日（木）午後５時
・**会　場**：千葉市ホテルニューツカモト３Ｆ「鳳凰の間」
・**内　容**：文部科学大臣表彰被表彰者の紹介，次期開催地挨拶（福井県）
基調講演「改正された健康診断方法に伴う歯列・咬合・顎関節の導入の意義と活用について」
日本大学名誉教授　森本　基
シンポジウム：
テーマ　「児童生徒の咬合接触状態と生活習慣の関わり」，研究発表２校，学校歯科医１名

# ３.全国学校保健研究大会･全国学校歯科医協議会のあゆみ

**第32回（昭和57年）～第51回（平成13年）**

十五世名人　大山康晴

## 第32回大会

◇**開催地**　山形県
（1,800名参加）
◇**開催年月日**　昭和57年10月28～30日
◇**メインテーマ**
「たくましいからだと豊かなこころ」
― 自ら考え，行動する児童生徒の育成 ―
〈記念講演〉「この道に生きる」

◇**班別協議会**（歯科の課題）　10月30日
「う歯を予防する効果的な指導と管理のあり方について」
◇**全国学校歯科医協議会**　10月28日
・学校における健康診断（歯科）について
文部大臣表彰受賞者の紹介
（245名参加）

## 第33回大会

◇**開催地**　京都府
（2,600名参加）
◇**開催年月日**　昭和58年10月27～29日
◇**メインテーマ**
「生涯にわたって健康で安全に生きぬく子どもの育成を目ざして」
― 学校・家庭・地域が一体となって ―
◇**班別協議会**（歯科の課題）　10月29日
「よい歯の子どもを育てる歯科保健」における学校・家庭・地域の役割と連携
◇**学校歯科医協議会**　10月27日
〈学術講演〉①　学童のむし歯予防の考え方と実際
〈特別講演〉②　鉄砲と徳川家康
京都市歴史資料館評議員・医学博士
吉岡新一
（約300名参加）

## 第34回大会

◇**開催地**　東京都
（約3,000名参加）
◇**開催年月日**　昭和59年10月31日～11月２日
◇**メインテーマ**
「すべての子供たちに生涯にわたる健康を」
― 自ら進んで健康つくりを実践する子供たちの育成 ―
〈特別講演〉「暮らしの再発見」
NHK アナウンサー　鈴木健二
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月２日
「歯の健康つくりを目指す学校歯科保健活動」
◇**学校歯科医協議会**　10月31日
〈学術講演〉①　咬合の全身に及ぼす影響について
〈研究協議〉②　予防填塞による健全歯牙の育成
― $C_1$の検査基準について ―
（約300名参加）

## 第35回大会

◇**開催地**　長崎県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　昭和60年11月７～９日
◇**メインテーマ**
「健康で活力に満ちたこころ豊かな子供の育成をめざして」
― 学校・家庭・地域の連携 ―
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月９日
「歯の健康を守る指導と管理」
◇**学校歯科医協議会**　11月７日
〈特別講演〉「長崎の医学・歯学の歩み」
日本医史学会評議員　中西　啓
・協議「学校保健委員会の将来的指針」
－今，学校歯科医に望むこと－
（約200名参加）

## 第36回大会

◇**開催地**　栃木県
（2,200名参加）
◇**開催年月日**　昭和61年10月23～25日
◇**メインテーマ**
「たくましく生きぬく児童・生徒の育成」
― 家庭及び地域との連携を通して ―
〈特別講演〉「日本語の美しさ」
お茶の水女子大学教授　外山滋比古
◇**班別協議会**（歯科の課題）　10月25日
「自発的に取り組むむし歯予防活動の推進」
◇**学校歯科医協議会**　10月23日
〈学術講演〉①　学校歯科保健の新しい方向をさぐる
〈特別講演〉②　陶芸家から見た日本人の美意識
前東京芸術大学教授・人間国宝
田村耕一

## 第37回大会

◇**開催地**　大阪府
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　昭和62年11月11～13日
◇**メインテーマ**
「21世紀を担う健康な子供の育成を目指して」
― 自ら健康で安全な生活を実践する子供 ―
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月13日
「健康な生活を実践する歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月11日
〈学術講演〉①「かむ」
②「正常歯列への道」
③「小児歯科治療と医療保険」
（約200名参加）

## 第38回大会

◇**開催地**　長野県
（2,150名参加）
◇**開催年月日**　昭和63年11月10～11日
◇**メインテーマ**
「心豊かで活力に満ちた子どもの育成」
― 心とからだの健康づくりを目指して ―
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月11日
「生涯保健をめざす歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月12日
◇**パネルディスカッション**
学校歯科保健を考える
〈特別講演〉①　歯科医療事故に関する諸問題
日本大学歯学部教授　竹井哲司
（250名参加）

## 第39回大会

◇**開催地**　茨城県
（約3,000名参加）
◇**開催年月日**　平成元年11月16～17日
◇**メインテーマ**
「生涯にわたる健康な生活をめざして」
― 自ら進んで健康なライフスタイルを確立する子どもの育成 ―
〈特別講演〉「こどもとおとなの健康教育の起点と戦略」
聖路加看護大学長　日野原重明
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月17日
「歯の健康つくりに努める子供の育成を目指す学校歯科保健活動のあり方」
◇**学校歯科医協議会**　11月18日
〈記念講演〉①　学校歯科医会のあゆみ
〈特別講演〉②　感動は心の栄養
― 茨城の民話を中心として ―
藤田　稔
（205名参加）

## 第40回大会

◇**開催地**　沖縄県
（2,400名参加）
◇**開催年月日**　平成２年11月14～16日
◇**メインテーマ**
「豊かな心を持ち，生涯を通してたくましく生きぬく子どもの育成」
― 家庭・地域との連携を通して ―
〈特別講演〉「ハブと人間：比較生涯論」
沖縄県公害衛生研究所長
吉田朝啓
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月16日
「歯を大切にする習慣や態度を育てる歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月17日
〈記念講演〉「沖縄県歯科医師会の軌跡」
沖縄県歯科医師会会長　西平守廣
〈特別講演〉「百歳の科学」―いつまでも若く元気であるために―
琉球大学医学部附属地域医療研究センター　鈴木　信

（165名参加）

## 第41回大会

◇**開催地**　奈良県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成３年11月７～８日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて心身ともにすこやかで，たくましく生きぬく子どもの育成」
― 健康なライフスタイルの確立をめざして ―
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月８日
「生涯を通じて歯の健康づくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月７日
〈特別講演〉「大和の古文化を語る」
－高松塚・藤ノ木古墳等－
関西大学文学部教授　網干善教
（141名参加）

## 第42回大会

◇**開催地**　山梨県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成４年11月５～６日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて心豊かでたくましく生きる子どもの育成」
― 家庭・地域との連携による健康なライフスタイルの確立 ―
〈特別講演〉「ワイン文化を考える」
山梨県果実酒組合会長　浅井昭吾
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月６日
「生涯を通じて歯や口の健康つくりを目指す活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月５日
〈特別講演〉「バイクと人生」
冒険ライダー　風間深志
（249名参加）

## 第43回大会

◇**開催地**　大分県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成５年11月11～12日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて，豊かな心を持ちたくましく生きる子どもの育成」
― 学校・家庭・地域の連携をとおして ―
〈特別講演〉「健康を考える」
産業医科大学学長　小泉　明
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月12日
「生涯を通じて歯や口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月12日
〈特別講演〉「小幡英之助先生が誕生するまでの蘭学」　川嶌眞人
（250名参加）

## 第44回大会

◇**開催地**　和歌山県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成６年11月10～11日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて健康で，明るく豊かに生きる子どもの育成」
― 健康なライフスタイルを確立する自己管理能力の育成を目指して ―
〈特別講演〉
「健康な心と生きがいを与える教育とは何か」
メンタル・ヘルス国際情報センター所長
小林　司
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月11日
「生涯を通じて歯・口の健康つくりを目指す学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月10日
〈特別講演〉「熊野古道を歩いて」

前田辺市文化財審議会委員長　杉中浩一郎
（約400名参加）

## 第45回大会

◇**開催地**　徳島県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成７年11月16～17日
◇**メインテーマ**
「生涯にわたり心豊かで，たくましく生きぬく子どもの育成」
― のぞましいライフスタイルの確立をめざして ―
〈特別講演〉「愛死について」
作家・天台寺住職　瀬戸内寂聴
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月17日
「歯・口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動」
◇**学校歯科医協議会**　11月16日
〈特別講演〉「藍染について」
天然藍匠同人代表者　吉庄理一郎
（250名参加）

## 第46回大会

◇**開催地**　佐賀県
（2,700名参加）
◇**開催年月日**　平成８年11月14～15日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて健康で，豊かな心をもちたくましく生きる子どもの育成」
― 望ましいライフスタイル確立のための自己管理能力の育成をめざして ―
〈特別講演〉「たくましく生きるために」
中央教育審議会会長　有馬朗人
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月14日
「歯・口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月14日
〈特別講演〉「やきものと私」
第13代　今泉今右衛門（人間国宝）
（250名参加）

## 第47回大会

◇**開催地**　鳥取県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成９年９月25～26日
◇**メインテーマ**
「生涯にわたり心豊かで，たくましく生きる子どもの育成」
― 主体的に取り組む健康なライフスタイルの確立 ―
〈特別講演〉「音楽裏論」―音と人間の関係―
作曲家　神津善行
◇**班別協議会**（歯科の課題）　９月26日
「歯・口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　９月25日
〈特別講演〉「口の中の人」
鳥取赤十字病院 内科医　徳永　進
（約200余名参加）

## 第48回大会

◇**開催地**　宮城県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成10年11月５～６日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて，心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進」
― 健康教育　21世紀への挑戦 ―
◇**シンポジウム**
テーマ　「生きる力」をはぐくむ健康教育のあり方
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月５日
「歯・口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月５日

「学校歯科保健の過去・現在・未来」
宮城県歯の歩みから
宮城県歯科医師会　中條幸一
〈特別講演〉日本における歩みから
（社）日本学校歯科医会会長　西連寺愛憲
（約200名参加）

## 第49回大会

◇**開催地**　岐阜県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成11年11月18～19日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて，心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進」
― 21世紀を担う子どもの心とからだの健康のために ―
◇**シンポジウム**
テーマ「生きる力」をはぐくむ健康教育の在り方（これからの健康教育の在り方を方向付ける）
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月19日
「歯・口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月18日
フォーラム「噛むこと・噛めることを学校保健にどう生かすか」
（約200名参加）

## 第50回大会

◇**開催地**　北九州市
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成12年11月９～10日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて，心ゆたかにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進」
― 社会の変化に主体的に対応できる子どもの育成 ―
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月10日
「歯・口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月９日
〈基調講演〉
「生涯を通じて，心豊かに『生きる力を育む』ための歯・口の健康つくり」
（約300名参加）

## 第51回大会

◇**開催地**　千葉県
（約2,000名参加）
◇**開催年月日**　平成13年11月８～９日
◇**メインテーマ**
「生涯を通じて，心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」
― 21世紀を担う子供の心と体を一体としてとらえた健康つくり ―
◇**シンポジウム**
「心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ薬物乱用防止教育の推進」
◇**班別協議会**（歯科の課題）　11月９日
「歯・口の健康つくりをめざす学校歯科保健活動の進め方」
◇**学校歯科医協議会**　11月８日
基調講演「改正された健診方法に伴う歯列・咬合・顎関節の導入の意義と活用について」
シンポジウム「児童生徒の咬合接触状態と生活習慣のかかわり」
（350名参加）

# 第7章 学校歯科保健研修会（ワークショップ）





学校歯科保健研修会のスタートは，昭和54年（1979年）度から，（社）日本学校歯科医会の主催でライオン株式会社協賛，文部省・厚生省・日本歯科衛生士会の後援を得て，歯科衛生士を対象として開催されるようになった。

当時，文部省の実施するむし歯予防推進指定校の事業もスタートし，学校現場や歯科保健現場で活躍している歯科衛生士の質的向上が要求される時代になったという認識からであった。

昭和63年（1988年）度からは名称も学校歯科保健研修会－指導者養成セミナー（ワークショップ）として，構想も新たに開催県も主管として，将来を担う学校歯科医を対象とした研修会として開催，現在に至っている。

全国を７ブロック（関東ブロックは２つに分ける）に分けて２年間で全国を一巡する計画である。

# １．学校歯科保健研修会の推移

## 1 歯科衛生士のための歯科保健研修会

**◆昭和54年（1979年）～ 昭和59年（1984年）**

文部省の実施するむし歯予防推進指定校の事業もスタートし，学校現場や歯科保健現場で活躍している歯科衛生士の資質の向上が要求される時代になってきたとの認識から，日本学校歯科医会では昭和54年（1979年）11月から東京において第１回歯科衛生士のための学校歯科保健研修会を開催，以降６年間継続してきた。

### 研修会の具体例Ａ

**第４回研修会**：開催期日，昭和58年１月22～23日
**主　催**：社団法人日本学校歯科医会
**協　賛**：ライオン株式会社
**後　援**：文部省，厚生省，日本歯科衛生士会

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 22日 | 12:30～13:00 | 13:00～13:10 | 13:10～17:30 | 17:30 | 19:00～21:00 |
| | 受　付 | 開会あいさつ | 講　義<br>（栗山, 吉田, 榊原） | 夕　食 | 講義･オリエンテーション<br>（武者） |
| | 東京・水道橋グリーンホテル | | | | |
| 23日 | 7:00～9:00 | 9:00～12:00 | 12:00～13:00 | 13:00～14:50 | 15:00 |
| | 朝食・移動 | 講義・実技１<br>（辻，石井） | 昼　食 | 実　技　２<br>（丹羽） | 閉　会 |

① **日　程**

② **講　義**

「歯科衛生士による保健教育の概論」
「学校保健における歯の保健指導とそのすすめ方」
「公衆衛生活動における歯科衛生士の役割」
「歯磨剤と歯ブラシ」
「疫学概論 ― 歯科疫学の序論として」

③ **実　技**

口腔衛生状態の検出とデータ処理法，フッ素の局所応用にあたっての安全性確認について
（参加者87名）

## 2 全国学校歯科保健研修会

### ◆昭和61年（1986年）～ 昭和63年（1988年）

昭和59年（1984年）まで継続してきた歯科衛生士のための研修会も，現場における実技の向上も含めて資質のレベルアップに貢献したとして今回で終わりとし，名称も全国学校歯科保健研修会として，歯科衛生士と学校保健関係者を対象とした研修会を開催。

**歯科衛生士のための歯科保健研修会と全国学校歯科保健研修会の開催一覧**

| 回 | 開 催 日 | ブロック | 開催地 | 参加人数 | 対象者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和54年11月16・17日 | | 神奈川県 | 87 | 歯科衛生士 |
| 2 | 昭和56年１月24・25日 | | 神奈川県 | 85 | 歯科衛生士 |
| 3 | 昭和57年１月23・24日 | | 東京都 | 78 | 歯科衛生士 |
| 4 | 昭和58年１月22・23日 | | 東京都 | 87 | 歯科衛生士 |
| 5 | 昭和59年１月21・22日 | | 東京都 | 87 | 歯科衛生士 |
| 6 | 昭和60年１月19・20日 | | 東京都 | 79 | 歯科衛生士 |
| 7 | 昭和61年１月18・19日 | 北海道・東北 | 宮城県 | 86 | 歯科衛生士・学校関係者 |
| | 昭和61年２月１・２日 | 中部・東海 | 岐阜県 | 82 | 歯科衛生士・学校関係者 |
| 8 | 昭和62年１月29・30日 | 近畿・北陸 | 大阪府 | 69 | 歯科衛生士・学校関係者 |
| | 昭和62年２月６・７日 | 九州 | 福岡県 | 76 | 歯科衛生士・学校関係者 |
| 9 | 昭和62年12月１・２日 | 関東 | 神奈川県 | 73 | 歯科衛生士・学校関係者 |
| | 昭和63年２月４・５日 | 中国・四国 | 広島県 | 103 | 歯科衛生士・学校関係者 |

## 3 学校歯科保健研修会・指導者養成研修セミナー（ワークショップ）

### 〔学校歯科医対象〕

### ◆昭和63年（1988年）８月より開催

昭和63年（1988年）８月から学校歯科医を対象として新たな構想をもってスタートした。

研修会は，全国を６ブロック，即ち北海道・東北ブロック，関東甲信越ブロック，（関東地区はA，Bブロックに２分化），中部・東海ブロック，近畿・北陸ブロック，中国・四国ブロック，九州・沖縄ブロックに分け２年をかけて全国を一巡することとし，一泊二日の日程（関東ブロックB東京都は１日）で行うことになった。

参加対象者は，開催地区の学校歯科医会（歯科医師会）の推薦を受けた将来その地域の学校歯科保健活動の指導的役割を担う先生方とした。

# ２．研修会の具体例Ｂ

## ◆第23回学校歯科保健研修会（関東ブロックＡ）
### 指導者養成研修セミナー（ワークショップ）

― 平成13年９月８日～９日さいたま市埼玉教育会館で開催 ―

**趣　旨**：

学校における歯科保健活動は，児童生徒の歯・口腔の健康つくりを通じて心身ともに健康な人間を育成するという教育目標の達成に寄与することを目指して行われるものである。学校歯科医は，その主導的役割を果たす立場の職員である。このため，本会においては昭和63年度から指導者養成を目的とした研修会を行ってきたが，本年度もこれを継続し学校歯科医が学校歯科保健をもりたてるための活動に役立つワークショップを通じて，学校歯科医としての資質の向上に寄与しようとするものである。

**主　催**：㈳日本学校歯科医会

**主　管**：㈳埼玉県歯科医師会（開催地歯科医師会）

**後　援**：文部科学省，㈳日本歯科医師会，埼玉県教育委員会

**協　賛**：ライオン株式会社

**内容・方法**：

当日は，12時から開会挨拶ののち，「学校歯科保健研修会（指導者養成研修セミナー）開催に当たって」，と題して日本学校歯科医会西連寺愛憲会長から講話があり，自己紹介を兼ねた昼食会があって，講義に移る。

午後１時40分からは，国際武道大学大学院前教授猪股俊二先生から「健康診断の充実と学校歯科医の関わり方・進め方」，午後２時50分から明海大学歯学部教授安井利一先生から「歯・口の健康診断と事後措置」についてそれぞれ講義が行われた。

午後４時からワークショップに移る。参加者が小グループを編成し，〔OHP 歯科講話の作成〕― 健康診断結果モデル提示 ― について討議しグループ毎にまとめて発表を行った。

学校歯科医が児童生徒に対して講話や保健指導を行う機会は多い。教職員や保護者に対しての講話や知識を伝達することもある。最近は単に話すだけでなくスライド，OHP 等の媒体を使用して分かりやすく話を進めていくことが要求される。そのような意味合いにおいて特にワークショップの時間を設けて，児童生徒を対象とする場合，教職員や保護者を対象とする場合は，学校保健委員会との関わりを考慮しながら小学校・中学校それぞれの学校の教職員，保護者に見合った適切な内容の講話を作成するようにする。

事前に担当講師から内容の説明，各グループ毎の OHP を使用しての発表，発表後の自己評価，各講師の先生方からの発表に対する評価と指導助言が行われる。

また，講演としてライオン歯科衛生研究所から「学校歯科保健活動における教材の紹介とその使い方」について発表された。

最後に修了証が会長から出席者一人ひとりに授与される。
参加者36名。

**第23回学校歯科保健研修会（関東ブロックＡ）日程**

| 時 間 | 9月8日（土） | 時 間 | 9月9日（日） |
|---|---|---|---|
| 11:30 | | | |
| | 受　　付 | | |
| 12:00 | | 9:00 | |
| | 開会挨拶<br>会長講話 | | ワークショップの自己評価 |
| 12:50 | | 10:20 | |
| | 昼　食(自己紹介) | 10:30 | 休　　憩 |
| 13:40 | | | 講演(ライオン歯科衛生研究所) |
| | 講　義　Ⅰ | 11:30 | |
| 14:40 | | | 昼　　食 |
| | 休　　憩 | 12:15 | |
| 14:50 | | | ワークショップに対する<br>評価と指導助言 |
| | 講　義　Ⅱ | 12:45 | |
| 15:50 | | | 閉　　会<br>修了証授与 |
| | 休　　憩 | 13:15 | |
| 16:00 | | | |
| | ワークショップ | | |
| 18:00 | | | |
| | 夕　　食 | | |
| 19:00 | | | |
| | ワークショップ | | |
| 21:00 | | | |

## ３．学校歯科保健研修会開催地等一覧（学校歯科医対象）

昭和63年（1988年）からの学校歯科保健研修会（学校歯科医対象）の開催日程，開催地等は下記のとおりである。

**学校歯科保健研修会（ワークショップ）の開催一覧**

| 回 | 開 催 日 | ブロック | 開催地 | 参加人数 | 対象者 | ワークショップ内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 昭和63年８月20・21日 | 北海道・東北 | 福 島 県 | 46 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 昭和63年12月17・18日 | 近畿・北陸 | 大 阪 府 | 53 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成元年１月28・29日 | 九州 | 福 岡 県 | 30 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |

| 回 | 開 催 日 | ブロック | 開催地 | 参加人数 | 対象者 | ワークショップ内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 平成元年７月８・９日 | 中部・東海 | 愛 知 県 | 38 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成元年７月22・23日 | 関東Ａ | 埼 玉 県 | 27 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成元年７月29・30日 | 関東Ｂ | 東 京 都 | 118 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成元年12月９・10日 | 中国・四国 | 愛 媛 県 | 34 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| 12 | 平成２年５月12・13日 | 北海道・東北 | 宮 城 県 | 48 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成２年６月30日・７月１日 | 近畿・北陸 | 京 都 府 | 43 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成２年12月１・２日 | 九州 | 沖 縄 県 | 32 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| 13 | 平成３年５月25・26日 | 中部・東海 | 静 岡 県 | 40 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成３年７月20・21日 | 関東Ａ | 群 馬 県 | 33 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成３年７月13・14日 | 関東Ｂ | 東 京 都 | 97 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成３年11月30日・12月１日 | 中国・四国 | 香 川 県 | 41 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| 14 | 平成４年５月30・31日 | 北海道・東北 | 青 森 県 | 51 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成４年７月18・19日 | 九州 | 宮 崎 県 | 32 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成４年11月28・29日 | 近畿・北陸 | 兵 庫 県 | 33 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| 15 | 平成５年６月５・６日 | 関東Ａ | 茨 城 県 | 29 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成５年７月10・11日 | 中部・東海 | 岐 阜 県 | 41 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成５年７月22日 | 関東Ｂ | 東 京 都 | 52 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| | 平成５年10月30・31日 | 中国・四国 | 山 口 県 | 36 | 学校歯科医 | 学校保健年間計画の作成 |
| 16 | 平成６年５月28・29日 | 北海道・東北 | 北 海 道 | 41 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成６年７月16・17日 | 近畿・北陸 | 福 井 県 | 40 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成６年11月26・27日 | 九州 | 鹿児島県 | 37 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| 17 | 平成７年５月27・28日 | 中国・四国 | 高 知 県 | 37 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成７年７月１・２日 | 関東Ａ | 神奈川県 | 51 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成７年７月20日 | 関東Ｂ | 東 京 都 | 50 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成７年９月30日・10月１日 | 中部・東海 | 長 野 県 | 38 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| 18 | 平成８年５月11・12日 | 北海道・東北 | 秋 田 県 | 42 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成８年７月６・７日 | 近畿・北陸 | 滋 賀 県 | 46 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成８年12月７・８日 | 九州 | 熊 本 県 | 32 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |

| 回 | 開 催 日 | ブロック | 開催地 | 参加人数 | 対象者 | ワークショップ内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 平成９年５月10・11日 | 中国・四国 | 広 島 県 | 33 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成９年７月12・13日 | 関東Ａ | 千 葉 県 | 49 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成９年７月17日 | 関東Ｂ | 東 京 都 | 53 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成９年11月29・30日 | 中部・東海 | 愛 知 県 | 44 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| 20 | 平成10年５月23・24日 | 北海道・東北 | 山 形 県 | 30 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成10年６月20・21日 | 近畿・北陸 | 和歌山県 | 43 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成10年７月25・26日 | 九州 | 佐 賀 県 | 45 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| 21 | 平成11年５月22・23日 | 関東Ａ | 栃 木 県 | 44 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成11年６月12・13日 | 中部東海 | 岐 阜 県 | 33 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成11年７月10・11日 | 中国・四国 | 徳 島 県 | 33 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| | 平成11年７月15日 | 関東Ｂ | 東 京 都 | 37 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成 |
| 22 | 平成12年５月20・21日 | 近畿・北陸 | 奈 良 県 | 40 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成（健診結果モデル提示） |
| | 平成12年６月17・18日 | 北海道・東北 | 岩 手 県 | 43 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成（健診結果モデル提示） |
| | 平成12年７月15・16日 | 九州 | 長 崎 県 | 38 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成（健診結果モデル提示） |
| 23 | 平成13年８月30日 | 関東Ｂ | 東 京 都 | 58 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成（健診結果モデル提示） |
| | 平成13年９月８・９日 | 関東Ａ | 埼 玉 県 | 36 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成（健診結果モデル提示） |
| | 平成13年10月20・21日 | 中国・四国 | 岡 山 県 | 37 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成（健診結果モデル提示） |
| | 平成13年12月８・９日 | 中部東海 | 長 野 県 | 39 | 学校歯科医 | OHP 歯科講話の作成（健診結果モデル提示） |

●県別ブロック一覧表

| ブロック | 県・市名 | | | ブロック | 県・市名 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道東北ブロック | 北 海 道 | 札 幌 | 青 森 県 | 近畿北陸ブロック | 石 川 県 | 福 井 県 | 富 山 県 |
| | 岩 手 県 | 秋 田 県 | 宮 城 県 | | 滋 賀 県 | 和歌山県 | 奈 良 県 |
| | 山 形 県 | 福 島 県 | | | 京 都 府 | 大 阪 府 | 大 阪 市 |
| 関東Ａブロック | 茨 城 県 | 栃 木 県 | 群 馬 県 | | 兵 庫 県 | 神 戸 市 | |
| | 千 葉 県 | 埼 玉 県 | 神奈川県 | 中国四国ブロック | 岡 山 県 | 鳥 取 県 | 広 島 県 |
| | 横 浜 市 | 川 崎 市 | 山 梨 県 | | 島 根 県 | 山 口 県 | 徳 島 県 |
| | 新 潟 県 | | | | 香 川 県 | 愛 媛 県 | 高 知 県 |
| 関東Ｂブロック | 東 京 都 | | | 九州ブロック | 福 岡 県 | 福 岡 市 | 佐 賀 県 |
| 中部東海ブロック | 長 野 県 | 静 岡 県 | 愛 知 県 | | 長 崎 県 | 大 分 県 | 熊 本 県 |
| | 名古屋市 | 岐 阜 県 | 三 重 県 | | 宮 崎 県 | 鹿児島県 | 沖 縄 県 |

## ●＜参考資料＞　学校歯科保健研修会講師名簿

（敬称略，順不同）

### ◆歯科衛生士対象研修会講師名

**〔昭和54年（1979年）～昭和63年（1988年）〕**

| | |
|---|---|
| 文部省体育局教科調査官 | 吉田瑩一郎 |
| 日本歯科大学教授 | 辻　　達彦 |
| 日本歯科大学助教授 | 丹羽　源男 |
| 愛知学院大学歯学部教授 | 榊原悠紀田郎 |
| 愛知学院大学歯学部助教授 | 石井　拓男 |
| 愛知学院大学歯学部助教授 | 中垣　晴男 |
| 東京歯科大学教授 | 高江洲義矩 |
| ライオン株式会社口腔衛生部長 | 本村　誠一 |
| ライオン株式会社口腔衛生部 | 武者　良憲 |
| ライオン東京診療所 | 栗山　純雄 |

### ◆学校歯科医対象研修会講師名

**〔昭和63年（1988年）～平成７年（1995年）〕**

| | |
|---|---|
| 文部省体育官 | 猪股　俊二 |
| 日本体育大学教授 | 吉田瑩一郎 |
| 東京医科歯科大学歯学部教授 | 岡田昭五郎 |
| 明海大学歯学部教授 | 中尾　俊一 |
| 日本大学松戸歯学部教授 | 森本　　基 |

**〔平成８年（1996年）～平成10年（1998年）〕**

| | |
|---|---|
| 国際武道大学教授 | 猪股　俊二 |
| 日本大学松戸歯学部教授 | 森本　　基 |
| 東京医科歯科大学名誉教授 | 岡田昭五郎 |
| 日本体育大学教授 | 吉田瑩一郎 |
| 明海大学歯学部教授 | 安井　利一 |

**〔平成11年（1999年）～平成13年（2001年）〕**

| | |
|---|---|
| 東京医科歯科大学名誉教授 | 岡田昭五郎 |
| 国際武道大学大学院教授 | 猪股　俊二 |
| 明海大学歯学部教授 | 安井　利一 |
| 日本大学歯学部教授 | 赤坂　守人 |

※なお，研修会の最後に「学校歯科保健活動における教材の紹介とその使い方」等のテーマで（財）ライオン歯科衛生研究所の講演が行われる。

# 第8章 国際交流

## 学校歯科保健アジア会議









我が国の学校歯科保健活動は，教育と管理の調和を軸として進められており，世界でも類のない制度として発展してきた。そして歯と口腔の健康が全身の健康に与える影響が解き明かされつつある現在は，う蝕への対応ばかりでなく，歯と口腔全体の健康の保持増進を図る活動を展開するところまで来ている。同じように世界各国でも子供たちの健やかな発育を願う独自の歯科保健活動が活発に展開されており，学校歯科保健のグローバリゼーションは時代の流れとなった。

日本学校歯科医会では昭和63年（1988年）に国際交流委員会を発足させ，国際的な情報交換，資料収集などに取り組んできた。そして学校歯科医制度70周年・社団法人日本学校歯科医会設立30周年を記念し平成13年（2001年）にアジア地域初めての国際会議「学校歯科保健アジア会議」を開催したのである。

# 1．国際交流委員会の活動

日本学校歯科医会に国際交流委員会が設置されてから14年になる。国際交流委員会活動を通じて日本学校歯科医会の国際交流のあゆみを辿って見る。

日本学校歯科医会は，我が国の児童生徒の心と身体，特に歯と口の健康について積極的に力を注いできた。昭和33年（1958年）に公布された学校保健法に基づき当初は口腔疾患の早期発見，早期治療を目標に口腔衛生管理，さらには口腔衛生教育を活動の重点において今日に至っている。この長い期間の努力の積み重ねの結果は，平成11年（1999年）我が国の児童生徒のう蝕が極めて減少してきたことが厚生省の白書に明らかにされるまでになった。

我が国の学校歯科保健が独自の型を取って今日の座を占めていることはもちろんであるが，同じように世界各国でも歯科保健活動が活発に続けられ大きな成果を挙げていることも事実である。今，国際化が叫ばれているとき世界の歯科関係者がお互いに胸襟を開いて語り合うことこそ学校歯科保健を一層大きく発展させるものであると考えられる。

この時期を捉え西連寺愛憲現会長が昭和63年（1988年）日本学校歯科医会の国際的受け入れ体制，整備と今後の進むべき方向の確立の必要性を考え，本会に「国際交流検討委員会」を発足させた。その後「国際交流委員会」となり現在に至っている訳である。

国際交流といっても，単に表面上や外交上でのみ諸外国と交流するのではなく，もっと具体的に情報の交換や資料の収集をすることが本来の姿であると考えた上で発足したものである。古くから多くの諸先輩が国際学会や海外研修，視察旅行等に参加されその都度本会に報告をいただいているが，我が国の学校歯科保健が欧米からその良し悪しを学びつつ実践に教育に成果を挙げてきたことは申すまでもない。

# 2．広範な国際交流活動

委員会はまず国際交流に関する今日までの記録を整理し考察することから始めた。以降海外の連絡，国際情報の収集，日学歯の海外への紹介等,地道ながらも活発に活動を続けている。内容は次の如くである。

## 1 海外との連携

海外向けに日学歯紹介英文パンフレット，我が国の学校歯科保健紹介英文小冊子，並びに英文の歯科健康診断票を作製し本会に保管した。次に世界36か国に学校歯科保健についての質問書を送付し各国から回答を得たので内容を中間報告として本会に提出した。

また，ドイツ歯科医師会から日本の学校歯科保健についての問い合わせがあり，早速その回答を同国に送った。平成２年（1990年）「赤色３号」の問題が発生した折りには，シンガポールの「植物色素」に関する情報を入手しサンプルを添えて本会に報告した。なお，スペインで開催された FDI 世界歯科大会に

本会から児童の口腔衛生ポスターを展示したところ，各国に大きな反響を呼び，翌々年のパリ大会では全ヨーロッパにおける歯科関係の児童画コンクールの入選者発表が行われ本会の歯科保健活動が世界に高く評価された。

## 2 参考となる海外資料の紹介

会員が口腔保健活動の参考に知っておきたい資料として「キシリトール」「トリクロサン」「リカルデント」「トウースフレンドリー協会」「インターネット」「国際交流関連 URL 集」等々を整理し，本会に保管した。

## 3 各国の歯科事情の収集

委員が国際学会や海外研修等に出席した際に収集した情報，図書から知り得たもの，またインターネットによる資料から各国の歯科情報を収集し本会に保管した。

## 4 WHO（世界保健機関）との関連

平成２年（1990年）来日した WHO の D. E. Barmes 博士の講演要旨並びに同氏がストックホルムで発表した論文の邦訳やインターネットによる WHO 資料，及び世界の12歳児の DMFT 指数に関する調査資料等を収集し本会に保管した。

## 5 FDI（国際歯科連盟）との関連

FDI 世界歯科大会は，第78回シンガポール大会から毎年その大要を会誌を通じ全会員に報告している。また，会員向け FDI 紹介資料，FDI 白書より歯科マンパワー調査資料，「FDI 二桁数学歯牙表示法」資料，「アマルガムの FDI 見解」資料等々を整理し本会に保管してある。

以上，本委員会の活動の概略を列記したが，本会に保管してある資料は会員が必要とするときはいつでも提示できるようになっている。また，任期ごとに総括報告書を提出し，現在までに第１巻から第７巻まで本会に保管してある。

世界的な傾向からみても歯科医療が予防に重点を置く時代になってきたと考えられる。そして学校歯科保健はその目標であり日学歯が今まで努力をしてきた精神が，歯科界の先頭を切らねばならない時がきたと言っても過言ではない。平成13年（2001年）７月に日学歯はアジアで初めて「学校歯科保健アジア会議」を東京で開催し大きな成功を収めたが，これこそ国際交流の第一歩であり私たちの大きな希望の灯となった実証であると考える。

# 3．学校歯科保健アジア会議

平成11年（1999年）の日本学校歯科医会執行部において，平成13（2001）年度が学校歯科医制度70周年，そして当会が社団法人化30周年の年にあたり，記念事業を行うことになり，「学校歯科医制度70周年・社団法人設立30周年記念事業準備特別委員会」が組織された。

そして，昭和63年（1988年）からの国際交流委員会の活動，経験の積み重ねから，諸外国との交流，とりわけアジア諸国との学校歯科保健に関する情報交換から，より良い学校歯科保健の将来像が描けるのではないかという希望をもって，アジア諸国に呼びかけアジア国際大会を開催することとなった。

以下は，学校歯科保健アジア会議を開催するまでの経緯である。

◇平成11年７月30日　　第１回　　準備委員会開催
　松島　悌二副会長が委員長に就任
　仮称「アジア学校歯科保健国際大会」の開催と，その準備を進めることに決定。
◇平成11年10月20日（水）　　第２回　　準備委員会
　会場を都市センターホテルに内定。
　名称を『学校歯科保健アジア会議』に決定。
◇平成11年12月14日（火）　　第３回　　準備委員会
◇平成12年１月18日（火）　　第４回　　準備委員会
◇平成12年２月24日（木）　　第５回　　準備委員会
◇平成12年３月15日（水）　　第６回　　準備委員会
　開催日程を平成13年７月18・19日に決定。
　前日の７月17日に事前打ち合わせ会議の開催と，公開授業の設定等を西連寺会長へ答申。
◇平成12年４月　「学校歯科保健アジア会議実行委員会」が発足し，松島悌二副会長が委員長に就任。
◇平成12年７月11日（火）　　第１回　　実行委員会
◇平成12年10月４日（水）　　第２回　　実行委員会
◇平成12年12月７日（木）　　第３回　　実行委員会
◇平成13年１月18日（木）　　第４回　　実行委員会
◇平成13年４月18日（水）　　第５回　　実行委員会
◇平成13年５月30日（水）　　第６回　　実行委員会
　平成12年６月当会の会長以下役員全員による「学校歯科保健アジア会議組織委員会」を発足。
◇平成12年６月28日（水）　　第１回　　組織委員会
◇平成12年10月18日（水）　　第２回　　組織委員会
　海外からの参加は13の国，１つの地域とほぼ決まる。

◇平成13年２月22日（木）　　第３回　　組織委員会

事業予算ほぼ決まる。

大会当日の役員全員の役割分担が決定される。

平成12年５月東京で開催された歯科医学会の国際大会に参加されていたアジア各国，地域の先生方の出席をいただき，第１回「学校歯科保健アジア会議」打ち合わせ会を５月28日（日）に開催。

◇平成13年５月15日（火）　　第２回　　打ち合わせ会

以上のような経過を経て，実行委員会，組織委員会，当会の国際交流委員会，そしてアジア太平洋歯科連盟（APDF）理事・歯科公衆衛生委員会委員長でもある，当時専務理事であった森本　基先生等の協力のもとに，各種団体，企業の皆様のご協力によって，このアジア会議を開催することができた。

なお，本会議の概要は，以下のとおりである。

## ◆学校歯科保健アジア会議　会議概要

◇**名　称**：学校歯科保健アジア会議

Asian Conference of Oral Health Promotion for School Children

◇**趣　旨**：

社団法人日本学校歯科医会は，学校歯科医制度70周年・社団法人日本学校歯科医会設立30周年を記念して，広くアジア地域に呼びかけ，学校歯科保健の向上を目指し学校歯科保健アジア会議を西暦2001年に開催する。

長年のあいだに子ども達や学校を取り巻く環境が変化し，幼児・児童生徒の健康でたくましく生き抜く力の育成に寄与する学校歯科保健のあり方もその時代背景よって変遷してきている。

本会議は，日本学校歯科医会が過去に培ってきた学校歯科保健に対する実績と現在直面している課題及び将来への展望を紹介し，また，アジア各国・各地域学校歯科保健活動の現状を交換し，それぞれが求めている学校歯科保健に関する諸問題を討議し，また，情報交換や親睦交流を充分に図ることを目的とする。

◇**主　催**：㈳日本学校歯科医会

◇**後　援**：

文部科学省，厚生労働省，東京都，㈳日本歯科医師会，㈶日本学校保健会，㈳日本歯科衛生士会，㈶日本口腔保健協会，㈳東京都学校歯科医会，㈳東京都歯科医師会，全国学校保健主事会，全国養護教諭連絡協議会

◇**協　賛**：

㈳東京コンベンション・ビジターズビューロー，㈳日本歯科商工協会，ライオン㈱，サンスター㈱

◇**会　期**：2001年７月17日（火）～19日（木）

◇**会　場**：都市センターホテル

◇**公用語**：英語，日本語

## 全体スケジュール

| | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 18:00 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **7月17日(火)** | 泰明小学校公開授業 | | | | 事前打ち合わせ会議 | | | |
| **7月18日(水)** | | 開会式<br><br>アジア会議経過報告 | 基調講演<br>西連寺愛憲先生<br><br>基調講演<br>戸田芳雄先生 | | 各国・地域報告1.<br>バングラデッシュ<br>カンボジア<br>香港<br>インドネシア<br>韓国 | 各国・地域報告2.<br>ラオス<br>マレーシア<br>フィリピン<br>シンガポール | | 会長招宴<br><br>赤坂プリンスホテル |
| **7月19日(木)** | 各国・地域報告3.<br>スリランカ<br>台湾<br>タイ<br>ベトナム | | 各国・地域報告：総括 | | 教育グループによるパネルディスカッション | 閉会式・全体総括 | | フェアウエルパーティー<br><br>都市センターホテル |

※アジア各国の学校歯科保健の活動状況を記録したビデオテープをご提供いただき，会場内で随時上映した。また歯科教材などの展示も行った。

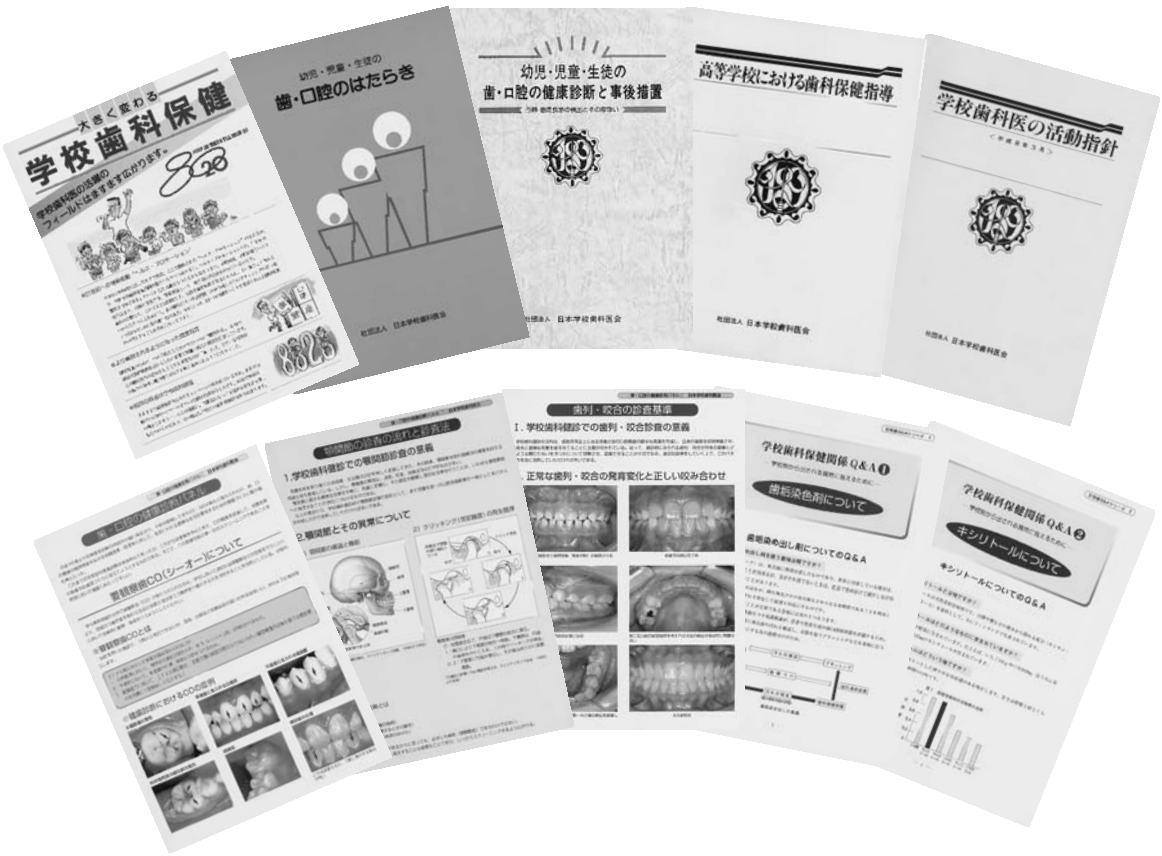
## 大 会 宣 言 文

**我々は，ここにアジア太平洋地域で初めて学校歯科保健の関係者が一堂に集いオーラルヘルスプロモーション活動に関する会合をもった。そこで，それぞれの国・地域での児童生徒の口腔保健に関する活動状況について報告しあい，討議し，相互に理解を深めることができた。そして，これらの活動は，それぞれ歴史，社会，文化に根差し発展してきているものであることについての理解も深めることができ極めて有意義であったことを確認した。**

**我々は，今後，このような会合を定期的に開催し，情報の交換をより密接に行い，協力体制を構築し，それぞれの国・地域の青少年のますます口腔保健の向上を目指し，ますます全身の健康向上に尽くし，それぞれの国・地域の発展に貢献することができるよう，ここに参加者全員の名において宣言する。**

**平成13年7月19日　学校歯科保健アジア会議**

# 第9章 各種委員会活動




日本学校歯科医会の事業推進は，会長が必要に応じて設置する各種委員会の調査研究に負うところが大きい。各委員会は，会長の諮問事項を検討し年度ごとに，あるいはその事柄が完了したときに会長に報告（答申）する。

昭和56（1981）年度からの各種委員会の構成と諮問事項について，年度毎の一覧表にまとめ，平成13（2001）年度については，制度第１委員会から国際交流委員会まで13の各委員会及び役員及び学識経験者が中心となる特別委員会，文部科学省委託「学校歯科保健調査研究」事業の活動内容について記してある。

# ◆各種委員会と諮問事項

## 昭和56（1981）年４月１日～58（1983）年３月31日

| | |
|---|---|
| **学術委員会** | むし歯半減運動の検討，学校表彰の新しい展開への検討 |
| **学校歯科保健と地域歯科保健委員会** | 養護学校，特殊教育学校に対する歯科医療，要保護，準要保護の問題点について検討 |
| **10周年記念事業委員会** | 社団設立10周年記念式典および祝賀会職務分担等 |
| **会誌編集委員会** | 会誌，広報紙の編集，発行 |
| **定款改正委員会** | 諸制度の問題点について，運営基金問題などを検討 |
| **事業推進委員会** | 本会各種事業の推進について |
| **待遇改善委員会** | 学校歯科医に対する身分保障，待遇改善に関する検討と対策 |
| **学校安全・学校歯科医災害補償委員会** | 日本学校安全会災害共済について，学校歯科医の公務災害補償引き上げについて |
| **記念誌出版委員会** | 日本学校歯科医会50周年記念誌の編纂（会誌47号） |

**奥村賞審査委員会：**奥村賞，推薦賞，努力賞の審査

**歯科保健図画・ポスターコンクール審査委員会：**歯科保健図画・ポスターの審査及び表彰

## 昭和58（1983）年４月１日～60（1985）年３月31日

| | |
|---|---|
| **学術委員会** | 高等学校のための学校歯科保健の手引きについて |
| **事業推進委員会** | 本会各種事業の推進 |
| **待遇改善委員会** | 学校歯科医の身分保障，待遇改善 |
| **地域学校歯科保健委員会** | 第５次むし歯半減運動について他 |
| **会誌編集委員会** | 会誌の編集，『日学歯』の企画，発行 |
| **学校安全・学校歯科医災害補償委員会** | 学校歯科医の災害補償について |
| **定款改正委員会** | 諸制度の問題点について |

**奥村賞審査委員会**

**学校歯科保健推進モデル校審査委員会**

**図画・ポスターコンクール審査委員会**

## 昭和60（1985）年４月１日～62（1987）年３月31日

| | |
|---|---|
| **制度研究第１委員会** | 職員服務規定及び同定年退職に伴う規定・役員日当旅費規定 |
| **制度研究第２委員会** | 学校歯科医災害補償・学校歯科医待遇改善 |
| **制度研究第３委員会** | 定款改正・会員の表彰 |
| **学術第１委員会** | 調査研究 ― 中学校学校歯科医活動指針 |
| **学術第２委員会** | 歯牙硬軟組織，ＣＯについて検討 |
| **学術第３委員会** | 口腔および咀嚼機能について検討 |
| **普及指導第１委員会** | う蝕予防とブラッシング，フッ素，間食，給食との関わりの検討 |
| **普及指導第２委員会** | 大会，協議会，研修会の指導 |
| **会誌編集委員会** | 会誌・広報の編集・発行 |

**第50回大会記念文部大臣表彰審査委員会**
**奥村賞審査委員会**
**全日本よい歯の学校審査委員会：**応募書類の審査，実地審査，最優秀候補校の推薦
**図画・ポスターコンクール審査委員会**

## 昭和62（1987）年４月１日～平成元（1989）年３月31日

| | |
|---|---|
| **制度研究第１委員会** | 役員・委員の旅費規定の見直しの検討 |
| **制度研究第２委員会** | 学校歯科医の災害補償，待遇改善を図るための検討 |
| **学術第１委員会** | 幼稚園の学校歯科医活動指針の作成 |
| **学術第２委員会** | CO，GO について，三号様式の活用と養護教諭への理解方法，保健室の整備等について検討 |
| **学術第３委員会** | 本会で昨年発行の『学校歯科における口腔咀嚼機能，不正咬合に関する基本的な考え方』の普及版の作成 |
| **普及指導第１委員会** | 刷掃，フッ化物についての指導書，会員向けの講話集の作成を検討 |
| **普及指導第２委員会** | 大会・協議会・研修会の指導，むし歯予防推進指定校のフォローについて |
| **会誌編集委員会** | 会誌・広報紙の編集と発行 |
| **国際交流検討委員会** | 諸外国との交流を図る。現在はその基盤となる海外の学校歯科状況を調査中 |

**奥村賞審査委員会**
**全日本よい歯の学校表彰審査委員会**
**図画・ポスターコンクール審査委員会**

## 平成元（1989）年４月１日～平成３（1991）年３月31日

| | |
|---|---|
| **制度研究第１委員会** | 定款・諸規則・会員顕彰に関する検討 |
| **制度研究第２委員会** | 報酬・災害補償等学校歯科医の身分保障の検討 |
| **制度研究第３委員会** | 都道府県歯科医師会〈学校歯科医会〉との連携強化と組織拡充の検討 |
| **学術第１委員会** | むし歯ハイリスク児の検出とその対応及び口腔検査方式の検討 |
| **学術第２委員会** | 高等学校の歯科保健の推進の検討 |
| **学術第３委員会** | 食生活・食習慣・発育・肥満と咀嚼との相関関係の検討 |
| **普及指導第１委員会** | 学校保健委員会の充実強化〈年間保健計画＝学級担任のための歯科保健指導案・カリキュラムの立案〉保健指導媒体の開発・作成提供の検討,〈発達段階に応じた歯ブラシ規格,刷掃法の基準の検討〉 |
| **普及指導第２委員会** | 大会・協議会への助言・指導，全国大会の決議事項の検討 |
| **国際交流委員会** | 海外歯科情報の収集 |
| **会誌編集委員会** | 会誌の編集，発行 |
| **広報編集委員会** | 広報紙の編集，発行 |

**「むし歯予防推進指定校」のアフターフォローの検討委員会**
**全日本よい歯の学校表彰審査委員会**
**図画・ポスターコンクール審査委員会**

## 平成３（1991）年４月１日～５（1993）年３月31日

| | |
|---|---|
| **制度研究第１委員会** | 定款・諸規則・会員顕彰に関する検討 |
| **制度研究第２委員会** | 報酬，災害補償等学校歯科医の身分保障の検討 |
| **制度研究第３委員会** | 都道府県歯科医師会（学校歯科医会）との連携強化と組織充実の検討 |
| **学術第１委員会** | 学校健康診断と事後措置及び学校保健法の検討 |
| **学術第２委員会** | 高等学校の歯科保健の推進の検討 |
| **学術第３委員会** | 全身の健康と咬合・咀嚼との相関関係の検討 |
| **普及指導第１委員会** | 学校保健委員会に学校歯科医はどう関わって行くのかの検討 |
| **普及指導第２委員会** | 大会・協議会への助言・指導，全国大会の決議事項の検討 |
| **普及指導第３委員会** | フッ素及び歯垢染色剤の学校歯科保健への活用について |
| **国際交流委員会** | 海外歯科情報の収集，海外向け PR パンフレットの作成 |
| **会誌編集委員会** | 会誌の編集と発行 |
| **広報編集委員会** | 広報紙の編集と発行 |

**「むし歯予防推進指定校」のアフターフォローの検討委員会**
**全日本よい歯の学校表彰審査委員会**
**図画・ポスターコンクール審査委員会**
**ワークショップ研修会内容検討委員会：**ワークショップ研修会の内容の検討

## 平成５（1993）年４月１日～７（1995）年３月31日

| | |
|---|---|
| **制度研究第１委員会** | 定款・諸規則（会費の額等），会員顕彰に関する検討 |
| **制度研究第２委員会** | 学校歯科医報酬・災害補償等学校歯科医の身分保障の検討 |
| **制度研究第３委員会** | 都道府県歯科医師会（学校歯科医会）との連携・組織拡充 |
| **学術第１委員会** | 学校健康診断と事後措置及び学校保健法の検討 |
| **学術第２委員会** | 高等学校における歯科保健推進の検討 |
| **学術第３委員会** | 全身の健康と咀嚼・咬合（口腔機能の健全育成）との相関関係の検討 |
| **普及指導第１委員会** | 学校現場における三号様式の教育的活用をするための検討 |
| **普及指導第２委員会** | 大会・協議会への助言と指導，全国大会の決議事項の検討 |
| **普及指導第３委員会** | フッ素及び歯垢染色剤等の学校歯科保健への活用の検討 |
| **国際交流委員会** | 日本学校歯科医会の海外向け PR パンフレットの検討 |
| **会誌編集委員会** | 会誌の編集，発行 |
| **広報編集委員会** | 広報の編集，発行 |

**ワークショップ研修会内容検討委員会**
**全日本よい歯の学校審査委員会**
**図画・ポスターコンクール審査委員会**

## 平成７（1995）年４月１日～９（1997）年３月31日

| | |
|---|---|
| **制度研究第１委員会** | 定款をはじめとする本会諸規則に関する検討 |
| **制度研究第２委員会** | 学校歯科医報酬の調査と公表できる資料の作成<br>及び学校歯科医の身分保障の検討 |
| **制度研究第３委員会** | 加盟団体と本会との連携強化，会員増強を始めとする組織充実についての検討 |
| **学術第１委員会** | 新しい学校での健康診断と事後措置について<br>学校保健法等諸規則についての検討 |
| **学術第２委員会** | 幼稚園から高等学校までの学校歯科医の活動指針の作成，<br>健康診断と事後措置の検討（CO, GO についての質問の回答を中心に） |
| **学術第３委員会** | 学校管理下の歯・口腔の傷害事故についての検討，<br>健康診断と事後措置の検討（歯列・咬合・顎関節の項目チェック，<br>インデックス作り中心） |
| **普及指導第１委員会** | 新しい学校での健康診断様式を普及するための方法の検討 |
| **普及指導第２委員会** | 大会・協議会への助言と指導，大会決議事項の検討 |
| **普及指導第３委員会** | フッ素，歯垢染色剤，う歯活性試験法等の学校保健への活用の検討 |

| | |
|---|---|
| **国際交流委員会** | 日本学校歯科医会の海外向け PR と国際社会における学校歯科（国際機構＝FDI，APDF との連携を目指して）の検討 |
| **会誌広報編集委員会** | 会誌・広報の編集及び発行 |

**組織充実整備特別委員会**
**全日本よい歯の学校表彰審査委員会**
**図画・ポスターコンクール審査委員会**
**ワークショップ研修会内容検討委員会**

## 平成９（1997）年４月１日～11（1999）年３月31日

| | |
|---|---|
| **制度研究第１委員会** | 日本学校歯科医会役員等の選挙規則案等の作成，「組織拡充整備特別委員会」答申書とのすり合わせ |
| **制度研究第２委員会** | 表彰規定（会員の永年勤続表彰・よい歯の学校表彰基準見直し） |
| **制度研究第３委員会** | 平成８年度の答申 ― 会員増強，組織充実 ― の具体化 |
| **学術第１委員会** | 学校保健の基本的事項を学校関係法規と絡めての解釈と研究<br>CO，GO について未だに不徹底の部分があるので，更なる徹底のための資料作成 |
| **学術第２委員会** | 特殊教育諸学校（級）における学校歯科について小冊子の作成 |
| **学術第３委員会** | 口腔機能についての調査研究（当面は咬合パネルの作成） |
| **普及指導第１委員会** | 「日学歯パンフレット」の有効活用，推薦依頼のあった商品の審査 |
| **普及指導第２委員会** | 全国学校歯科保健研究大会・学校歯科保健研究協議会などのテーマについての検討 |
| **国際交流委員会** | 諸外国の学校歯科保健関連情報の収集と FDI，APDF などの関連情報の収集 |
| **会誌広報編集委員会** | 会誌・広報紙の編集と発行（必要に応じて取材活動も行う） |

**全日本よい歯の学校表彰審査委員会**
**歯科保健図画・ポスターコンクール審査委員会**
**ワークショップ研修会内容検討委員会**

## 平成11（1999）年４月１日～13（2001）年３月31日

| | |
|---|---|
| **制度研究第１委員会** | 学校歯科医の身分保障などについての検討 |
| **制度研究第２委員会** | 学校歯科保健関係者表彰制度の充実についての検討 |
| **制度研究第３委員会** | 定款諸規則などについての検討 |
| **学術第１委員会** | スポーツ歯学についての検討 |
| **学術第２委員会** | 学校における健康診断（歯科）についての検討 |
| **学術第３委員会** | 学校健康診断後の事後措置について（CO，GO・顎関節）の検討 |
| **学術第４委員会** | 学校歯科における予防措置，特に薬剤についての検討 |
| **普及指導第１委員会** | 歯・口腔に関する学級指導・保健学習用 VTR の作成<br>並びにインターネットなどに関する検討 |
| **普及指導第２委員会** | ㈳日本学校歯科医会の推薦に関わる検討 |
| **普及指導第３委員会** | 全国大会・協議会などの諸事についての検討 |
| **国際交流委員会** | 国際交流の意義について，学校歯科保健の英文資料の作成 |
| **会誌広報編集委員会** | 会誌，広報紙の編集，発行 |

**ワークショップ研修会内容検討委員会**
**社団法人日本学校歯科医会選挙規則・定款改正等検討特別委員会**
**全日本学校歯科保健優良校表彰審査委員会**
**学校歯科医の専門性（認定医制度）等検討特別委員会**
**学校歯科医制度70周年・社団法人日本学校歯科医会設立30周年記念事業準備特別委員会**
**図画・ポスターコンクール審査委員会**
**総務委員会**

# 平成13年度各種委員会の活動状況

**平成13年度各種委員会の諮問内容および具体的な活動内容については以下の通り**

**制度第１委員会**

ｕｗＺ　¨ª　ｇ‟　ÆｉŁＮ§　ｊｖ　´ç˜　ç

学校歯科医の身分保障については，過去の制度関係委員会で，校医報酬調査と公務災害保障制度が検討され，答申されているが，今期は学校歯科医の職務内容と報酬との関係や学校歯科医の将来像から身分の確立につながる提言をするよう検討している。

**制度第２委員会**

ｕŁ…　Ｋ¥ｖ　´ç˜　ç

13年度は特に「(社）日本学校歯科医会役員選挙規則」改正についてを諮問され，14年１月に「会長・監事については選挙とする。理事については総会の承認を得て会長指名とする」を骨子とする改正案を答申済み。

**制度第３委員会**

ｕｗＺ　¨ª　Œ　«ｖ　´ç˜　ç

前期まで役員と学識中心の特別委員会を通常委員会に編成仕直した。前期にアンケート調査を行った「専門性」についての結果を踏まえ，更に検討を加えている。

具体的には，学校歯科医の質の格差の是正と専門性を深めるためのデータ収集を行っている。

**学術第１委員会**

ｕＸ｜[ｃ　ｗｖ　´ç˜　ç

前期に行った「スポーツ歯学」の認知・普及のアンケート調査結果を踏まえ，学校歯科におけるスポーツ歯学について継続検討。学校管理下における傷害等について全国的に詳細なデータがないため，先ずデータ集めを行うこととしたが，その方法について種々困難な面があり，現在は下調査を準備中である。

**学術第２委員会**

ｕ　Ｎœ{QP　ＷＢ‹　»»　ß　ｖ　´ç˜　ç

既に始動している「健康日本21」には，学齢期の数値目標も示されており，当初その目標達成の方策を諮問されたが，現在の目標は厚生省的な考え方によるもので，学校歯科には不足している部分もある。数値化しにくい目標や行動目標等を取り入れた学校歯科独自の目標も検討している。

**学術第３委員会**

ｕｗＺ　Ｎｆｆ　ª[ｕｖ　´ç˜　ç

前期において「CO・GO を中心にしたもの」と「顎・口腔機能を中心にしたもの」の２種についての冊子発行を答申（現在印刷中）し，今期は他の事後措置についてを検討する予定であったが，昨年夏に「就学時健康診断の改正が14年に実施される」情報を得たため，就学時健康診断の改正後の会員（歯科医）向けマニュアルの作成を行っている（全体部分は日本学校保健会で作成)。

**学術第４委員会**

ｕｗＺ　¨　¤ｆｌØ＼ｈ［ｕＣ｀　　´￠˜ｖ　￠

学校でよく出される質問への答えとして，前期は「歯垢染色剤」と「キシリトール」の２種類についての「Q&A」パンフレットの答申を行ったが，今期は「フッ化物」と「シーラント」の２種類について検討し，現在は項目だてを終えて，答えの文書作りを行っている。今後も「Q&A」シリーズとする予定。

**普及第１委員会**

ｕＣ　＾［ｌｂｇ　ｖ　´￠˜　￠

前期，普及活動の一つとして「学校歯科健診における CO・GO について（CD－ROM）」を発行し，インターネット接続を可とする答申を行った（接続は完了）。現在は CD－ROM の継続版用の新たな CO・GO の写真収集を行い，インターネット関連では「日学歯ホームページ開設を急ぐ」旨の答申を近く出す。

**普及第２委員会**

ｕ　Ｅｐｉ　　Ø　￠ｖ

当会に申請のあった次の３種類について推薦の可否を検討した結果，可とした。

「歯のはなし－なんの歯この歯－」（絵本：医歯薬出版刊），「学校歯科保健の基礎と応用」（書籍：医歯薬出版刊），「そうか！なるほど！歯と口の教材・実験編」（書籍：東山書房刊）

**普及第３委員会**

ｕƒｃ　Ｅ／Ｃ　　ｖ　´￠˜　￠

主に研修会（ワークショップ）の講義・ワークショップ内容および講師のローテーションについて検討。13年度は事業報告にあったブロックにおいて開催し，本年１月には14年度開催分のワークショップの内容についても検討した。

**普及第４委員会**

ｕＳ　　ｖ　´￠˜　￠

全国学校歯科保健研究大会のサブテーマ，趣旨，全体構想，シンポジスト・座長・基調講演者の人選はじめ，開催地以外の発表者の人選を行い，他全体協議題と紙上発表原稿のチェックも行って執行部へ報告，第65回大阪大会を終え，第66回宮崎大会についても人選まで終えた。

**会誌広報編集委員会**

日本学校歯科医会会誌及び広報「日学歯」の企画から編集・校正等を行って，執行部へ報告の上，発行している。13年度は会誌86号・87号，広報 No. 92・93・94・95を発行した。

**国際交流委員会**

平成13年度は，学校歯科保健アジア会議の開催があったため委員会独自の活動は控え，アジア会議実行委員会へのアドバイスを行った他，委員長が FDI へ参加してその報告を行い，また現在は日本の歯科事情を海外へ紹介するための英文資料原案を検討している。

〈以降の委員会は役員と学識経験者が中心となる特別委員会である〉

### 全日本学校歯科保健優良校表彰審査委員会

平成13年度全日本学校歯科保健優良校として加盟団体から推薦された84校について，第一次書類審査を行い表彰の可否を決め，次いで最優秀候補校及び特別賞の十数校を選定し，最優秀候補校については，審査委員が分担して実地審査を実施。該当校を文部科学大臣賞に推薦した。結果は次の通りであり，第65回全国学校歯科保健研究大会にてそれぞれ表彰された。

結果＝最優秀８校，特別賞＝10校。最優秀８校には文部科学大臣賞が授与された。

### 図画・ポスター審査委員会

学校歯科保健に関わる図画・ポスターについて，応募があった作品についての審査を行った。平成13年度には146点の応募があり，うち18点を最優秀として選定し，賞状及び副賞を授与し，会誌86号に結果を掲載した（最優秀作品のうち数点は，本会会誌の表紙を飾ることとなる）。

### 学校歯科保健アジア会議実行委員会

平成13年７月16・17・18・19日の第１回アジア会議実行に向け，活動した。アジア会議そのものについては事業報告書に記載。

なお，第２回の同会議に向けて，開催国タイの要請によって，13年９月から新たに同会議実行委員会を立ち上げ，タイへの協力をしている。

### 日本学校歯科医会創立70周年記念誌募集委員会

アジア会議実施のため，活動開始が遅れたが，資料集めを行った後，現在は分担を決めて執筆活動に入っている。なお，平成14年からは従来の委員に総務部３名が加わり，活動を急いでおり，本年度中に記念誌を発行する〔昨年は，学校歯科医制度70周年と本会社団法人化30周年であり，本年（平成14年）が，本会創立（任意団体設立から）70周年であるので，混同なきようご注意願いたい〕。

### 文部科学省委託「学校歯科保健調査研究」事業

平成13年度より文部科学省より委託を受けて「歯・口の健康つくり推進指定校」事業（「指定校」そのものの運営協力の他，「同指定校連絡協議会」を開催）とともに調査研究を行う次の２つの小委員会を設置して，活動を開始した（費用は全て国からの委託費による）。

#### ◇「歯・口の健康つくり推進指定校等調査研究小委員会」

委員会名通り，歯・口の健康つくり推進指定校が学校歯科保健を進める上で，どのような役割を果たし，今後はどのような方向づけをして行けばよいかを検討している。指定校を受けて学校あるいは児童がどのように変容したかのアンケート調査を行い，今後のあるべき姿も含めて14年末迄に報告書を作成する。

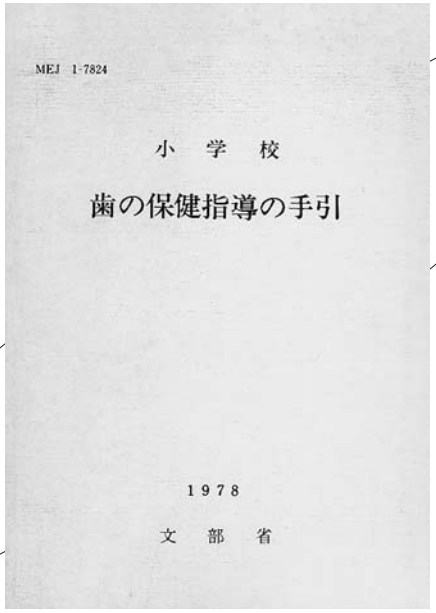
#### ◇「学校健康診断（歯科）と事後措置についての調査研究小委員会」

健康診断と事後措置について，学校歯科医向けには日学歯で数種類の印刷物や研修会等で普及を図っているが，学校（教育現場）向けには，まだ事後措置の指導書等は発行されていない。

学校歯科保健は，事後措置（指導）がなされて初めて生きてくるものであるので，学校での事後指導用の印刷物の発行を目指す。

現在は先ず，CO・GO の理念の普及度を調査するためのアンケート作りをしている。

# 第10章 学校歯科保健の制度と法令の推移




日本の学校保健は，昭和33年（1958年）に制定された学校保健法および教育課程の基準として全面的に改定された学習指導要領によって画期的な時代に入った。

昭和53年（1978年）には，文部省から『小学校／歯の保健指導の手引』（平成４年改正）が刊行され「むし歯予防推進指定校制度」が実施された。平成７年（1995年）４月１日からは学校歯科健康診断内容が改正され歯科保健に対する考え方も「疾病志向」から「健康志向」へと転換していった。

平成10年（1998年）度には新学習指導要領が文部科学省より告示され，心身の健康についての基本的な考え方として「体育・健康教育の充実」が強調された。

# １．制度と法令のこれまでの推移

我が国の学校保健は，昭和33年（1958年）度における学校保健法の制定及び教育課程の基準として全面的に改定された学習指導要領によって，管理面についても教育面についても，画期的な新しい時代に入ったということができる。

その後，昭和52年（1977年）７月および昭和53年（1978年）８月に告示された学習指導要領においては，それぞれその総則の章において，健康・安全の保持増進を含む広義の体育について極めて明確な位置づけを行うなどの措置がとられる等，昭和53年前後において，学校保健・学校安全について一段と制度上の充実・整備が図られた。

この年文部省から『小学校／歯の保健指導の手引』が発刊され,「むし歯予防推進指定校」制度が始まった。

その後，平成元年（1989年）の学習指導要領の改正を受けて，平成４年（1992年),『小学校／歯の保健指導の手引』が改訂された。むし歯予防に加え，歯肉炎の予防も重要課題として取り上げられ，歯科保健を「問題発見・問題解決型学習」の生きた教材として捉えた。

更にその後，時代の推移に伴い児童生徒等の健康上の問題の変化，医療技術の進歩，地域における保健医療の状況の変化等を踏まえ，学校保健法施行規則における健康診断の検査項目等の見直しを行い，平成６年（1994年）12月８日付体育局長通知「学校保健法施行規則の一部を改正する省令の施行及び今後の学校における健康診断の取扱いについて」で通知し，平成７年（1995年）４月１日から実施した（別記参照)。

また，平成９年（1997年）９月22日，保健体育審議会は，ヘルスプロモーションの理念に基づく健康の保持増進を答申し，「学校保健・学校安全・学校給食がそれぞれ独自の機能を担いつつ相互に連携しながら，児童生徒の健康の保持増進を図っているが，近年における生活習慣病や心の健康問題，感染症の新たな課題などの健康に関する現代的課題に適切に対応するためには，早期発見，早期治療という二次予防も重要であるが，健康的な生活行動を実践するという一次予防を重視する必要があり，今後，一次予防を促す教育指導面の充実を一層図っていく必要がある」としている。

このためにも，「学校保健，学校安全及び学校給食のそれぞれの果たす機能を尊重しつつ，それらを総合的にとらえるとともに，とりわけ教育指導面においては保健教育，安全教育及び学校給食などを統合した概念を健康教育として整理し，児童生徒の健康課題に学校が組織として一体的に取り組む必要がある」としている。

このような考え方を受けて，平成10年（1998年）度に告示された新学習指導要領では，心身の健康についての基本的な改善として「体育・健康教育の充実」が強調され，学校においては自分の健康を適切に管理し，心の健康，望ましい食習慣の形成，生活習慣病の予防等の課題に対応するための内容が示されている。

また，小学校，中学校及び高等学校の授業時数については完全週５日制に伴い，週当たり２単位時間（年間70単位時間）削減することとしているが，小学校の教科体育の保健については，中学年（３年）から指導することが示された。更に新たに設けられた「総合的な学習の時間」においても健康に関する課題の取り組みが求められている。学校歯科保健は生きた教材として素晴らしい実績を残しており，今後ますます更なる取り組みが期待されている。

# ２．健康診断の見直し

## ◆見直しの推移

**◎学校保健法施行令の一部を改正する政令および学校保健法施行規則の一部を改正する省令の施行について**

（昭和48年６月６日　文部省体育局長通達）

**１．就学時の健康診断**

「歯の疾病及び異常の有無」の検査を「歯及び口腔の疾病及び異常の有無」の検査に改め（省令第２条の改正），歯ぎん炎，歯槽膿漏その他の歯周疾患等についても検査することとした。

（規則第１条の改正）

**２．児童，生徒，学生及び幼児の定期の健康診断**

定期の健康診断は毎年，６月30日までに行うものとした（規則第３条の改正）。学校医，学校歯科医は予診的検査の結果および保健調査を活用して健康診断にあたること

（規則第５条の改正）

**◎学校保健法施行令の一部改正について**（昭和60年４月１日　文部省体育局長通知）

地方公共団体が児童及び生徒の医療に要する費用について援助を行う疾病のうち齲歯について，複合レジン充填により治療できるものを援助の対象とすること

（改正後の学校保健法第７条第５号）

**◎学校保健法施行規則の一部を改正する省令の施行及び今後の学校における健康診断の取り扱いについて**

（平成６年12月８日　文部省体育局長通知）

昭和33年学校保健法施行以来の健康診断の見直しが行われたものである。

## ◆法改正の経緯

文部省では，昭和62年（1987年）４月より㈶日本学校保健会に児童生徒等の健康診断の見直しについての検討を委嘱してきたが，平成６年（1994年）４月12日，同会から文部省体育局長あてに報告が出された。そこで，この報告に対する都道府県教育委員会，市町村教育委員会等の関係者の意見を踏まえ，更に検討し，７月５日付けで同局長に最終報告を行った。平成６年７月６日，保健体育審議会学校保健分科審議会を開き，報告内容の検討を行い原案通り了承された。これを受けて，文部省では平成６年12月８日付けで省令改正を行い，平成７年（1995年）４月１日より施行されることになった。

## ◆法改正の趣旨

近年における子供達の健康上の問題の変化，医療技術の進歩，地域の保健医療の状況変化などを踏まえ

て見直しを行った。

新しい健康診断の要点は次の５項目にある。

① 健康診断は子供達が学校生活を楽しく健康的に過ごすことができるよう健康状態を評価するものである（健康度チェック）

② 学校における健康診断はスクリーニング（健康であるかどうかのふるいわけ）として行われる。

③ 技術的にも経済的にも平易なものである。

④ 地域社会，地域医療機関との役割分担を考慮したものであること。

⑤ 健康診断が教育活動として生かせるものであること。

つまりこれまで以上に健康診断を教育という面から位置づけ，健康診断結果が単に処置の勧告に終わることなく，子供達が自分の健康状態を把握し，健康の保持増進に自ら取り組む自己管理能力の育成に重点を置いた。

## ◆主な改正点

歯科領域における改正では健康度を測る意味合いから永久歯の未処置歯を従来の４度分類から［C］のみとし，新たに要観察歯［CO］を導入したことである。これにより歯牙は健全歯・要観察歯・未処置歯・処置歯の４段階で評価することになった。

また，新たに設けられた検査項目「歯列・咬合・顎関節」，「歯垢の状態」，「歯肉の状態」はいずれも（０・１・２）の３段階で評価することになった。これらはスクリーニングの観点から（０）は異常なし，（１）要観察（要注意），（２）は要治療（要精査）という分け方で統一された。

歯肉の状態が（１）または（２）の者については，歯垢と歯肉の状態を総合的に判断して［GO］（歯周疾患要観察者）または［G］のいずれかを記入することとした。

また，健康診断票はそれまでの３号様式を廃止し，各専門医において適切に定めることができるようになり，文部省より様式例が示された。

これらの改正は昭和33年（1958年）に学校保健法が制定されて以来の大きな改正であり，戦後50年を経て我が国が健康管理の考えを初めて，疾病志向から健康志向へと切り替えた画期的なものである。

## 資　　料

# ●文部省体育局長通知（抜すい）

○文体学第168号／平成６年12月８日付
文部省体育局長　小林　敬治

## 学校保健法施行規則の一部を改正する省令の施行及び今後の学校における健康診断の取扱いについて（通知）

このたび，別添の学校保健法施行規則の一部を改正する省令（平成６年12月８日文部省令第49号）が制定され，平成７年４月１日から施行されることとなりました。

これに伴い，「児童，生徒，学生，幼児及び職員の健康診断の方法及び技術的基準の補足的事項について」（昭和49年３月26日文体保第101号体育局長通知）を廃止し，平成７年４月１日から実施することになりました。

また，今回の省令改正によって児童，生徒，学生及び幼児の健康診断票等を削除したことに伴い，別紙様式のとおり健康診断票の様式例を定めることとしました。

今回の改正の概要及び留意事項等は下記のとおりですので，学校における健康診断について適正な実施を図られるようお願いします。

なお，都道府県教育委員会にあっては管下の市町村教育委員会等に対し，都道府県知事にあっては所管の私立学校等に対してこの趣旨を周知徹底されるよう併せてお願いします。

（規則改正部分略）

### ◇児童，生徒，学生，幼児及び職員の健康診断の方法及び技術的基準の補足的事項について

（１～９略）

**10　歯及び口腔の検査（規則第１条第９号関係）**

歯及び口腔の検査に当たっては，下記に留意して実施すること。

⑴　口腔の検査に当たっては，顎，顔面の全体を診てから，口唇，口角，舌，舌小帯，口蓋，その他口腔粘膜等の異常についても注意すること。

⑵　歯の検査は下記に留意して実施すること。

ア　歯の疾病及び異常の有無の検査は，処置及び指導を要する者の選定に重点を置くこと。

イ　咬合の状態，歯の沈着物，歯周疾患，過剰歯，エナメル質形成不全などの疾病及び異常については，特に処置または矯正を要する程度のものを具体的に所定欄に記入すること。

ウ　補てつを要する欠如歯，処置を要する不適当な義歯などのあるときは，その旨「学校歯科医所見」欄に記入すること。

エ　はん状歯のある者が多数発見された場合には，その者の家庭のおける飲料水についても注意すること。

⑶　その他，顎顔面全体のバランスを観察し，咬合の状態，開口障害，顎関節雑音，疼痛の有無，発音障害等についても注意すること。

（後略）

**〈注〉各欄の記入については，次によること**

**①「歯列・咬合・顎関節」の欄**

歯列の状態，咬合の状態，それに伴って生ずる顎関節の状態について，異常なし，定期的観察が必要，専門医（歯科医師）による診断が必要，の３区分について，それぞれ０，１，２で記入する。

**②「歯垢の状態」の欄**

歯垢の付着状態について，ほとんど付着なし，若干の付着あり，相当の付着がある，の３区分について，それぞれ０，１，２で記入する。

**③「歯肉の状態」の欄**

歯肉炎の発症は歯垢の付着とも関連深いものであるが，ここでは歯肉の炎症状態についてのみ診査して，異常なし，定期的観察が必要，専門医（歯科医師）による診断が必要，の３区分について，それぞれ０，１，２で記入する。

**④「歯式」の欄**

次による。

イ　現在歯，う歯，喪失歯，要注意乳歯及び要観察歯は，記号を用いて，歯式の該当歯に該当記号を附する。

ロ　現在歯は乳歯，永久歯とも該当歯を斜線又は連続横線で消す。

ハ　喪失歯は永久歯の喪失歯のみとする。

ニ　要注意乳歯は，保存の適否を慎重に考慮する必要があると認められる乳歯とする。

ホ　う歯は，乳歯，永久歯ともに処置歯（○）又は未処置歯（C）に区分する。

ヘ　処置歯（○）とは，充填（ゴム充填を除く），補綴（金属冠，継続歯，架工義歯の支台等）によって歯の機能を営むことができると認められるものとする。ただし，う歯の治療中のもの及び処置がしてあるがう歯の再発等によって処置を要するものは未処置とする。

ト　永久歯の未処置歯（C）は，ただちに処置を必要とするものとする。

チ　要観察歯（CO）とは，探針を用いての触診ではう歯とは判定しにくいが初期病変の疑いのあるもの。小窩裂溝の着色や粘性が触知され，又は，平滑面における脱灰を疑わせる白濁や褐色斑が認められるが，エナメル質の軟化，実質欠損が確認できないものである。

**⑤「歯の状態」の欄**

歯式の欄に記入された当該事項について上下左右の歯数を集計した数を該当欄に記入する。

**⑥「その他の疾病及び異常」の欄**

病名及び異常名を記入する。

**⑦「学校歯科医」の欄**

学校保健法施行規則（以下「規則」という。）第７条の規定によって，学校においてとるべき事後措置に関連して学校歯科医が必要と認める所見を記入押印し，押印した月日を記入する。

要観察歯がある場合には，歯式欄に加えこの欄にも（CO）と記入する。また，歯垢と歯肉の状態を総合的に判断して，歯周疾患要観察者の場合は（GO），歯科医による診断と治療が必要な場合は（G）と記入する。歯周疾患要観察者（GO）とは，歯肉に軽度の炎症症候が認められているが，歯石沈着は認められず，注意深いブラッシングを行うことによって炎症症候が消退するような歯肉の保有者をいう。

**⑧「事後措置」の欄**

規則第７条の規定によって学校においてとるべき事後措置を具体的に記入する。

## ◆生徒学生健康診断票（歯・口腔）◆

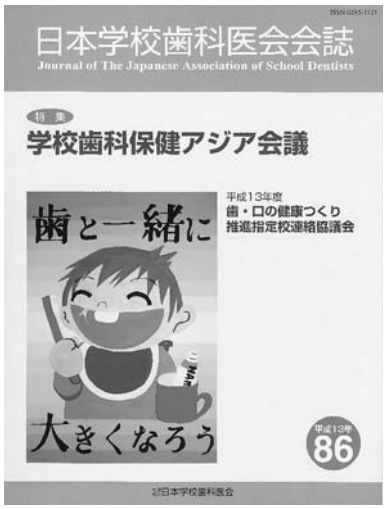
| 氏名 | | 性別 | 男 | 女 | 生年月日 | 年　月　日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 年齢 | 年度 | 歯列・咬合・顎関節 | 歯垢の状態 | 歯肉の状態 | 歯式 | 歯の状態 乳歯 現在歯数 | 乳歯 未処置歯数 | 乳歯 処置歯数 | 永久歯 現在歯数 | 永久歯 未処置歯数 | 永久歯 処置歯数 | 永久歯 喪失歯数 | その他の疾病及び異常 | 学校歯科医 所見 | 学校歯科医 月日 | 事後措置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 歳 | | 0 1 2 | 0 1 2 | 0 1 2 | 8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8<br>上 右 E D C B A A B C D E 左 上<br>下 E D C B A A B C D E 下<br>8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 | | | | | | | | | | 月<br>日 | |
| 歳 | | 0 1 2 | 0 1 2 | 0 1 2 | 8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8<br>上 右 E D C B A A B C D E 左 上<br>下 E D C B A A B C D E 下<br>8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 | | | | | | | | | | 月<br>日 | |
| 歳 | | 0 1 2 | 0 1 2 | 0 1 2 | 8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8<br>上 右 E D C B A A B C D E 左 上<br>下 E D C B A A B C D E 下<br>8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 | | | | | | | | | | 月<br>日 | |
| 歳 | | 0 1 2 | 0 1 2 | 0 1 2 | 8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8<br>上 右 E D C B A A B C D E 左 上<br>下 E D C B A A B C D E 下<br>8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 | | | | | | | | | | 月<br>日 | |
| 歳 | | 0 1 2 | 0 1 2 | 0 1 2 | 8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8<br>上 右 E D C B A A B C D E 左 上<br>下 E D C B A A B C D E 下<br>8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 | | | | | | | | | | 月<br>日 | |

・現在歯（例 A　6）
・う　歯　未処置歯　C
　処置歯　○
・喪失歯　△
（永久歯）
・要注意乳歯　×
・要観察歯　CO

（注）各欄の記入については，児童生徒健康診断票の（注）の例によること。
小・中学校用として９年分，高等学校用５年分になっている

# 第11章 刊 行 物
## 会誌／広報紙／月間報告書










会誌は，昭和30年（1955年）に東京で開催された第19回全国学校歯科医大会の大会誌という形でそのなかに㈳日本学校歯科医会の記事を入れこむ，という方式で65頁のものを発行している。内容としては，大会の記事の他に，日本学校歯科医会としての刊行物『学校歯科医の手引き』を大会誌の中に刷り込んでいた。表題は「第19回全国学校歯科医大会誌」。この大会誌が前例となって，次の第20回札幌大会の開催に当たって編集は東京でやるということで，表題も『日本学校歯科医会会誌』として，副題を第20回全国学校歯科医大会とつけて発行，これが正式には会誌第１号となった。

広報『日学歯』は，昭和52年（1977年）９月に第１号が発行された。ニュース性，速報性に重点が置かれている。

月間報告書は昭和52年（1977年）４月からの発行で，第１号は常務会，関係役員会議の内容報告，当時はほぼ１か月置きに年９回の発行であった。現在も主に理事会，常務理事会，加盟団体長会等の内容を掲載している。

# １．会誌の推移

**昭和７年（1932年）に設立された日本聯合学校歯科医会は，当時機関誌として『学校歯科衛生』を発行していた。**

**◇第１号（昭和９年５月）**

創刊の辞　理事長 奥村鶴吉
祝辞　　文部省体育課長 山川　建
調査報告 「京都市における学校歯科」ほか

**◇第２号（昭和10年５月）**

近代学校衛生と学校歯科調査報告
　大西永次郎
西巣鴨町児童歯科施設　　伴　和郎
口腔検査及び審査票について 他

**◇第３号（昭和11年３月）**

所感　　文部次官 三辺長治
調査報告 「歯科衛生教育の効果測定」他３項目
会報：第５回全国学校歯科医大会，第４回日本聯合学校歯科医会総会，全国学校歯科設備現況 他

**◇第４号（昭和12年３月）**

論説　　学校身体検査規程の改正に際して
　大西永次郎
調査報告 「学校歯科における予防措置」他８項目
会報：第６回全国学校歯科医大会，第５回日本聯合学校歯科医会総会他

**◇第５号（昭和13年３月）**

巻頭　　日本精神の昂揚
　文部大臣侯爵 木戸幸一
研究発表　幼稚園から大学に至るまで実施した口腔衛生教育の実験例他11例
会報：第７回全国学校歯科医大会，第６回日本聯合学校歯科医会総会他

**◇第６号（昭和14年４月）**

論説　　陶冶医学における口腔保健
　岩原　拓
宿題報告　学校歯科における口腔保健他２項目
会報：第８回全国学校歯科医大会，日本聯合学校歯科医会第７回総会 他

**◇第７号（昭和15年４月）**

講演　　齲歯予防問題　　高野六郎
調査研究　欧州における学校歯科衛生の現況並びに発達について 他２例
会報：第９回全国学校歯科医大会，第８回日本聯合学校歯科医会総会 他

**◇第８号（昭和15年12月）**

挨拶　　学校歯科医諸氏に望む　舟橋清賢
宿題報告　学校歯科における支持組織病の研究他２項目
会報：第10回全国学校歯科医大会 他

**◇第９号（昭和17年４月）**

論説　　学校歯科医令公布10周年を顧みて
　大西永次郎他
宿題報告　学校歯科における充填材料について他２項目
会報：学校歯科医令公布10周年記念事業，第10回日本聯合学校歯科医会総会 他

**◇第10号（昭和18年７月）**

※日本聯合学校歯科医会の発行した最後の機関誌となる
学校歯科医令公布10周年記念論文選出について
　榊原勇吉
記念論文　班状歯に関する研究 他５編

## ●日本学校歯科医会会誌発行（昭和32年〔1957年〕７月10日）

### ◇第１号（昭和32年７月）

本誌の発刊について
第20回全国学校歯科医大会記録（大会報告書を兼ねる）
研究発表：東京都世田谷区若林小学校むし歯半減運動　他14例




### ◇第２号（昭和33年９月）

座談会：「学校保健法をめぐって」
第21回全国学校歯科医大会記録
日本学校歯科医会記録（第４回総会，庶務報告他）

### ◇第３号（昭和34年４月）

綜説　ニュージーランド学校歯科の教えるもの
　竹内光春
研究：口腔衛生児童劇の演出について 他11例

### ◇第４号（昭和35年９月）

改定学習指導要領と歯科衛生教育　山田　茂
研究：奈良県におけるう歯半減運動 他15例
第１回奥村賞について

### ◇第５号（昭和36年９月）

特別発表 「むし歯半減運動の問題点とその打開策について」　向井喜男
研究：学校歯科保健における歯科指導について他11例

### ◇第６号（昭和37年10月）

巻頭言　学校歯科に新しい力を
特別寄稿 「学校保健を顧みて」　高橋恒三
研究発表：岩手県における学童う歯対策について 他11例

### ◇第７号（昭和38年９月）

特別寄稿 「学校歯科衛生，特に学校歯科医の問題について」　西尾雅七
研究：学童生徒の口腔衛生状態 他

### ◇第８号（昭和39年８月）

特別講演 「学校管理と学校保健」 細谷俊夫
シンポジウム 「学校歯科医の効果的な執務はどうあるべきか」
研究：東京都港区麻布地区の上顎前歯部の異常について 他５例

### ◇第９号（昭和40年８月）

特別講演 「よい歯の学校運動の教育的意義」
　細谷俊夫
シンポジウム 「よい歯の学校運動の分析」
特集：ニュージーランド学校歯科サービスその起源と発展
第28回全国学校歯科医大会の記

### ◇第10号（昭和41年10月）

特別講演 「教育評価について」　肥田野直
特集：学校歯科の手引き
第29回全国学校歯科医大会の記

### ◇第11号（昭和42年６月）

※年２回発行
表紙　古代アッシリアのレリーフと甲骨文字を主題にしたもの
記念講演 「全国学校歯科医大会30回の歩み」
　向井喜男 他２題

◇第１２号（昭和42年12月）
特別講演 「学校歯科の手引き活用のために」
榊原悠紀田郎
研究協議会：初のワークショプの試み

◇第１３号（昭和43年３月）
「ヨーロッパにおける学校歯科サービス」
今西孝博
座談会：学校と学校歯科の谷間
学校拝見 ― 溢れる清潔感 ―
滋賀県野洲西小学校

◇第１４号（昭和43年10月）
特別講演 「学校保健の評価」 甲斐直義
第32回全国学校歯科医大会
昭和43年度学校歯科衛生研究協議会

◇第１５号（昭和44年９月）
「学校における保健教育への歯科領域の接近」
能美光房
歯科実践：歯の作文の一例他４題

◇第１６号（昭和45年３月）
第33回全国学校歯科医大会
ヨーロッパ視察
昭和44年度学校歯科衛生研究協議会

◇第１７号（昭和45年６月）
「西ドイツの学校歯科をかいまみて」坪根哲郎
座談会 「歯の健康診断の方法改善について」
歯科実践：学校洗口場について 他２編

◇第１８号（昭和46年６月）
特別講演 「保健指導と保健管理」 黒田芳夫
研究発表：新しい学校歯科 他８例
国際歯科会議

◇第１９号（昭和46年11月）
研修会：近畿地区学校研修会他
講習会：昭和46年度学校保健講習会（歯科）
研究発表：福岡県における「ぶくぶく運動」他２例

◇第２０号（昭和47年３月）
特別講演 「学校保健における管理と指導の調和」 高石昌弘
第34回全国学校歯科医大会
奥村賞，よい歯の学校表彰

◇第２１号（昭和47年８月）
研究発表：神奈川県下児童生徒の永久歯う歯の疫学的調査 他９例
海外文献抄録：ベイズリーにおける歯科衛生他

◇第２２号（昭和48年２月）
※年３回発行
ニュージーランド学校歯科サービス50年の歩み
講習会：学校歯科保健講習会 他

◇第２３号（昭和48年６月）
特別講演 「小児の健康と学校歯科」船川幡夫
第36回全国学校歯科医大会

◇第２４号（昭和48年11月）
「我が国の学校歯科への外国の影響」
榊原悠紀田郎
研究発表：歯のヘルスガイド作成について ― 他８例
論文：小学校保健指導の手引きとその進め方の基本 ― 吉田瑩一郎 他３編

◇第２５号（昭和49年３月）
「学校保健法改正と歯科活動」 湯浅泰仁
学校歯科保健講習会
加盟団体だより

◇第２６号（昭和49年６月）
特別講演 「暮らしのこころ」 鈴木健二
第37回全国学校歯科医大会
学校歯科保健の歩んできた道１ 榊原悠紀田郎

◇第２７号（昭和49年９月）
学校歯科保健の歩んできた道２
研究発表：小規模校奥村賞受賞後の保健指導の取り組み ― 子安光枝 他８例

◇第28号（昭和50年１月）
昭和49年度学校歯科保健講習会
研究発表：う蝕進行速度に対する一考察
後藤宮治 他８例

◇第29号（昭和50年３月）
第38回全国学校歯科医大会特集
学校保健春の叙勲

◇第30号（昭和50年10月）
研究発表：京都市の児童生徒の歯科実態調査 ―
京都市学校歯科医会学術委員会 他11例
論文：保健施設としての学校洗口場を論ずる ―
栃原義人 他４編

◇第31号（昭和51年２月）
報告：健康診断口腔検査の内容について ―
森本 基 他
研究：学級指導における歯科保健指導
論文：学校における健康診断とスクリーニング・テスト今後の課題 ― 江口篤壽 他

◇第32号（昭和51年10月）
※この号より会員直送となる
第39回全国学校歯科保健大会特集

◇第33号（昭和52年３月）
これからの学校歯科保健のあり方 ― 船川幡夫
論文：豊島区におけるう歯の事後処理の実態について ― 柳沢一雄 他
研究：定期健康診断と東京都における歯の疾病異常について ― 高橋郁雄 他

◇第34号（昭和52年６月）
研究：学童生徒の夏休み早朝診療について ―
坪井清一 他
論文：カラーテスト錠による歯口清掃指導と学校歯科医の役割 ― 河合 豊 他

◇第35号（昭和52年10月）
第40回全国学校歯科保健大会特集
教育課程の基準の改善の方向と保健教育
吉田瑩一郎

◇第36号（昭和53年２月）
第41回全国学校歯科保健大会特集

◇第37号（昭和53年３月）
グラビア：歯科保健に関する図画・ポスターコンクール（カラー写真）
論文：６歳臼歯をう歯から守るために ―
谷 邦全 他
学校歯科保健講習会
〔文部省（小学校／歯の保健指導の手引きの普及を狙いとして－）総説〕

◇第38号（昭和53年６月）
『小学校／歯の保健指導の手引』の作成に当たって ― 吉田瑩一郎
小学校の新しい教育課程 ― 東京都教育委員会
研究：昭和52年度の歯科保健指導車の成績 ―
原田佳美 他

◇第39号（昭和54年１月）
※表紙のデザイン変更
座談会〔文部省発行「小学校／歯の保健指導の手引」について〕
研究：子供たちの歯を守るために―
藤武フミ子
地域学校歯科保健活動の展開例 ―
村田 久 他

◇第40号（昭和54年５月）
第42回全国学校歯科保健大会を終えて
座談会 「学校歯科における班状歯について」

◇第41号（昭和55年２月）
グラビア 学校歯科保健に関する図画・ポスターコンクール
昭和54年度学校歯科保健研究協議会
学校保健における歯科検診の変遷
榊原悠紀田郎

◇第42号（昭和55年11月）
記念講演 「神戸の歴史あれこれ」 荒尾親成
第43回全国学校歯科保健大会

**◇第43号（昭和56年３月）**

グラビア　学校歯科保健に関する図画・ポスターコンクール

昭和55年度学校歯科保健研究協議会

文部省発行「心身障害児の理解の為に」

**◇第44号（昭和56年６月）**

第44回全国学校歯科保健大会

歯科衛生士の為の学校歯科保健研修会

**◇第45号（昭和57年３月）**

昭和56年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会

オセアニア諸国の学校歯科保健について ― 小西浩二

歯磨き剤と歯磨き法を考える ―　貴志　淳

**◇第46号（昭和57年９月）**

グラビア　第45回全国学校歯科保健研究大会

第45回全国学校歯科保健研究大会特集

論文：WHO が提案する西暦2000年における歯科保健目標 ― 森本　基

**◇第47号（昭和57年９月）**

**※㈳日本学校歯科医会50周年記念**



序文

第一編　学校歯科保健通史

第二遍　日本学校歯科医会通史

第三編　全国学校歯科医（保健）大会

第四篇　むし歯半減運動と全日本よいの学校表彰

第五篇　都道府県学校歯科保健略史

第六篇　学校保健の制度と法令の推移

第七篇　学校歯科保健管理のながれ

第八篇　学校歯科保健教育のながれ

第九篇　学校歯科保健に関する国際交流のながれ

資料編

学校歯科保健活動年表

**◇第48号（昭和58年７月）**

座談会 「第５次むし歯半減運動推進にあたって」

昭和57年度学校歯科保健研究協議会

歯科巡回指導車の調査結果報告

**◇第49号（昭和58年10月）**

グラビア　第46回全国学校歯科保健研究大会

第46回全国学校歯科保健研究大会特集

第５次むし歯半減運動の為の学校歯科医の活動指針

**◇第50号（昭和59年１月）**

座談会 「学校歯科保健推進モデル校の地区審査を終えて」

昭和58年度学校歯科保健研究協議会

横浜市学校保健会 「歯科衛生士による学校巡回活動」

**◇第51号（昭和59年８月）**

グラビア　故湯浅泰仁会長合同葬

第47回全国学校歯科保健研究大会特集

歯科保健診療車による養護学校巡回医療マニュアル ― 神奈川県歯科医師会

**◇第52号（昭和60年１月）**

グラビア　第48回全国学校歯科保健研究大会

第48回全国学校歯科保健研究大会特集

研究：栄養の問題点を考える１ ― 貴志　淳，安西順一

◇第53号（昭和60年５月）

昭和59年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会

第６回歯科衛生士のための学校歯科保健研修会

研究：栄養の問題点を考える２ ―

貴志　淳，安西順一

◇第54号（昭和61年２月）

研究：食生活と学校歯科保健－群馬県学校歯科医会，学校歯科保健と地域歯科保健の連携について ― 愛媛県歯科医師会

フッ素の安全性についての国会における質問と政府の答弁

高等学校／学校歯科医の活動指針発行にともなう内容紹介

◇第55号（昭和61年４月）

グラビア　第49回全国学校歯科保健研究大会

第49回全国学校歯科保健研究大会特集

第７回全国学校歯科保健研修会

◇第56号（昭和62年３月）

第50回全国学校歯科保健研究大会特集

報告：鹿児島県における学校歯科保健活動－鹿児島県学校歯科医会，離島診療 ― 香川県丸亀市歯科医師会

◇第57号（昭和62年５月）

昭和61年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会

指定校の運営について ―　　吉田瑩一郎

報告：神奈川県下の児童のう蝕罹患状況調査について ― 加藤増夫，青森県学校歯科医会の歴史 ― 熊谷　淳

◇第58号（昭和63年１月）

昭和62年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会特集

研究：歯・口腔の健康つくりを目指した食生活に関する指導 ―　　今岡　久

◇第59号（昭和63年４月）

第52回全国学校歯科保健研究大会要項（色刷り）

第51回全国学校歯科保健研究大会特集

㈳日本学校歯科医会の増強について ― 福島県歯科医師会学校歯科医部会の場合 ― 遠藤松夫

◇第60号（平成元年５月）

昭和63年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会特集

むし歯予防推進指定校に期待する ― 森本　基

◇第61号（平成元年11月）

第52回全国学校歯科保健研究大会特集

報告：「よい歯の集い」20年　歯科医師による「一日担任クラス討論会」を実施して ― 豊中市歯科医師会，豊中市学校歯科医会

◇第62号（平成２年１月）

平成元年学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会

学校歯科保健研修会報告

会員投稿：大阪市における学校歯科保健活動，

・学校歯科日記

WHO 報告

◇第63号（平成２年６月）

第53回全国学校歯科保健研究大会特集

研究：学校保健統計からう歯を考える

◇第64号（平成３年１月）

グラビア　平成２年度歯科保健図画・ポスター最優秀作品集

第78回 FDI シンガポール大会に参加して

報告：DMFT３以下を達成した八戸市学歯の活動

◇第65号（平成３年７月）

第54回全国学校歯科保健研究大会特集

奥村賞の経過

◇第66号（平成４年２月）

グラビア　平成３年度歯科保健図画・ポスター最優秀作品

平成３年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会
研究：神奈川県下における中・高等学校生徒の歯周疾患の実態

**◇第67号（平成４年５月）**

第55回全国学校歯科保健研究大会
第79回 FDI 年次世界歯科大会に参加して

**◇第68号（平成５年３月）**

平成４年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会
第80回 FDI 年次世界歯科大会参加報告

**◇第69号（平成５年11月）**

第56回全国学校歯科保健研究大会特集
加盟団体・本会役員名簿

**◇第70号（平成６年３月）**

グラビア　平成５年度歯科保健図画・ポスターコンクール最優秀作品
平成５年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会
学校保健統計調査結果と学校歯科保健

**◇第71号（平成６年12月）**

第57回全国学校歯科保健研究大会
領域別研究協議会に口腔機能部会が加わる
平成５年度学校保健統計調査の状況

**◇第72号（平成７年２月）**

第58回全国学校歯科保健研究大会特集

**◇第73号（平成７年９月）**

※表紙はポスターコンクール入選作品より選定
グラビア　平成６年度歯科保健に関する図画・ポスター最優秀作品
平成６年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会
報告：神奈川県学校歯科保健指導車による特殊教育諸学校巡回歯科指導診療について 他
第82回 FDI 年次世界歯科大会（バンクーバー（カナダ））

**◇第74号（平成７年12月）**

第59回全国学校歯科保健研究大会特集
口腔機能部会，特別テーマセッションが加わる

**◇第75号（平成８年３月）**

平成７年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会
第45回全国学校保健研究大会
平成７年度学校保健統計調査速報（文部省）

**◇第76号（平成９年３月）**

第60回全国学校歯科保健研究大会特集
論文：小学校の歯科保健指導における生活習慣の形成に関する研究 ― 吉田瑩一郎，北田豊治

**◇第77号（平成９年５月）**

平成８年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会
論文：学校歯科保健活動の一考察 ― 猪股俊二
都道府県学校歯科保健略史⑴
平成８年度学校保健統計速報（文部省）

**◇第78号（平成10年１月）**

第61回全国学校歯科保健研究大会特集
都道府県学校歯科保健略史⑵

**◇第79号（平成10年３月）**

平成９年度学校歯科保健研究協議会
平成９年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会
第47回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会
都道府県学校歯科保健略史⑶
第85回 FDI 年次世界歯科大会報告（ソウル市）

**◇第80号（平成10年11月）**

グラビア　平成10年度歯・口の健康に関する図画・ポスター最優秀作品
平成10年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会
特集：学術論文集，寄稿論文
全日本よい歯の学校表彰 ― 文部大臣表彰を受

賞して
座談会「改正後の学校歯科健康診断」
都道府県学校歯科保健略史⑷

**◇第81号（平成11年２月）**

第62回全国学校歯科保健研究大会特集
第48回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会
第86回 FDI 年次世界歯科大会報告（バルセロナ市）
編集委員座談会 「会誌・広報の今日と明日」

**◇第82号（平成11年11月）**

グラビア　平成11年度歯・口の健康に関する図画・ポスター最優秀作品
特集：学術論文集，寄稿論文
平成11年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会
平成10年度全日本学校歯科保健優良校文部大臣賞受賞校　－校長の立場から，－学校歯科医の立場から
都道府県政令市学校保健統計
加盟団体活動報告⑸

**◇第83号（平成12年１月）**

第63回全国学校歯科保健研究大会特集
第49回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会
加盟団体活動報告⑹
第87回 FDI 年次世界歯科大会（メキシコ）報告
文部省平成11年度学校保健統計調査速報

**◇第84号（平成12年10月）**

**※体裁をＡ４判に変更**

特集：学術論文集
鼎談：「学校歯科保健アジア会議」に向けて
平成12年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会
加盟団体活動報告⑺
平成11年度全日本学校歯科保健優良校 ― 文部大臣賞を受賞して

**◇第85号（平成13年２月）**

第64回全国学校歯科保健研究大会特集
論文：「健康日本21」と学校歯科保健 ―
東京医科歯科大学名誉教授　岡田昭五郎
第50回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会

**◇第86号（平成13年10月）**

特集：〔学校歯科保健アジア会議〕
平成13年度歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会
グラビア　平成13年度歯・口の健康に関する図画・ポスター最優秀作品
加盟団体活動報告⑻

**◇第87号（平成14年２月）**

第65回全国学校歯科保健研究大会特集
第51回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会
調査報告：歯と口の健康アンケート調査結果－東京都学校歯科医会
・学校歯科保健における歯科臨床検査を用いたリスク評価法についての検討
岩手県歯科医師会 他

# ２．広報紙の推移

**◇広報１号　昭和52年９月発行**

表紙：創刊を祝う，文部省体育局長 柳川覚治，日本学校保健会会長 東　俊郎，日本歯科医師会会長 山崎数男

広報の発刊に当りて

日本学校歯科医会会長 湯浅泰仁

目次：日本学校歯科医会第11回総会，第41回全国学校歯科保健大会予告




**◇広報２号　昭和53年１月発行**

表紙：年頭の挨拶　日本学校歯科医会会長 湯浅泰仁

目次：第41回全国学校歯科保健大会，第27回全国学校保健研究大会，他

**◇広報３号　昭和53年５月発行**

表紙：第12回総会

目次：第12回総会開催，国民の砂糖の過剰摂取とう蝕罹患状態の関係について

**◇広報４号　昭和53年９月発行**

表紙：第13回総会

目次：第13回総会開催，第29回十大都市学校歯科保健協議会・前日歯科保健協議会

**◇広報５号　昭和54年２月発行**

表紙：第42回全国学校歯科保健大会

目次：第42回全国学校歯科保健大会，第28回全国学校歯科医協議会・同全国学校保健研究大会

**◇広報６号　昭和54年５月発行**

表紙：第14回総会

目次：第14回総会開催，むし歯予防デー告知，第30回十大都市学校歯科保健協議会，第９回アジア・太平洋歯学大会とその周辺

**◇広報７号　昭和54年８月発行**

表紙：挨拶　会長 湯浅泰仁，第15回総会

目次：第15回総会開催，昭和54年度学校歯科保健研究協議会，全日本よい歯の学校表彰調査票の取り扱い

**◇広報８号　昭和54年10月発行**

表紙：湯浅泰仁会長，貴志　淳専務大いに語る

目次：鼎談続き，学校歯科保健研究協議会，第30回関東甲信越学校保健大会

**◇広報９号　昭和55年１月発行**

表紙：新しい年を迎えて　会長 湯浅泰仁，谷垣文部大臣と懇談

目次：第43回全国学校歯科保健大会，学校保健法による要保護及び準要保護児童生徒の医療補助取り扱いと生活保護法との関連

**◇広報10号　昭和55年６月発行**

表紙：地域医療諸対策と地域学校歯科医との関係　会長 湯浅泰仁

目次：第16回総会開催，昭和55，56年度むし歯予防推進指定校一覧

**◇広報11号　昭和55年８月発行**

表紙：第17回総会

目次：第17回総会開催，「小学校・学校歯科医

の活動指針」審議経過概要

**◇広報１２号　昭和55年11月発行**

表紙：座談会「日本学校歯科医会のあり方と今後の事業計画」

目次：座談会続き，昭和55年度学校歯科保健研究協議会

**◇広報１３号　昭和56年１月発行**

表紙：年頭の辞　会長 湯浅泰仁，第44回全国学校歯科保健大会

目次：第44回大会続き，第30回全国学校歯科医協議会・全国学校保健大会

**◇広報１４号　昭和56年６月発行**

表紙：第18回総会挨拶，会長 湯浅泰仁

目次：第18回総会開催，第45回全国学校歯科保健研究大会速報

**◇広報１５号　昭和56年９月発行**

表紙：第19回総会，社団法人設立十周年記念式典（カラー）

目次：第19回総会開催，記念式典カラー写真集，日本学校歯科医会定款施行細則

**◇広報１６号　昭和56年11月発行**

表紙：座談会「社団法人設立十周年を振り返って」

目次：座談会続き，昭和56年度近畿地区学校歯科医会連絡協議会

**◇広報１７号　昭和57年３月発行**

表紙：学校歯科保健の将来展望 会長 湯浅泰仁

目次：第45回全国学校歯科保健研究大会 ― 常陸宮・同妃殿下ご臨席 ―

日本学校安全会法とその解釈⑴

**◇広報１８号　昭和57年５月発行**

表紙：第20回総会における挨拶 会長 湯浅泰仁

目次：第20回総会開催，日本学校安全会法とその解釈⑵，日学歯加盟団体長会議

**◇広報１９号　昭和57年９月発行**

表紙：第21回総会挨拶，会長 湯浅泰仁

目次：第21回総会開催，日本学校安全会法とその解釈⑶

**◇広報２０号　昭和57年11月発行**

表紙：第５次むし歯半減運動の提唱
会長 湯浅泰仁

目次：座談会「第５次むし歯半減運動（仮称）を進めるに当たって」

資料紹介 ― 学級担任のための歯科保健指導資料集 ― 神奈川県歯科医師会

昭和57年度学校歯科保健研究協議会

**◇広報２１号　昭和58年１月発行**

表紙：会長挨拶 湯浅泰仁

目次：第46回全国学校歯科保健研究大会，第32回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会

**◇広報２２号　昭和58年６月発行**

表紙：第22回総会　会長挨拶 湯浅泰仁 ― 第５次むし歯半減運動を進めながら ―

目次：第22回総会開催，理事・監事紹介，各地報告

**◇広報２３号　昭和58年10月発行**

表紙：第23回総会挨拶　会長 湯浅泰仁

目次：第23回総会開催，九州地区学校保健大会前日学校歯科医会連絡会 他

**◇広報２４号　昭和59年１月発行**

表紙：会長挨拶 湯浅泰仁，昭和58年度叙勲・褒章・文部大臣表彰者名簿

目次：第47回全国学校歯科保健研究大会，学校歯科保健推進モデル校表彰審査委員会報告 他

第33回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会

昭和58年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会

**◇広報２５号　昭和59年５月発行**

表紙：痛惜　湯浅泰仁会長逝去

目次：故湯浅泰仁先生三会合同葬儀，

主催：㈳日本学校歯科医会，㈳千葉県歯科医師会，㈶日本学校保健会，日時：昭和59年３月17日，場所：千葉県医療センター

**◇広報26号　昭和59年８月発行**

表紙：第24回総会挨拶　会長代行 関口龍雄

目次：第24回総会開催

**◇広報27号　昭和59年９月発行**

表紙：第25回総会挨拶　会長 関口龍雄

目次：第25回総会開催，湯浅前会長を偲ぶ会，近畿地区学校歯科医連絡協議会 他

**◇広報28号　昭和60年１月発行**

表紙：カラー写真・富士山 他

目次：第48回全国学校歯科保健研究大会，昭和59年度学校歯科保健研究協議会，学術委員会報告，第34回全国学校歯科医協議会

**◇広報29号　昭和60年５月発行**

表紙：昭和60年度についての抱負 会長 関口龍雄，日学歯年間行事予定

目次：座談会「DMFT について」

**◇広報30号　昭和60年９月発行**

表紙：第26回総会挨拶　会長 関口龍雄

目次：第26回総会開催，第36回十一大都市学校保健協議会・前日歯科保健協議会

**◇広報31号　昭和60年12月発行**

表紙：第27回総会挨拶　会長 関口龍雄

目次：第27回総会開催

宮城県歯科保健大会 他

**◇広報32号　昭和61年３月発行**

目次：第49回全国学校歯科保健研究大会，昭和60年度学校歯科保健研究協議会，第35回全国学校保健大会・全国学校歯科医協議会

**◇広報33号　昭和61年５月発行**

表紙：昭和61年度の事業運営について 会長 関口龍雄

目次：座談会「学校・家庭・地域の連携」，高等学校／学校歯科医の活動指針，第20回東京都学校歯科保健研究大会，第37回十一大都市学校歯科保健協議会・前日歯科保健協議会

**◇広報34号　昭和61年８月発行**

表紙：第28回総会にあたって挨拶 会長 関口龍雄

目次：第28回総会開催，第50回全国学校歯科保健研究大会予告

**◇広報35号　昭和61年10月発行**

表紙：第29回総会に際して　会長 関口龍雄

目次：第29回総会開催，心身に障害を持つ子供たちの歯の保健指導管理の進め方について
― 竜門敦子，
故貴志　淳専務理事を偲んで

**◇広報36号　昭和62年３月発行**

表紙：カラー写真・富士山

目次：第50回全国学校歯科保健研究大会，第28回福岡県学校歯科学会 他

**◇広報37号　昭和62年７月発行**

表紙：第30回総会　加藤増夫 会長挨拶

目次：新役員紹介，札幌歯科医師会学校歯科部会で学校歯科医研修会開催，昭和61年度大阪市学校歯科保健大会開催 他

**◇広報38号　昭和62年10月発行**

表紙：第31回総会に際して挨拶 会長 加藤増夫

目次：第31回総会開催，昭和62年度青森県学校歯科保健研究会 他

**◇広報39号　昭和63年３月発行**

表紙：カラー写真・富士山

目次：第51回全国学校歯科保健研究大会，千葉県歯科医師会学校保健講習会（学校歯科医）開催 他

**◇広報40号　昭和63年６月発行**

表紙：カラー　新歯科医師会館の写真紹介

目次：グラビアー新歯科医師会館定礎式ほか，日本学校歯科医会各種委員会活動，加盟団体長会，第１回埼玉県学校歯科保健研究大会並

びに第34回よい歯のコンクール表彰式 他

**◇広報41号　昭和63年７月発行**

表紙：第32回総会に際して挨拶 会長 加藤増夫

目次：第32回総会開催，名古屋市学校歯科医会総会と養護教諭協議会 他

**◇広報42号　昭和63年10月発行**

表紙：第33回総会に際して挨拶 会長 加藤増夫

目次：第33回総会開催，故向井喜男先生を偲ぶ会，第39回川崎市学校歯科保健協議会，山形県歯科医師会学校歯科医研修会 他

**◇広報43号　平成元年２月発行**

表紙：八戸市での第52回全国大会に因んで，大会会場写真

目次：第52回全国学校歯科保健研究大会記事と写真集

**◇広報44号　平成元年４月発行**

表紙：カラー写真・富士山

目次：第53回全国大会予報，第38回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会，昭和63年度長野県学校歯科大会 他

**◇広報45号　平成元年９月発行**

表紙：第34回総会　加藤増夫会長再選挨拶

目次：新役員紹介，第34回総会開催，第35回埼玉県よい歯のコンクール表彰式，第23回東京都学校歯科保健研究大会，大阪市学校歯科保健研究大会 他

**◇広報46号　平成元年11月発行**

表紙：第35回総会挨拶「むし歯予防啓発推進事業から学ぶこと」会長 加藤増夫

目次：第35回総会開催，第11回学校歯科保健研修会・学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会，第40回川崎市学校歯科保健協議会，平成元年度富山県学校歯科保健特別研修会 他

**◇広報47号　平成２年２月発行**

表紙：第53回全国大会会場などの写真

目次：第53回全国学校歯科保健研究大会，平成元年度栃木県歯科医師会歯科保健指導者講習会，平成元年度神奈川県学校歯科保健大会，第31回岐阜県学校歯科保健研究大会 他

**◇広報48号　平成２年４月発行**

表紙：カラー写真・富士山

目次：学校歯科保健の現状と課題

・学校健診の考え方

第39回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会，（講演・学校歯科医会の歩み ― 加藤増夫会長）

加盟団体だより

**◇広報49号　平成２年７月発行**

表紙：第36回総会挨拶「歴史と先輩の努力を継いで」会長 加藤増夫

目次：第36回総会開催，FDI 二桁数字歯牙表示法，「赤色３号の使用制限」の基本的な日学歯の考え方と対応，ウォーターフロントから文部省へ ― 猪股俊二文部省体育官インタビュー，八戸市学校歯科医会デーリー東北賞受賞 他

**◇広報50号　平成２年11月発行**

表紙：第37回総会挨拶「目標に向かって前進を」会長 加藤増夫

目次：第37回総会開催，平成２年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会，第41回十二大都市学校保健協議会・前日歯科保健協議会，第24回東京都学校歯科保健研究大会

**◇広報51号　平成３年１月発行**

表紙：カラー　加藤日学歯会長，西連寺専務理事，井上　裕文部大臣を表敬訪問

目次：第54回全国学校歯科保健研究大会，第40回全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会

**◇広報52号　平成３年５月発行**

表紙：カラー写真・富士山

目次：加藤増夫会長三選挨拶，学校歯科医制度60周年及び日本学校歯科医会設立20周年記念事業，平成２年度全国健康教育研究協議会他

**◇広報53号　平成３年10月発行**

表紙：学校歯科医制度60周年，㈳日本学校歯科医会設立20周年記念式典カラー写真（会長挨拶，文部大臣表彰，日学歯会長表彰）

目次：式典，加藤会長式辞，第38回総会，新役員紹介

**◇広報54号　平成４年２月発行**

表紙：第39回総会挨拶「21世紀へ向け一層の発展を」会長 加藤増夫

目次：第39回総会開催，平成３年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会，各種委員会委員名簿

**◇広報55号　平成４年３月発行**

表紙：カラー写真・松島，五大堂（宮城県）

目次：第55回全国学校歯科保健研究大会，東京都葛飾区における地域歯科保健の現況 他

**◇広報56号　平成４年６月発行**

表紙：カラー写真・富士山

目次：理事会・委員会開催報告，「小学校／歯の保健指導の手引」改定版を発行，平成３年度加盟団体会開催，平成３年度学校保健統計調査結果の概要

**◇広報57号　平成４年８月発行**

表紙：第40回総会「2000年に向けて一層の努力を」会長 加藤増夫

目次：第40回総会開催，学校歯科医指導者養成セミナー報告

加盟団体だより

**◇広報58号　平成４年10月発行**

表紙：第41回総会「目標に向い，いま一層の前進を」会長 加藤増夫

目次：第41回総会開催，学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会，全国学校保健研究大会・全国学校歯科医協議会，日学歯学校歯科保健研修会に参加して（投稿）

**◇広報59号　平成５年２月発行**

表紙：カラー写真・鳴門海峡うずしお（徳島県）

目次：第56回全国学校歯科保健研究大会，加盟団体だより ― 青森県学校歯科保健研究大会，愛知県第５回学校歯科保健大会 他

**◇広報60号　平成５年３月発行**

表紙：カラー写真・富士山

目次：第57回全国学校歯科保健研究大会予告，平成４年度加盟団体長会，日学歯広報60号発刊を記念して ― 宮脇祖順，第42回全国学校歯科医協議会・全国学校保健研究大会，学校保健統計調査の速報から学校保健を考える ― 文部省体育局体育官 猪股俊二

**◇広報61号　平成５年７月発行**

表紙：第42回総会挨拶「学校・家庭・地域が一体となって問題解決へ」会長 加藤増夫

目次：第42回総会開催，新役員紹介，各種委員会の検討内容，第57回全国大会予告

**◇広報62号　平成５年11月発行**

表紙：第43回総会挨拶　会長 加藤増夫

目次：第43回総会開催，各種委員会名簿，歯・口の健康つくり運動要項

**◇広報63号　平成６年３月発行**

表紙：秩父夜祭（第57回埼玉大会）カラー写真

目次：第57回全国学校歯科保健研究大会，第44回十三大都市学校保健協議会・前日歯科保健協議会，世界口腔保健学術大会開催案内

**◇広報64号　平成６年６月発行**

表紙：第44回総会挨拶「会員増強なる，２万余名に」会長 加藤増夫

目次：第44回総会開催，第58回全国学校歯科保健研究大会予告

◇**広報65号　平成６年９月発行**

表紙：第45回総会挨拶「学校歯科医への大きな期待」会長 加藤増夫

目次：第45回総会開催，各種委員会報告，会費一万円を告知

◇**広報66号　平成７年１月発行**

表紙：呉羽山頂からの立山連峰の眺望（第58回富山県大会）カラー写真

目次：第58回全国学校歯科保健研究大会，文部省体育局長通知（抜粋）「学校保健法施行細則の一部を改正する省令の施行及び今後の学校における健康診断の取扱について」

◇**広報67号　平成７年５月発行**

表紙：挨拶　会長 加藤増夫

目次：平成６年度学校歯科保健研究協議会，むし歯予防推進指定校協議会・平成６年度学校保健統計調査報告書（文部省）

◇**広報68号　平成７年６月発行**

表紙：第46回総会挨拶　会長 加藤増夫

目次：第46回総会開催，新役員紹介，第59回全国学校歯科保健研究大会予告

◇**広報69号　平成７年８月発行**

表紙：第47回総会挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：第47回総会開催，学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会予告，第45回全国学校歯科医協議会予告，新各種委員会委員名簿

◇**広報70号　平成７年11月発行**

表紙：第59回名古屋大会会場　カラー写真

目次：第59回全国学校歯科保健研究大会特集，むし歯予防推進指定校協議会・学校歯科保健研究協議会，第83回 FDI 年次世界歯科大会（香港），WHO 本部／ジュネーブ歯科医師会訪問記

◇**広報71号　平成８年２月発行**

表紙：「広報71号の発刊にあたって」
会長 西連寺愛憲

写真 ― 西連寺会長，奥田幹生文部大臣を表敬訪問

目次：学術論文 ― これからの学校歯科保健〔改正における不正咬合（歯列不正）と顎関節について〕日学歯理事 福井初雄

各種委員会報告

◇**広報72号　平成８年５月発行**

表紙：第48回総会挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：第48回総会開催，第60回全国学校歯科保健研究大会予告

◇**広報73号　平成８年９月発行**

表紙：第49回総会挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：インタビュー西連寺会長に聞く－１「会員のための会でありたい」― 元気な秘訣は早い決断，第60回全国大会予告，― 会員の声「少子化と小・中学校の統廃合」

◇**広報74号　平成９年１月発行**

表紙：第60回東京大会会場写真　カラー写真

目次：第60回全国学校歯科保健研究大会特集，インタビュー西連寺会長に聞く－２「改正を契機に私達自身の質的向上を」，学校歯科保健研修会，随想「鵜飼」松島悌二副会長

裏表紙＝第60回全国大会写真集 ― カラー

◇**広報75号　平成９年３月発行**

表紙：挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：平成８年度学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会，随想「疑わしきは観察と指導」に　西野恭正副会長，第18回学校歯科保健研修会参加者の声，加盟団体長会

◇**広報76号　平成９年６月発行**

表紙：第50回総会

目次：第50回総会開催，新役員紹介，インタ

ビュー西連寺会長に聞く－３「21世紀に向けて新たな決意」― 学校歯科医全員加入の体制づくり ―

随想「夏休みの待合室」梅田昭夫副会長，第61回全国大会予告

**◇広報77号　平成９年８月発行**

表紙：第51回総会挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：第51回総会開催，各委員会新委員名簿，インタビュー森本　基専務理事に聞く ―「特別職としての自覚必要」，第61回全国大会予告

**◇広報78号　平成９年12月発行**

表紙：第61回全国大会会場　カラー写真

目次：第61回全国学校歯科保健研究大会特集，第19回学校歯科保健研修会参加者の声

裏表紙＝第61回全国大会写真集　カラー

**◇広報79号　平成10年３月発行**

表紙：挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：特集「咀嚼」機能に関連した学校歯科保健教育の課題 ― 東京医科歯科大学教授 黒田敬之，平成９年度学校歯科保健研究協議会

**◇広報80号　平成10年５月発行**

表紙：第52回総会挨拶　会長 西連寺愛連

目次：第52回総会開催，各委員会中間報告，第62回全国大会予告 他

**◇広報81号　平成10年８月発行**

表紙：第53回総会挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：第53回総会開催，歯・口の健康つくり推進指定校連絡協議会，第62回大会の準備から（沖縄県歯学校歯科医会）

**◇広報82号　平成11年１月発行**

表紙：第62回大会会場　カラー写真

目次：第62回全国学校歯科保健研究大会特集・平成10年度学校歯科保健研究協議会，第20回学校歯科保健研修会

裏表紙＝第62回全国大会写真集　カラー写真

**◇広報83号　平成11年３月発行**

表紙：「今期の御礼と次なる目標に向けて」
会長 西連寺愛憲

目次：第48回全国学校歯科医協議会特別講演「日本における歩みから ― 学校歯科保健の過去・現在・未来を考える ―」講師，日学歯会長西連寺愛憲，論文「学校歯科医とマウスガード ― その現状と展望について ―」明海大学歯学部教授安井利一 他

**◇広報84号　平成11年６月発行**

表紙：第54回総会挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：第54回総会開催，新役員紹介，インタビュー西連寺会長三選「21世紀にはばたく日学歯」，加盟団体長会，第21回学校歯科保健研修会，第63回全国大会予告，第63回大会のご案内（北海道歯科医師会）

**◇広報85号　平成11年８月発行**

表紙：第55回総会挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：第55回総会開催，新委員名簿，インタビュー ― 福井初雄専務に聞く ― 私の信念は「為せば成る　為さねばならぬ…」，第21回学校歯科保健研修会，第63回全国大会予告

**◇広報86号　平成11年12月発行**

表紙：第63回全国大会会場　カラー写真

目次：第63回全国学校歯科保健研究大会特集，シリーズ１「改正健康診断」の経験と反省〔歯列・咬合〕で提起された問題

裏表紙＝第63回全国大会写真集　カラー写真

**◇広報87号　平成12年３月発行**

表紙：挨拶「執行部任期の中間に当たって」
会長 西連寺愛憲

目次：第49回全国学校保健研究大会・学校歯科医協議会，特集：「障害のある児童生徒に対する学校歯科保健への取り組み」平成９，10年度学術第２委員会副委員長奈良文雄，加盟団体長会，〔日学歯副会長座談会〕「組織充

実，資質の向上，記念事業，新学習指導要領，スポーツ歯科学，そしてメッセージ…」
シリーズ２「改正健康診断」の経験と反省〔顎関節〕の項での問題点

**◇広報88号　平成12年５月発行**

表紙：第56回総会における挨拶
会長 西連寺愛憲

目次：第56回総会開催，各種委員会中間報告，シリーズ３「改正健康診断」の経験と反省〔歯周疾患要観察者（GO)〕の検出基準と取組みの経過と反省 他

**◇広報89号　平成12年８月発行**

表紙：第57回総会における挨拶
会長 西連寺愛憲

目次：第57回総会開催，第22回学校歯科保健研修会

**◇広報90号　平成13年１月発行**

表紙：第64回全国大会会場　カラー写真

目次：第64回全国学校歯科保健研究大会特集，参加者の声

裏表紙＝第64回全国大会写真集(カラー)，役員の選挙期日及び立候補・推薦候補届出についてのお知らせ

**◇広報91号　平成13年３月発行**

表紙：「２年間を感謝して」挨拶
会長 西連寺愛憲

目次：座談会「学校歯科保健アジア会議」見どころ聞きどころ～実行委員会からお話を聞く
論文〔子ども達の食生活の現状と学校歯科保健の課題〕徳島大学歯学部教授 西野瑞穂
第50回全国学校保健研究大会・学校歯科医協議会

**◇広報92号　平成13年６月発行**

表紙：第58回総会の挨拶から 会長 西連寺愛憲

目次：第58回総会開催，新役員紹介，平成13年度歯･口の健康つくり推進指定校連絡協議会，インタビュー西連寺愛憲会長「学校歯科保健の変革をめざして」― ４期目の抱負を語る ―

**◇広報93号　平成13年８月発行**

表紙：学校歯科医制度70周年及び社団法人日本学校歯科医会設立30周年記念式典における式辞　会長 西連寺愛憲

目次：記念式典並びに学校歯科医制度70周年記念文部科学大臣表彰式及び祝辞，第59回総会開催，新委員名簿，インタビュー櫻井善忠専務に聞く「歯科保健活動自体に生き甲斐を感じて」，学校歯科保健アジア会議開催される

**◇広報94号　平成14年１月発行**

表紙：第65回全国大会会場　カラー写真

目次：第65回全国学校歯科保健研究大会特集，参加者の声，平成13年度学校保健統計調査速報（歯科部分抜粋）文部科学省

裏表紙＝第65回全国大会写真集　カラー写真

**◇広報95号　平成14年３月発行**

表紙：挨拶　会長 西連寺愛憲

目次：論文「児童生徒の保健教育としての生活習慣の確立と口腔機能の育成」日本大学歯学部教授 赤坂守人
第51回全国学校保健研究大会・学校歯科医協議会，第51回大会・協議会参加者の声，加盟団体長会，「随想」白尾国興（日学歯副会長，宮崎県歯科医師会会長）

## ３．月間報告書の推移

◇№１ 昭和52年４月１日～５月25日
①常務会，関係役員会議
②第１回学術委員会，地域学校歯科保健合同委員会
③定款改正委員会他

◇№２ 昭和52年５月26日～６月27日
①常務会，理事会，関係役員会議
②学術委員会，地域学校歯科保健委員会
③昭和52年度日学歯年間予定表

◇№３ 昭和52年６月28日～７月19日
①総会，常務理事会，関係役員会議
②第41回大会について（神奈川）
③地域歯科保健と学校歯科保健委員会報告

◇№４ 昭和52年７月20日～８月31日
①常務理事会，関係諸会議
②第27回全国学校保健研究大会要項
③文部省主催学校歯科保健講習会

◇№５ 昭和52年９月１日～９月29日
①常務理事会，関係諸会議
②学校歯科保健への歯科衛生士導入についての考え方　要項

◇№６ 昭和52年９月30日～10月14日
①常務理事会，関係諸会議

◇№７ 昭和52年10月15日～11月９日
①常務理事会，関係諸会議
②定款改正委員会答申

◇№８ 昭和52年11月10日～12月13日
①常務理事会，関係諸会議
②会費納入状況
③日本学校歯科医会略史

◇№９ 昭和52年12月14日～昭和53年２月18日
①常務理事会，関係諸会議

◇№10 昭和53年２月19日～３月25日
①常務理事会，理事会，関係諸会議
②加盟団体長会議
③昭和53年度日本学校歯科医会事業計画

◇№11 昭和53年３月26日～５月９日
①常務理事会，関係諸会議
②第29回十大都市学校保健協議会・前日歯科保健協議会
③昭和53年度年間予定表
④第19回全日本よい歯の学校表彰について
⑤昭和53年度歯科保健図画・ポスターの募集について
⑥第20回奥村賞の候補者推薦について
⑦日本学校安全会法，同法施行令及び同法施行規則の一部改正について（通知）

◇№12 昭和53年５月10日～６月24日
①常務理事会，関係諸会議
②日学歯第13回総会
③日本学校安全会法施行規則
④昭和53年度地方交付税における学校保健及び学校安全関係の財源措置について
⑤昭和53年度学校歯科保健講習会要項
⑥全国学校歯科医報酬に関する第１報

以上昭和52年（1977年）４月１日より，日学歯月間報告書が発行され，内容は常務理事会，理事会，関係諸会議が主なものになっている。ほぼ１か月置きに発行され，ページ数は10ページ前後。例外として月間報告書№12をあげたが，ページ数も24ページに及び大変変化に富んだ内容であった。

№12以降で主な月間報告書の掲載記事としては，以下の通り。

・全国学校歯科医報酬に関する第１回調査報告（№18　昭和54年２月２日～３月12日）・日本学校安全会法及び学校保健法の一部改正について（№19　昭和54年３月13日～４月16日）
・歯科保健指導車の整備・運営の指針（№24　昭和54年10月３日～11月７日）
・学校歯科医活動指針内容の大綱 ― 案（№25　昭和54年11月９日～12月６日）
・日本学校歯科医会推薦に関する内規要綱（№28　昭和55年２月27日～５月12日）
・日本学校保健会　学校保健センター的事業の内容（№38　昭和56年５月21日～６月２日）
・日本学校歯科医会50周年記念誌　編集要領（№39　昭和56年６月３日～７月17日）
・学校保健関係法令等 ― 学校保健法，日本学校安全会法，小学校・学校歯科医活動指針改定項目案（№39　〃　）
・第５次むし歯半減運動発起について（№40　昭和56年７月18日～９月10日）
・日本学校安全会災害共済 ― 歯科医療機関用（№45　昭和57年１月14日～２月２日）

**※№46より会務報告が資料として付加される**

・昭和55年度都道府県別学校数と学校歯科医数の一覧（№48　昭和57年４月15日～７月７日）
・児童生徒等むし歯予防啓発推進事業実施要項（№56　昭和58年５月18日～６月８日）
・昭和58年度学校歯科医の報酬について（№57　昭和58年６月28日～７月５日）
・学校歯科保健推進モデル校表彰事業について（№63　昭和59年２月21日～７月10日）
・第５次むし歯半減運動のための学校歯科医の活動指針（№69　昭和60年４月20日～６月18日）
　奥村賞，よい歯の学校表彰調査票記入要領，第49回全国学校歯科保健研究大会要項等各種大会・協議会案内，各種委員会委員名簿等で57頁。

※№69より内容に常務理事会，理事会に加えて各種委員会の項目が入る。発行はほぼ２か月に１回の割合となる。因みに№71は，昭和60年７月17日～昭和61年１月21日となっている。№74より紙質変更。
・第６次むし歯半減運動要項案（№80　昭和63年２月１日～３月31日）

※昭和63年度前後から内容的に，理事会，常務理事会，各種委員会，加盟団体長会，総会，会務報告，会計報告で統一されるようになり頁数も10頁程度になった。
※平成３年頃より２～３か月に１回の割合で発行
※№103からは総会の記事は広報紙のみになる
※各種依頼〔助成金申請，役員派遣依頼，後援（名義使用）・共催依頼等〕が№100より付加された。
※日学歯月間報告№135（平成14年１月１日～３月31日）では，第６回常務理事会，第５回理事会，加盟団体長会，第６回理事会などが掲載され，同じような内容で３か月に１回の割合で発行されて現在に至っている。

## ４．冊子，パンフレット，パネル

| | |
|---|---|
| ◇学校歯科衛生指針 | 昭和11年発行 |
| ◇歯科より見たる小学国語読本巻３・むしばの解説 | 昭和11年 |
| ◇学校歯科医の手引 | 昭和31年 |
| ◇学校歯科の手引き | 昭和41年 |
| ◇学校保健における歯科活動の手引き | 昭和46年 |
| ◇学校歯科巡回自動車の手引き | 昭和49年 |
| ◇学校歯科活動の手引き（改定版） | 昭和50年 |
| 昭和52年学校歯科保健への歯科衛生士の導入の考え方要綱 | |
| ◇幼稚園～高等学校／学校歯科医の活動指針 | 昭和55年～平成２年 |
| ◇学校歯科における口腔咀嚼機能・不正咬合に関する基本的な考え方 | 昭和62年 |
| ◇学校歯科保健とフッ素 | 平成２年 |
| ◇幼児・児童・生徒の歯・口腔の健康診断と事後措置 | 平成３年 |
| ◇幼児・児童・生徒の歯・口腔のはたらき | 平成３年 |
| ◇大きく変わる学校歯科保健 | 平成５年 |
| ◇高等学校における歯科保健指導 | 平成６年 |
| ◇学校における歯・口腔の健康診断（健診マニュアル一式） | 平成７年 |
| ◇学校歯科医の活動指針（合冊改定版） | 平成８年 |
| ◇歯・口腔の健康診断パネル①②③④（CO，GO バネル） | 平成８年 |
| ◇歯・口腔の健康診断パネル⑤（顎関節の診査の流れと診査法） | 平成９年 |
| ◇歯・口腔の健康診断パネル⑥（歯列・咬合の診査基準） | 平成10年 |
| ◇障害のある児童生徒に対する学校歯科保健 | 平成11年 |
| ◇CD-ROM「学校歯科健診における CO・GO について」 | 平成13年 |
| （HYBRID CD-ROM forWindows and Machintosh） | |
| ◇学校歯科保健Ｑ＆Ａ①（歯垢染色剤について） | 平成14年 |
| ◇学校歯科保健Ｑ＆Ａ②（キシリトールについて） | 平成14年 |
| ◇歯・口腔の健康診断と事後措置の留意点 －CO・GO を中心に－ | 平成14年 |
| ◇歯・口腔の健康診断と事後措置の留意点 | 平成14年 |
| －よりよい顎・口腔機能の育成を目指して－ | |

# 第３編

# 加盟団体略史

# 加盟団体略史

**日本学校歯科医会は全国54の加盟団体に支えられています。日学歯のあゆみを辿るときに，加盟団体のあゆみも辿らなくてはなりません。**

**70周年記念号の発行を見通して1997年５月発行の日本学校歯科医会会誌77号より，４号連載で都道府県学校歯科保健略史を連載してきました。各加盟団体のご協力をいただいて，それぞれの活動のあゆみを紹介させていただきました。さらに情報交換の場として平成11年（1999年）発行の会誌82号より加盟団体活動紹介を連載し現在のすばらしい取り組みを掲載中です。**

**このたび日本学校歯科医会70周年記念号を発行するにあたり，先の50周年記念誌の「都道府県学校歯科保健略史」を踏まえて今日までの簡単なあゆみをまとめさせていただきました。ご協力をいただきました各加盟団体に心より感謝申し上げます。**

## ◆◆ 北　海　道 ◆◆

昭和11年12月に北海道学校歯科医会の発会式が行われた。そして昭和15年には日本聯合学校歯科医会に加盟している。組織化される以前の昭和２年７月には旭川市と協力して全市の小学校の巡回歯科診療を実施，これが我が国の学校歯科巡回診療の始祖であるといわれている。

広く児童生徒の歯科保健問題を討議検討する目的をもって毎年，北海道学校歯科保健研究大会を開催，また学校歯科医を対象とした学校歯科医協議会も開催している。特に昭和56年にスタートした学校歯科保健研究大会は，全国学校歯科保健研究大会の北海道版ともいうべき性格のものである。昭和58年度の第３回学校歯科保健研究大会から，北海道学校歯科保健優良校表彰，北海道学校歯科保健図画・ポスターコンクール入賞者の表彰も行っている。前者の場合は選考基準も児童生徒自ら問題発見，問題解決型の方向に基準の変更を行い継続している。北海道歯科保健図画・ポスターコンクールの応募は例年8,000点以上におよび関心の高さを示している。因みに第39回全日本学校歯科保健優良校表彰で札幌市立西岡北小学校が文部大臣表彰の栄に浴した。

平成11年９月30日～10月１日にかけて札幌市ロイトン札幌において，第63回全国学校歯科保健研究大会を開催。文部省（現在，文部科学省），（社）日本学校歯科医会，（財）日本学校保健会等と

ともに主催団体として大会の設定，運営に主体的に関わり大きな成果を挙げた。北海道における全国大会は札幌市中央創成小学校で開かれた昭和31年の第20回全国学校歯科医大会に続いて２回目となっている。

刊行物としては，学校歯科保健ガイドシリーズ，歯と口腔の保健指導の実際，歯・口腔の健康診断などを刊行している。

## ◆◆ 札　幌　市 ◆◆

昭和53年に札幌歯科医師会学校歯科医会規程を制定して発足し，札幌歯科医師会の補助金と会費により運営している。翌昭和54年には社団法人日本学校歯科医会の加盟団体となる。

昭和59年に学校歯科医会理事者の担当する学校が，北海道学校保健会の「むし歯予防推進指定校」に指定されたのを機に学校歯科医会役員が中心に研究活動を展開し，その成果を昭和62年の北海道歯科学術大会で発表した。

学校歯科医のクオリティアップを目的として，昭和61年から毎年，定期健康診断前に新学校歯科医と新入会員を対象に「新学校歯科医オリエンテーション」を実施している。

札幌歯科医師会学校歯科医会独自に平成３年より「むし歯予防推進指定校」〔平成12年から「歯・口の健康つくり推進指定校」に変更〕実施要項を制定し，実践活動を行っている。また，表彰規約を平成４年に制定し会員表彰を行っている。

昭和62年には学校歯科保健の教本として『学校歯科医要綱』を発行し，平成８年に新学校歯科健康診断方法の変更に対応するための改訂版を発行している。さらに平成12年には実情に合わせて内容を改正し2000年改訂版を発行した。

会員に学校歯科保健に関する内容の情報伝達および学校歯科医会の活動をより詳細に知ってもらうための周知手段として，平成11年から年１回の定期刊行で広報紙『札学歯』を発行している。

平成12年から１年間の学校および学校歯科医の活動状況等の実態を把握することにより，学校歯科保健の質的向上および教育委員会への学校歯科医推薦等，会の事業推進の参考とするために「学校歯科医活動報告書」を全学校歯科医から提出していただいている。

## ◆◆ 青　森　県 ◆◆

記録によると昭和５年に，「満月会」という組織が再編成されて八戸市学校歯科医会が誕生したといわれる。そして昭和８年12月に弘前市学校歯科医会，翌年６月には青森市学校歯科医会がそれぞれ発足している。青森県学校歯科医会として日本聯合歯科医会に加盟したのは昭和13年であった。八戸市学校歯科医会では，昭和24年度から市内全小学校児童に対しての巡回歯科指導を経年的に実施し，詳細な報告書をまとめた。これらの活動に対して青森県において開催された第23回全国

学校歯科医大会で，設定されて初めての奥村賞を受賞している。

昭和58年には青森県児童生徒むし歯予防啓発推進事業がスタートして現在に至っている。昭和34年10月には，青森市において第23回全国学校歯科医大会が開催され，青森県学校歯科医会も主催団体として大会運営に尽力している。約800名が参加して盛大であった。また「学校歯科保健の包括化」をテーマに八戸市において第52回全国学校歯科保健研究大会が開催されている。公開授業が初めて高等学校で行われた。平成５年に，青森市において「むし歯予防推進指定校協議会」及び「学校歯科保健研究協議会」が開催されている。

平成２年には『青森県学校歯科医会だより』を発行して，歯科保健に関する Q&A 集等を掲載し以降継続して発行している。また平成４年度からは青森県むし歯予防推進指定校制度を設けて成果をあげている。同７年には『よくわかる学校歯科保健』を刊行。昭和32年からは，よい歯の児童・学校表彰事業を推進している。また，昭和52年からは，歯科保健図画・ポスター表彰を行っており，さらに，歯科保健啓発標語の表彰，健康歯肉大賞，歯列・咬合大賞等を設け学校歯科保健の啓発運動を展開している。県内の DMF 歯数３以下の学校68校の表彰を行っているが，平成13年からは DMF 歯数１及び２以下の学校を対象に表彰を行っている。

## ◆◆ 岩　手　県 ◆◆

昭和45年，岩手県歯科医師会として日本学校歯科医会に加盟している。学校歯科巡回はずっと続けられてきたが，昭和46年11月からは巡回指導自動車が県教育委員会に設備され，「へき地学校歯科巡回指導事業」が実現した。平成７年までの25年間にわたりへき地巡回車「けんこう号」は延べ2,815回，6,053校を巡回し，岩手県のう歯治療率を全国と同水準にまで引き上げることに貢献した。なお平成８年からはこれに続く事業として岩手県教育委員会の委託として地域ぐるみの学校歯科保健推進事業を行っている。これは，幼児・児童生徒の歯・口の健康つくりに不可欠な生活習慣を確立させるため，家庭や地域と学校が連携して実践活動並びに啓発活動を実践し，全県的に普及させて学校歯科保健活動の充実を図ることを目的としている。平成８・９年度には，岩手郡・宮古地区においてモデル校を１校選定し，また，平成10年度には岩手郡・宮古地区を除く12地区においてモデル校を選定し，３年間にわたり実践したものである。

昭和61年９月には岩手県民会館で，第50回全国学校歯科保健研究大会が開催された。「学校歯科保健の管理と指導の調和」をメインテーマに，50回記念式典も行われ，156名の学校歯科医が文部大臣表彰を受賞するという意義深い大会であった。

平成４年からは学校歯科医研修会を開始，学校歯科医の資質の向上に貢献している。その他に歯科保健図画・ポスターコンクールも実施しており，平成12年，13年度と続いて日本学校歯科医会主催の「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」で釜石市立唐丹小学校高橋末紗さん，衣川村立北股小学校菅原隼さんがそれぞれ最優秀賞を受賞している。また，岩手県よい歯の学校表彰も実施している。

岩手県歯の刊行物としては歯科外傷パンフレット，学校歯科保健のパネルの作成などを行っている。そして平成12年度から岩手医科大学，岩手県と協力して乳幼児，児童生徒，成人，高齢者の各世代を対象に歯科臨床検査を活用した口腔保健の支援を目的に，支援システムの構築事業を開始している。

## ◆◆ 秋　田　県 ◆◆

秋田県学校歯科医会は，昭和７年に設立され日本聯合学校歯科医会に加盟したと記録にある。平成５年度からは学校歯科に関しての専任の理事と学校歯科衛生委員会が学校歯科保健関係の諸事に対処している。秋田県からの委託事業として昭和47年から始まった歯科医療車を使用した「へき地歯科巡回事業」は，その目的を達したとして昭和60年に終了したが，多くの会員の歯科医の先生方の協力のもと児童生徒ばかりでなく歯科医療を受ける機会の少なかった県民の方々にも福音となった。

昭和16年６月14～16日秋田市，秋田市国民学校において学校歯科医令公布十周年記念と冠して第11回全国学校歯科医大会が開催され，主催団体として大会の運営に尽力した。590名が参加したと記録にある。昭和47年の第36回全国学校歯科医大会は，秋田県民会館で開催され秋田県歯も主催団体として大会の運営に貢献した。

秋田県むし歯予防図画・ポスターコンクールのほかに平成７年度からは，秋田県よい歯の学校表彰，隔年の開催の学校歯科保健研修セミナー，ライオン歯科衛生研究所の協力を得て学校巡回，これは学校歯科保健の指導的立場にある先生方を対象とした講演会も併せて実施している。また，地域住民の歯科保健に関する意識啓発のために「秋田県学校歯科保健研究大会」を平成８年より３年にわたって開催してきた。

なお，日学歯主催の図画・ポスターコンクールに小学校部門で平成12年度には井川町立井川小学校三浦雅孝さんが最優秀賞を受賞している。

『秋田県むし歯マップ』を作成しているが，これは各市町村毎の12歳児の平均 DMF 歯数のマップで，一目で他地域との比較，地域毎の傾向がわかるようになっている大変ユニークな資料である。

## ◆◆ 宮　城　県 ◆◆

宮城県の学校歯科医連合会は昭和31年７月に発足，昭和33年には宮城県学校歯科医会と宮城県学校歯科連合会を統合して，宮城県歯科医師会に学校衛生部を設置した。昭和42年からは「歯の衛生週間」行事として初めて仙台市立長町小学校・片平丁小学校の訪問指導を行い，その後仙台及び近郊の市町村の小学校を交互に訪問し，学校歯科保健の実践普及につとめた。昭和40年代児童生徒のむし歯の急増が社会問題化してきたのを受けて，宮城県衛生部歯科巡回診療車（しらはぎ号）で県

からの委託で県内各地の小学校等を訪問し，歯の治療を行い成果をあげた。

昭和48年，学校歯科保健活動の充実を図るため，県歯科医師会から分離独立し，宮城県学校歯科医会が230人の学校歯科医を会員として設立された。ただ，歯科医師会との緊密な連携を保つため，会長並びに学校歯科担当常務は歯科医師会の兼任とした。

昭和52年，宮城県う歯（むし歯）予防対策推進指定校制度を作り，平成４年までに24校の小学校の研究指定を行った。

平成５年からは「早期発見　早期治療の疾病治療促進からヘルスプロモーションへ」「幼ー小ー中　一貫教育」という観点から，「宮城県児童生徒歯・口の健康つくり推進指定校」・「歯と口腔の健康つくり推進地域事業」へと名称をかえ研究実践を発展させた。

文部省も昭和53年から同様の指定校制度を作り，これまで文部省指定は10校，平成13～14年度は丸森町立大内小学校が指定されている。昭和61年～平成９年のあいだに児童生徒等むし歯予防啓発推進事業で柴田町・大郷町，岩沼市が幼・小・中一貫の地域指定を受けている。また，現在政令市になった仙台市も昭和58年から現在まで，仙台歯科医師会学校歯科委員会の協力で「仙台市歯のモデル校」（３年間３校）を指定している。これまで受けた指定校数は幼・小・中学校全部で88校にのぼっている。

平成８年，生涯を通した一貫した地域歯科保健活動に取り組むため，宮城県学校歯科医会を再び宮城県歯科医師会の学校歯科委員会に統合した。

全国大会関係では，昭和27年の第16回全国学校歯科医大会（この大会で日本学校歯科医会設立への具体的な第一歩がふみ出されたといわれている），平成３年約2,000名の参加者のもと第55回全国学校歯科保健研究大会を開催，平成10年第43回全国学校歯科医協議会と３つの大会を行っている。

昭和58年第１回宮城県学校歯科保健研究大会を開催，県内各地の幼・小・中学校，学校歯科保健関係者が一堂に集まり，口腔の健康づくりの向上を目指し，表彰，講演会，分科会が行われた。現在はさらに学校歯科はもちろん，生涯を通した県民の口腔衛生思想の充実発展を図るため，「宮城県歯科保健大会」と名称をかえ，平成14年９月には第20回目をむかえている。また，よい歯の学校表彰は昭和37年ごろから現在に至るまで実施，図画・ポスターコンクール表彰も続いて実施している。特に平成６年に始まった「全国統一標語コンクール」では宮城県の小中学生の３作品（平成６年，８年，12年）が最優秀作品という快挙をなしとげている。さらに平成13年には日学歯の第40回全日本学校歯科保健優良校表彰で，仙台市立幸町小学校が文部科学大臣表彰を受けている。

## ◆◆ 山　形　県 ◆◆

山形県学校歯科医会は，昭和34年４月に県歯科医師会主導のもとに設立。日本学校歯科医会には昭和35年に加盟している。昭和36年５月に学校歯科委員会規程を制定し運営に当たったが，昭和42年10月には，公衆衛生委員会規程に一本化された。

昭和38年10月５～６日，第27回全国学校歯科医大会を山形県県民会館において山形県歯科医師会

が主催団体として開催し，特別講演，シンポジウムを行った。協議題は４題，教育視察は山形市立第八小学校で500名が視察したといわれる。この方式が以降の新しいパターンとなった。

昭和59年９月，山形県県民会館において第48回全国学校歯科保健研究大会を開催し，シンポジウム，式典，全体協議会，記念講演を行った。昭和62年より６月に「歯の衛生週間」を設け，さらに11月８日（いい歯の日）から一週間を「お口のさわやか週間」として，県民の歯に関する意識の向上と生涯自分の歯を保持することを目的とした運動を始め，効果を挙げている。

また，平成３，４，６年には３校が全日本よい歯の学校表彰で文部大臣表彰を受賞している。全日本学校歯科保健優良校表彰と名称の変更があった平成11年度にも酒田市立富士見小学校が最優秀賞（文部大臣賞）を受賞している。

平成３年度より隔年に学校歯科保健研修会を開催していたが，平成10年度からは毎年開催し，学校歯科医の執務内容の充実を図り，児童生徒のう歯予防対策を徹底するとともに，学校歯科保健の向上を図っている。

平成13年度には12歳児の DMF は，2.06本になった。

## ◆◆ 福　島　県 ◆◆

福島県学校歯科医会は，昭和５年２月に会員50名で発足した。事務所は県歯科医師会に置かれていたという記録がある。

福島県学校歯科医部会は，昭和50年３月に社団法人福島県歯科医師会学校歯科医部会規則を制定し，昭和50年４月１日から施行，これにより社団法人福島県歯科医師会の中に設けられた。同時(昭和50年４月１日）に社団法人日本学校歯科医会へ加盟した。

昭和63年度から平成４年度まで５年間，福島県の地域歯科医療確保対策事業（学校歯科巡回診療）として，福島県歯科医師会が受託し，県内の歯科医療に恵まれない地区の小・中学校の児童・生徒を対象に，歯科検診，予防措置，治療などを行った。

平成３年度学校歯科保健研究協議会及びむし歯予防推進指定校協議会を９月18日（水）・19日（木）・20日（金）の３日間にわたり開催した。

むし歯予防推進指定校協議会は９月18日（水）福島市立笹谷小学校において，「公開授業」，「実践報告・協議及び指導助言」が行われ，学校歯科保健研究協議会は９月19日（木）・20日（金）福島県文化センターにおいて，「講義」，「研究発表・協議」が活発に行われた。福島県岩瀬村立白方小学校も研究発表を行った。文部省，福島県教育委員会などが主体となり開催され，主催者の一員として積極的な支援活動を行った。

大会関係：平成９年10月16日（水）・17日（木）の両日にわたり，福島県文化センターを中心に第61回全国学校歯科保健研究大会が開催された。「公開授業」を福島市立福島第三小学校と福島市立北信中学校で実施し，地元からの「領域別研究協議会発表者」は，幼稚園・保育所部会を岩瀬村立白方幼稚園，小学校部会を福島市立福島第三小学校，中学校部会を福島市立北信中学校，高等学

校部会を福島県立若松商業高等学校が行い，地元歯科医師会として大会の企画，運営にあたり大会を成功させた。

福島県歯科医師会は，創立70周年の記念事業の一環として昭和60年11月に『福島県歯科医師会七十年史』を発行し，学校歯科保健についても多くの頁を割き記載した。

## ◆◆ 茨　城　県 ◆◆

昭和31年には，茨城県学校歯科医会として日本学校歯科医会に加盟したが，昭和46年には茨城県歯科医師会に包含されるようになった。

昭和50年代には茨城県下にもへき地，無歯科医地区があり，児童生徒のむし歯罹患率は全国平均を上回っていたため，これを憂慮して昭和55年６月より59年まで県内の無歯科医地区を歯科診療車によって巡回した。実績としては巡回学校数133校，受診児童生徒数10,307名となり，むし歯治療率は急速に上昇した。昭和60年度からは，県内の学校を訪問し歯科保健指導を行う目的で「学校歯科保健指導推進事業」を展開した。歯科衛生士がチームを組み，ブラッシング，おやつの取り方などの指導を行った。３年間で601校を巡回し96,504名の児童生徒を指導した。

茨城県学校歯科委員会では，茨城県よい歯の学校表彰，学校保健講習会，学校歯科保健ガイドの発行，支部学校歯科担当者の連絡会議の開催，視聴覚資料の整備を柱として活動を続けている。特に昭和59年には『学校歯科保健要覧』を編纂して県下小・中学校に配布した。平成７年度の学校保健法の改正に当たっては独自に講習会を開催するなど，常に学校保健現場における問題解決に鋭意取り組んでいる。因みによい歯の学校表彰関係で日本学校歯科医会主催の第39回全日本学校歯科保健優良校表彰で土浦市立下高津小学校が文部大臣賞を受賞，他にも２校が表彰されている。

## ◆◆ 栃　木　県 ◆◆

昭和32年から栃木県歯科医師会として日本学校歯科医会に加盟，学校歯科医会は学校歯科部会となった。なお，昭和46年度からは学校歯科委員会と名称変更し現在に至っている。昭和33年10月には第22回全国学校歯科医大会の開催にあたって日本学校歯科医会と共に主催団体として大会の運営に当たった。昭和51年10月には，第40回全国学校歯科保健大会を栃木県綜合文化会館において「保健指導と保健管理の調和」のメインテーマのもと開催，大変盛会であった。

県内で開催された主な大会，研修会，講習会等について：関東甲信越静学校保健大会を昭和58年，平成６年の２回にわたって宇都宮市文化会館において開催。昭和61年に第36回全国学校保健研究大会・同学校歯科医協議会を宇都宮市にて開催した。歯・口の健康推進事業については，平成４年より３年間にわたり日本学校保健会の委託事業として，児童生徒の効果的なむし歯予防のあり方を求めて地域ぐるみの歯科保健活動として取り組んできた。

学校及び地域歯科保健対策の一環として学校保健主事，養護教諭，保健婦，歯科衛生士を対象として「歯科保健指導者講習会」を昭和53年度より毎年実施している。

よい歯の学校表彰，図画・ポスターコンクール，作文・標語コンクールもそれぞれ昭和22年より実施してきている。栃木県歯は，栃木県との共催で栃木県歯科保健賞表彰を設定し，昭和53年度より毎年県内において歯科保健衛生の分野で優れた業績を挙げた団体または個人の表彰を行っている。また，平成９年度全日本よい歯の学校表彰で最優秀賞を佐野市立植野小学校が受賞。また，栃木県歯として児童・生徒のスポーツ外傷予防保護のためのカスタムメイドのマウスガード普及運動を展開している。

## ◆◆ 群　馬　県 ◆◆

昭和６年９月に群馬県学校歯科医会が設立され，翌年には日本聯合学校歯科医会に加盟，という記録がある。昭和43年には「へき地学校歯科診療」がスタート，無歯科医村への巡回歯科診療を行って実績を挙げた。昭和44年に第１回「県歯科衛生指導者講習会」を皮切りに毎年開催，平成３年には「群馬県歯科保健大会」と改名，歯科保健関係者が一堂に集い各現場での事例研究発表，前年功績のあった個人・団体の表彰事業，幅広い分野からの特別講演等を行って，大きな成果を挙げている。むし歯予防対策の一環として毎年県より補助を受け，県教育委員会の協力を得て昭和55年度より「学童の発達段階に応じた歯科疾患予防対策」と題した調査，研究を続けてきた。また昭和62年からは小・中学校の春の健康診断結果のデータを集計，分析を行っている。目的は西暦2000年に12歳児の DMFT を３以下にすることであったが，平成８年（1996年）にはクリアできた。

群馬県よい歯のコンクールも40年という歳月を経過したので，平成12年度より県教育委員会の補助事業として，第１回コンクール入賞者の追跡アンケート調査を行った。日本学校歯科医会主催の第39回全日本学校歯科保健優良校表彰では群馬県から３校が表彰されている。また，同じく日学歯主催の図画・ポスターコンクールでは平成11年度，13年度にそれぞれ最優秀賞受賞の実績がある。

本会が開催県となった各種大会・協議会：第36回関東甲信越静学校保健大会（昭和60年），むし歯予防推進指定校協議会・学校歯科保健研究協議会（平成７年），第47回関東甲信越静学校保健大会（平成８年）にそれぞれ県歯として大会の開催を支援した。

## ◆◆ 千　葉　県 ◆◆

千葉県歯科医師会学校歯科衛生部は，昭和８年４月に設立された。昭和39年からは千葉県歯科医師会として日本学校歯科医会に加盟している。

大会関係：昭和46年11月千葉県文化会館において，第35回全国学校歯科医大会が開催された。約1,300名が参加したが，千葉県歯科医師会が主催団体に入って大会運営に参画し大会の成功に貢献

した。この大会で初めてメインテーマ「保健管理と指導の調和」が採り上げられ，以降大会に定着した。昭和56年９月には第１回の千葉県学校歯科保健大会が開かれ継続開催されている。

大会，研修会，講習会：「千葉県学校保健講習会」は，昭和49年より千葉県教育委員会と共催で毎年９月前後に開催し，学校歯科保健に関する講演を主体に学校歯科医，養護教諭を対象にしている。「オーラルケアフェスタ（千葉県歯科保健大会）」は，千葉県との共催で歯科保健関係で功労のあった個人，団体に対して県知事表彰も含めた表彰も行っている。平成元年に始まった「千葉県学校健康教育大会」は，講演会などの他に，よい歯の学校表彰と学校歯科医を対象とした学校健康教育功労賞の授与等を行っている。「千葉県むし歯予防推進指定校実践研究事業」は，昭和53年に始まり指定校に対して学校，家庭，地域が一体となって事業を推進し素晴らしい成果を挙げている。

キャンペーン・コンクール：衛生週間キャンペーン，この期間に歯の衛生に関する知識の普及徹底を図っており，健歯児童生徒の審査並びに表彰，そして各郡市歯科医師会より推薦の小学校６年生，中学３年生を審査し表彰を行っている。また，歯科衛生図画・ポスターの審査，表彰，各郡市歯科医師会より推薦の作品を審査して入賞者を表彰している。よい歯の学校審査，この審査会は歯・口の健康つくり運動達成のために厳正な審査を経た学校に限られ，優秀校は日本学校歯科医会に推薦，全日本学校歯科保健優良校最優秀校，特別賞受賞校に選ばれた実績を持っている。

## ◆◆ 埼　玉　県 ◆◆

埼玉県における学校歯科保健の母体は極めて古く，大正11年に埼玉県歯科医師会は，県当局に対して学校歯科医設置の要請を行ったといわれる。したがって学校歯科医会の設立も早く昭和２年９月には埼玉県学校歯科医会が誕生している。

昭和30年に始まった第１次むし歯半減運動と殆ど時期を同じくして「埼玉県よい歯のコンクール」がスタート，「よい歯の学校，よい歯の学級，よい歯の子」をスローガンに展開，この種の事業の模範となった。

昭和42年には従来の埼玉県学校歯科医会が発展的に解消して，新たに埼玉県歯科医師会学校歯科部として発足した。その間，昭和37年にはむし歯処置率全国第一位の成績を収めた。翌年昭和38年には，学校歯科活動に多大の成果を挙げたとして，第５回奥村賞を受賞している。引き続いて昭和50年埼玉県で開催された第25回全国学校保健研究大会において文部大臣団体賞を受賞した。

「よい歯のコンクール」：審査方法も処置率の向上とともに順次改められ審査基準に DMF 歯数を採用，より充実した学校歯科保健状況調査票を作成した。このように長年にわたり県内の全児童生徒の歯・口の実態を把握できる「よい歯のコンクール」は全国でも例をみない。平成８年には健康指向の時代に対応してよい歯のコンクールの名称を埼玉県学校歯科保健優良校コンクールに変更。現在は埼玉県学校歯科保健コンクールと称している。平成２年には第41回関東甲信越静学校保健大会職域部会を開催。平成５年12月には「学校歯科保健の包括化」を主題として第57回全国学校歯科保健研究大会を開催，主催団体として大会の企画・運営に協力して大会を成功させた。

主な年間事業としては，埼玉県学校歯科保健コンクールの実施並びに表彰，埼玉県学校歯科保健研究大会の開催，歯科保健図画・ポスターコンクールの実施，学校歯科保健指導者研修会の開催などがある。

## ◆◆ 東　京　都 ◆◆

大正10年東京，本郷区で学校関係の歯科校医委嘱を受けている人たちが集まって，本郷区学校歯科医会を設立したのが，学校歯科医会の始祖である。東京市学校歯科医会は，昭和２年６月成立総会を開催している。そして日本聯合学校歯科医会設立には東京市学校歯科医会が主導的な役割を果たした。

戦後，国の行った学校歯科巡回に対して昭和13年に歯科診療セットを搭載した巡回車をつくり巡回指導を行った。この種のものとしては全国でも初めての企画であった。

昭和23年には，事実上東京都学校歯科医会という形になった。そして昭和42年に第１回東京都学校歯科医大会を開催，以来毎年大会が行われている。戦後に東京都で開催された全国学校歯科医大会は，昭和30年に第19回大会を開催，それ以降，昭和40年に第29回，昭和48年に第37回，昭和56年には全国学校歯科保健研究大会と名称を変えて第45回を開催，平成８年には秋篠宮同妃殿下にご臨席賜り第60回大会を開催した。

昭和54年４月に社団法人として認可され，平成元年２月には東京都学校歯科医会創立40周年・法人化10周年記念式典を挙行，また，平成12年には創立50周年・法人化20周年記念式典を挙行して記念号を発刊した。

都学歯大会・研修会等：東京都学校歯科保健研究大会，学校歯科保健（学校歯科医）研修会，ブロック別学校歯科医研修会，また東京都立高等学校歯科保健研修会を開催（平成９年まで）。保健思想の普及向上のための事業としては東京都学校歯科保健優良校表彰，歯に関する作文表彰，会誌・広報の発行，シリーズとしてのパネルの作成，配布等を行っている。

調査研究事業としては：平成２年から７年まで歯周保健研究指定校２校を２年ごとに委嘱，G，GO 等についての研究を行ってきた。また，平成７年からはノンカリエス児童対象の「歯・口の健康アンケート調査」を実施，解析を行っている。平成10年１月には「学校歯科医手帳」を作成して全会員に配付。

平成13年には『よい生活習慣が健康な歯や口をつくるよ!!』を東京都歯科医師会と共同製作し，都内小学校４年生全員に配付した。

## ◆◆ 神 奈 川 県 ◆◆

昭和７年11月に神奈川県学校歯科医会が設立され，同時に日本聯合学校歯科医会に加盟した。昭

和24年４月に第３回全国学校衛生大会が横浜で開催された際，テーブルクリニック等の企画を盛り込んだ歯科分科会を行った。この大会を契機として学校巡回歯科診療車をつくることになり，昭和25年５月から巡回歯科診療が始まった。

昭和24年から県との共催による「口腔衛生優良学校表彰」の行事が行われ，その翌年から「神奈川県よい歯の児童・生徒コンクール」を開催した。昭和35年からは「歯の衛生に関する図画・ポスターコンクール」，平成８年度からは「歯科保健啓発標語コンクール」を開催している。

因みに平成13年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールで南毛利中学校国分温子さんの作品が最優秀賞に選ばれている。

全国大会関係では，昭和36年には第25回全国学校歯科医大会，昭和52年には第41回全国学校歯科保健大会を横浜市で開催している。昭和48年には神奈川県歯科医師会は永年の保健活動の実績を評価されて第25回保健文化賞を受賞している。昭和39年に専門部会として学校歯科部会を設置，平成13年度からは学校歯科保健委員会となり，神奈川県歯科医師会常置委員会の中の一つとして活動している。

主な活動内容：平成７年に改正された学校健康診断に対応して県の委託事業として『学校歯科医のためのハンドブック～学校健康診断の改正を踏まえて』を作成し，県下の学校歯科医に配布した。学校歯科部会では神奈川県教育委員会との共催で「養護教諭学校保健研修会」（平成４年度～平成12年度），「学校給食関係者との研修協議会」（平成７年～平成13年度）をそれぞれ始めた。前者は養護教諭を対象とし，学校における歯科保健活動が効果的に行われるための研修会，後者は児童生徒の咀嚼，咬合について学校給食の立場から考えていこうとする研修会である。

平成14年度からは上記の養護教諭，学校栄養士等との研修会と，以前から行われていた学校歯科医の研修会とを整理統合し，「神奈川県学校歯科保健研修会」として実施している。

更に，県学校保健連合会主催の「神奈川県学校保健学会」，県教育委員会主催の「神奈川県学校健康教育研究大会」へ参加協力している。

## ◆◆ 横　浜　市 ◆◆

横浜市学校歯科医会は昭和９年７月に設立され，昭和33年横浜市学校保健会ができてからは学校歯科医部会として活動してきた。

平成11年４月横浜市歯科医師会と学校歯科医会が合同し，歯科医師会の学校歯科委員会となり，さらに平成13年４月歯科医師会の機構改革により公衆衛生委員会に統合された。

学校歯科医会から新規学校歯科医研修会，地区担当者との協議会，歯科保健事業（歯科衛生士による学校巡回）等の事業を引き継ぐとともに学校歯科医執務要綱の改訂，巡回歯科衛生士の指導内容の見直し，学校歯科医の推薦等に関する事務取扱要領の作成など行っている。

## ◆◆ 川　崎　市 ◆◆

昭和６年に勅令144号で学校歯科医及び幼稚園歯科医令が公布されたのをうけて，川崎市における学校歯科保健活動の展開は，川崎市学校歯科医会が発足した昭和９年からということになる。具体的な執務細則について制定されたのは昭和10年で初代会長としては清水喜三郎氏が就任されている。昭和９年には全市の小学校に学校歯科医が配置されるようになった。

戦後の混乱期を経て，昭和25年に川崎市歯科医師会から完全に独立した学校歯科医会となり神野長太郎氏が会長に就任，この年川崎市学校歯科保健協議会が開催され，以後今日まで毎年開催されている（平成14年は第53回）。また新入生・６年生よい歯のコンクールおよびよい歯の学校表彰が実施されている。

昭和57年，川崎市学校歯科医会は川崎市歯科医師会と併合し学校歯科部会（専門部会）となり今日に至っている。

昭和60年より川崎市学校歯科保健研修会を開催し以後毎年開催している。また平成９年より，学校歯科医の２年毎の更新制および75歳勇退制を実施している。

## ◆◆ 山　梨　県 ◆◆

山梨県学校歯科医会設立は，昭和４年２月，会員は50名であった。昭和32年には学校歯科医会は，山梨県歯科医師会の組織に吸収されている。

県歯の活動の内容について：昭和35年より図画・ポスター，作文，標語コンクールを実施，平成８年度からは PR のためにカラー化して受賞作品を山梨歯報等に掲載するようにした。そして，平成12年度の日学歯主催歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールでは，甲府市立富士川小学校浅川奈美さんが最優秀賞受賞の実績をもっている。昭和59年より山梨県と県歯の共催で行われている「山梨県民歯科保健の集い」では前年度の山梨県口腔衛生優良校による事例発表，実践報告が行われている。山梨県歯科医師会学校歯科部では昭和32年に設立されて以来，学校歯科医研修会を開催してきており，「う歯と歯周疾患の検出，CO，GO について」，「スポーツマウスガードについて」等がテーマとなっている。平成７年には学校歯科医としての必要な知識と関連した資料を網羅した新学校歯科医手帳も刊行された。県歯主催の大会としては，昭和11年５月に甲府市で３日間にわたって開催された第６回全国学校歯科医大会があり，アメリカから講師を招聘して特別講演を行っている。600余名が参加して盛会であったと記録されている。昭和59年８月の第35回関東甲信越静学校保健大会，平成４年11月第42回全国学校保健研究大会・学校歯科医協議会，平成７年の第46回関東甲信越静学校保健大会等が県下で開催されて運営に協力している。

## ◆◆ 長　野　県 ◆◆

昭和12年４月松本市において長野県学校歯科医会が設立されたが，昭和42年度からは長野県歯科医師会として加盟するようになった。

長野県歯の活動内容：昭和47年度からは「むし歯予防よい歯の実践指定校制度」を設けて実践している。また昭和62年度の第20回長野県学校歯科大会より今までの研究協議等に加えて研究授業が取り入れられ一層幅広い大会になった。平成８年度からは大会の名称が「長野県学校歯科保健大会」と改称されている。

長野県歯が主催・後援・協力した大会としては，昭和63年11月に開催された第38回全国学校保健研究大会・学校歯科医協議会，平成４年10月長野市で開催された全国学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会がある。

県歯学校歯科保健活動としては，長野県学校歯科医研修会の開催。例年小学生，中学生を対象とした歯の衛生週間図画・ポスターの募集を行い，表彰している。因みに，日学歯主催平成９年度歯科保健に関する図画・ポスターコンクールにおいて駒ヶ根市立東中学校熊谷さゆりさんが最優秀賞を受賞している。また，永年学校歯科医を務めた功労者には，長野県学校歯科保健大会席上で表彰が行われている。刊行物として平成８年には新学校歯科医必携を発行，学校保健法施行細則の一部変更に対応した。

## ◆◆ 新　潟　県 ◆◆

新潟県での口腔衛生普及活動は，早い時期からみられ大正14年２月には新潟市歯科医師会で初めて市内全小学校児童の口腔診査を実施，戦後になって小学校を対象に歯科巡回を行った記録がある。日本学校歯科医会には昭和37年，新潟県歯科医師会として加盟している。

昭和39年には奥村賞を新潟市礎小学校が受賞している。またフッ素洗口を中心とする「子どもの歯を守る会」の運動はこの時期大変にユニークな活動として注目を集めていた。保健活動の積年の努力が評価されて昭和56年新潟県歯科医師会は保健文化賞を受賞した。

県歯学校歯科保健活動の内容：「新潟県よい歯の学校（園）運動」は昭和34年を第１回として，新潟県学校保健会，同歯科医師会と新潟日報の主催，行政の後援を得て毎年実施してきた。平成13年度では第43回を数える運動になり，県内の小・中・高校，特殊学校，幼稚園，保育園など1,418校（園）が参加，厳正な審査の結果271校（園）が表彰を受けた。特徴としてはう歯罹患状況だけでなく，学校における歯科保健活動（歯科保健教育，管理）についても配点表で評価しており，また努力賞として処置歯率も評価の対象にしていることである。子どもの歯を守る会が中心となって取り組んでいるフッ素洗口の効果がこの“よい歯の学校（園）運動”に具体的に現れている。また，学校歯科保健図画・ポスターコンクールにおいても実績をもち，平成13年度歯・口に関する図

画・ポスターコンクール小学校の部で新井小学校外山夏央さんが最優秀賞を受けている。

他に，新潟県学校（園）歯科研究協議会（新潟県歯科保健大会に組み込まれている），新潟県学校保健学会への協力で，昭和47年に第１回を開催，学校からの歯科保健に関する実践報告があって，学校歯科医としての適切な指導助言を行っている。発刊物は，学校歯科ハンドブック（平成11年），学校歯科健診パネルの作成配付を行っている。

また平成13年度には，関係機関や学術部と連携し，マウスガードの PR パンフレットを作成して学校内において，児童が歯を失うことのないようマウスガードの普及啓発活動を行っている。

## ◆◆ 静　岡　県 ◆◆

学校歯科医に関する県令は，比較的早く昭和２年に出された。昭和３年に静岡市全市，同７年に浜松市全市，小笠・周知・磐田の各郡に学校歯科医が置かれた。昭和７年の日本聯合学校歯科医会の成立と同時に，静岡市学校歯科医会（昭和３年設立）及び小笠・周知・磐田郡学校歯科医会（昭和７年設立）が加盟。これらは，その後，昭和11年に設立された静岡県学校歯科医会に引き継がれた。戦後は，昭和35年に日本学校歯科医会に加盟した。静岡県学校歯科医会は平成９年に発展的解散，現在は，静岡県歯科医師会公衆衛生部母子・学校歯科専門部会が，学校歯科を担当している。

大会関係では，昭和13年５月に静岡市で第８回全国学校歯科医大会が３日間にわたって開催され，約700名が参加。昭和45年10月には熱海市で第34回の全国学校歯科医大会が開催され，それぞれ主催団体として大会の運営に貢献した。第34回大会では1,000余名が参加したと言われる。関東甲信越静学校保健大会は，昭和32年，44年，55年，平成５年に開催され，平成16年には第55回同大会・歯科職域部会を開催の予定である。また，昭和61年には，静岡県歯科医師会・静岡県学校歯科医会後援で，日本むし歯予防フッ素推進会議の第10回むし歯予防全国大会が開催された。

昭和59年より，静岡県独自の学校健診の調査票を作成し，毎年全県下の小・中・高校（約1,000校）の健診結果をコンピューター処理し，調査校全校と県下の市町村教育委員会や，地区学校保健会等の関係機関に報告している。59年には，県内の DMFT 指数マップを発表し，指数の高い地域でのフッ化物洗口実施を促進するきっかけとなった。また，齲蝕多発児について各最高学年の齲蝕の本数別の人数分布の統計処理も行っている。平成14年からは，全健診項目と歯科保健活動の実施状況についても，統計処理が行われている。

平成２年に『学校歯科医のためのマニュアル』，平成９年に『学校歯科医のためのマニュアル－改訂版－』，平成12年に新健診基準に対応した『学校歯科健診マニュアル』を発刊。また，健診基準の統一のために，キャリブレーション用の CD 付きスライド（54枚）を作成し，県下の郡市歯科医師会に配布。学校歯科医の研修に活用されている。平成14年には，歯科講話用スライドを作成，『集団を対象としたフッ化物洗口法マニュアル』『養護教諭対象の学校歯科マニュアル』を発刊している。

## ◆◆ 愛　知　県 ◆◆

昭和７年２月には愛知県学校歯科医会の創立総会が開かれている。昭和63年度に愛知県歯科医師会に学校歯科部が設置されてからは，互いに連携を図りながら活動を続けたが，愛知県学校歯科医会は，平成10年３月31日をもって解散した。その事業は愛知県歯科医師会の学校歯科部に引き継がれている。大会関係では平成７年10月，第59回全国学校歯科保健研究大会が名古屋国際会議場で開催された。「学校歯科保健の包括化」が主題。領域別研究協議会では，「特殊教育における歯科保健活動を通じて」をテーマに特別セッションが設けられた。

県歯の活動として，昭和55年度から，愛知県教育委員会の委託事業として「学校歯科保健巡回相談事業」が県下公立小・中学校を対象に開始された。平成元年度からは，特殊教育諸学校への巡回も始めたが，平成12年度で行政からの委託は中止され，平成13年度からは県歯単独の事業として，対象を特殊教育諸学校に限定して行っている。

事業の縮小を余儀なくされた「学校歯科巡回相談事業」に代わり「養護教諭実務研修」を開始した。これは，児童・生徒を対象に行っていた「学校歯科巡回相談事業」とは異なり，より学校現場に密着した歯科保健活動を実施し，総合的な学習の時間での歯・口の健康つくりに役立ててもらうための現場教育で，講演会型ではなく，児童・生徒向けの授業内容を実際に受講してもらう形式で行っている。

## ◆◆ 名 古 屋 市 ◆◆

昭和７年９月名古屋市学校歯科医会が設立された（会員数119名）。全国大会関係では昭和９年５月に名古屋市公会堂において第４回全国学校歯科医大会が行われ愛知県と名古屋市の学校歯科医会が主催団体に加わっていた。昭和25年10月には第14回全国学校歯科医大会が名古屋市商工会議所で開催，昭和42年11月には名古屋市文化講堂で第31回全国学校歯科医大会が行われた。主催，後援に名古屋市学校歯科医会と愛知県歯科医師会が入り大会運営に貢献した。大会ではワークショップ形式が初めて試みられて注目された。

平成元年には第40回十一大都市学校保健協議会・前日歯科保健協議会が開催された。平成４年名古屋市学校歯科医会創立60周年記念式典（６月25日）が行われた。

事業内容としては：昭和28年を第１回として毎年６月に「歯を守るよい子の会」を開催，市内小学校の児童代表と保護者を招待して，歯科衛生優良校の表彰と歯磨き訓練大会を行っている。名古屋市の歯科特別検診事業として，昭和63年度から行政からの委託事業で行ってきたが，主に歯周疾患を中心に歯肉炎の検出と事後措置について仕分けと評価についての検討を行い，以降毎年「名古屋市歯科特別検診報告書」を作成し発行している。

平成５年には特別検診事業『歯肉に強くなるマニュアル』，平成７年には同じく特別検診事業の

ビデオ「歯肉があぶない，君の歯肉は健康かい」を作成，配布。昭和44年より養護教諭の実務雑誌として『学校歯科実務セミナー要領』を発行，現在では各学校毎のう歯統計等も資料として掲載している。平成６年からはう歯対策として WHO の12歳児の DMF３の目標に合わせて，「123運動」を活動テーマに事業として推進し，平成14年度からは「121運動」として実施している。

## ◆◆ 岐　阜　県 ◆◆

岐阜県学校歯科医会は昭和８年３月，会員52名で発足した。昭和54年，岐阜県学校歯科医会は，岐阜県歯科医師会に統合し岐阜県歯科医師会学校歯科部会となり，平成３年機構改革によって岐阜県歯科医師会学校歯科委員会の名称になった。また，平成12年からは岐阜県歯科医師会口腔保健事業部母子・学校口腔保健委員会となって現在に至っている。

全国大会関係では，昭和32年７月，第21回全国学校歯科医大会を岐阜市市民センターで開催，主催団体として大会の企画・運営に参画した。約500名が参加した。第21回大会の前日には，文部省主催の学校歯科講習会が開かれた。また，昭和62年10月，「学校歯科保健の包括化」をメインテーマに第51回全国学校歯科保健研究大会が開かれ，平成11年11月には第49回全国学校保健研究大会・第49回全国学校歯科医協議会を岐阜市で開催している。

岐阜県歯の事業内容：昭和31年10月，第１回岐阜県学校歯科医大会を開催，名称を岐阜県学校歯科保健研究大会と変更して毎年開催してきている。昭和36年から小学生を対象に歯科保健図画・ポスターコンクールを実施，現在に至っている。歯の優良校表彰，優良生徒表彰を岐阜県学歯の主催により昭和34年からスタート，昭和62年以降は学校表彰のみとなった。因みに，岐阜県下の小学校が全日本学校歯科保健優良校表彰で平成７年度より毎年のように最優秀賞，特別賞を受賞してきている。平成元年より学校歯科保健推進校の指定を行い，研究に対する助成は２年間とした（継続中)。岐阜県学校歯科保健研究大会の席上で研究発表を行う。

毎年，学校歯科医及び養護教諭を対象とした講演会，実践発表会を行い，勉強会として活用している。

## ◆◆ 三　重　県 ◆◆

明治24年６月，記録上日本で初めての学童口腔検査が直邨善五郎により津市養正高等小学校をはじめ県下４つの小学校で実施された。これは，歯科保健の黎明期にあっては特筆すべき活動であった。その後，明治31年，32年にわたって小学校および女学校で検診，講演が行われている。

三重県の学校歯科医会は，昭和６年４月に創立され，会員数は104名であった。日本聯合学校歯科医会には創立の翌年から加盟している。その後，三重県学校歯科医会の事業は三重県歯科医師会が継承するところとなり，昭和53年には三重県歯科医師会として加盟している。

三重県では公衆歯科保健活動が活発で，昭和55年には三重県歯科医師会として保健文化賞を受賞している。昭和46年からは巡回自動車「やまびこ号」が作られ，無歯科医地区の巡回歯科保健指導を行っていた。

また，三重県では「三重県学校歯科医大会」を昭和27年９月より県内各市持ち回りで開催して現在に至っている。

## ◆◆ 石　川　県 ◆◆

ドイツの中央児童歯科診療所をモデルとして，大正15年９月金沢市では，金沢市小学校歯科診療所設置規定によって「金沢市小学校歯科診療所」の設置を決めて市内味噌蔵町小学校内に歯科診療所を設け，ここで市内の各小学校からの児童の歯科治療を行うことを始めた。これ以後始まる学校内での歯科診療の始祖で，大変進んだ事業であった。

石川県の事業内容：戦後になって学校歯科保健指導巡回が行われた。県歯学術部が主催する歯学研修セミナー，学校保健部として北陸三県学校保健研究協議会の開催，発刊物では幼稚園・学校歯科医の活動指針を発行。また「石川県学校保健研究大会」を毎年８月に各市町村で持ち回りで開催，「ヘルスプロモーションと学校保健」，「心の健康とは」，「人間としてより良く生きるために」等の特別講演も行われている。

## ◆◆ 福　井　県 ◆◆

福井県で特筆すべきことは，昭和37年４月から敦賀市教育委員会に歯科衛生士が採用され，市内の小・中学校の歯科保健指導巡回を行ったことである。主として歯口清掃指導，フッ化物塗布，歯石除去などで積極的な活動は昭和43年まで続いた。

昭和62年９月福井県歯科医師会において，福井県学校歯科医会設立のための発起人会発会式が行われ，次いで昭和63年５月に福井県学校歯科医会設立総会を開催した。

福井県学校歯科医会の主な事業：むし歯予防推進指定校研修会の後援（平成２年６月）。第16回学校歯科保健研修会（平成６年７月，北陸ブロック）の主管。第13回全日本よい歯の学校表彰　福井市立東郷小学校文部大臣賞受賞。第33回全日本よい歯の学校表彰　福井市立南養護学校文部大臣賞受賞。昭和32年，第１回県歯の少年少女代表コンテストが県学校保健会を中心に県歯科医師会の後援を受けて実施された。そして昭和63年以降は福井県学校歯科医会が共催となる。

また，日学歯主催の平成11年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールでは敦賀市立栗野中学校上田那緒美さんが最優秀賞を受賞している。

## ◆◆ 富　山　県 ◆◆

昭和７年に歯科医の有志によって富山県学校衛生会歯科部会を結成したが，戦争のため一時中断，戦後再興の機運が盛り上がり，昭和28年，会則を制定して日本学校歯科医会に加盟した。

全国大会関係では，昭和39年９月，第28回全国学校歯科医大会が富山県民会館で開催，富山県歯，県学歯ともに共催団体に加わって大会の成功に貢献した。約1,200名が参加している。平成６年９月に第58回全国学校歯科保健研究大会も同じ会場で開かれている。メインテーマは「学校歯科保健の包括化」であった。

県学歯の活動内容：戦後県学校教育課の要請により，昭和33年より，学校歯科医のいない学校40数校を対象に無歯科医村診療を再開し，名称を「へき地巡回診療」として昭和43年まで続けられた。

よい歯の学校運動の推進について：昭和33年むし歯半減運動に呼応して，第１回「富山県よい歯の学校運動」をスタート，平成６年度には「富山県歯の健康プラン」に基づいてフッ素洗口の普及に努め，平成８年度には福野小学校が「よい歯の学校文部大臣賞」を受賞した。また，平成12年，13年には全日本学校歯科保健優良校表彰において表彰された実績がある。昭和33年から県下の小学校（現在小・中学校）を対象に「歯のみがき方講習会」を実施している。平成13年で44回目になる。歯科衛生士の指導によるもので，指導終了後には保護者向けの講話もある。

むし歯の予防対策事業：会報『健歯のひろば』の発行，「歯と口の健康づくり実践報告」「CO，GO の学校での取り組み」などの記事が掲載されている。歯・口に関する図画・ポスターコンクールの入選作品は県民会館内に展示し PR をしている。日学歯主催平成12年度図画・ポスターコンクールで福光中部小学校堀正和さんが最優秀賞受賞。毎年会員，歯科衛生士，小・中．高校の保健主事・養護教諭を対象に「学校歯科保健特別研修会」を開催し，「食べ物と歯の健康」，「学校歯科保健指導の実際」等がテーマとしてとりあげられている。

毎年，長年にわたる学校歯科保健功労者には，感謝状の贈呈を行う。

平成14年７月より，近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会にも加盟し研修している。

## ◆◆ 滋　賀　県 ◆◆

戦後になって，昭和26年７月に滋賀県学校歯科医会が設立された。昭和31年10月に大津市で第６回全国学校衛生大会が開かれたときには，大会運営を支援した。

昭和53年３月，滋賀県学校歯科医会は解散し，滋賀県歯科医師会に吸収合併され滋賀県歯科医師会学校歯科部会が新設され現在に至っている。

全国大会関係：昭和44年９月に第33回全国学校歯科医大会が滋賀会館において「学校歯科衛生の向上のために」を主題として開かれ，この大会から大会で使う鐘を「学校歯科の鐘」と命名した。

1,100名が参加したといわれる。

県歯の活動内容：学校歯科医研修会，昭和57年度に第１回研修会を開催，「学校歯科医の活動の課題について」をテーマとして講演が行われた。平成13年度で18回を数える。後刻この研修会内容が報告書の形で会員に配布されるようになった。学校歯科保健優良校表彰事業として，昭和44年より県からの委託事業として行われている。因みに第40回全日本学校歯科保健優良校表彰では，特別賞を受賞している。平成10年度から開始した事業「学校歯科保健ワークショップ」は，子どもたちが歯と口に興味を持ち楽しく遊びながら知識と技術を身につける目的で，また，歯科医師，歯科衛生士，養護教諭は指導のための媒体の作成，ストーリーの組み立てのテクニックを学ぶためのワークショップである。

滋賀県三師会学校保健担当者協議会の設置：昭和58年に第１回の協議会を持ち，以降持ち回りで現在まで継続開催している。学校三師会は共通の課題も多く，純粋に学校保健担当者が話し合う場が欲しいという考えから歯科医師会側から申し入れ実現したもの。また，滋賀県歯科保健将来構想が検討されており，西暦2010年を目標に作業が進み，滋賀県生涯歯科保健推進協議会の答申が出されている。

なお，滋賀県歯の刊行物として平成14年３月には『学校歯科健康診断マニュアル』を発行している。

## ◆◆ 和 歌 山 県 ◆◆

和歌山県学校歯科医会は，昭和５年５月に設立されており会員数は50名であったと記録にある。昭和７年に日本聯合学校歯科医会が設立のときから加盟していた。

全国大会関係では，昭和35年９月25～26日和歌山市市民会館において第24回全国学校歯科医大会が開催され，和歌山県学校歯科医会は主催団体として大会運営に貢献した。むし歯半減運動が中心に据えられていた。1,300名が参加して盛会であった。平成元年10月27～28日にわたって和歌山市市民会館で第53回全国学校歯科保健研究大会が開催された。「学校歯科保健の包括化」がメインテーマで2,000名以上が参加している。

和歌山県学校歯科医会としての事業内容：昭和41年４月から歯科医療のための巡回自動車が配置され，へき地，無歯科医地域の巡回を行った。昭和39年を第１回として「学校歯科医大会」を開催，第11回からは「学校歯科保健研究大会」と改称して，学校における保健担当教職員も参加対象者に加えた。これは行政，地域社会及び学校の連携を基に保健教育・指導，保健管理，組織活動の積極的な推進を図り児童生徒の歯科保健の向上を目指して毎年行われているもの。大会席上全日本よい歯の学校表彰受賞校，学校保健担当優秀職員，図画・ポスターコンクール入選者表彰等も行っている。県歯科医師会，県教育委員会の共催事業：特に図画・ポスターコンクールでは日本学校歯科医会主催の歯・口の健康に関する図画・ポスター最優秀賞を田辺市立高雄中学校岩本史帆さんなど７回獲得している。

## ◆◆ 奈　良　県 ◆◆

奈良県学校歯科医会は，昭和４年４月に設立され，３年後には日本聯合学校歯科医会に加盟していたが昭和42年３月には奈良県歯科医師会学校歯科部と組織変更になった。

全国大会関係では，昭和60年10月25～26日，奈良市文化会館において，奈良県歯科医師会等が主催団体として第49回全国学校歯科保健研究大会を開催，当番県として会員一丸となって取り組み，2,026名の参加者を得て大変盛会であった。大会の主題は「学校歯科保健の管理と指導の調和」であった。

県歯の活動内容：学校歯科保健の向上を図るため，学校歯科活動の講演会を中心とした「奈良県歯科保健大会」を昭和56年から実施，当日は功績のあった学校歯科医の顕彰も行った。第２回目からは，図画・ポスターコンクール入選者，母と子のよい歯のコンクール入賞者も表彰されている。因みに平成11年度の日学歯の図画・ポスターコンクールにおいて山添村立春日小学校若山絢子さんの作品が最優秀賞を受賞している。また，厚生省，日本歯科医師会，奈良県歯科医師会共催の「第９回全国歯科保健大会」は昭和63年10月に奈良県文化会館で開催，全国より3,000名以上の参加者があり盛会裡に閉幕することができた。

## ◆◆ 京　都　府 ◆◆

昭和５年４月丹後学校歯科医会が設立されたのを機に，翌年には京都市学校歯科医会（市学歯，会長は京都市長），京都府学校歯科医会（府学歯）が設立され，その後も各地で学校歯科医会が設立される。日本聯合学校歯科医会には京都市・丹後・丹波５郡・山城の４団体が加盟した。その後様々な変遷があり，昭和56年４月市学歯は府学歯に統合され，平成３年４月京都府学校歯科医会は京都府歯科医師会に統合された。

全国大会関係では，第９回全国学校歯科医大会が昭和14年５月13～15日府立第一中学校において開催され，主催団体として活躍した。「体位向上，健康報国」というスローガンのもとで，約800名が参加して盛会であった。また一般向けの講演会も実施された。第26回全国学校歯科医大会として昭和37年11月23～24日，京都市の京都会館で開催。この大会がいわゆる特別委員会「予防処置委員会」発足のきっかけとなった。第38回全国学校歯科保健大会が昭和49年10月12～13日京都市の京都会館で開催された（この年度から大会名を改称した）。３回にわたって全国大会の主催団体として大会運営に参画，功績を挙げた。

京都府歯の活動内容：昭和34年からいわゆる京都方式のへき地学校歯科う歯巡回診療をスタートさせた。昭和52年から京都方式の歯磨き指導（ローリング法）を導入し，さらに平成４年から新京都方式の歯磨き指導（スクラッビング法）に改定し，児童生徒の口腔衛生の啓発と向上に努めている。このような功績により昭和37年，昭和45年に奥村賞推薦賞，昭和45年に京都新聞社長賞，昭和

51年に奥村賞を受賞している。一方，学校歯科医の資質の向上を図るために，学校での教育講話スライド，矯正パネル・小冊子，フッ化物洗口の小冊子，健診マニュアル等の作成を続けている。

## ◆◆ 大　阪　府 ◆◆

組織の変遷：大正11年北区に府歯科医師会とライオン歯磨が児童歯科診療所を開設している。昭和５年第８回日本医学会総会が本府で開かれた折，学校歯科医令の促進と学校歯科医全国組織結成の合意が行われた。昭和11年堺市学校歯科医会結成。昭和12年大阪府中等学校歯科医会編成。昭和22年大阪府学校衛生振興会結成。昭和32年府立高校歯科医会（府教委直轄の組織），昭和41年大阪府公立学校歯科医会が設立された。

日学歯には大阪府公立学校歯科医会・㈳堺市学校歯科医会・府立高校歯科医会が各々加盟していたが，昭和61年６月31日に私立学校歯科医会が合同し大阪府学校歯科医会を設立（約1,200名）し単独加盟した。第65回全国学校歯科保健研究大会（大阪）に呼応して進めてきた社団化が平成13年３月29日に認可（約1,610名）された。「歯科医師が理事の半数を越えない」厳しい制約がある。外から観て最も難解な「大阪府学校歯科連合会」は対外的な事業を円滑に進めるため㈳大阪府歯科医師会・㈳大阪府学校歯科医会・㈳大阪市学校歯科医会の三者で組織されたものである。

運営と主な事業：昭和60年に特委を設け『21世紀学校歯科医のビジョン』で20～25時間の認定講習項目試案を策定した。会務は７常置部会が活動に当たっている。最大の事業である「よい歯を守る学校・園表彰並びに研究大会」は第45回を迎えた。公私立の幼－高が参加。知事賞５・府教委賞６・府歯会賞と府学歯会賞に各々約13～16校選出。DMF 歯数は平成７年度に小６児３以下となり，13年度1.93本（対象22,265名）と念願の２本以下を達成した。

全日本優良校表彰では泉佐野市立日新小，堺市立上神谷小，堺市立東深井小が文部大臣賞を受賞。日学保のセンター的事業「児童生徒等むし歯予防啓発推進事業・高槻地区（昭61－63）」に積極的に協力した。この地区の組織活動は現在も続いている。近畿地区学校歯科医会（学校歯科部）連絡協議会は回り持ちで2001年に25回を数えた。第26回（大阪）より北陸地区の参加を得て近北地区と名称が改まる。昭和60年（大阪）に開催された「むし歯予防推進指定校協議会」は「歯・口の健康つくり推進指定校協議会」と呼称が変更されている。

## ◆◆ 大　阪　市 ◆◆

昭和６年に大阪市学校歯科医会が創立された。昭和43年には社団法人を設立。平成11年社団法人設立30周年記念式典を挙行した。

構成26支部（24区）　会員506名

保健事業：昭和36年第１回大阪市学校歯科保健研究大会を開催し，以後毎年開催している。平成

９年第48回十三大都市学校保健協議会前日歯科保健協議会を帝国ホテル大阪で開催した。全国学校歯科保健研究大会は昭和41年，53年とそれぞれ開催，平成13年には大阪国際会議場で開催した。表彰関係では昭和50年，団体表彰で社団法人大阪市学校歯科医会が文部大臣表彰を受けた。小学校では奥村賞・全日本最優秀校表彰・特別賞と数々の賞を受けている。

学校歯科保健活動：巡回歯みがき指導，子どもの歯を守る懇談会，幼稚園歯みがき指導と母親教室，２年生歯みがき指導（口内法），４年生フッ化物塗布，６年生の歯・口の健康教室・中学校健康教室等を毎年指導をしている。また，DMF 歯数調査は昭和57年から養護教諭会，教育委員会の協力を得て実施。現在大阪市各学校の平均 DMF 歯数は1.5である。また市教委と共催で学校歯科保健教育の優れた学校の審査表彰を行い，各校のレベル向上に努めている。

研修事業：学校歯科医に対しては学術講演会，研究協議会，新任学校歯科医講習会，会員研修会等を通じ研鑽に努めている。また，学校歯科保健活動の充実を図るため学校歯科医だけでなく，市教委，小学校教育研究会保健部，保健主事会，養護教諭会，歯科衛生士会，ライオン歯科衛生研究所，サンスター歯科保健振興財団との合同研修会も行っている。

学校歯科保健が単にむし歯や歯肉炎の予防という，口腔だけの問題にとどまらず良い生活習慣や児童生徒の生きる力，考える力，自尊心の高揚そして慈愛の心の育成に向けて役立つように努力を重ねている。

## ◆◆ 兵　庫　県 ◆◆

兵庫県は我が国への西洋歯科医学導入の第二の玄関口として古い歴史をもち，大正初期のころから口腔衛生普及活動は活発であった。兵庫県学校歯科医会は，昭和９年11月に設立され会員は184名であった。昭和11年日本聯合学校歯科医会に加盟した。

全国大会関係：兵庫県，神戸市各学校歯科医会が主催団体に加わり，昭和17年５月９～10日神戸市立第一高等女学校において第12回全国学校歯科医大会を開催した。太平洋戦争が始まったため大変な困難の中で行われたが約900名が参加したといわれる。昭和54年11月９～10日神戸国際会館において第43回全国学校歯科保健大会が開かれた。主題は「保健指導と保健管理の調和」，昭和53年に文部省から『小学校・歯の保健指導の手引』が出されたあとなので，その対応が中心となった。いずれも主催団体として大会の企画，運営に貢献した。

兵庫県学歯の活動状況：昭和36年に始まった兵庫県学校歯科保健大会は，震災の平成７年を除いて毎年続けられている。また，よい歯の児童生徒表彰も昭和38年に開始し，平成７年を除いて継続して開催されている。昭和60年発生した「日本航空ジャンボ機墜落事故」で当時の鹿嶋弘会長（県歯，県学歯会長）を失ったことは忘れることのできない出来事である。

県内の郡市区歯科医師会の学校歯科医会担当役員を招集して研修と情報交換を行う「郡市区学校歯科担当者中央研修会」を昭和61年より始め，今日まで続けている。兵庫県では学校歯科保健委員会を設置して，その時々のテーマを設けて研究討議を進めている。例えば，スポーツ歯学について，

改正された学校歯科健診について等。平成６年には組織が変わり，県歯科医師会に一本化された。

## ◆◆ 神　戸　市 ◆◆

神戸市学校歯科医会は昭和７年12月に設立され，会員は60名であった。神戸市は大正初期より，口腔衛生普及活動が盛んで，「歯の衛生」冊子や衛生講話，衛生博覧会が行われた。

昭和初期には学校歯科活動に積極的な開業歯科医が，学校に歯科診療所を設置して歯科健診，歯科治療まで行っていた。

市学歯の活動：昭和23年に第１回「むし歯予防教育実践強調運動」を全市学校において実施，口腔衛生講演会，討論会を開催（文部省）。昭和24年神戸市学校保健会が発足し，教育委員会と三師会が協力して活動する。昭和37年小学校歯科巡回診療を開始，昭和53年使命を終わる。神戸市よい歯の学校表彰は昭和10年第１回発足以来，平成14年度で第64回となり，児童生徒に対して貴重な学校歯科保健の歴史を刻んでいる。

学術・研究活動：中学校の歯科保健実態調査を昭和61年と平成元年の２回，う歯，不正咬合，歯肉の状態，肥満について調査を行い，それぞれ相関関係についても調査している。健康づくりや食生活習慣のアンケート調査も実施した。また平成３～５年度には学校における歯牙外傷の調査も行って報告書を作成，発表している。約７年前より，フッ素洗口導入を計画し，研修，実地見学したが，未だ実現していない。

大会・研修会・市教育委員会との共催：神戸市学校保健大会（昭和39年より毎年），学校歯科保健研修会，新任学校歯科医研修会，新任養護教諭研修会，ライオン歯科衛生研究所による希望学校・園での歯磨き指導。平成５年度より全小学校でう歯や歯肉炎，不正咬合のない児童にも健診結果表を出し，口腔疾患予防の説明をして「よく噛むこと」の重要性を訴えている。

昭和63年，社団法人神戸市歯科医師会と合併して現在に至る。本年（平成14年）神戸市学校歯科医会創立70周年となり，記念式典を行う。

## ◆◆ 岡　山　県 ◆◆

岡山県学校歯科医会は，昭和11年10月に岡山女子師範学校で創立総会を行い発足した。昭和13年になって日本聯合学校歯科医会に加盟している。この頃岡山県では中学校に学校歯科医を置くことを決め，学校歯科医が委嘱されている。戦後は，岡山県学校歯科医会としては昭和26年に日本学校歯科医会に加盟し，昭和44年には岡山県歯科医師会に引き継がれた。

岡山県歯の各種行事内容：養護教諭，保健婦等を対象にした県単位の研修会・講習会は昭和37年より厚生省の委託事業として始められた。「保健関係指導者歯科講習会（岡山県歯科保健研修会）」（昭和52年より日本歯科医師会の委託事業に変更された）と銘打って開催されており，現在も２年

に一度の割合で引き続いて行われている。また，学校歯科医を対象とした県単位の研修会「岡山県学校歯科保健研修会」は第１回が平成４年２月16日にスタート，現在に至るまで２年に一度実施。キャンペーンとしては昭和36年より「岡山県よい歯の学校表彰」を行っており昭和44年からは「岡山県よい歯の幼稚園表彰」を行ってきた。平成４年から「岡山県高等学校歯科保健推進校表彰」を現在まで継続して実施している。コンクールとしては昭和37年より「岡山県歯の衛生図画・ポスターコンクール」を開催，現在まで継続して行っている。日学歯主催の歯・口の健康に関するコンクールで平成12年には倉敷市立連島中学校野山佳保里さんが，13年度には岡山市立石井中学校蓮池千絵さんがそれぞれ最優秀賞を受賞している。

岡山県には，学校歯科医会はなく昭和41年より岡山県歯科医師会の幾つかの部署のうちの主として学校歯科保健に関する内容を取り扱う岡山県歯科医師会学校歯科部会が公衆衛生部の中にできた。そのため学校歯科保健に対する特別な広報誌はなく，岡山県歯科医師会会報に適時，学校歯科保健に関する内容を掲載している。また，岡山県では独自に昭和34年より平成７年まで，県下の幼稚園，学校における定期健康診断の結果のうち歯科疾患に関するものを各幼稚園，学校別に細かく集計・分析して，その資料集「むし歯の罹患状況」を継続作成して県下の幼稚園，学校，歯科医師会会員，その他関係団体に配布して大変喜ばれていた。平成８年よりは，岡山県学校保健会のホームページ上にて紹介している。

## ◆◆ 鳥　取　県 ◆◆

鳥取県は早い時期から学校歯科保健に関する活動があり，鳥取県知事の昭和２年２月５日付「鳥取県学校歯科医訓令」で，学校歯科医の設置並びに職務及び服務に関する規定が定められ「３月中に学校歯科医を任命し，４月の新学期より各々活動せらるる由」とある。また，「鳥取県学校歯科衛生会」は昭和４年３月５日に創立総会を開催，発足している。

終戦となって，「社団法人鳥取県歯科医師会」として昭和22年同県知事に認可されたが，学校歯科医並びに目的賛同者により鳥取県学校歯科医会が歯科医師会とは別に任意団体として組織され発足した。

学校歯科医会の活動：鳥取県歯科医師会の公衆衛生事業と重複することもあり，０歳から老人までの一貫した歯科保健対策，体制で行くことになり昭和61年に学校歯科医会を解散し，歯科医師会の公衆衛生部門で従来学校歯科医会の実施していた事業を引き継いで行うことになった。学校歯科保健事業は，学校歯科医の研修会，講演会，歯の衛生週間における「学校巡回指導」等の歯科保健活動や図画・ポスターコンクール，全国大会の参画等であるが，昭和37年からスタートした事業として「小学校６年生よい歯のコンクール」がある。この小学校６年生の時期は，乳歯と永久歯の生えかわりがほぼ完了するときであるとともに，自分で口腔内の清潔を管理できる年齢であり，歯磨きの習慣づけ等学校での啓発的要素も高いことから毎年継続して現在に至っている。このコンクールは，県下の全小学校に参加資格があり，学校健康審査の結果を基に各学校で男子１名，女子１名

を選抜して地区大会に参加し，地区大会で最優秀となった男女各１名が県大会に出場，男女の部各３名の中からそれぞれ最優秀者１名，優秀者２名を選考し鳥取県歯科医師会会長が表彰している。後には県教育委員会も表彰式に出席，マスコミにも報道されるようになっている。

## ◆◆ 広　島　県 ◆◆

大正14年１月には，広島市内小学校の未就学児童3,000人に対して歯牙検査を実施した記録がある。これは就学前歯科検査の初めのものということができる。大正14年５月には県訓令で学校歯科医の設置を決めている。また県学校歯科医会は昭和11年６月に創立総会を開いている。日本学校歯科医会には創立１年後に県学校歯科医会として加盟したが，昭和38年になって広島県の歯科医師会の中に吸収され，現在に至っている。

広島県における今日の学校歯科保健活動の出発点は，昭和26年に広島県歯科医師会に学校歯科部が創立されたことに始まる。昭和45年に広島県（後に広島市も），県教育委員会，県歯科医師会，広島大学の４者からなる「広島県歯科衛生連絡協議会」が設置され，その中に学校歯科保健委員会が設けられ，学校歯科保健活動が飛躍的に推進された。

大会関係：平成２年10月19～20日広島市において第54回全国学校歯科保健研究大会が開催され，主催団体として大会の運営に活躍した。「学校歯科保健の包括化」が主題。この大会を契機として会員が大幅に増加する結果となった。

歯科衛生知識の普及活動として：昭和44年より「歯の祭典」，昭和46年より「子どもの歯を守る集い」が開催されていたが，昭和62年度より一本化して「歯科保健大会」になった。平成５年からは「5525広島歯の祭典」として広島県独自の55歳で25本の歯を残そうという運動を展開している。平成４年には，広島県学校保健会が全国５実施県の一つとして，日本学校保健会から委託を受け「児童生徒等歯・口の健康つくり推進事業」を実施した。平成５年，第１回「広島県学校歯科保健研究大会」が開かれた。保育園，幼稚園，小・中学校・高等学校に研究発表の場を提供し，研修を積むことを目的にしており毎年１回開催されている。

キャンペーン，コンクールについて：平成４年より「歯によい料理コンクール」と「歯の作文コンクール」を１年ごとに開催。歯の衛生週間行事としては図画・ポスターコンクール（平成12年大竹市立大竹中学校中岡千佳さんが日学歯の歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールで最優秀作品に選ばれた），標語コンクールを行っている。啓発用資材としては，『学校歯科医ハンドブック』（平成３年），『学校歯科健康診断リーフレット』（平成５年）等を刊行。調査，研究では，広島県内小･中学校における歯科保健の実態調査（平成３年），高校生の生活習慣と歯科疾患の関連に関する調査（平成７年）等を実施した。

## ◆◆ 島　根　県 ◆◆

大正15年５月には，松江市内５小学校に学校歯科医を配置した。また昭和２年12月16日付島根県訓令第44号「学校歯科医に関する規定」が公布された。

昭和11年になって県歯科医師会の中に学校歯科調査会をつくり，翌12年11月に県学校歯科医会が誕生した。日本聯合学校歯科医会には昭和13年に加盟している。

全国大会について：昭和29年松江市で開催された第４回全国学校保健大会の前日の10月８日に第18回全国学校歯科医大会が出雲市第一中学校にて開催された。主催団体として島根県学校歯科医会，同歯科医師会が入り，大会の企画，運営に参画している。10月７日には，出雲市医師会館で日本学校歯科医会の設立総会が開かれて，正式にここで日本学校歯科医会が発足した。

県としての活動：平成元年より，島根県，県教育委員会，県歯科医師会，口腔衛生協会との共催で「島根県よい歯の学校表彰」の制度を設け，毎年継続して実施しており，応募校のなかから優秀賞，優良賞，努力賞を選定して表彰を行っている。平成４年２月には，島根県主催の島根県学校歯科保健研修会を開催し，シンポジウム等を行った。この研修会には県下の行政，歯科医，教育関係者等多数参加，今後学校歯科保健を推進する上で非常に有意義な催しであったと高く評価された。また文部省の指定校制度に併せて平成４年より県教育委員会と県学校歯科医会との共催で本県独自の「島根県むし歯予防推進指定校（現島根県歯・口の健康つくり推進指定校）」制度を設けた。指定校は，研究実績の発表，報告書の作成などを行い大いなる成果を挙げており，現在も継続中である。平成７年より健康診断の方法が大きく改正されたのを機に本会役員が講師となって学校歯科医研修会を開き趣旨の徹底を図り，これに伴って，学校歯科医の手帳も健康診断の項目を中心に大幅に改訂し，平成８年３月に再刊して関係者に配付した。

## ◆◆ 山　口　県 ◆◆

学校歯科医設置に関する県令は，昭和３年２月に出されており，昭和５年５月には同県歯科医師会は佐波郡で小学校児童の歯科検診を実施したといわれている。学校歯科医会は昭和６年に設立されているが日本聯合学校歯科医会に加盟したのは昭和15年になってからであった。

県学校歯科医会の活動：昭和63年山口県歯科医師会学校歯科医会として発足，昭和46年度から実施している山口県学校歯科医研修会に併せて山口県学校歯科保健研究協議会を毎年開催している。学校歯科医と学校歯科保健に直接携わる養護教諭等が一緒に研究協議を行い大いに成果を挙げている。学校歯科保健関係の表彰事業としては，山口県児童生徒の歯の健康優良児表彰で，対象者としては小学校６年生・中学校３年生の各男女となっている。歯の保健思想普及のための児童生徒の作品募集については，作品の種類は図画・ポスター，版画，習字，標語，作文と広い範囲にわたっている。また山口県よい歯の学校表彰も毎年継続して現在に至っている。平成13年度には全日本学校

歯科保健優良校表彰で，防府市立大道小学校が文部科学大臣表彰を受賞している。

学校歯科保健事業としては，昭和44年から山口県歯科診療巡回車が設備され，へき地診療及びフッ化物塗布・歯科保健指導を実施，平成６年をもって巡回車を廃止し，フッ化物塗布及び歯科保健指導は現在も継続して行っている。また，平成11年度から，本会作成の学校歯科保健調査票をデータ処理化し，情報を多角的に分析・評価し，学校歯科医，学校関係者に資料を提供している。

日学歯の会員加入状況としては，歯・口の健康診断の改正で研修会，講習会を開催，これを契機として加入者が増加して200名を越えた。

## ◆◆ 徳　島　県 ◆◆

徳島県学校歯科医会は，昭和４年７月に設立され，日本聯合学校歯科医会には設立と同時に加盟している。当時の会長は，徳島県学務部長が兼務しており，事務局は県庁内に置かれていた。

全国大会関係：平成４年11月13～14日，徳島市において第56回全国学校歯科保健研究大会が開催された。初めての主催団体であったが，蓋を開けると全国から1,800余名の先生方の参加を得て大変盛会であった。

県の学校歯科活動：県下無歯科医地区は２村のみであるが無歯科医村診療バスが定期的に巡回し，健康診断と治療を行っている。毎年１回学校歯科医，学校関係者，歯科衛生士を対象として〔学校歯科保健関係者講習会〕を開催，テーマとしては「フッ素を利用したむし歯予防と歯牙」，「口腔障害を防止するためのマウスガードについて」等があげられた。これは，多様化する学校，社会のスポーツ活動を安全なものとするために，また学校体育など一般スポーツ活動による歯牙外傷を防ぎ，歯牙の残存をめざす活動で８０２０運動にも呼応したものであった。

現在，ブラッシング指導や食事指導でむし歯罹患率の低下や歯肉炎の消失というよい結果を出しているが，歯科保健活動を通じて健康とは何かを自ら考え，実践できる能力を児童生徒に教育していくための一つの方法として，歯科保健指導のプロフェッショナルの養成も検討されている。また，学校健康診断を年２回実施することによって児童生徒の歯・口の健康つくりを支援，協力しようという企画も推進中である。

児童生徒の歯科保健の向上の証左として，第40回全日本学校歯科保健優良校表彰で三好郡三好町立昼間小学校が最優秀賞（文部科学大臣賞）を受賞している。

## ◆◆ 香　川　県 ◆◆

学校歯科医設置の県令は昭和４年１月に出された。昭和８年４月には香川県学校歯科医会の設立総会が開催され，すぐに日本聯合学校歯科医会に加盟している。

全国大会関係：昭和28年11月14～15日，高松市四番丁小学校において，第17回全国学校歯科医大

会が開催された。主催は香川県学校歯科医会，この大会で日本学校歯科医会会則案が審議され決定した。一本立ちをした初めての大会といわれている。昭和50年11月15～16日には第39回全国学校歯科保健大会が高松市市民会館において開催された。主題は「保健指導と保健管理の調和－地域社会とともに－」。約1,300名が参加し盛会であった。

平成４年４月より，38年間にわたる歴史ある香川県学校歯科医会は香川県歯科医師会に統合され学校歯科部として現在に至っている。学校歯科部は，理事１名，部員４名で構成され学校歯科保健活動に従事している。

県歯の活動内容：県教育委員会，学校保健会，歯科医師会共催による「香川県よい歯の児童生徒審査会」は昭和27年度より開催，小学校・中学校の男女の県一位の決定を行っている。昭和32年から県教育委員会，学校保健会の共催による「香川県よい歯の学校表彰」事業に協力している。小学校小規模校，大規模校，中学校の３部門を書類審査の上，実地審査を行い県一位，準県一位，特選を決定表彰している。因みに，日学歯主催による全日本学校歯科保健優良校表彰で平成７年度には高松市立太田南小学校が，平成11年度には仁尾町立仁尾小学校が文部大臣賞を受賞している。また平成10年度，11年度，13年度には，歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール小学校の部で最優秀賞を受賞している。

毎年４月には県教育委員会教育長，保健体育課との研究協議会を継続して開催している。

## ◆◆ 愛　媛　県 ◆◆

大正15年，松山市内第１小学校から第７小学校まで愛媛県歯科医師会の会員が担当して児童の歯科検診，治療を行ったという記録が残っている。愛媛県学校歯科医会は昭和７年８月24日に設立され，会員50名，会長は愛媛県学務部長が兼任していた。日本聯合学校歯科医会には設立と同時に加盟している。

全国大会関係：昭和57年10月15日～16日の両日，松山市市民会館大ホールにおいて第46回全国学校歯科保健研究大会が開かれ，「保健指導と保健管理の調和」をメインテーマとして３領域にわたって研究協議が行われた。愛媛県歯科医師会が主催団体として大会の運営に貢献し，2,137名の参加者を得て盛会裡に終了した。

昭和61年８月23～24日の両日愛媛県歯科医師会創立80周年記念式典を挙行，「21世紀の歯科医療をめざして」のテーマで学会を開催，同時に創立80周年記念広報誌を発刊した。昭和61年９月15日，地域歯科保健の向上に寄与したことにより第38回保健文化賞を受賞した。このことを記念して，その賞金を基金として毎年４月18日に地域歯科保健に功績のあった個人，団体に対して表彰を行っている。平成元年11月18日には，第10回全国歯科保健大会が県民文化会館において「母と子の歯科保健」の主題で開催され，2,400名の参加者があった。平成８年７月26日には愛媛県歯科医師会が主催して，学校歯科保健関係者を対象としての愛媛県学校歯科保健研修会を開催した。

歯科保健図画・ポスターコンクールを実施しているが，日本学校歯科医会の歯・口の健康に関す

る図画・ポスターコンクールに参加，平成12年には，伊予三島市立中曽根小学校脇千尋さんが最優秀作品に選ばれた実績をもっている。愛媛県よい歯の学校表彰入賞校についても，日学歯の全日本学校歯科保健優良校表彰に，昭和60年から応募，平成元年には松山市久米小学校が，平成13年度には周桑郡丹原町立中川小学校が文部科学大臣賞を受賞している。

## ◆◆ 高　知　県 ◆◆

昭和10年，県の記録では高知市学校歯科医会設立，会員14名となっている。昭和33年に高知県学校歯科医会を設立，昭和35年には，高知市学校歯科医会を吸収して日本学校歯科医会に加盟した。県学歯は，平成４年９月に設立以来34年有余の歴史を閉じて，発展的に解消し，平成５年４月１日より高知県歯科医師会学校保健部として発足，現在に至っている。

全国大会：平成12年11月30～12月１日，高知県立県民文化ホール他において開催，「21世紀の学校歯科保健」を主題として，領域別研究協議会では高知県歯プレゼンテーション〔障害児学級・学校協議会〕を行った。文部省・日学歯等と共に主催団体として大会の設定，運営を主導，大会を成功に導いた。特にシンポジウムには橋本高知県知事が出席され大変好評であった。

県歯としての活動：昭和34年を第１回として「高知県学校歯科医大会」を，昭和45年からは名称を〔高知県学校歯科保健大会〕と変えて毎年開催してきている。図画・ポスター標語コンクールについては，県歯科医師会，県教育委員会共催により，小・中学生より募集，各優秀作品を表彰し，最優秀作品は日学歯の中央コンクールに出展している。平成13年度には最優秀賞を土佐清水市立中浜小学校上原里帆さんが受賞している。調査・研究については，学校歯科保健調査として，県下全小学校を対象に健康診断結果の調査を実施，データの評価分析を行っている。

研修会では：学校歯科医研修会，養護教諭を対象にした新任教諭の講習会の開催。また，無歯科医地区モデル小学校の巡回事業として，巡回診療車を利用しての歯科疾患予防指導，フッ素塗布，歯科治療を実施，他にむし歯予防推進指定校事業への協力，高知県学校医歯薬保健研究大会の運営と講師派遣等を実施している。児童の口腔保健のレベルアップの証左として，平成12年度には，須崎市立安和小学校が最優秀校として文部大臣表彰を受けている。

## ◆◆ 福　岡　県 ◆◆

大正14年，県から「児童身体検査中，歯の検査は歯科医を委嘱すること」という通達が出された。県学校歯科医会の設立は昭和４年３月14日であった。昭和７年には，学校歯科医に委嘱し，県下の班状歯調査を実施した。県レベルの広範囲の調査は，我が国で最初のものといわれている。

全国大会関係：第３回全国学校歯科医大会が初めて地方で，昭和８年５月20～22日の３日間，福岡市福岡中学校で開催された。全国から約450名が参加している。福岡県学校歯科医会も主催団体

として大会運営に貢献した。第15回全国学校歯科医大会は，福岡市消防会館で，昭和26年10月５日に福岡県・市学校歯科医会が主催して開催された。パネルディスカッションが初めて登場した。第47回全国学校歯科保健研究大会は，昭和58年11月25～26日，福岡市において開催され主題が「保健指導と保健管理の調和」であった。

県歯各行事の内容：高等学校歯科保健研修会を昭和57年から開催，以降隔年毎に開催している。文部省の「むし歯予防推進指定校」に昭和58年に最初に県下で３校推進校に指定された。昭和61年，推進指定校の保護者の啓発を主体とした「むし歯予防啓発推進事業」を福岡県学校保健会より委嘱される。ブロック単位で推進指定校になった学校の保護者対象に啓発事業を行う。平成４年より「新入会員研修会」を毎年開催して現在に至っている。平成７年には，36回にわたって開催されてきた福岡県学校歯科学会を，発展的に解消して「第一回福岡県学校歯科保健研究大会」として養護教諭をふくめた学校歯科医の研修の場とした。同年には，図画・ポスター標語コンクール入選作品集を発刊，県下全校に配布。平成８年には『学校歯科医ハンディノート』を作成した（平成12年度日学歯図画・ポスターコンクール小学校の部で黒木町立黒木中学校松本千穂さんが最優秀賞を受賞している）。

## ◆◆ 福　岡　市 ◆◆

昭和24年，福岡市学校歯科医会が創立され，昭和49年，福岡県学校歯科医会より分離独立し，日本学校歯科医会加盟団体となる。

協議会，研修会等：第41回十二大都市学校保健協議会前日歯科保健協議会は，福岡市学校歯科医会主催により，平成２年５月19日に開催している。毎年新入会員を対象に研修会の開催，養護教諭と本会会員の研究発表及び大学研究者による特別講演等，毎年１回「学校歯科医学会」を開催している。

キャンペーン・コンクールについて：福岡市内小・中学校生徒及び養護学校生徒を対象に実施し，福岡市学校保健大会席上で表彰している。福岡市よい歯の学校表彰は市学校保健会と共催で毎年開催している。

福岡市独自の学校歯科保健活動：昭和63年から実施している歯科保健指導がある。①歯科相談検診は小学校１～２年生，中学１年生を対象として健康診断の結果，歯周疾患・不正咬合等特に個別相談が必要と認められたものに対して行われる。②歯みがき指導については，小学校２年生以上の児童生徒に対し，染め出し剤を用いた集団指導及びう歯のひどい者・歯周疾患・不正咬合について個人指導を行う。③歯科保健講演は，教職員，保護者，中学生等が対象で，歯科医による講演，う歯予防・歯周疾患予防について映画，スライド等を使用し指導している。福岡市においても2001年に12歳児 DMF－T が1.54と WHO の歯科保健目標である３を大きくクリアーできた。今後更に学校，家庭，行政と連携を密にして，学校歯科保健指導について充実を図ってゆく。

## ◆◆ 佐　賀　県 ◆◆

大正15年７月16日に学校歯科医設置の県令が出されている。昭和59年４月には県全域の学校歯科医で組織する新制佐賀県学校歯科医会が発足した。平成２年４月からは佐賀県学校歯科医会が佐賀市学校歯科医会に代わって正式に日本学校歯科医会に加盟した。

昭和61年度より，これまでの「佐賀県よい歯の児童生徒の表彰」とともに，新しく「よい歯のそろう学校表彰」制度を発足させた。平成４年には日本学校歯科医会で主催する第31回全日本よい歯の学校表彰において，神埼郡神埼町立仁比山小学校が文部大臣賞を受賞した。また，同じく歯科保健図画・ポスターコンクールに初参加で盲学校の児童が特別賞を受賞して地元紙にも大きく採り上げられて反響を呼んだ。

刊行物については，平成５年に編集委員会を発足させて，『学校歯科健診マニュアル』を発行，全会員に配布した。平成６年度からは，「学校歯科医会だより」を企画，会員の身近な情報を掲載して好評を得ている。また，佐賀県学校歯科医会への新入会員を対象として研修会を開催，佐賀県学歯の概略について，学校保健について，学校歯科医の役割と仕事について，学校健康診断要領について，などをテーマとして行われている。特に平成７年の健康診断方法の改正にともなう会員研修会を開催して周知徹底を図った。

## ◆◆ 長　崎　県 ◆◆

昭和33年10月，長崎県歯第28回定期代議員会において県歯科医師会より，県学校歯科医会が独立する旨の決議がなされ，昭和34年４月１日長崎県学校歯科医会が設立された。しかし，昭和60年度以降は県学歯の事業を県公衆衛生委員会が引き継ぐことを条件に，解散することが決議された。同年３月31日，長崎県学校歯科医会は解散し，それ以降長崎県公衆衛生委員会により事業が執り行われるようになり現在に至っている。

協議会，研修会など：昭和60年11月７日，第35回全国学校歯科医協議会が長崎県で開催。講演は「長崎の医学・歯学の歩み」と題して，日本医史学会中西啓評議員から行われ，協議テーマは「学校保健委員会の将来的指針，今学校歯科医に望むこと」であった。翌８日には「全国学校保健研究大会」が開催され，学校保健・学校功労者の文部大臣表彰が行われた。翌９日には課題別研究協議が行われて協議会は閉会した。昭和60年度の第10回学校歯科保健研修会以降は，長崎県公衆衛生委員が出席して，県下の学校歯科保健活動推進の原動力となって指導に当たっている。

研修会の他，平成７年７月，県公衆衛生委員会の事業として，学校歯科医研修会を開催，学校保健法の改正された時期であったので，CO，GO の概念，事後措置等について研修を行った。引き続いて，平成10年にも健康診断基準の格差の是正と学校歯科保健に関する理解を深める努力をしている。平成11年度は福島町立福島小学校が全日本学校歯科保健優良校表彰で最優秀賞を受賞してい

る。平成６年度以降は「公立学校新規採用養護教諭研修会」において学校歯科保健関係の情報を提供して，学校現場における学校歯科保健の相互理解に努めている。平成12年度には長崎県歯科保健10年計画「歯なまるスマイル21プラン」を策定し，学齢期においては①フッ素洗口を実施しているものの割合を50%以上とする，②県下全市町村の歯科疾患の収集システムの構築，という２つの目標を掲げ，学校においても具体的な歯科保健の実践活動を通じた教育の成果を期待している。また平成13年度は CO，GO の検出率に加え，顎関節・歯列・咬合の診査の検出率の向上に向けての啓発に取り組んでいる。

## ◆◆ 大　分　県 ◆◆

大分県学校歯科医会は，大分県歯科医師会の機構改革により昭和43年４月１日より県歯に包括吸収された。それ以降は，大分県歯科医師会が日本学校歯科医会の加盟団体として，今日に至っている。

全国大会関係：第43回全国学校保健研究大会ならびに第43回全国学校歯科医協議会が平成５年11月11・12日大分市の大分文化会館を中心に開催され，主催団体として大会の企画，運営に貢献した。

県の学校歯科保健活動：学校歯科保健活動は大分県歯の公衆衛生委員会の中で行われている。その事業の１つとして『学校歯科保健の手引き』（昭和62年），『学校歯科医の手引き』（平成14年）を刊行して会員に配布している。

研修会として平成13年には，よりレベルアップした学校歯科医活動を支援することを目的として会員を対象に「学校歯科保健研修会」を開催した。

コンクール事業は，歯の衛生図画・ポスターコンクールを開催しており，各郡市歯科医師会で優秀作品を選出して，歯の衛生週間に展示，県歯ではその中から県知事賞，県教育委員会・県学校保健会賞，県歯会長賞，大分合同新聞社長賞を選出し，表彰している。因みに日本学校歯科医会が主催している平成11年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールでは，大分県立石垣原養護学校小学部河野誠さんが特別賞を受賞している。

昭和58年からは，歯の健康作文コンクールを実施，大分県歯科医師会では，これら図画・ポスター，歯の作文の優秀賞受賞者の作品を入賞作品集にまとめて，県下の教育委員会，市町村，各関係団体に配布している。

研修会，協議会：大分県福祉保健部健康対策課と共催で毎年「８０２０運動実践指導者研修会」を開催している。また平成４年には県の健康対策課が「豊の国８０２０運動推進協議会」を設け，県歯と共催で各ライフステージにおける予防対策，啓発普及活動を行っている。平成８年度には「21世紀に向けての歯科保健行動計画（歯ッスル大分８０２０）」，さらに平成13年度には「生涯健康県おおいた21」を策定して学校歯科保健の推進に取り組んでいる。

## ◆◆ 熊　本　県 ◆◆

昭和３年１月に学校歯科医設置の県令が出されている。昭和12年10月，熊本県学校歯科医会は創立総会を行っている。そして昭和15年熊本市学校歯科医会に代わって熊本県学校歯科医会が日本聯合学校歯科医会の加盟団体となった。

全国大会関係：第32回全国学校歯科医大会が，昭和43年11月10～11日熊本市市民会館において開催され，主催団体として大会の企画，運営に貢献した。1,300名が参加したといわれる。この大会からメインテーマが示されるようになって，このときは「学校歯科衛生の総意を結集するために」であった。

県の学校歯科保健活動：平成８年２月に第１回熊本県学校歯科医研修会を開催した。学校歯科健康診断の方法の統一見解をまとめ，学校歯科保健の様々な問題点についての討論の場としての研修会である。平成９年度以降も継続して開催されている。新規採用養護教諭研修会は，毎年新規に採用される主に小学校の養護教諭の宿泊研修会として開催，学校歯科保健についての講演などを行っている。平成７年には，改正健康診断方法について講演会を開いている。

キャンペーン，コンクール等について：毎年６月のむし歯予防デーに因んで，県下の小学校から図画・ポスター，習字を募集，これらの作品の展示と同時に無料検診，歯科相談のイベントも企画，６月４日以降の日曜日には「歯の祭典」として表彰行事を行い，記念品の贈呈も行っている。また，よい歯の学校表彰について，教育庁と県歯科医師会との間で書類審査及び実地審査を行い，全県よい歯の学校を決定の上，日本学校歯科医会に推薦している。最近では，第38，39回全日本学校歯科保健優良校表彰で表彰されている。

へき地巡回診療など：昭和28年よりへき地巡回診療で，へき地小・中学校を対象に初期う歯に対しての充填と，乳歯の抜歯を行ってきた。長年続いたへき地診療も時代と共にその必要性を見直し，平成７年度からは，「学校歯科保健指導」と名称を変え，小・中学校の学活の時間に染め出しによるブラッシング指導を行うことになったが，一応の目的を達成したとして，平成12年度をもって終了した。

平成５年10月７日，長年にわたる学校保健に対する功績が認められて第45回保健文化賞を熊本県歯科医師会が受賞した。

## ◆◆ 宮　崎　県 ◆◆

宮崎県の訓令は，昭和２年５月に出されている。それを受けて昭和３年３月の宮崎県歯科医師会の総会において，学校歯科医設置を促進する決議を行っている。県学校歯科医会は，昭和８年３月に創立され，昭和９年の調査では40名の会員を擁していたといわれる。

全国大会関係：昭和15年５月11～13日，宮崎県教育会館で第10回全国学校歯科医大会を開催し

た。600名が参加して盛会であった。この大会のときに現在行われている大会宣言の原型ができたと言われている。平成14年10月には第66回全国学校歯科保健研究大会として「変革に向けての学校歯科保健の飛躍」を主題に宮崎県で開催，共に主催団体として大会の成功に尽力している。

県歯の学校歯科活動：主な事業として，年１回開催される宮崎県学校歯科保健研究協議会は，県内各地の小・中・高等学校の校長，教頭，保健主事，養護教諭を含め沢山の先生方が参加，席上学校歯科保健活動に功績のあった先生方を表彰，また研究発表，協議を行っている。歯科保健図画・ポスターコンクールを開催しており，日学歯の平成13年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールに最優秀作品として，宮崎市立赤江東中学校１年渡辺仁実さんが入選している。またよい歯の学校表彰では，同じく日学歯の第35回全日本よい歯の学校表彰で，北諸県郡高城町立石山小学校が表彰の栄に浴している。

組織変更：昭和60年４月から当会は組織変更を行い，宮崎県歯科医師会に統合されることになったが，その活動は活発で平成６年度は，全国規模の「学校歯科保健研究協議会・むし歯予防推進指定校協議会」を宮崎県で開催し文部省からも大変高い評価を受けた。このように，宮崎県歯科医師会の学校歯科委員会があとを引き継ぎ，学校歯科保健活動に邁進している。なお，永年の障害児・者の念願であった宮崎歯科福祉センター障害者歯科診療所の開設の企画がすすめられている。

## ◆◆ 鹿 児 島 県 ◆◆

鹿児島県学校歯科医会の歩み：本県における学校歯科健康診断は，大正６年に学童歯牙審査・口腔検査の名のもとに９つの小学校において実施されている。大正10年８月１日には，県学校歯科嘱託医の辞令が下付され学校歯科医の第一号が誕生している。昭和７年には鹿児島県学校歯科医会並びに鹿児島市学校歯科医会も設立されている。

戦後の教育改革にともない，以前の鹿児島県学校歯科医会は発展的に解散され，昭和25年５月新生の鹿児島県学校歯科医会が創立され今日に至っている。

全国大会関係：昭和55年11月14～15日，第44回全国学校歯科保健大会が鹿児島県文化センターで開催された。この大会の第１領域では「子どもからむし歯をなくそう－第７回鹿児島県民大会－」をテーマに研究協議が行われた。この研究協議は，鹿児島県が58年度から取り組んでいた「サンライフ運動」の中の歯科保健にスポットをあてたもので，本大会と県民大会とを重ね合わせて行った大変ユニークなものである。1,600名の参加者があり盛会であった。

県学校歯科医会活動：⑴県下５～６地区で学校保健・安全・歯科保健講習会を開催している。講習会は教育委員会単位で開かれ，開催場所は離島はもとより県下を網羅するようになっている。テーマは時を得たものを選び，講師はその開催地域の会員に依頼するようにしている。講師には事前研修を受けてから講演してもらい，講習会終了後はその地域の核となって活動してもらうようにしている。

⑵毎年の学会：会員だけではなく広く学校保健関係者にも開放し，歯科衛生士・校長・養護教

論・教育関係者等の参加を得ている。なかでも養護教諭の参加は多数をかぞえ，学校歯科保健活動を進めるうえで大きな推進力になっている。

⑶「新１年生よい歯の健康審査」の開催：平成13年度で24回を数える。この審査は，就学時健康診断と連携して行われ，保護者たちの意識の向上に役立っている。この事業は，地元の南日本放送が主催し，県学校歯科医会が主管するという特筆すべきものである。

⑷調査研究：21世紀を見据えたものを企画し，現在はその実施の緒に就いたところである。校医報酬調査は以前より続けている。新１年生よい歯の健康審査のデータ収集とアンケート調査，学校歯科医の実態を調べる県下全学校へのアンケート調査や市町村教育委員会への学校歯科医委嘱状況調査等，データの収集と分析は，データベース化も含めて，今後大きな意義をもってくると思われる。園児・児童・生徒も家庭に帰れば地域の住民である。したがって，県歯科医師会（住民サービス部会）との連携も県学校歯科医会の役目である。

以上のようなことをもとにして，本会は，園児・児童・生徒のために，現在“８０２０につなげる確かな健康観の育成”というスローガンをかかげて活動を行っている。

## ◆◆ 沖　縄　県 ◆◆

終戦後の学校保健について：米軍統治下で本土の法律，諸制度の外にあった沖縄の学校歯科保健は大変遅れていたが，沖縄側においても，この遅れは十分認識されはじめており，学校保健の確立について関係者達の熱意が徐々に盛り上がっていった。沖縄学校歯科医会の誕生は，昭和42年３月26日，38名の歯科医師が「沖縄学校歯科医師会設立総会」を開催。この時は入会金２ドル，会費６ドルで会長に山崎友太郎氏が就任した。日本学校歯科医会には昭和43年11月に加盟し，同月10日に開催された第32回全国学校歯科保健研究大会に初めて参加をした。

学校保健法他：昭和42年９月，沖縄の学校保健法の一部が改正されて三師必置制が確立した。法律面では本土並になったが，昭和33年公布の本土学校保健法に遅れること９年で沖縄の学校歯科医は法的な資格を得た。

啓発活動の展開：沖学歯は，学童の歯科保健向上のため，学校での保健指導，歯科検診歯科診療等の面にとどまらず，広く一般に訴える啓発活動を展開してきた。昭和44年には，那覇市内のデパートにおいて「歯の衛生展」を県厚生局等との合同主催で開催。同年12月には東京都庁から保健体育課指導技師を招いて一週間にわたる研修会を開催。特別講演のほかに，会員に対する指導，養護教諭への教育を行った。

本土復帰：昭和47年５月15日，永かった米軍統治の下から日本の一県に戻り，それと同時に「沖縄学校歯科医会」は，「沖縄県学校歯科医会」と名称を改めた。復帰によってようやく法制面での壁が取り外されたので，一日も早く他府県と肩を並べたいと学校保健関係者たちは日夜努力を重ねてきた。

県歯の活動：昭和42年以来，15年にわたって活躍した沖縄県学校歯科医会も昭和57年沖縄県歯科

医師会との一元化を図るために，新会則を制定，名称も「沖縄県歯科医師会学校歯科医会」と改め，会長は県歯会長が当たることになった。

昭和46年６月，「第１回よい歯と歯ぐきのコンテスト」を開催，以降内容を変えてよい歯の学校表彰として続け，入賞校を日本学校歯科医会主催の全日本よい歯の学校表彰に推薦，第52回全国学校歯科保健研究大会（昭和53年）で真和志小学校が表彰を受けた。それ以降，平成５年，平成８年，平成13年にもそれぞれ最優秀賞として文部大臣表彰に輝いた。不断の学校歯科保健に対する努力が実をむすぶ結果となった。また中断していた歯科保健図画・ポスターコンクールも昭和63年より再開，平成13年度日学歯主催の歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールにおいて沖縄県城辺町立砂川中学校砂川寿美さんが最優秀賞を受賞している。

研修会，大会：平成元年より学校歯科医の資質の向上を図る目的で沖縄県学校歯科医研修会を開催，毎年継続して開催している。また，「噛むことは何故必要でしょうか」などを主題に南部地区歯科医師会と那覇市教育委員会の共催により「那覇市学校歯科保健大会」が毎年継続して開催されている。

全国大会：沖縄県歯科医師会，沖縄県歯科医師会学校歯科医会が主催団体に入り第62回全国学校歯科保健研究大会が沖縄県で平成10年11月19～20日に開催され，開催県として大会の成功に貢献した。

# 第４編／資　料


（社）日本学校歯科医会歴代会長 ……206
（社）日本学校歯科医会加盟団体名簿……207
（社）日本学校歯科医会歴代役員 ……210
１．叙勲・褒章 ……216
２．文部大臣表彰者……222
３．（社）日本学校歯科医会会長表彰受賞者……232
４．各種委員会委員一覧 ……251
５．学校保健統計の流れ（文部科学省資料）……269
６．むし歯予防推進指定校／歯・口の健康つくり推進指定校 ……282
７．日本学校保健会センター事業 ……288

# 社団法人 日本学校歯科医会 歴代会長

敬称略



## 奥村　鶴吉

昭和７年（1932年）４月　日本聯合学校歯科医会理事長就任
昭和13年（1938年）７月　同会長に就任～昭和29年（1954年）



## 向井　喜男

昭和29年（1954年）10月　日本学校歯科医会会長就任
昭和44年（1969年）３月



## 湯浅　泰仁

昭和44年（1969年）４月　日本学校歯科医会〔※昭和46年から社団法人〕会長
昭和59年（1984年）２月逝去



## 関口　龍雄

昭和59年（1984年）４月～昭和62年（1987年）３月
（昭和59年２月～昭和59年３月は会長代行）



## 加藤　増夫

昭和62年（1987年）４月～平成７年（1995年）３月



## 西連寺　愛憲

平成７年（1995年）４月～現在

# 社団法人 日本学校歯科医会　加盟団体名簿

## 平成13年度

敬称略，行政区分順

| 団　体　名 | 会長名 | 〒 | 所　在　地 | TEL<br>FAX |
|---|---|---|---|---|
| **北海道歯科医師会** | 永 山 一 行 | 060-0031 | 札幌市中央区北１条東9－11 | 011-231-0945<br>011-271-7514 |
| **札幌歯科医師会学校歯科医会** | 鶴 岡 一 彦 | 064-0807 | 札幌市中央区南７条西10丁目 | 011-511-1543<br>011-511-1530 |
| **青森県学校歯科医会** | 立 花 義 康 | 030-0861 | 青森市長島1－6－9<br>東京生命ビル７Ｆ | 0177-34-5695<br>0177-73-5665 |
| **岩手県歯科医師会** | 箱 崎 守 男 | 020-0877 | 盛岡市下ノ橋町2－2 | 019-652-1451<br>019-654-5474 |
| **秋田県歯科医師会** | 豊 間　　隆 | 010-0951 | 秋田市山王2－7－44 | 018-823-4562<br>018-862-9122 |
| **宮城県歯科医師会** | 吉 田 直 人 | 980-0803 | 仙台市青葉区国分町1－5－1 | 022-222-5960<br>022-225-4843 |
| **山形県歯科医師会** | 後 藤　　道 | 990-0031 | 山形市十日町2－4－35 | 0236-32-8020<br>0236-31-7477 |
| **福島県歯科医師会<br>学校歯科医部会** | 譽 田 雄一郎 | 960-8105 | 福島市仲間町6－6　県歯科医師会内 | 024-523-3266<br>024-524-1323 |
| **茨城県歯科医師会** | 鈴 木 明 夫 | 310-0911 | 水戸市見和2－292 | 0292-52-2561<br>0292-53-1075 |
| **栃木県歯科医師会** | 新 井　　武 | 320-0047 | 宇都宮市一の沢2－2－5 | 028-648-0471<br>028-648-8149 |
| **群馬県学校歯科医会** | 川 越 文 雄 | 371-0487 | 前橋市大友町1－5－17<br>県歯科医師会内 | 027-252-0391<br>027-253-6407 |
| **千葉県歯科医師会** | 尾 﨑 至 郎 | 260-0026 | 千葉市中央区千葉港５－25<br>県医療センター内 | 043-241-6471<br>043-248-2977 |
| **埼玉県歯科医師会** | 蓮 見 健 壽 | 338-0805 | さいたま市針ケ谷4－2－65<br>彩の国すこやかプラザ内 | 048-829-2323<br>048-829-2376 |
| **東京都学校歯科医会** | 西連寺 愛 憲 | 102-0073 | 千代田区九段北4－1－20<br>新歯科医師会館２Ｆ | 03-3261-1675<br>03-3222-6528 |
| **神奈川県歯科医師会** | 大 森 一 昌 | 231-0013 | 横浜市中区住吉町6－68 | 045-681-2172<br>045-681-2426 |

## 資　料　◆ 日本学校歯科医会加盟団体名簿

| 団　体　名 | 会長名 | 〒 | 所　在　地 | TEL<br>FAX |
|---|---|---|---|---|
| **横浜市歯科医師会** | 志 村 冨士夫 | 231-0012 | 横浜市中区相生町6－107<br>歯科保健総合センター内 | 045-681-1553<br>045-212-4618 |
| **川崎市歯科医師会** | 窪 田 敏 昭 | 210-0006 | 川崎市川崎区砂子2－10－10 | 044-233-4494<br>044-222-3924 |
| **山梨県歯科医師会** | 金 山 公 彦 | 400-0015 | 甲府市大手1－4－1 | 055-252-6481<br>055-253-0854 |
| **長野県歯科医師会** | 一 志 忠 廣 | 380-8583 | 長野市岡田町96 | 026-227-5711<br>026-224-1188 |
| **新潟県歯科医師会** | 神 成 粛 一 | 950-0982 | 新潟市堀之内南3－8－13 | 025-283-3030<br>025-283-6692 |
| **静岡県歯科医師会** | 大久保 満 男 | 422-8006 | 静岡市曲金3－3－10 | 054-283-2591<br>054-283-3590 |
| **愛知県歯科医師会** | 宮 下 和 人 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内3－5－18 | 052-962-8020<br>052-951-5108 |
| **名古屋市学校歯科医会** | 藤 井 宏 次 | 460-8508 | 名古屋市中区三の丸3－1－1<br>市教育委員会学校保健課内 | 052-972-3246<br>052-972-4177 |
| **岐阜県歯科医師会** | 横 山 靖 夫 | 500-8486 | 岐阜市加納城南通1－18<br>県口腔保健センター内 | 058-274-6116<br>058-276-1722 |
| **三重県歯科医師会** | 中 村 宗 矩 | 514-0003 | 津市桜橋2－120－2 | 059-227-6488<br>059-227-0510 |
| **石川県歯科医師会** | 竹 内 太 郎 | 920-0806 | 金沢市神宮寺3－20－5 | 076-251-1010<br>076-251-6450 |
| **福井県学校歯科医会** | 山 口 一 郎 | 910-0011 | 福井市大願寺3－4－1<br>県歯科医師会内 | 0776-21-5511<br>0776-27-5640 |
| **富山県学校歯科医会** | 成 瀬 達 雄 | 930-8501 | 富山市新総曲輪1－7<br>県教育委員会福利保健課内 | 076-432-4754<br>076-444-4436 |
| **滋賀県歯科医師会** | 松 井 成 一 | 520-0044 | 大津市京町4－3－28 | 077-523-2787<br>077-523-2788 |
| **和歌山県学校歯科医会** | 中 谷 譲 二 | 640-8287 | 和歌山市築港1－4－7<br>県歯科医師会内 | 073-428-3411<br>073-431-2660 |
| **奈良県歯科医師会** | 林　　秀 彦 | 630-8002 | 奈良市二条町2－9－2 | 0742-33-0861<br>0742-34-1279 |
| **京都府歯科医師会** | 岩 田　　明 | 604-8415 | 京都市中京区西ノ京栂尾町3－8 | 075-812-8492<br>075-812-8814 |
| **大阪府学校歯科医会** | 瀬 尾　　正 | 543-0033 | 大阪市天王寺区堂ヶ芝1－3－27<br>府歯科医師会内 | 06-6772-8367<br>06-6774-0488 |
| **大阪市学校歯科医会** | 淡 井 一 郎 | 543-0033 | 大阪市天王寺区堂ヶ芝1－3－27<br>府歯科医師会内 | 06-6772-8362<br>06-6774-0488 |
| **兵庫県学校歯科医会** | 澤 田　　隆 | 650-0003 | 神戸市中央区山本通5－7－18<br>県歯科医師会内 | 078-351-4181<br>078-351-4333 |
| **神戸市歯科医師会**<br>**神戸市学校歯科医会** | 木 下 祐 宏 | 650-0003 | 神戸市中央区山本通5－7－17<br>市歯科医師会内 | 078-351-0087<br>078-371-7118 |

| 団　体　名 | 会長名 | 〒 | 所　在　地 | TEL<br>FAX |
|---|---|---|---|---|
| **岡山県歯科医師会<br>学校歯科医部会** | 小林敏郎 | 700-0813 | 岡山市石関町1－5 | 086-224-1255<br>086-224-8561 |
| **鳥取県歯科医師会** | 林　伸伍 | 680-0841 | 鳥取市吉方温泉3－751－5 | 0857-23-2622<br>0857-23-5584 |
| **広島県歯科医師会** | 本山栄荘 | 730-0043 | 広島市中区富士見町11－9 | 082-241-5525<br>082-246-0389 |
| **島根県学校歯科医会** | 四方正光 | 690-0884 | 松江市南田町141－9<br>県歯科医師会内 | 0852-24-2725<br>0852-31-0198 |
| **山口県歯科医師会** | 永冨　稔 | 753-0811 | 山口市吉敷3238 | 083-928-8020<br>083-928-8025 |
| **徳島県歯科医師会** | 川田雄祥 | 770-0003 | 徳島市北田宮1－8－65 | 088-631-3977<br>088-631-4179 |
| **香川県歯科医師会** | 山下喜世弘 | 760-0020 | 高松市錦町2－8－38 | 087-851-4965<br>087-822-4948 |
| **愛媛県歯科医師会** | 須之内淳二 | 790-0014 | 松山市柳井町2－6－2 | 089-933-4371<br>089-932-5048 |
| **高知県歯科医師会** | 恒石定男 | 780-0066 | 高知市比島町4－5－20 | 088-824-3400<br>088-872-8011 |
| **福岡県学校歯科医会** | 有吉茂實 | 810-0041 | 福岡市中央区大名1－12－43<br>県歯科医師会内 | 092-714-4627<br>092-714-7599 |
| **福岡市学校歯科医会** | 大里泰照 | 810-0041 | 福岡市中央区大名1－12－43<br>県歯科医師会内 | 092-781-6321<br>092-781-6512 |
| **佐賀県学校歯科医会** | 門司　健 | 840-0045 | 佐賀市西田代2－5－24<br>県歯科医師会内 | 0952-25-2291<br>0952-22-7586 |
| **長崎県歯科医師会** | 南　幸夫 | 852-8104 | 長崎市茂里町3－19 | 095-848-5311<br>095-846-0175 |
| **大分県歯科医師会** | 近藤俊彦 | 870-0819 | 大分市王子新町6－1 | 097-545-3151<br>097-545-3155 |
| **熊本県歯科医師会** | 堤　直文 | 860-0863 | 熊本市坪井2－3－6 | 096-343-8020<br>096-343-0623 |
| **宮崎県歯科医師会** | 白尾国興 | 880-0021 | 宮崎市清水1－12－2 | 0985-29-0055<br>0985-22-6551 |
| **鹿児島県学校歯科医会** | 大殿雅次 | 892-0841 | 鹿児島市照国町13－15<br>県歯科医師会内 | 099-222-4180<br>099-222-4180 |
| **沖縄県歯科医師会<br>学校歯科医会** | 喜屋武　満 | 901-2134 | 浦添市港川1－36－3 | 098-877-1811<br>098-877-7925 |

# 社団法人 日本学校歯科医会 歴代役員

**昭和56年（1981年）度～平成13年（2001年）度**

（敬称略・順不同）

## ◆昭和56年４月１日 ～ 昭和58年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **名誉会長** | 向井喜男 | | | | |
| **会　長** | 湯浅泰仁 | | | | |
| **副会長** | 川村敏行 | 関口龍雄 | 矢口省三 | | |
| **専務理事** | 貴志　淳 | | | | |
| **常務理事** | 加藤増夫 | 榊原悠紀田郎 | 窪田正夫 | 有本武二 | 小沢忠治 |
| | 内海　濶 | 川村輝雄 | 宮脇祖順 | 石川行男 | 亀沢勝利 |
| | 咲間武夫 | 木津喜　廣 | | | |
| **理　事** | 賀屋重雍 | 西沢　正 | 古川　満 | 島田　清 | 能美光房 |
| | 阿部銑弋 | 板垣正太郎 | 細原　廣 | 斎藤恭助 | 小山　一 |
| | 蒲生勝巳 | 橋本宰司 | 関　信一 | | |
| **監　事** | 大塚　禎 | 小島徹夫 | | | |
| **顧　問** | 東　俊郎 | 岡本清纓 | 中原　実 | 鹿島俊雄 | 中村英男 |
| | 栃原義人 | 稲葉　宏 | | | |
| **参　与** | 榎　智光 | 菅田晴山 | 山幡　繁 | 加藤　栄 | 満岡文太郎 |
| | 川原武夫 | 北総栄男 | 地挽鐘雄 | 石川正策 | 坂田三一 |
| | 三木　亨 | 平林兼吉 | 柏井郁三郎 | 米田貞一 | 竹内光春 |
| | 飯田嘉一 | | | | |

## ◆昭和58年４月１日 ～ 昭和60年３月31日

| | | | |
|---|---|---|---|
| **名誉会長** | 向井喜男 | | |
| **会　長** | 湯浅泰仁（昭和59年２月11日逝去） | 関口龍雄 | |
| **副会長** | 矢口省三 | 坂田三一 | 加藤増夫 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **専務理事** | 貴志 淳 | | | | |
| **常務理事** | 榊原悠紀田郎 | 窪田正夫 | 有本武二 | 内海 濶 | 宮脇祖順 |
| | 川村輝雄 | 石川行男 | 亀沢勝利 | 咲間武夫 | 木津喜 廣 |
| | 賀屋重雍 | 板垣正太郎 | | | |
| **理 事** | 西沢 正 | 古川 満 | 島田 清 | 能美光房 | 阿部銑弋 |
| | 細原 廣 | 斎藤恭助 | 橋本宰司 | 蒲生勝已 | 関 信一 |
| | 高寄 昭 | 大内 隆 | | | |
| **監 事** | 大塚 禎 | 小島徹夫 | | | |
| **顧 問** | 東 俊郎 | 中原 実 | 鹿島俊雄 | 中村英男 | 栃原義人 |
| | 稲葉 宏 | | | | |
| **参 与** | 榎 智光 | 菅田晴山 | 加藤 栄 | 満岡文太郎 | 川原武夫 |
| | 北総栄男 | 地挽鐘雄 | 石川正策 | 三木 亨 | 平林兼吉 |
| | 柏井郁三郎 | 竹内光春 | 飯田嘉一 | 小沢忠治 | |

## ◆昭和60年４月１日 ～ 昭和62年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **名誉会長** | 向井喜男 | | | | |
| **会 長** | 関口龍雄 | | | | |
| **副会長** | 矢口省三 | 坂田三一 | 加藤増夫 | | |
| **専務理事** | 西連寺愛憲 | | | | |
| **常務理事** | 榊原悠紀田郎 | 有本武二 | 内海 濶 | 宮脇祖順 | 川村輝雄 |
| | 石川行男 | 亀沢勝利 | 咲間武夫 | 賀屋重雍 | 板垣正太郎 |
| | 西沢 正 | 松本 博 | | | |
| **理 事** | 木津喜 廣 | 古川 満 | 島田 清 | 能美光房 | 細原 廣 |
| | 斎藤恭助 | 蒲生勝已 | 高寄 昭 | 大内 隆 | 田熊恒寿 |
| | 中島清則 | | | | |
| **監 事** | 大塚 禎 | 小島徹夫 | 窪田正夫 | | |
| **顧 問** | 東 俊郎 | 中原 実 | 鹿島俊雄 | 中村英男 | 稲葉 宏 |
| **参 与** | 榎 智光 | 菅田晴山 | 加藤 栄 | 満岡文太郎 | 川原武夫 |
| | 北総栄男 | 地挽鐘雄 | 三木 亨 | 平林兼吉 | 柏井郁三郎 |
| | 竹内光春 | 飯田嘉一 | 小沢忠治 | | |

## ◆昭和62年４月１日 ～ 平成元年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **名誉会長** | 向井喜男 | 関口龍雄 | | | |
| **会 長** | 加藤増夫 | | | | |
| **副会長** | 咲間武夫 | 有本武二 | 佐藤裕一 | | |
| **専務理事** | 西連寺愛憲 | | | | |
| **常務理事** | 榊原悠紀田郎 | 川村輝雄 | 亀沢勝利 | 石川行男 | 有吉茂實 |

## ◆ 日本学校歯科医会歴代役員

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 八竹良清 | 藤井　勉 | 斎藤　昇 | 石川　實 | 櫻井善忠 |
| | 松本　博 | 橋場恒雄 | 鈴木　實 | | |
| **理　事** | 斎藤恭助 | 蒲生勝巳 | 中島清則 | 田熊恒寿 | 大内　隆 |
| | 高寄　昭 | 朝浪惚一 | 瀬口紀夫 | 石井謙二郎 | 永冨　稔 |
| | 斎藤　尊 | 田中雄三 | 湯浅太郎 | | |
| **監　事** | 大塚　禎 | 窪田正夫 | 内海　潤 | | |
| **顧　問** | 中原　実 | 鹿島俊雄 | 中村英男 | 稲葉　宏 | |
| **参　与** | 竹内光春 | 飯田嘉一 | 小沢忠治 | 宮脇祖順 | 板垣正太郎 |
| | 西沢　正 | 小島徹夫 | 木津喜　廣 | | |

### ◆平成元年４月１日 ～ 平成３年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **会　長** | 加藤増夫 | | | | |
| **副会長** | 佐藤裕一 | 高橋一夫 | 木村慎一郎 | | |
| **専務理事** | 西連寺愛憲 | | | | |
| **常務理事** | 斎藤　昇 | 沢辺安正 | 湯浅太郎 | 石川　實 | 櫻井善忠 |
| | 斎藤　尊 | 五十嵐武美 | 鈴木　實 | 松岡　博 | 八竹良清 |
| | 川口吉雄 | 有吉茂實 | | | |
| **理　事** | 立花義康 | 石井謙二郎 | 神戸義二 | 草薙雄進 | 中島清則 |
| | 近藤三雄 | 朝浪惣一 | 田熊恒寿 | 和田久幸 | 篠田忠夫 |
| | 岡田誠一 | 田中雄三 | 瀬口紀夫 | | |
| **監　事** | 石川行男 | 榊原悠紀田郎 | 有本武二 | | |
| **顧　問** | 山崎数男 | 関口龍雄 | | | |
| **参　与** | 小沢忠治 | 宮脇祖順 | 板垣正太郎 | 西沢　正 | 木津喜　廣 |
| | 咲間武夫 | 窪田正夫 | 川村輝夫 | 藤井　勉 | 橋場恒雄 |
| | 松本　博 | | | | |

### ◆平成３年４月１日 ～ 平成５年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **会　長** | 加藤増夫 | | | | |
| **副会長兼専務理事** | 西連寺愛憲 | | | | |
| **副会長** | 木村慎一郎 | 松島悌二 | | | |
| **常務理事** | 立花義康 | 神戸義二 | 湯浅太郎 | 麻生敏夫 | 石川　實 |
| | 斎藤　尊 | 櫻井善忠 | 西村　誠 | 五十嵐武美 | 多名部金徳 |
| | 中森康二 | 有吉茂實 | | | |
| **理　事** | 田熊恒寿 | 中脇恒夫 | 郷家智道 | 遠藤松夫 | 野溝正志 |
| | 朝浪惣一 | 近藤三雄 | 中島清則 | 木村雅行 | 浅井計征 |
| | 篠田忠夫 | 岡田誠一 | 佐川　肇 | 瀬口紀夫 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **監　事** | 佐藤裕一 | 榊原悠紀田郎 | 平塚哲夫 | | |
| **顧　問** | 中原　爽 | 関口龍雄 | | | |
| **参　与** | 宮脇祖順 | 板垣正太郎 | 西沢　正 | 木津喜　廣 | 咲間武夫 |
| | 窪田正夫 | 川村輝雄 | 藤井　勉 | 橋場恒雄 | 松本　博 |
| | 斎藤　昇 | 高橋一夫 | 鈴木　實 | 松岡　博 | 八竹良清 |
| | 川口吉雄 | 石川行男 | 有本武二 | | |

## ◆平成５年４月１日 ～ 平成７年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **会　長** | 加藤増夫 | | | | |
| **副会長兼専務理事** | 西連寺愛憲 | | | | |
| **副会長** | 木村慎一郎 | 松島悌二 | | | |
| **常務理事** | 立花義康 | 郷家智道 | 神戸義二 | 湯浅太郎 | 麻生敏夫 |
| | 石川　實 | 中脇恒夫 | 西村　誠 | 五十嵐武美 | 生駒　等 |
| | 中森康二 | 藤岡道治 | 有吉茂實 | | |
| **理　事** | 櫻井善忠（常務待遇） | | 斎藤　浩 | 野溝正志 | 梅田昭夫 |
| | 片山公平 | 藤井宏次 | 羽田義彦 | 中島清則 | 人見晃司 |
| | 浅井計征 | 篠田忠夫 | 岡田誠一 | 松下　忍 | 瀬口紀夫 |
| **監　事** | 佐藤裕一 | 秋山友蔵 | 平塚哲夫 | | |
| **顧　問** | 中原　爽 | 関口龍雄 | 榊原悠紀田郎 | | |
| **参　与** | 宮脇祖順 | 板垣正太郎 | 西沢　正 | 川村輝雄 | 藤井　勉 |
| | 斎藤　昇 | 高橋一夫 | 鈴木　實 | 松岡　博 | 八竹良清 |
| | 川口吉雄 | 石川行男 | 有本武二 | 斎藤　尊 | 多名部金徳 |
| | 田熊恒寿 | 朝浪惣一 | | | |

## ◆平成７年４月１日 ～ 平成９年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **名誉会長** | 加藤増夫 | | | | |
| **会　長** | 西連寺愛憲 | | | | |
| **副会長** | 櫻井善忠 | 松島悌二 | 西野恭正 | | |
| **専務理事** | 小林菊生 | | | | |
| **常務理事** | 立花義康 | 郷家智道 | 神戸義二 | 浦島　治 | 石川　實 |
| | 中田郁平 | 五十嵐武美 | 藤井宏次 | 岡村親一郎 | 飯島恵一 |
| | 藤岡道治 | 有吉茂實 | | | |
| **理　事** | 福井初雄（常務待遇） | | 本内榮一 | 野溝正志 | 梅田昭夫 |
| | 片山公平 | 河合良明 | 羽田義彦 | 人見晃司 | 添田　廣 |
| | 瀬尾　正 | 松岡　博 | 高島恭一 | 瀬口紀夫 | |
| **監　事** | 佐藤裕一 | 秋山友蔵 | 平塚哲夫 | | |
| **顧　問** | 中原　爽 | 関口龍雄 | 榊原悠紀田郎 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **参　与** | 藤井　勉 | 斎藤　昇 | 高橋一夫 | 八竹良清 | 川口吉雄 |
| | 石川行男 | 有本武二 | 齋藤　尊 | 多名部金徳 | 田熊恒寿 |
| | 朝浪惣一 | 木村慎一郎 | 湯浅太郎 | 麻生敏夫 | 中脇恒夫 |
| | 生駒　等 | 中森康二 | 中島清則 | 篠田忠夫 | 岡田誠一 |

## ◆平成９年４月１日 ～ 平成11年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **会　長** | 西連寺愛憲 | | | | |
| **副会長** | 松島悌二 | 梅田昭夫 | 櫻井善忠 | | |
| **専務理事** | 森本　基 | | | | |
| **常務理事** | 立花義康 | 阿部洋一郎 | 福井初雄 | 浦島　治 | 中田郁平 |
| | 丸山進一郎 | 相澤　恒 | 河合良明 | 藤井宏次 | 龍門敦子 |
| | 藤岡道治 | 有吉茂實 | | | |
| **理　事** | 本内榮一 | 野溝正志 | 田中　順 | 藤原雅和 | 人見晃司 |
| | 平塚靖規 | 佐藤文夫 | 内海明夫 | 坂口喜史夫 | 高島恭一 |
| | 長楽謙輔 | | | | |
| **監　事** | 佐藤裕一 | 秋山友蔵 | 平塚哲夫 | | |
| **顧　問** | 中原　爽 | 加藤増夫 | 関口龍雄 | 榊原悠紀田郎 | 石川　實 |
| **参　与** | 斎藤　尊 | 多名部金徳 | 田熊恒壽 | 木村慎一郎 | 湯浅太郎 |
| | 麻生敏夫 | 中脇恒夫 | 生駒　等 | 中森康二 | 中島清則 |
| | 岡田誠一 | 西野恭正 | 小林菊生 | 郷家智道 | 神戸義二 |
| | 五十嵐武美 | 岡村親一郎 | 飯島恵一 | | |

## ◆平成11年４月１日 ～ 平成13年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **会　長** | 西連寺愛憲 | | | | |
| **副会長** | 松島悌二 | 梅田昭夫 | 櫻井善忠 | | |
| **専務理事** | 福井初雄（平成12年７月25日逝去） | 森本　基 | | | |
| **常務理事** | 新井誠四郎 | 阿部洋一郎 | 野溝正志 | 高木忠雄 | 中田郁平 |
| | 丸山進一郎 | 相澤　恒 | 河合良明 | 藤井宏次 | 瀬尾　正 |
| | 中井　洋 | 野見山滋光 | | | |
| **理　事** | 本内榮一 | 田中　順 | 望月兵衛 | 藤原雅和 | 柘植紳平 |
| | 人見晃司 | 佐々木　貞 | 箸方俊雄 | 田中雄三 | 高島恭一 |
| | 吉元辰二 | | | | |
| **監　事** | 立花義康 | 秋山友蔵 | 平塚哲夫 | | |
| **顧　問** | 臼田貞夫 | 榊原悠紀田郎 | 石川　實 | | |
| **参　与** | 木村慎一郎 | 湯浅太郎 | 麻生敏夫 | 中脇恒夫 | 生駒　等 |
| | 中森康二 | 中島清則 | 岡田誠一 | 西野恭正 | 小林菊生 |
| | 郷家智道 | 神戸義二 | 五十嵐武美 | 岡村親一郎 | 飯島恵一 |
| | 有吉茂實 | | | | |

## ◆平成13年４月１日～平成15年３月31日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **会　長** | 西連寺 愛憲 | | | | |
| **副会長** | 松島悌二 | 梅田昭夫 | 白尾国興 | | |
| **専務理事** | 櫻井善忠 | | | | |
| **常務理事** | 新井誠四郎 | 佐藤健一 | 野溝正志 | 湯浅太郎 | 高木忠雄 |
| | 相澤　恒 | 藤井宏次 | 岡村親一郎 | 中井　洋 | 野見山滋光 |
| **理　事** | 中條幸一 | 片野光一郎 | 藤原雅和 | 森田　敏 | 柘植紳平 |
| | 岸　文隆 | 長尾　保 | 日野完夫 | 大塚一仁 | 米津隆仁 |
| **監　事** | 平塚哲夫 | 森本　基 | 入交重道 | | |

〈**総務部会**〉

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会　長 | 西連寺 愛憲 | | |
| 専務理事 | 櫻井善忠 | | |
| 部　員 | 中田郁平（常務理事待遇） | 丸山進一郎（常務理事待遇） | |
| | 望月兵衛（常務理事待遇） | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **顧　問** | 臼田貞夫 | 榊原悠紀田郎 | 石川　實 | | |
| **参　与** | 西野恭正 | 小林菊生 | 郷家智道 | 神戸義二 | 五十嵐武美 |
| | 飯島恵一 | 有吉茂實 | 阿部洋一郎 | 河合良明 | 瀬尾　正 |
| | 本内榮一 | 人見晃司 | 田中雄三 | 高島恭一 | 立花義康 |

資料-１

# 叙勲・褒章

（敬称略・順不同）

## ● 昭和57年

M　　o ı fi œ ″

阿部　巌（福岡県）　江崎　清（長崎県）　加藤　譲太郎（群馬県）　中島　鑛蔵（長野県）
浦野　五郎雄（長野県）

M　　″

斉藤正一（茨城県）　榊原　勝（茨城県）　山田辰三（埼玉県）　白井幸槌（東京都）
野田吉雄（石川県）　和田忠三（長野県）　清水　平一郎（静岡県）　小西加濃（岡山県）
平田　亨（佐賀県）　阿部鉄弋（愛知県）　安田千秋（鳥取県）　杉浦　實（静岡県）
島田　余三男（富山県）　佐藤　一（愛媛県）　國澤重仲（高知県）　小沢　亨（滋賀県）

ｷ J ″

秋山友蔵（茨城県）

## ● 昭和58年

M l　fi œ ‹ ｷ ″

磯貝　豊（千葉県）

M　　o ı fi œ ″

湯川琢磨（広島県）　田中唯夫（静岡県）　西川一夫（滋賀県）　細川親文（大阪府）
中川　清（愛媛県）

M　　″

尾崎　貞（長崎県）　今井四郎三郎（長野県）　橋詰光輝（福岡県）　戸塚孝一郎（静岡県）
宮田　要（茨城県）　坂口和夫（長野県）　増田悦蔵（埼玉県）　川口進吾（神奈川県）
前田忠蔵（北海道）　小要利雄（東京都）　小高啓三（富山県）　城取清晴（長野県）
佐々木　果（三重県）

ｷ J ″

澤辺安正（埼玉県）　平塚哲夫（京都府）　咲間武夫（東京都）

## ● 昭和59年

M　　o ı fi œ ″

朝浪惣一（静岡県）　井出兼次（神奈川県）　小野敬晃（福岡県）　大羽　武（静岡県）
島田栄吉（富山県）

M　　″

大澤　實（茨城県）　小川　潜（佐賀県）　吉川義人（東京都）　椎原誠治（鹿児島県）

出羽　卓次郎（千葉県）　中林　清（埼玉県）　日野　弘（愛媛県）　井原泰次（埼玉県）
早乙女　篤（山梨県）　高橋　進（愛媛県）　中尾文吉（広島県）　中村源七（神奈川県）
古屋啓作（山梨県）　山瀬英雄（東京都）
ｵｼﾞ
宮脇祖順（大阪府）

## ●昭和60年

M　　ｏｉfiœ〃
笠原正文（長野県）　小杉　正一郎（青森県）　露崎　松五郎（千葉県）　若松政次（茨城県）
山岡満治（埼玉県）　松崎正己（東京都）
M　　〃
大塚達郎（埼玉県）　曽我　太（滋賀県）　岡安　謙（石川県）　杉森秀雄（石川県）
杉本茂春（大阪府）　児玉　ミヨ子（広島県）　越智幹夫（愛媛県）　城石弘光（福岡県）
木下勝代（長野県）　胆付　保（鹿児島県）　林　豊（広島県）　坂野三郎（愛知県）
飯田嘉孝（三重県）　並木芳夫（埼玉県）　三宅豊實（島根県）　神坂純次（秋田県）
梶　壽一（兵庫県）
MZ　　¥〃
田中　ちやう（東京都）
ｵｼﾞ
神戸義二（群馬県）

## ●昭和61年

M　　ｏｉfiœ〃
小澤忠治（和歌山県）　小谷敏春（香川県）　石川新七（静岡県）　領家克己（島根県）
M　　〃
飯久保　正克（福島県）　廣瀬政一（茨城県）　関口正雄（埼玉県）　榎　智光（千葉県）
服部　孟（岡山県）　米多比　勝三（福岡県）　高橋一男（愛知県）　寺野保夫（大阪府）
末兼悦二（広島県）　吉井二郎（埼玉県）　山田　茂（長野県）　堀之内　哲夫（宮崎県）
松本守壽（長野県）　牛村一男（石川県）　奥家廣一（東京都）　山田　潤（神奈川県）
林　弘（富山県）　細谷　學（群馬県）　今井林三郎（岐阜県）　成田清次（埼玉県）
千葉武男（奈良県）

## ●昭和62年

M　　ｏｉfiœ〃
毛利亮茂（福岡県）　大江正次（奈良県）　藤井尋造（静岡県）　夫馬嘉男（愛知県）
板垣正太郎（青森県）　立木彌太郎（滋賀県）　冨田光男（三重県）
M　　〃
三宅俊造（長野県）　大熊猛郎（岡山県）　小島徹夫（東京都）　谷田部　巖（茨城県）
澁谷一郎（北海道）　北総榮男（千葉県）　松村智徳（埼玉県）　石川夏吉（埼玉県）
鶴岡武一（東京都）　沖田弘正（富山県）　井原正安（静岡県）　田中正芳（長崎県）
濱見秀哉（京都府）　森　重雄（鹿児島県）
MZ　Ｐｉfiœ〃
武居　勇（東京都）

## ●昭和63年

M　　ｏｉfiœ〃

中田収介（島根県）　鈴木一男（福島県）　大澤一康（静岡県）　小濱重利（鹿児島県）
大竹節二（静岡県）　香田正男（長崎県）

M　　〃

千川茂雄（群馬県）　丹羽又平（石川県）　田原長衛（愛知県）　佐々木　政男（埼玉県）
榎本　　赳（千葉県）　遠刕市郎（岩手県）　佐藤健司（滋賀県）　中村篤夫（大阪府）
西澤　　正（福岡県）　早川武則（山梨県）　勝沼金彦（埼玉県）　川村輝雄（滋賀県）
吉岡尊治（広島県）　木口千秋（岡山県）　佐渡永貞（富山県）　柳川ハル（神奈川県）

ＭＺ　Ｐｉfiœ〃

高野文夫（茨城県）

## ●平成元年

M　　ｏｉfiœ〃

坂本良作（高知県）　中根　　實（東京都）　黒瀬武男（広島県）　杉村良雄（奈良県）
吉良憲夫（埼玉県）　井上丈夫（岩手県）

M　　〃

山口省吾（茨城県）　秋田康夫（京都府）　大﨑　　恭（大阪府）　山田謙三（長崎県）
横山清理（鹿児島県）　高橋　　弘（青森県）　瀧澤　　泉（長野県）　伊保内　政一（岩手県）
兼田和雄（石川県）　内川　　進（長崎県）　松生貞夫（三重県）　安岡　　正（北海道）
浅井壽一（静岡県）　原　　三正（岡山県）　小林茂一（群馬県）

Ｍｌ　　〃

咲間武夫（東京都）

ｌＪ〃

西連寺　愛憲（東京都）

## ●平成２年

M　　ｏｉfiœ〃

永山三郎（鹿児島県）　鈴木吉平（埼玉県）　久米　　悟（徳島県）　米田　　實（広島県）
久本精一（香川県）

M　　〃

尾崎藤義（福岡県）　佐藤武夫（福島県）　高松眞一（高知県）　加部美男（群馬県）
岡村一夫（静岡県）　永井藤一郎（高知県）　田中典臣（神奈川県）　野田久雄（長崎県）
池田　　清（千葉県）　葛城徳彦（茨城県）　千葉榮一（岩手県）　葭田國光（埼玉県）
鈴木　　寛（東京都）　松井健三（京都府）　中野　　稔（徳島県）

## ●平成３年

M　　ｏｉfiœ〃

石橋不二三（茨城県）　富田敬男（千葉県）　福辻靖典（和歌山県）　増井寅男（広島県）
米良卓郎（鹿児島県）　村田雅雄（岩手県）　前田秀夫（和歌山県）

M　　〃

行木博男（神奈川県）　熊木甚朔（富山県）　小林　喜久丸（長野県）　山口晋作（静岡県）
北井政夫（滋賀県）　森戸彌助（島根県）　福島吉夫（岡山県）　藤原繁明（徳島県）
大膳哲朗（愛媛県）　吉岡酉一郎（高知県）　横山韓一郎（佐賀県）　尼子豊州（長崎県）

毛呂ナミ（埼玉県）　宮澤　喬（青森県）　鳥塚重義（埼玉県）　高橋一夫（神奈川県）
杉本　幸（静岡県）　岩名　彰（三重県）　瀬川　巌（広島県）　瀧川禎三（徳島県）
竹村　信（長崎県）

## ●平成４年

M　o ı fi œ ″
山崎安隆（富山県）　高見澤幸助（長野県）　湊　信一（兵庫県）　沖本秀夫（広島県）
豊嶋武夫（香川県）　佐藤正弘（鹿児島県）　塚越三郎（群馬県）
M　″
宇治川清三（群馬県）　丸山達吉（埼玉県）　咲間　廣（東京都）　杉田徳男（山梨県）
中原政雄（静岡県）　大菊義春（高知県）　長岡　守（高知県）　松田とよの（茨城県）
長谷川民代（宮崎県）　金山富光（岩手県）　尾之内　茂（愛知県）　北澤利康（長野県）
大橋紀男（和歌山県）　勝島榮太郎（広島県）　鐘築好光（島根県）
ｷ J ″
熊谷　淳（青森県）

## ●平成５年

M　o ı fi œ ″
宇山武夫（神奈川県）　渡邉民衛（宮城県）　清水峯雪（三重県）　木原敏雄（奈良県）
M　″
安田良造（青森県）　都橋泰明（鳥取県）　鎗田　靖（埼玉県）　小竹俊夫（茨城県）
荻野季樹（長野県）　武藤久一（静岡県）　黒木正直（富山県）　上田正一（奈良県）
齋藤順太郎（広島県）　西村一乗（島根県）　山本和男（高知県）　諸熊正武（長崎県）
田淵ミフ（鹿児島県）　新井りか（群馬県）　高野良治（埼玉県）　齋藤和吉（静岡県）
田中直次（富山県）　村辻武貞（和歌山県）　元津陽一（兵庫県）
ｷ J ″
梅田昭夫（東京都）

## ●平成６年

M　o ı fi œ ″
小川武正（青森県）　佐々木幸男（広島県）　木場哲夫（鹿児島県）　曽根良三（岩手県）
畑　晃（和歌山県）　佐々木　積（広島県）
M　″
青木　衛（茨城県）　内田藤太郎（埼玉県）　日暮久彌（千葉県）　吉田　茂（富山県）
三宅　寛（京都府）　谷上利夫（兵庫県）　武田新吉（徳島県）　原　敬三（高知県）
湯本雄三（群馬県）　島田一郎（埼玉県）　井出仁一（山梨県）　児島弘輔（長野県）
山田正平（岐阜県）　江馬専輔（静岡県）　山口唯夫（兵庫県）　山本金作（岡山県）
岩崎三郎（福岡県）　友利惠亮（沖縄県）
ｷ J ″
前野　長（東京都）　田中雄三（愛媛県）

## ●平成７年

M　　o ı fi œ ″

谷　　幸 信（神奈川県）　　本 田　　學（福岡県）

M　　″

安 藤　　進（茨城県）　　増田喜久次郎（千葉県）　　板 橋　　修（富山県）　　杉 山　　鋪（愛知県）
筧　　甚 七（岐阜県）　　藤 本 篤 三（滋賀県）　　山 口 千之介（大阪府）　　近 藤 基 珍（広島県）
坂 本 貞 言（高知県）　　朝 隈 兼 士（鹿児島県）　　樋 口 政 雄（北海道）　　遠 藤 義 見（宮城県）
伊 東 義 博（群馬県）　　飯 原　　澄（新潟県）　　柴 田 勇 夫（石川県）　　峰　　正 一（三重県）
松 田 源 二（滋賀県）　　田 代 隆 一（佐賀県）

ｷ J ″

立 花 義 康（青森県）　　生 田 博 康（東京都）

## ●平成８年

M　　o ı fi œ ″

河 野　　修（和歌山県）

M　　″

藤 田 ト ク（青森県）　　齋 藤 フ サ（岩手県）　　中 村 正 夫（茨城県）　　丸 山 敏 夫（埼玉県）
小 杉 元 治（富山県）　　青 景 茂 樹（広島県）　　山 根 貞二郎（山口県）　　中 瀬　　隆（徳島県）
井 関　　拓（高知県）　　太 原 一 雄（鹿児島県）　　瀬 底 正 俊（沖縄県）　　槇　　さ ち（青森県）
太 宰 靖 夫（宮城県）　　町 田 武一郎（長野県）　　吉 田 冨美子（山口県）　　塩 田 尚 文（香川県）
岩 屋 常 夫（長崎県）

M O　　″

秋 山 友 蔵（茨城県）

ｷ J ″

林　　伸 伍（鳥取県）

## ●平成９年

M　　o ı fi œ ″

本 間 藤 彦（福島県）　　須 山 禮 吉（広島県）　　大 西 文 男（徳島県）　　長 野　　勲（高知県）
古 谷　　肇（長野県）　　多 田 一 夫（滋賀県）　　岩 本 哲 哉（山口県）

M　　″

稀 代 祐 次（北海道）　　渡 邉　　耐（茨城県）　　越 川 二 郎（千葉県）　　島 田 恒 夫（神奈川県）
中 嶋 忠 一（富山県）　　角　　三 郎（石川県）　　西 本 弘 志（岐阜県）　　澤 田 善太郎（静岡県）
浅 井　　修（愛知県）　　藤 井 謙 二（山口県）　　田 中 嘉 實（福岡県）　　桐 原 一 夫（鹿児島県）
工 藤 き み（青森県）　　瓦 田 純 子（岩手県）　　太 田 敏 子（宮城県）　　葛 西 恵 子（秋田県）
加 藤 外久男（石川県）　　佐々木萬之助（愛知県）　　谷 崎 幸 夫（三重県）　　龍 門 敦 子（大阪府）
岩 田 富久重（宮崎県）

M l　fi œ ″

松 尾　　學（東京都）

ｷ J ″

川 嶋 慶 三（青森県）

## ● 平成10年

M　　o ı fi œ ″
原　善兵衛（新潟県）
M　　″
葛西金治（青森県）　米倉俊夫（宮城県）　杉田郁二郎（茨城県）　森　富榮（埼玉県）
長塚元男（千葉県）　平林瑛一（愛知県）　今井菊雄（岐阜県）　中村昭治（石川県）
鈴間　満（和歌山県）　安井一雄（京都府）　橋本和起子（岡山県）　近藤一明（広島県）
森　顕義（徳島県）　平田正行（香川県）　高森三利（長崎県）　肥後丸海（鹿児島県）
大内武一（宮城県）　笠間行雄（群馬県）　荒井省三（石川県）　有馬和弘（滋賀県）
中村供一（岡山県）　小林正仔（山口県）　溝越威夫（長崎県）
ﾚJ ″
櫻井善忠（東京都）

## ● 平成11年

M　　o ı fi œ ″
奥村雄作（滋賀県）　伊﨑信雄（大阪府）　有吉茂實（福岡県）
M　　″
吉岡隆一（青森県）　齋藤隆吉（秋田県）　二瓶博利（福島県）　島田弘之（茨城県）
佐藤學而（千葉県）　高田寅四郎（富山県）　中濱二郎（石川県）　椙山　茂（岐阜県）
谷口　曠（愛知県）　髙屋治代（京都府）　田中瑞穂（島根県）　吉﨑文彦（岡山県）
生田　仁（広島県）　楢原貴美子（長崎県）　遠矢政則（鹿児島県）　笹嶋　正（北海道）
廣岡　健（宮城県）　関　國惠（埼玉県）　関戸利夫（神奈川県）　石塚要次郎（長野県）
大岩　守（三重県）　後藤直行（島根県）　小方　融（山口県）　坂本叡一（徳島県）
原田橘造（鹿児島県）

## ● 平成12年

M　　o ı fi œ ″
小渕隆亮（和歌山県）　児玉利徳（鹿児島県）
M　　″
佐藤信男（徳島県）　松浦誠一（茨城県）　平形酉壽（群馬県）　加賀美敏明（千葉県）
山中觀一（新潟県）　住井鐵造（滋賀県）　中尾澄子（鳥取県）　野津正三（島根県）
小島基佐子（広島県）　伏見敏郎（北海道）　亘理昭太郎（宮城県）　重原俊夫（神奈川県）
大島國男（新潟県）　小竹　猛（石川県）　伊藤　章（岐阜県）　阪本義樹（大阪府）
栃木禮子（島根県）　徳永久人（広島県）　長山平太郎（高知県）　菅　公義（長崎県）

## ● 平成13年

M　　o ı fi œ ″
奥寺恒夫（青森県）　澤田　稔（熊本県）
M　　″
米澤　澄（宮城県）　松岸吉晴（山形県）　栗城昭吉（福島県）　小島建一（茨城県）
宮澤國利（埼玉県）　宮吉　中（千葉県）　高亀次郎（広島県）　田中　實（愛媛県）
門馬勝雄（青森県）　掘米榮一（岩手県）　小林徹夫（秋田県）　渡部　章（新潟県）
山本奎一（三重県）　田中　稔（大阪府）　杉本隆則（香川県）　岸本千年（大分県）
羽田義彦（岐阜県）

# 資料-２
# 文部大臣表彰者

敬称略・原則として行政区分順

## ● 昭和57年

木村　董（北海道）　寺田護磨（宮城県）　高橋　明（山形県）　遅沢文男（栃木県）
久保田知巳（群馬県）　戸張芳郎（埼玉県）　山瀬英雄（東京都）　新藤貞秋（神奈川県）
佐渡永貞（富山県）　蒲生勝巳（岐阜県）　内藤　清（愛知県）　三宅　寛（京都府）
領家克巳（島根県）　米田　実（広島県）　久保田　隆（広島県）　小谷敏春（香川県）
田島喜二郎（福岡県）　小川　潜（佐賀県）　大平俊男（長崎県）　福原季好（大分県）
鎌田政秀（宮崎県）
団体表彰・秋田市歯科医師会（秋田県）

## ● 昭和58年

小川武正（青森県）　遠刕市郎（岩手県）　河野秀夫（山形県）　秋山友蔵（茨城県）
北総栄男（千葉県）　池田三郎（東京都）　小宅初美（東京都）　佐久間太郎（神奈川県）
田熊恒寿（愛知県）　辻本信輝（和歌山県）　小山　一（京都府）　若林良昌（大阪府）
斎藤恭助（兵庫県）　橋本宰司（福岡県）

## ● 昭和59年

横山　勇（北海道）　馬場千代治（岩手県）　遠藤一秋（秋田県）　鶴岡武一（東京都）
末廣力雄（東京都）　高橋一夫（東京都）　中根　実（東京都）　木津喜　廣（東京都）
村上仁信（神奈川県）　大竹節二（静岡県）　高橋一男（愛知県）　速水昭介（滋賀県）
奥野喜一（大阪府）　大崎　恭（大阪府）　松本治男（鳥取県）　井奥一夫（岡山県）
小倉正喜（香川県）　竹本誠一（高知県）　有吉茂實（福岡県）　神戸　明（長崎県）
横山清里（鹿児島県）

## ● 昭和60年

菊地直良（青森県）　千葉栄一（岩手県）　岡部　衛（宮城県）　斎藤義輔（秋田県）
吉見東太郎（群馬県）　大塚皓司（東京都）　倉持　敬（神奈川県）　貴志　淳（神奈川県）
中島清則（富山県）　太田正利（岐阜県）　中川嘉雄（京都府）　濱地清哉（大阪府）
細原　廣（兵庫県）　喜多村　勝（奈良県）　川口吉雄（和歌山県）　町田二男（高知県）
小林　力（福岡県）

## ● 昭和61年

桜田洋一（札幌市）　福成　覚（岩手県）　小澤雄象（秋田県）　渡邊民衛（宮城県）

石井研二（茨城県）　相原誠一郎（千葉県）　角田正之（埼玉県）　山田保夫（東京都）
高松達郎（神奈川県）　小松　操（山梨県）　吉田栄也（三重県）　高田　恬（滋賀県）
藤井　勉（大阪府）　永冨　稔（山口県）　豊嶋武夫（香川県）　宮川　正（高知県）
日高盛隆（福岡県）　神戸義二（群馬県）

q　TOæS　wZ　¨　／　LO¶　b\†　i　\„　jr｜″aUPNx｜

相田孝信（埼玉県）　秋田康夫（京都府）　秋山誠一（神奈川県）　阿左見　工（千葉県）
足立　清（横浜市）　五十嵐辰伍（新潟県）　井口良雄（滋賀県）　生駒元紀（千葉県）
石川　武（静岡県）　石崎　進（京都府）　石田久邇子（宮城県）　市川武雄（北海道）
伊藤正人（横浜市）　井上丈夫（岩手県）　井上正夫（徳島県）　今井　晋（兵庫県）
上田三雄（福岡県）　江口良雄（名古屋市）　円城寺一彦（埼玉県）　遠藤　陽（名古屋市）
遠藤義見（宮城県）　大神　正（福岡市）　大楠廣吉（福岡県）　大久保富夫（千葉県）
大沢一康（静岡県）　大田裕典（福岡県）　大塚通義（横浜市）　大仲重雄（沖縄県）
大部健之助（福岡県）　大矢栄太郎（名古屋市）　岡田太一（福井県）　岡村英二（奈良県）
小川博通（東京都）　荻生俊雄（福島県）　長　一貫（東京都）　小笹ヤヱ（大阪府）
小田部　利（宮城県）　小田久輝（大阪府）　小田中　務（兵庫県）　笹倉てる子（東京都）
笠倉武男（群馬県）　片山忠夫（神奈川県）　片山茂而木（大阪府）　加藤良博（大阪市）
角　源五郎（香川県）　鎌田榮一（東京都）　釜田彰介（神戸市）　河崎　澄（石川県）
河辺重勝（東京都）　神波義憲（広島県）　木口千秋（岡山県）　岸田　明（千葉県）
岸本順一（兵庫県）　櫛淵金一郎（群馬県）　工藤俊三郎（山形県）　久保庭静男（東京都）
熊瀬逸男（大分県）　雲川重雄（大阪府）　桑原　覚（大阪市）　香田正男（長崎県）
小玉藤美成（秋田県）　小林　章（東京都）　小松専吾（山形県）　近藤　登（神奈川県）
近内正尚（福島県）　斎藤哲三（栃木県）　咲間　廣（東京都）　桜井佐内（東京都）
佐々木久男（東京都）　里見正吾（東京都）　里村彦一（千葉県）　佐野寿章（山梨県）
庄司土佐男（高知県）　篠崎正義（東京都）　下野　晄（鹿児島県）　須川将好（和歌山県）
杉井勝人（東京都）　杉村良雄（奈良県）　杉本　幸（静岡県）　鈴木喜平（栃木県）
鈴木　寛（東京都）　須田　豊（群馬県）　関　憲一（岐阜県）　関　信一（富山県）
瀬沼壽一（東京都）　添田喜道（福島県）　高田富男（大阪府）　高田直秀（宮城県）
高野文夫（茨城県）　武智友康（愛媛県）　立山美範（熊本県）　田中勝雄（横浜市）
田中典臣（神奈川県）　谷江淳一（岐阜県）　田伏　孝（大阪府）　田村　猛（大阪府）
田母神芳美（宮城県）　坪井清一（愛知県）　当麻涼一郎（川崎市）　徳永正行（熊本県）
都橋泰明（鳥取県）　鳥山正也（大阪府）　土井　博（神奈川県）　中村善一郎（岩手県）
永井銀三郎（東京都）　長尾利雄（大阪府）　永田　穣（兵庫県）　長野信一（福岡県）
根来典夫（和歌山県）　野本洋助（東京都）　服部堅吾（静岡県）　長谷川　清（名古屋市）
長谷川民代（宮崎県）　畑本悌男（香川県）　浜名三雄（群馬県）　早川秀夫（岐阜県）
林　武夫（兵庫県）　林　光徳（鹿児島県）　原田茂雄（福島県）　馬場孝逸（岐阜県）
平林　正（長野県）　福田吉春（福岡県）　藤井謙二（山口県）　藤井尋造（静岡県）
佛願広太郎（大阪府）　佛願義男（大阪府）　豊丹生氏美（福岡県）　分田文子（富山県）
前田次郎（神戸市）　牧野静夫（大阪府）　松生貞夫（三重県）　松田清正（大阪市）
松村輝雄（埼玉県）　御厨利喜太（佐賀県）　南　正雄（大阪府）　南　政幸（福岡県）
宮崎謹而（福岡県）　宮島照夫（徳島県）　宮本郷三（京都府）　武藤久一（静岡県）
望月志げ子（静岡県）　森田信一（東京都）　森戸弥助（島根県）　安永シゲ（札幌市）
矢田幸夫（福岡市）　山県尚夫（川崎市）　山口秀壽（神奈川県）　山田　實（千葉県）
豊　清（大阪市）　吉井二郎（埼玉県）　吉田繁雄（愛媛県）　吉田大浩（埼玉県）
吉野　明（神奈川県）　吉本二郎（兵庫県）　渡辺重幸（岩手県）　渡辺太郎松（京都府）

## ● 昭和62年

東　敏郎（北海道）
石井謙二郎（茨城県）
西連寺愛憲（東京都）
太尾政雄（川崎市）
荒木とく代（山梨県）
茂籠憲郎（京都府）
木村雅行（奈良県）
宮原　保（広島県）
山田謙三（長崎県）
上條敏夫（青森県）
簗瀬滋男（群馬県）
柴田嘉則（東京都）
村田　久（神奈川県）
加藤　清（愛知県）
覚道要蔵（大阪市）
明楽　浩（和歌山県）
久本精一（香川県）
江藤賢明（大分県）
伊保内政一（岩手県）
蓮見健壽（埼玉県）
丸山正二（東京都）
吉岡秀雄（新潟県）
辻川次郎（愛知県）
岡　勝（大阪府）
八百谷一洋（鳥取県）
清水義夫（高知県）
白尾国興（宮崎県）
清水峻次郎（宮城県）
佐藤学而（千葉県）
渡邊　昭（東京都）
天井久治（福井県）
小林　恢（滋賀県）
北川重信（兵庫県）
石田秋二郎（島根県）
辛嶋清澄（福岡県）
佐藤正弘（鹿児島県）

## ● 昭和63年

澤田清孚（北海道）
杉山賀美（宮城県）
小林治喜（埼玉県）
朝比奈敏行（東京都）
野口　慧（長野県）
有本武二（京都府）
福辻靖典（和歌山県）
小林　實（福岡県）
工藤芳之（大分県）
木村節子（北海道）
堀部清元（秋田県）
古川　満（千葉県）
井上正治（神奈川県）
田口　要（長野県）
龍門敦子（大阪府）
沖本秀夫（広島県）
尼子豊州（長崎県）
近藤親儀（宮崎県）
熊谷　淳（青森県）
佐藤武夫（福島県）
関　秀夫（東京都）
北村梧朗（新潟県）
西山孝雄（岐阜県）
光川正雄（大阪府）
山根稔夫（山口県）
内川　進（長崎県）
神元繁弘（沖縄県）
堀米榮一（岩手県）
今井　邦（栃木県）
梅田昭夫（東京都）
熊木甚朔（富山県）
平川幸矢（滋賀県）
湊　信一（兵庫県）
村上太一郎（高知県）
鬼塚義行（熊本県）

## ● 平成元年

桑澤行敏（北海道）
吉中　登（宮城県）
谷内　浩（群馬県）
戸邊武一（東京都）
草薙雄進（長野県）
澤田　稔（大阪府）
坂口卓彌（鳥取県）
豊永英達（香川県）
諸熊正武（長崎県）
瀬口紀夫（鹿児島県）
吉岡隆一（青森県）
五味武一（秋田県）
富山文雄（埼玉県）
鈴木　登（東京都）
大岩　守（三重県）
上村茂夫（兵庫県）
鐘築好光（島根県）
依光　皓（高知県）
溝越威夫（長崎県）
立花義康（青森県）
立花武文（茨城県）
宮本善一郎（千葉県）
行木博男（神奈川県）
木戸重昌（滋賀県）
榎本哲夫（奈良県）
坪井甫之（岡山県）
山本康治（福岡県）
伊東　空（大分県）
黒田　亨（岩手県）
安藤　進（茨城県）
福原修一郎（東京都）
黒木正直（富山県）
山口千之介（大阪府）
野尻敏樹（和歌山県）
畠山　洸（広島県）
升井健三郎（福岡県）
楠　誠（宮崎県）

団体表彰・練馬区学校歯科医会（東京都）

## ● 平成２年

宮武忠史（北海道）
永沼誠一（福島県）
篠塚　惠（千葉県）
小清水　堯（神奈川県）
羽田義彦（岐阜県）
阪本義樹（大阪府）
田中秀房（広島県）
矢野正武（福岡県）
瀬底正俊（沖縄県）
川嶋慶三（青森県）
宮本　要（茨城県）
大場重信（東京都）
関川嘉治郎（新潟県）
後藤美喜保（静岡県）
八竹良清（兵庫県）
大西文男（徳島県）
竹村　信（長崎県）
瓦田純子（岩手県）
田中　順（群馬県）
小宮孝治（東京都）
島　秀雄（富山県）
中塚　崇（愛知県）
大橋紀男（和歌山県）
島田　清（香川県）
宇治寿康（熊本県）
上原孝悌（宮城県）
角田　裕（埼玉県）
長谷川弘和（神奈川県）
仲谷純三（石川県）
水谷光孝（京都府）
西村一乗（島根県）
長岡　守（高知県）
新森安吉（宮城県）

## ●平成３年

船本達世（北海道）　槇　さち（青森県）　高橋智次（岩手県）　能登喜久治（秋田県）
稲葉重恭（山形県）　後上豊久（茨城県）　大澤三郎（栃木県）　橋本　篤（群馬県）
重竹賢一（埼玉県）　勝田吉郎（千葉県）　田中建吾（東京都）　三澤　巖（東京都）
佐藤貞勝（東京都）　富田万喜子（神奈川県）　杉村　彬（石川県）　長谷川義明（山梨県）
佐野綾子（長野県）　伊藤　哲（愛知県）　加藤晃行（愛知県）　高橋　裕（三重県）
有馬照彦（滋賀県）　木村槇一郎（大阪府）　今岡　久（奈良県）　福岡保郎（奈良県）
磯野　達（和歌山県）　清水　博（鳥取県）　板垣　陽（島根県）　近常良孝（岡山県）
上野泰義（山口県）　大菊義春（高知県）　松尾梅雄（福岡県）　諸岡敏雄（長崎県）
河野　哲（大分県）　郡山秀雄（宮崎県）

q w Z　¨ ª § xUO　N L O ¶　b \ † i TO „　jr | ‰ < R N x |

赤穂英一（東京都）　秋庭英夫（千葉県）　荒木良二（東京都）　有近義徳（神奈川県）
安西九郎（神奈川県）　安納七五三（東京都）　池田憲二郎（福井県）　池田太郎（宮城県）
石崎彦介（神戸市）　伊勢　迪（神奈川県）　磯　誠三（群馬県）　伊東　勇（神奈川県）
糸川公美（埼玉県）　乾　茂男（高知県）　乾　弘（三重県）　井上貴之介（兵庫県）
井上幸恭（東京都）　井上　亨（福岡県）　井上　稜（愛知県）　今泉　勝（愛知県）
岩渕由雄（宮城県）　上野誠三（宮城県）　宇治川清三（群馬県）　内山三郎（兵庫県）
宇山武夫（神奈川県）　榎本善二（埼玉県）　江馬専輔（静岡県）　江本　正（兵庫県）
近江治雄（山口県）　大枝義之（大阪府）　太田丈夫（新潟県）　太田恒夫（愛媛県）
太田敏子（宮城県）　大滝啓吉（山形県）　大橋　悟（東京都）　大平　昇（和歌山県）
大森寂圓（東京都）　荻原弘士（静岡県）　奥田　弘（奈良県）　奥津政吉（神奈川県）
小串寿次（福岡県）　尾倉信治郎（愛媛県）　小倉雄一郎（京都府）　尾澤　弘（愛知県）
小足義雄（岐阜県）　尾田数間（広島県）　甲斐田全州（熊本県）　加来露美（福岡県）
筧　甚七（岐阜県）　片岡憲三（東京都）　加藤喜美子（東京都）　加藤　坦（福岡県）
鎌田政志（神奈川県）　亀井尊嗣（兵庫県）　刈部大作（横浜市）　河口士郎（群馬県）
川田義大（東京都）　川田公男（横浜市）　岸本千年（大分県）　北村末松（滋賀県）
北村　博（横浜市）　紀陸一夫（埼玉県）　草野祐司（福島県）　九津見　敦（北海道）
久保五郎（福岡県）　久保昌弘（和歌山県）　栗崎吉郎（名古屋市）　栗原正吉（広島県）
黒沢誠一（秋田県）　黒田尚文（石川県）　小泉新吾（大阪府）　高亀次郎（広島県）
神崎法徳（福岡県）　高野良治（埼玉県）　越川兼治（千葉県）　小竹俊夫（茨城県）
児玉親一（埼玉県）　小寺長蔵（兵庫県）　木場哲夫（鹿児島県）　小林　繁（福岡県）
小松重良（香川県）　郷家保雄（宮城県）　西條　薫（川崎市）　齋藤一夫（東京都）
斎藤久森（札幌市）　櫻庭　威（青森県）　笹井英夫（群馬県）　佐藤信男（福島県）
志賀正清（神戸市）　清水三郎（埼玉県）　志村利次（山梨県）　下郷総雄（愛知県）
杉本永一（大阪府）　杉本隆則（香川県）　鈴木　清（神奈川県）　角田喜一（大阪府）
関　昌子（岩手県）　関根祐三（福島県）　千川喜平（東京都）　高木重雄（岐阜県）
高木千可司（岐阜県）　高橋鉄重（秋田県）　高橋平蔵（大阪府）　高嶺長二（沖縄県）
高寄正武（京都府）　竹内勝時（長野県）　武内富喜子（鳥取県）　武田彦一（名古屋市）
武安正嘉（群馬県）　田中定満（福島県）　田中直次（富山県）　太宰靖夫（宮城県）
千葉友三郎（宮城県）　鶴谷房江（大阪府）　照井悌三（東京都）　戸堂新三郎（大阪府）
鳥居喜一（愛知県）　中島義崇（大阪府）　中原政雄（静岡県）　中村長弘（京都府）
中安進一郎（千葉県）　永尾徳二（福岡県）　新田　穣（福岡県）　西田美秋（兵庫県）
西村正六（滋賀県）　西村　弘（大阪府）　根来正二（大阪府）　萩原恒哉（静岡県）
長谷川年長（名古屋市）　長谷川恭男（大阪府）　花俟　晃（埼玉県）　林　正久（京都府）

馬場淳次（鹿児島県）　彦坂登喜二（愛知県）　檜山次郎（栃木県）　平井重一（宮城県）
平岡光一（静岡県）　平下武千代（島根県）　平野愛二（京都府）　深見實（広島県）
深山正之（富山県）　福島吉夫（岡山県）　福住朝幸（大阪府）　藤川重義（佐賀県）
藤澤隆三郎（東京都）　藤本稜威男（大阪府）　布留川進（千葉県）　堀田清一（神奈川県）
北条直（大阪府）　細見忠雄（神戸市）　堀内正啓（奈良県）　前田利一（千葉県）
正国吾六（広島県）　馬嶋力（岐阜県）　松山繁（福井県）　道田常寿（愛媛県）
水書智博（神奈川県）　光安久（福岡県）　宮坂栄太郎（長野県）　宮崎賢護（福岡県）
森顕義（徳島県）　森秀穂（横浜市）　森永冨夫（茨城県）　森山輝雄（大阪府）
門口信次（大阪府）　安岡魁（静岡県）　矢吹義吉（川崎市）　山崎郁三（栃木県）
山下初彦（静岡県）　山瀬博（東京都）　山根恒吉（横浜市）　山本忠夫（兵庫県）
山本良明（静岡県）　鎗田靖（埼玉県）　湯浅譽保（徳島県）　行待幹夫（京都府）
湯本正夫（東京都）　横村正雄（埼玉県）　吉田茂（富山県）　吉田たかの（宮城県）
依田清（東京都）　林江涼（大阪府）　若栗繁子（横浜市）　若林忠雄（愛媛県）
渡邊豊（千葉県）

## ●平成４年

寺岡四郎（北海道）　奥寺文彦（青森県）　國香和彦（岩手県）　中島早苗（茨城県）
吉田勇（群馬県）　関國惠（埼玉県）　秋本廣（千葉県）　柳澤一雄（東京都）
梶取卓治（東京都）　関戸利夫（神奈川県）　山口三郎（神奈川県）　林宏一（神奈川県）
三塚憲一（山梨県）　古屋冨雄（山梨県）　百瀬清治（長野県）　岩久正次（岐阜県）
伊藤隆二（愛知県）　山本直哉（滋賀県）　村上勝（京都府）　高寄昭（京都府）
大内隆（大阪府）　中村要（兵庫県）　稲垣眞也（兵庫県）　大川淳一（和歌山県）
山根スエ子（島根県）　徳田静二（広島県）　武田新吉（徳島県）　塩田忠一（香川県）
山本和男（高知県）　上村一雄（福岡県）　田代隆一（佐賀県）　音山正樹（長崎県）
春下克巳（宮崎県）　原田橘造（鹿児島県）

## ●平成５年

杉澤健司（北海道）　熊谷徹（青森県）　松橋一（岩手県）　佐藤利實（秋田県）
鈴木浩（福島県）　片野光一郎（群馬県）　金子清利（埼玉県）　市川基世（千葉県）
臼田貞夫（東京都）　笠井康弘（東京都）　石川實（東京都）　和田清昭（神奈川県）
米澤眞一（富山県）　石塚要次郎（長野県）　杉浦修（愛知県）　笠井武生（三重県）
木村正弘（滋賀県）　岡下正雄（奈良県）　小渕隆亮（和歌山県）　菅田昭和（島根県）
坂本叡一（徳島県）　大下キヌヨ（香川県）　西川清水（高知県）　古賀敏道（福岡県）
石野博（長崎県）　竹本康（熊本県）　福成米（大分県）　末原照臣（宮崎県）
與那城勇（沖縄県）

## ●平成６年

岡﨑基（北海道）　葛西金治（青森県）　金子康雄（岩手県）　公平泰行（山形県）
中村正夫（茨城県）　新井武（栃木県）　松井孝夫（群馬県）　井坂義昭（埼玉県）
石川健祐（千葉県）　鈴木五郎（東京都）　鈴木文男（東京都）　関根正俊（東京都）
阿久津仁一（神奈川県）　松井勇作（神奈川県）　山口清衣（富山県）　中村昭治（石川県）
熊﨑道一（岐阜県）　庄司誠（静岡県）　植田年夫（愛知県）　藤本昭男（滋賀県）
神谷幸男（京都府）　岡村親一郎（大阪府）　塙吉次郎（兵庫県）　五木田高知（和歌山県）
笹野昌三（和歌山県）　小早川隆幸（広島県）　椙山泰太（山口県）　塩田尚文（香川県）

長野　勲（高知県）　秋吉猷夫（福岡県）　出水慎一（福岡県）　門司　健（佐賀県）
南里精良（長崎県）　澤宮哲雄（大分県）　矢野剛将（大分県）　日高英臣（宮崎県）
牧角龍治（鹿児島県）

## ●平成7年

稀代祐次（北海道）　奥寺恒夫（青森県）　齋藤フサ（岩手県）　中村　實（秋田県）
松田力夫（山形県）　本間藤彦（福島県）　長澤　宥（群馬県）　氏家英峰（埼玉県）
宇井重信（千葉県）　雨宮正文（東京都）　今井雄世（東京都）　平田幹男（東京都）
大谷　仁（神奈川県）　新倉　朗（神奈川県）　寺島祐輔（富山県）　村松久中（山梨県）
太田啓次（長野県）　松尾多圭夫（愛知県）　秋本武男（三重県）　古藤英夫（滋賀県）
和田久幸（京都府）　瀬尾　正（大阪府）　松岡　博（大阪府）　髙橋　進（兵庫県）
木村克巳（奈良県）　河野　修（和歌山県）　野津正三（島根県）　坂本茂樹（岡山県）
生田　仁（広島県）　大野春雄（徳島県）　美馬良一郎（徳島県）　久保篤身（香川県）
岡村久泰（高知県）　大庭二郎（福岡県）　分山敏郎（福岡県）　松尾芳明（佐賀県）
岩屋常夫（長崎県）　中根俊吾（熊本県）　内田　明（大分県）　滝　豊（宮崎県）

## ●平成8年

麻生謙介（北海道）　杉村力男（北海道）　宮澤　昇（青森県）　久保田丈夫（岩手県）
廣幡直純（秋田県）　佐藤熊亀（福島県）　小島建一（茨城県）　今成虎夫（群馬県）
勝沼和弘（埼玉県）　加賀美寶富（千葉県）　齋藤孝正（東京都）　櫻井善忠（東京都）
田中徹也（東京都）　田中規正（東京都）　島田恒夫（神奈川県）　青柳　信（神奈川県）
和田昭二（石川県）　伊藤　章（岐阜県）　大島通男（愛知県）　富永才助（滋賀県）
長谷川博久（京都府）　井上一男（大阪府）　元島民郎（大阪府）　藤原　仁（兵庫県）
溝上正哉（和歌山県）　中尾澄子（鳥取県）　栃木禮子（島根県）　田中繁登（広島県）
北山敏雄（香川県）　依岡節雄（高知県）　野見山滋光（福岡県）　田中義郎（佐賀県）
末永順一（佐賀県）　楢原貴美子（長崎県）　井手直治（長崎県）　辛嶋善次（大分県）
山田勝男（宮崎県）　山本照子（鹿児島県）　西平守廣（沖縄県）

qS　wZ　¨　/　UOæLO¶　b\†iTO„　jr｜%<WNx｜

秋月照澪（横浜市）　秋野公夫（福岡県）　浅沼克己（群馬県）　朝比奈辰郎（滋賀県）
芦刈　実（愛知県）　綾野次雄（岩手県）　有山實芳（鹿児島県）　安藤忠之（愛知県）
石川敏雄（千葉県）　磯貝満彦（名古屋市）　伊地智敬吾（大阪府）　伊東逸人（福岡県）
今井眞備（神奈川県）　今井菊雄（岐阜県）　岩崎三千雄（岐阜県）　植條宗一（大阪府）
上田みさを（大阪府）　上松　亨（京都府）　山内　泰（横浜市）　江崎敏郎（宮城県）
大内春江（千葉県）　大﨑忠義（東京都）　大澤高雄（神奈川県）　大中由吉（東京都）
小笠原　徹（茨城県）　岡田　茂（愛知県）　沖津富士夫（横浜市）　尾関秀男（愛知県）
織田進重（福島県）　尾松　譲（滋賀県）　尾山　弘（福井県）　香川正美（香川県）
梶原武夫（大阪府）　片尾信之（京都府）　片倉義彦（神奈川県）　片野純二（岐阜県）
門井練造（名古屋市）　加藤富之助（福島県）　加藤幹夫（宮城県）　金井　実（静岡県）
金山政一郎（愛知県）　金子　孝（神奈川県）　金子雅彦（岩手県）　金森廣司（岐阜県）
狩野　晧（静岡県）　茅野昌左（東京都）　河合範夫（神戸市）　河原信隆（富山県）
川部龍二（愛知県）　川村　昇（神奈川県）　神田進一（京都府）　喜田正史（北海道）
北澤健男（東京都）　木村恭武（広島県）　桐原一夫（鹿児島県）　草薙靖雄（神奈川県）
國廣　新（福岡県）　久保　進（愛媛県）　倉賀野　宏（大阪府）　栗崎幸治（名古屋市）
河野壽雄（東京都）　河野幹男（福島県）　小阪藤兵衛（大阪府）　小島基佐子（広島県）

後藤宮男（大阪市）
菰田太郎（東京都）
酒井惣一郎（横浜市）
斎藤隆吉（秋田県）
茂田信生（千葉県）
清水秀忠（東京都）
白井　泉（千葉県）
鈴木敏弘（静岡県）
瀧野英二（京都府）
田中サチ（東京都）
玉置広親（川崎市）
角田健夫（千葉県）
徳永久人（広島県）
長井　大（栃木県）
永田嘉成（静岡県）
仲松弥勇（千葉県）
西山伸二（神奈川県）
橋本　喬（大阪府）
林　寛（鳥取県）
原　善兵衛（新潟県）
平野實冨（東京都）
福田卓司（埼玉県）
枌　芳浩（福岡市）
前川英太郎（兵庫県）
松浦誠一（茨城県）
松林達藏（千葉県）
宮木脩次郎（愛媛県）
武藤　勉（静岡県）
望月　清（埼玉県）
保井諧至（兵庫県）
山田眞三（福島県）
湯浅　治（千葉県）
吉田敏夫（徳島県）
米倉俊夫（宮城県）
小西冨士子（埼玉県）
今野順弘（山形県）
榊　正支（福岡県）
佐藤昭彦（名古屋市）
重村幹夫（鹿児島県）
清水三忠（東京都）
白井清一（大阪府）
高崎省三（札幌市）
竹田勝典（山形県）
田端淳二（埼玉県）
千馬一雄（和歌山県）
椿本九十郎（奈良県）
利根川真澄（埼玉県）
長岡二郎（横浜市）
中野與一（静岡県）
中村光男（大阪府）
野村寿郎（愛媛県）
長谷川忠一（愛媛県）
早瀬正一（鹿児島県）
肥後丸海（鹿児島県）
平林瑛一（愛知県）
福田博臣（京都府）
堀池辰巳（群馬県）
牧田弘雄（東京都）
松尾キク（青森県）
瑞森茂雄（大阪府）
宮坂与四郎（神戸市）
六人部篤信（福岡県）
森　富栄（埼玉県）
安井敏郎（石川県）
山田金伍（神奈川県）
由井重光（東京都）
吉永一郎（福岡県）
渡辺　実（愛知県）
小林美彰（東京都）
佐伯十三（山口県）
榊原政雄（宮城県）
佐藤昌敬（福岡市）
島田正三（富山県）
庄司憲久（札幌市）
杉田郁二郎（茨城県）
髙橋隆一（神奈川県）
田坂壽弘（広島県）
田幡　徹（大阪府）
中條正敏（福島県）
積田正義（千葉県）
冨原晃男（兵庫県）
中島　一（和歌山県）
中畑　栄（青森県）
西　正男（愛知県）
野呂田邦輔（秋田県）
服部長夫（福井県）
原　光寿（福岡県）
肥塚行蔵（埼玉県）
広岡　健（宮城県）
藤本　登（千葉県）
本多喜次（埼玉県）
馬越俊彦（広島県）
松川成一（奈良県）
光澤龍雄（香川県）
宮下堯人（長野県）
村上禮吉（静岡県）
森田　仁（広島県）
山口　勇（愛知県）
山本賢司（静岡県）
吉江通正（群馬県）
吉見謙一郎（京都府）
渡邉榮吉（鹿児島県）
小松泰子（高知県）
坂井正男（静岡県）
作間富美子（川崎市）
澤田善太郎（静岡県）
清水重喜（埼玉県）
白井正敏（香川県）
杉山正彦（岐阜県）
髙橋達男（埼玉県）
田中　稔（大阪市）
田部井三雄（群馬県）
辻　浩一（兵庫県）
鶴島亀岩（福岡県）
友清　博（福岡県）
永田　稔（埼玉県）
中原克己（山口県）
西田義春（栃木県）
萩野　清（大阪府）
早川嘉彦（東京都）
原　要次（兵庫県）
平野孝美（千葉県）
廣田昌逸（兵庫県）
藤原学博（山梨県）
本間輝夫（千葉県）
麻住泰麿（愛媛県）
松下英夫（大阪市）
宮井章良（徳島県）
三好慶得（福井県）
村田精太郎（沖縄県）
森鼻正之（神戸市）
山口貞治（群馬県）
山本重男（東京都）
吉岡　実（愛媛県）
芳村正雄（東京都）

## ●平成９年

角田正俊（北海道）
二瓶博利（福島県）
瀧澤茂樹（埼玉県）
本郷晨生（神奈川県）
輿水一郎（長野県）
福田勝彦（大阪府）
成川誠義（和歌山県）
阿佐正一郎（徳島県）
光安　力（佐賀県）
吉田博信（青森県）
新井田俊典（茨城県）
長谷川徹雄（千葉県）
武宮英雄（神奈川県）
杉山　均（静岡県）
長阪八朗（兵庫県）
今田尚子（鳥取県）
泉川亮太（香川県）
髙森三利（長崎県）
大内武一（宮城県）
片山容一（栃木県）
小林俊雄（東京都）
永野敏郎（新潟県）
楠崎　渥（三重県）
小野　晃（兵庫県）
八谷定徳（広島県）
高橋昭二郎（高知県）
早崎良雄（宮崎県）
五十嵐俊榮（山形県）
神藤義昭（群馬県）
森　滋（東京都）
山崎龍庵（福井県）
白石　尚（滋賀県）
熊本由邦（奈良県）
近藤　瞳（山口県）
冨永行基（福岡県）

## ● 平成10年

鏡　新泉（北海道）　奥田　茂（北海道）　黒田雅行（青森県）　天日常光（岩手県）
米澤　澄（宮城県）　米谷重信（宮城県）　吉沢清忠（秋田県）　迎田　稔（山形県）
児島二二也（群馬県）　内野昭八郎（埼玉県）　筧　正忠（千葉県）　石川行男（東京都）
森永太悟（東京都）　三宅正代（神奈川県）　高橋韶光（神奈川県）　山中觀一（新潟県）
成瀬達雄（富山県）　遠山兵太（山梨県）　三澤義人（長野県）　中村栄司（岐阜県）
藤井宏次（愛知県）　中西　久（滋賀県）　野添静里（京都府）　長谷三郎（大阪府）
上村正彦（大阪府）　稲田秀雄（大阪府）　正井洋兒（兵庫県）　岩橋　勵（和歌山県）
森本省悟（和歌山県）　秋山富三郎（鳥取県）　富永睦恵（島根県）　櫻井　洋（岡山県）
山田隆一（広島県）　秋田哲郎（徳島県）　岡西靜雄（高知県）　別府正敏（福岡県）
辻　政博（福岡県）　福成義孝（佐賀県）　川島利生（長崎県）　北田賢次郎（熊本県）
若林寿美子（宮崎県）　児玉利徳（鹿児島県）　又吉達雄（沖縄県）
団体表彰・杉並区学校歯科医会（代表者　市村好延・東京都）

## ● 平成11年

伏見敏郎（北海道）　若林青司（北海道）　久保鐵也（青森県）　曽根　襄（岩手県）
中里　隆（宮城県）　橘高吉人（宮城県）　栗城昭吉（福島県）　石井恒雄（茨城県）
井上純一郎（栃木県）　浦野訓男（群馬県）　緒方鎭夫（埼玉県）　大御博茂（千葉県）
福島清壽（東京都）　子安健一（東京都）　今村　旭（東京都）　中村順一（東京都）
三田昭太郎（神奈川県）　大島國男（新潟県）　渡部　章（新潟県）　小田中益夫（長野県）
加藤千春（三重県）　山田重樹（滋賀県）　杉立　馨（京都府）　佐藤文夫（大阪府）
松谷文雄（大阪府）　木下祐宏（兵庫県）　加藤佳方（兵庫県）　川畑　衛（奈良県）
三原徳重（島根県）　今田良男（広島県）　西條征二（徳島県）　三谷晶彦（香川県）
川添光一（高知県）　樋口典二（福岡県）　菅　公義（長崎県）　田中堅一（大分県）
識名博子（沖縄県）
団体表彰・金沢市歯科医師会（代表者　清水行雄・石川県）

## ● 平成12年

山内五三郎（北海道）　三藤久雄（北海道）　鍋谷聖道（青森県）　瓦田良喜（岩手県）
江場正太郎（宮城県）　齋藤　昇（宮城県）　増山茂人（福島県）　秋田益夫（栃木県）
鳥羽貞治（群馬県）　岩田良雄（埼玉県）　宮内利雄（千葉県）　熱田俊之助（東京都）
小池將浩（東京都）　渡邊渥美（神奈川県）　金森安信（富山県）　山本勝典（石川県）
根橋二郎（長野県）　家里　進（岐阜県）　林　義弘（愛知県）　片田芳朗（愛知県）
人見晃司（滋賀県）　柏井克夫（京都府）　森川　勝（大阪府）　川西伯陽（兵庫県）
和田春生（和歌山県）　三代一成（鳥取県）　磯遊賢三（島根県）　森田　晃（広島県）
重田司郎（山口県）　安部省三（香川県）　窪田正典（愛媛県）　西岡征二郎（高知県）
樋口則義（福岡県）　長富義次（長崎県）　柏木茂昌（大分県）　房安欣次（宮崎県）
登山恒勇（鹿児島県）

## ● 平成13年 q¶ ¨w b\tr

麻生 諶（北海道） 山本栄一（北海道） 下川盛治（青森県） 岩城紀元（岩手県）
濱田宏信（宮城県） 横山ミエ（秋田県） 植竹 旭（茨城県） 内山光隆（群馬県）
石井 一（埼玉県） 塙 和夫（千葉県） 齋藤雄二（東京都） 穂坂正典（東京都）
川内清人（神奈川県） 武内悟朗（神奈川県） 宮本康一（石川県） 阿久津廣美（山梨県）
奥原眞琴（長野県） 前田公平（三重県） 小林三男（滋賀県） 出口和邦（大阪府）
久保憲昭（大阪府） 石田鐵男（兵庫県） 堀内昌代（奈良県） 大西恒好（和歌山県）
増原吉郎（島根県） 飯田信之（岡山県） 山本 勝（徳島県） 吉津 理（愛媛県）
伊藤公子（高知県） 齋藤一成（福岡県） 髙野保輔（福岡県） 青山秀清（佐賀県）
山崎國生（長崎県） 高森経義（熊本県） 倉前善光（宮崎県） 高橋清一郎（沖縄県）

qwZ ¨ª§xVO NLO¶ ¨w b\tiTO„ jr|%<PRNx|

相原健男（福島県） 内山清春（千葉県） 菊池 泰（大阪府） 神馬健太郎（青森県）
相原道男（神奈川県） 江川郁夫（埼玉県） 岸村孝一（大阪府） 神部正孝（山形県）
青木英明（福岡県） 江口隆治（福岡県） 北村晴彦（東京都） 菅谷和夫（東京都）
青島和也（岐阜県） 及川典久（神奈川県） 木下裕之（群馬県） 鈴木利彦（岩手県）
赤堀 晋（岡山県） 生出昌克（宮城県） 君塚徳雄（千葉県） 須田敏治（埼玉県）
秋山 正（山梨県） 大内 照（宮城県） 楠川武七（佐賀県） 須藤欽也（高知県）
朝倉由純（大阪府） 大谷忠敬（山口県） 久野 明（愛知県） 住井恭之（滋賀県）
朝比奈秀彌（静岡県） 大津二郎（東京都） 久保木康輔（茨城県） 関 驟雨（千葉県）
安達舜治（徳島県） 大野大三郎（福井県） 栗村 徹（神戸市） 高田勝美（岐阜県）
渥美悦郎（静岡県） 大野林四郎（兵庫県） 黒岩巨勝（高知県） 髙田成夫（大阪府）
天津典男（大阪府） 大橋良昭（埼玉県） 小出文夫（静岡県） 高橋英義（神奈川県）
新井誠二（埼玉県） 大宮雅人（宮城県） 小島延正（愛知県） 髙橋繁彦（札幌市）
荒井 敏（横浜市） 岡 好甫（兵庫県） 小林正一（福島県） 高橋良昌（東京都）
有地 正（大阪府） 岡田利雄（兵庫県） 小松三朔（高知県） 高原 宏（栃木県）
淡井一郎（大阪市） 岡橋 勝（広島県） 小松盛治（秋田県） 髙原方彦（福島県）
淡路冠一（東京都） 小川晴巳（大阪市） 後藤昭治（静岡県） 瀧口 純（福岡県）
安藤喜幸（福岡市） 小川 均（広島県） 櫻井 守（滋賀県） 竹内柏夫（秋田県）
池 清輔（名古屋市） 沖永喜代太（福岡県） 佐竹茂康（兵庫県） 武田二郎（茨城県）
石井 博（東京都） 小澤静雄（群馬県） 佐藤 孜（広島県） 竹ノ谷 正（埼玉県）
石田喜之（滋賀県） 落合登一（神奈川県） 佐藤文吾（福島県） 田代 進（鹿児島県）
井手正久仁（愛知県） 鍵山一雄（高知県） 佐藤政蔵（秋田県） 立原 健（茨城県）
伊藤 篤（岐阜県） 各務時子（名古屋市） 佐牟田吉一（大阪市） 橘木義範（鹿児島県）
伊藤成章（岐阜県） 筧 純作（岐阜県） 澤田一夫（愛知県） 田中 喬（埼玉県）
伊藤隆二（愛知県） 梶山 進（東京都） 鹿野善孝（東京都） 田中貞二（東京都）
伊藤智恵子（愛知県） 片桐 誠（埼玉県） 篠原蔵人（群馬県） 谷口 曠（愛知県）
井上 汎（東京都） 加藤裕彦（福岡県） 柴田 徹（奈良県） 谷本武司（徳島県）
今井文尚（茨城県） 加藤正和（愛知県） 渋谷利雄（神奈川県） 田野井 量（栃木県）
今村勇藏（鹿児島県） 金村浩利（大阪市） 島本禎三（和歌山県） 玉川彰一（広島県）
岩井三治（京都府） 金子徳三郎（群馬県） 志水和夫（兵庫県） 大藤幸雄（静岡県）
岩田好弘（名古屋市） 金田和夫（栃木県） 清水虔七郎（愛媛県） 茶園邦佳（宮城県）
上田富康（島根県） 亀田任弘（香川県） 清水昭典（大阪府） 寺田賢治（長崎県）
上田正治（京都府） 川内清人（横浜市） 清水保則（神戸市） 寺本龍之助（熊本県）
上野武雄（茨城県） 川口三子夫（静岡県） 生野邦彦（大阪府） 遠山 新（宮崎県）
歌野原迪子（広島県） 川野房子（大分県） 神野叔人（川崎市） 戸田 裕（神奈川県）

冨岡久徳（大阪府）
富田達也（宮城県）
百海健二（札幌市）
中川長次郎（奈良県）
中島哲男（福井県）
中島正純（宮崎県）
中富貞次郎（福岡市）
中村泰亮（山口県）
長澤博通（静岡県）
長友康文（宮崎県）
長野丑太郎（愛媛県）
那須潤治（東京都）
成田ホウ（青森県）
西田昭二（和歌山県）
丹原光英（福井県）
野入五男（埼玉県）
野瀬晃（京都府）
野村幸代（愛知県）
野村繁宏（宮城県）
萩こてふ（三重県）
橋本榮一（山形県）
橋本卓典（千葉県）
長谷川武（北海道）
長谷川朝光（福島県）
長谷川幸久（神奈川県）
服部弘（静岡県）
塙平良三（大阪市）
浜野直彦（千葉県）
林晉（愛知県）
原島稔（川崎市）
半田晃一（栃木県）
馬場利郎（岩手県）
挽地幹夫（札幌市）
久留彊（鹿児島県）
平井容子（福島県）
平河辰之（福岡県）
深山博（福岡県）
福田博（埼玉県）
藤井昭（神戸市）
藤井敏博（静岡県）
藤井昌夫（香川県）
藤原成克（愛知県）
藤原正充（兵庫県）
細井基（埼玉県）
細川哲良（京都府）
堀内晴章（神奈川県）
堀野次郎（大阪府）
本多美知男（千葉県）
盆子原光美（北海道）
前田孝三（兵庫県）
真下俊一（群馬県）
桝茂光（京都府）
増田一（横浜市）
松上寛（千葉県）
松木朝夫（愛媛県）
松谷松子（宮城県）
松永武（京都府）
松本啓三（高知県）
丸山茂（東京都）
三須美喜雄（千葉県）
水野一夫（福岡市）
水野誓夫（富山県）
三谷圭三（大阪府）
皆川美喜雄（宮城県）
宮城秀臣（沖縄県）
宮﨑禎之（福岡県）
宮田俊昭（千葉県）
村田丑二（新潟県）
本山栄荘（広島県）
森亨三郎（香川県）
森シヅノ（鹿児島県）
森正幸（東京都）
森川潤（岐阜県）
森田敏弘（東京都）
森田六郎（広島県）
森山勇一郎（秋田県）
八板誠（栃木県）
矢澤保（名古屋市）
矢島邦雄（長野県）
安田きよ江（埼玉県）
柳川昭（千葉県）
柳原達夫（埼玉県）
山内紀子（沖縄県）
山縣儀明（福岡県）
山田昭子（神奈川県）
山中朝善（大阪府）
山本和雄（愛知県）
山本繁春（大阪府）
山本博朗（福岡県）
横田健三（大阪府）
吉沢進（富山県）
吉田倭子（鳥取県）
吉田浩（千葉県）
吉元直吉（鹿児島県）
米山よね（東京都）
和久本一雄（東京都）
渡辺喜郎（大阪府）

# 資料-３
# 社団法人日本学校歯科医会会長表彰受賞者

敬称略・原則として行政区分順

## ● 昭和57年

秋田市歯科医師会（秋田県）
寺田護麿（宮城県）
遅沢文男（栃木県）
加藤譲太郎（群馬県）
久保田知巳（群馬県）
白井幸槌（東京都）
山瀬英雄（東京都）
新藤貞秋（神奈川県）
中島鑛蔵（長野県）
浦野五郎雄（長野県）
清水平一郎（静岡県）
阿部弋（愛知県）
蒲生勝巳（岐阜県）
野田吉雄（石川県）
島田余三男（富山県）
佐渡永貞（富山県）
小沢亨（滋賀県）
三宅寛（京都府）
小西加濃（岡山県）
久保田隆（広島県）
小谷敏春（香川県）
佐藤一（愛媛県）
國澤重仲（高知県）
阿部巖（福岡県）
田島喜二郎（福岡県）
小川潜（佐賀県）
江崎清（長崎県）
鎌田政秀（宮崎県）

## ● 昭和58年

小川武正（青森県）
遠刕市郎（岩手県）
河野秀夫（山形県）
秋山友蔵（茨城県）
磯貝豊（千葉県）
北総榮男（千葉県）
増田悦蔵（埼玉県）
小要利雄（東京都）
池田三郎（東京都）
小宅初美（東京都）
川口進吾（神奈川県）
佐久間太郎（神奈川県）
今井四郎三郎（長野県）
坂口和夫（長野県）
城取清晴（長野県）
田中唯夫（静岡県）
戸塚孝一郎（静岡県）
田熊恒寿（愛知県）
小高啓三（富山県）
西川一夫（滋賀県）
辻本信輝（和歌山県）
小山一（京都府）
細川親文（大阪府）
若林良昌（大阪府）
斎藤恭助（兵庫県）
中川清（愛媛県）
橋本宰司（福岡県）
尾崎貞（長崎県）

## ● 昭和59年

横山勇（北海道）
馬場千代治（岩手県）
遠藤一秋（秋田県）
井原泰次（埼玉県）
吉川義人（東京都）
山瀬英雄（東京都）
鶴岡武一（東京都）
末廣力雄（東京都）
高橋一夫（東京都）
中根実（東京都）
木津喜廣（東京都）
中村源七（神奈川県）
村上仁信（神奈川県）
早乙女篤（山梨県）
大羽武（静岡県）
大竹節二（静岡県）
高橋一男（愛知県）
島田栄吉（富山県）
速水昭介（滋賀県）
奥野喜一（大阪府）
大崎恭（大阪府）
宮脇祖順（大阪府）
井奥一夫（岡山県）
松本治男（鳥取県）
小倉正喜（香川県）
日野弘（愛媛県）
竹本誠一（高知県）
小野敬晃（福岡県）
有吉茂實（福岡県）
小川潜（佐賀県）
神戸明（長崎県）
椎原誠治（鹿児島県）
横山清里（鹿児島県）

## ● 昭和60年

小杉正一郎（青森県）
菊地直良（青森県）
千葉栄一（岩手県）
神坂純次（秋田県）
斎藤義輔（秋田県）
岡部　衛（宮城県）
若松政次（茨城県）
吉見東太郎（群馬県）
露崎松五郎（千葉県）
大塚皓司（東京都）
田中ちやう（東京都）
倉持　敬（神奈川県）
貴志　淳（神奈川県）
笠原正文（長野県）
坂野三良（名古屋市）
太田正利（岐阜県）
飯田嘉孝（三重県）
杉森秀雄（石川県）
中島清則（富山県）
曽我　太（滋賀県）
川口吉雄（和歌山県）
喜多村　勝（奈良県）
中川嘉雄（京都府）
濱地清哉（大阪府）
杉本茂春（大阪市）
細原　廣（兵庫県）
越智幹夫（愛媛県）
町田二男（高知県）
城石弘光（福岡県）
小林　力（福岡県）
肝付　保（鹿児島県）

## ● 昭和61年

桜田洋一（札幌市）
福成　覚（岩手県）
小澤雄象（秋田県）
渡邊民衛（宮城県）
飯久保正克（福島県）
石井研二（茨城県）
細谷　學（群馬県）
神戸義二（群馬県）
榎　智光（千葉県）
相原誠一郎（千葉県）
吉田二郎（埼玉県）
関口正雄（埼玉県）
角田正之（埼玉県）
奥家廣一（東京都）
山田保夫（東京都）
山田　潤（神奈川県）
高松達郎（神奈川県）
小松　操（山梨県）
山田　茂（長野県）
石川新七（静岡県）
高橋一男（愛知県）
吉田栄也（三重県）
牛村一男（石川県）
高田　恬（滋賀県）
小沢忠治（和歌山県）
寺野保夫（大阪府）
藤井　勉（大阪府）
永冨　稔（山口県）
小谷敏春（香川県）
豊嶋武夫（香川県）
宮川　正（高知県）
米多比勝三（福岡県）
日高盛隆（福岡県）
堀之内哲夫（宮崎県）

## ● 昭和62年

板垣正太郎（青森県）
上條敏夫（青森県）
伊保内政一（岩手県）
清水峻次郎（宮城県）
谷田部　巖（茨城県）
石井謙二郎（茨城県）
簗瀬滋男（群馬県）
北総榮男（千葉県）
佐藤学而（千葉県）
石川夏吉（埼玉県）
蓮見健壽（埼玉県）
小島徹夫（東京都）
鶴岡武一（東京都）
西連寺愛憲（東京都）
柴田嘉則（東京都）
丸山正二（東京都）
渡邊　昭（東京都）
村田　久（神奈川県）
太尾政雄（川崎市）
吉岡秀雄（新潟県）
藤井尋造（静岡県）
井原正安（静岡県）
加藤　清（愛知県）
辻川次郎（名古屋市）
立木彌太郎（滋賀県）
小林　恢（滋賀県）
明楽　浩（和歌山県）
大江正次（奈良県）
木村雅行（奈良県）
濱見秀哉（京都府）
茂籠憲郎（京都府）
岡　勝（大阪府）
覚道要蔵（大阪市）
北川重信（兵庫県）
八百谷一洋（鳥取県）
石田秋二郎（島根県）
久本精一（香川県）
清水義夫（高知県）
毛利亮茂（福岡県）
辛嶋清澄（福岡県）

## ● 昭和63年

沢田清孚（北海道）
木村節子（北海道）
熊谷　淳（青森県）
遠刕市郎（岩手県）
堀米栄一（岩手県）
杉山賀美（宮城県）
佐藤武夫（福島県）
高野文夫（茨城県）
榎本　赳（千葉県）
古川　満（千葉県）
小林治喜（埼玉県）
関　秀夫（東京都）
梅田昭夫（東京都）
朝比奈敏行（東京都）
柳川ハル（神奈川県）
井上正次（神奈川県）
田口　要（長野県）
野口　慧（長野県）
北村梧朗（新潟県）
大澤一康（静岡県）
大竹節二（静岡県）
西山孝雄（岐阜県）
丹羽又平（石川県）
佐渡永貞（富山県）
熊木甚朔（富山県）
川村輝雄（滋賀県）
佐藤健司（滋賀県）
平川幸矢（滋賀県）
福辻靖典（和歌山県）
有本武二（京都府）
中村篤夫（大阪府）
光川正雄（大阪府）
龍門敦子（大阪府）
湊　信一（兵庫県）
村上太一郎（高知県）
西澤　正（福岡県）
小林　實（福岡県）
工藤芳之（大分県）
鬼塚義行（熊本県）
小濱重利（鹿児島県）

## 資料－３　◆ 日本学校歯科医会会長表彰受賞者

### ● 平成元年

吉岡隆一（青森県）　谷内　浩（群馬県）　草薙雄進（長野県）　澤田　稔（大阪市）
立花義康（青森県）　宮本善一郎（千葉県）　浅井壽一（静岡県）　上村茂夫（兵庫県）
高橋　弘（青森県）　茂木覺一（千葉県）　松生貞夫（三重県）　坪井甫之（岡山県）
井上文夫（岩手県）　吉良憲夫（埼玉県）　兼田和雄（石川県）　坂口卓彌（鳥取県）
伊保内政一（岩手県）　富山文雄（埼玉県）　坂本俊夫（福井県）　須山禮吉（広島県）
黒田　亨（岩手県）　咲間武夫（東京都）　黒木正直（富山県）　谷本潤一（香川県）
五味武一（秋田県）　中根　實（東京都）　木戸重昌（滋賀県）　豊永英達（香川県）
佐藤温二（宮城県）　西連寺愛憲（東京都）　杉村良雄（奈良県）　坂本良作（高知県）
吉中　登（宮城県）　福原修一郎（東京都）　榎本哲夫（奈良県）　依光　皓（高知県）
山口省吾（茨城県）　戸邊武一（東京都）　秋田康夫（京都府）　山本康治（福岡県）
立花武文（茨城県）　鈴木　登（東京都）　山口千之介（大阪府）　升井健三郎（福岡市）
安藤　進（茨城県）　行木博男（神奈川県）　大崎　恭（大阪市）　瀬口紀夫（鹿児島県）

### ● 平成２年

川島慶三（青森県）　鈴木吉平（埼玉県）　中塚　崇（愛知県）　大西文男（徳島県）
瓦田純子（岩手県）　葭田國光（埼玉県）　羽田義彦（岐阜県）　久本精一（香川県）
千葉栄一（岩手県）　角田　裕（埼玉県）　仲谷純三（石川県）　島田　清（香川県）
上原孝悌（宮城県）　鈴木　寛（東京都）　島　秀雄（富山県）　高松眞一（高知県）
永沼誠一（福島県）　大場重信（東京都）　松井健三（京都府）　永井藤一郎（高知県）
葛城徳彦（茨城県）　小宮孝治（東京都）　水谷光孝（京都府）　長岡　守（高知県）
宮本　要（茨城県）　田中典臣（神奈川県）　阪本義樹（大阪府）　尾崎藤義（福岡県）
加部美男（群馬県）　小清水　堯（神奈川県）　八竹良清（兵庫県）　矢野正武（福岡県）
田中　順（群馬県）　長谷川弘和（横浜市）　米田　實（広島県）　宇治寿康（熊本県）
池田　清（千葉県）　岡村一夫（静岡県）　久米　悟（徳島県）　永山三郎（鹿児島県）
篠塚　惠（千葉県）　後藤美喜保（静岡県）　中野　稔（徳島県）　瀬底正俊（沖縄県）

### ●〈学校歯科医制度60周年記念会長表彰〉－平成３年－

佐藤太女子（青森県）　岡田啓助（秋田県）　菅野重之（宮城県）　尾形　新（山形県）
高橋利助（青森県）　小澤　亮（秋田県）　菅原節三（宮城県）　奥山忠吉（山形県）
高橋常蔵（青森県）　加藤猪太郎（秋田県）　加藤幹夫（宮城県）　奥山智一（山形県）
浜中　俊（青森県）　小松盛治（秋田県）　米倉俊夫（宮城県）　奥山輝雄（山形県）
藤田トク（青森県）　武田　一（秋田県）　米澤　澄（宮城県）　金子雄二郎（山形県）
村山つよ（青森県）　中村　實（秋田県）　五十嵐正紀（山形県）　木原清七（山形県）
赤坂栄吉（岩手県）　能登喜久治（秋田県）　石川俊子（山形県）　清野正彦（山形県）
井上丈夫（岩手県）　平沢正男（秋田県）　石黒慶之助（山形県）　黒江二郎（山形県）
伊保内政一（岩手県）　藤田成範（秋田県）　石黒進之助（山形県）　小林與一（山形県）
小野寺久芳（岩手県）　田母神さわ（宮城県）　石沢俊夫（山形県）　駒形正八（山形県）
川口喜三（岩手県）　沼崎弘三（宮城県）　伊藤勝子（山形県）　小松正春（山形県）
千葉栄一（岩手県）　布施孝雄（宮城県）　伊藤　栄（山形県）　斉藤四郎（山形県）
福成　覚（岩手県）　伊藤好太郎（宮城県）　稲葉重恭（山形県）　堺　三郎（山形県）
村田政雄（岩手県）　江崎敏郎（宮城県）　梅津力三（山形県）　堺　みち（山形県）
安東　誠（秋田県）　榊原政雄（宮城県）　漆山偉策（山形県）　桜井英雄（山形県）
大村貴美子（秋田県）　庄子昭夫（宮城県）　大峡　正（山形県）　桜井富美子（山形県）

佐藤光雄（山形県）
横山国蔵（山形県）
志田次郎（山形県）
鈴木　啓（山形県）
鈴木秀雄（山形県）
鈴木清隆（山形県）
鈴木賢政（山形県）
鈴木佳吉（山形県）
高橋八十吉（山形県）
高橋良一（山形県）
高橋　明（山形県）
高山麟次郎（山形県）
武田義一（山形県）
竹田勝典（山形県）
立花　實（山形県）
都筑正憲（山形県）
寺尾鈴井（山形県）
常世恭子（山形県）
冨田良平（山形県）
豊田良介（山形県）
中村　真（山形県）
成原浩一郎（山形県）
沼澤孝夫（山形県）
橋本八郎（山形県）
林　英男（山形県）
原　宏平（山形県）
原田元信（山形県）
東條利夫（山形県）
本間宗次（山形県）
真木綾子（山形県）
村岡　艶（山形県）
村上光雄（山形県）
横山研一（山形県）
五十嵐俊榮（山形県）
市川宗光（山形県）
今野順弘（山形県）
手塚三郎（山形県）
馬場裕吉（山形県）
若月　明（山形県）
遠藤吉雄（福島県）
織田進重（福島県）
加藤富之助（福島県）
川越一三（福島県）
木村徳衛（福島県）
河野幹男（福島県）
塩田俊夫（福島県）
新藤　章（福島県）
杉本　典（福島県）
中條正敏（福島県）
永山直治（福島県）
山田真三（福島県）
山本美則（福島県）
宮内正容（福島県）
安田朋久（福島県）
石橋不二三（茨城県）
今井文尚（茨城県）
上野武雄（茨城県）
枝　弘三（茨城県）
加藤　敦（茨城県）
木村正義（茨城県）
木村卓三（茨城県）
坂寄美枝子（茨城県）
島田弘之（茨城県）
杉田郁二郎（茨城県）
土岐重和（茨城県）
中村正義（茨城県）
中山一郎（茨城県）
長尾冨士男（茨城県）
広瀬勘一（茨城県）
廣瀬二三子（茨城県）
辺田ヒデ（茨城県）
松浦誠一（茨城県）
松金まさ（茨城県）
宮作尚男（茨城県）
新井　清（茨城県）
荒川　昇（茨城県）
神里桂子（茨城県）
関口益次郎（茨城県）
松田とよの（茨城県）
湯本文夫（茨城県）
青木　学（栃木県）
青木　弘（栃木県）
大川邦之（栃木県）
岡田英一（栃木県）
小野信興（栃木県）
小池伊之助（栃木県）
小暮英造（栃木県）
小平清司（栃木県）
今野ヨシ（栃木県）
高木邦太郎（栃木県）
高橋友男（栃木県）
武井利夫（栃木県）
多島寿孝（栃木県）
田村　彰（栃木県）
中里作次郎（栃木県）
野口福三郎（栃木県）
野村　勝（栃木県）
三木正三（栃木県）
三木弘治（栃木県）
美濃部俊嗣（栃木県）
柳田浩司（栃木県）
山本甲三（栃木県）
渡辺文雄（栃木県）
新井りか（群馬県）
石井暁一郎（群馬県）
石井久之（群馬県）
井田　實（群馬県）
井田　治（群馬県）
伊東義博（群馬県）
内田雪雄（群馬県）
大島照雄（群馬県）
大谷文夫（群馬県）
奥谷可勉（群馬県）
奥谷芳夫（群馬県）
小澤静雄（群馬県）
笠間行雄（群馬県）
神山登美夫（群馬県）
河合妙子（群馬県）
岸　俊夫（群馬県）
木村敏孝（群馬県）
木暮文六（群馬県）
小杉　清（群馬県）
椎名義朗（群馬県）
鈴木　裕（群馬県）
須田与志江（群馬県）
須永宗司（群馬県）
関口典行（群馬県）
高野英夫（群馬県）
高橋　茂（群馬県）
高橋光章（群馬県）
高見達雄（群馬県）
田村進樹（群馬県）
塚越三郎（群馬県）
外丸義久（群馬県）
西山秀水（群馬県）
萩原文雄（群馬県）
橋本登代司（群馬県）
布施川豪一（群馬県）
堀池辰巳（群馬県）
松本羊一（群馬県）
村山幸雄（群馬県）
山口　秀（群馬県）
山口貞治（群馬県）
山崎　一（群馬県）
湯本雄三（群馬県）
吉江通正（群馬県）
児島二也（群馬県）
高橋　潔（群馬県）
平形酉壽（群馬県）
前田二三夫（群馬県）
峯岸滋吉（群馬県）
板倉太郎（千葉県）
岩井良雄（千葉県）
上田鉄雄（千葉県）
大内春江（千葉県）
緒方　修（千葉県）
加賀美敏明（千葉県）
古池きい（千葉県）
越川二郎（千葉県）
茂田信生（千葉県）
竹田宗一郎（千葉県）
富田敬男（千葉県）
引田　広（千葉県）
平野孝美（千葉県）
船田英治（千葉県）
相沢甲正（千葉県）
秋本　広（千葉県）
秋山達郎（千葉県）
天羽　正（千葉県）
荒品　多（千葉県）
池田寿雄（千葉県）
石川敏雄（千葉県）
礒　敬一（千葉県）
奥富恒雄（千葉県）
勝山栄子（千葉県）
川崎　壽（千葉県）
小西光子（千葉県）
小林　勇（千葉県）
佐瀬喜一（千葉県）
下重正誠（千葉県）
白井　泉（千葉県）
菅谷博亘（千葉県）
鈴木辰雄（千葉県）
鈴木タメ（千葉県）

## 資料－３　◆ 日本学校歯科医会会長表彰受賞者

竹田貞良（千葉県）
舘脇晴三（千葉県）
田辺衛門（千葉県）
角田健夫（千葉県）
積田正義（千葉県）
仲松弥勇（千葉県）
中村喜之助（千葉県）
成瀬肇（千葉県）
西安平（千葉県）
林直丈（千葉県）
馬場亮二（千葉県）
百束尚彦（千葉県）
広瀬経子（千葉県）
藤田知義（千葉県）
町田忠正（千葉県）
松上寛（千葉県）
山岸市之（千葉県）
山口武彦（千葉県）
相田孝信（埼玉県）
新井喜作（埼玉県）
伊藤春城（埼玉県）
井原泰次（埼玉県）
大沢三武郎（埼玉県）
大槻昇三（埼玉県）
柿沼光雄（埼玉県）
加島忠道（埼玉県）
吉良憲夫（埼玉県）
小西冨士子（埼玉県）
小西好策（埼玉県）
斎藤光生（埼玉県）
佐藤清（埼玉県）
杉田道弘（埼玉県）
鈴木吉平（埼玉県）
関口正雄（埼玉県）
田中澄子（埼玉県）
谷野文夫（埼玉県）
鳥塚重義（埼玉県）
並木芳夫（埼玉県）
引間潔（埼玉県）
肥塚行蔵（埼玉県）
蛭川太郎（埼玉県）
細井基（埼玉県）
松村輝雄（埼玉県）
安田きよ江（埼玉県）
吉井二郎（埼玉県）
吉田大浩（埼玉県）
斉藤美代子（埼玉県）
島田一郎（埼玉県）
高橋達男（埼玉県）
忠隈亨（埼玉県）
田端淳二（埼玉県）
森富栄（埼玉県）
浅野義一郎（東京都）
浅野尚（東京都）
荒井操（東京都）
荒木俊二郎（東京都）
飯島トシ子（東京都）
飯島金司（東京都）
五十嵐五郎（東京都）
五十嵐晃（東京都）
池田駿（東京都）
石毛秀司（東京都）
伊藤龍昭（東京都）
伊藤清（東京都）
井上悟（東京都）
宇井清（東京都）
橋本武夫（東京都）
樋口幸彦（東京都）
日高国雄（東京都）
平野實冨（東京都）
堀栄一（東京都）
前原誠次郎（東京都）
松原信隆（東京都）
三枝松功（東京都）
水口政男（東京都）
三原蔵太郎（東京都）
森満晴（東京都）
森本豊（東京都）
両角彦一（東京都）
矢木幹雄（東京都）
矢沢正典（東京都）
八巻晴埜（東京都）
山田保夫（東京都）
山本軍一（東京都）
山本重男（東京都）
芳村正雄（東京都）
米田茂（東京都）
及川彦市（東京都）
大谷文三（東京都）
小川正一（東京都）
小川博通（東京都）
荻原政雄（東京都）
奥家廣一（東京都）
梶井豊（東京都）
金坂正成（東京都）
川名衛（東京都）
川本丈一（東京都）
木村哲男（東京都）
久保敞宏（東京都）
菰田太郎（東京都）
後藤芳郎（東京都）
斉藤孝正（東京都）
佐久間重忠（東京都）
佐藤幹子（東京都）
佐藤義人（東京都）
信太勇（東京都）
篠崎正義（東京都）
島田浅吉（東京都）
嶋田政次（東京都）
末高武（東京都）
鈴木光夫（東京都）
鈴木一志（東京都）
須田亮平（東京都）
関谷三郎（東京都）
瀬沼寿一（東京都）
對間常男（東京都）
高木鎌次（東京都）
高見沢勝（東京都）
高安次郎（東京都）
田口祐康（東京都）
田中広次（東京都）
中村森隆（東京都）
長島信治（東京都）
永田清次（東京都）
永田栄（東京都）
長沼一郎（東京都）
那須潤治（東京都）
野沢鍵一郎（東京都）
野田穣（東京都）
綾部松次（東京都）
荒井篤丈（東京都）
石塚重一（東京都）
井上汎（東京都）
尾形公義（東京都）
加賀山輝雄（東京都）
金子海平（東京都）
熊川博彦（東京都）
小林美彰（東京都）
佐藤博信（東京都）
鈴木誠一（東京都）
古川為六（東京都）
赤野芳朗（神奈川県）
秋山誠一（神奈川県）
浅野頼雄（神奈川県）
天野茂男（神奈川県）
猪野駿逸（神奈川県）
井上正次（神奈川県）
片山忠夫（神奈川県）
後藤俊（神奈川県）
澤野宗四郎（神奈川県）
清水孝（神奈川県）
谷幸信（神奈川県）
土井博（神奈川県）
行木博男（神奈川県）
西村宣雄（神奈川県）
村上仁信（神奈川県）
楊箸博（神奈川県）
足立清（横浜市）
伊藤正人（横浜市）
大塚通義（横浜市）
加藤増夫（横浜市）
加藤木親郎（横浜市）
河地政次（横浜市）
島田栄顕（横浜市）
林宏一（横浜市）
森田純司（横浜市）
八島競（横浜市）
柳川ハル（横浜市）
山口貞雄（横浜市）
伊藤博（横浜市）
北川逸三（横浜市）
加藤家光（川崎市）
作間富美子（川崎市）
佐々木静雄（川崎市）
田中利三（川崎市）
当麻涼一郎（川崎市）
殿岡寧一（川崎市）
三宅忠雄（川崎市）
山内正明（川崎市）
井出仁一（山梨県）
宅間賢一（山梨県）
田中卯之助（山梨県）
中村静代（山梨県）
古屋富雄（山梨県）

堀田達雄（山梨県）
渡辺四良（山梨県）
服部秀晴（山梨県）
古屋芳樹（山梨県）
青木光江（長野県）
池田美喜男（長野県）
佐野綾子（長野県）
田口　要（長野県）
平林光美（長野県）
百瀬清治（長野県）
井出求義（長野県）
荻野季樹（長野県）
三澤義人（長野県）
宮坂敬二（長野県）
宮下堯人（長野県）
石本良雄（新潟県）
入江　敏（新潟県）
勝海昇一（新潟県）
近藤与四郎（新潟県）
田村久雄（新潟県）
平野末夫（新潟県）
山田義夫（新潟県）
山中観一（新潟県）
浅井寿一（静岡県）
朝波　篤（静岡県）
朝浪惣一（静岡県）
石川　武（静岡県）
石川新七（静岡県）
井原正安（静岡県）
埋田はる子（静岡県）
雲野　寛（静岡県）
大沢一康（静岡県）
大杉亮一（静岡県）
太田楽二（静岡県）
大村頼治（静岡県）
岡村一夫（静岡県）
小田切賢三（静岡県）
勝又良平（静岡県）
狩野　哂（静岡県）
甲斐　清（静岡県）
金井　実（静岡県）
兼子順吉（静岡県）
川村好雄（静岡県）
木瀬一枝（静岡県）
小出文夫（静岡県）
後藤美喜保（静岡県）

斉藤和吉（静岡県）
坂井正男（静岡県）
志茂野里生（静岡県）
春藤すが（静岡県）
杉本　幸（静岡県）
大藤幸雄（静岡県）
戸塚孝一郎（静岡県）
中村幸義（静岡県）
長野　勉（静岡県）
新村英達（静岡県）
野口正与（静岡県）
平田棟一（静岡県）
深谷善清（静岡県）
藤井尋造（静岡県）
増田　宏（静岡県）
松井三郎（静岡県）
松下紀三郎（静岡県）
村松英二（静岡県）
山口晋作（静岡県）
山本賢司（静岡県）
浅井　修（静岡県）
朝倉浩一（愛知県）
安藤忠之（愛知県）
磯貝昇二（愛知県）
臼田昌三（愛知県）
大鹿菊雄（愛知県）
大谷昌志登（愛知県）
大橋二郎（愛知県）
大森三郎（愛知県）
岡田　茂（愛知県）
尾関秀男（愛知県）
尾之内　茂（愛知県）
加藤敏夫（愛知県）
加藤壽郎（愛知県）
金山政一郎（愛知県）
河合孝吉（愛知県）
川部龍二（愛知県）
河村安治（愛知県）
久野　明（愛知県）
黒豆博男（愛知県）
神山英夫（愛知県）
小林佑吉（愛知県）
近藤英之（愛知県）
榊原利男（愛知県）
佐々木萬之助（愛知県）
澤田一夫（愛知県）

鈴木英男（愛知県）
竹内次郎（愛知県）
谷口美憲（愛知県）
田原長衛（愛知県）
都築千幸（愛知県）
鳥居正枝（愛知県）
中島乾太（愛知県）
中根喜太郎（愛知県）
中村政次（愛知県）
西　正男（愛知県）
丹羽源太郎（愛知県）
葉山登志雄（愛知県）
平林瑛一（愛知県）
廣江達雄（愛知県）
藤橋　忠（愛知県）
夫馬真一（愛知県）
夫馬嘉男（愛知県）
古田清一（愛知県）
堀田克巳（愛知県）
松田　昊（愛知県）
丸井広孝（愛知県）
安井　儆（愛知県）
山口　勇（愛知県）
山田二郎（愛知県）
渡辺　實（愛知県）
池田一男（愛知県）
加藤一郎（愛知県）
彦坂　武（愛知県）
青木　惇（名古屋市）
芦刈　実（名古屋市）
足立　喬（名古屋市）
伊藤一利（名古屋市）
犬飼俊一（名古屋市）
奥田継市（名古屋市）
近藤英三（名古屋市）
後藤藤子（名古屋市）
島崎松男（名古屋市）
外畑秀雄（名古屋市）
長瀬静男（名古屋市）
根木重男（名古屋市）
野間　宏（名古屋市）
服部嘉彦（名古屋市）
林　教作（名古屋市）
籾山正孝（名古屋市）
横井久勝（名古屋市）
渡辺　茂（名古屋市）

杉山芳郎（名古屋市）
足立貞子（岐阜県）
伊藤　章（岐阜県）
岩久正次（岐阜県）
上田憲一（岐阜県）
岡田広道（岐阜県）
垣内一雄（岐阜県）
各務良弘（岐阜県）
片野純二（岐阜県）
蒲　宣雄（岐阜県）
亀谷　昭（岐阜県）
亀山　守（岐阜県）
河合政子（岐阜県）
木村みち子（岐阜県）
黒瀬克己（岐阜県）
後藤久雄（岐阜県）
坂井　登（岐阜県）
澤井勝郎（岐阜県）
篠田公平（岐阜県）
杉浦　茂（岐阜県）
杉山正彦（岐阜県）
椙山　茂（岐阜県）
高橋幹夫（岐阜県）
田代九重（岐阜県）
田尻下允孝（岐阜県）
田中浩太郎（岐阜県）
田中一翁（岐阜県）
中矢敏雄（岐阜県）
西尾　尚（岐阜県）
西山孝雄（岐阜県）
原　権平（岐阜県）
馬場孝逸（岐阜県）
藤井糺一（岐阜県）
保母政基（岐阜県）
松岡一美（岐阜県）
馬渕薫价（岐阜県）
武藤正美（岐阜県）
村田良雄（岐阜県）
山田正平（岐阜県）
山田亮治（岐阜県）
渡辺忠男（岐阜県）
安部重敏（岐阜県）
伊東久夫（岐阜県）
今井菊雄（岐阜県）
岩崎三千雄（岐阜県）
岩原秀雄（岐阜県）

## 資料－３　◆ 日本学校歯科医会会長表彰受賞者

上田晶久（岐阜県）
岡部達喜（岐阜県）
河合年朗（岐阜県）
小島月夫（岐阜県）
高木　博（岐阜県）
田口忠夫（岐阜県）
中島友三郎（岐阜県）
小竹　猛（石川県）
河崎　澄（石川県）
川原武夫（石川県）
佐々木義博（石川県）
笹谷哲夫（石川県）
柴田勇夫（石川県）
柴山康雄（石川県）
杉　不二鋭（石川県）
杉森秀雄（石川県）
天日　弘（石川県）
永井健三（石川県）
丹羽又平（石川県）
松井宣和（石川県）
南　行雄（石川県）
宮元亮衛（石川県）
天谷信哉（福井県）
宇野正一（福井県）
小原　勇（福井県）
元文忠男（福井県）
島田　信（福井県）
大塩義雄（福井県）
澤村光枝（福井県）
杉森たかゑ（福井県）
杉本正三（福井県）
野村　弘（福井県）
初瀬川　歛（福井県）
馬場良男（福井県）
福田　稔（福井県）
細井達雄（福井県）
三好慶得（福井県）
山根タマ（福井県）
山本善市（福井県）
吉田英二（福井県）
大野三郎（福井県）
板橋　修（富山県）
大道勇二（富山県）
河原信隆（富山県）
木下友栄（富山県）
木下庄作（富山県）
越野培名男（富山県）
小杉元治（富山県）
小橋長造（富山県）
小山辰二（富山県）
近藤秀雄（富山県）
酒井信義（富山県）
島田正三（富山県）
菅洞栄蔵（富山県）
関　信一（富山県）
竹林正俊（富山県）
茶山信吉（富山県）
水野誓夫（富山県）
山崎安隆（富山県）
芳尾弘史（富山県）
吉沢　進（富山県）
魚津竹男（富山県）
奥平ユキエ（富山県）
高田澄子（富山県）
高広勇次（富山県）
北村真一郎（滋賀県）
北村　昴（滋賀県）
小原りゑ（滋賀県）
島野忠二（滋賀県）
椙本悦三（滋賀県）
泰間慶武（滋賀県）
高崎サツ子（滋賀県）
松橋嘉信（滋賀県）
村上四郎（滋賀県）
安沢義男（滋賀県）
山岸喜久（滋賀県）
伊藤　緑（滋賀県）
松山英夫（滋賀県）
市川宗光（和歌山県）
江見啓一（和歌山県）
荻野延宏（和歌山県）
小野威夫（和歌山県）
岸　竜太郎（和歌山県）
笹野昌三（和歌山県）
鈴間　満（和歌山県）
武田ミヤエ（和歌山県）
玉置　保（和歌山県）
中島数馬（和歌山県）
中島　一（和歌山県）
畑　晃（和歌山県）
坂東匡男（和歌山県）
松田　豊（和歌山県）
村辻武貞（和歌山県）
森　紀彦（和歌山県）
山西康友（和歌山県）
山本幸二（和歌山県）
脇　恒彦（和歌山県）
和田春生（和歌山県）
五木田高知（和歌山県）
千馬一雄（和歌山県）
上田正一（奈良県）
岡下正雄（奈良県）
岡村英二（奈良県）
加藤秀雄（奈良県）
木原敏雄（奈良県）
楠本治朗（奈良県）
小山繁男（奈良県）
杉政吉光（奈良県）
杉村良雄（奈良県）
竹内喜栄（奈良県）
椿本九十郎（奈良県）
中村一正（奈良県）
西川章子（奈良県）
増田信徳（奈良県）
松尾克巳（奈良県）
森田鉄夫（奈良県）
吉田謙司（奈良県）
青木美代子（奈良県）
宮川正巳（奈良県）
足立　均（京都府）
石田寿男（京都府）
石橋　茂（京都府）
伊藤博一（京都府）
井上利彦（京都府）
入江正夫（京都府）
岩田順宗（京都府）
上羽　透（京都府）
岡本俊武（京都府）
小笹政之助（京都府）
鏑木正直（京都府）
河上泰男（京都府）
神田進一（京都府）
木原正直（京都府）
小泉　清（京都府）
後藤英雄（京都府）
笹井喜八郎（京都府）
下村源太郎（京都府）
高橋　茂（京都府）
瀧野英二（京都府）
竹内一郎（京都府）
竹内　茂（京都府）
田渕正直（京都府）
冨川泰太郎（京都府）
内藤　茂（京都府）
長尾美津子（京都府）
松本修一（京都府）
三村親邦（京都府）
宮崎文夫（京都府）
守谷　寿（京都府）
吉川俊一（京都府）
芳沢尚文（京都府）
吉見謙一郎（京都府）
片尾信之（京都府）
小林節男（京都府）
上好光治（大阪府）
大川正文（大阪府）
大住雪雄（大阪府）
岡　仲良（大阪府）
萩野　清（大阪府）
奥野敏明（大阪府）
梶原武夫（大阪府）
北川一夫（大阪府）
木下八郎（大阪府）
木平昌男（大阪府）
楠本政博（大阪府）
倉賀野　宏（大阪府）
倉橋弥太郎（大阪府）
黒田義信（大阪府）
上田みさを（大阪府）
大﨑波真治（大阪府）
野中規矩男（大阪府）
小阪藤兵衛（大阪市）
佐々木健一（大阪市）
白井清一（大阪市）
杉本禎子（大阪市）
杉本史郎（大阪市）
薗　貴志夫（大阪市）
土肥哲夫（大阪市）
中川　修（大阪市）
中村光男（大阪市）
西尾龍夫（大阪市）
野村藤一（大阪市）
林　薫（大阪市）
兵野安吉（大阪市）

八木利蔵（大阪市）
山口正男（大阪市）
山西荒太郎（大阪市）
山本　勝（大阪市）
吉岡平三（大阪市）
赤木耕庵（大阪市）
赤根郁三（大阪市）
飯島敏雄（大阪市）
岡部利平（大阪市）
加藤信一（大阪市）
小林　稔（大阪市）
後藤　薫（大阪市）
田辺五男（大阪市）
西村邦彦（大阪市）
橋本　喬（大阪市）
藤田元規（大阪市）
宮崎秋生（大阪市）
矢谷　澄（大阪市）
山内義雄（大阪市）
天羽千葉夫（兵庫県）
打田定夫（兵庫県）
長阪八朗（兵庫県）
嘉海新三（兵庫県）
丸岡寛一（兵庫県）
石上隆章（神戸市）
大村文夫（神戸市）
梶　壽一（神戸市）
神原　済（神戸市）
越村登志彦（神戸市）
中田　宏（神戸市）
堀家吉夫（神戸市）
前川英太郎（神戸市）
寺内　舜（神戸市）
中本誠実（鳥取県）
藤川政男（鳥取県）
吉井達男（鳥取県）
今田晴隆（鳥取県）
円道武史（鳥取県）
小川定夫（鳥取県）
木村宏毅（鳥取県）
田本博猛（鳥取県）
都橋泰明（鳥取県）
青景茂樹（広島県）
青木秀夫（広島県）
秋山好弘（広島県）
有馬伸生（広島県）
生田輝久（広島県）
井原泰彦（広島県）
大野昌蔵（広島県）
岡橋　勝（広島県）
沖本秀夫（広島県）
尾田三二（広島県）
勝島栄太郎（広島県）
上綱安光（広島県）
烏田佳幸（広島県）
管　積（広島県）
木村恭武（広島県）
桑原俊雄（広島県）
小島基佐子（広島県）
近藤一明（広島県）
後藤敏一（広島県）
斉藤昌子（広島県）
佐々木　積（広島県）
四道　健（広島県）
渋川哲夫（広島県）
瀬川　巖（広島県）
高橋恒雄（広島県）
高森　稔（広島県）
武田安代（広島県）
田坂寿弘（広島県）
田中秀房（広島県）
田中寿雄（広島県）
玉川彰一（広島県）
徳田静二（広島県）
徳永久人（広島県）
冨田民也（広島県）
中谷唯夫（広島県）
中原哲夫（広島県）
萩原正二（広島県）
林　豊（広島県）
林原　守（広島県）
藤澤謙三（広島県）
堀田　実（広島県）
増井寅男（広島県）
宮原　保（広島県）
宮本文治（広島県）
望月三千雄（広島県）
吉岡尊治（広島県）
米田　實（広島県）
楫野文吉（島根県）
後藤直行（島根県）
野津　茂（島根県）
三浦　功（島根県）
鶴崎安成（山口県）
仁保光夫（山口県）
秋田真佐雄（徳島県）
市原正之（徳島県）
浦田惣一（徳島県）
河野堯吉（徳島県）
黒田義男（徳島県）
笹　紋二（徳島県）
佐々木　茂（徳島県）
住友博文（徳島県）
滝　義保（徳島県）
武田新吉（徳島県）
田中虎雄（徳島県）
平岡　保（徳島県）
藤原繁明（徳島県）
前田　汎（徳島県）
三木通宏（徳島県）
宮井章良（徳島県）
三好浩博（徳島県）
吉田敏夫（徳島県）
井上朋弥（徳島県）
福島政文（徳島県）
荒木正俊（香川県）
小川正治（香川県）
香川宗仁（香川県）
金香正治（香川県）
神原啓介（香川県）
木谷浩三（香川県）
久保篤身（香川県）
黒瀬　稔（香川県）
小林　忍（香川県）
近藤武俊（香川県）
塩田忠一（香川県）
漆川一美（香川県）
柴　照夫（香川県）
白井正敏（香川県）
千代喜三次（香川県）
橋本慶博（香川県）
堀　泰昌（香川県）
吉永大九郎（香川県）
井久保敦雄（愛媛県）
岩見静夫（愛媛県）
大谷孫平（愛媛県）
大野晃磨（愛媛県）
久保　進（愛媛県）
河野文子（愛媛県）
小山三郎（愛媛県）
近藤豊富（愛媛県）
神野得典（愛媛県）
鈴木　脩（愛媛県）
武智一義（愛媛県）
橘　賢三（愛媛県）
田中仁一（愛媛県）
大膳哲朗（愛媛県）
長岡静衛（愛媛県）
長岡忠八（愛媛県）
長野丑太郎（愛媛県）
長谷川忠一（愛媛県）
肱川　明（愛媛県）
藤田恭三（愛媛県）
政本隆徳（愛媛県）
麻住泰麿（愛媛県）
松木朝夫（愛媛県）
松沢　荘（愛媛県）
松田六男（愛媛県）
宮木脩次郎（愛媛県）
三好春航（愛媛県）
森原太郎（愛媛県）
山内時孝（愛媛県）
山崎清明（愛媛県）
山本　治（愛媛県）
行元　武（愛媛県）
吉岡　実（愛媛県）
吉田繁雄（愛媛県）
大野喜市（愛媛県）
大野　実（愛媛県）
菊川朋義（愛媛県）
窪田正典（愛媛県）
久保田三彦（愛媛県）
城下　宣（愛媛県）
直野良明（愛媛県）
松本大弐（愛媛県）
水沼正春（愛媛県）
朝日正一（高知県）
大菊義春（高知県）
岸　正明（高知県）
坂本貞言（高知県）
西川清水（高知県）
野田晃光（高知県）
原　敬三（高知県）
普光江久之（高知県）

## 資料－３　◆ 日本学校歯科医会会長表彰受賞者

米花豊苗（高知県）
本田俊一（高知県）
森岡敏夫（高知県）
山本和男（高知県）
吉岡酉一郎（高知県）
相浦専治（福岡県）
青木光和（福岡県）
秋吉猷夫（福岡県）
阿久津勤（福岡県）
有吉明（福岡県）
板井静馬（福岡県）
伊東逸人（福岡県）
岩崎三郎（福岡県）
上野哲雄（福岡県）
上野勇夫（福岡県）
上野佐保（福岡県）
上野正春（福岡県）
宇美房敏（福岡県）
浦田道生（福岡県）
江頭淳（福岡県）
江島浩夫（福岡県）
大石広人（福岡県）
大庭二郎（福岡県）
大渕鉄蔵（福岡県）
大渕唯義（福岡県）
岡野三朗（福岡県）
岡本富樹（福岡県）
奥清人（福岡県）
梶原正利（福岡県）
桂豊（福岡県）
川口球磨男（福岡県）
河野晴一（福岡県）
国房峯夫（福岡県）
久原一夫（福岡県）
熊谷幸雄（福岡県）
栗崎実（福岡県）
古賀敏道（福岡県）
古賀道則（福岡県）
斉藤隆夫（福岡県）
坂田隆保（福岡県）
作間博正（福岡県）
佐藤正豊（福岡県）
佐藤坦樹（福岡県）
篠崎嘉久（福岡県）
篠崎寿一（福岡県）
柴田重男（福岡県）
白土隆司（福岡県）
高尾進（福岡県）
高木良雄（福岡県）
高橋達夫（福岡県）
高橋是敏（福岡県）
高山久三郎（福岡県）
武内恭介（福岡県）
辻正治（福岡県）
津田準治（福岡県）
綱脇啓一（福岡県）
鶴島亀岩（福岡県）
出水慎一（福岡県）
友岡健（福岡県）
中原一（福岡県）
永江廣行（福岡県）
野田弘武（福岡県）
野田真一（福岡県）
原不二男（福岡県）
原光壽（福岡県）
樋口典二（福岡県）
平田壽義（福岡県）
深山博（福岡県）
保坂隆司（福岡県）
本荘靖輝（福岡県）
牧ノブエ（福岡県）
六人部篤信（福岡県）
守永知正（福岡県）
安河内英二（福岡県）
安野律雄（福岡県）
山崎亨（福岡県）
吉井久也（福岡県）
吉岡義夫（福岡県）
吉木淳（福岡県）
吉田秋義（福岡県）
吉田貫一（福岡県）
吉永一郎（福岡県）
吉村誠之（福岡県）
綾塚敏夫（福岡県）
内田忠（福岡県）
川崎昭麿（福岡県）
河野通重（福岡県）
佐竹幸（福岡県）
中富新吾（福岡県）
田中義郎（佐賀県）
原民夫（佐賀県）
青木知明（熊本県）
青砥一雄（熊本県）
伊東武嗣（熊本県）
岩本義人（熊本県）
江崎敏男（熊本県）
江藤重行（熊本県）
大森浩一（熊本県）
大森正哉（熊本県）
緒方成功（熊本県）
緒方俊博（熊本県）
唐見貞喜（熊本県）
河上寿（熊本県）
河野正敏（熊本県）
北村元（熊本県）
工藤喜孝（熊本県）
熊埜御堂吉人（熊本県）
小清水良彦（熊本県）
木庭了（熊本県）
斉藤勧（熊本県）
斉藤孝一（熊本県）
坂口近（熊本県）
鹿井克巳（熊本県）
渋谷栄（熊本県）
嶋田新一（熊本県）
関末喜（熊本県）
竹本康（熊本県）
堤博史（熊本県）
堤貞続（熊本県）
鶴野壽（熊本県）
富永光義（熊本県）
内藤七郎（熊本県）
夏目秀男（熊本県）
西田健吉（熊本県）
野村正美（熊本県）
原口富雄（熊本県）
原田一幸（熊本県）
平井和雄（熊本県）
開田誠一（熊本県）
福田実（熊本県）
前田実（熊本県）
増永増美（熊本県）
松本文雄（熊本県）
宮坂太郎（熊本県）
横山国輝（熊本県）
吉田功（熊本県）
吉田公士（熊本県）
吉田健一（熊本県）
若槻正義（熊本県）
徳富昌文（熊本県）
長谷川民代（宮崎県）
三輪一馬（宮崎県）
朝隈兼士（鹿児島県）
畦元徳子（鹿児島県）
有薗重雄（鹿児島県）
有山実芳（鹿児島県）
安楽平（鹿児島県）
礒橋脩（鹿児島県）
今井哲四（鹿児島県）
大園政男（鹿児島県）
岡山徹（鹿児島県）
鎌田不二雄（鹿児島県）
上薗新一郎（鹿児島県）
川池鼎（鹿児島県）
外所典（鹿児島県）
桐原一夫（鹿児島県）
湖城維新（鹿児島県）
児玉利徳（鹿児島県）
児玉五郎（鹿児島県）
坂ノ上和江（鹿児島県）
佐藤正弘（鹿児島県）
鮫島栄二（鹿児島県）
重村幹夫（鹿児島県）
高木日出男（鹿児島県）
橘木義範（鹿児島県）
堅山光太郎（鹿児島県）
太原一雄（鹿児島県）
田渕ミフ（鹿児島県）
遠矢政則（鹿児島県）
橋口菊弥（鹿児島県）
橋口秀夫（鹿児島県）
濱崎栄二（鹿児島県）
早瀬正一（鹿児島県）
肥後丸海（鹿児島県）
久留彊（鹿児島県）
平嶺東（鹿児島県）
穂園成策（鹿児島県）
政元大治（鹿児島県）
政元憲治（鹿児島県）
森シズノ（鹿児島県）
吉元直吉（鹿児島県）
渡辺栄吉（鹿児島県）
井ノ上哲雄（鹿児島県）
今村勇蔵（鹿児島県）

中村　勲（鹿児島県）　与倉一也（鹿児島県）　友利清勝（沖縄県）　山内秀子（沖縄県）
西　寛（鹿児島県）　高良實（沖縄県）　友利恵亮（沖縄県）　与那城勇（沖縄県）
原田橘造（鹿児島県）　知花朝敏（沖縄県）　中川智晴（沖縄県）　玉城信徳（沖縄県）

## ●平成４年

佐藤熊亀（福島県）　田中均（東京都）　金森広司（岐阜県）　小出忠男（京都府）
福田進平（福島県）　宮澤欽也（東京都）　平出満治（岐阜県）　内藤禎次郎（京都府）
本間康男（福島県）　村岡博（東京都）　山田文男（岐阜県）　前田雅夫（京都府）
田部井三雄（群馬県）　本山宝続（東京都）　渡辺甘一（岐阜県）　吉田達也（京都府）
千村勇（群馬県）　米山よね（東京都）　大野大三郎（福井県）　田中務（神戸市）
野沢勉（千葉県）　大野慶治（神奈川県）　尾山弘（福井県）　守内秀信（神戸市）
松林達蔵（千葉県）　佐藤正士（神奈川県）　島田啓三郎（福井県）　石川照雄（福岡県）
湯浅治（千葉県）　山崎信正（神奈川県）　名村己代治（福井県）　國廣新（福岡県）
岩瀬豊（埼玉県）　田中英一（川崎市）　服部長夫（福井県）　瀧口親尚（福岡県）
海野陽（埼玉県）　鳥養博（川崎市）　藤田忠海（福井県）　田中嘉實（福岡県）
重野金彌（埼玉県）　丸平栄（川崎市）　青木康三（富山県）　丸山鐸之（福岡県）
須田敏治（埼玉県）　古屋巖（山梨県）　小森甚作（富山県）　安藤喜幸（福岡市）
高瀬保光（埼玉県）　伊藤一夫（静岡県）　島信行（富山県）　中富貞次郎（福岡市）
中村貫（埼玉県）　柏木正男（静岡県）　仲村博（富山県）　牟田晴次（佐賀県）
長塩乾（埼玉県）　河村忠明（静岡県）　三島三郎（富山県）　岡村重徳（鹿児島県）
永橋勝寿（埼玉県）　佐塚樹一（静岡県）　中島治（滋賀県）　尾形富雄（鹿児島県）
長弘俊夫（埼玉県）　竹花暁（静岡県）　河合多賀吉（奈良県）
根岸豊子（埼玉県）　永田嘉成（静岡県）　川西稔二（奈良県）
平沼真太郎（埼玉県）　日野原政治（静岡県）　笹木静夫（奈良県）
長内一之（東京都）　岩田金吾（岐阜県）　柿木義夫（京都府）

## ●平成５年

高橋繁彦（札幌市）　中島蔵（茨城県）　荻原寛治（東京都）　岩辺良隆（静岡県）
稲垣利夫（青森県）　平野四郎（茨城県）　武田修三（東京都）　児玉光知（静岡県）
野村一成（青森県）　渡辺博太（茨城県）　津江民男（東京都）　佐藤摩事（静岡県）
波多野弘（青森県）　豊島徳郎（茨城県）　早川嘉彦（東京都）　鈴木敏弘（静岡県）
斎藤宏（秋田県）　神永紀美雄（群馬県）　森田敏弘（東京都）　竹内寿治（静岡県）
佐々木文平（秋田県）　小久保春男（群馬県）　吉永多美男（東京都）　田中歌子（静岡県）
大宮雅人（宮城県）　篠原蔵人（群馬県）　片倉義彦（神奈川県）　土屋寛（静岡県）
鈴木幹一郎（宮城県）　曽根勇（群馬県）　島田恒夫（神奈川県）　中野與一（静岡県）
中里隆（宮城県）　平形一郎（群馬県）　関戸利夫（神奈川県）　中原欽吾（静岡県）
広岡健（宮城県）　穴澤芳朗（千葉県）　水木信彦（横浜市）　小島美臣（岐阜県）
米谷重信（宮城県）　桑田きゐ子（千葉県）　深沢盛（山梨県）　児玉盛策（岐阜県）
目黒文雄（宮城県）　斉藤貞雄（千葉県）　太田啓次（長野県）　後藤恵一（岐阜県）
阪本冨士男（福島県）　三枝一博（千葉県）　小口勝衛（長野県）　清水隆（岐阜県）
佐藤京子（福島県）　鈴木滋（千葉県）　斉藤庄司（長野県）　寺田利夫（岐阜県）
廣瀬實浄雄（福島県）　清水重喜（埼玉県）　高田きみ（長野県）　中村明人（岐阜県）
青木衛（茨城県）　須藤久野（埼玉県）　野村育靖（長野県）　中村栄司（岐阜県）
泉川勇（茨城県）　利根川真澄（埼玉県）　前川寿郎（長野県）　村上武爾（岐阜県）
塚田要（茨城県）　飯嶋恒幸（東京都）　植野忠道（長野県）　渡辺卓也（岐阜県）

## 資料－３　◆ 日本学校歯科医会会長表彰受賞者

酒井　衛（福井県）
丹原光英（福井県）
山下銀七（富山県）
今村敬一（滋賀県）
川南道夫（滋賀県）
山根　悟（滋賀県）
岩崎　勉（和歌山県）
荻野宏純（和歌山県）
高塚　修（和歌山県）
日高ふく代（和歌山県）
和田徹夫（和歌山県）
鈴木徳彦（奈良県）
花岡繁一（奈良県）
木村　正（京都府）
高屋治代（京都府）
田中美智子（京都府）
沼倉加代（京都府）
野瀬　清（京都府）
服部愛次郎（京都府）
吉松信喜（京都府）
朝倉由純（大阪府）
石田孝夫（大阪府）
植野重雄（大阪府）
氏井　亨（大阪府）
岡田　勝（大阪府）
黒田正治（大阪府）
富岡久徳（大阪府）
中村光男（大阪府）
西尾龍雄（大阪府）
村上秀雄（大阪府）
末広　透（大阪市）
松本　直（大阪市）
片山敬三（兵庫県）
澤田　明（兵庫県）
田中英男（兵庫県）
宮坂与四郎（神戸市）
黒瀬武男（広島県）
佐々木幸男（広島県）
高橋立夫（広島県）
田部周蔵（広島県）
中尾俊則（広島県）
永井幸八郎（広島県）
馬越俊彦（広島県）
松山三国（広島県）
阿部精蔵（愛媛県）
井手正久仁（愛媛県）
小笠原哲雄（愛媛県）
古味　通（愛媛県）
薦田精一（愛媛県）
土居通明（愛媛県）
須藤欽也（高知県）
浜口泰宏（高知県）
嘉村健次郎（福岡県）
二宮藤之（福岡県）
旗生清隆（福岡県）
松尾八洲彦（福岡県）
佐藤昌敬（福岡市）
高山正季（福岡市）
北村康正（佐賀県）
鮫島健一（鹿児島県）
田代　進（鹿児島県）
識名博子（沖縄県）
宮城トシ（沖縄県）
村田精太郎（沖縄県）

### ●平成６年

高崎省三（札幌市）
湊谷弥生（青森県）
千田登茂治（岩手県）
綾野次雄（岩手県）
高橋文雄（秋田県）
冨田俊子（山形県）
清野英子（山形県）
桜井邦中（山形県）
菅原　醇（山形県）
今井清司（山形県）
石垣　直（山形県）
佐藤　勤（山形県）
池上勝子（山形県）
竹田貞一（山形県）
武田允文（山形県）
荻原　泉（山形県）
大浪公正（山形県）
菊地幸男（福島県）
古川千代（福島県）
田代隆一（福島県）
渡部康平（福島県）
武田兵司（福島県）
齋藤　甲（福島県）
中井重清（福島県）
木下裕之（群馬県）
金子徳三郎（群馬県）
袋　仁美（群馬県）
中島　上（群馬県）
備前島いわ子（群馬県）
名倉三枝（千葉県）
森　茂（千葉県）
大御博茂（千葉県）
吉橋嗣朗（千葉県）
寺沢　信（千葉県）
島崎　清（千葉県）
片倉利松（千葉県）
板倉武軌（千葉県）
宇井重信（千葉県）
小宮五郎（東京都）
熊谷のぶ（東京都）
栗山喜六（東京都）
首藤綾子（東京都）
熊田正義（東京都）
兒玉正義（東京都）
佐牟田歌子（東京都）
森　勲（東京都）
村松富夫（東京都）
嘉山文夫（神奈川県）
渡辺勝江（神奈川県）
西山伸二（神奈川県）
大谷　仁（神奈川県）
増田　一（横浜市）
川内清人（横浜市）
酒井惣一郎（横浜市）
駒井嘉門（横浜市）
秋月照澪（横浜市）
大森靜雄（川崎市）
高野伊三男（川崎市）
加藤吉次（川崎市）
中林清光（川崎市）
稲葉和輝（川崎市）
柴田　實（川崎市）
山口国光（川崎市）
飯田卓也（川崎市）
岸　鶴夫（長野県）
小宮山　豊（長野県）
宮下良介（長野県）
鮎沢英齢（長野県）
宮下潔臣（長野県）
三輪光弘（長野県）
神田秀彦（静岡県）
木村伯夫（静岡県）
長澤博通（静岡県）
高塚英男（静岡県）
中野松男（静岡県）
武藤　勉（静岡県）
朝比奈秀彌（静岡県）
村上禮吉（静岡県）
武田彦一（名古屋市）
山田　力（名古屋市）
栗崎吉郎（名古屋市）
西本弘志（岐阜県）
河合惣一（岐阜県）
吉田準一郎（岐阜県）
水野芳郎（岐阜県）
水野忠一（岐阜県）
尾沢　倪（岐阜県）
富田　晋（岐阜県）
印牧静一（福井県）
白崎源有（福井県）
沢井　与（福井県）
有馬和弘（滋賀県）
上野一久（滋賀県）
吉田明英（滋賀県）
竹村信次（滋賀県）
朝比奈辰郎（滋賀県）
朝枝善衛（和歌山県）
松川成一（奈良県）
佐古義一（奈良県）
山本　泉（京都府）
佐野輝夫（京都府）
岩井三治（京都府）
筆本新一（大阪市）
西田一夫（大阪市）
海堀利重（大阪市）
安田良三（大阪市）
服部　圓（大阪市）
田中　稔（大阪市）

稲田秀雄（大阪市）
吉見晃（大阪市）
後藤宮男（大阪市）
原要次（兵庫県）
時安直（兵庫県）
金子太郎（兵庫県）
奥田順也（兵庫県）
田尻誠之助（兵庫県）
福原武久（兵庫県）
森鼻正之（神戸市）
河合範夫（神戸市）
田中明（神戸市）
森田六郎（広島県）
宮田保太郎（愛媛県）
田中実（愛媛県）
守屋善興（愛媛県）
日野文雄（愛媛県）
新谷維磨（愛媛県）
寺川宏（愛媛県）
長山陽吉（愛媛県）
釜木公助（福岡県）
大月キミエ（福岡県）
山中順昇（福岡県）
山下孝（福岡県）
山崎好文（福岡県）
元村公雄（福岡県）
本田学（福岡県）
河野二郎（福岡県）
高石一秀（福岡県）
古賀四郎（福岡県）
別府正敏（福岡県）
一田尚利（福岡県）
打和多聞（福岡県）
浜崎初二（福岡県）
武富敏男（福岡市）
大多和敏行（福岡市）
枌芳浩（福岡市）
石田利安（福岡市）
嘉村博（佐賀県）

## ●平成７年

斎藤富蔵（青森県）
中畑栄（青森県）
平山洲一（青森県）
馬場利郎（岩手県）
小林徹夫（秋田県）
山田寛（秋田県）
大内武一（宮城県）
富田達也（宮城県）
松谷松子（宮城県）
皆川美喜雄（宮城県）
太田登（山形県）
佐藤雄二（山形県）
西川啓介（福島県）
石井恒雄（茨城県）
稲葉百太郎（茨城県）
清水賢（茨城県）
鈴木明（茨城県）
武田二郎（茨城県）
永野三枝（茨城県）
麻野弘郎（栃木県）
石塚玄（栃木県）
木代晃（栃木県）
田野井量（栃木県）
長井大（栃木県）
八木三郎（栃木県）
吉成武（栃木県）
渡辺令一（栃木県）
浅沼克己（群馬県）
中嶋和徳（群馬県）
早川キミ（群馬県）
真下俊一（群馬県）
峰岸実（群馬県）
内田重信（千葉県）
竹元静江（千葉県）
藤本登（千葉県）
本間輝夫（千葉県）
渡辺孝夫（千葉県）
田中光蔵（埼玉県）
永田稔（埼玉県）
藤本義夫（埼玉県）
本多喜次（埼玉県）
丸山敏夫（埼玉県）
望月清（埼玉県）
相田孝輔（東京都）
阿部茂（東京都）
雨宮正文（東京都）
荒井正二（東京都）
岩崎芳雄（東京都）
大崎忠義（東京都）
片岡憲三（東京都）
片田恒男（東京都）
茅野昌左（東京都）
神崎貢（東京都）
郡谷和夫（東京都）
河野壽雄（東京都）
駒村浩一（東京都）
重松勝八郎（東京都）
柴田輝雄（東京都）
清水秀忠（東京都）
須賀嘉行（東京都）
高橋静男（東京都）
田中サチ（東京都）
田中規正（東京都）
田村陽（東京都）
東條正明（東京都）
橋本章純（東京都）
和久本一雄（東京都）
大澤高雄（神奈川県）
川村昇（神奈川県）
草薙靖雄（神奈川県）
小林鐵雄（神奈川県）
長谷川幸久（神奈川県）
山田金伍（神奈川県）
沖津富士夫（横浜市）
椛沢徳衛（横浜市）
西崎浅次郎（横浜市）
内田高俊（山梨県）
高仲永（長野県）
滝沢邦夫（長野県）
後藤貴美（静岡県）
笹本允利（静岡県）
澤田善太郎（静岡県）
鈴木邦雄（静岡県）
中村忍（静岡県）
森和喜夫（静岡県）
小島延正（愛知県）
谷口曠（愛知県）
長坂甫（愛知県）
山内孝（愛知県）
山崎薫（愛知県）
磯貝満彦（名古屋市）
伊藤功（名古屋市）
伊藤守正（名古屋市）
大島通男（名古屋市）
各務時子（名古屋市）
門井練造（名古屋市）
桑原春子（名古屋市）
佐藤昭彦（名古屋市）
高橋一郎（名古屋市）
能美敏（名古屋市）
橋本雅吉（名古屋市）
林不二男（名古屋市）
五藤滋郎（岐阜県）
林久夫（岐阜県）
森利雄（岐阜県）
山口満（岐阜県）
矢部一郎（福井県）
有田実（滋賀県）
城山静夫（滋賀県）
河野修（和歌山県）
雑賀静子（和歌山県）
中谷粛（奈良県）
堀内正啓（奈良県）
浅田寿明（京都府）
飯尾幸子（京都府）
上松亨（京都府）
斉藤貞二（京都府）
杉立馨（京都府）
野添静里（京都府）
細川哲良（京都府）
椋棒博（京都府）
安井一雄（京都府）
山根由一（京都府）
奥壽良（大阪府）
菊池泰（大阪府）
竹下哲夫（大阪府）
干潟英子（大阪府）
堀野次郎（大阪府）
山口正男（大阪府）
渡辺喜郎（大阪府）
岡操（大阪市）
坂田次男（大阪市）

## 資料－３　◆ 日本学校歯科医会会長表彰受賞者

中尾欽哉（大阪市）
平林　潔（大阪市）
美濃　豊（大阪市）
吉本　昭（大阪市）
野上　晃（兵庫県）
三好博隆（兵庫県）
栗村　徹（神戸市）
稲田キヨ子（広島県）
沖　秀広（広島県）
佐久間晃孝（広島県）
田部勝英（広島県）
椿田忠之（広島県）
野田武士（広島県）
宝諸司郎（広島県）
山本久顕（広島県）
河内山慎治（山口県）
吉村　査（山口県）
香川正美（香川県）
木田　博（香川県）
北山敏雄（香川県）
藤井昌夫（香川県）
光澤龍雄（香川県）
上田賢一（愛媛県）
浦上富雄（愛媛県）
坂見幸保（愛媛県）
佐藤正康（愛媛県）
関　久香（愛媛県）
西原茂澄（愛媛県）
林田史江（愛媛県）
村上恵一（愛媛県）
渡部幸男（愛媛県）
小松泰子（高知県）
秋野公夫（福岡県）
岩隈　勝（福岡県）
清本和房（福岡県）
古賀和行（福岡県）
佐野久邦（福岡県）
武末　章（福岡県）
橋本富吉（福岡県）
樋口秀夫（福岡県）
古橋正元（福岡県）
今泉　康（福岡市）
水野一夫（福岡市）
松尾東一（佐賀県）

## ●平成８年

波岡貞子（青森県）
平田マリ（青森県）
関　スミ子（岩手県）
赤澤秀男（秋田県）
高橋ハナ（秋田県）
千葉正人（秋田県）
中村　正（秋田県）
松本　和（秋田県）
大内　照（宮城県）
橘高吉人（宮城県）
白幡清子（宮城県）
広瀬　高（宮城県）
永田亀良（山形県）
林　仁一郎（山形県）
瓜生　繁（福島県）
大久保幸子（福島県）
佐藤　宏（福島県）
樋口良輔（福島県）
遠藤　保（茨城県）
竹村　茂（茨城県）
塚原文三（茨城県）
蟻川篤美（群馬県）
内山光隆（群馬県）
坂爪和子（群馬県）
関　良次（群馬県）
武井誠司（群馬県）
田村義高（群馬県）
兼坂昭彦（千葉県）
諏訪泉子（千葉県）
田代静子（千葉県）
野崎千鶴子（千葉県）
近江　茂（埼玉県）
栗原寿美枝（埼玉県）
田中　滋（埼玉県）
中村　博（埼玉県）
蓮見　淳（埼玉県）
花牟礼達三（埼玉県）
平山文夫（埼玉県）
藤崎二郎（埼玉県）
山崎城之助（埼玉県）
秋本　猛（東京都）
熱田俊之助（東京都）
新井登喜雄（東京都）
有輪良之助（東京都）
落合一夫（東京都）
片田静江（東京都）
木村京子（東京都）
木村哲男（東京都）
栗原廉之（東京都）
甲田一夫（東京都）
小山　實（東京都）
佐野　健（東京都）
杉浦英二（東京都）
関　勝（東京都）
高山忠光（東京都）
田所民平（東京都）
樋口民子（東京都）
藤岡　繁（東京都）
本間章介（東京都）
牧田弘雄（東京都）
松崎康人（東京都）
松原市郎（東京都）
矢沢正雄（東京都）
戸田　裕（神奈川県）
青山キミ江（横浜市）
高木昌邦（横浜市）
古屋芳樹（山梨県）
片桐　寿（長野県）
北島寿美子（長野県）
小池源四郎（長野県）
磯貝正二（静岡県）
川田重英（静岡県）
服部　弘（静岡県）
増井悦隆（静岡県）
松浦房雄（静岡県）
山田雅啓（静岡県）
山本俊夫（静岡県）
伊藤智恵子（愛知県）
近藤正彦（愛知県）
佐藤　正（愛知県）
山本和雄（愛知県）
安藤利博（名古屋市）
加納司朗（名古屋市）
遠山　基（名古屋市）
花井繁子（名古屋市）
矢澤　保（名古屋市）
坂井田鶴子（岐阜県）
田原輝也（岐阜県）
松井謙治（岐阜県）
中村　義（福井県）
松井　理（福井県）
小川千春（滋賀県）
大西恒好（和歌山県）
谷口広貴（和歌山県）
谷本みや（和歌山県）
福岡澄郎（奈良県）
米本義一（奈良県）
岩田孝明（京都府）
浦田　長（京都府）
小瀬木　實（京都府）
黒川　勝（京都府）
曽根徳郎（京都府）
藤田三郎（京都府）
藤本善一郎（京都府）
近江幸雄（大阪市）
木村幸三郎（大阪市）
椿井琢磨（大阪市）
土井得次（大阪市）
前田寿治（大阪市）
石原　巖（兵庫県）
磯貝連治（兵庫県）
岩崎信孝（兵庫県）
太田一男（兵庫県）
西原五郎（兵庫県）
赤澤　進（神戸市）
日域昭麿（広島県）
田阪澄生（広島県）
長岡貞彦（広島県）
藤本調太郎（広島県）
井上朋弥（徳島県）
黒田義男（徳島県）
佐々木　茂（徳島県）
仁木　公（徳島県）
野口幸男（徳島県）
三好浩博（徳島県）
井上千恵子（香川県）
兼松幸四郎（香川県）
北条藤子（香川県）

坂　忠徃（愛媛県）
中村スゞ子（愛媛県）
藤沢暁美（愛媛県）
前田　守（愛媛県）
石田輝彦（福岡県）
稲毛アサ子（福岡県）
上橋大作（福岡県）
江口隆治（福岡県）
清川幸雄（福岡県）
久保田舜朗（福岡県）
古賀　律（福岡県）
末永四郎（福岡県）
住野　實（福岡県）
田中政明（福岡県）
松尾　登（福岡県）
三次秀直（福岡県）
犬塚　孝（佐賀県）
寺本龍之助（熊本県）
秋田利雄（鹿児島県）
上村長威（鹿児島県）
小松　博（鹿児島県）
新保香世子（鹿児島県）
和田秀清（鹿児島県）

## ●平成９年

渡辺雄幸（青森県）
横矢　久（岩手県）
小林義禎（秋田県）
工藤忠利（秋田県）
須藤栄子（秋田県）
作左部公寿（秋田県）
野村繁宏（宮城県）
生出昌克（宮城県）
亘理昭太郎（宮城県）
佐々木　光（山形県）
森　貞子（山形県）
小池清晃（山形県）
窪田　實（福島県）
立原甲一（茨城県）
大沢智恵子（茨城県）
佐藤和夫（茨城県）
立原　健（茨城県）
遠藤里出也（茨城県）
横田和夫（茨城県）
栗山　稔（茨城県）
野口昭二（茨城県）
正岡　寿（栃木県）
須藤八重子（栃木県）
角田博義（栃木県）
岡村ちづ（栃木県）
村井正徳（栃木県）
朝山初恵（栃木県）
桜田敏雄（栃木県）
大川襄二（群馬県）
鈴木泰通（群馬県）
浅田弥美（群馬県）
浅見保子（群馬県）
明石隆吉（群馬県）
福田半平（群馬県）
竹元一人（千葉県）
長谷川松春（千葉県）
飯田慶治（千葉県）
本田美知男（千葉県）
石井　昭（千葉県）
植草　貢（千葉県）
阿左見和夫（千葉県）
井上雅義（千葉県）
野入五男（埼玉県）
野田純道（埼玉県）
落合高光（埼玉県）
深谷　昌（埼玉県）
橘田虎雄（埼玉県）
田上和義（埼玉県）
鶴田貴敬（埼玉県）
長又保夫（埼玉県）
新井誠二（埼玉県）
松下信彦（東京都）
田中貞二（東京都）
土手芳治（東京都）
柳澤信道（東京都）
小池千白（東京都）
小野達郎（東京都）
佐野良治（東京都）
藤岡　弘（東京都）
石川青平（東京都）
市村信夫（東京都）
松木正路（東京都）
横澤　功（東京都）
吉野一美（東京都）
澤田昌美（東京都）
佐藤恵子（東京都）
木村和子（東京都）
西村　武（東京都）
相原道男（神奈川県）
三宅睦子（神奈川県）
重原俊夫（神奈川県）
渋谷利雄（神奈川県）
三宅正代（神奈川県）
堀内晴章（神奈川県）
落合登一（神奈川県）
正木行一（横浜市）
大野俊朗（横浜市）
宇佐美昭夫（静岡県）
後藤昭治（静岡県）
黒木義治（静岡県）
田代教平（静岡県）
藤井敏博（静岡県）
寺田計助（静岡県）
原　恒夫（愛知県）
加藤純司（愛知県）
伊神信行（愛知県）
高田敦孟（愛知県）
脇田　巖（愛知県）
岩田好弘（名古屋市）
富田嘉子（名古屋市）
福与碩夫（名古屋市）
伊藤敏夫（名古屋市）
稲熊直二（名古屋市）
山崎友次（名古屋市）
永田　晋（岐阜県）
鹿野節子（岐阜県）
加藤正照（岐阜県）
柚木一夫（富山県）
上田　昌（富山県）
上滝元彦（富山県）
渡辺綱男（富山県）
加藤一昭（福井県）
坂本雅夫（福井県）
堤　宣人（和歌山県）
西田昭二（和歌山県）
藤田宏明（和歌山県）
岡　茂二（和歌山県）
上西　隆（和歌山県）
石原瑞樹（和歌山県）
福岡保郎（奈良県）
東浦　勉（奈良県）
木村克巳（奈良県）
中川長次郎（奈良県）
松井長久（京都府）
松原眞一（京都府）
牛尾光国（京都府）
南口岩雄（大阪府）
瀧野悟郎（大阪府）
西村　弘（大阪府）
清水昭典（大阪府）
細見義一（大阪府）
木村定子（大阪府）
稲野八郎（大阪府）
加藤豊也（大阪府）
生野邦彦（大阪府）
小縣　実（大阪府）
岸村孝一（大阪府）
山本繁春（大阪府）
横山正憲（大阪府）
中村義金（大阪市）
島津準次郎（大阪市）
吉田平八（大阪市）
平岡治雄（大阪市）
尾本儀一（大阪市）
清水　修（兵庫県）
粟田壽々代（兵庫県）
大坂博章（神戸市）
藤井　昭（神戸市）
歌野原迪子（広島県）
黒河成海（広島県）
西本　裕（広島県）
安部省三（香川県）
奥田直昭（愛媛県）
村上　満（愛媛県）
野村明治郎（愛媛県）
森松貞民（愛媛県）
丹　昭三（愛媛県）
渡部　玲（愛媛県）

城戸尚文（福岡県）
古門敏守（福岡県）
池浦ハツ子（福岡県）
高木克己（福岡県）
福井謹吾（福岡県）
井上篤（福岡県）
宮園昇（福岡県）
渥美直重（福岡県）
椛島恭徳（福岡県）
樋口則義（福岡県）
椛島建之（福岡県）
本多徳司（福岡県）
川端昭一（福岡県）
山近憲一郎（福岡県）
柴田義雄（福岡市）
荒木信義（佐賀県）
吉良直衛（熊本県）
川本陽一（鹿児島県）
的場是宏（鹿児島県）
玉利清（鹿児島県）
森昭夫（鹿児島県）
新垣茂夫（沖縄県）

## ● 平成10年

長内滋夫（青森県）
川村志郎（青森県）
吉田真五（青森県）
阿崎耕司（秋田県）
小暮雅（秋田県）
児玉明（秋田県）
菊池文夫（宮城県）
桑島昭悦（宮城県）
千葉剛（宮城県）
千葉穣（宮城県）
茶園邦佳（宮城県）
中井川郁夫（宮城県）
大坪賢二（山形県）
大浪美正（山形県）
神部正孝（山形県）
栗城昭吉（福島県）
井汲勝行（群馬県）
井本節子（群馬県）
大塚國幸（群馬県）
須田徹（群馬県）
田中省順（群馬県）
正木光司（群馬県）
室橋和夫（群馬県）
八木一郎（群馬県）
渡邉淳（群馬県）
植田耕平（千葉県）
浮谷久子（千葉県）
鬼島松子（千葉県）
小滝定長（千葉県）
斉藤俊文（千葉県）
杉山郁夫（千葉県）
鶴岡美和子（千葉県）
寺本一弥（千葉県）
水島洋（千葉県）
宮田俊昭（千葉県）
山倉賢太郎（千葉県）
吉田浩（千葉県）
江川郁夫（埼玉県）
大森美惠子（埼玉県）
岡本丘（埼玉県）
加藤亘（埼玉県）
駒橋康弘（埼玉県）
竹ノ谷正（埼玉県）
松津光江（埼玉県）
柳原達夫（埼玉県）
淡路冠一（東京都）
小野田実（東京都）
糟谷一朗（東京都）
加藤天枝（東京都）
窪田妙子（東京都）
櫻岡歌四郎（東京都）
佐野キミ（東京都）
鹿野善孝（東京都）
島愛子（東京都）
田中徹哉（東京都）
豊野博（東京都）
仲島資鶴子（東京都）
林良幸（東京都）
廣沢史郎（東京都）
二木光茂（東京都）
森崎益夫（東京都）
森田敏弘（東京都）
吉田邦男（東京都）
山本明（東京都）
井上幸恭（東京都）
篠田増雄（東京都）
松本仁夫（東京都）
有泉昭二（神奈川県）
石川勘一（神奈川県）
江藤元一（神奈川県）
高橋英義（神奈川県）
三田昭太郎（神奈川県）
山田昭子（神奈川県）
和田清昭（神奈川県）
荒井敏（横浜市）
樋口淑文（横浜市）
大塩英雄（川崎市）
川島昌雄（川崎市）
相良典幸（川崎市）
佐藤慶一（川崎市）
森田民雄（川崎市）
深沢一人（山梨県）
高沢孝幸（長野県）
原秀好（長野県）
宮崎武雄（長野県）
浅井政晶（静岡県）
渥美悦郎（静岡県）
大野祐之（静岡県）
高橋英一（静岡県）
本目欣一（静岡県）
伊藤隆二（愛知県）
野村幸代（愛知県）
林晋（愛知県）
藤原成克（愛知県）
加藤清（名古屋市）
谷口忠嘉（名古屋市）
田部勤（名古屋市）
河村直彦（岐阜県）
小森範文（岐阜県）
畑佐稔（岐阜県）
大久保雅男（福井県）
谷口セツ子（福井県）
手鹿正（福井県）
中村嬢子（福井県）
広瀬龍三郎（福井県）
松田昭（福井県）
石田喜之（滋賀県）
磯部茂治（滋賀県）
井田俊彦（滋賀県）
北村弘（滋賀県）
堀井洋次（滋賀県）
輪田佐市郎（滋賀県）
小澤豊（和歌山県）
今元忠男（奈良県）
中川豊（奈良県）
平井康允（奈良県）
福本淳（奈良県）
上田正治（京都府）
嘉藤量平（京都府）
中島知（京都府）
野瀬晃（京都府）
藤田曽登夫（京都府）
山本始郎（京都府）
赤木明（大阪府）
天津典男（大阪府）
有地正（大阪府）
今井政一（大阪府）
岡田文男（大阪府）
岡村昭幸（大阪府）
加藤邦雄（大阪府）
高田成夫（大阪府）
寺嶋三郎（大阪府）
内藤嘉夫（大阪府）
西川勉（大阪府）
西村典三（大阪府）
布川宗治（大阪府）
藤井隆太郎（大阪府）
日野年朗（大阪府）
三谷圭三（大阪府）
守下辰弘（大阪府）
山口俊一（大阪府）
山中朝善（大阪府）
山根信明（大阪府）
吉中睦（大阪府）
植田精（大阪市）
奥村勇（大阪市）
道家秀麿（大阪市）
人見昭子（大阪市）

安田　恭（大阪市）
吉田厚雄（大阪市）
大塚正幸（兵庫県）
島津　徹（兵庫県）
船原元信（兵庫県）
清水保則（神戸市）
土佐照代（神戸市）
本多宣章（神戸市）
森田　晃（広島県）
安井　功（広島県）
中山房雄（香川県）
三谷晶彦（香川県）
森　亨三郎（香川県）
石川　環（愛媛県）
喜多岡三郎（愛媛県）
佐伯和子（愛媛県）
清水虔七郎（愛媛県）
高岡　宏（愛媛県）
徳高良造（愛媛県）
荒木實信（福岡県）
岡本辰人（福岡県）
岡本正照（福岡県）
冲永喜代太（福岡県）
嘉多山　勝（福岡県）
川端良幸（福岡県）
斎藤一成（福岡県）
佐々木洋二（福岡県）
嶋田徳男（福岡県）
多々隈繁人（福岡県）
田中　強（福岡県）
冨岡信夫（福岡県）
永江敬之（福岡県）
永松　久（福岡県）
姫野　健（福岡県）
平河辰之（福岡県）
福島敏子（福岡県）
渕上卓三（福岡県）
山下芳晃（福岡県）
四元敏雄（福岡県）
楠川武七（佐賀県）
桐原哲郎（鹿児島県）
末野勝男（鹿児島県）
永利光夫（鹿児島県）
大山日出男（沖縄県）
新城彬明（沖縄県）

## ● 平成11年

玉山勇一（青森県）
湊谷喜代美（青森県）
大﨑久子（岩手県）
鈴木利彦（岩手県）
高橋俊哉（岩手県）
後藤幸子（秋田県）
江場正太郎（宮城県）
佐藤　弘（宮城県）
下田一郎（宮城県）
杉本是孝（宮城県）
前原康子（宮城県）
板倉克良（福島県）
海野勝男（福島県）
小汲喜郎（福島県）
國分敏郎（福島県）
本田　淳（福島県）
増山茂人（福島県）
大久保泰男（茨城県）
久保木康輔（茨城県）
櫻井智司（茨城県）
笹島光男（茨城県）
淀縄一郎（茨城県）
瓜生光代（栃木県）
大島正夫（栃木県）
須永喜代志（栃木県）
柳川健一（栃木県）
簗瀬　伸（栃木県）
小此木千代郷（群馬県）
尾内善夫（群馬県）
北村　博（群馬県）
小池英雄（群馬県）
小林　剛（群馬県）
仁木昭治（群馬県）
石井　隆（千葉県）
石塚旬子（千葉県）
出井　亘（千葉県）
金澤光行（千葉県）
川島安代（千葉県）
岸本幸彦（千葉県）
戸村二郎（千葉県）
長塚文男（千葉県）
荻島　浩（埼玉県）
片桐　誠（埼玉県）
下平　秩（埼玉県）
西村　貢（埼玉県）
宮本　治（埼玉県）
湯澤栄一（埼玉県）
和田源吉（埼玉県）
青木　尚（東京都）
伊澤正夫（東京都）
石川　彰（東京都）
糸日谷誠和（東京都）
扇　寿巳清（東京都）
尾崎周三（東京都）
糟谷圭子（東京都）
小池将浩（東京都）
小林　勤（東京都）
佐藤友二（東京都）
田中道章（東京都）
田部幸次郎（東京都）
塚原幸子（東京都）
花田　實（東京都）
船原清広（東京都）
三浦　登（東京都）
湊　達郎（東京都）
武藤敏雄（東京都）
村上守正（東京都）
茂木　昇（東京都）
森　正幸（東京都）
渡辺和夫（東京都）
及川典久（神奈川県）
末延和明（神奈川県）
鈴木音好（神奈川県）
能勢玲作（神奈川県）
萩原芳夫（神奈川県）
磯野武久（横浜市）
西山　巖（横浜市）
太田久彦（長野県）
春日　衛（長野県）
桐原成光（長野県）
黒澤明雄（長野県）
長澤正江（長野県）
横田　直（長野県）
北見善一（新潟県）
渡邊越男（新潟県）
加藤正和（愛知県）
平野　裕（愛知県）
太田文正（名古屋市）
大谷　強（名古屋市）
日比栄一（名古屋市）
森島　忠（名古屋市）
山本武文（名古屋市）
穐吉　孝（岐阜県）
大口重利（岐阜県）
粥川嘉子（岐阜県）
高田照男（岐阜県）
長井昭三（岐阜県）
原　博（岐阜県）
大家　淳（福井県）
平井文郎（福井県）
宮腰恒寛（福井県）
坪田忠近（富山県）
松浦　實（富山県）
桂　基嗣（滋賀県）
角田音彦（滋賀県）
原田剛直（滋賀県）
増田民幸（滋賀県）
岩本助幸（奈良県）
浦崎忠行（奈良県）
加納和夫（奈良県）
川畑敏行（奈良県）
北岡敏男（奈良県）
高田敬之助（奈良県）
土谷隆宥（奈良県）
野村兼男（奈良県）
堀江正也（奈良県）
吉村忠徳（奈良県）
渡辺正美（奈良県）
宇治川よし子（京都府）
柏井克夫（京都府）
黒井弘道（京都府）
小橋　暁（京都府）
清水俊夫（京都府）
鈴木能和（京都府）

## 資料－３　◆ 日本学校歯科医会会長表彰受賞者

高井昭夫（京都府）
高橋礼三（京都府）
辻　　治（京都府）
内藤雅夫（京都府）
西川　　晶（京都府）
藤田一哉（京都府）
水野良和（京都府）
森　　毅（京都府）
有馬敏晴（大阪府）
池田辰二（大阪府）
上田　　脩（大阪府）
緒方　　保（大阪府）
覚道欣子（大阪府）
鴨打俊治（大阪府）
坂口正礼（大阪府）
竹中一継（大阪府）
野之口一豫（大阪府）
藤原敬治（大阪府）
松本カナコ（大阪府）
今岡　　巖（大阪市）
大塚禮三（大阪市）
大西和彦（大阪市）
岡田平一（大阪市）
奥野達三（大阪市）
奥野昌子（大阪市）
笠井國彦（大阪市）
川村泰雄（大阪市）
中達昭二（大阪市）
古田光行（大阪市）
堀之内藤彦（大阪市）
三好シゲヨ（大阪市）
村川　　明（大阪市）
赤井崇郎（兵庫県）
安積　　宗（兵庫県）
足立　　維（兵庫県）
荒垣淳一（兵庫県）
石田千鶴代（兵庫県）
沢井　　嘉（兵庫県）
瀧野俊一（兵庫県）
武田嘉之（兵庫県）
藤波　　潔（兵庫県）
村田利也（兵庫県）
森本隆一（兵庫県）
安福八郎（兵庫県）
伊藤昭文（広島県）
伊東了自（広島県）
今田昭三（広島県）
海田勝文（広島県）
小林幹夫（広島県）
佐々木高之（広島県）
讃岐圭爾（広島県）
田中邦是（広島県）
矢野潤介（広島県）
亀田任弘（香川県）
川西廣司（香川県）
近藤　　清（香川県）
印南啓子（愛媛県）
竹内鬼子雄（愛媛県）
日野哲雄（愛媛県）
公文義貢（高知県）
黒岩巨勝（高知県）
出光正義（福岡県）
川島次郎（福岡県）
古賀　　隆（福岡県）
柴田　　治（福岡県）
瀧口　　純（福岡県）
武石嘉訓（福岡県）
仲道健一郎（福岡県）
藤田菊郎（福岡県）
安河内半六（福岡県）
安田嘉道（福岡県）
山崎清春（福岡県）
龍　　昭男（福岡県）
葛西　　昇（福岡市）
角田一郎（福岡市）
藤崎護正（福岡市）
古賀重登（佐賀県）
兼浜政勝（沖縄県）
中地　　元（沖縄県）

## ● 平成12年

荒木　　雅（北海道）
江島俊昭（北海道）
高田鉄男（北海道）
黒田祐司（岩手県）
高橋一夫（秋田県）
内田東五（宮城県）
佐藤良三（宮城県）
二宮秀雄（宮城県）
米倉秀夫（宮城県）
鈴木信夫（福島県）
吉成二郎（福島県）
松島　　猛（栃木県）
森戸石孝（栃木県）
吉沢道夫（栃木県）
大橋良昭（埼玉県）
黒﨑セツ（埼玉県）
黒須寿一（埼玉県）
高橋　　進（埼玉県）
塙　　康男（埼玉県）
福田　　博（埼玉県）
宮間満洲男（埼玉県）
石渡繁次（東京都）
大竹恭麿（東京都）
岡田　　茂（東京都）
梶山　　進（東京都）
川島健次郎（東京都）
小林　　昭（東京都）
小林祐一（東京都）
菅谷和夫（東京都）
関　　敏夫（東京都）
田中巳三男（東京都）
中島コト子（東京都）
中村　　淳（東京都）
野口孝之（東京都）
林　　信子（東京都）
細井啓太（東京都）
本間菖平（東京都）
丸山　　茂（東京都）
三上彷和（東京都）
宮下昭寿（東京都）
奥村　　進（神奈川県）
佐野健三（神奈川県）
下里勇三（神奈川県）
杉崎　　衛（神奈川県）
戸倉傳三郎（神奈川県）
新村修二（神奈川県）
萩原　　篤（神奈川県）
布施正夫（神奈川県）
宮　　悌伍（神奈川県）
森田泰弘（神奈川県）
和田但磨（神奈川県）
遠藤利子（横浜市）
関本　　啓（横浜市）
高橋和男（横浜市）
平田利男（横浜市）
曲山和子（横浜市）
一井正康（川崎市）
川越武久（川崎市）
田村昭子（川崎市）
北村　　忠（長野県）
小林則夫（長野県）
小林広康（長野県）
後藤一輔（長野県）
関　　浩志（長野県）
白石敏彦（新潟県）
喜多　　勇（愛知県）
鈴木　　裕（愛知県）
湯口　　聰（愛知県）
押鐘　　功（名古屋市）
水野庄三（名古屋市）
赤塚　　滋（岐阜県）
伊藤　　篤（岐阜県）
乗松雅嗣（岐阜県）
米本昭信（岐阜県）
女川　　清（富山県）
水橋哲夫（富山県）
井口義敏（滋賀県）
西川　　勉（滋賀県）
岩橋成泰（和歌山県）
上西淳伺（和歌山県）
恩地節哉（和歌山県）
玉井幸夫（和歌山県）
松本　　一（和歌山県）
柴田　　徹（奈良県）
和田昭治（奈良県）
藤井　　昭（京都府）
桝　　茂光（京都府）
宮田武英（京都府）
宮永階夫（京都府）
矢谷正公（京都府）
今井敏夫（大阪府）
植田寿顕（大阪府）

大橋　弐（大阪府）
上月二郎（大阪府）
賀屋泰子（大阪府）
北村忠和（大阪府）
杉原良二（大阪府）
濱口　博（大阪府）
高橋　清（大阪府）
真下世知子（大阪府）
松井　一（大阪府）
三木　正（大阪府）
三宅　淳（大阪府）
井上宏道（大阪市）
小川晴巳（大阪市）
金村浩利（大阪市）
川崎昌弘（大阪市）
清水　勲（大阪市）
橋本尚三（大阪市）
橋本蓼子（大阪市）
安井　満（大阪市）
池田昭江（兵庫県）
上野俊一（兵庫県）
岡　好甫（兵庫県）
岡田利雄（兵庫県）
小川靖彦（兵庫県）
嘉ノ海昭吾（兵庫県）
佐竹茂康（兵庫県）
志水和夫（兵庫県）
惣市佳津子（兵庫県）
中森康二（兵庫県）
英　政夫（兵庫県）
前田孝三（兵庫県）
増田弘道（兵庫県）
松田　怜（兵庫県）
村上寛人（兵庫県）
山田雅昭（兵庫県）
佐竹寿恵郎（広島県）
田中　稔（広島県）
原田　保（広島県）
日野祐之（広島県）
芥　徳則（香川県）
安藤文子（香川県）
桂　喜子（香川県）
千秋昌洋（香川県）
井笹慶一（愛媛県）
高橋　勲（愛媛県）
鍵山一雄（高知県）
倉田誠一（福岡県）
堤　清人（福岡県）
中林勝秀（福岡県）
藤村義治（福岡県）
案浦新十郎（福岡市）
谷　政視（佐賀県）
有川太之（鹿児島県）
友利恵勇（沖縄県）
野原　年（沖縄県）

## ● 平成13年

大島二美子（青森県）
加賀もと（青森県）
齊藤　鼎（青森県）
津島廉造（青森県）
三浦道生（青森県）
松岡　昭（岩手県）
小番孝司（秋田県）
田口誠一（秋田県）
工藤三樹彦（宮城県）
渋谷洋逸（宮城県）
渡辺啓輔（宮城県）
五十嵐綾子（山形県）
大瀧俊介（山形県）
大浪正成（山形県）
櫻井　清（山形県）
飯島龍二（茨城県）
小林岳敏（茨城県）
小松﨑　博（茨城県）
高島昭一（茨城県）
寺門乙二（茨城県）
長尾　茂（茨城県）
石川　弘（栃木県）
鈴木和雄（栃木県）
綱川きよ（栃木県）
屋代義文（栃木県）
若林宏雄（栃木県）
兼原　要（群馬県）
高瀬浩一（群馬県）
高松知三（群馬県）
浅野正男（千葉県）
伊藤吉美（千葉県）
追立史郎（千葉県）
小林正幸（千葉県）
五明昭典（千葉県）
新橋隆幸（千葉県）
砂長　博（千葉県）
高橋廉平（千葉県）
浜田きよ（千葉県）
池田義之（埼玉県）
稲葉　幸（埼玉県）
鈴木　弘（埼玉県）
森井信行（埼玉県）
渡辺邦雄（埼玉県）
伊崎友義（東京都）
大森一知（東京都）
北林　博（東京都）
小山隆雄（東京都）
齋藤季夫（東京都）
佐藤義洋（東京都）
塩野目　守（東京都）
白﨑英吉（東京都）
船田　孝（東京都）
三木敏次（東京都）
青木宏祐（神奈川県）
新井敏夫（神奈川県）
飯嶋謙治（神奈川県）
岡部光男（神奈川県）
根本俊男（神奈川県）
橋本三郎（神奈川県）
花村欣也（神奈川県）
広井清智（神奈川県）
三木　洋（神奈川県）
岡　邦彦（横浜市）
志村冨士夫（横浜市）
山之内正高（横浜市）
中川宏明（川崎市）
野中ハジメ（川崎市）
小口智弘（長野県）
中村荘英（長野県）
佐藤　貞（新潟県）
加藤伊都子（愛知県）
神谷雅枝（愛知県）
熊澤龍彦（愛知県）
山田　元（愛知県）
吉﨑俊子（愛知県）
渡辺久松（名古屋市）
市原行雄（岐阜県）
元文伊和男（福井県）
遠矢東城（福井県）
古澤俊一郎（福井県）
篠川之靖（富山県）
三崎正春（富山県）
北河成規（滋賀県）
岡下良智（奈良県）
下田　熙（奈良県）
白井健裕（奈良県）
藤本平典（奈良県）
上田　宏（京都府）
押谷誠之助（京都府）
河田厚公（京都府）
松本英世（京都府）
三久保岩夫（京都府）
山本　弘（京都府）
熊﨑　護（大阪府）
静間紀佳（大阪府）
庄司幸雄（大阪府）
田口房蔵（大阪府）
谷　三（大阪府）
壺内史郎（大阪府）
西浦　守（大阪府）
服部　彪（大阪府）
堀　一雄（大阪府）
真下博敏（大阪府）
増田　亨（大阪府）
南　太市朗（大阪府）
柳原俊夫（大阪府）
釜谷隆之（大阪市）
中井正也（大阪市）
中島和海（大阪市）
福井博一（大阪市）
細見一仁（大阪市）
武田隆雄（兵庫県）
直田清康（兵庫県）
坂東弘志（兵庫県）
増田　孟（神戸市）
矢野　勉（広島県）

## 資料－３　◆ 日本学校歯科医会会長表彰受賞者

坂本　忠（山口県）
佐藤哲夫（徳島県）
高田　武（香川県）
千代武則（香川県）
平田昌弘（香川県）
三宅　旭（香川県）
馬越　脩（愛媛県）
徳永妙子（愛媛県）
岩田淳次郎（高知県）
菊池一雄（福岡県）
城戸秀明（福岡県）
澁田英隆（福岡県）
白谷元成（福岡県）
津川勝哉（福岡県）
津留秀宜（福岡県）
冨安俊司（福岡県）
前田　實（福岡県）
大里泰照（福岡市）
加藤　昭（福岡市）
濱高家三雄（福岡市）
飯田正一（佐賀県）
岩崎俊亮（熊本県）
安光千年（熊本県）
今井武士（宮崎県）
瀬戸口　浩（鹿児島県）
永山寛和（鹿児島県）
高江洲　旭（沖縄県）
真喜屋　剛（沖縄県）

資料-4

# 各種委員会　委員一覧

## 昭和56年度～平成13年度

敬称略・順不同
◎委員長　　○副委員長

## ●昭和56年４月１日～昭和58年３月31日

**◆学術委員会**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 榊原悠紀田郎 | 山田　茂 | 森本　基 | 中尾俊一 | 能美光房 |
| 本村静一 | 長谷川弘和 | 福井初雄 | 丹羽源男 | 高江洲義矩 |

**◆学校歯科保健と地域歯科保健委員会**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 森田純司 | 安西順一 | 有吉茂實 | 大塚皓司 | 宮本房治 |
| 有本武二 | 古川　満 | 能美光房 | 島田　清 | 鎌田俊夫 |
| 龍門敦子 | | | | |

**◆10周年記念事業委員会**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 有本武二 | 子上俊一 | 渡辺武夫 | 咲間武夫 | 木津喜　廣 |
| 小沢忠治 | 関口龍雄 | 宮脇祖順 | 内海　濶 | |

**◆会誌編集委員会**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 榊原悠紀田郎 | 森本　基 | 中尾俊一 | 石川行男 | 賀屋重雍 |
| 戸田　裕 | | | | |

**◆定款改正委員会**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 関口龍雄 | 一戸俊治 | 坂田三一 | 宮脇祖順 | 天津武男 |
| 小沢忠治 | 川口吉雄 | | | |

**◆事業推進委員会**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 咲間武夫 | 朝浪惣一 | 阿部銑弍 | 蒲生勝巳 | 松井健三 |
| 細見忠雄 | 瀬口紀夫 | 遠藤一秋 | 大関英明 | |

**◆待遇改善委員会**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 関口龍雄 | 内海　濶 | 中島清則 | 小沢忠治 | 島田　清 |
| 土谷　信 | 伊藤　力 | 松井健三 | 川村輝雄 | 石井謙二郎 |

**◆学校安全・学校歯科医災害補償委員会**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 川村敏行 | 小沢忠治 | 宮脇祖順 | 有本武二 | 内海　濶 |

沢辺安正　宇佐美宏　亀沢勝利

◆記念誌出版委員会
榊原悠紀田郎　竹内光春　能美光房　石井拓男　丹羽源男

◆奥村賞審査委員会
湯浅泰仁　榊原悠紀田郎　竹内光春　山田茂　貴志淳

## ●昭和58年４月１日～昭和60年３月31日

◆学術委員会
榊原悠紀田郎　山田茂　福井初雄　長谷川弘和　森本基
能美光房　中尾俊一　高江洲義矩　栗山純雄　丹羽源男
石川實　吉田瑩一郎

◆地域学校歯科保健委員会
有本武二　能美光房　島田清　有吉茂實　森田純司
古川満　大塚皓司　安西順一　鎌田俊夫　龍門敦子
井村嘉男

◆事業推進委員会
咲間武夫　木津喜廣　蒲生勝巳　斎藤恭助　阿部鉦弐
細見忠雄　瀬口紀夫　遠藤一秋　松井健三　朝浪惣一
名取有三

◆会誌編集委員会
森本基　石川行男　榊原悠紀田郎　賀屋重雍　戸田裕
石井謙二郎　沢辺安正　西山剛一　今岡久　加藤想士
中村一

◆待遇改善委員会
関口龍雄　川村輝雄　賀屋重雍　末広透　土谷信
中島清則　望月剛　窪田正夫　緒方義昌　中村博司
関浩志

◆学校安全・学校歯科医災害補償委員会
坂田三一　宮脇祖順　有本武二　亀沢勝利　内海潤
宇佐美宏　大内隆　関信一　甲斐雅喜

◆定款改正委員会
関口龍雄　矢口省三　坂田三一　宮脇祖順　一戸俊治
宮本房治　鈴木尚　岩間升　西沢正

◆奥村賞審査委員会
湯浅泰仁　榊原悠紀田郎　竹内光春　山田茂　貴志淳

## ●昭和60年４月１日～昭和62年３月31日

**◆制度研究第１委員会**

松井健三　小林菊生　上村一雄　鈴木　尚　沢辺安正
（担当常務＝有本武二，亀沢勝利，板垣正太郎）
（担当理事＝木津喜　廣）

**◆制度研究第２委員会**

末広　透　藤川重義　穂坂正典　渡辺一民　阪本義樹
中村博司　須山礼吉
（担当常務＝内海　濶，川村輝雄）
（担当理事＝斎藤恭助）

**◆制度研究第３委員会**

光川正雄　福島清寿　有吉茂實　斎藤　尊　藤井　勉
（担当常務＝宮脇祖順，咲間武夫）
（担当理事＝中島清則）

**◆学術第１委員会**

常光　旭　森本　基　中尾俊一　谷　幸信　今岡　久
高橋一夫　瀬口紀夫
（学術委員会担当常務＝榊原悠紀田郎，賀屋重雍，松本　博）
（担当理事＝能美光房）

**◆学術第２委員会**

岡田昭五郎　高江洲義矩　丹羽源男　栗山純雄　龍門敦子
櫻井善忠　神谷幸男　大崎　恭
（担当理事＝高寄　昭）

**◆学術第３委員会**

黒田敬之　大山喬史　覚道幸男　山田　茂　丹羽源男
石川　實　福田武之　豊　清　福井初雄
（担当理事＝田熊恒寿）

**◆普及指導第１委員会**

中尾俊一　細見忠雄　貴志　淳　大沢成美　立花義康
土谷　信　朝浪惣一　梅津文男
（普及指導委員会担当常務＝榊原悠紀田郎，内海　濶，西沢　正）
（担当理事＝細原　広，大内　隆）

**◆普及指導第２委員会**

森本　基　中尾俊一　高橋一夫　岡村親一郎　川口吉雄
（担当理事＝蒲生勝巳）

## 資料－４　◆ 各種委員会 委員一覧

**◆会誌編集委員会**
梶 取 卓 治　　出 口 和 邦　　西 山 剛 一　　木 村 雅 行　　中 村　　一
（広報出版担当常務＝宮 脇 祖 順，石 川 行 男）
（担当理事＝古 川　　満，島 田　　清）

**◆奥村賞審査委員会**
竹 内 光 春　　榊原悠紀田郎　　山 田　　茂　　森 本　　基　　丹 羽 源 男
西連寺 愛 憲

## ●昭和62年４月１日～平成元年３月31日

**◆制度研究第１委員会**
◎鈴 木　　尚（福島県）　　○小 林 菊 生（東京都）　　中 脇 恒 夫（東京都）
末 広　　透（大阪府）　　福 島 清 寿（東京都）　　松 谷 文 雄（大阪府）
（担当理事＝朝 浪 惣 一，石 井 謙二郎）

**◆制度研究第２委員会**
◎阪 本 義 樹（大阪府）　　○穂 坂 正 典（東京都）　　中 村 博 司（神戸市）
曽 根 良 三（岩手県）　　鰕 原 悦 郎（栃木県）　　藤 川 重 義（佐賀市）
山 本 康 治（福岡県）
（担当理事＝田 中 雄 三，中 島 清 則）

**◆学術第１委員会**
◎能 美 光 房（学　識）　　○常 光　　旭（学　識）　　○森 本　　基（学　識）
○中 尾 俊 一（学　識）　　谷　　幸 信（神奈川県）　　今 岡　　久（奈良県）
高 橋 一 夫（東京都）　　五十嵐 武 美（神奈川県）
（担当理事＝斎 藤 恭 助）

**◆学術第２委員会**
◎岡 田 昭五郎（学　識）　　高江洲 義 矩（学　識）　　大 畑 直 暉（東京都）
沢 辺 安 正（埼玉県）　　栗 山 純 雄（東京都）　　龍 門 敦 子（大阪府）
神 谷 幸 男（京都府）
（担当理事＝高 寄　　昭）

**◆学術第３委員会**
◎福 田 武 之（東京都）　　○布 田 栄 作（東京都）　　黒 田 敬 之（学　識）
大 山 喬 史（学　識）　　覚 道 幸 男（学　識）　　福 井 初 雄（千葉県）
中 田　　実（兵庫県）　　武 田　　洋（札幌市）
（担当理事＝瀬 口 紀 夫）

**◆普及指導第１委員会**
◎中 尾 俊 一（学　識）　　○大 沢 成 美（東京都）　　土 谷　　信（群馬県）
細 見 忠 雄（兵庫県）　　梅 津 文 男（宮城県）　　四 元　　貢（鹿児島県）
瑞 森 茂 雄（大阪府）
（担当理事＝大 内　　隆）

◆普及指導第２委員会
◎森 本　　基（学　識）　　○立 花 義 康（青森県）　　中 尾 俊 一（学　識）
川 口 吉 雄（和歌山県）　　岡 村 親一郎（大阪府）　　熊 谷　　淳（青森県）
（担当理事＝蒲 生 勝 巳，永 冨　　稔）

◆会誌編集委員会
◎梶 取 卓 治（東京都）　　○木 村 雅 行（奈良県）　　出 口 和 邦（大阪府）
（担当理事＝湯 浅 太 郎）

◆国際交流検討委員会
◎田 中 建 吾（東京都）　　○早 坂 慶 晴（宮城県）　　柴 田 嘉 則（東京都）
佐 藤 文 夫（大阪府）
（担当理事＝田 熊 恒 寿）

◆全日本よい歯の学校審査委員会
咲 間 武 夫（本会役員）　　西連寺 愛 憲（本会役員）　　榊原悠紀田郎（本会役員）
森 本　　基（学　識）　　込 山　　進（文部省）　　吉 田 瑩一郎（文部省）

◆図画・ポスター審査委員会
近 岡 善次郎（一水会）　　加 藤 増 夫（本会役員）　　咲 間 武 夫（本会役員）
西連寺 愛 憲（本会役員）

◆奥村賞審査委員会
◎竹 内 光 春（学　識）　　榊原悠紀田郎（本会役員）　　森 本　　基（学　識）
丹 羽 源 男（学　識）　　西連寺 愛 憲（本会役員）

## ●平成元年４月１日～平成３年３月31日

◆制度研究第１委員会
◎鈴 木　　尚（福島県）　　○小 林 菊 生（東京都）　　福 島 清 壽（東京都）
松 谷 文 雄（大阪府）　　中 脇 恒 夫（東京都）　　光 川 正 雄（大阪市）
樋 口 則 義（福岡県）
（担当役員＝朝 浪 惣 一，石 井 謙二郎，斎 藤　　昇，沢 辺 安 正）

◆制度研究第２委員会
○穂 坂 正 典（東京都）　　◎阪 本 義 樹（大阪府）　　曽 根 良 三（岩手県）
鰕 原 悦 郎（栃木県）　　山 本 康 治（福岡県）　　藤 井　　昭（兵庫県）
小見山 武 雄（岐阜県）　　鈴 木 晴 司（香川県）
（担当役員＝中 島 清 則，和田久　幸，斎 藤　　昇，沢 辺 安 正）

◆制度研究第３委員会
○郷 家 哲 也（宮城県）　　坂 本 俊 夫（福井県）　　枌　　芳 浩（福岡市）
人 見 晃 司（滋賀県）　　◎加 藤 想 士（千葉県）　　飛 梅　　統（徳島県）
玉 木　　修（秋田県）　　小野田 政 春（静岡県）
（担当役員＝神 戸 義 二，有 吉 茂 實，八 竹 良 清，松 岡　　博，鈴 木　　實）

## 資料－4 ◆ 各種委員会 委員一覧

### ◆学術第１委員会

森 本　　基（学　識）　　中 尾 俊 一（学　識）　　常 光　　旭（学　識）
高江洲 義 矩（学　識）　　大 畑 直 暉（東京都）　　尾 崎 正 俊（神奈川県）
浦 島　　治（埼玉県）　　川 島 慶 三（青森県）
（担当役員＝田 熊 恒 寿，石 川　　實，五十嵐 武 美）

### ◆学術第２委員会

◎岡 田 昭五郎（学　識）　　能 美 光 房（学　識）　　龍 門 敦 子（大阪府）
高 寄　　昭（京都府）　　神 谷 幸 男（京都府）　　今 岡　　久（奈良県）
谷　　幸 信（神奈川県）　　藤 井 宏 次（名古屋市）
（担当役員＝近 藤 三 雄，篠 田 忠 夫，石 川　　實，五十嵐 武 美）

### ◆学術第３委員会

黒 田 敬 之（学　識）　　○大 山 喬 史（学　識）　　覚 道 幸 男（学　識）
福 田 武 之（東京都）　　福 井 初 雄（千葉県）　　中 田　　実（兵庫県）
武 田　　洋（札幌市）　　◎布 田 栄 作（東京都）
（担当役員＝岡 田 誠 一，石 川　　實，五十嵐 武 美）

### ◆普及指導第１委員会

◎中 尾 俊 一（学　識）　　○大 沢 成 美（東京都）　　梅 津 文 男（宮城県）
大 殿 雅 次（鹿児島県）　　高 森 経 義（熊本県）　　木 下 祐 宏（神戸市）
簗 瀬 滋 男（群馬県）　　高 島 恭 一（高知県）　　石 井 直 美（都教委）
（担当役員＝草 薙 雄 進，田 中 雄 三）

### ◆普及指導第２委員会

森 本　　基（学　識）　　中 尾 俊 一（学　識）　　岡 村 親一郎（大阪府）
太 田 道 信（長野県）　　藤 岡 道 治（広島県）　　大 内　　隆（大阪府）
遠 藤 松 夫（福島県）　　阿 部 洋一郎（宮城県）
（担当役員＝立 花 義 康，川 口 吉 雄）

### ◆国際交流委員会

田 中 建 吾（東京都）　　早 坂 慶 晴（宮城県）　　佐 藤 文 夫（大阪府）
河 合 良 明（名古屋市）　　亀 田 邦 彦（愛媛県）
（担当役員＝瀬 口 紀 夫）

### ◆会誌編集委員会

◎梶 取 卓 治（東京都）　　○出 口 和 邦（大阪府）　　木 村 雅 行（奈良県）
菅 谷 和 夫（東京都）
（担当役員＝湯 浅 太 郎）

### ◆広報編集委員会

塚 本　　亨（東京都）　　古 川　　正（東京都）　　柿 沼 幸 宏（栃木県）
（担当役員＝櫻 井 善 忠，湯 浅 太 郎）

### ◆「むし歯予防推進指定校」のアフターフォローの検討委員会

森 本　　基（学　識）　　中 尾 俊 一（学　識）　　岡 田 昭五郎（学　識）

**◆全日本よい歯の学校審査委員会**

◎高 橋 一 夫（本会役員）　西連寺 愛 憲（本会役員）　石 川　　實（本会役員）
森 本　　基（学　識）　石 川　　晋（文部省）　吉 田 瑩一郎（学　識）
猪 股 俊 二（文部省）

**◆図画・ポスター審査委員会**

加 藤 増 夫（本会役員）　西連寺 愛 憲（本会役員）　湯 浅 太 郎（本会役員）
近 岡 善次郎（一水会）

## ●平成３年４月１日～平成５年３月31日

**◆制度研究第１委員会**

鈴 木　　尚（福島県）　小 林 菊 生（東京都）　福 島 清 壽（東京都）
松 谷 文 雄（大阪府）　光 川 正 雄（大阪市）　樋 口 則 義（福岡県）
村 上 元 一（東京都）
担当役員（常務理事）＝神 戸 義 二
（理　　事）＝郷 家 智 道，朝 浪 惣 一

**◆制度研究第２委員会**

穂 坂 正 典（東京都）　阪 本 義 樹（大阪府）　曽 根 良 三（岩手県）
鰕 原 悦 郎（栃木県）　占 部 弘 道（福岡県）　藤 井　　昭（兵庫県）
小見山 武 雄（岐阜県）　鈴 木 晴 司（香川県）
担当役員（常務理事）＝多名部 金 徳
（理　　事）＝中 島 清 則，浅 井 計 征

**◆制度研究第３委員会**

菊 地 紳 二（宮城県）　枌　　芳 浩（福岡市）　人 見 晃 司（滋賀県）
加 藤 想 士（千葉県）　玉 木　　修（秋田県）　服 部 悦士郎（愛知県）
野 口 勝 弘（兵庫県）
担当役員（常務理事）＝有 吉 茂 實，中 森 康 二
（理　　事）＝野 溝 正 志

**◆学術第１委員会**

森 本　　基（学　識）　中 尾 俊 一（学　識）　常 光　　旭（学　識）
高江洲 義 矩（学　識）　吉 田 瑩一郎（学　識）　大 畑 直 暉（東京都）
尾 崎 正 俊（神奈川県）　浦 島　　治（埼玉県）　川 島 慶 三（青森県）
担当役員（常務理事）＝立 花 義 康，石 川　　實

**◆学術第２委員会**

岡 田 昭五郎（学　識）　能 美 光 房（学　識）　龍 門 敦 子（大阪府）
堀 井 宏 道（京都府）　神 谷 幸 男（京都府）　今 岡　　久（奈良県）
谷　　幸 信（神奈川県）　藤 井 宏 次（名古屋市）　奥 寺 文 彦（青森県）
担当役員（常務理事）＝五十嵐 武 美
（理　　事）＝近 藤 三 雄，篠 田 忠 夫

## 資料－４　◆ 各種委員会 委員一覧

### ◆学術第３委員会

黒田敬之（学　識）　大山喬史（学　識）　覚道幸男（学　識）
福田武之（東京都）　福井初雄（千葉県）　大頭孝三（兵庫県）
飯田一実（札幌市）　布田栄作（東京都）　宮城正廣（沖縄県）
担当役員（常務理事）＝麻生敏夫
（理　　事）＝岡田誠一

### ◆普及指導第１委員会

中尾俊一（学　識）　坪田銕夫（宮城県）　大殿雅次（鹿児島県）
高森経義（熊本県）　木下祐宏（神戸市）　簗瀬滋男（群馬県）
高島恭一（高知県）　石井直美（都教委）
担当役員（常務理事）＝石川　實
（理　　事）＝中脇恒夫

### ◆普及指導第２委員会

森本　基（学　識）　中尾俊一（学　識）　岡村親一郎（大阪府）
太田道信（長野県）　藤岡道治（広島県）　大内　隆（大阪府）
飛梅　統（徳島県）　高木忠雄（埼玉県）　中條幸一（宮城県）
担当役員（常務理事）＝麻生敏夫
（理　　事）＝遠藤松夫，佐川　肇

### ◆普及指導第３委員会

森本　基（学　識）　中尾俊一（学　識）　岡田昭五郎（学　識）
高江洲義矩（学　識）　鈴木　尚（福島県）

### ◆国際交流委員会

田中建吾（東京都）　小寺正克（宮城県）　佐藤文夫（大阪府）
河合良明（名古屋市）　高橋一郎（愛媛県）　増田敏雄（鹿児島県）
担当役員（理　　事）＝田熊恒寿，瀬口紀夫

### ◆会誌編集委員会

梶取卓治（東京都）　出口和邦（大阪府）　松谷真一（埼玉県）
菅谷和夫（東京都）
担当役員（常務理事）＝櫻井善忠
（理　　事）＝木村雅行

### ◆広報編集委員会

塚本　亨（東京都）　古川　正（東京都）　柿沼幸宏（栃木県）
担当役員（常務理事）＝桜井善忠
（理　　事）＝木村雅行

### ◆「むし歯予防推進指定校」のアフターフォローの検討委員会

森本　基（学　識）　中尾俊一（学　識）　岡田昭五郎（学　識）
西連寺愛憲（本会役員）　湯浅太郎（本会役員）

### ◆全日本よい歯の学校表彰審査委員会

西連寺愛憲（本会役員）　石川　實（本会役員）　湯浅太郎（本会役員）
森本　基（学　識）　富岡賢治（文部省）　吉田瑩一郎（学　識）
猪股俊二（文部省）

**◆図画・ポスター審査委員会**

加 藤 増 夫（本会役員）　西連寺 愛 憲（本会役員）　湯 浅 太 郎（本会役員）
五十嵐 武 美（本会役員）　近 岡 善次郎（一水会）

**◆ワークショップ研修会内容検討委員会**

森 本　　基（学　識）　中 尾 俊 一（学　識）　岡 田 昭五郎（学　識）
吉 田 瑩一郎（学　識）　西連寺 愛 憲（本会役員）　石 川　　實（本会役員）
中 脇 恒 夫（本会役員）

## ●平成５年４月１日～平成７年３月31日

**◆制度研究第１委員会**

鈴 木　　尚（福島県）　小 林 菊 生（東京都）　福 島 清 壽（東京都）
村 上 元 一（東京都）　松 谷 文 雄（大阪府）　光 川 正 雄（大阪市）
樋 口 則 義（福岡県）
担当役員（常務理事）＝郷 家 智 道
（理　　事）＝齋 藤　　浩

**◆制度研究第２委員会**

曽 根 良 三（岩手県）　中 條 幸 一（宮城県）　鰕 原 悦 郎（栃木県）
穂 坂 正 典（東京都）　小見山 武 雄（岐阜県）　堀 田 雄 一（大阪府）
中 川　　真（兵庫県）
担当役員（常務理事）＝生 駒　　等
（理　　事）＝篠 田 忠 夫

**◆制度研究第３委員会**

越 前 和 俊（秋田県）　菊 地 紳 二（宮城県）　加 藤 想 士（千葉県）
小 渕 隆 亮（和歌山県）　井 上 一 男（大阪府）　野 口 勝 弘（兵庫県）
葛 西　　昇（福岡市）
担当役員（常務理事）＝神 戸 義 二
（理　　事）＝野 溝 正 志，浅 井 計 征

**◆学術第１委員会**

森 本　　基（学　識）　中 尾 俊 一（学　識）　高江洲 義 矩（学　識）
吉 田 瑩一郎（学　識）　川 島 慶 三（青森県）　浦 島　　治（埼玉県）
内 田 成 一（東京都）　尾 崎 正 俊（神奈川県）　上 村 正 彦（大阪府）
担当役員（常務理事）＝五十嵐 武 美
（理　　事）＝羽 田 義 彦，人 見 晃 司

**◆学術第２委員会**

岡 田 昭五郎（学　識）　奥 寺 文 彦（青森県）　奈 良 文 雄（千葉県）
谷　　幸 信（神奈川県）　今 岡　　久（奈良県）　添 田　　廣（京都府）
神 谷 幸 男（京都府）　龍 門 敦 子（大阪府）　飛 梅　　統（徳島県）
担当役員（常務理事）＝中 森 康 二
（理　　事）＝藤 井 宏 次

## 資料－４　◆ 各種委員会 委員一覧

**◆学術第３委員会**

黒田敬之（学　識）　大山喬史（学　識）　覚道幸男（学　識）
飯田一実（札幌市）　福井初雄（千葉県）　福田武之（東京都）
布田栄作（東京都）　大頭孝三（兵庫県）　宮城正廣（沖縄県）
担当役員（常務理事）＝石川　實
（理　事）＝岡田誠一

**◆普及指導第１委員会**

中尾俊一（学　識）　堀内　哲（東京都）　坪田銕夫（宮城県）
大殿雅次（鹿児島県）　高森経義（熊本県）　木下祐宏（神戸市）
簗瀬滋男（群馬県）　高島恭一（高知県）　杉原瑛治（福岡県）
担当役員（常務理事）＝立花義康
（理　事）＝松下　忍

**◆普及指導第２委員会**

森本　基（学　識）　中尾俊一（学　識）　遠藤松夫（福島県）
高木忠雄（埼玉県）　宮坂昌弘（長野県）　服部悦士郎（愛知県）
山崎龍庵（福井県）　岡村親一郎（大阪府）　藤岡道治（広島県）
担当役員（常務理事）＝麻生敏夫
（理　事）＝中島清則

**◆普及指導第３委員会**

森本　基（学　識）　中尾俊一（学　識）　岡田昭五郎（学　識）
高江洲義矩（学　識）　鈴木　尚（福島県）
担当役員（副会長兼専務理事）＝西連寺愛憲
（常務理事）＝石川　實

**◆国際交流委員会**

小寺正克（宮城県）　田中建吾（東京都）　河合良明（名古屋市）
佐藤文夫（大阪府）　高橋一郎（愛媛県）　増田敏雄（鹿児島県）
担当役員（理　事）＝瀬口紀夫

**◆会誌編集委員会**

松谷真一（埼玉県）　梶取卓治（東京都）　菅谷和夫（東京都）
出口和邦（大阪府）
担当役員（理　事）＝櫻井善忠，片山公平

**◆広報編集委員会**

塚本　亨（東京都）　古川　正（東京都）　柿沼幸宏（栃木県）
担当役員（理　事）＝櫻井善忠，片山公平

**◆全日本よい歯の学校表彰審査委員会**

近藤信司（文部省）　猪股俊二（文部省）　森本　基（学　識）
吉田瑩一郎（学　識）　西連寺愛憲（本会役員）　石川　實（本会役員）
麻生敏夫（本会役員）

**◆図画・ポスター審査委員会**

近岡善次郎（一水会）　西連寺愛憲（本会役員）　湯浅太郎（本会役員）
五十嵐武美（本会役員）　麻生敏夫（本会役員）
オブザーバー＝加藤増夫（本会会長）

◆ワークショップ研修会内容検討委員会

森 本　　基（学　識）　　中 尾 俊 一（学　識）　　岡 田 昭五郎（学　識）
吉 田 瑩一郎（学　識）　　西連寺 愛 憲（本会役員）　　石 川　　實（本会役員）
中 脇 恒 夫（本会役員）

## ●平成７年４月１日～平成９年３月31日

◆制度研究第１委員会

鈴 木　　尚（福島県）　　村 上 直 隆（宮城県）　　福 島 清 壽（東京都）
松 谷 文 雄（大阪府）　　光 川 正 雄（大阪市）　　樋 口 則 義（福岡県）
担当役員（常務理事）＝郷 家 智 道，岡 村 親一郎
（理　　事）＝瀬 尾　　正

◆制度研究第２委員会

中 條 幸 一（宮城県）　　鰕 原 悦 郎（栃木県）　　穂 坂 正 典（東京都）
小見山 武 雄（岐阜県）　　宮 本 正 彰（名古屋市）　　堀 田 雄 一（大阪府）
担当役員（常務理事）＝飯 島 恵 一
（理　　事）＝松 岡　　博

◆制度研究第３委員会

越 前 和 俊（秋田県）　　冨 田　　滋（山形県）　　片 野 光一郎（群馬県）
加 藤 想 士（千葉県）　　前 田 耕 通（和歌山県）　　葛 西　　昇（福岡市）
担当役員（常務理事）＝神 戸 義 二
（理　　事）＝野 溝 正 志

◆学術第１委員会

森 本　　基（学　識）　　中 尾 俊 一（学　識）　　高江洲 義 矩（学　識）
吉 田 瑩一郎（学　識）　　川 島 慶 三（青森県）　　内 田 成 一（東京都）
尾 崎 正 俊（神奈川県）
担当役員（常務理事）＝藤 井 宏 次
（理　　事）＝人 見 晃 司

◆学術第２委員会

岡 田 昭五郎（学　識）　　奥 寺 文 彦（青森県）　　奈 良 文 雄（千葉県）
谷　　幸 信（神奈川県）　　今 岡　　久（奈良県）　　神 谷 幸 男（京都府）
龍 門 敦 子（大阪府）　　飛 梅　　統（徳島県）
担当役員（常務理事）＝有 吉 茂 實
（理　　事）＝羽 田 義 彦，高 島 恭 一

◆学術第３委員会

黒 田 敬 之（学　識）　　大 山 喬 史（学　識）　　赤 坂 守 人（学　識）
飯 田 一 實（札幌市）　　福 田 武 之（東京都）　　布 田 栄 作（東京都）
津 谷　　功（兵庫県）　　宮 城 正 廣（沖縄県）
担当役員（常務理事）＝福 井 初 雄
（理　　事）＝添 田　　廣

## 資料－４　◆ 各種委員会 委員一覧

### ◆普及指導第１委員会

| | | |
|---|---|---|
| 中尾俊一（学　識） | 堀内　哲（東京都） | 丸山進一郎（東京都） |
| 宮澤正臣（横浜市） | 平塚靖規（京都府） | 森川　勝（大阪府） |
| 杉原瑛治（福岡県） | 伊藤隆利（熊本県） | 大殿雅次（鹿児島県） |

担当役員（常務理事）＝立花義康
（理　事）＝瀬口紀夫

### ◆普及指導第２委員会

| | | |
|---|---|---|
| 森本　基（学　識） | 中尾俊一（学　識） | 遠藤松夫（福島県） |
| 森田芳和（埼玉県） | 今村　旭（東京都） | 村上元一（東京都） |
| 高山文晴（長野県） | 山崎龍庵（福井県） | |

担当役員（常務理事）＝石川　實
（理　事）＝本内栄一

### ◆普及指導第３委員会

| | | |
|---|---|---|
| 森本　基（学　識） | 中尾俊一（学　識） | 岡田昭五郎（学　識） |
| 高江洲義矩（学　識） | 鈴木　尚（福島県） | |

担当役員（専務理事）＝小林菊生

### ◆国際交流委員会

| | | |
|---|---|---|
| 田中建吾（東京都） | 佐藤文夫（大阪府） | 久保田紀夫（愛媛県） |
| 増田敏雄（鹿児島県） | | |

担当役員（常務理事）＝五十嵐武美
（理　事）＝河合良明

### ◆会誌・広報編集委員会

| | | |
|---|---|---|
| 松谷真一（埼玉県） | 佐藤貞彦（東京都） | 菅谷和夫（東京都） |
| 古川　正（東京都） | 塚本　亨（東京都） | 出口和邦（大阪府） |

担当役員（常務理事）＝中田郁平
（理　事）＝片山公平

### ◆全日本よい歯の学校表彰審査委員会

| | | |
|---|---|---|
| 北見耕一（文部省） | 戸田芳雄（文部省） | 森本　基（学　識） |
| 吉田瑩一郎（学　識） | 猪股俊二（学　識） | 西連寺愛憲（本会会長） |
| 小林菊生（本会専務） | 石川　實（本会常務） | 中田郁平（本会常務） |

### ◆図画・ポスター審査委員会

| | | |
|---|---|---|
| 近岡善次郎（一水会） | 西連寺愛憲（本会会長） | 小林菊生（本会専務） |
| 五十嵐武美（本会常務） | 中田郁平（本会常務） | |

## ●平成９年４月１日～平成11年３月31日

### ◆制度研究第１委員会

富岡和弘（宮城県）　◎鈴木　尚（福島県）　○高木忠雄（埼玉県）
杉山　勉（東京都）　成瀬達雄（富山県）　福田勝彦（大阪府）
日野完夫（大阪市）　石井　毅（福井県）
担当役員（常務理事）＝龍門敦子
（理　事）＝佐藤文夫，長楽謙輔

### ◆制度研究第２委員会

阿保憲興（青森県）　入野光市（栃木県）　藤沢宏子（神奈川県）
◎下村登喜夫（静岡県）　○宮本正彰（名古屋市）　柘植紳平（岐阜県）
堀田雄一（大阪府）　大塚一仁（神戸市）
担当役員（常務理事）＝阿部洋一郎
（理　事）＝内海明夫

### ◆制度研究第３委員会

小西一峰（秋田県）　五十嵐雄一（山形県）　○永山礼久（群馬県）
◎古池輝久（千葉県）　稲熊弘敬（愛知県）　岩橋延直（和歌山県）
葛西　昇（福岡市）
担当役員（常務理事）＝相澤　恒
（理　事）＝藤原雅和，坂口喜史夫

### ◆学術第１委員会

○赤坂守人（学　識）　吉田瑩一郎（学　識）　◎高江洲義矩（学　識）
福田雅臣（学　識）　岡本全宏（栃木県）　渡邊健一（愛知県）
穂坂正典（東京都）　福沢洋一（東京都）
担当役員（常務理事）＝浦島　治
（理　事）＝人見晃司

### ◆学術第２委員会

◎岡田昭五郎（学　識）　丹羽源男（学　識）　伊藤公一（学　識）
○奈良文雄（千葉県）　村上元一（東京都）　高田　泉（神奈川県）
今岡　久（奈良県）　佐々木　貞（京都府）　石井みどり（広島県）
是澤恵三（愛媛県）
担当役員（常務理事）＝有吉茂實
（理　事）＝高島恭一

### ◆学術第３委員会

赤坂守人（学　識）　◎黒田敬之（学　識）　大山喬史（学　識）
田中伸一（札幌市）　○布田栄作（東京都）　田中英一（東京都）
中井　洋（兵庫県）　宮城正廣（沖縄県）
担当役員（常務理事）＝福井初雄
（理　事）＝田中　順

### ◆普及指導第１委員会

◎中尾俊一（学　識）　岩渕壮之助（岩手県）　諸岡光夫（茨城県）
○堀内　哲（東京都）　宮澤正臣（横浜市）　日高淑樹（京都府）
森川　勝（大阪府）　阿佐正一郎（徳島県）　中井　護（香川県）

担当役員（常務理事）＝藤 井 宏 次
（理　　事）＝平 塚 靖 規

**◆普及指導第２委員会**

◎猪 股 俊 二（学　識）　安 井 利 一（学　識）　江 端　　豊（北海道）
佐 藤 健 一（福島県）　小 林 裕 明（埼玉県）　今 村　　旭（東京都）
樋 口 光 司（静岡県）　○山 崎 龍 庵（福井県）　新 里　　叡（沖縄県）
担当役員（常務理事）＝立 花 義 康
（理　　事）＝本 内 榮 一

**◆国際交流委員会**

◎田 中 建 吾（東京都）　太 田 博 司（岐阜県）　坂 下 洋 一（兵庫県）
大 野 秀 夫（山口県）　○久保田 紀 夫（愛媛県）　濱 崎 栄 作（鹿児島県）
担当役員（常務理事）＝河 合 良 明

**◆会誌・広報編集委員会**

◎佐 藤 貞 彦（東京都）　古 川　　正（東京都）　菅 谷 和 夫（東京都）
塚 本　　亨（東京都）　佐 貫 直 通（栃木県）　片 山 公 平（静岡県）
出 口 和 邦（大阪府）
担当役員（常務理事）＝中 田 郁 平
（理　　事）＝野 溝 正 志

**◆全日本よい歯の学校表彰審査委員会**

佐々木 順 司（文部省）　戸 田 芳 雄（文部省）　吉 田 瑩一郎（学　識）
猪 股 俊 二（学　識）　岡 田 昭五郎（学　識）　安 井 利 一（学　識）
西連寺 愛 憲（本会会長）　森 本　　基（本会専務）　中 田 郁 平（本会常務）

**◆図画・ポスター審査委員会**

近 岡 善次郎（一水会）　西連寺 愛 憲（本会会長）　森 本　　基（本会専務）
中 田 郁 平（本会常務）　福 井 初 雄（本会常務）

## ●平成11年４月１日～平成13年３月31日

**◆スポーツ歯科学についての検討委員会（学術関係１）**

◎大 山 喬 史（学　識）　○安 井 利 一（学　識）　藤 平 雅 紀（千葉県）
宮 澤 正 臣（横浜市）　佐 藤 健 一（福島県）　渡 邉 健 一（愛知県）
瀬古口 精 良（大阪府）
担当役員（常務理事）＝浦 島　　治
（理　　事）＝佐々木　　貞

**◆学校での健康診断（歯科）についての検討委員会（学術関係２）**

赤 坂 守 人（学　識）　岡 田 昭五郎（学　識）　◎伊 藤 公 一（学　識）
岡 本 全 宏（栃木県）　福 澤 洋 一（東京都）　○田 中 英 一（東京都）
今 岡　　久（奈良県）　石 井 みどり（広島県）
担当役員（常務理事）＝相 澤　　恒
（理　　事）＝望 月 兵 衛

**◆学校健康診断後の事後措置についての検討委員会（CO・GO・顎関節）（学術関係３）**

◎黒 田 敬 之（学　識）　赤 坂 守 人（学　識）　田 中 伸 一（札幌市）
向 井 美 惠（学　識）　○布 田 栄 作（東京都）　山 田　博（東京都）
宮 城 正 廣（沖縄県）
担当役員（常務理事）＝阿 部 洋一郎
（理　事）＝箸 方 俊 雄

**◆学校歯科における予防措置，特に薬剤についての検討委員会（学術関係４）**

◎中 尾 俊 一（学　識）　高江洲 義 矩（学　識）　奈 良 文 雄（千葉県）
○村 上 元 一（東京都）　高 田　泉（神奈川県）　村 松 久 中（山梨県）
是 澤 恵 三（愛媛県）　伊 東 隆 利（熊本県）
担当役員（常務理事）＝森 本　基，中 井　洋
（理　事）＝田 中　順

**◆歯･口腔に関する学級指導・保健学習用 VTR の作成ならびにインターネット等に関する検討委員会（普及関係1）**

丹 羽 源 男（学　識）　○諸 岡 光 夫（茨城県）　◎堀 内　哲（東京都）
請 田 研 二（京都府）　森 川　勝（大阪府）　井 上 秀 人（徳島県）
中 井　護（香川県）
担当役員（常務理事）＝中 田 郁 平
（理　事）＝本 内 榮 一

**◆社団法人日本学校歯科医会の推薦に関わる委員会（普及関係２）**

○阿 佐 正一郎（徳島県）　岩 渕 壮之助（岩手県）　大 島 正 秀（埼玉県）
松 井 利 行（神奈川県）　長 尾　保（京都府）　◎樋 口 光 司（静岡県）
伊 藤 覚 三（兵庫県）　古 閑　望（福岡県）
担当役員（常務理事）＝瀬 尾　正
（理　事）＝吉 元 辰 二

**◆全国大会・協議会等の諸事についての検討委員会（普及関係３）**

◎猪 股 俊 二（学　識）　○安 井 利 一（学　識）　伊 藤 公 一（学　識）
江 端　豊（北海道）　今 村　旭（東京都）　松 谷 文 雄（大阪府）
西 村 満 夫（大阪府）　新 里　叡（沖縄県）
担当役員（常務理事）＝森 本　基
（理　事）＝高 島 恭 一

**◆学校歯科医の身分保障等検討委員会（制度関係１）**

小 西 一 峰（秋田県）　五十嵐 雄 一（山形県）　永 山 礼 久（群馬県）
◎古 池 輝 久（千葉県）　○稲 熊 弘 敬（愛知県）　山 本 次 郎（和歌山県）
葛 西　昇（福岡市）　沖　光 博（宮崎県）
担当役員（常務理事）＝瀬 尾　正
（理　事）＝藤 原 雅 和

**◆学校歯科保健関係者表彰制度充実検討委員会（制度関係２）**

◎吉 田 瑩一郎（学　識）　阿 保 憲 興（青森県）　○入 野 光 市（栃木県）
藤 沢 宏 子（神奈川県）　下 村 登喜夫（静岡県）　宮 本 正 彰（名古屋市）
堀 田 雄 一（大阪府）　大 塚 一 仁（神戸市）
担当役員（常務理事）＝野見山 滋 光
（理　事）＝柘 植 紳 平

## 資料－４　◆ 各種委員会 委員一覧

### ◆定款諸規則等についての検討委員会（制度関係３）

中 條 幸 一（宮城県）　◎鈴 木　尚（福島県）　○高 木 忠 雄（埼玉県）
川 本　強（東京都）　成 瀬 達 雄（富山県）　福 田 勝 彦（大阪府）
日 野 完 夫（大阪市）　平 瀬 久 義（福岡県）
担当役員（常務理事）＝藤 井 宏 次
（理　事）＝田 中 雄 三

### ◆会誌広報編集委員会

◎佐 藤 貞 彦（東京都）　○古 川　正（東京都）　塚 本　亨（東京都）
佐 貫 直 通（栃木県）　伊 従　明（東京都）　片 山 公 平（静岡県）
野 堀 幸 夫（茨城県）
担当役員（常務理事）＝野 溝 正 志

### ◆国際交流委員会

川 口 陽 子（学　識）　◎田 中 建 吾（東京都）　太 田 博 司（岐阜県）
坂 下 洋 一（兵庫県）　大 野 秀 夫（山口県）　○久保田 紀 夫（愛媛県）
平 川 純 教（鹿児島県）
担当役員（常務理事）＝河 合 良 明
（理　事）＝人 見 晃 司

### ◆社団法人日本学校歯科医会選挙規則・定款改正等検討特別委員会

豊 間　隆（秋田県）　小 池 清 二（千葉県）　渡 邊 渥 美（横浜市）
棚 橋 正 直（名古屋市）　高 木 英 也（兵庫県）　恒 石 定 男（高知県）
大 殿 雅 次（鹿児島県）

### ◆全日本学校歯科保健優良校表彰審査委員会

佐々木 順 司（文部省）　赤 坂 守 人（学　識）　猪 股 俊 二（学　識）
岡 田 昭五郎（学　識）　安 井 利 一（学　識）　西連寺 愛 憲（本会会長）
福 井 初 雄（本会専務）　中 田 郁 平（本会常務）

### ◆学校歯科医の専門性（認定医制度）等検討特別委員会

福 井 初 雄（本会専務）　森 本　基（本会常務）　阿 部 洋一郎（本会常務）
赤 坂 守 人（学　識）　猪 股 俊 二（学　識）
＊委員会開催時には，会長はじめ必要に応じてオブザーバーを同席する

### ◆学校歯科医制度70周年・社団法人日本学校歯科医会設立30周年記念事業準備特別委員会

松 島 悌 二（本会副会長）　森 本　基（本会常務）　河 合 良 明（本会常務）
人 見 晃 司（本会理事）　田 中 建 吾（東京都）　久保田 紀 夫（愛媛県）
＊本委員会については，会長は常時出席し，また，必要に応じて関係の常務理事が同席する

### ◆図画・ポスター審査委員会

近 岡 善次郎（一水会）　西連寺 愛 憲（本会会長）　福 井 初 雄（本会専務）
中 田 郁 平（本会常務）　丸 山 進一郎（本会常務）

### ◆総務委員会

西連寺 愛 憲（本会会長）　櫻 井 善 忠（本会副会長）　福 井 初 雄（本会専務）
森 本　基（本会常務）　中 田 郁 平（本会常務）　丸 山 進一郎（本会常務）

## ●平成13年４月１日～平成15年３月31日

**◆文部科学省委託による特別委員会＝学校歯科保健調査研究委員会**

**①歯・口の健康つくり推進指定校等調査研究小委員会**

戸田芳雄（行　政）　猪股俊二（教育関係）　木暮義弘（教育関係）
赤坂守人（研究者）　安井利一（研究者）　藤井宏次（学　歯）
日野完夫（学　歯）

**②学校健康診断（歯科）と事後措置についての調査研究小委員会**

白井淳子（行　政）　中村智子（教育関係）　伊藤公一（研究者）
福田雅臣（研究者）　宮沢裕夫（研究者）　柘植紳平（学　歯）
田中英一（学　歯）

**◆制度第１委員会**

◎吉田瑩一郎（学　識）　○阿保憲興（青森県）　入野光市（栃木県）
下村登喜夫（静岡県）　蜂矢喜一郎（名古屋市）　堀田雄一（大阪府）
担当役員（常務理事）＝野見山滋光
（理　事）＝中條幸一

**◆制度第２委員会**

◎鈴木　尚（福島県）　○川本　強（東京都）　山内厚志（愛知県）
成瀬達雄（富山県）　福田勝彦（大阪府）　田中雄三（愛媛県）
平瀬久義（福岡県）
担当役員（理　事）＝片野光一郎，長尾　保

**◆制度第３委員会**

猪股俊二（学　識）　赤坂守人（学　識）　小西一峰（秋田県）
五十嵐雄一（山形県）　永山礼久（群馬県）　古池輝久（千葉県）
高柳幸司（愛知県）　仲河義仁（和歌山県）　葛西　昇（福岡市）
沖　光博（宮城県）
担当役員（本会会長）＝西連寺愛憲
（本会専務）＝櫻井善忠

**◆学術第１委員会**

大山喬史（学　識）　安井利一（学　識）　藤平雅紀（千葉県）
藤沢宏子（神奈川県）　宮澤正臣（横浜市）　瀬古口精良（大阪府）
担当役員（常務理事）＝佐藤健一
（理　事）＝柘植紳平

**◆学術第２委員会**

黒田敬之（学　識）　赤坂守人（学　識）　伊藤公一（学　識）
岡本全宏（栃木県）　福澤洋一（東京都）　布田栄作（東京都）
中村　道（東京都）　盛植泰照（広島県）
担当役員（常務理事）＝高木忠雄
（理　事）＝藤原雅和

**◆学術第３委員会**

赤坂守人（学　識）　向井美惠（学　識）　大川晋一（札幌市）
山田　博（東京都）　田中英一（東京都）　宮城正廣（沖縄県）
担当役員（常務理事）＝藤井宏次
（理　事）＝日野完夫

## 資料－４　◆ 各種委員会 委員一覧

**◆学術第４委員会**

中 尾 俊 一（学　識）　　高江洲 義 矩（学　識）　　奈 良 文 雄（千葉県）
村 上 元 一（東京都）　　高 田　　泉（神奈川県）　　村 松 久 中（山梨県）
是 澤 恵 三（愛媛県）　　伊 東 隆 利（熊本県）
担当役員（常務理事）＝中 井　　洋
（理　　事）＝米 津 隆 仁

**◆普及第１委員会**

○諸 岡 光 夫（茨城県）　　◎堀 内　　哲（東京都）　　森 川　　勝（大阪府）
井 上 秀 人（徳島県）　　中 井　　護（香川県）
担当役員（常務理事）＝望 月 兵 衛，中 田 郁 平

**◆普及第２委員会**

○阿 佐 正一郎（徳島県）　　岩 渕 壮之助（岩手県）　　大 島 正 秀（埼玉県）
松 井 利 行（神奈川県）　　◎樋 口 光 司（静岡県）　　林　　時 晴（岐阜県）
伊 藤 覚 三（兵庫県）　　古 閑　　望（福岡県）　　吉 元 辰 二（鹿児島県）
担当役員（常務理事）＝岡 村 親一郎
（理　　事）＝岸　　文 隆

**◆普及第３委員会**

猪 股 俊 二（学　識）　　安 井 利 一（学　識）　　伊 藤 公 一（学　識）
担当役員（本会会長）＝西連寺 愛 憲
（専務理事）＝櫻 井 善 忠
（常務理事）＝中 田 郁 平，丸 山 進一郎，望 月 兵 衛

**◆普及第４委員会**

◎猪 股 俊 二（学　識）　　○安 井 利 一（学　識）　　伊 藤 公 一（学　識）
伊 藤　　学（北海道）　　松 谷 文 雄（大阪府）　　高 島 恭 一（高知県）
新 里　　叡（沖縄県）
担当役員（専務理事）＝櫻 井 善 忠
（常務理事）＝中 田 郁 平

**◆会誌広報編集委員会**

野 堀 幸 夫（茨城県）　　佐 貫 直 通（栃木県）　　◎佐 藤 貞 彦（東京都）
○古 川　　正（東京都）　　塚 本　　亨（東京都）　　伊 従　　明（東京都）
片 山 公 平（静岡県）
担当役員（常務理事）＝野 溝 正 志
（理　　事）＝大 塚 一 仁

**◆国際交流委員会**

川 口 陽 子（学　識）　　田 中 建 吾（東京都）　　河 合 良 明（愛知県）
人 見 晃 司（滋賀県）　　坂 下 洋 一（兵庫県）　　久保田 紀 夫（愛媛県）
平 川 純 教（鹿児島県）
担当役員（常務理事）＝相 澤　　恒
（理　　事）＝森 田　　敏

**●特別委員会**

**◆全日本学校歯科保健優良校表彰審査委員会**

惣 脇　　宏（文部科学省）　　赤 坂 守 人（学　識）　　伊 藤 公 一（学　識）
岡 田 昭五郎（学　識）　　猪 股 俊 二（学　識）　　安 井 利 一（学　識）
担当役員（本会会長）＝西連寺 愛 憲
（専務理事）＝櫻 井 善 忠
（常務理事）＝中 田 郁 平，丸 山 進一郎，望 月 兵 衛

**●特別委員会**

**◆図画・ポスター審査委員会**

市 川 治 郎（都教育庁）　　西連寺 愛 憲（本会会長）　　櫻 井 善 忠（本会専務）
中 田 郁 平（本会常務）　　丸 山 進一郎（本会常務）　　望 月 兵 衛（本会常務）

資料-５

# 学校保健統計の流れ
## （文部科学省資料）

## ●学校保健統計調査の概要　－平成13年度－（文部科学省）

### １　調査の目的

児童，生徒及び幼児の発育及び健康状態を明らかにし，学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

### ２　調査の周期・期日

周期　昭和23年度から毎年実施。（昭和23年度から昭和34年度までは，統計の名称を「学校衛生統計」として実施。）

期日　平成13年４月１日から６月30日までの間に実施された学校保健法による健康診断の結果に基づき調査。

### ３　調査の対象

調査実施学校数，調査対象者数及び抽出率は，次のとおりである。

**調 査 対 象 者 数**

| 区　分 | 調査実施学校数 | 調査対象者数 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 発育状態 | 健康状態 | |
| | | | 学級数 | 実人数 |
| 小学校 | 2,820（校） | 270,720（人） | 16,920（学級） | 509,617（人） |
| 中学校 | 1,880 | 225,600 | 11,280 | 383,589 |
| 高等学校 | 2,820 | 126,900 | 8,460 | 204,132 |
| 幼稚園 | 1,645 | 72,380 | 3,290 | 75,499 |
| 計 | 9,165 | 695,600 | 39,950 | 1,172,837 |
| 抽出率 | | 全児童，生徒及び幼児の4.3%を抽出 | 全児童，生徒及び幼児の7.3%を抽出 | |

### ４　調査事項

⑴　児童，生徒及び幼児の発育状態（身長，体重及び座高）

⑵　児童，生徒及び幼児の健康状態（栄養状態，脊柱・胸郭の疾病・異常の有無，視力，色覚，聴力，眼の疾病・異常の有無，耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無，歯・口腔の疾病・異常の有無，結核の有無，心臓の疾病・異常の有無，尿，寄生虫卵の有無，その他の疾病・異常の有無及びツベルクリン反応検査）

※このうちから歯科部分抜粋

# ◆ 学校保健統計調査（歯） ◆

## 昭和23年度～平成13年度

### ●昭和23年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | | 男（%） 歯 | | | | | 女（%） 歯 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | |
| 幼稚園5歳 | | | | | | 23.93 | | | | | 24.53 | | | | |
| 小学校 6歳 | | | | | | 27.39 | | | | | 27.20 | | | | |
| 小学校 7 | | | | | | 38.20 | | | | | 38.44 | | | | |
| 小学校 8 | | | | | | 44.24 | | | | | 44.73 | | | | |
| 小学校 9 | | | | | | 49.83 | | | | | 49.70 | | | | |
| 小学校 10 | | | | | | 51.39 | | | | | 50.68 | | | | |
| 小学校 11 | | | | | | 47.65 | | | | | 46.91 | | | | |
| 中学校 12歳 | | | | | | 42.67 | | | | | 42.65 | | | | |
| 中学校 13 | | | | | | 33.79 | | | | | 34.92 | | | | |
| 中学校 14 | | | | | | 32.62 | | | | | 35.31 | | | | |
| 高等学校 15歳 | | | | | | 34.15 | | | | | 43.47 | | | | |
| 高等学校 16 | | | | | | 36.95 | | | | | 45.13 | | | | |
| 高等学校 17 | | | | | | 37.27 | | | | | 39.09 | | | | |

### ●昭和24年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | | 男（%） 歯 | | | | | 女（%） 歯 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | |
| 幼稚園5歳 | | | | | | 31.50 | 1.68 | 29.82 | | | 30.55 | 1.44 | 29.11 | | |
| 小学校 6歳 | | | | | | 29.03 | 1.05 | 27.98 | | | 32.00 | 1.13 | 30.87 | | |
| 小学校 7 | | | | | | 33.63 | 0.64 | 32.99 | | | 33.62 | 0.63 | 32.99 | | |
| 小学校 8 | | | | | | 38.81 | 0.94 | 37.87 | | | 38.61 | 0.89 | 37.72 | | |
| 小学校 9 | | | | | | 45.72 | 1.18 | 44.54 | | | 45.85 | 1.11 | 44.74 | | |
| 小学校 10 | | | | | | 49.45 | 1.36 | 48.09 | | | 48.84 | 1.33 | 47.51 | | |
| 小学校 11 | | | | | | 47.23 | 1.49 | 45.74 | | | 44.92 | 1.51 | 43.41 | | |
| 中学校 12歳 | | | | | | 41.32 | 1.77 | 39.55 | | | 40.16 | 1.89 | 38.27 | | |
| 中学校 13 | | | | | | 36.81 | 3.18 | 33.63 | | | 38.66 | 3.85 | 34.81 | | |
| 中学校 14 | | | | | | 36.74 | 3.89 | 32.85 | | | 40.44 | 4.79 | 35.65 | | |
| 高等学校 15歳 | | | | | | 39.31 | 5.10 | 34.21 | | | 44.31 | 6.15 | 38.16 | | |
| 高等学校 16 | | | | | | 52.12 | 11.41 | 40.71 | | | 60.74 | 14.30 | 46.44 | | |
| 高等学校 17 | | | | | | 56.91 | 14.27 | 42.64 | | | 65.64 | 17.51 | 48.13 | | |

### ●昭和25年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | | 男（%） 歯 | | | | | 女（%） 歯 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | |
| 幼稚園5歳 | | | | | | 45.08 | 2.24 | 42.84 | | | 45.65 | 2.48 | 43.17 | | |
| 小学校 6歳 | | | | | | 36.10 | 0.84 | 35.26 | | | 36.28 | 0.87 | 35.41 | | |
| 小学校 7 | | | | | | 38.23 | 1.12 | 37.11 | | | 38.68 | 1.20 | 37.48 | | |
| 小学校 8 | | | | | | 42.93 | 1.27 | 41.66 | | | 44.10 | 1.43 | 42.67 | | |
| 小学校 9 | | | | | | 48.42 | 1.68 | 46.74 | | | 47.57 | 1.67 | 45.90 | | |
| 小学校 10 | | | | | | 46.94 | 1.81 | 45.13 | | | 45.97 | 2.01 | 43.96 | | |
| 小学校 11 | | | | | | 42.12 | 2.16 | 39.96 | | | 40.82 | 2.38 | 38.44 | | |
| 中学校 12歳 | | | | | | 38.01 | 3.46 | 34.55 | | | 40.02 | 4.01 | 36.01 | | |
| 中学校 13 | | | | | | 39.50 | 4.28 | 35.22 | | | 43.67 | 5.31 | 38.36 | | |
| 中学校 14 | | | | | | 42.77 | 5.46 | 37.31 | | | 47.78 | 6.43 | 41.35 | | |
| 高等学校 15歳 | | | | | | 55.21 | 11.64 | 43.57 | | | 61.11 | 13.78 | 47.33 | | |
| 高等学校 16 | | | | | | 60.03 | 14.52 | 45.51 | | | 66.56 | 17.54 | 49.02 | | |
| 高等学校 17 | | | | | | 63.07 | 18.04 | 45.03 | | | 71.94 | 21.02 | 50.92 | | |

### ●昭和26年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | | 男（%） 歯 | | | | | 女（%） 歯 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | |
| 幼稚園5歳 | | | | | | 59.15 | 2.79 | 56.36 | | | 61.23 | 2.71 | 58.51 | | |
| 小学校 6歳 | | | | | | 44.56 | 0.69 | 43.87 | | | 43.64 | 0.56 | 43.08 | | |
| 小学校 7 | | | | | | 39.04 | 1.17 | 37.87 | | | 40.20 | 1.10 | 39.10 | | |
| 小学校 8 | | | | | | 40.27 | 1.23 | 39.04 | | | 41.91 | 1.58 | 40.33 | | |
| 小学校 9 | | | | | | 42.72 | 1.70 | 41.02 | | | 44.52 | 1.82 | 42.70 | | |
| 小学校 10 | | | | | | 43.54 | 1.73 | 41.81 | | | 41.58 | 1.91 | 39.67 | | |
| 小学校 11 | | | | | | 40.26 | 2.14 | 38.12 | | | 38.57 | 2.41 | 36.16 | | |
| 中学校 12歳 | | | | | | 35.66 | 3.44 | 32.22 | | | 38.91 | 4.28 | 34.63 | | |
| 中学校 13 | | | | | | 35.64 | 3.90 | 31.74 | | | 39.29 | 4.48 | 34.81 | | |
| 中学校 14 | | | | | | 39.58 | 4.90 | 34.68 | | | 43.55 | 6.11 | 37.44 | | |
| 高等学校 15歳 | | | | | | 47.57 | 7.35 | 40.22 | | | 53.68 | 11.03 | 42.65 | | |
| 高等学校 16 | | | | | | 53.00 | 9.37 | 43.63 | | | 59.09 | 13.85 | 45.24 | | |
| 高等学校 17 | | | | | | 58.08 | 11.94 | 46.14 | | | 65.36 | 16.47 | 48.89 | | |

### ●昭和27年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | | 男（%） 歯 | | | | | 女（%） 歯 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | |
| 幼稚園5歳 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 6歳 | | | | | | 52.97 | 1.05 | 51.92 | | | 54.43 | 1.25 | 53.18 | | |
| 小学校 7 | | | | | | 48.47 | 1.81 | 46.66 | | | 50.23 | 1.96 | 48.27 | | |
| 小学校 8 | | | | | | 43.91 | 2.13 | 41.79 | | | 45.86 | 2.57 | 43.29 | | |
| 小学校 9 | | | | | | 43.12 | 2.78 | 40.35 | | | 44.39 | 3.23 | 41.16 | | |
| 小学校 10 | | | | | | 43.31 | 3.08 | 40.23 | | | 43.95 | 3.53 | 40.42 | | |
| 小学校 11 | | | | | | 40.15 | 3.58 | 36.56 | | | 40.10 | 4.07 | 36.03 | | |
| 中学校 12歳 | | | | | | 35.38 | 3.99 | 31.39 | | | 37.67 | 4.62 | 33.05 | | |
| 中学校 13 | | | | | | 35.44 | 4.30 | 31.14 | | | 39.55 | 5.20 | 34.35 | | |
| 中学校 14 | | | | | | 38.31 | 5.45 | 32.87 | | | 43.84 | 6.35 | 37.48 | | |
| 高等学校 15歳 | | | | | | 47.82 | 9.83 | 37.99 | | | 55.94 | 11.84 | 44.10 | | |
| 高等学校 16 | | | | | | 51.97 | 11.45 | 40.52 | | | 60.51 | 13.96 | 46.55 | | |
| 高等学校 17 | | | | | | 57.14 | 14.23 | 42.91 | | | 65.56 | 16.82 | 48.74 | | |

### ●昭和28年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | | 男（%） 歯 | | | | | 女（%） 歯 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 | | う歯 | | | その他の疾病又は異常の歯口腔 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | | 計 | 処置完了者 | 未処置の歯のある者 | | |
| 幼稚園5歳 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 6歳 | | | | | | 0.98 | 59.78 | 0.83 | | | 0.85 | 61.25 | 0.84 | | |
| 小学校 7 | | | | | | 1.44 | 58.65 | 1.42 | | | 1.67 | 59.24 | 1.25 | | |
| 小学校 8 | | | | | | 1.98 | 52.78 | 1.62 | | | 2.39 | 54.48 | 1.39 | | |
| 小学校 9 | | | | | | 2.27 | 46.39 | 1.88 | | | 2.81 | 47.93 | 1.49 | | |
| 小学校 10 | | | | | | 2.98 | 41.49 | 2.10 | | | 3.50 | 42.31 | 1.78 | | |
| 小学校 11 | | | | | | 3.63 | 38.08 | 2.29 | | | 4.20 | 38.95 | 1.88 | | |
| 中学校 12歳 | | | | | | 3.38 | 32.34 | 4.17 | | | 4.54 | 34.38 | 3.68 | | |
| 中学校 13 | | | | | | 3.95 | 32.26 | 4.71 | | | 4.65 | 35.29 | 3.80 | | |
| 中学校 14 | | | | | | 4.31 | 33.02 | 4.86 | | | 5.79 | 36.44 | 4.02 | | |
| 高等学校 15歳 | | | | | | 7.68 | 38.04 | 5.19 | | | 9.25 | 41.99 | 4.45 | | |
| 高等学校 16 | | | | | | 9.90 | 40.91 | 5.02 | | | 11.60 | 45.18 | 4.43 | | |
| 高等学校 17 | | | | | | 12.67 | 43.35 | 4.86 | | | 14.27 | 47.35 | 4.63 | | |

## ●昭和29年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | 男（%） 歯 | | | | 女（%） 歯 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | | う歯 | | | | う歯 | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 |
| 幼稚園5歳 | | | | | 2.85 | 79.18 | 0.56 | | 2.97 | 79.35 | 0.56 | |
| 小学校 6歳 | | | | | 0.97 | 65.89 | 0.63 | | 0.98 | 67.26 | 0.57 | |
| 小学校 7 | | | | | 1.37 | 64.95 | 0.97 | | 1.76 | 66.41 | 0.84 | |
| 小学校 8 | | | | | 1.90 | 63.01 | 1.34 | | 2.33 | 64.79 | 1.14 | |
| 小学校 9 | | | | | 2.52 | 55.97 | 2.07 | | 3.20 | 57.39 | 1.81 | |
| 小学校 10 | | | | | 2.93 | 47.29 | 2.28 | | 3.76 | 49.37 | 1.86 | |
| 小学校 11 | | | | | 3.56 | 41.70 | 2.34 | | 4.54 | 43.11 | 2.08 | |
| 中学校 12歳 | | | | | 4.21 | 36.71 | 4.70 | | 5.54 | 40.05 | 3.93 | |
| 中学校 13 | | | | | 4.27 | 35.09 | 5.17 | | 5.36 | 38.51 | 4.13 | |
| 中学校 14 | | | | | 4.65 | 36.90 | 5.50 | | 5.86 | 40.67 | 4.64 | |
| 高等学校 15歳 | | | | | 7.55 | 37.92 | 5.08 | | 9.18 | 42.07 | 5.06 | |
| 高等学校 16 | | | | | 9.51 | 39.27 | 5.12 | | 12.15 | 44.26 | 5.22 | |
| 高等学校 17 | | | | | 1.66 | 41.36 | 5.09 | | 14.70 | 47.20 | 5.25 | |

## ●昭和30年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | 男（%） 歯 | | | | 女（%） 歯 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | | う歯 | | | | う歯 | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 |
| 幼稚園5歳 | | | | | 2.73 | 82.97 | 0.46 | | 2.82 | 81.87 | 0.47 | |
| 小学校 6歳 | | | | | 1.19 | 69.13 | 0.49 | | 1.22 | 71.11 | 0.47 | |
| 小学校 7 | | | | | 1.57 | 69.72 | 0.68 | | 1.70 | 71.92 | 0.68 | |
| 小学校 8 | | | | | 2.44 | 68.17 | 1.28 | | 2.75 | 70.06 | 1.09 | |
| 小学校 9 | | | | | 3.39 | 63.63 | 1.59 | | 3.98 | 66.07 | 1.32 | |
| 小学校 10 | | | | | 4.45 | 54.70 | 1.72 | | 5.66 | 56.44 | 1.51 | |
| 小学校 11 | | | | | 4.65 | 45.30 | 1.92 | | 6.03 | 48.29 | 1.66 | |
| 中学校 12歳 | | | | | 5.77 | 37.96 | 5.15 | | 7.18 | 42.21 | 3.95 | |
| 中学校 13 | | | | | 6.12 | 39.36 | 5.70 | | 7.53 | 42.82 | 4.15 | |
| 中学校 14 | | | | | 6.00 | 39.18 | 5.50 | | 7.53 | 42.71 | 4.21 | |
| 高等学校 15歳 | | | | | 7.96 | 39.41 | 5.29 | | 10.43 | 43.11 | 4.69 | |
| 高等学校 16 | | | | | 9.34 | 39.66 | 5.56 | | 11.98 | 43.19 | 4.95 | |
| 高等学校 17 | | | | | 11.24 | 40.94 | 5.31 | | 14.63 | 44.45 | 4.93 | |

## ●昭和31年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | 男（%） 歯 | | | | 女（%） 歯 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | | う歯 | | | | う歯 | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 |
| 幼稚園5歳 | 2.22 | 71.38 | 0.42 | | 2.19 | 71.06 | 0.39 | | 2.24 | 71.71 | 0.45 | |
| 小学校 6歳 | 1.10 | 72.01 | 0.47 | | 1.08 | 71.26 | 0.45 | | 1.12 | 72.78 | 0.48 | |
| 小学校 7 | 1.66 | 72.32 | 0.75 | | 1.49 | 71.16 | 0.78 | | 1.83 | 73.06 | 0.71 | |
| 小学校 8 | 2.60 | 71.48 | 0.93 | | 2.24 | 70.83 | 0.95 | | 2.97 | 72.15 | 0.91 | |
| 小学校 9 | 3.63 | 68.24 | 1.27 | | 3.22 | 67.70 | 1.37 | | 4.06 | 68.80 | 1.17 | |
| 小学校 10 | 5.18 | 61.11 | 1.54 | | 4.59 | 60.86 | 1.63 | | 5.80 | 61.37 | 1.46 | |
| 小学校 11 | 6.24 | 52.98 | 1.69 | | 5.46 | 52.15 | 1.80 | | 7.04 | 53.84 | 1.57 | |
| 中学校 12歳 | 7.30 | 42.67 | 3.50 | | 6.56 | 40.56 | 3.88 | | 8.06 | 44.82 | 3.12 | |
| 中学校 13 | 7.45 | 41.96 | 4.03 | | 6.79 | 39.36 | 4.64 | | 8.12 | 44.61 | 3.42 | |
| 中学校 14 | 8.06 | 42.96 | 4.06 | | 7.29 | 40.84 | 4.49 | | 8.85 | 45.14 | 3.62 | |
| 高等学校 15歳 | 10.38 | 44.81 | 4.55 | | 8.67 | 43.38 | 4.88 | | 12.37 | 46.48 | 4.16 | |
| 高等学校 16 | 11.66 | 44.28 | 4.63 | | 10.13 | 42.26 | 4.96 | | 13.49 | 46.70 | 4.25 | |
| 高等学校 17 | 13.11 | 44.23 | 4.80 | | 11.22 | 42.62 | 4.93 | | 15.41 | 46.20 | 4.65 | |

## ●昭和32年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | 男（%） 歯 | | | | 女（%） 歯 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | | う歯 | | | | う歯 | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 |
| 幼稚園5歳 | 3.0 | 84.4 | 0.6 | | 3.0 | 84.4 | 0.6 | | 2.9 | 84.5 | 0.6 | |
| 小学校 6歳 | 1.0 | 79.0 | 0.5 | | 0.9 | 77.1 | 0.8 | | 1.0 | 81.1 | 0.6 | |
| 小学校 7 | 1.8 | 79.5 | 0.8 | | 1.6 | 77.7 | 1.0 | | 1.9 | 81.5 | 0.8 | |
| 小学校 8 | 2.7 | 78.6 | 0.9 | | 2.3 | 76.1 | 1.2 | | 3.1 | 81.4 | 0.9 | |
| 小学校 9 | 4.0 | 76.8 | 1.1 | | 3.6 | 75.2 | 1.3 | | 4.5 | 78.5 | 1.1 | |
| 小学校 10 | 5.4 | 71.0 | 1.3 | | 4.7 | 69.6 | 1.5 | | 6.2 | 72.7 | 1.2 | |
| 小学校 11 | 7.2 | 63.3 | 1.4 | | 6.3 | 52.6 | 0.9 | | 8.1 | 64.8 | 1.4 | |
| 中学校 12歳 | 8.6 | 51.8 | 3.3 | | 7.6 | 46.2 | 3.6 | | 9.6 | 54.3 | 2.9 | |
| 中学校 13 | 8.7 | 49.5 | 3.5 | | 8.1 | 46.2 | 3.8 | | 9.8 | 53.0 | 3.1 | |
| 中学校 14 | 9.1 | 49.1 | 3.9 | | 8.0 | 40.4 | 4.4 | | 11.6 | 52.1 | 3.4 | |
| 高等学校 15歳 | 12.8 | 46.7 | 4.1 | | 11.1 | 44.4 | 4.2 | | 14.8 | 49.6 | 4.0 | |
| 高等学校 16 | 13.2 | 45.4 | 4.2 | | 11.9 | 43.3 | 4.0 | | 14.8 | 48.2 | 4.4 | |
| 高等学校 17 | 14.4 | 45.2 | 4.5 | | 13.3 | 43.3 | 4.3 | | 15.9 | 47.8 | 4.7 | |

## ●昭和33年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | 男（%） 歯 | | | | 女（%） 歯 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | | う歯 | | | | う歯 | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 |
| 幼稚園5歳 | 3.2 | 85.0 | 0.39 | | 3.2 | 85.0 | 0.43 | | 3.2 | 85.1 | 0.36 | |
| 小学校 6歳 | 1.3 | 79.5 | 0.63 | | 1.2 | 79.2 | 0.51 | | 1.4 | 79.9 | 0.74 | |
| 小学校 7 | 1.9 | 80.6 | 0.77 | | 1.7 | 79.9 | 0.65 | | 2.1 | 81.3 | 0.89 | |
| 小学校 8 | 3.1 | 80.0 | 0.81 | | 2.7 | 79.0 | 0.83 | | 3.4 | 81.0 | 0.78 | |
| 小学校 9 | 4.3 | 77.1 | 0.95 | | 3.8 | 77.0 | 1.02 | | 4.7 | 77.3 | 0.88 | |
| 小学校 10 | 6.2 | 71.9 | 1.04 | | 5.4 | 71.6 | 1.13 | | 7.0 | 72.2 | 0.97 | |
| 小学校 11 | 8.2 | 65.6 | 1.28 | | 7.4 | 63.9 | 1.39 | | 9.0 | 66.4 | 1.16 | |
| 中学校 12歳 | 10.2 | 55.6 | 3.32 | | 9.2 | 53.6 | 3.60 | | 11.3 | 57.6 | 3.02 | |
| 中学校 13 | 10.3 | 53.8 | 3.45 | | 9.3 | 51.1 | 3.87 | | 11.3 | 56.6 | 3.03 | |
| 中学校 14 | 10.4 | 52.0 | 3.41 | | 9.2 | 49.2 | 3.85 | | 11.7 | 54.8 | 2.94 | |
| 高等学校 15歳 | 14.4 | 48.0 | 3.91 | | 12.7 | 46.4 | 4.10 | | 16.3 | 49.8 | 3.72 | |
| 高等学校 16 | 15.7 | 48.1 | 3.84 | | 13.9 | 46.6 | 4.02 | | 17.7 | 49.8 | 3.64 | |
| 高等学校 17 | 16.2 | 47.4 | 3.94 | | 14.6 | 46.1 | 3.95 | | 18.0 | 48.8 | 3.92 | |

## ●昭和34年度

| 区分 | 男女（%） 歯 | | | | 男（%） 歯 | | | | 女（%） 歯 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | う歯 | | | | う歯 | | | | う歯 | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 | 計 | 処置完了者 | 未処置のある者 | その他の疾病又は口腔異常 |
| 幼稚園5歳 | 4.0 | 86.5 | 0.44 | | 4.0 | 86.2 | 0.44 | | 3.9 | 86.8 | 0.44 | |
| 小学校 6歳 | 1.5 | 80.7 | 0.86 | | 1.6 | 80.2 | 0.90 | | 1.5 | 81.4 | 0.81 | |
| 小学校 7 | 2.3 | 81.8 | 1.16 | | 2.2 | 81.2 | 1.22 | | 2.4 | 82.4 | 1.09 | |
| 小学校 8 | 3.4 | 81.4 | 1.38 | | 3.2 | 81.1 | 1.36 | | 3.7 | 81.7 | 1.41 | |
| 小学校 9 | 5.0 | 78.3 | 1.40 | | 4.4 | 78.2 | 1.46 | | 5.6 | 78.4 | 1.34 | |
| 小学校 10 | 6.9 | 73.1 | 1.53 | | 6.0 | 73.0 | 1.62 | | 7.9 | 73.3 | 1.42 | |
| 小学校 11 | 9.1 | 67.5 | 1.54 | | 7.8 | 65.9 | 1.76 | | 10.2 | 68.0 | 1.49 | |
| 中学校 12歳 | 10.8 | 60.9 | 3.29 | | 9.6 | 59.0 | 3.63 | | 12.0 | 62.8 | 2.93 | |
| 中学校 13 | 11.2 | 58.8 | 3.65 | | 10.2 | 56.9 | 4.05 | | 12.2 | 60.9 | 3.24 | |
| 中学校 14 | 11.3 | 58.1 | 3.59 | | 10.1 | 56.1 | 4.00 | | 12.6 | 60.3 | 3.17 | |
| 高等学校 15歳 | 15.2 | 53.4 | 3.82 | | 13.5 | 51.0 | 4.06 | | 17.0 | 56.1 | 3.57 | |
| 高等学校 16 | 16.2 | 51.4 | 3.83 | | 14.5 | 49.1 | 4.01 | | 18.1 | 53.9 | 3.62 | |
| 高等学校 17 | 17.7 | 51.1 | 4.11 | | 15.9 | 48.8 | 4.19 | | 19.8 | 53.6 | 4.02 | |

## ●昭和35年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 |
| 幼稚園5歳 | | 3.53 | 86.29 | 0.44 | | 3.75 | 86.36 | 0.44 | | 3.29 | 86.21 | 0.43 |
| 小学校 6歳 | | 1.40 | 82.75 | 0.60 | | 1.39 | 82.03 | 0.62 | | 1.41 | 83.51 | 0.57 |
| 小学校 7 | | 2.11 | 84.02 | 0.85 | | 2.01 | 83.04 | 0.88 | | 2.21 | 85.04 | 0.83 |
| 小学校 8 | | 3.05 | 84.23 | 1.06 | | 2.77 | 83.89 | 1.14 | | 3.34 | 84.60 | 0.98 |
| 小学校 9 | | 4.58 | 81.57 | 1.13 | | 4.11 | 81.45 | 1.18 | | 5.06 | 81.70 | 1.08 |
| 小学校 10 | | 7.18 | 75.96 | 1.28 | | 6.18 | 76.02 | 1.34 | | 8.22 | 75.90 | 1.21 |
| 小学校 11 | | 9.49 | 70.22 | 1.41 | | 8.40 | 70.20 | 1.50 | | 10.62 | 70.24 | 1.31 |
| 中学校 12歳 | | 11.69 | 61.96 | 2.55 | | 10.55 | 60.18 | 2.83 | | 12.90 | 63.82 | 2.25 |
| 中学校 13 | | 11.64 | 62.74 | 2.83 | | 10.60 | 61.41 | 3.20 | | 12.72 | 64.14 | 2.43 |
| 中学校 14 | | 12.38 | 61.77 | 2.41 | | 11.35 | 59.89 | 3.23 | | 13.46 | 63.74 | 2.39 |
| 高等学校 15歳 | | 16.49 | 57.29 | 3.45 | | 14.57 | 55.94 | 3.61 | | 18.63 | 58.78 | 3.28 |
| 高等学校 16 | | 17.64 | 53.95 | 3.45 | | 15.68 | 52.54 | 3.58 | | 19.88 | 55.55 | 3.31 |
| 高等学校 17 | | 18.88 | 52.16 | 3.70 | | 16.90 | 50.75 | 3.75 | | 21.16 | 53.79 | 3.63 |

## ●昭和36年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 89.63 | 3.45 | 86.18 | 0.56 | 89.52 | 3.36 | 86.16 | 0.60 | 89.74 | 3.54 | 86.20 | 0.52 |
| 小学校 計 | 83.14 | 6.14 | 77.00 | 1.26 | 82.26 | 5.38 | 76.38 | 1.29 | 84.03 | 6.91 | 77.12 | 1.20 |
| 小学校 6歳 | 80.54 | 1.60 | 78.94 | 0.73 | 80.01 | 1.38 | 78.63 | 0.74 | 81.10 | 1.83 | 79.27 | 0.71 |
| 小学校 7 | 83.51 | 2.60 | 80.91 | 0.97 | 82.55 | 2.33 | 80.22 | 0.96 | 84.51 | 2.88 | 81.63 | 0.98 |
| 小学校 8 | 85.44 | 4.00 | 81.44 | 1.35 | 84.80 | 3.44 | 81.36 | 1.43 | 86.11 | 4.58 | 81.53 | 1.27 |
| 小学校 9 | 85.55 | 5.92 | 79.63 | 1.35 | 84.54 | 5.15 | 79.39 | 1.41 | 86.59 | 6.72 | 79.87 | 1.29 |
| 小学校 10 | 83.33 | 8.67 | 74.66 | 1.46 | 82.56 | 7.47 | 75.09 | 1.56 | 84.12 | 9.91 | 74.21 | 1.36 |
| 小学校 11 | 80.78 | 11.45 | 69.33 | 1.50 | 79.56 | 10.20 | 69.36 | 1.54 | 82.03 | 12.73 | 69.30 | 1.45 |
| 中学校 計 | 75.50 | 13.24 | 62.26 | 2.75 | 74.72 | 12.28 | 62.44 | 3.09 | 76.30 | 14.24 | 62.06 | 2.40 |
| 中学校 12歳 | 74.78 | 13.30 | 61.48 | 2.52 | 73.96 | 12.27 | 61.69 | 2.70 | 75.63 | 14.37 | 61.26 | 2.33 |
| 中学校 13 | 75.83 | 13.16 | 62.67 | 2.88 | 74.86 | 12.29 | 62.57 | 3.39 | 76.82 | 14.05 | 62.77 | 2.35 |
| 中学校 14 | 76.07 | 13.30 | 62.77 | 2.86 | 75.58 | 12.29 | 63.29 | 3.18 | 76.59 | 14.36 | 62.23 | 2.54 |
| 高等学校 計 | 75.96 | 19.26 | 56.70 | 3.27 | 72.36 | 18.00 | 54.36 | 3.38 | 80.23 | 20.75 | 59.48 | 3.15 |
| 高等学校 15歳 | 77.96 | 18.25 | 59.71 | 3.20 | 74.76 | 17.05 | 57.71 | 3.46 | 81.45 | 19.56 | 61.89 | 2.93 |
| 高等学校 16 | 77.09 | 19.47 | 57.62 | 3.22 | 73.41 | 18.10 | 55.31 | 3.36 | 81.28 | 21.04 | 60.24 | 3.06 |
| 高等学校 17 | 74.80 | 19.90 | 54.90 | 3.37 | 71.02 | 18.49 | 52.53 | 3.33 | 79.11 | 21.51 | 57.60 | 3.41 |

## ●昭和37年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 89.96 | 4.70 | 85.26 | 0.37 | 89.88 | 4.59 | 85.29 | 0.37 | 90.04 | 4.82 | 85.22 | 0.37 |
| 小学校 計 | 85.54 | 6.22 | 79.32 | 1.34 | 84.73 | 5.53 | 79.20 | 1.40 | 86.37 | 6.93 | 79.44 | 1.28 |
| 小学校 6歳 | 83.58 | 1.71 | 81.87 | 0.80 | 83.21 | 1.61 | 81.60 | 0.80 | 83.98 | 1.82 | 82.16 | 0.81 |
| 小学校 7 | 86.40 | 2.65 | 83.75 | 1.09 | 85.66 | 2.31 | 83.35 | 1.12 | 87.18 | 3.01 | 84.17 | 1.06 |
| 小学校 8 | 87.35 | 4.19 | 83.16 | 1.41 | 86.55 | 3.74 | 82.81 | 1.44 | 88.19 | 4.67 | 83.52 | 1.37 |
| 小学校 9 | 87.67 | 6.23 | 81.44 | 1.59 | 87.00 | 5.58 | 81.42 | 1.64 | 88.36 | 6.90 | 81.46 | 1.53 |
| 小学校 10 | 85.22 | 8.85 | 76.37 | 1.50 | 84.20 | 7.81 | 76.39 | 1.62 | 86.28 | 9.94 | 76.34 | 1.36 |
| 小学校 11 | 83.40 | 11.63 | 71.77 | 1.54 | 82.33 | 10.33 | 72.00 | 1.64 | 84.53 | 12.99 | 71.54 | 1.44 |
| 中学校 計 | 80.01 | 14.25 | 65.76 | 2.66 | 78.07 | 13.11 | 64.96 | 2.91 | 82.28 | 15.48 | 66.80 | 2.41 |
| 中学校 12歳 | 79.07 | 14.46 | 64.61 | 2.65 | 77.54 | 13.32 | 64.22 | 2.91 | 80.65 | 15.65 | 65.00 | 2.38 |
| 中学校 13 | 79.64 | 13.88 | 65.76 | 2.63 | 77.32 | 12.84 | 64.48 | 2.85 | 82.03 | 14.95 | 67.08 | 2.40 |
| 中学校 14 | 81.37 | 14.43 | 66.94 | 2.70 | 78.72 | 13.08 | 65.64 | 2.96 | 84.15 | 15.85 | 68.30 | 2.42 |
| 高等学校 計 | 80.96 | 19.96 | 61.00 | 3.42 | 77.91 | 18.66 | 59.25 | 3.25 | 84.43 | 21.44 | 62.99 | 3.62 |
| 高等学校 15歳 | 81.97 | 18.12 | 63.85 | 3.42 | 79.23 | 16.73 | 62.50 | 3.19 | 84.94 | 19.63 | 65.31 | 3.68 |
| 高等学校 16 | 82.25 | 20.22 | 62.03 | 3.36 | 79.68 | 18.99 | 60.69 | 3.21 | 85.04 | 21.55 | 63.49 | 3.53 |
| 高等学校 17 | 80.31 | 21.73 | 58.58 | 3.47 | 76.87 | 20.33 | 56.54 | 3.31 | 84.13 | 23.28 | 60.85 | 3.64 |

## ●昭和38年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 90.03 | 5.33 | 84.70 | 0.37 | 89.72 | 5.24 | 84.48 | 0.33 | 90.33 | 5.41 | 84.92 | 0.41 |
| 小学校 計 | 87.61 | 6.72 | 80.89 | 1.41 | 87.00 | 5.94 | 81.06 | 1.44 | 88.26 | 7.54 | 80.72 | 1.37 |
| 小学校 6歳 | 85.81 | 2.00 | 83.81 | 0.85 | 85.31 | 1.90 | 83.41 | 0.84 | 86.25 | 2.02 | 84.23 | 0.86 |
| 小学校 7 | 88.33 | 2.79 | 85.54 | 1.29 | 87.46 | 2.54 | 84.92 | 1.26 | 89.25 | 3.06 | 86.19 | 1.31 |
| 小学校 8 | 89.73 | 4.37 | 85.31 | 1.42 | 89.13 | 3.95 | 85.18 | 1.45 | 90.37 | 4.82 | 85.55 | 1.38 |
| 小学校 9 | 89.22 | 6.56 | 82.66 | 1.53 | 88.62 | 5.74 | 82.88 | 1.58 | 89.83 | 7.41 | 82.42 | 1.47 |
| 小学校 10 | 87.1 | 9.79 | 77.37 | 1.60 | 86.93 | 8.43 | 75.50 | 1.68 | 87.39 | 11.20 | 76.19 | 1.52 |
| 小学校 11 | 85.71 | 12.98 | 72.73 | 1.66 | 84.79 | 11.47 | 73.32 | 1.72 | 86.66 | 14.53 | 72.13 | 1.59 |
| 中学校 計 | 81.74 | 15.18 | 66.56 | 2.72 | 78.95 | 13.96 | 64.99 | 2.97 | 84.69 | 16.47 | 68.47 | 2.46 |
| 中学校 12歳 | 80.90 | 15.49 | 65.41 | 2.74 | 77.78 | 14.22 | 63.56 | 2.96 | 84.22 | 16.84 | 67.38 | 2.51 |
| 中学校 13 | 82.06 | 15.00 | 67.06 | 2.74 | 70.42 | 12.88 | 57.54 | 3.01 | 84.51 | 16.05 | 68.46 | 2.46 |
| 中学校 14 | 82.26 | 15.10 | 67.16 | 2.68 | 79.31 | 13.71 | 65.60 | 2.93 | 85.36 | 16.57 | 68.79 | 2.41 |
| 高等学校 計 | 83.52 | 20.98 | 62.54 | 3.01 | 79.93 | 19.33 | 60.60 | 3.04 | 87.40 | 22.77 | 64.63 | 2.98 |
| 高等学校 15歳 | 83.59 | 19.65 | 63.94 | 2.86 | 79.82 | 17.66 | 62.16 | 2.90 | 87.45 | 21.69 | 65.76 | 2.80 |
| 高等学校 16 | 84.19 | 20.73 | 63.46 | 3.08 | 80.74 | 19.13 | 61.61 | 3.05 | 87.80 | 22.96 | 65.40 | 3.10 |
| 高等学校 17 | 83.94 | 23.20 | 60.74 | 2.95 | 80.64 | 21.54 | 59.10 | 2.99 | 87.44 | 24.96 | 62.48 | 2.91 |

## ●昭和39年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 91.63 | 5.19 | 86.44 | 0.39 | 93.05 | 5.15 | 87.90 | 0.39 | 90.17 | 5.23 | 84.94 | 0.39 |
| 小学校 計 | 87.89 | 8.03 | 79.86 | 1.69 | 87.50 | 7.21 | 80.29 | 1.73 | 88.31 | 8.88 | 79.43 | 1.64 |
| 小学校 6歳 | 85.19 | 2.75 | 82.44 | 1.04 | 84.86 | 2.60 | 82.26 | 1.02 | 85.52 | 2.90 | 82.62 | 1.07 |
| 小学校 7 | 88.70 | 3.84 | 84.86 | 1.63 | 87.98 | 3.38 | 84.60 | 1.67 | 89.43 | 4.41 | 85.12 | 1.59 |
| 小学校 8 | 90.35 | 5.64 | 84.71 | 1.93 | 90.18 | 5.18 | 85.00 | 1.93 | 90.54 | 6.11 | 84.43 | 1.94 |
| 小学校 9 | 89.47 | 8.04 | 81.43 | 1.79 | 89.24 | 7.11 | 82.13 | 1.90 | 89.70 | 8.99 | 80.71 | 1.67 |
| 小学校 10 | 87.99 | 11.45 | 76.54 | 1.82 | 87.71 | 10.19 | 77.52 | 1.89 | 88.29 | 12.76 | 75.53 | 1.74 |
| 小学校 11 | 85.85 | 14.82 | 71.03 | 1.84 | 85.22 | 13.31 | 71.91 | 1.90 | 86.50 | 17.37 | 70.13 | 1.77 |
| 中学校 計 | 84.15 | 16.18 | 67.97 | 2.58 | 83.19 | 14.82 | 68.37 | 2.77 | 85.13 | 17.56 | 67.57 | 2.38 |
| 中学校 12歳 | 83.08 | 17.15 | 65.93 | 2.53 | 80.49 | 15.53 | 64.96 | 2.73 | 85.73 | 18.81 | 66.92 | 2.33 |
| 中学校 13 | 81.87 | 15.54 | 66.33 | 2.49 | 81.00 | 14.49 | 66.51 | 2.76 | 82.73 | 16.57 | 66.16 | 2.22 |
| 中学校 14 | 87.22 | 16.01 | 71.21 | 2.70 | 87.47 | 14.56 | 72.91 | 2.81 | 86.96 | 17.48 | 69.48 | 2.59 |
| 高等学校 計 | 85.23 | 21.80 | 63.43 | 3.04 | 82.45 | 19.55 | 62.90 | 3.10 | 88.34 | 24.29 | 64.05 | 2.99 |
| 高等学校 15歳 | 85.15 | 20.79 | 64.36 | 2.99 | 81.96 | 18.19 | 63.77 | 3.02 | 88.61 | 23.54 | 65.07 | 2.95 |
| 高等学校 16 | 85.69 | 21.84 | 63.85 | 3.16 | 82.80 | 19.52 | 63.28 | 3.20 | 88.55 | 24.34 | 64.21 | 3.11 |
| 高等学校 17 | 85.72 | 22.98 | 62.74 | 2.91 | 83.46 | 20.97 | 62.49 | 2.98 | 88.19 | 25.17 | 63.02 | 2.84 |

## ●昭和40年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 91.90 | 5.89 | 86.01 | 0.51 | 91.98 | 5.92 | 86.06 | 0.49 | 91.81 | 5.85 | 85.96 | 0.53 |
| 小学校 計 | 87.88 | 8.73 | 79.15 | 1.13 | 86.91 | 7.62 | 79.29 | 1.17 | 88.88 | 9.88 | 79.00 | 1.08 |
| 小学校 6歳 | 84.26 | 3.17 | 81.09 | 0.78 | 83.52 | 2.93 | 80.59 | 0.93 | 85.03 | 3.41 | 81.60 | 0.62 |
| 小学校 7 | 88.44 | 4.76 | 83.68 | 0.95 | 87.21 | 3.94 | 83.27 | 0.97 | 89.63 | 5.62 | 84.01 | 0.94 |
| 小学校 8 | 89.34 | 6.40 | 82.94 | 1.10 | 88.34 | 5.67 | 82.67 | 1.07 | 90.37 | 7.16 | 83.21 | 1.13 |
| 小学校 9 | 89.93 | 8.67 | 81.26 | 1.27 | 89.19 | 7.56 | 81.63 | 1.30 | 90.70 | 9.84 | 80.86 | 1.24 |
| 小学校 10 | 88.69 | 12.54 | 76.15 | 1.27 | 87.95 | 10.78 | 77.17 | 1.35 | 89.45 | 14.37 | 75.08 | 1.19 |
| 小学校 11 | 86.75 | 15.83 | 70.92 | 1.34 | 85.40 | 13.95 | 71.45 | 1.37 | 88.14 | 17.78 | 70.36 | 1.32 |
| 中学校 計 | 85.65 | 17.28 | 68.37 | 2.40 | 83.44 | 15.89 | 67.55 | 2.68 | 87.91 | 18.74 | 69.22 | 2.10 |
| 中学校 12歳 | 84.51 | 18.31 | 66.20 | 2.29 | 82.41 | 16.85 | 65.56 | 2.53 | 86.71 | 19.85 | 66.86 | 2.04 |
| 中学校 13 | 85.65 | 17.08 | 68.57 | 2.45 | 83.46 | 15.93 | 67.53 | 2.77 | 87.97 | 18.30 | 69.67 | 2.11 |
| 中学校 14 | 86.69 | 16.59 | 70.10 | 2.44 | 84.37 | 15.05 | 69.32 | 2.73 | 89.12 | 18.21 | 70.91 | 2.13 |
| 高等学校 計 | 86.52 | 22.76 | 63.76 | 2.45 | 83.57 | 20.90 | 62.67 | 2.43 | 89.66 | 24.74 | 64.92 | 2.47 |
| 高等学校 15歳 | 86.44 | 21.27 | 65.17 | 2.39 | 83.53 | 19.25 | 64.28 | 2.38 | 89.46 | 23.37 | 66.09 | 2.40 |
| 高等学校 16 | 86.61 | 22.37 | 64.24 | 2.39 | 83.34 | 20.20 | 63.14 | 2.37 | 89.97 | 24.60 | 65.37 | 2.42 |
| 高等学校 17 | 87.18 | 24.41 | 62.77 | 2.47 | 84.45 | 22.64 | 61.81 | 2.47 | 90.08 | 26.30 | 63.78 | 2.47 |

## ●昭和41年度

| 区分 | 男女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 男（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園5歳 | 92.63 | 4.47 | 88.16 | 0.51 | 92.53 | 4.36 | 88.17 | 0.49 | 92.72 | 4.58 | 88.14 | 0.53 |
| 小学校 計 | 88.67 | 9.33 | 79.34 | 1.28 | 87.97 | 8.27 | 79.70 | 1.32 | 89.40 | 10.44 | 78.96 | 1.25 |
| 小学校 6歳 | 85.54 | 3.27 | 82.27 | 0.76 | 85.18 | 3.07 | 82.11 | 0.77 | 85.92 | 3.47 | 82.45 | 0.75 |
| 小学校 7 | 88.50 | 4.43 | 84.07 | 1.05 | 87.96 | 3.95 | 84.01 | 1.04 | 85.07 | 4.93 | 84.14 | 1.07 |
| 小学校 8 | 90.84 | 6.53 | 83.91 | 1.36 | 89.86 | 5.74 | 84.12 | 1.44 | 91.04 | 7.35 | 83.69 | 1.28 |
| 小学校 9 | 90.46 | 9.47 | 80.99 | 1.37 | 89.88 | 8.38 | 91.50 | 1.41 | 91.06 | 10.61 | 80.45 | 1.33 |
| 小学校 10 | 89.39 | 13.67 | 75.72 | 1.48 | 88.58 | 11.92 | 76.66 | 1.51 | 90.24 | 15.50 | 74.74 | 1.45 |
| 小学校 11 | 87.71 | 17.57 | 70.14 | 1.62 | 86.45 | 15.60 | 70.85 | 1.70 | 89.01 | 19.62 | 69.39 | 1.55 |
| 中学校 計 | 86.06 | 18.95 | 67.11 | 2.81 | 83.95 | 17.37 | 66.58 | 3.05 | 88.26 | 20.62 | 67.66 | 2.55 |
| 中学校 12歳 | 85.07 | 20.18 | 64.89 | 2.74 | 83.11 | 18.69 | 64.42 | 2.90 | 87.12 | 21.74 | 65.38 | 2.56 |
| 中学校 13 | 85.84 | 18.79 | 67.05 | 2.78 | 83.59 | 17.27 | 66.32 | 3.07 | 88.16 | 20.36 | 67.80 | 2.47 |
| 中学校 14 | 87.22 | 18.04 | 69.18 | 2.89 | 85.11 | 16.33 | 68.78 | 3.16 | 89.43 | 19.43 | 69.90 | 2.62 |
| 高等学校 計 | 87.41 | 22.57 | 64.84 | 2.55 | 85.18 | 21.09 | 64.09 | 2.58 | 89.75 | 24.13 | 65.62 | 2.51 |
| 高等学校 15歳 | 87.39 | 22.09 | 65.30 | 2.48 | 85.43 | 20.59 | 64.84 | 2.60 | 89.43 | 23.65 | 65.78 | 2.35 |
| 高等学校 16 | 87.48 | 22.28 | 65.20 | 2.48 | 85.30 | 20.75 | 64.55 | 2.48 | 89.73 | 23.86 | 65.86 | 2.49 |
| 高等学校 17 | 88.03 | 23.26 | 64.77 | 2.62 | 85.59 | 21.74 | 63.85 | 2.63 | 90.49 | 24.79 | 65.70 | 2.61 |

## ●昭和42年度

| 区分 | 男女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 男（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園5歳 | 94.34 | 5.09 | 89.25 | 0.48 | 94.19 | 4.94 | 89.25 | 0.44 | 94.51 | 5.25 | 89.26 | 0.52 |
| 小学校 計 | 91.96 | 9.81 | 82.15 | 1.77 | 91.52 | 8.86 | 82.66 | 1.80 | 92.42 | 10.79 | 81.63 | 1.73 |
| 小学校 6歳 | 90.51 | 3.41 | 87.10 | 1.03 | 90.07 | 3.26 | 86.81 | 0.97 | 90.99 | 3.57 | 87.42 | 1.09 |
| 小学校 7 | 92.54 | 4.60 | 87.85 | 1.56 | 92.00 | 4.32 | 87.68 | 1.53 | 92.94 | 4.90 | 88.04 | 1.59 |
| 小学校 8 | 93.60 | 6.71 | 86.89 | 1.99 | 93.11 | 6.13 | 86.98 | 2.06 | 94.10 | 7.30 | 86.80 | 1.92 |
| 小学校 9 | 93.41 | 9.86 | 83.55 | 1.95 | 93.12 | 8.85 | 84.27 | 2.03 | 93.69 | 10.89 | 82.80 | 1.86 |
| 小学校 10 | 91.77 | 14.47 | 77.30 | 2.02 | 91.49 | 12.64 | 78.85 | 2.05 | 92.06 | 16.37 | 75.69 | 1.98 |
| 小学校 11 | 90.09 | 18.89 | 71.20 | 2.01 | 89.44 | 17.17 | 72.27 | 2.12 | 90.75 | 20.67 | 70.08 | 1.90 |
| 中学校 計 | 87.44 | 20.50 | 66.94 | 2.54 | 85.33 | 18.71 | 66.62 | 2.80 | 89.62 | 22.35 | 67.27 | 2.27 |
| 中学校 12歳 | 86.89 | 21.69 | 65.20 | 2.45 | 84.84 | 19.99 | 64.85 | 2.72 | 89.01 | 23.45 | 65.56 | 2.16 |
| 中学校 13 | 87.33 | 20.19 | 67.14 | 2.51 | 85.13 | 18.44 | 66.69 | 2.72 | 89.61 | 22.01 | 67.60 | 2.28 |
| 中学校 14 | 88.05 | 19.73 | 68.32 | 2.66 | 85.96 | 17.82 | 68.14 | 2.96 | 90.21 | 21.70 | 68.51 | 2.35 |
| 高等学校 計 | 89.03 | 23.07 | 65.96 | 2.96 | 86.84 | 21.00 | 65.84 | 3.04 | 91.43 | 25.34 | 66.09 | 2.87 |
| 高等学校 15歳 | 88.81 | 22.30 | 66.51 | 2.98 | 86.77 | 20.17 | 66.60 | 3.11 | 91.03 | 24.63 | 66.40 | 2.83 |
| 高等学校 16 | 89.24 | 22.92 | 66.32 | 3.01 | 87.00 | 20.79 | 66.21 | 3.04 | 91.71 | 25.27 | 66.44 | 2.97 |
| 高等学校 17 | 89.45 | 23.83 | 65.62 | 2.80 | 87.21 | 21.83 | 65.38 | 2.83 | 91.87 | 26.00 | 65.87 | 2.76 |

## ●昭和43年度

| 区分 | 男女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 男（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園5歳 | 93.16 | 5.45 | 87.71 | 0.56 | 92.80 | 5.21 | 87.59 | 0.59 | 93.53 | 5.70 | 87.83 | 0.52 |
| 小学校 計 | 91.50 | 10.97 | 80.53 | 1.58 | 90.90 | 9.85 | 81.05 | 1.62 | 92.11 | 12.13 | 79.98 | 1.53 |
| 小学校 6歳 | 88.76 | 4.02 | 84.74 | 1.03 | 88.05 | 3.70 | 84.35 | 1.00 | 89.52 | 4.36 | 85.16 | 1.05 |
| 小学校 7 | 91.97 | 5.36 | 86.61 | 1.36 | 91.24 | 4.98 | 86.26 | 1.30 | 92.74 | 5.76 | 86.98 | 1.43 |
| 小学校 8 | 93.37 | 7.68 | 85.63 | 1.70 | 92.54 | 6.95 | 85.59 | 1.76 | 94.13 | 8.45 | 85.68 | 1.63 |
| 小学校 9 | 93.26 | 10.93 | 82.33 | 1.83 | 92.89 | 9.69 | 83.20 | 1.87 | 93.63 | 12.22 | 81.41 | 1.78 |
| 小学校 10 | 91.34 | 16.28 | 75.06 | 1.78 | 91.27 | 14.22 | 77.05 | 1.86 | 91.39 | 18.41 | 72.98 | 1.70 |
| 小学校 11 | 90.24 | 20.87 | 69.40 | 1.74 | 89.37 | 18.99 | 70.38 | 1.89 | 91.20 | 22.83 | 68.37 | 1.59 |
| 中学校 計 | 88.50 | 21.77 | 66.73 | 2.61 | 86.55 | 20.28 | 66.27 | 2.77 | 90.54 | 23.34 | 67.20 | 2.43 |
| 中学校 12歳 | 88.09 | 23.12 | 64.97 | 2.49 | 86.1 | 21.76 | 64.35 | 2.66 | 90.18 | 24.56 | 65.62 | 2.32 |
| 中学校 13 | 88.36 | 21.72 | 66.64 | 2.67 | 86.38 | 20.33 | 66.05 | 2.84 | 90.42 | 23.17 | 67.25 | 2.49 |
| 中学校 14 | 89.04 | 20.59 | 68.45 | 2.65 | 87.13 | 18.86 | 68.27 | 2.82 | 91.02 | 22.39 | 68.63 | 2.47 |
| 高等学校 計 | 90.40 | 25.36 | 65.04 | 3.30 | 88.12 | 23.31 | 64.81 | 3.30 | 92.62 | 27.36 | 65.26 | 3.31 |
| 高等学校 15歳 | 90.13 | 25.21 | 64.92 | 3.28 | 87.69 | 22.72 | 64.97 | 3.32 | 92.47 | 27.59 | 24.88 | 3.24 |
| 高等学校 16 | 90.75 | 25.25 | 65.50 | 3.27 | 88.37 | 23.71 | 65.20 | 3.26 | 92.02 | 27.24 | 65.78 | 3.27 |
| 高等学校 17 | 90.79 | 25.68 | 65.11 | 3.37 | 88.82 | 24.00 | 64.82 | 3.31 | 92.68 | 27.30 | 65.38 | 3.43 |

## ●昭和44年度

| 区分 | 男女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 男（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園5歳 | 91.62 | 6.46 | 85.16 | 0.43 | 91.93 | 6.39 | 85.54 | 0.44 | 91.27 | 6.52 | 84.75 | 0.42 |
| 小学校 計 | 92.24 | 12.18 | 80.06 | 1.54 | 91.68 | 10.98 | 80.70 | 1.54 | 92.81 | 13.41 | 79.40 | 1.54 |
| 小学校 6歳 | 89.23 | 4.74 | 84.49 | 0.83 | 88.74 | 4.45 | 84.29 | 0.79 | 89.74 | 5.04 | 84.70 | 0.87 |
| 小学校 7 | 91.92 | 6.10 | 85.82 | 1.34 | 91.24 | 5.69 | 85.55 | 1.32 | 92.61 | 6.52 | 86.09 | 1.35 |
| 小学校 8 | 93.86 | 8.73 | 85.13 | 1.68 | 93.54 | 7.91 | 85.63 | 1.61 | 94.19 | 9.57 | 84.62 | 1.75 |
| 小学校 9 | 93.85 | 12.18 | 81.67 | 1.72 | 93.51 | 10.81 | 82.70 | 1.75 | 94.21 | 13.60 | 80.61 | 1.69 |
| 小学校 10 | 93.33 | 17.98 | 75.05 | 1.81 | 92.50 | 15.75 | 76.75 | 1.82 | 93.59 | 20.30 | 73.29 | 1.79 |
| 小学校 11 | 91.48 | 22.95 | 68.53 | 1.84 | 90.52 | 20.92 | 69.60 | 1.92 | 92.48 | 25.06 | 67.42 | 1.76 |
| 中学校 計 | 89.67 | 24.14 | 65.53 | 2.87 | 87.89 | 22.57 | 65.32 | 3.05 | 91.52 | 25.77 | 65.75 | 2.68 |
| 中学校 12歳 | 88.88 | 25.76 | 63.12 | 2.82 | 86.99 | 24.39 | 62.60 | 3.07 | 90.84 | 27.17 | 63.67 | 2.57 |
| 中学校 13 | 89.77 | 23.85 | 65.92 | 2.90 | 86.02 | 22.45 | 63.57 | 3.08 | 91.61 | 25.31 | 66.30 | 2.72 |
| 中学校 14 | 90.34 | 22.93 | 67.41 | 2.89 | 88.65 | 21.02 | 67.63 | 3.02 | 92.11 | 24.93 | 67.18 | 2.74 |
| 高等学校 計 | 90.70 | 26.40 | 64.30 | 2.59 | 88.85 | 23.77 | 65.08 | 2.69 | 92.55 | 29.02 | 63.53 | 2.42 |
| 高等学校 15歳 | 90.44 | 26.69 | 63.75 | 2.50 | 88.74 | 23.98 | 64.76 | 2.56 | 92.10 | 29.33 | 62.77 | 2.46 |
| 高等学校 16 | 90.94 | 26.23 | 64.71 | 2.58 | 89.10 | 23.48 | 65.62 | 2.70 | 92.75 | 28.93 | 63.82 | 2.59 |
| 高等学校 17 | 91.68 | 24.49 | 64.59 | 2.68 | 89.04 | 23.94 | 65.10 | 2.77 | 93.05 | 29.00 | 64.09 | 2.52 |

## ●昭和45年度

| 区分 | 男女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 男（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園5歳 | 95.4 | 3.7 | 91.7 | 0.4 | 95.5 | 4.1 | 91.4 | 0.4 | 95.3 | 3.4 | 91.9 | 0.3 |
| 小学校 計 | 93.6 | 12.1 | 81.5 | 1.7 | 93.1 | 10.8 | 82.3 | 1.8 | 94.2 | 13.5 | 80.7 | 1.7 |
| 小学校 6歳 | 92.2 | 4.2 | 88.0 | 1.1 | 91.8 | 4.0 | 87.8 | 0.9 | 92.7 | 4.5 | 88.2 | 1.3 |
| 小学校 7 | 94.2 | 5.9 | 88.3 | 1.4 | 93.7 | 5.3 | 88.3 | 1.2 | 94.8 | 6.4 | 88.4 | 1.5 |
| 小学校 8 | 94.7 | 7.7 | 87.0 | 2.2 | 94.4 | 6.9 | 87.5 | 2.3 | 95.0 | 8.5 | 86.4 | 2.0 |
| 小学校 9 | 95.3 | 12.1 | 83.2 | 1.9 | 95.1 | 10.7 | 84.4 | 2.2 | 95.5 | 13.5 | 82.0 | 1.7 |
| 小学校 10 | 94.1 | 17.4 | 76.7 | 1.9 | 93.7 | 15.0 | 78.7 | 2.0 | 94.6 | 19.9 | 74.7 | 1.8 |
| 小学校 11 | 91.3 | 23.7 | 67.6 | 1.9 | 90.0 | 21.5 | 68.5 | 2.0 | 92.6 | 26.0 | 66.6 | 1.8 |
| 中学校 計 | 90.5 | 22.8 | 67.7 | 2.4 | 88.6 | 21.3 | 67.3 | 2.5 | 92.5 | 24.3 | 68.1 | 2.2 |
| 中学校 12歳 | 90.0 | 24.2 | 65.7 | 2.1 | 88.0 | 23.2 | 64.8 | 2.4 | 92.0 | 25.3 | 66.7 | 1.8 |
| 中学校 13 | 89.5 | 22.0 | 67.5 | 2.5 | 87.5 | 20.5 | 67.0 | 2.6 | 91.5 | 23.6 | 67.9 | 2.3 |
| 中学校 14 | 92.1 | 22.3 | 69.8 | 2.6 | 90.3 | 20.4 | 69.9 | 2.7 | 93.9 | 24.2 | 69.7 | 2.4 |
| 高等学校 計 | 92.8 | 23.5 | 69.4 | 3.1 | 90.9 | 23.4 | 67.5 | 2.5 | 94.5 | 23.5 | 71.0 | 3.7 |
| 高等学校 15歳 | 92.6 | 25.3 | 67.3 | 2.9 | 89.3 | 25.6 | 63.7 | 2.1 | 94.9 | 25.0 | 69.9 | 3.6 |
| 高等学校 16 | 93.4 | 21.1 | 72.3 | 3.2 | 92.1 | 20.6 | 71.5 | 2.2 | 95.2 | 21.9 | 73.4 | 4.6 |
| 高等学校 17 | 92.6 | 24.1 | 68.6 | 3.2 | 90.7 | 24.9 | 65.8 | 3.1 | 94.0 | 23.5 | 70.5 | 3.2 |

## ●昭和46年度

| 区分 | 男女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 男（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 | 女（%） 歯 う歯 計 | 処置完了者 | 未処置のう歯の者 | その他の疾病又は異常の口腔歯 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園5歳 | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 計 | 93.92 | 14.23 | 79.69 | | 93.58 | 12.94 | 80.63 | | 94.26 | 15.51 | 78.74 | |
| 小学校 6歳 | 94.11 | 5.84 | 88.27 | | 93.20 | 5.63 | 87.56 | | 5.03 | 6.05 | 83.97 | |
| 小学校 7 | 92.46 | 7.17 | 85.28 | | 92.17 | 6.71 | 85.46 | | 92.75 | 7.65 | 85.11 | |
| 小学校 8 | 95.13 | 10.41 | 84.71 | | 94.91 | 9.68 | 85.22 | | 95.36 | 11.14 | 84.20 | |
| 小学校 9 | 95.08 | 15.19 | 79.88 | | 94.73 | 13.25 | 81.47 | | 95.43 | 17.13 | 78.29 | |
| 小学校 10 | 93.93 | 19.18 | 74.74 | | 93.86 | 17.14 | 76.71 | | 94.00 | 21.22 | 72.77 | |
| 小学校 11 | 92.80 | 27.45 | 65.34 | | 92.59 | 25.12 | 67.45 | | 93.01 | 29.78 | 63.23 | |
| 中学校 計 | 90.85 | 25.97 | 64.87 | | 89.01 | 24.41 | 64.59 | | 92.69 | 27.53 | 65.15 | |
| 中学校 12歳 | 91.10 | 27.33 | 63.76 | | 88.77 | 25.17 | 63.59 | | 93.43 | 29.49 | 63.93 | |
| 中学校 13 | 91.08 | 25.46 | 65.61 | | 89.50 | 24.71 | 64.78 | | 92.66 | 26.22 | 66.44 | |
| 中学校 14 | 90.38 | 25.16 | 65.21 | | 88.75 | 23.37 | 65.36 | | 92.01 | 26.34 | 65.06 | |
| 高等学校 計 | 91.83 | 28.56 | 63.26 | | 89.39 | 25.77 | 63.60 | | 94.25 | 31.32 | 62.92 | |
| 高等学校 15歳 | 91.34 | 29.88 | 61.95 | | 89.00 | 26.56 | 62.44 | | 94.69 | 33.23 | 61.46 | |
| 高等学校 16 | 91.84 | 27.73 | 64.10 | | 89.12 | 25.08 | 64.03 | | 91.55 | 30.36 | 64.18 | |
| 高等学校 17 | 91.80 | 28.05 | 63.74 | | 90.04 | 25.68 | 64.35 | | 93.51 | 30.36 | 63.14 | |

## 資料－5　◆ 学校保健統計の流れ（文部科学省資料）

### ●昭和47年度

| 区分 | 男女（%） | | | | | 男（%） | | | | | 女（%） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 歯 | | | | | 歯 | | | | |
| | | う歯 | | | | | う歯 | | | | | う歯 | | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 93.82 | 9.47 | 84.34 | 1.01 | | 93.51 | 9.15 | 84.36 | 1.03 | | 94.13 | 9.81 | 84.32 | 0.99 | |
| 小学校 計 | 93.16 | 14.54 | 78.62 | 2.77 | | 92.62 | 13.37 | 79.26 | 2.84 | | 93.72 | 15.77 | 77.95 | 2.71 | |
| 小学校 6歳 | 89.72 | 7.05 | 82.67 | 1.91 | | 89.03 | 6.74 | 82.26 | 1.93 | | 90.45 | 7.37 | 83.07 | 1.89 | |
| 小学校 7 | 92.59 | 8.07 | 84.52 | 2.72 | | 92.03 | 7.59 | 84.44 | 2.71 | | 93.17 | 8.57 | 84.60 | 2.76 | |
| 小学校 8 | 94.64 | 10.75 | 83.89 | 3.29 | | 94.13 | 7.94 | 84.20 | 3.31 | | 95.17 | 11.61 | 83.56 | 3.26 | |
| 小学校 9 | 94.78 | 14.62 | 80.16 | 3.18 | | 94.36 | 13.11 | 81.25 | 3.24 | | 95.23 | 16.21 | 79.01 | 3.11 | |
| 小学校 10 | 94.02 | 21.16 | 72.86 | 2.95 | | 93.63 | 19.16 | 74.47 | 3.06 | | 94.42 | 23.24 | 71.18 | 2.84 | |
| 小学校 11 | 93.28 | 26.27 | 67.01 | 2.59 | | 92.66 | 24.37 | 68.28 | 2.76 | | 93.93 | 28.24 | 65.69 | 2.38 | |
| 中学校 計 | 92.99 | 26.94 | 66.05 | 2.74 | | 71.48 | 25.54 | 65.93 | 2.93 | | 94.56 | 28.39 | 66.16 | 2.54 | |
| 中学校 12歳 | 92.47 | 28.73 | 63.74 | 2.85 | | 90.97 | 27.52 | 63.45 | 3.07 | | 94.03 | 29.99 | 64.04 | 2.63 | |
| 中学校 13 | 93.14 | 26.82 | 66.32 | 2.74 | | 91.53 | 25.61 | 65.93 | 2.89 | | 94.82 | 28.09 | 66.73 | 2.58 | |
| 中学校 14 | 93.34 | 25.25 | 68.07 | 2.62 | | 91.93 | 23.47 | 68.46 | 2.82 | | 94.81 | 27.10 | 67.71 | 2.42 | |
| 高等学校 計 | 93.03 | 28.32 | 64.71 | 2.78 | | 91.55 | 27.11 | 64.44 | 2.49 | | 94.55 | 29.56 | 64.99 | 3.07 | |
| 高等学校 15歳 | 92.44 | 28.73 | 63.70 | 2.80 | | 90.87 | 27.64 | 63.23 | 2.46 | | 94.07 | 29.87 | 64.26 | 3.15 | |
| 高等学校 16 | 93.48 | 28.05 | 65.44 | 2.68 | | 92.24 | 26.91 | 65.33 | 2.48 | | 94.76 | 29.22 | 65.54 | 2.88 | |
| 高等学校 17 | 93.19 | 28.18 | 65.06 | 2.86 | | 90.55 | 26.78 | 64.77 | 2.53 | | 94.83 | 29.59 | 65.24 | 3.18 | |

### ●昭和48年度

| 区分 | 男女（%） | | | | | 男（%） | | | | | 女（%） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 歯 | | | | | 歯 | | | | |
| | | う歯 | | | | | う歯 | | | | | う歯 | | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 94.07 | 8.83 | 85.24 | 1.56 | | 93.95 | 8.61 | 85.34 | 1.58 | | 94.19 | 9.06 | 85.13 | 1.54 | |
| 小学校 計 | 93.42 | 14.65 | 78.77 | 9.10 | | 93.00 | 13.45 | 79.55 | 9.40 | | 93.85 | 15.90 | 77.95 | 8.78 | |
| 小学校 6歳 | 89.94 | 7.46 | 82.48 | 7.78 | | 89.41 | 7.16 | 82.25 | 7.79 | | 90.50 | 7.77 | 82.73 | 7.77 | |
| 小学校 7 | 92.87 | 8.07 | 84.80 | 9.62 | | 92.28 | 7.66 | 84.62 | 9.72 | | 93.49 | 8.50 | 84.99 | 9.52 | |
| 小学校 8 | 94.48 | 10.39 | 84.09 | 10.70 | | 94.16 | 7.59 | 84.57 | 10.68 | | 94.82 | 11.22 | 83.60 | 10.72 | |
| 小学校 9 | 94.89 | 14.96 | 79.93 | 10.37 | | 94.78 | 13.44 | 81.34 | 10.70 | | 95.03 | 16.55 | 78.48 | 10.02 | |
| 小学校 10 | 94.35 | 20.82 | 73.53 | 9.02 | | 93.98 | 18.66 | 75.32 | 9.72 | | 94.74 | 23.05 | 71.69 | 8.31 | |
| 小学校 11 | 93.71 | 26.06 | 67.65 | 6.91 | | 93.18 | 24.18 | 69.00 | 7.63 | | 94.26 | 28.02 | 66.24 | 6.18 | |
| 中学校 計 | 93.23 | 26.54 | 66.69 | 4.42 | | 92.12 | 25.42 | 66.70 | 4.71 | | 94.37 | 27.68 | 66.69 | 4.13 | |
| 中学校 12歳 | 92.59 | 28.55 | 64.74 | 5.21 | | 91.32 | 27.32 | 64.00 | 5.60 | | 93.88 | 29.80 | 64.08 | 4.82 | |
| 中学校 13 | 93.18 | 26.25 | 66.93 | 4.24 | | 92.16 | 25.56 | 66.60 | 4.56 | | 94.23 | 26.96 | 67.27 | 3.92 | |
| 中学校 14 | 93.89 | 24.91 | 68.98 | 3.85 | | 92.83 | 23.49 | 69.34 | 4.02 | | 94.98 | 26.37 | 68.61 | 3.68 | |
| 高等学校 計 | 93.89 | 28.95 | 64.94 | 3.98 | | 92.50 | 26.84 | 65.66 | 4.12 | | 95.30 | 31.10 | 64.20 | 3.84 | |
| 高等学校 15歳 | 93.56 | 29.08 | 64.48 | 3.90 | | 92.20 | 27.21 | 64.99 | 4.03 | | 94.97 | 31.02 | 63.95 | 3.76 | |
| 高等学校 16 | 93.82 | 28.65 | 65.17 | 3.90 | | 92.31 | 26.42 | 65.89 | 4.03 | | 95.36 | 30.93 | 64.43 | 3.77 | |
| 高等学校 17 | 94.26 | 29.10 | 65.16 | 4.14 | | 92.99 | 26.88 | 66.11 | 4.29 | | 95.49 | 31.33 | 64.16 | 3.98 | |

### ●昭和49年度

| 区分 | 男女（%） | | | | | 男（%） | | | | | 女（%） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 歯 | | | | | 歯 | | | | |
| | | う歯 | | | | | う歯 | | | | | う歯 | | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 94.00 | 9.13 | 84.87 | 2.20 | | 93.96 | 8.93 | 85.03 | 2.19 | | 94.03 | 9.34 | 84.70 | 2.20 | |
| 小学校 計 | 94.26 | 14.31 | 79.95 | 13.12 | | 93.94 | 13.07 | 80.87 | 13.49 | | 94.60 | 15.61 | 78.99 | 12.74 | |
| 小学校 6歳 | 92.55 | 6.86 | 85.69 | 11.72 | | 92.26 | 6.66 | 85.60 | 11.70 | | 92.85 | 7.06 | 85.79 | 11.74 | |
| 小学校 7 | 94.35 | 7.56 | 86.79 | 13.57 | | 93.86 | 7.16 | 86.70 | 13.62 | | 94.86 | 7.98 | 86.88 | 13.53 | |
| 小学校 8 | 95.33 | 9.91 | 85.42 | 15.20 | | 95.24 | 9.06 | 86.18 | 15.22 | | 95.41 | 10.79 | 84.62 | 15.18 | |
| 小学校 9 | 95.46 | 14.27 | 81.19 | 15.44 | | 95.30 | 12.55 | 82.75 | 15.76 | | 95.62 | 16.07 | 79.55 | 15.11 | |
| 小学校 10 | 94.55 | 20.87 | 73.69 | 13.09 | | 94.37 | 18.56 | 75.81 | 14.04 | | 94.74 | 23.30 | 71.44 | 12.08 | |
| 小学校 11 | 93.43 | 26.37 | 67.06 | 9.78 | | 92.66 | 24.43 | 68.23 | 10.65 | | 94.23 | 28.39 | 65.84 | 8.88 | |
| 中学校 計 | 93.09 | 27.74 | 65.34 | 5.95 | | 91.84 | 26.47 | 65.37 | 6.41 | | 94.39 | 29.07 | 65.31 | 5.47 | |
| 中学校 12歳 | 92.32 | 29.37 | 62.95 | 7.25 | | 91.07 | 28.24 | 62.82 | 7.93 | | 93.64 | 30.54 | 63.09 | 6.53 | |
| 中学校 13 | 93.18 | 27.72 | 65.46 | 5.61 | | 91.80 | 26.59 | 65.21 | 6.13 | | 94.62 | 28.90 | 65.72 | 5.07 | |
| 中学校 14 | 93.75 | 26.17 | 67.58 | 5.01 | | 92.65 | 24.61 | 68.04 | 5.18 | | 94.89 | 27.80 | 67.09 | 4.82 | |
| 高等学校 計 | 94.46 | 28.79 | 65.67 | 5.47 | | 94.42 | 26.65 | 67.77 | 5.45 | | 94.50 | 30.86 | 63.64 | 5.48 | |
| 高等学校 15歳 | 94.61 | 29.15 | 65.46 | 5.32 | | 94.65 | 27.12 | 67.53 | 5.23 | | 94.57 | 31.14 | 63.43 | 5.40 | |
| 高等学校 16 | 94.55 | 28.47 | 66.08 | 5.39 | | 94.41 | 26.44 | 67.97 | 5.46 | | 94.68 | 30.43 | 64.25 | 5.32 | |
| 高等学校 17 | 94.20 | 28.72 | 65.48 | 5.70 | | 94.17 | 26.34 | 67.83 | 5.69 | | 94.24 | 31.00 | 63.24 | 5.72 | |

### ●昭和50年度

| 区分 | 男女（%） | | | | | 男（%） | | | | | 女（%） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 歯 | | | | | 歯 | | | | |
| | | う歯 | | | | | う歯 | | | | | う歯 | | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 94.20 | 8.69 | 85.51 | 1.65 | | 94.10 | 8.46 | 85.64 | 1.67 | | 94.31 | 8.92 | 85.39 | 1.62 | |
| 小学校 計 | 94.43 | 14.47 | 79.96 | 9.64 | | 94.25 | 13.41 | 80.84 | 9.95 | | 94.61 | 15.57 | 79.04 | 9.32 | |
| 小学校 6歳 | 92.54 | 7.35 | 85.19 | 8.13 | | 92.33 | 7.22 | 85.11 | 8.19 | | 92.76 | 7.48 | 85.28 | 8.06 | |
| 小学校 7 | 94.75 | 7.70 | 87.05 | 9.72 | | 94.97 | 7.37 | 87.60 | 9.73 | | 94.52 | 8.05 | 86.47 | 9.71 | |
| 小学校 8 | 95.26 | 9.98 | 85.28 | 11.46 | | 94.98 | 9.23 | 85.75 | 11.69 | | 95.56 | 10.77 | 84.79 | 11.21 | |
| 小学校 9 | 95.33 | 14.66 | 80.67 | 11.53 | | 95.18 | 13.14 | 82.04 | 11.71 | | 94.49 | 16.24 | 79.25 | 11.35 | |
| 小学校 10 | 94.86 | 21.13 | 73.73 | 9.88 | | 94.68 | 19.08 | 75.60 | 10.62 | | 95.05 | 23.26 | 71.79 | 9.11 | |
| 小学校 11 | 94.02 | 26.52 | 67.50 | 7.43 | | 93.54 | 24.94 | 68.60 | 8.07 | | 94.51 | 28.17 | 66.34 | 6.76 | |
| 中学校 計 | 93.68 | 28.04 | 65.64 | 4.85 | | 92.49 | 26.90 | 65.59 | 5.06 | | 94.92 | 29.23 | 65.69 | 4.62 | |
| 中学校 12歳 | 93.07 | 29.63 | 63.44 | 5.64 | | 91.96 | 28.74 | 63.22 | 6.14 | | 94.23 | 30.56 | 63.67 | 5.12 | |
| 中学校 13 | 93.67 | 27.96 | 65.71 | 4.68 | | 92.50 | 27.06 | 65.44 | 4.84 | | 94.89 | 28.89 | 66.00 | 4.51 | |
| 中学校 14 | 94.30 | 26.51 | 67.79 | 4.21 | | 93.02 | 24.87 | 68.15 | 4.20 | | 95.64 | 28.23 | 67.41 | 4.22 | |
| 高等学校 計 | 94.94 | 28.93 | 66.02 | 4.54 | | 93.51 | 27.19 | 66.32 | 4.69 | | 96.39 | 30.67 | 65.72 | 4.40 | |
| 高等学校 15歳 | 94.69 | 29.73 | 64.96 | 4.38 | | 93.37 | 28.30 | 65.07 | 4.48 | | 96.04 | 31.19 | 64.85 | 4.27 | |
| 高等学校 16 | 94.95 | 28.43 | 66.52 | 4.53 | | 93.24 | 26.48 | 66.76 | 4.66 | | 96.67 | 30.40 | 66.27 | 4.39 | |
| 高等学校 17 | 95.21 | 28.61 | 66.60 | 4.73 | | 93.96 | 26.77 | 67.19 | 4.94 | | 96.44 | 30.43 | 66.01 | 4.53 | |

### ●昭和51年度

| 区分 | 男女（%） | | | | | 男（%） | | | | | 女（%） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 歯 | | | | | 歯 | | | | |
| | | う歯 | | | | | う歯 | | | | | う歯 | | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 93.91 | 97.1 | 84.20 | 1.66 | | 93.76 | 9.50 | 84.26 | 1.72 | | 94.06 | 9.92 | 84.14 | 1.60 | |
| 小学校 計 | 94.42 | 15.04 | 79.38 | 9.56 | | 94.03 | 13.85 | 80.18 | 9.82 | | 94.83 | 16.27 | 78.56 | 9.28 | |
| 小学校 6歳 | 93.12 | 8.06 | 85.06 | 7.73 | | 92.82 | 7.77 | 85.05 | 7.67 | | 93.43 | 8.36 | 85.07 | 7.79 | |
| 小学校 7 | 94.29 | 8.57 | 85.72 | 9.57 | | 93.93 | 8.07 | 85.86 | 9.55 | | 94.68 | 9.09 | 85.59 | 9.58 | |
| 小学校 8 | 95.07 | 10.63 | 84.44 | 11.23 | | 94.60 | 9.86 | 84.74 | 11.35 | | 95.57 | 11.44 | 84.13 | 11.10 | |
| 小学校 9 | 95.47 | 15.00 | 80.47 | 11.52 | | 95.12 | 13.56 | 81.56 | 11.82 | | 95.84 | 16.49 | 79.35 | 11.20 | |
| 小学校 10 | 94.71 | 22.04 | 72.67 | 9.92 | | 94.19 | 19.63 | 74.56 | 10.53 | | 95.24 | 24.53 | 70.71 | 9.28 | |
| 小学校 11 | 94.04 | 27.07 | 66.97 | 7.67 | | 93.69 | 25.23 | 68.46 | 8.35 | | 94.41 | 28.98 | 65.43 | 6.95 | |
| 中学校 計 | 94.13 | 29.04 | 65.09 | 5.59 | | 92.98 | 27.87 | 65.11 | 5.83 | | 95.32 | 30.25 | 65.07 | 5.33 | |
| 中学校 12歳 | 93.63 | 30.58 | 63.05 | 6.23 | | 92.41 | 29.47 | 62.94 | 6.64 | | 94.91 | 31.74 | 63.17 | 5.80 | |
| 中学校 13 | 94.06 | 28.97 | 65.09 | 5.34 | | 92.82 | 28.13 | 64.69 | 5.58 | | 95.35 | 29.86 | 65.49 | 5.09 | |
| 中学校 14 | 94.70 | 27.52 | 67.18 | 5.18 | | 93.72 | 25.99 | 67.73 | 5.27 | | 95.72 | 29.12 | 66.60 | 5.09 | |
| 高等学校 計 | 95.26 | 29.38 | 65.88 | 5.74 | | 93.79 | 27.61 | 66.18 | 5.44 | | 96.74 | 31.14 | 65.60 | 6.03 | |
| 高等学校 15歳 | 94.76 | 29.79 | 64.97 | 5.53 | | 93.26 | 27.91 | 65.35 | 5.35 | | 96.30 | 31.70 | 64.60 | 5.71 | |
| 高等学校 16 | 95.41 | 29.15 | 66.26 | 5.68 | | 93.94 | 27.59 | 66.35 | 5.34 | | 96.88 | 30.72 | 66.16 | 6.01 | |
| 高等学校 17 | 95.62 | 29.20 | 66.42 | 6.00 | | 94.17 | 27.32 | 66.85 | 5.64 | | 97.03 | 31.02 | 66.01 | 6.35 | |

### ●昭和52年度

| 区分 | 男女（%） | | | | | 男（%） | | | | | 女（%） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 歯 | | | | | 歯 | | | | |
| | | う歯 | | | | | う歯 | | | | | う歯 | | | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | その他の疾病又は異常の口腔 |
| 幼稚園5歳 | 88.37 | 9.21 | 79.16 | 0.85 | | 87.80 | 9.22 | 78.58 | 0.65 | | 88.97 | 9.20 | 79.77 | 1.06 | |
| 小学校 計 | 93.73 | 15.25 | 78.48 | 7.80 | | 93.44 | 14.10 | 79.34 | 8.14 | | 94.05 | 16.47 | 77.58 | 7.45 | |
| 小学校 6歳 | 92.23 | 8.57 | 83.66 | 6.61 | | 92.10 | 8.23 | 83.87 | 6.60 | | 92.36 | 8.94 | 83.42 | 6.62 | |
| 小学校 7 | 98.96 | 8.85 | 85.11 | 7.98 | | 98.59 | 8.42 | 85.17 | 8.06 | | 94.35 | 9.31 | 85.04 | 7.89 | |
| 小学校 8 | 94.97 | 11.28 | 83.69 | 9.16 | | 94.62 | 10.46 | 84.16 | 9.57 | | 95.82 | 12.13 | 83.19 | 8.74 | |
| 小学校 9 | 94.75 | 15.53 | 79.22 | 9.14 | | 94.49 | 14.03 | 80.46 | 9.67 | | 95.02 | 17.11 | 77.91 | 8.59 | |
| 小学校 10 | 93.94 | 21.70 | 72.24 | 7.81 | | 93.75 | 19.42 | 74.33 | 8.30 | | 94.15 | 24.11 | 70.04 | 7.29 | |
| 小学校 11 | 92.60 | 28.19 | 64.41 | 6.05 | | 92.11 | 26.58 | 65.58 | 6.66 | | 98.09 | 29.85 | 63.24 | 5.41 | |
| 中学校 計 | 93.45 | 29.44 | 64.01 | 3.97 | | 92.55 | 28.60 | 63.95 | 4.17 | | 94.41 | 30.33 | 64.08 | 3.76 | |
| 中学校 12歳 | 92.92 | 30.95 | 61.97 | 4.48 | | 92.21 | 30.22 | 61.99 | 4.80 | | 93.68 | 31.73 | 61.95 | 4.13 | |
| 中学校 13 | 93.29 | 29.18 | 64.11 | 3.87 | | 92.14 | 28.68 | 63.51 | 4.12 | | 94.50 | 29.76 | 64.74 | 3.62 | |
| 中学校 14 | 94.20 | 28.05 | 66.15 | 3.51 | | 93.34 | 26.76 | 66.58 | 3.52 | | 95.12 | 29.41 | 65.71 | 3.51 | |
| 高等学校 計 | 94.60 | 29.26 | 65.34 | 4.04 | | 98.66 | 27.74 | 65.92 | 3.67 | | 95.54 | 30.77 | 64.77 | 4.40 | |
| 高等学校 15歳 | 94.18 | 29.40 | 64.78 | 3.69 | | 93.26 | 28.40 | 64.86 | 3.35 | | 95.10 | 30.41 | 64.69 | 4.04 | |
| 高等学校 16 | 94.75 | 29.07 | 65.68 | 4.18 | | 93.97 | 27.65 | 66.32 | 3.78 | | 95.52 | 30.47 | 65.05 | 4.47 | |
| 高等学校 17 | 94.90 | 29.32 | 65.58 | 4.30 | | 93.74 | 27.12 | 66.62 | 3.90 | | 96.02 | 31.45 | 64.57 | 4.69 | |

## ●昭和53年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 |
| 幼稚園5歳 | 87.53 | 10.38 | 77.15 | 1.01 | 87.47 | 10.50 | 76.97 | 0.86 | 87.59 | 10.25 | 77.34 | 1.16 |
| 小学校 計 | 94.17 | 20.20 | 73.97 | 8.05 | 93.93 | 18.69 | 75.24 | 8.38 | 94.42 | 21.78 | 72.64 | 7.71 |
| 小学校 6歳 | 92.74 | 13.40 | 79.34 | 6.38 | 92.52 | 13.14 | 79.38 | 6.89 | 92.98 | 13.68 | 79.30 | 6.76 |
| 小学校 7 | 94.46 | 14.06 | 80.41 | 7.97 | 94.52 | 13.37 | 80.87 | 8.13 | 94.70 | 14.77 | 79.93 | 7.80 |
| 小学校 8 | 95.18 | 15.98 | 79.20 | 9.01 | 94.92 | 14.88 | 80.04 | 9.37 | 95.45 | 17.13 | 78.32 | 8.64 |
| 小学校 9 | 95.28 | 20.68 | 74.60 | 9.35 | 95.22 | 18.96 | 76.27 | 9.62 | 95.33 | 22.48 | 72.85 | 9.07 |
| 小学校 10 | 94.03 | 26.94 | 67.08 | 8.40 | 93.82 | 24.05 | 69.77 | 9.06 | 94.25 | 29.95 | 64.29 | 7.72 |
| 小学校 11 | 93.32 | 32.32 | 61.00 | 6.64 | 92.82 | 30.02 | 62.80 | 7.14 | 93.82 | 34.62 | 58.20 | 6.14 |
| 中学校 計 | 93.58 | 33.20 | 60.65 | 4.16 | 92.88 | 31.98 | 60.90 | 4.37 | 94.88 | 34.50 | 60.38 | 3.94 |
| 中学校 12歳 | 93.15 | 35.06 | 58.07 | 4.57 | 92.20 | 33.99 | 58.21 | 4.92 | 94.13 | 36.21 | 57.92 | 4.19 |
| 中学校 13 | 93.95 | 32.80 | 61.14 | 4.10 | 92.88 | 31.64 | 61.24 | 4.27 | 95.08 | 34.03 | 61.05 | 3.93 |
| 中学校 14 | 94.48 | 31.76 | 62.73 | 3.81 | 93.59 | 30.29 | 63.29 | 3.93 | 95.42 | 33.28 | 62.13 | 3.70 |
| 高等学校 計 | 95.11 | 31.07 | 64.04 | 4.22 | 94.09 | 29.07 | 65.01 | 4.04 | 96.15 | 33.11 | 63.04 | 4.40 |
| 高等学校 15歳 | 94.63 | 31.97 | 62.65 | 3.93 | 93.46 | 30.01 | 63.45 | 3.68 | 95.85 | 34.02 | 61.82 | 4.19 |
| 高等学校 16 | 95.17 | 30.64 | 64.53 | 4.37 | 94.17 | 28.71 | 65.45 | 4.41 | 96.21 | 32.63 | 63.58 | 4.34 |
| 高等学校 17 | 95.53 | 30.57 | 64.96 | 4.36 | 94.66 | 28.46 | 66.20 | 4.05 | 96.39 | 32.67 | 63.72 | 4.68 |

## ●昭和54年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 |
| 幼稚園5歳 | 89.10 | 10.53 | 78.57 | 1.22 | 89.06 | 10.31 | 78.76 | 1.17 | 89.13 | 10.76 | 78.37 | 1.28 |
| 小学校 計 | 94.76 | 17.72 | 77.04 | 10.93 | 94.61 | 16.42 | 78.19 | 11.20 | 94.93 | 19.08 | 75.84 | 10.65 |
| 小学校 6歳 | 93.51 | 10.31 | 83.20 | 8.90 | 93.47 | 10.18 | 83.29 | 8.76 | 93.55 | 10.44 | 83.11 | 9.05 |
| 小学校 7 | 95.12 | 10.69 | 84.43 | 10.84 | 94.92 | 10.16 | 84.76 | 10.78 | 95.33 | 11.25 | 84.08 | 10.91 |
| 小学校 8 | 96.17 | 12.24 | 83.93 | 12.68 | 96.17 | 11.50 | 84.67 | 12.66 | 96.17 | 13.02 | 83.15 | 12.70 |
| 小学校 9 | 95.75 | 17.56 | 78.19 | 13.39 | 95.69 | 15.70 | 79.99 | 13.76 | 95.80 | 19.53 | 76.28 | 13.00 |
| 小学校 10 | 94.67 | 25.70 | 68.97 | 11.45 | 94.54 | 23.18 | 71.36 | 12.09 | 94.80 | 28.33 | 66.46 | 10.77 |
| 小学校 11 | 93.42 | 30.94 | 62.49 | 8.44 | 92.86 | 29.08 | 63.78 | 9.29 | 93.99 | 32.81 | 61.18 | 7.57 |
| 中学校 計 | 94.52 | 31.68 | 62.84 | 5.18 | 93.45 | 30.65 | 62.79 | 5.45 | 95.65 | 32.77 | 62.88 | 4.91 |
| 中学校 12歳 | 93.57 | 32.72 | 60.85 | 6.21 | 92.47 | 31.96 | 60.52 | 6.67 | 94.73 | 33.53 | 61.21 | 5.72 |
| 中学校 13 | 94.43 | 32.00 | 62.43 | 4.67 | 93.27 | 31.21 | 62.06 | 4.98 | 95.62 | 32.81 | 62.81 | 4.36 |
| 中学校 14 | 95.47 | 30.45 | 65.02 | 4.75 | 94.50 | 28.94 | 65.56 | 4.80 | 96.49 | 32.04 | 64.46 | 4.71 |
| 高等学校 計 | 95.89 | 29.79 | 66.10 | 4.93 | 94.78 | 27.69 | 67.09 | 4.55 | 97.01 | 31.88 | 65.12 | 5.30 |
| 高等学校 15歳 | 95.49 | 30.93 | 64.56 | 4.84 | 94.35 | 29.02 | 65.33 | 4.47 | 96.62 | 32.84 | 63.79 | 5.22 |
| 高等学校 16 | 95.94 | 29.38 | 66.55 | 4.86 | 94.85 | 27.26 | 67.59 | 4.45 | 97.03 | 31.52 | 66.52 | 5.28 |
| 高等学校 17 | 96.27 | 29.00 | 67.28 | 5.09 | 95.15 | 26.70 | 68.45 | 4.75 | 97.38 | 31.26 | 66.12 | 5.42 |

## ●昭和55年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 |
| 幼稚園5歳 | 86.54 | 13.48 | 73.06 | 1.44 | 86.71 | 13.38 | 73.33 | 1.44 | 86.36 | 13.58 | 72.78 | 1.44 |
| 小学校 計 | 93.98 | 22.24 | 71.74 | 10.10 | 93.71 | 21.06 | 72.65 | 10.21 | 94.26 | 23.48 | 70.78 | 9.98 |
| 小学校 6歳 | 91.70 | 15.77 | 75.93 | 8.38 | 91.35 | 15.55 | 75.80 | 8.31 | 92.08 | 16.01 | 76.07 | 8.45 |
| 小学校 7 | 93.97 | 15.70 | 78.27 | 10.27 | 93.72 | 15.37 | 78.34 | 10.28 | 94.24 | 16.04 | 78.19 | 10.26 |
| 小学校 8 | 95.11 | 17.30 | 77.82 | 11.67 | 94.64 | 16.42 | 78.22 | 11.46 | 95.62 | 18.21 | 77.40 | 11.88 |
| 小学校 9 | 95.46 | 22.21 | 73.25 | 11.78 | 95.35 | 20.25 | 75.10 | 11.84 | 95.59 | 24.28 | 71.31 | 11.72 |
| 小学校 10 | 94.25 | 29.09 | 65.15 | 10.45 | 94.27 | 26.94 | 67.33 | 10.80 | 94.22 | 31.36 | 62.86 | 10.09 |
| 小学校 11 | 93.46 | 34.85 | 58.61 | 8.03 | 93.04 | 33.13 | 59.91 | 8.63 | 93.91 | 36.66 | 57.24 | 7.39 |
| 中学校 計 | 93.91 | 33.85 | 60.05 | 4.58 | 92.76 | 32.70 | 60.06 | 4.74 | 95.11 | 35.06 | 60.05 | 4.42 |
| 中学校 12歳 | 93.17 | 35.15 | 58.03 | 5.45 | 91.87 | 33.92 | 57.95 | 5.78 | 94.54 | 36.43 | 58.11 | 5.10 |
| 中学校 13 | 93.82 | 33.47 | 60.36 | 4.39 | 92.81 | 32.61 | 60.20 | 4.57 | 94.89 | 34.37 | 60.52 | 4.20 |
| 中学校 14 | 94.79 | 32.78 | 62.01 | 3.81 | 93.69 | 31.44 | 62.26 | 3.74 | 95.94 | 34.19 | 61.75 | 3.88 |
| 高等学校 計 | 95.90 | 32.58 | 63.31 | 4.72 | 94.51 | 31.05 | 63.46 | 4.59 | 97.30 | 34.14 | 63.16 | 4.86 |
| 高等学校 15歳 | 95.46 | 33.20 | 62.26 | 4.74 | 94.16 | 32.14 | 62.02 | 4.66 | 96.78 | 34.28 | 62.50 | 4.81 |
| 高等学校 16 | 95.94 | 32.15 | 63.79 | 4.68 | 94.46 | 30.34 | 64.12 | 4.50 | 97.45 | 33.99 | 63.46 | 4.87 |
| 高等学校 17 | 96.35 | 32.34 | 64.00 | 4.75 | 94.98 | 30.55 | 64.43 | 4.61 | 97.72 | 34.14 | 63.58 | 4.89 |

## ●昭和56年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 |
| 幼稚園5歳 | 84.58 | 16.09 | 68.49 | 1.72 | 84.70 | 16.17 | 68.73 | 1.64 | 84.26 | 16.01 | 68.25 | 1.77 |
| 小学校 計 | 93.51 | 23.64 | 69.87 | 7.63 | 93.39 | 22.47 | 70.90 | 9.70 | 93.63 | 24.84 | 68.79 | 9.35 |
| 小学校 6歳 | 90.93 | 16.70 | 73.95 | 7.43 | 90.76 | 16.66 | 74.09 | 7.27 | 91.11 | 17.30 | 73.80 | 7.61 |
| 小学校 7 | 93.50 | 17.37 | 76.13 | 9.47 | 93.26 | 17.33 | 75.93 | 9.52 | 93.75 | 17.41 | 76.34 | 9.41 |
| 小学校 8 | 94.99 | 19.23 | 75.71 | 11.09 | 94.85 | 18.03 | 76.02 | 11.42 | 95.04 | 20.50 | 74.53 | 10.74 |
| 小学校 9 | 95.05 | 23.42 | 71.62 | 11.57 | 74.77 | 21.27 | 73.48 | 11.80 | 95.34 | 25.66 | 67.67 | 11.25 |
| 小学校 10 | 94.01 | 30.63 | 63.30 | 10.15 | 94.18 | 28.59 | 65.58 | 10.83 | 93.83 | 32.77 | 61.06 | 7.42 |
| 小学校 11 | 92.53 | 35.31 | 57.23 | 7.97 | 92.47 | 34.10 | 58.37 | 8.39 | 72.60 | 36.57 | 56.03 | 7.52 |
| 中学校 計 | 93.68 | 34.38 | 59.30 | 5.77 | 92.60 | 33.43 | 59.17 | 6.07 | 94.82 | 35.37 | 59.45 | 5.46 |
| 中学校 12歳 | 92.63 | 35.34 | 57.27 | 6.55 | 71.37 | 34.64 | 56.73 | 7.26 | 93.96 | 36.07 | 57.08 | 5.01 |
| 中学校 13 | 93.80 | 34.41 | 59.39 | 5.53 | 92.60 | 33.01 | 58.79 | 5.65 | 75.06 | 35.04 | 60.01 | 5.41 |
| 中学校 14 | 94.81 | 33.17 | 61.64 | 5.12 | 94.09 | 31.52 | 62.57 | 5.15 | 95.57 | 34.90 | 60.67 | 5.09 |
| 高等学校 計 | 95.74 | 32.06 | 62.88 | 4.60 | 94.74 | 31.63 | 63.11 | 4.37 | 76.74 | 34.11 | 62.64 | 4.03 |
| 高等学校 15歳 | 74.84 | 33.54 | 61.30 | 4.52 | 93.93 | 32.15 | 61.78 | 4.47 | 75.77 | 34.97 | 60.80 | 4.57 |
| 高等学校 16 | 96.03 | 32.54 | 63.47 | 4.68 | 95.02 | 31.07 | 63.15 | 4.33 | 97.05 | 33.21 | 63.84 | 5.04 |
| 高等学校 17 | 96.37 | 32.47 | 63.93 | 4.58 | 95.33 | 30.79 | 64.54 | 4.29 | 97.46 | 34.14 | 63.31 | 4.00 |

## ●昭和57年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 |
| 幼稚園5歳 | 82.42 | 15.71 | 66.71 | 1.34 | 82.37 | 15.78 | 66.59 | 1.26 | 82.46 | 15.63 | 66.83 | 1.42 |
| 小学校 計 | 93.06 | 25.45 | 67.61 | 8.70 | 92.88 | 24.18 | 68.70 | 8.89 | 93.25 | 26.79 | 66.46 | 8.50 |
| 小学校 6歳 | 90.10 | 18.92 | 71.17 | 6.41 | 90.13 | 18.31 | 71.82 | 6.13 | 90.07 | 19.57 | 70.50 | 6.71 |
| 小学校 7 | 92.56 | 18.58 | 73.98 | 8.43 | 92.37 | 18.11 | 74.25 | 8.63 | 92.77 | 19.07 | 73.69 | 8.22 |
| 小学校 8 | 94.52 | 20.66 | 73.86 | 9.91 | 94.25 | 19.57 | 74.69 | 9.66 | 94.79 | 21.80 | 72.99 | 10.17 |
| 小学校 9 | 95.14 | 25.38 | 69.77 | 10.62 | 95.41 | 23.60 | 71.81 | 11.03 | 94.87 | 27.24 | 67.62 | 10.19 |
| 小学校 10 | 93.75 | 32.04 | 61.71 | 9.29 | 93.42 | 29.84 | 63.57 | 9.80 | 94.10 | 34.34 | 59.76 | 8.76 |
| 小学校 11 | 91.95 | 37.11 | 54.84 | 7.25 | 91.36 | 35.65 | 55.72 | 7.77 | 92.57 | 38.65 | 53.92 | 6.69 |
| 中学校 計 | 92.97 | 36.82 | 56.15 | 4.60 | 91.84 | 35.79 | 56.05 | 4.80 | 94.16 | 37.90 | 56.25 | 4.40 |
| 中学校 12歳 | 92.22 | 38.49 | 53.73 | 5.37 | 91.09 | 37.76 | 53.32 | 5.84 | 93.42 | 39.25 | 54.16 | 4.88 |
| 中学校 13 | 92.71 | 36.20 | 56.51 | 4.40 | 91.67 | 35.09 | 56.58 | 4.56 | 93.81 | 37.37 | 56.44 | 4.23 |
| 中学校 14 | 93.99 | 35.75 | 58.24 | 4.03 | 92.78 | 34.49 | 58.29 | 3.99 | 95.26 | 37.07 | 58.19 | 4.07 |
| 高等学校 計 | 95.73 | 34.96 | 60.77 | 3.98 | 94.43 | 34.51 | 59.92 | 3.73 | 97.03 | 35.41 | 61.63 | 4.23 |
| 高等学校 15歳 | 95.11 | 35.17 | 59.95 | 4.02 | 93.64 | 34.97 | 58.67 | 3.78 | 96.64 | 35.37 | 61.27 | 4.26 |
| 高等学校 16 | 95.82 | 35.31 | 60.52 | 3.84 | 94.58 | 34.87 | 59.71 | 3.66 | 97.08 | 35.75 | 61.33 | 4.02 |
| 高等学校 17 | 96.22 | 34.40 | 61.82 | 4.07 | 95.07 | 33.69 | 61.37 | 3.75 | 97.36 | 35.10 | 62.26 | 4.40 |

## ●昭和58年度

| 区分 | 男女（%） | | | | 男（%） | | | | 女（%） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 歯 | | | | 歯 | | | |
| | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 | う歯 | | | その他の疾病又は異常 |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 | 計 | 処置完了者 | 未処置の者 | 歯のある者 |
| 幼稚園5歳 | 83.55 | 17.52 | 66.03 | 1.07 | 83.26 | 17.02 | 66.23 | 0.82 | 83.85 | 18.04 | 65.81 | 1.34 |
| 小学校 計 | 92.61 | 27.95 | 64.65 | 8.98 | 92.52 | 26.69 | 65.83 | 9.12 | 92.70 | 29.28 | 63.42 | 8.84 |
| 小学校 6歳 | 89.11 | 20.64 | 68.47 | 6.57 | 89.08 | 20.14 | 68.94 | 6.19 | 89.14 | 21.17 | 67.97 | 6.98 |
| 小学校 7 | 92.16 | 21.48 | 70.68 | 8.61 | 92.40 | 21.17 | 71.22 | 8.67 | 91.91 | 21.80 | 70.11 | 8.54 |
| 小学校 8 | 94.35 | 23.95 | 70.40 | 10.30 | 94.36 | 22.95 | 71.41 | 10.51 | 94.34 | 25.00 | 69.35 | 10.08 |
| 小学校 9 | 94.27 | 27.59 | 66.67 | 10.95 | 94.47 | 26.12 | 68.35 | 10.87 | 94.05 | 29.14 | 64.92 | 11.03 |
| 小学校 10 | 93.57 | 34.16 | 59.41 | 9.70 | 93.19 | 31.47 | 61.71 | 9.86 | 93.97 | 36.98 | 56.99 | 0.54 |
| 小学校 11 | 91.71 | 38.43 | 53.28 | 7.43 | 91.16 | 36.98 | 54.18 | 8.21 | 92.28 | 39.96 | 52.33 | 5.61 |
| 中学校 計 | 93.03 | 37.69 | 55.34 | 4.97 | 91.90 | 36.75 | 55.15 | 5.00 | 94.21 | 38.68 | 55.53 | 4.94 |
| 中学校 12歳 | 91.72 | 38.89 | 52.83 | 5.87 | 90.37 | 38.16 | 52.22 | 6.00 | 93.15 | 39.66 | 53.48 | 5.73 |
| 中学校 13 | 93.20 | 37.52 | 55.68 | 4.78 | 92.14 | 36.55 | 55.59 | 4.88 | 94.31 | 38.55 | 55.76 | 4.67 |
| 中学校 14 | 94.20 | 36.63 | 57.56 | 4.24 | 93.23 | 35.52 | 57.71 | 4.10 | 95.21 | 37.80 | 57.41 | 4.39 |
| 高等学校 計 | 95.34 | 30.06 | 59.28 | 4.29 | 94.21 | 34.55 | 59.65 | 3.80 | 96.49 | 37.58 | 58.91 | 4.78 |
| 高等学校 15歳 | 95.00 | 37.06 | 57.94 | 3.96 | 93.92 | 35.69 | 58.23 | 3.71 | 96.11 | 38.47 | 57.65 | 4.21 |
| 高等学校 16 | 94.97 | 35.08 | 59.89 | 4.73 | 93.88 | 33.78 | 60.10 | 3.93 | 96.07 | 36.40 | 59.67 | 5.53 |
| 高等学校 17 | 96.10 | 35.83 | 60.27 | 4.26 | 94.85 | 33.94 | 60.91 | 3.80 | 97.33 | 37.69 | 59.64 | 4.72 |

# ◆ 学校保健統計の流れ（文部科学省資料）

## ●昭和59年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | |
| | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 83.86 | 23.58 | 60.28 | 1.18 | 0.13 | | 84.24 | 23.50 | 60.74 | 1.09 | 0.13 | | 83.47 | 23.66 | 59.81 | 1.28 | 0.13 | |
| 小学校 計 | 91.52 | 30.04 | 61.49 | 9.08 | 0.25 | | 91.21 | 28.95 | 62.27 | 9.25 | 0.25 | | 91.85 | 31.18 | 60.67 | 8.90 | 0.25 | |
| 小学校 6歳 | 88.30 | 22.72 | 65.58 | 7.05 | 0.17 | | 87.83 | 22.71 | 65.12 | 6.89 | 0.16 | | 88.80 | 22.74 | 66.06 | 7.22 | 0.18 | |
| 小学校 7 | 90.68 | 24.11 | 66.58 | 8.41 | 0.20 | | 90.55 | 23.58 | 66.98 | 8.31 | 0.19 | | 90.82 | 24.66 | 66.16 | 8.51 | 0.21 | |
| 小学校 8 | 92.50 | 26.26 | 66.24 | 10.26 | 0.28 | | 92.03 | 25.22 | 66.80 | 10.41 | 0.31 | | 93.00 | 27.35 | 65.66 | 10.11 | 0.25 | |
| 小学校 9 | 93.31 | 30.03 | 63.28 | 10.76 | 0.29 | | 93.16 | 28.47 | 64.69 | 10.65 | 0.31 | | 93.46 | 31.67 | 61.79 | 10.89 | 0.27 | |
| 小学校 10 | 92.63 | 35.65 | 56.98 | 9.78 | 0.28 | | 92.63 | 33.82 | 58.81 | 10.29 | 0.29 | | 92.63 | 37.57 | 55.06 | 9.25 | 0.27 | |
| 小学校 11 | 91.25 | 39.19 | 52.07 | 7.95 | 0.26 | | 90.61 | 37.86 | 52.75 | 8.60 | 0.24 | | 91.93 | 40.58 | 51.35 | 7.27 | 0.28 | |
| 中学校 計 | 92.24 | 40.83 | 51.41 | 6.02 | 0.31 | | 91.04 | 39.93 | 51.12 | 6.20 | 0.31 | | 93.50 | 41.79 | 51.71 | 5.84 | 0.31 | |
| 中学校 12歳 | 91.23 | 42.27 | 48.95 | 8.04 | 0.31 | | 89.92 | 41.90 | 48.02 | 8.43 | 0.31 | | 92.60 | 42.66 | 49.94 | 7.62 | 0.31 | |
| 中学校 13 | 92.38 | 40.73 | 51.66 | 5.21 | 0.33 | | 91.23 | 39.58 | 51.64 | 5.43 | 0.35 | | 93.60 | 41.93 | 51.67 | 4.97 | 0.32 | |
| 中学校 14 | 93.18 | 39.42 | 53.76 | 4.71 | 0.28 | | 92.06 | 38.18 | 53.88 | 4.60 | 0.28 | | 94.36 | 40.72 | 53.65 | 4.82 | 0.29 | |
| 高等学校 計 | 94.30 | 41.29 | 53.02 | 4.82 | 0.31 | | 93.09 | 39.29 | 53.80 | 4.39 | 0.38 | | 95.54 | 43.31 | 52.22 | 5.25 | 0.24 | |
| 高等学校 15歳 | 93.94 | 42.04 | 51.90 | 4.49 | 0.22 | | 93.01 | 40.32 | 52.69 | 4.14 | 0.31 | | 94.90 | 43.82 | 51.09 | 4.86 | 0.14 | |
| 高等学校 16 | 94.49 | 40.88 | 53.61 | 4.91 | 0.38 | | 93.12 | 38.79 | 54.34 | 4.38 | 0.47 | | 95.87 | 42.99 | 52.88 | 5.44 | 0.29 | |
| 高等学校 17 | 94.55 | 40.82 | 53.73 | 5.14 | 0.34 | | 93.16 | 38.55 | 54.61 | 4.74 | 0.37 | | 95.93 | 43.08 | 52.85 | 5.53 | 0.31 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 4.75 | 0.05 | 4.70 | 3.35 | 1.35 | 4.33 | 0.05 | 4.28 | 3.00 | 1.28 | 5.19 | 0.05 | 5.13 | 3.71 | 1.42 |
| 12歳 | 4.75 | 0.05 | 4.70 | 3.35 | 1.35 | 4.33 | 0.05 | 4.28 | 3.00 | 1.28 | 5.19 | 0.05 | 5.13 | 3.71 | 1.42 |

## ●昭和60年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | |
| | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 82.57 | 23.44 | 59.13 | 1.38 | 0.15 | | 82.50 | 23.42 | 59.08 | 1.28 | 0.13 | | 82.63 | 23.45 | 59.18 | 1.49 | 0.17 | |
| 小学校 計 | 91.36 | 31.82 | 59.54 | 8.68 | 0.27 | | 91.02 | 30.54 | 60.48 | 8.83 | 0.25 | | 91.72 | 33.16 | 58.56 | 8.51 | 0.29 | |
| 小学校 6歳 | 88.03 | 24.53 | 63.50 | 6.89 | 0.18 | | 87.66 | 24.08 | 63.58 | 6.62 | 0.17 | | 88.40 | 24.99 | 63.41 | 7.17 | 0.19 | |
| 小学校 7 | 90.94 | 25.75 | 65.19 | 8.02 | 0.22 | | 90.82 | 25.54 | 65.28 | 8.00 | 0.21 | | 91.07 | 25.98 | 65.10 | 8.03 | 0.22 | |
| 小学校 8 | 92.33 | 27.76 | 64.57 | 9.33 | 0.25 | | 91.95 | 26.42 | 65.53 | 9.38 | 0.21 | | 92.73 | 29.16 | 63.57 | 9.29 | 0.31 | |
| 小学校 9 | 92.85 | 31.60 | 61.24 | 10.46 | 0.30 | | 92.97 | 30.06 | 62.91 | 10.49 | 0.31 | | 92.71 | 33.22 | 59.49 | 10.42 | 0.30 | |
| 小学校 10 | 92.59 | 37.55 | 55.04 | 9.63 | 0.28 | | 92.13 | 35.15 | 56.99 | 10.08 | 0.28 | | 93.08 | 40.07 | 53.00 | 9.16 | 0.28 | |
| 小学校 11 | 91.07 | 41.09 | 49.98 | 7.59 | 0.34 | | 90.30 | 39.62 | 50.69 | 8.17 | 0.29 | | 91.88 | 42.64 | 49.24 | 6.99 | 0.40 | |
| 中学校 計 | 92.34 | 41.19 | 51.15 | 4.77 | 0.30 | | 91.16 | 40.44 | 50.72 | 5.05 | 0.36 | | 93.58 | 41.98 | 51.59 | 4.48 | 0.24 | |
| 中学校 12歳 | 91.31 | 41.94 | 49.37 | 6.00 | 0.31 | | 90.14 | 41.45 | 48.70 | 6.46 | 0.38 | | 92.54 | 42.47 | 50.07 | 5.51 | 0.23 | |
| 中学校 13 | 92.55 | 41.40 | 51.15 | 4.53 | 0.28 | | 91.43 | 40.88 | 50.54 | 4.75 | 0.31 | | 93.74 | 41.94 | 51.79 | 4.29 | 0.23 | |
| 中学校 14 | 93.20 | 40.18 | 53.02 | 3.73 | 0.32 | | 91.96 | 38.91 | 53.05 | 3.87 | 0.37 | | 94.51 | 41.52 | 53.00 | 3.59 | 0.25 | |
| 高等学校 計 | 94.29 | 42.17 | 52.12 | 3.35 | 0.32 | | 93.14 | 40.16 | 52.98 | 3.52 | 0.37 | | 95.46 | 44.21 | 51.25 | 3.17 | 0.26 | |
| 高等学校 15歳 | 93.75 | 42.21 | 51.54 | 3.44 | 0.34 | | 92.66 | 40.64 | 52.02 | 3.60 | 0.41 | | 94.89 | 43.84 | 51.05 | 3.26 | 0.25 | |
| 高等学校 16 | 94.30 | 41.87 | 52.43 | 3.38 | 0.34 | | 92.99 | 40.12 | 52.87 | 3.55 | 0.39 | | 95.63 | 43.65 | 51.98 | 3.21 | 0.28 | |
| 高等学校 17 | 94.87 | 42.45 | 52.42 | 3.21 | 0.27 | | 93.83 | 39.68 | 54.15 | 3.39 | 0.30 | | 95.90 | 45.19 | 50.71 | 3.03 | 0.24 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 4.63 | 0.05 | 4.58 | 3.26 | 1.32 | 4.25 | 0.05 | 4.20 | 2.94 | 1.26 | 5.02 | 0.05 | 4.97 | 3.50 | 1.38 |
| 12歳 | 4.63 | 0.05 | 4.58 | 3.26 | 1.32 | 4.25 | 0.05 | 4.20 | 2.94 | 1.26 | 5.02 | 0.05 | 4.97 | 3.50 | 1.38 |

## ●昭和61年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | |
| | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 83.04 | 24.88 | 58.17 | 1.22 | 0.17 | | 83.04 | 24.60 | 58.44 | 1.12 | 0.14 | | 83.05 | 25.16 | 57.89 | 1.33 | 0.21 | |
| 小学校 計 | 91.22 | 32.80 | 58.43 | 8.55 | 0.33 | | 91.00 | 31.86 | 59.13 | 8.83 | 0.32 | | 91.46 | 33.78 | 57.69 | 8.25 | 0.33 | |
| 小学校 6歳 | 87.27 | 25.84 | 61.43 | 6.62 | 0.27 | | 87.03 | 25.57 | 61.46 | 6.52 | 0.25 | | 87.53 | 26.12 | 61.40 | 6.73 | 0.28 | |
| 小学校 7 | 90.90 | 26.89 | 64.00 | 7.62 | 0.26 | | 90.69 | 26.54 | 64.15 | 7.62 | 0.24 | | 91.12 | 27.27 | 63.85 | 7.62 | 0.28 | |
| 小学校 8 | 92.68 | 29.09 | 63.59 | 9.12 | 0.31 | | 92.62 | 28.44 | 64.18 | 9.16 | 0.33 | | 92.74 | 29.77 | 62.97 | 9.09 | 0.29 | |
| 小学校 9 | 92.62 | 32.53 | 60.09 | 10.08 | 0.32 | | 92.27 | 31.09 | 61.18 | 10.32 | 0.32 | | 92.99 | 34.06 | 58.94 | 9.82 | 0.32 | |
| 小学校 10 | 91.83 | 38.01 | 53.82 | 9.80 | 0.36 | | 91.85 | 36.53 | 55.32 | 10.45 | 0.39 | | 91.81 | 39.57 | 52.24 | 9.12 | 0.34 | |
| 小学校 11 | 91.64 | 42.06 | 49.58 | 7.85 | 0.43 | | 91.15 | 40.83 | 50.32 | 8.59 | 0.40 | | 92.17 | 43.36 | 48.81 | 7.06 | 0.45 | |
| 中学校 計 | 91.92 | 40.79 | 51.13 | 5.22 | 0.33 | | 90.69 | 40.01 | 50.68 | 5.69 | 0.32 | | 93.20 | 41.61 | 51.59 | 4.72 | 0.34 | |
| 中学校 12歳 | 90.44 | 41.71 | 48.73 | 6.66 | 0.35 | | 89.15 | 41.23 | 47.91 | 7.33 | 0.36 | | 91.81 | 42.21 | 49.59 | 5.95 | 0.35 | |
| 中学校 13 | 92.06 | 40.62 | 51.44 | 4.76 | 0.33 | | 90.74 | 40.25 | 50.49 | 5.21 | 0.30 | | 93.43 | 41.00 | 52.43 | 4.29 | 0.35 | |
| 中学校 14 | 93.28 | 40.03 | 53.25 | 4.21 | 0.31 | | 92.21 | 38.51 | 53.70 | 4.49 | 0.30 | | 94.40 | 41.63 | 52.78 | 3.91 | 0.31 | |
| 高等学校 計 | 94.23 | 44.21 | 50.02 | 3.57 | 0.33 | | 92.84 | 42.39 | 50.45 | 3.82 | 0.35 | | 95.64 | 46.06 | 49.58 | 3.32 | 0.32 | |
| 高等学校 15歳 | 93.54 | 43.91 | 49.63 | 3.78 | 0.30 | | 92.00 | 42.38 | 49.62 | 3.99 | 0.31 | | 95.15 | 45.51 | 49.64 | 3.56 | 0.28 | |
| 高等学校 16 | 94.54 | 44.25 | 50.29 | 3.52 | 0.30 | | 93.35 | 42.58 | 50.77 | 3.89 | 0.29 | | 95.75 | 45.94 | 49.81 | 3.15 | 0.32 | |
| 高等学校 17 | 94.66 | 44.49 | 50.16 | 3.41 | 0.40 | | 93.26 | 42.21 | 51.05 | 3.56 | 0.45 | | 96.05 | 46.77 | 49.28 | 3.25 | 0.36 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 4.58 | 0.04 | 4.54 | 3.23 | 1.31 | 4.18 | 0.04 | 4.14 | 2.90 | 1.24 | 4.99 | 0.04 | 4.95 | 3.58 | 1.37 |
| 12歳 | 4.58 | 0.04 | 4.54 | 3.23 | 1.31 | 4.18 | 0.04 | 4.14 | 2.90 | 1.24 | 4.99 | 0.04 | 4.95 | 3.58 | 1.37 |

## ●昭和62年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | 歯・口腔 | | | | | 歯・口腔 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | |
| 幼稚園5歳 | 80.91 | 24.86 | 56.05 | 1.01 | 0.22 | 81.19 | 24.71 | 56.48 | 0.93 | 0.17 | 80.62 | 25.01 | 55.61 | 1.09 | 0.26 |
| 小学校 計 | 91.06 | 34.78 | 56.28 | 8.58 | 0.26 | 90.83 | 33.73 | 57.10 | 8.74 | 0.26 | 91.31 | 35.89 | 55.42 | 8.42 | 0.25 |
| 小学校 6歳 | 87.97 | 27.50 | 60.48 | 6.37 | 0.18 | 87.84 | 27.56 | 60.28 | 6.18 | 0.20 | 88.11 | 27.43 | 60.68 | 6.56 | 0.16 |
| 小学校 7 | 90.35 | 28.64 | 61.71 | 8.04 | 0.25 | 90.13 | 28.21 | 61.92 | 8.03 | 0.26 | 90.58 | 29.09 | 61.49 | 8.05 | 0.24 |
| 小学校 8 | 92.56 | 31.42 | 61.14 | 8.88 | 0.26 | 92.19 | 30.30 | 61.99 | 8.86 | 0.27 | 92.94 | 32.70 | 60.24 | 8.90 | 0.25 |
| 小学校 9 | 93.21 | 36.09 | 57.12 | 9.92 | 0.23 | 93.02 | 34.11 | 58.91 | 10.05 | 0.24 | 93.41 | 38.17 | 55.24 | 9.79 | 0.22 |
| 小学校 10 | 91.49 | 39.59 | 51.90 | 9.92 | 0.26 | 91.66 | 37.78 | 53.87 | 10.25 | 0.27 | 91.32 | 41.50 | 49.83 | 9.58 | 0.25 |
| 小学校 11 | 90.49 | 43.41 | 47.08 | 8.12 | 0.34 | 89.86 | 42.63 | 47.23 | 8.71 | 0.33 | 91.15 | 44.24 | 46.92 | 7.49 | 0.35 |
| 中学校 計 | 91.36 | 41.51 | 49.86 | 5.71 | 0.35 | 90.12 | 40.57 | 49.55 | 6.17 | 0.38 | 92.67 | 42.49 | 50.18 | 5.22 | 0.31 |
| 中学校 12歳 | 90.39 | 42.66 | 47.72 | 6.96 | 0.38 | 89.30 | 42.09 | 47.20 | 7.67 | 0.44 | 91.53 | 43.26 | 48.26 | 6.22 | 0.33 |
| 中学校 13 | 91.20 | 41.07 | 50.12 | 5.48 | 0.33 | 89.75 | 40.51 | 49.24 | 5.88 | 0.35 | 92.72 | 41.66 | 51.06 | 5.05 | 0.31 |
| 中学校 14 | 92.48 | 40.82 | 51.65 | 4.72 | 0.32 | 91.29 | 39.15 | 52.13 | 5.02 | 0.35 | 93.72 | 42.57 | 51.15 | 4.41 | 0.30 |
| 高等学校 計 | 94.24 | 44.72 | 49.56 | 4.11 | 0.26 | 92.99 | 41.66 | 51.33 | 3.82 | 0.23 | 95.58 | 47.82 | 47.76 | 4.41 | 0.29 |
| 高等学校 15歳 | 93.66 | 44.35 | 49.31 | 4.00 | 0.25 | 92.04 | 41.67 | 50.37 | 3.60 | 0.26 | 95.33 | 47.12 | 48.21 | 4.42 | 0.24 |
| 高等学校 16 | 94.57 | 44.93 | 49.64 | 4.10 | 0.25 | 93.39 | 41.62 | 51.77 | 4.04 | 0.19 | 95.76 | 48.27 | 47.50 | 4.15 | 0.31 |
| 高等学校 17 | 94.66 | 44.91 | 49.74 | 4.24 | 0.27 | 93.65 | 41.68 | 51.96 | 3.82 | 0.22 | 95.66 | 48.13 | 47.53 | 4.67 | 0.32 |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) |
| 計 | 4.51 | 0.04 | 4.47 | 3.19 | 1.28 | 4.15 | 0.04 | 4.11 | 2.87 | 1.24 | 4.89 | 0.05 | 4.84 | 3.52 | 1.32 |
| 12歳 | 4.51 | 0.04 | 4.47 | 3.19 | 1.28 | 4.15 | 0.04 | 4.11 | 2.87 | 1.24 | 4.89 | 0.05 | 4.84 | 3.52 | 1.32 |

## ●昭和63年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | 歯・口腔 | | | | | 歯・口腔 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | |
| 幼稚園5歳 | 81.23 | 26.76 | 54.47 | 0.94 | 0.33 | 81.42 | 26.64 | 54.79 | 0.88 | 0.28 | 81.03 | 26.88 | 54.15 | 0.99 | 0.38 |
| 小学校 計 | 90.05 | 34.74 | 55.31 | 8.83 | 0.27 | 89.84 | 33.78 | 56.06 | 8.94 | 0.27 | 90.28 | 35.75 | 54.53 | 8.72 | 0.27 |
| 小学校 6歳 | 86.25 | 27.04 | 59.21 | 6.55 | 0.19 | 86.35 | 27.19 | 59.16 | 6.35 | 0.16 | 86.14 | 26.87 | 59.27 | 6.76 | 0.21 |
| 小学校 7 | 89.32 | 29.06 | 60.26 | 7.63 | 0.22 | 89.06 | 28.49 | 60.57 | 7.71 | 0.24 | 89.60 | 29.67 | 59.93 | 7.55 | 0.21 |
| 小学校 8 | 91.99 | 32.19 | 59.80 | 9.14 | 0.23 | 91.70 | 31.18 | 60.52 | 8.97 | 0.24 | 92.31 | 33.26 | 59.05 | 9.33 | 0.22 |
| 小学校 9 | 92.11 | 35.85 | 56.26 | 10.20 | 0.27 | 92.06 | 34.38 | 57.68 | 9.97 | 0.25 | 92.17 | 37.39 | 54.77 | 10.43 | 0.29 |
| 小学校 10 | 91.36 | 40.51 | 50.86 | 10.10 | 0.36 | 91.28 | 38.83 | 52.45 | 10.74 | 0.39 | 91.45 | 42.26 | 49.19 | 9.43 | 0.32 |
| 小学校 11 | 88.92 | 41.89 | 47.03 | 9.01 | 0.35 | 88.26 | 40.87 | 47.39 | 9.46 | 0.35 | 89.61 | 42.96 | 46.66 | 8.53 | 0.36 |
| 中学校 計 | 90.54 | 41.50 | 49.04 | 5.89 | 0.57 | 89.01 | 40.34 | 48.67 | 6.37 | 0.58 | 92.15 | 42.73 | 49.42 | 5.38 | 0.57 |
| 中学校 12歳 | 89.12 | 42.41 | 46.72 | 7.33 | 0.59 | 87.64 | 41.78 | 45.86 | 8.19 | 0.58 | 90.68 | 43.07 | 47.61 | 6.44 | 0.62 |
| 中学校 13 | 90.58 | 41.38 | 49.20 | 5.47 | 0.48 | 88.79 | 40.56 | 48.24 | 5.95 | 0.46 | 92.45 | 42.25 | 50.20 | 4.98 | 0.50 |
| 中学校 14 | 91.80 | 40.80 | 51.00 | 4.97 | 0.64 | 90.47 | 38.82 | 51.64 | 5.12 | 0.69 | 93.20 | 42.88 | 50.32 | 4.81 | 0.59 |
| 高等学校 計 | 94.45 | 45.26 | 49.19 | 4.42 | 0.43 | 93.51 | 43.11 | 50.40 | 4.65 | 0.29 | 95.39 | 47.43 | 47.96 | 4.18 | 0.57 |
| 高等学校 15歳 | 93.93 | 44.98 | 48.95 | 4.79 | 0.49 | 92.82 | 43.49 | 49.32 | 5.10 | 0.35 | 95.07 | 46.51 | 48.56 | 4.46 | 0.65 |
| 高等学校 16 | 94.51 | 45.28 | 49.22 | 4.28 | 0.43 | 93.76 | 43.09 | 50.66 | 4.46 | 0.29 | 95.26 | 47.50 | 47.77 | 4.10 | 0.57 |
| 高等学校 17 | 94.96 | 45.54 | 49.42 | 4.16 | 0.35 | 94.04 | 42.70 | 51.34 | 4.35 | 0.22 | 95.88 | 48.37 | 47.51 | 3.97 | 0.48 |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) |
| 計 | 4.35 | 0.04 | 4.31 | 3.09 | 1.22 | 3.96 | 0.04 | 3.92 | 2.77 | 1.16 | 4.75 | 0.04 | 4.71 | 3.42 | 1.29 |
| 12歳 | 4.35 | 0.04 | 4.31 | 3.09 | 1.22 | 3.96 | 0.04 | 3.92 | 2.77 | 1.16 | 4.75 | 0.04 | 4.71 | 3.42 | 1.29 |

## ●平成 元 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | 歯・口腔 | | | | | 歯・口腔 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | | 計 | う歯 処置完了者 | う歯 未処置のある者 | その他の歯の疾患 | |
| 幼稚園5歳 | 80.86 | 28.18 | 52.68 | 1.03 | 0.17 | 80.77 | 27.94 | 52.83 | 0.99 | 0.17 | 80.96 | 28.42 | 52.54 | 1.07 | 0.17 |
| 小学校 計 | 90.34 | 35.43 | 54.91 | 8.26 | 0.32 | 90.17 | 34.49 | 55.68 | 8.29 | 0.31 | 90.51 | 36.42 | 54.09 | 8.23 | 0.33 |
| 小学校 6歳 | 86.52 | 28.25 | 58.27 | 5.95 | 0.19 | 86.41 | 28.47 | 57.94 | 5.60 | 0.18 | 86.64 | 28.03 | 58.61 | 6.32 | 0.20 |
| 小学校 7 | 89.51 | 29.71 | 59.80 | 7.03 | 0.26 | 89.39 | 29.44 | 59.95 | 6.33 | 0.26 | 89.65 | 30.00 | 59.64 | 7.25 | 0.25 |
| 小学校 8 | 92.05 | 32.92 | 59.13 | 8.16 | 0.30 | 91.88 | 32.19 | 59.69 | 8.09 | 0.27 | 92.23 | 33.68 | 58.55 | 8.24 | 0.33 |
| 小学校 9 | 92.32 | 36.35 | 55.97 | 9.95 | 0.39 | 92.50 | 34.96 | 57.54 | 9.87 | 0.40 | 92.14 | 37.81 | 54.33 | 10.05 | 0.39 |
| 小学校 10 | 91.33 | 40.25 | 51.14 | 9.66 | 0.27 | 91.24 | 38.51 | 52.73 | 9.98 | 0.23 | 91.53 | 42.07 | 49.46 | 9.33 | 0.30 |
| 小学校 11 | 89.99 | 43.39 | 46.60 | 8.49 | 0.48 | 89.41 | 41.86 | 47.55 | 8.96 | 0.48 | 90.60 | 44.99 | 45.61 | 7.99 | 0.48 |
| 中学校 計 | 90.43 | 41.43 | 49.00 | 6.52 | 0.36 | 88.98 | 40.22 | 48.77 | 7.06 | 0.36 | 91.94 | 42.70 | 49.24 | 5.96 | 0.37 |
| 中学校 12歳 | 88.28 | 41.70 | 46.58 | 8.15 | 0.38 | 86.90 | 40.75 | 46.15 | 8.90 | 0.40 | 89.73 | 42.70 | 47.03 | 7.36 | 0.35 |
| 中学校 13 | 90.28 | 41.49 | 48.80 | 6.21 | 0.41 | 88.73 | 40.33 | 48.40 | 6.75 | 0.39 | 91.91 | 42.70 | 49.21 | 5.66 | 0.42 |
| 中学校 14 | 92.48 | 41.13 | 51.35 | 5.35 | 0.32 | 91.10 | 39.63 | 51.46 | 5.71 | 0.29 | 93.93 | 42.70 | 51.23 | 4.98 | 0.34 |
| 高等学校 計 | 94.15 | 46.00 | 48.15 | 4.07 | 0.44 | 93.04 | 42.75 | 50.29 | 4.40 | 9.53 | 95.27 | 49.29 | 45.99 | 3.74 | 0.35 |
| 高等学校 15歳 | 93.41 | 46.00 | 47.41 | 3.97 | 0.46 | 92.36 | 43.51 | 48.85 | 4.14 | 0.52 | 94.49 | 48.55 | 45.93 | 3.78 | 0.40 |
| 高等学校 16 | 94.25 | 45.83 | 48.42 | 4.14 | 0.47 | 93.13 | 42.46 | 50.67 | 4.39 | 0.60 | 95.39 | 49.23 | 46.16 | 3.90 | 0.34 |
| 高等学校 17 | 94.85 | 46.18 | 48.67 | 4.10 | 0.38 | 93.71 | 42.23 | 51.47 | 4.69 | 0.47 | 95.99 | 50.13 | 45.86 | 3.51 | 0.29 |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 計 (本) | う歯 処置歯数(本) | う歯 未処置歯数(本) |
| 計 | 4.30 | 0.04 | 4.26 | 3.05 | 1.21 | 3.93 | 0.04 | 3.89 | 2.73 | 1.16 | 4.68 | 0.04 | 4.64 | 3.37 | 1.26 |
| 12歳 | 4.30 | 0.04 | 4.26 | 3.05 | 1.21 | 3.93 | 0.04 | 3.89 | 2.73 | 1.16 | 4.68 | 0.04 | 4.64 | 3.37 | 1.26 |

# ◆ 学校保健統計の流れ（文部科学省資料）

## ●平成 2 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園５歳 | 80.41 | 27.98 | 52.44 | | 1.20 | 0.21 | 81.00 | 28.40 | 52.60 | | 1.08 | 0.23 | 79.81 | 27.55 | 52.27 | | 1.32 | 0.18 |
| 小学校 計 | 89.54 | 36.26 | 53.28 | | 8.99 | 0.40 | 89.25 | 35.45 | 53.80 | | 9.12 | 0.40 | 89.84 | 37.11 | 52.73 | | 8.86 | 0.40 |
| 小学校 6歳 | 85.48 | 28.52 | 56.96 | | 6.72 | 0.25 | 85.33 | 28.20 | 57.13 | | 6.53 | 0.24 | 85.64 | 28.85 | 56.79 | | 6.93 | 0.27 |
| 小学校 7 | 89.21 | 31.24 | 57.97 | | 7.66 | 0.29 | 88.77 | 30.98 | 57.79 | | 7.57 | 0.26 | 89.67 | 31.51 | 58.16 | | 7.75 | 0.32 |
| 小学校 8 | 91.41 | 34.00 | 57.41 | | 9.34 | 0.39 | 91.13 | 33.44 | 57.70 | | 9.32 | 0.44 | 91.71 | 34.60 | 57.12 | | 9.37 | 0.33 |
| 小学校 9 | 91.79 | 38.15 | 53.64 | | 10.38 | 0.44 | 91.93 | 37.33 | 54.60 | | 10.39 | 0.46 | 91.64 | 39.01 | 52.63 | | 10.37 | 0.42 |
| 小学校 10 | 90.30 | 41.09 | 49.21 | | 10.69 | 0.52 | 89.97 | 39.51 | 50.46 | | 11.09 | 0.49 | 90.64 | 42.75 | 47.89 | | 10.28 | 0.54 |
| 小学校 11 | 88.96 | 43.30 | 45.67 | | 8.98 | 0.49 | 88.32 | 42.07 | 46.25 | | 9.58 | 0.48 | 89.64 | 44.59 | 45.06 | | 8.36 | 0.49 |
| 中学校 計 | 89.96 | 41.34 | 48.62 | | 6.59 | 0.51 | 88.36 | 40.21 | 48.15 | | 6.98 | 0.52 | 91.64 | 42.53 | 49.11 | | 6.10 | 0.40 |
| 中学校 12歳 | 88.80 | 42.05 | 46.75 | | 8.01 | 0.51 | 87.05 | 41.49 | 45.55 | | 8.66 | 0.48 | 90.64 | 42.64 | 48.00 | | 7.33 | 0.55 |
| 中学校 13 | 89.60 | 41.27 | 48.33 | | 6.13 | 0.51 | 88.00 | 40.26 | 47.75 | | 6.37 | 0.54 | 91.27 | 42.33 | 48.94 | | 5.88 | 0.49 |
| 中学校 14 | 91.39 | 40.75 | 50.65 | | 5.71 | 0.49 | 89.92 | 38.97 | 50.95 | | 5.98 | 0.53 | 92.94 | 42.61 | 50.32 | | 5.43 | 0.45 |
| 高等学校 計 | 93.65 | 45.83 | 47.83 | | 4.63 | 0.32 | 92.06 | 42.47 | 49.59 | | 4.80 | 0.38 | 95.25 | 49.21 | 46.04 | | 4.47 | 0.27 |
| 高等学校 15歳 | 92.77 | 45.98 | 46.78 | | 4.85 | 0.30 | 91.26 | 43.19 | 48.07 | | 5.10 | 0.31 | 94.32 | 48.86 | 45.46 | | 4.60 | 0.29 |
| 高等学校 16 | 93.78 | 45.68 | 48.10 | | 4.59 | 0.31 | 92.27 | 42.24 | 50.03 | | 4.79 | 0.38 | 95.30 | 40.14 | 46.16 | | 4.30 | 0.24 |
| 高等学校 17 | 94.42 | 45.80 | 48.62 | | 4.46 | 0.36 | 92.68 | 41.94 | 50.74 | | 4.49 | 0.44 | 96.15 | 49.64 | 46.51 | | 4.42 | 0.20 |

| 区分 | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 4.30 | 0.04 | 4.26 | 3.04 | 1.22 | 3.91 | 0.04 | 3.87 | 2.73 | 1.15 | 4.71 | 0.05 | 4.66 | 3.36 | 1.30 |
| 12 歳 | 4.30 | 0.04 | 4.26 | 3.04 | 1.22 | 3.91 | 0.04 | 3.87 | 2.73 | 1.15 | 4.71 | 0.05 | 4.66 | 3.36 | 1.30 |

## ●平成 3 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園５歳 | 80.81 | 29.05 | 51.76 | | 1.04 | 0.24 | 80.78 | 29.02 | 51.76 | | 1.04 | 0.22 | 80.84 | 29.08 | 51.76 | | 1.04 | 0.26 |
| 小学校 計 | 89.34 | 37.16 | 52.18 | | 8.84 | 0.39 | 89.22 | 36.27 | 52.95 | | 8.91 | 0.40 | 89.47 | 38.09 | 51.38 | | 8.78 | 0.37 |
| 小学校 6歳 | 85.81 | 29.59 | 56.22 | | 6.48 | 0.22 | 85.68 | 29.51 | 56.16 | | 6.26 | 0.24 | 85.95 | 29.66 | 56.28 | | 6.70 | 0.20 |
| 小学校 7 | 88.85 | 31.87 | 56.98 | | 7.97 | 0.33 | 88.70 | 31.40 | 57.30 | | 7.89 | 0.36 | 89.01 | 32.35 | 56.66 | | 8.05 | 0.30 |
| 小学校 8 | 90.96 | 35.48 | 55.49 | | 8.92 | 0.41 | 90.92 | 34.25 | 56.67 | | 8.96 | 0.44 | 91.01 | 36.76 | 54.25 | | 8.88 | 0.38 |
| 小学校 9 | 91.59 | 39.05 | 52.53 | | 10.19 | 0.33 | 91.65 | 37.80 | 53.84 | | 10.06 | 0.30 | 91.53 | 40.37 | 51.16 | | 10.33 | 0.36 |
| 小学校 10 | 90.43 | 41.96 | 48.47 | | 10.41 | 0.49 | 90.31 | 40.45 | 49.86 | | 10.67 | 0.50 | 90.56 | 43.55 | 47.02 | | 10.14 | 0.48 |
| 小学校 11 | 88.33 | 44.10 | 44.22 | | 8.98 | 0.51 | 87.99 | 43.30 | 44.69 | | 9.43 | 0.56 | 88.68 | 44.95 | 43.73 | | 8.51 | 0.46 |
| 中学校 計 | 89.64 | 41.40 | 48.25 | | 7.54 | 0.52 | 87.98 | 40.05 | 47.93 | | 8.01 | 0.52 | 91.39 | 42.81 | 48.58 | | 7.04 | 0.51 |
| 中学校 12歳 | 88.30 | 42.00 | 46.30 | | 8.88 | 0.57 | 86.71 | 40.98 | 45.72 | | 9.64 | 0.59 | 89.96 | 43.06 | 46.91 | | 8.08 | 0.56 |
| 中学校 13 | 89.66 | 41.68 | 47.98 | | 7.15 | 0.51 | 87.82 | 40.51 | 47.31 | | 7.40 | 0.52 | 91.59 | 42.90 | 48.69 | | 6.88 | 0.51 |
| 中学校 14 | 90.90 | 40.56 | 50.34 | | 6.65 | 0.48 | 89.34 | 38.73 | 50.61 | | 7.06 | 0.47 | 92.54 | 42.49 | 50.05 | | 6.21 | 0.48 |
| 高等学校 計 | 93.01 | 45.86 | 47.15 | | 5.51 | 0.57 | 92.01 | 42.88 | 49.12 | | 5.50 | 0.75 | 94.02 | 48.85 | 45.16 | | 5.53 | 0.39 |
| 高等学校 15歳 | 92.00 | 45.93 | 46.07 | | 5.68 | 0.50 | 90.82 | 42.99 | 47.83 | | 5.68 | 0.63 | 93.22 | 48.97 | 44.25 | | 5.68 | 0.36 |
| 高等学校 16 | 93.36 | 45.27 | 48.09 | | 5.42 | 0.59 | 92.63 | 42.77 | 49.86 | | 5.36 | 0.75 | 94.10 | 47.79 | 46.31 | | 5.49 | 0.42 |
| 高等学校 17 | 93.63 | 46.36 | 47.27 | | 5.44 | 0.63 | 92.56 | 42.90 | 49.66 | | 5.45 | 0.86 | 94.70 | 49.80 | 44.90 | | 5.43 | 0.40 |

| 区分 | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 4.29 | 0.04 | 4.25 | 3.03 | 1.22 | 3.91 | 0.03 | 3.87 | 2.71 | 1.16 | 4.69 | 0.04 | 4.64 | 3.37 | 1.27 |
| 12 歳 | 4.29 | 0.04 | 4.25 | 3.03 | 1.22 | 3.91 | 0.03 | 3.87 | 2.71 | 1.16 | 4.69 | 0.04 | 4.64 | 3.37 | 1.27 |

## ●平成 4 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園５歳 | 78.72 | 28.44 | 50.28 | | 1.33 | 0.27 | 78.84 | 28.48 | 50.35 | | 1.18 | 0.23 | 78.61 | 28.41 | 50.20 | | 1.48 | 0.31 |
| 小学校 計 | 89.09 | 37.57 | 51.52 | | 9.33 | 0.37 | 88.91 | 36.49 | 52.43 | | 9.38 | 0.35 | 89.27 | 38.71 | 50.56 | | 9.27 | 0.38 |
| 小学校 6歳 | 85.46 | 29.91 | 55.55 | | 6.69 | 0.25 | 85.35 | 29.48 | 55.88 | | 6.49 | 0.23 | 85.58 | 30.37 | 55.21 | | 6.90 | 0.27 |
| 小学校 7 | 88.71 | 32.64 | 56.07 | | 8.04 | 0.30 | 88.42 | 31.93 | 56.49 | | 7.90 | 0.23 | 89.01 | 33.37 | 55.64 | | 8.19 | 0.36 |
| 小学校 8 | 90.71 | 35.77 | 54.94 | | 9.55 | 0.37 | 90.39 | 34.52 | 55.87 | | 9.47 | 0.36 | 91.04 | 37.08 | 53.96 | | 9.64 | 0.37 |
| 小学校 9 | 91.41 | 39.43 | 51.98 | | 10.79 | 0.37 | 91.55 | 37.62 | 53.92 | | 10.60 | 0.38 | 91.27 | 41.33 | 49.95 | | 11.00 | 0.35 |
| 小学校 10 | 89.49 | 42.70 | 46.78 | | 10.95 | 0.40 | 89.58 | 41.21 | 48.38 | | 11.20 | 0.38 | 89.38 | 44.27 | 45.11 | | 10.70 | 0.41 |
| 小学校 11 | 88.50 | 44.14 | 44.36 | | 9.72 | 0.50 | 87.96 | 43.37 | 44.59 | | 10.39 | 0.48 | 89.08 | 44.96 | 44.12 | | 9.00 | 0.52 |
| 中学校 計 | 88.93 | 42.65 | 46.28 | | 8.39 | 0.62 | 87.13 | 41.06 | 46.08 | | 8.92 | 0.62 | 90.81 | 44.32 | 46.50 | | 7.85 | 0.63 |
| 中学校 12歳 | 87.43 | 43.93 | 43.50 | | 9.72 | 0.63 | 85.82 | 42.70 | 43.11 | | 10.50 | 0.61 | 89.12 | 45.21 | 43.91 | | 8.91 | 0.65 |
| 中学校 13 | 88.63 | 42.43 | 46.20 | | 8.08 | 0.66 | 88.74 | 40.84 | 45.90 | | 8.53 | 0.61 | 90.61 | 44.09 | 46.51 | | 7.60 | 0.71 |
| 中学校 14 | 90.63 | 41.66 | 48.97 | | 7.46 | 0.58 | 88.74 | 39.72 | 49.02 | | 7.81 | 0.63 | 92.60 | 43.70 | 48.91 | | 7.09 | 0.52 |
| 高等学校 計 | 92.56 | 46.34 | 46.22 | | 5.69 | 0.63 | 91.06 | 43.76 | 47.29 | | 5.92 | 0.67 | 94.07 | 48.94 | 45.13 | | 5.45 | 0.60 |
| 高等学校 15歳 | 91.21 | 45.98 | 45.24 | | 5.79 | 0.54 | 89.47 | 43.73 | 45.74 | | 6.07 | 0.56 | 93.02 | 48.29 | 44.72 | | 5.51 | 0.52 |
| 高等学校 16 | 92.83 | 46.38 | 46.44 | | 5.49 | 0.70 | 91.45 | 43.89 | 47.56 | | 5.67 | 0.70 | 94.21 | 48.89 | 45.32 | | 5.30 | 0.70 |
| 高等学校 17 | 93.59 | 46.64 | 46.94 | | 5.77 | 0.65 | 92.23 | 43.67 | 48.56 | | 6.03 | 0.74 | 94.93 | 49.59 | 45.34 | | 5.52 | 0.57 |

| 区分 | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の１人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 4.17 | 0.04 | 4.13 | 3.00 | 1.13 | 3.80 | 0.04 | 3.76 | 2.69 | 1.06 | 4.56 | 0.04 | 4.52 | 3.32 | 1.20 |
| 12 歳 | 4.17 | 0.04 | 4.13 | 3.00 | 1.13 | 3.80 | 0.04 | 3.76 | 2.69 | 1.06 | 4.56 | 0.04 | 4.52 | 3.32 | 1.20 |

## ●平成 5 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 |
| | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | |
| | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 75.66 | 27.96 | 47.70 | 1.87 | 0.29 | | 76.34 | 27.94 | 48.40 | 1.65 | 0.29 | | 74.96 | 27.97 | 46.99 | 2.09 | 0.28 | |
| 小学校 計 | 88.39 | 38.28 | 50.11 | 9.95 | 0.57 | | 88.30 | 37.32 | 50.98 | 9.92 | 0.55 | | 88.50 | 39.29 | 49.20 | 9.98 | 0.59 | |
| 小学校 6歳 | 83.65 | 30.75 | 52.90 | 6.96 | 0.36 | | 83.72 | 30.34 | 53.38 | 6.64 | 0.29 | | 83.58 | 31.19 | 52.39 | 7.31 | 0.43 | |
| 小学校 7 | 88.36 | 33.53 | 54.84 | 8.76 | 0.55 | | 88.51 | 33.26 | 55.24 | 8.53 | 0.47 | | 88.21 | 33.80 | 54.41 | 8.99 | 0.63 | |
| 小学校 8 | 90.49 | 36.41 | 54.08 | 9.86 | 0.52 | | 90.43 | 35.59 | 54.84 | 9.63 | 0.52 | | 90.55 | 37.27 | 53.28 | 10.10 | 0.52 | |
| 小学校 9 | 91.01 | 40.18 | 50.83 | 11.37 | 0.52 | | 91.05 | 39.05 | 51.99 | 10.99 | 0.51 | | 90.97 | 41.35 | 49.62 | 11.76 | 0.53 | |
| 小学校 10 | 89.30 | 43.57 | 45.73 | 11.64 | 0.72 | | 89.23 | 41.88 | 47.35 | 12.00 | 0.77 | | 89.38 | 45.34 | 44.04 | 10.27 | 0.68 | |
| 小学校 11 | 87.17 | 44.16 | 43.01 | 10.74 | 0.71 | | 86.52 | 42.78 | 43.74 | 11.34 | 0.69 | | 87.85 | 45.60 | 42.25 | 10.12 | 0.72 | |
| 中学校 計 | 87.78 | 42.19 | 45.58 | 9.30 | 0.58 | | 86.30 | 40.84 | 45.46 | 10.10 | 0.60 | | 89.33 | 43.61 | 45.72 | 8.45 | 0.57 | |
| 中学校 12歳 | 86.38 | 42.48 | 43.91 | 10.85 | 0.66 | | 84.93 | 41.14 | 43.79 | 11.87 | 0.61 | | 87.91 | 43.88 | 44.03 | 9.79 | 0.72 | |
| 中学校 13 | 87.64 | 42.50 | 45.14 | 8.93 | 0.53 | | 85.90 | 41.39 | 44.51 | 9.70 | 0.57 | | 89.46 | 43.65 | 45.81 | 8.12 | 0.49 | |
| 中学校 14 | 89.19 | 41.64 | 47.55 | 8.22 | 0.56 | | 87.94 | 40.04 | 47.90 | 8.87 | 0.62 | | 90.51 | 43.33 | 47.18 | 7.54 | 0.50 | |
| 高等学校 計 | 91.25 | 46.56 | 44.69 | 5.95 | 0.66 | | 90.01 | 43.50 | 46.51 | 6.06 | 0.65 | | 92.50 | 49.64 | 42.86 | 5.83 | 0.67 | |
| 高等学校 15歳 | 90.17 | 47.11 | 43.06 | 6.10 | 0.64 | | 88.49 | 44.35 | 44.14 | 6.23 | 0.69 | | 91.90 | 49.94 | 41.95 | 5.98 | 0.58 | |
| 高等学校 16 | 90.99 | 46.00 | 44.99 | 5.91 | 0.63 | | 90.33 | 43.14 | 47.20 | 6.12 | 0.58 | | 91.65 | 48.87 | 42.77 | 5.69 | 0.68 | |
| 高等学校 17 | 92.58 | 46.56 | 46.02 | 5.83 | 0.71 | | 91.23 | 42.99 | 48.23 | 5.83 | 0.67 | | 93.91 | 50.09 | 43.82 | 5.82 | 0.75 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 4.09 | 0.04 | 4.05 | 2.86 | 1.19 | 3.75 | 0.04 | 3.71 | 2.56 | 1.15 | 4.46 | 0.05 | 4.41 | 3.18 | 1.23 |
| 12 歳 | 4.09 | 0.04 | 4.05 | 2.86 | 1.19 | 3.75 | 0.04 | 3.71 | 2.56 | 1.15 | 4.46 | 0.05 | 4.41 | 3.18 | 1.23 |

## ●平成 6 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 |
| | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | |
| | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 76.96 | 28.21 | 48.75 | 1.53 | 0.19 | | 77.44 | 28.13 | 49.31 | 1.31 | 0.19 | | 76.47 | 28.29 | 48.18 | 1.76 | 0.91 | |
| 小学校 計 | 88.01 | 39.31 | 48.70 | 10.08 | 0.50 | | 87.91 | 38.25 | 49.67 | 10.22 | 0.50 | | 88.11 | 40.42 | 47.70 | 9.94 | 0.49 | |
| 小学校 6歳 | 83.06 | 31.56 | 51.50 | 7.05 | 0.34 | | 83.27 | 31.05 | 52.23 | 6.76 | 0.33 | | 82.83 | 32.11 | 50.73 | 7.36 | 0.35 | |
| 小学校 7 | 87.90 | 34.58 | 53.32 | 8.51 | 0.41 | | 87.66 | 34.27 | 53.39 | 8.39 | 0.41 | | 88.16 | 34.91 | 53.25 | 8.63 | 0.41 | |
| 小学校 8 | 90.61 | 37.98 | 52.63 | 9.91 | 0.46 | | 90.52 | 37.13 | 53.39 | 9.77 | 0.46 | | 90.70 | 38.87 | 51.83 | 10.06 | 0.45 | |
| 小学校 9 | 90.57 | 40.95 | 49.62 | 11.69 | 0.49 | | 90.64 | 39.53 | 51.11 | 11.57 | 0.44 | | 90.50 | 42.44 | 48.06 | 11.81 | 0.54 | |
| 小学校 10 | 88.88 | 44.32 | 44.55 | 11.97 | 0.54 | | 88.95 | 42.67 | 46.28 | 12.47 | 0.59 | | 88.80 | 46.05 | 42.75 | 11.44 | 0.50 | |
| 小学校 11 | 86.68 | 45.02 | 41.67 | 10.90 | 0.72 | | 86.12 | 43.57 | 42.54 | 11.81 | 0.75 | | 87.28 | 46.53 | 40.75 | 9.94 | 0.69 | |
| 中学校 計 | 87.74 | 42.49 | 45.25 | 9.10 | 0.63 | | 85.92 | 40.88 | 45.04 | 9.79 | 0.61 | | 89.64 | 44.17 | 45.47 | 8.38 | 0.65 | |
| 中学校 12歳 | 86.42 | 43.07 | 43.35 | 10.48 | 0.67 | | 85.00 | 41.88 | 43.13 | 11.49 | 0.60 | | 87.90 | 44.32 | 43.58 | 9.42 | 0.74 | |
| 中学校 13 | 87.53 | 42.43 | 45.11 | 8.98 | 0.62 | | 85.38 | 40.99 | 44.39 | 9.57 | 0.60 | | 89.80 | 43.93 | 45.87 | 8.36 | 0.63 | |
| 中学校 14 | 89.16 | 42.00 | 47.15 | 7.95 | 0.60 | | 87.30 | 39.85 | 47.45 | 8.43 | 0.63 | | 91.10 | 44.25 | 46.85 | 7.44 | 0.58 | |
| 高等学校 計 | 91.97 | 47.46 | 44.51 | 6.09 | 0.74 | | 90.03 | 43.96 | 46.08 | 6.05 | 0.70 | | 93.92 | 51.00 | 42.92 | 6.14 | 0.77 | |
| 高等学校 15歳 | 90.81 | 47.78 | 43.33 | 6.19 | 0.67 | | 89.00 | 44.79 | 44.22 | 6.20 | 0.58 | | 92.67 | 50.25 | 42.42 | 6.16 | 0.77 | |
| 高等学校 16 | 92.19 | 47.67 | 44.52 | 6.19 | 0.71 | | 90.01 | 43.96 | 46.05 | 6.03 | 0.64 | | 94.38 | 51.39 | 42.99 | 6.35 | 0.79 | |
| 高等学校 17 | 92.92 | 47.24 | 45.67 | 5.89 | 0.83 | | 91.11 | 43.10 | 48.01 | 5.91 | 0.90 | | 94.71 | 51.36 | 43.35 | 5.88 | 0.76 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 4.00 | 0.04 | 3.95 | 2.82 | 1.14 | 3.69 | 0.04 | 3.65 | 2.56 | 1.09 | 4.32 | 0.05 | 4.27 | 3.09 | 1.18 |
| 12 歳 | 4.00 | 0.04 | 3.95 | 2.82 | 1.14 | 3.69 | 0.04 | 3.65 | 2.56 | 1.09 | 4.32 | 0.05 | 4.27 | 3.09 | 1.18 |

## ●平成 7 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔疾病・異常 |
| | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | | 計 | う歯 | | | その他の歯疾患 | |
| | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | | | 処置完了者 | 未処置のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 74.66 | 27.77 | 46.88 | 1.69 | 0.48 | | 74.73 | 27.47 | 47.26 | 1.55 | 0.44 | | 74.58 | 28.08 | 46.50 | 1.84 | 0.53 | |
| 小学校 計 | 87.33 | 40.59 | 46.74 | 12.77 | 0.79 | | 87.35 | 39.68 | 47.67 | 12.75 | 0.77 | | 87.32 | 41.55 | 45.76 | 12.80 | 0.81 | |
| 小学校 6歳 | 82.82 | 31.34 | 51.48 | 8.65 | 0.57 | | 82.94 | 31.19 | 51.75 | 8.10 | 0.54 | | 82.70 | 31.51 | 51.19 | 9.23 | 0.59 | |
| 小学校 7 | 86.96 | 35.52 | 51.44 | 11.01 | 0.73 | | 86.90 | 34.94 | 51.96 | 10.61 | 0.68 | | 87.03 | 36.14 | 50.90 | 11.43 | 0.79 | |
| 小学校 8 | 90.19 | 39.92 | 50.27 | 12.88 | 0.74 | | 90.15 | 38.98 | 51.17 | 12.70 | 0.71 | | 90.24 | 40.91 | 49.33 | 13.06 | 0.76 | |
| 小学校 9 | 90.73 | 43.06 | 47.67 | 14.70 | 0.77 | | 90.71 | 41.37 | 49.33 | 14.31 | 0.73 | | 90.76 | 44.83 | 45.93 | 15.12 | 0.82 | |
| 小学校 10 | 88.19 | 45.65 | 42.54 | 14.92 | 0.92 | | 88.74 | 44.75 | 43.99 | 15.47 | 0.93 | | 87.61 | 46.59 | 41.02 | 14.33 | 0.90 | |
| 小学校 11 | 84.93 | 46.42 | 38.51 | 13.89 | 0.97 | | 84.49 | 45.30 | 39.19 | 14.59 | 0.98 | | 85.38 | 47.58 | 37.80 | 13.17 | 0.96 | |
| 中学校 計 | 86.62 | 46.23 | 40.39 | 12.35 | 0.79 | | 85.08 | 44.47 | 40.61 | 13.26 | 0.85 | | 88.23 | 48.07 | 40.16 | 11.39 | 0.73 | |
| 中学校 12歳 | 85.12 | 46.86 | 38.26 | 13.92 | 0.76 | | 83.83 | 45.58 | 38.25 | 15.14 | 0.88 | | 86.48 | 48.21 | 38.27 | 12.63 | 0.63 | |
| 中学校 13 | 86.22 | 45.73 | 40.49 | 11.97 | 0.80 | | 84.37 | 43.91 | 40.46 | 12.85 | 0.85 | | 88.16 | 47.65 | 40.51 | 11.06 | 0.76 | |
| 中学校 14 | 88.47 | 46.09 | 42.38 | 11.19 | 0.81 | | 87.00 | 43.95 | 43.05 | 11.83 | 0.83 | | 90.00 | 48.34 | 41.66 | 10.51 | 0.79 | |
| 高等学校 計 | 90.63 | 48.70 | 41.92 | 8.90 | 0.92 | | 89.61 | 45.72 | 43.89 | 9.29 | 1.02 | | 91.66 | 51.71 | 39.95 | 8.51 | 0.82 | |
| 高等学校 15歳 | 89.44 | 48.37 | 41.07 | 8.85 | 0.91 | | 88.29 | 45.65 | 42.63 | 9.56 | 0.98 | | 90.62 | 51.16 | 39.46 | 8.12 | 0.84 | |
| 高等学校 16 | 90.77 | 49.09 | 41.69 | 9.00 | 0.88 | | 89.71 | 46.15 | 43.56 | 9.25 | 0.92 | | 91.84 | 52.03 | 39.81 | 8.74 | 0.85 | |
| 高等学校 17 | 91.68 | 48.66 | 43.02 | 8.85 | 0.97 | | 90.85 | 45.36 | 45.49 | 9.05 | 1.15 | | 92.50 | 51.94 | 40.56 | 8.66 | 0.78 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | | 計 (本) | 喪失歯数(本) | う歯 | | |
| | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | | | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 3.72 | 0.05 | 3.67 | 2.69 | 0.98 | 3.41 | 0.04 | 3.37 | 2.44 | 0.93 | 4.04 | 0.05 | 3.99 | 2.97 | 1.02 |
| 12 歳 | 3.72 | 0.05 | 3.67 | 2.69 | 0.98 | 3.41 | 0.04 | 3.37 | 2.44 | 0.93 | 4.04 | 0.05 | 3.99 | 2.97 | 1.02 |

# ◆ 学校保健統計の流れ（文部科学省資料）

## ●平成 8 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 73.72 | 28.03 | 45.69 | | 2.35 | 0.43 | 73.79 | 27.90 | 45.89 | | 2.25 | 0.40 | 73.65 | 28.17 | 45.49 | | 2.44 | 0.46 |
| 小学校 計 | 85.73 | 41.08 | 44.65 | | 13.09 | 0.67 | 85.86 | 40.00 | 45.85 | | 13.15 | 0.67 | 85.60 | 42.20 | 43.39 | | 13.03 | 0.67 |
| 小学校 6歳 | 80.62 | 31.28 | 49.34 | | 8.78 | 0.35 | 80.99 | 31.00 | 49.99 | | 8.21 | 0.31 | 80.23 | 31.57 | 48.66 | | 9.38 | 0.38 |
| 小学校 7 | 85.48 | 36.18 | 49.30 | | 11.20 | 0.60 | 85.77 | 35.90 | 49.87 | | 10.97 | 0.58 | 85.19 | 36.49 | 48.70 | | 11.45 | 0.62 |
| 小学校 8 | 88.47 | 40.03 | 48.44 | | 12.69 | 0.55 | 88.33 | 38.82 | 49.51 | | 12.65 | 0.55 | 88.61 | 41.30 | 47.30 | | 12.73 | 0.56 |
| 小学校 9 | 88.70 | 43.45 | 45.25 | | 15.30 | 0.79 | 89.12 | 42.04 | 47.08 | | 15.16 | 0.78 | 88.26 | 44.93 | 43.33 | | 15.44 | 0.79 |
| 小学校 10 | 86.88 | 46.10 | 40.78 | | 15.79 | 0.80 | 87.05 | 44.41 | 42.64 | | 16.31 | 0.80 | 86.71 | 47.88 | 38.83 | | 15.25 | 0.81 |
| 小学校 11 | 83.91 | 47.59 | 36.32 | | 14.11 | 0.84 | 83.62 | 46.19 | 37.43 | | 14.79 | 0.90 | 84.22 | 49.05 | 35.17 | | 13.40 | 0.78 |
| 中学校 計 | 84.77 | 46.13 | 38.64 | | 11.91 | 0.64 | 83.02 | 44.49 | 38.53 | | 12.74 | 0.69 | 86.60 | 47.85 | 38.75 | | 11.04 | 0.59 |
| 中学校 12歳 | 82.65 | 46.32 | 36.33 | | 13.34 | 0.72 | 80.87 | 44.93 | 35.94 | | 14.16 | 0.76 | 84.50 | 47.76 | 36.74 | | 12.48 | 0.68 |
| 中学校 13 | 85.15 | 46.57 | 38.58 | | 11.48 | 0.64 | 83.36 | 45.14 | 38.22 | | 12.37 | 0.70 | 87.02 | 48.07 | 38.96 | | 10.54 | 0.58 |
| 中学校 14 | 86.49 | 45.51 | 40.99 | | 10.92 | 0.57 | 84.80 | 43.39 | 41.41 | | 11.69 | 0.61 | 88.27 | 47.73 | 40.54 | | 10.10 | 0.52 |
| 高等学校 計 | 90.08 | 50.63 | 39.45 | | 8.59 | 0.78 | 88.19 | 46.78 | 41.41 | | 8.87 | 0.75 | 91.98 | 54.51 | 37.47 | | 8.32 | 0.81 |
| 高等学校 15歳 | 88.84 | 50.30 | 38.53 | | 8.30 | 0.90 | 86.80 | 47.03 | 39.78 | | 8.34 | 0.87 | 90.92 | 53.67 | 37.26 | | 8.26 | 0.94 |
| 高等学校 16 | 89.98 | 50.87 | 39.11 | | 8.80 | 0.75 | 88.21 | 46.67 | 41.54 | | 9.25 | 0.69 | 91.75 | 55.08 | 36.68 | | 8.36 | 0.81 |
| 高等学校 17 | 91.39 | 50.71 | 40.68 | | 8.67 | 0.69 | 89.55 | 46.64 | 42.91 | | 9.02 | 0.68 | 93.22 | 54.76 | 38.47 | | 8.33 | 0.70 |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | |
| | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 3.51 | 0.04 | 3.46 | 2.56 | 0.90 | 3.21 | 0.04 | 3.18 | 2.31 | 0.87 | 3.81 | 0.05 | 3.77 | 2.82 | 0.94 |
| 12歳 | 3.51 | 0.04 | 3.46 | 2.56 | 0.90 | 3.21 | 0.04 | 3.18 | 2.31 | 0.87 | 3.81 | 0.05 | 3.77 | 2.82 | 0.94 |

## ●平成 9 年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 71.24 | 27.74 | 43.50 | | 1.61 | 0.41 | 71.41 | 27.68 | 43.73 | | 1.48 | 0.38 | 71.07 | 27.81 | 43.26 | | 1.75 | 0.45 |
| 小学校 計 | 84.66 | 40.90 | 43.76 | | 12.69 | 0.59 | 84.77 | 40.09 | 44.68 | | 12.82 | 0.61 | 84.54 | 41.75 | 42.79 | | 12.55 | 0.57 |
| 小学校 6歳 | 79.23 | 30.54 | 48.70 | | 8.15 | 0.38 | 79.31 | 30.25 | 49.07 | | 7.61 | 0.37 | 79.14 | 30.83 | 48.32 | | 8.71 | 0.39 |
| 小学校 7 | 84.44 | 35.54 | 48.90 | | 10.84 | 0.41 | 84.62 | 35.65 | 49.08 | | 10.80 | 0.41 | 84.24 | 35.53 | 48.71 | | 10.87 | 0.42 |
| 小学校 8 | 87.30 | 40.10 | 47.10 | | 12.58 | 0.53 | 87.49 | 39.50 | 47.99 | | 12.54 | 0.52 | 87.09 | 40.92 | 46.17 | | 12.62 | 0.54 |
| 小学校 9 | 88.25 | 43.75 | 44.50 | | 14.46 | 0.60 | 88.70 | 42.66 | 46.03 | | 14.40 | 0.65 | 87.78 | 44.88 | 42.90 | | 14.53 | 0.54 |
| 小学校 10 | 85.18 | 45.96 | 39.22 | | 16.06 | 0.85 | 85.52 | 44.68 | 40.84 | | 15.49 | 0.87 | 84.82 | 47.29 | 37.52 | | 14.61 | 0.82 |
| 小学校 11 | 83.21 | 47.59 | 35.62 | | 14.37 | 0.73 | 82.66 | 46.20 | 36.47 | | 15.26 | 0.76 | 83.79 | 49.06 | 34.73 | | 13.43 | 0.69 |
| 中学校 計 | 83.67 | 45.79 | 37.88 | | 11.02 | 0.70 | 81.88 | 44.02 | 37.68 | | 11.76 | 0.70 | 85.54 | 47.64 | 37.89 | | 10.24 | 0.70 |
| 中学校 12歳 | 81.56 | 46.27 | 35.29 | | 12.36 | 0.64 | 79.82 | 44.63 | 35.19 | | 13.23 | 0.62 | 83.38 | 47.99 | 35.39 | | 11.44 | 0.65 |
| 中学校 13 | 83.30 | 45.19 | 38.11 | | 10.76 | 0.64 | 81.54 | 43.67 | 37.86 | | 11.57 | 0.64 | 85.14 | 46.78 | 38.36 | | 9.92 | 0.65 |
| 中学校 14 | 86.08 | 45.92 | 40.16 | | 9.98 | 0.82 | 84.23 | 43.77 | 40.46 | | 10.53 | 0.84 | 88.02 | 48.16 | 39.85 | | 9.40 | 0.81 |
| 高等学校 計 | 89.37 | 50.13 | 39.25 | | 8.04 | 0.82 | 87.71 | 47.28 | 40.43 | | 8.26 | 0.90 | 91.05 | 52.99 | 38.06 | | 7.83 | 0.73 |
| 高等学校 15歳 | 87.96 | 49.98 | 37.97 | | 8.01 | 0.77 | 85.99 | 47.38 | 38.60 | | 8.20 | 0.79 | 89.96 | 52.64 | 37.32 | | 7.81 | 0.76 |
| 高等学校 16 | 89.44 | 50.28 | 39.16 | | 8.00 | 0.87 | 87.67 | 47.34 | 40.32 | | 8.44 | 0.98 | 91.22 | 53.23 | 37.99 | | 7.56 | 0.76 |
| 高等学校 17 | 90.73 | 50.12 | 40.61 | | 8.13 | 0.81 | 89.49 | 47.10 | 42.39 | | 8.14 | 0.95 | 91.96 | 53.11 | 38.85 | | 8.11 | 0.68 |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | |
| | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 3.34 | 0.04 | 3.30 | 2.43 | 0.87 | 3.08 | 0.03 | 3.05 | 2.21 | 0.84 | 3.61 | 0.04 | 3.57 | 2.67 | 0.90 |
| 12歳 | 3.34 | 0.04 | 3.30 | 2.43 | 0.87 | 3.08 | 0.03 | 3.05 | 2.21 | 0.84 | 3.61 | 0.04 | 3.57 | 2.67 | 0.90 |

## ●平成10年度

（男女合計）　（男）　（女）　（%）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | | 歯・口腔 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 | 歯 | | | | | 口腔の疾病・異常 |
| | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | | う歯 | | | | その他の歯の疾患 | |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 67.73 | 25.71 | 42.02 | | 1.98 | 0.51 | 68.44 | 25.43 | 43.01 | | 1.91 | 0.55 | 67.00 | 26.00 | 41.00 | | 2.05 | 0.47 |
| 小学校 計 | 82.07 | 40.08 | 41.99 | | 11.72 | 0.68 | 82.28 | 39.23 | 43.05 | | 11.88 | 0.68 | 81.84 | 40.97 | 40.87 | | 11.57 | 0.68 |
| 小学校 6歳 | 76.02 | 29.27 | 46.76 | | 7.81 | 0.43 | 76.60 | 29.07 | 47.53 | | 7.57 | 0.41 | 75.42 | 29.47 | 45.95 | | 8.06 | 0.46 |
| 小学校 7 | 81.33 | 34.79 | 46.54 | | 9.50 | 0.54 | 81.23 | 34.31 | 46.91 | | 9.25 | 0.56 | 81.44 | 35.29 | 46.15 | | 9.75 | 0.52 |
| 小学校 8 | 86.03 | 40.18 | 45.85 | | 11.60 | 0.70 | 86.05 | 39.18 | 46.86 | | 11.64 | 0.65 | 86.02 | 41.22 | 44.80 | | 11.56 | 0.74 |
| 小学校 9 | 86.55 | 43.01 | 43.54 | | 13.21 | 0.67 | 86.96 | 41.68 | 45.28 | | 13.17 | 0.70 | 86.11 | 44.40 | 41.71 | | 13.26 | 0.64 |
| 小学校 10 | 83.23 | 45.55 | 37.68 | | 14.31 | 0.76 | 83.90 | 44.85 | 39.04 | | 14.55 | 0.70 | 82.52 | 46.28 | 36.24 | | 14.06 | 0.83 |
| 小学校 11 | 79.11 | 46.22 | 32.89 | | 13.37 | 0.93 | 78.82 | 44.89 | 33.92 | | 14.42 | 1.02 | 79.42 | 47.61 | 31.81 | | 12.27 | 0.85 |
| 中学校 計 | 81.89 | 45.78 | 36.11 | | 11.04 | 0.60 | 80.06 | 43.78 | 36.28 | | 11.89 | 0.59 | 83.80 | 47.86 | 35.94 | | 10.15 | 0.61 |
| 中学校 12歳 | 79.36 | 45.74 | 33.61 | | 12.45 | 0.60 | 77.62 | 44.05 | 33.57 | | 13.62 | 0.60 | 81.17 | 47.52 | 33.66 | | 11.23 | 0.60 |
| 中学校 13 | 82.22 | 45.90 | 36.32 | | 10.75 | 0.53 | 80.50 | 44.17 | 36.33 | | 11.53 | 0.51 | 84.02 | 47.70 | 36.32 | | 9.94 | 0.56 |
| 中学校 14 | 83.95 | 45.69 | 38.26 | | 9.98 | 0.66 | 81.93 | 43.15 | 38.78 | | 10.61 | 0.65 | 86.05 | 48.34 | 37.71 | | 9.33 | 0.67 |
| 高等学校 計 | 88.18 | 50.00 | 38.18 | | 7.93 | 0.78 | 86.23 | 47.14 | 39.09 | | 8.13 | 0.78 | 90.14 | 52.88 | 37.26 | | 7.72 | 0.77 |
| 高等学校 15歳 | 86.45 | 49.43 | 37.02 | | 7.77 | 0.81 | 84.37 | 46.81 | 37.56 | | 7.87 | 0.84 | 88.58 | 52.11 | 36.47 | | 7.66 | 0.78 |
| 高等学校 16 | 88.44 | 50.68 | 37.76 | | 8.09 | 0.78 | 86.59 | 47.66 | 38.93 | | 8.26 | 0.76 | 90.30 | 53.71 | 36.59 | | 7.93 | 0.80 |
| 高等学校 17 | 89.75 | 49.92 | 39.83 | | 7.93 | 0.74 | 87.87 | 46.97 | 40.90 | | 8.30 | 0.75 | 91.62 | 52.85 | 38.77 | | 7.57 | 0.72 |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | |
| | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計 (本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 3.10 | 0.04 | 3.06 | 2.25 | 0.81 | 2.85 | 0.03 | 2.82 | 2.04 | 0.78 | 3.35 | 0.04 | 3.31 | 2.46 | 0.85 |
| 12歳 | 3.10 | 0.04 | 3.06 | 2.25 | 0.81 | 2.85 | 0.03 | 2.82 | 2.04 | 0.78 | 3.35 | 0.04 | 3.31 | 2.46 | 0.85 |

## ●平成11年度

（男女合計）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 67.04 | 25.12 | 41.92 | 2.02 | 0.65 | | 67.18 | 24.73 | 42.44 | 1.88 | 0.70 | | 66.91 | 25.52 | 41.39 | 2.17 | 0.59 | |
| 小学校 計 | 80.77 | 38.92 | 41.84 | 12.24 | 0.60 | | 81.03 | 38.24 | 42.79 | 12.33 | 0.62 | | 80.50 | 39.65 | 40.85 | 12.15 | 0.58 | |
| 小学校 6歳 | 74.92 | 28.42 | 46.50 | 8.40 | 0.36 | | 75.55 | 28.33 | 47.22 | 8.08 | 0.31 | | 74.25 | 28.52 | 45.73 | 8.74 | 0.42 | |
| 小学校 7 | 81.37 | 34.49 | 46.88 | 10.23 | 0.46 | | 81.13 | 33.73 | 47.40 | 9.93 | 0.43 | | 81.62 | 35.29 | 46.34 | 10.56 | 0.49 | |
| 小学校 8 | 84.54 | 38.68 | 45.86 | 11.81 | 0.68 | | 84.83 | 38.06 | 46.77 | 11.50 | 0.70 | | 84.23 | 39.32 | 44.91 | 12.14 | 0.66 | |
| 小学校 9 | 84.90 | 42.31 | 42.59 | 13.75 | 0.64 | | 85.49 | 41.60 | 43.89 | 13.68 | 0.74 | | 84.29 | 43.05 | 41.23 | 13.83 | 0.53 | |
| 小学校 10 | 81.81 | 44.42 | 37.89 | 14.85 | 0.65 | | 82.66 | 43.56 | 39.10 | 15.33 | 0.69 | | 80.92 | 45.32 | 35.60 | 14.35 | 0.60 | |
| 小学校 11 | 77.19 | 44.20 | 32.99 | 13.99 | 0.78 | | 76.67 | 43.17 | 33.50 | 14.93 | 0.81 | | 77.74 | 45.29 | 32.46 | 13.00 | 0.74 | |
| 中学校 計 | 80.07 | 44.53 | 35.54 | 11.88 | 0.63 | | 78.06 | 42.62 | 35.44 | 12.92 | 0.69 | | 82.17 | 46.53 | 35.64 | 10.79 | 0.58 | |
| 中学校 12歳 | 76.55 | 43.56 | 32.98 | 13.58 | 0.62 | | 74.78 | 41.97 | 32.80 | 15.02 | 0.65 | | 78.40 | 45.23 | 33.17 | 12.06 | 0.58 | |
| 中学校 13 | 80.12 | 44.62 | 35.49 | 11.41 | 0.69 | | 77.99 | 43.02 | 34.97 | 12.61 | 0.75 | | 82.34 | 46.30 | 36.04 | 10.15 | 0.62 | |
| 中学校 14 | 83.30 | 45.35 | 37.96 | 10.75 | 0.60 | | 81.19 | 42.85 | 38.34 | 11.27 | 0.65 | | 85.51 | 47.95 | 37.55 | 10.21 | 0.54 | |
| 高等学校 計 | 86.47 | 50.70 | 35.77 | 7.04 | 1.01 | | 84.81 | 47.78 | 37.02 | 7.29 | 0.85 | | 88.14 | 53.63 | 34.51 | 6.79 | 1.17 | |
| 高等学校 15歳 | 83.82 | 49.95 | 33.87 | 7.21 | 0.98 | | 82.24 | 47.51 | 34.72 | 7.19 | 0.82 | | 85.43 | 52.44 | 32.99 | 7.22 | 1.14 | |
| 高等学校 16 | 87.26 | 50.97 | 36.29 | 7.16 | 1.04 | | 85.71 | 48.14 | 37.56 | 7.66 | 0.84 | | 88.82 | 53.80 | 35.02 | 6.67 | 1.23 | |
| 高等学校 17 | 88.52 | 51.23 | 37.29 | 6.73 | 1.03 | | 86.69 | 47.70 | 38.98 | 7.00 | 0.91 | | 90.33 | 54.72 | 35.61 | 6.46 | 1.15 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | |
| | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 2.92 | 0.04 | 2.88 | 2.09 | 0.79 | 2.68 | 0.03 | 2.65 | 1.88 | 0.77 | 3.17 | 0.04 | 3.13 | 2.30 | 0.82 |
| 12歳 | 2.92 | 0.04 | 2.88 | 2.09 | 0.79 | 2.68 | 0.03 | 2.65 | 1.88 | 0.77 | 3.17 | 0.04 | 3.13 | 2.30 | 0.82 |

## ●平成12年度

（男女合計）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 64.43 | 25.06 | 39.37 | 2.03 | 0.43 | | 65.19 | 25.21 | 39.97 | 1.73 | 0.45 | | 63.65 | 24.90 | 38.75 | 2.33 | 0.42 | |
| 小学校 計 | 77.87 | 37.84 | 40.03 | 12.01 | 0.71 | | 78.39 | 37.27 | 41.12 | 12.13 | 0.70 | | 77.32 | 38.44 | 38.88 | 11.89 | 0.73 | |
| 小学校 6歳 | 71.92 | 27.74 | 44.18 | 8.29 | 0.44 | | 72.59 | 27.59 | 45.00 | 7.99 | 0.37 | | 71.22 | 27.90 | 43.32 | 8.61 | 0.50 | |
| 小学校 7 | 77.87 | 33.50 | 44.37 | 9.78 | 0.64 | | 78.20 | 33.25 | 44.95 | 9.61 | 0.65 | | 77.53 | 33.76 | 43.77 | 9.96 | 0.63 | |
| 小学校 8 | 81.66 | 37.91 | 43.75 | 11.19 | 0.77 | | 81.75 | 37.66 | 44.10 | 11.13 | 0.70 | | 81.56 | 38.18 | 43.38 | 11.25 | 0.84 | |
| 小学校 9 | 82.68 | 41.94 | 40.74 | 13.84 | 0.72 | | 83.54 | 41.19 | 42.35 | 13.60 | 0.75 | | 81.78 | 42.73 | 39.06 | 14.09 | 0.69 | |
| 小学校 10 | 79.28 | 42.73 | 36.55 | 14.68 | 0.88 | | 80.59 | 42.04 | 38.55 | 14.98 | 0.88 | | 77.92 | 43.47 | 34.45 | 14.36 | 0.89 | |
| 小学校 11 | 73.93 | 42.55 | 31.38 | 14.00 | 0.82 | | 73.85 | 41.30 | 32.55 | 15.08 | 0.85 | | 74.01 | 43.86 | 30.16 | 12.87 | 0.78 | |
| 中学校 計 | 76.85 | 43.53 | 33.31 | 11.27 | 0.52 | | 75.01 | 41.88 | 33.13 | 12.29 | 0.55 | | 78.76 | 45.26 | 33.50 | 10.20 | 0.49 | |
| 中学校 12歳 | 73.73 | 42.81 | 30.92 | 12.71 | 0.52 | | 72.12 | 41.41 | 30.71 | 13.96 | 0.52 | | 75.43 | 44.29 | 31.14 | 11.40 | 0.51 | |
| 中学校 13 | 76.00 | 43.40 | 32.60 | 11.03 | 0.52 | | 73.90 | 41.67 | 32.22 | 11.83 | 0.58 | | 78.20 | 45.21 | 32.99 | 10.20 | 0.46 | |
| 中学校 14 | 80.59 | 44.33 | 36.25 | 10.14 | 0.52 | | 78.82 | 42.53 | 36.29 | 11.16 | 0.54 | | 82.44 | 46.22 | 36.22 | 9.07 | 0.50 | |
| 高等学校 計 | 85.03 | 49.73 | 35.30 | 7.98 | 0.86 | | 83.17 | 46.91 | 36.26 | 8.41 | 0.95 | | 86.91 | 52.57 | 34.34 | 7.55 | 0.77 | |
| 高等学校 15歳 | 82.92 | 49.04 | 33.88 | 7.88 | 0.77 | | 81.33 | 46.85 | 34.49 | 8.24 | 0.89 | | 84.55 | 51.28 | 33.26 | 7.50 | 0.65 | |
| 高等学校 16 | 85.12 | 49.48 | 35.64 | 7.88 | 0.88 | | 83.01 | 46.26 | 36.74 | 8.14 | 0.87 | | 87.24 | 52.70 | 34.54 | 7.61 | 0.90 | |
| 高等学校 17 | 87.17 | 50.72 | 36.45 | 8.20 | 0.93 | | 85.30 | 47.64 | 37.67 | 8.88 | 1.09 | | 89.02 | 53.78 | 35.24 | 7.53 | 0.77 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | |
| | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 2.65 | 0.04 | 2.61 | 1.88 | 0.73 | 2.46 | 0.03 | 2.42 | 1.71 | 0.71 | 2.85 | 0.04 | 2.81 | 2.05 | 0.76 |
| 12歳 | 2.65 | 0.04 | 2.61 | 1.88 | 0.73 | 2.46 | 0.03 | 2.42 | 1.71 | 0.71 | 2.85 | 0.04 | 2.81 | 2.05 | 0.76 |

## ●平成13年度

（男女合計）

| 区分 | 歯・口腔 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の | う歯 | | | | その他の歯疾患 | 口腔疾病・異常の |
| | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | | 計 | 処置完了者 | 未処置歯のある者 | | | |
| 幼稚園5歳 | 61.60 | 23.46 | 38.13 | 2.12 | 0.52 | | 61.78 | 23.44 | 38.35 | 2.02 | 0.53 | | 61.41 | 23.49 | 37.92 | 2.21 | 0.50 | |
| 小学校 計 | 75.59 | 36.38 | 39.21 | 11.39 | 0.57 | | 76.14 | 36.07 | 40.07 | 11.57 | 0.56 | | 75.02 | 36.71 | 38.31 | 11.20 | 0.57 | |
| 小学校 6歳 | 69.42 | 26.81 | 42.61 | 7.90 | 0.42 | | 70.08 | 27.11 | 42.97 | 7.70 | 0.41 | | 68.73 | 26.49 | 42.24 | 8.11 | 0.44 | |
| 小学校 7 | 75.73 | 32.50 | 43.23 | 9.28 | 0.46 | | 76.16 | 32.23 | 43.93 | 9.28 | 0.44 | | 75.29 | 32.79 | 42.50 | 9.28 | 0.48 | |
| 小学校 8 | 79.72 | 37.07 | 42.65 | 10.70 | 0.52 | | 79.79 | 36.73 | 43.06 | 10.65 | 0.48 | | 79.65 | 37.42 | 42.23 | 10.75 | 0.57 | |
| 小学校 9 | 80.77 | 40.20 | 40.56 | 13.28 | 0.63 | | 81.65 | 39.68 | 41.98 | 13.09 | 0.67 | | 79.84 | 40.76 | 39.08 | 13.49 | 0.59 | |
| 小学校 10 | 76.89 | 41.23 | 35.66 | 14.36 | 0.67 | | 78.12 | 40.92 | 37.20 | 14.96 | 0.72 | | 75.60 | 41.56 | 34.04 | 13.73 | 0.61 | |
| 小学校 11 | 71.21 | 40.45 | 30.76 | 12.80 | 0.68 | | 71.22 | 39.72 | 31.49 | 13.70 | 0.65 | | 71.21 | 41.21 | 30.00 | 11.85 | 0.72 | |
| 中学校 計 | 73.81 | 41.19 | 32.63 | 11.08 | 0.95 | | 71.79 | 39.29 | 32.50 | 11.92 | 1.03 | | 75.93 | 43.17 | 32.76 | 10.19 | 0.86 | |
| 中学校 12歳 | 70.47 | 39.41 | 31.06 | 12.15 | 1.03 | | 68.71 | 37.99 | 30.72 | 13.27 | 1.12 | | 72.31 | 40.90 | 31.41 | 10.98 | 0.94 | |
| 中学校 13 | 73.40 | 41.57 | 31.83 | 10.76 | 0.79 | | 71.11 | 39.61 | 31.50 | 11.44 | 0.91 | | 75.80 | 43.63 | 32.18 | 10.05 | 0.68 | |
| 中学校 14 | 77.39 | 42.50 | 34.89 | 10.36 | 1.01 | | 75.38 | 40.22 | 35.16 | 11.10 | 1.05 | | 79.49 | 44.89 | 34.60 | 9.58 | 0.96 | |
| 高等学校 計 | 83.66 | 48.72 | 34.94 | 7.41 | 0.81 | | 81.49 | 45.18 | 36.31 | 7.66 | 0.77 | | 85.85 | 52.31 | 33.55 | 7.16 | 0.84 | |
| 高等学校 15歳 | 81.32 | 47.70 | 33.62 | 7.57 | 0.92 | | 79.42 | 44.60 | 34.82 | 7.73 | 0.82 | | 83.27 | 50.90 | 32.38 | 7.40 | 1.02 | |
| 高等学校 16 | 84.13 | 49.02 | 35.11 | 7.40 | 0.75 | | 81.72 | 45.57 | 36.16 | 7.93 | 0.81 | | 86.56 | 52.49 | 34.06 | 6.86 | 0.69 | |
| 高等学校 17 | 85.57 | 49.46 | 36.11 | 7.26 | 0.75 | | 83.40 | 45.38 | 38.02 | 7.30 | 0.69 | | 87.73 | 53.53 | 34.20 | 7.21 | 0.81 | |

| 区分 | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | | 永久歯の1人当たり平均う歯等数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | | 計 | 喪失歯数 | う歯 | | |
| | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) | (本) | (本) | 計(本) | 処歯置数(本) | 未歯処置数(本) |
| 計 | 2.51 | 0.03 | 2.48 | 1.73 | 0.75 | 2.29 | 0.03 | 2.26 | 1.56 | 0.71 | 2.74 | 0.04 | 2.70 | 1.91 | 0.79 |
| 12歳 | 2.51 | 0.03 | 2.48 | 1.73 | 0.75 | 2.29 | 0.03 | 2.26 | 1.56 | 0.71 | 2.74 | 0.04 | 2.70 | 1.91 | 0.79 |

資料-６

# むし歯予防推進指定校
# 歯・口の健康つくり推進指定校

## むし歯予防推進指定校

### ●昭和53・54年度

| | |
|---|---|
| 北海道 | 登別市立登別小学校 |
| 北海道 | 札幌市立中の島小学校 |
| 青森県 | 青森市立橋本小学校 |
| 岩手県 | 花巻市立太田小学校 |
| 宮城県 | 河南町立和淵小学校 |
| 秋田県 | 十文字町立睦合小学校 |
| 山形県 | 寒河江市立西根小学校 |
| 福島県 | 福島市立福島第三小学校 |
| 茨城県 | 水戸市立新荘小学校 |
| 栃木県 | 鹿沼市立菊沢東小学校 |
| 群馬県 | 高崎市立東部小学校 |
| 埼玉県 | 皆野町立金沢小学校 |
| 千葉県 | 市川市立宮久保小学校 |
| 東京都 | 文京区立柳町小学校 |
| 東京都 | 世田谷区立桜小学校 |
| 東京都 | 港区立芝浦小学校 |
| 東京都 | 町田市立小山田小学校 |
| 神奈川県 | 小田原市立片浦小学校 |
| 神奈川県 | 横浜市立すすき野小学校 |
| 神奈川県 | 川崎市立下平間小学校 |
| 新潟県 | 新潟市立南万代小学校 |
| 富山県 | 黒部市立中奥小学校 |
| 石川県 | 津幡町立能瀬小学校 |
| 福井県 | 朝日町立朝日小学校 |
| 山梨県 | 甲府市立東小学校 |
| 長野県 | 長野市立共和小学校 |
| 岐阜県 | 美濃市立花小学校 |
| 静岡県 | 御殿場市立御殿場小学校 |
| 愛知県 | 佐屋町立市江小学校 |
| 愛知県 | 名古屋市立野立小学校 |
| 三重県 | 阿児町立甲賀小学校 |
| 滋賀県 | 長浜市立長浜北小学校 |
| 京都府 | 三和町立細見小学校 |
| 京都府 | 京都市立有済小学校 |
| 大阪府 | 茨木市立水尾小学校 |
| 大阪府 | 大阪市立塚本小学校 |
| 兵庫県 | 丹南町立大山小学校 |
| 兵庫県 | 神戸市立東灘小学校 |
| 奈良県 | 下北山村立寺垣内小学校 |
| 和歌山県 | 九度山町立河根小学校 |
| 鳥取県 | 西伯町立西伯小学校 |
| 島根県 | 安来市立赤江小学校 |
| 岡山県 | 山陽町立山陽小学校 |
| 広島県 | 世羅町立大田小学校 |
| 山口県 | 下関市立養治小学校 |
| 徳島県 | 鳴門市立堀江南小学校 |
| 香川県 | 多度津町立四箇小学校 |
| 愛媛県 | 松山市立久米小学校 |
| 高知県 | 南国市立十市小学校 |
| 福岡県 | 大牟田市立不知火小学校 |
| 福岡県 | 北九州市立貴船小学校 |
| 佐賀県 | 富士町立北山小学校 |
| 長崎県 | 有川町立太田小学校 |
| 熊本県 | 松島町立今津小学校 |
| 大分県 | 臼杵市立下北小学校 |
| 宮崎県 | 宮崎市立大宮小学校 |
| 鹿児島県 | 鹿児島市立平川小学校 |
| 沖縄県 | 那覇市立泊小学校 |

### ●昭和55・56年度

| | |
|---|---|
| 北海道 | 山越郡八雲町立落部小学校 |
| 札幌市 | 市立三角山小学校 |
| 青森県 | 西津軽郡木造町立出来島小学校 |
| 岩手県 | 大船渡市立立根小学校 |
| 宮城県 | 松島町立松島第四小学校 |
| 秋田県 | 南秋田郡昭和町立豊川小学校 |
| 山形県 | 東根市立大富小学校 |
| 福島県 | 白河市立白河第三小学校 |
| 茨城県 | 土浦市立都和小学校 |
| 栃木県 | 安蘇郡田沼町立田沼小学校 |
| 群馬県 | 桐生市立広沢小学校 |
| 埼玉県 | 加須市立大桑小学校 |
| 千葉県 | 我孫子市立我孫子第三小学校 |
| 東京都 | 豊島区立目白小学校 |
| 東京都 | 北区立西ヶ原小学校 |
| 神奈川県 | 相模原市立若草小学校 |
| 川崎市 | 市立百合丘小学校 |
| 横浜市 | 市立大曽根小学校 |
| 新潟県 | 長岡市立上川西小学校 |
| 富山県 | 小矢部市立蟹谷小学校 |
| 石川県 | 能美郡辰口町立和気小学校 |

福井県　大飯郡大飯町立佐分利小学校
山梨県　中巨摩郡櫛形町立豊小学校
長野県　木曽郡大桑村立野尻小学校
岐阜県　各務原市立鵜沼第一小学校
静岡県　周智郡春野町立北小学校
愛知県　幡豆郡一色町立一色南部小学校
名古屋市　市立八事小学校
三重県　度会郡玉城町立外城田小学校
滋賀県　守山市立吉身小学校
京都府　舞鶴市立岡田下小学校
京都市　市立稚松小学校
大阪府　東大阪市立鴻池東小学校
大阪市　市立放出小学校
兵庫県　朝来郡生野町立奥銀谷小学校
神戸市　市立星和台小学校
奈良県　由辺郡山添村立春日小学校
和歌山県　有田郡金屋町立鳥屋城小学校
鳥取県　東伯郡関金町立山守小学校
島根県　出雲市立大津小学校
岡山県　真庭郡勝山町立富原小学校
広島県　安芸郡江田島町立秋月小学校
山口県　大津郡三隅町立明倫小学校
徳島県　阿南市立橘小学校
香川県　小豆郡内海町立苗羽小学校
愛媛県　越智郡朝倉村立下朝小学校
高知県　高岡郡窪川町立興津小学校
福岡県　八女郡星野村立椋谷小学校
福岡県　三潴郡大木町立大莞小学校
福岡県　大牟田市立諏訪小学校
佐賀県　鹿島市立北鹿島小学校
長崎県　西彼杵郡三和町立川原小学校
熊本県　鹿本郡植木町立桜井小学校
大分県　日田市立北小野小学校
宮崎県　小林市立小林小学校
鹿児島県　姶良郡霧島町立大田小学校
沖縄県　那覇市立大道小学校

## ●昭和57・58・59年度

北海道　富良野市立樹海西小学校
北海道　小平町立小平小学校
青森県　六ヶ所村立平沼小学校
岩手県　山田町立山田北小学校
宮城県　亘理町立長瀞小学校
秋田県　山本郡八森町立岩館小学校
山形県　長井市立平野小学校
福島県　喜多方市立松山小学校
茨城県　金砂郷村立郡戸小学校
栃木県　河内町立岡本西小学校
群馬県　東村立南小学校
埼玉県　浦和市立高砂小学校
千葉県　船橋市立中野木小学校
東京都　港区立赤坂小学校
東京都　調布市立深大寺小学校
神奈川県　川崎市立東大島小学校
神奈川県　横浜市立下末吉小学校
神奈川県　厚木市立戸室小学校
新潟県　新井市立矢代小学校
富山県　滑川市立西部小学校
石川県　門前町立櫛比小学校
福井県　勝山市立平泉寺小学校
山梨県　中道町立中道北小学校
長野県　坂城町立南条小学校
岐阜県　河合村立養基小学校
静岡県　焼津市立黒石小学校
愛知県　知多市立旭南小学校
愛知県　名古屋市立東丘小学校
三重県　鳥羽市立坂手小学校
滋賀県　安曇川町立安曇小学校
京都府　京都市立山階小学校
京都府　美山町立大野小学校
大阪府　大阪市立長吉小学校
大阪府　泉佐野市立大木小学校
兵庫県　赤穂市立原小学校
兵庫県　神戸市立蓮池小学校
奈良県　吉野町立国柄小学校
和歌山県　和歌山市立高松小学校
鳥取県　鳥取市面影小学校
島根県　松江市立城北小学校
岡山県　瀬崎町立瀬崎小学校
広島県　三次市立三次小学校
広島県　広島市立狩小川小学校
山口県　徳地町立八坂小学校
徳島県　徳島市立内町小学校
香川県　坂出市立瀬居小学校
愛媛県　宇和町立多田小学校
高知県　高岡郡東津野村立中央小学校
福岡県　福岡市立美野島小学校
福岡県　北九州市立青山小学校
福岡県　大野城市立大野小学校
佐賀県　神崎町立仁比山小学校
長崎県　北高来郡小長井町立遠竹小学校
熊本県　八代郡鏡町立鏡西部小学校
大分県　大野郡犬飼町立犬飼小学校
宮崎県　日向市立美々津小学校
鹿児島県　与論町立那間小学校
沖縄県　宮古郡下地町立下地小学校

## ●昭和60・61・62年度

北海道　釧路町立昆布森小学校
北海道　洞爺村立成香小学校
青森県　八戸市立長者小学校
岩手県　雫石町立西根小学校
宮城県　大郷町立味明小学校
秋田県　大雄村立田根森小学校
山形県　舟形町立舟形小学校
福島県　いわき市立四倉小学校
茨城県　八千代町立川西小学校
栃木県　都賀町立赤津小学校
群馬県　中之条町立第一小学校
埼玉県　川越市立川越西小学校
千葉県　銚子市立飯沼小学校
東京都　三鷹市立東台小学校
東京都　練馬区立旭丘小学校
神奈川県　横浜市立汲沢小学校
神奈川県　川崎市立小田小学校
神奈川県　大井町立相和小学校
新潟県　新潟市立真砂小学校
富山県　新湊市立東明小学校
石川県　志雄町立志雄小学校
福井県　池田町立池田第三小学校
山梨県　勝沼町立勝沼小学校
長野県　箕輪町立箕輪東小学校
岐阜県　富加町立富加小学校
静岡県　富士宮市立上井出小学校
愛知県　名古屋市立大磯小学校

## 資料－６　◆ むし歯予防推進指定校／歯・口の健康つくり推進指定校

愛知県　高浜市立港小学校
三重県　松坂市立機殿小学校
滋賀県　大津市立田上小学校
京都府　京都市立有隣小学校
京都府　城陽市立富野小学校
大阪府　大阪市立粉浜小学校
大阪府　東大阪市立縄手北小学校
兵庫県　猪名川町立猪名川小学校
兵庫県　神戸市立塩屋小学校
奈良県　上北山村立上北山小学校
和歌山県　海南市立日方小学校
鳥取県　米子市立成実小学校
島根県　佐田町立須佐小学校
岡山県　神郷町立高瀬小学校
広島県　福山市立有磨小学校
広島県　広島市立倉掛小学校
山口県　阿武町立奈古小学校
徳島県　神山町立神領小学校
香川県　丸亀市立城辰小学校
愛媛県　津島町立下灘小学校
高知県　土佐清水市立窪津小学校
福岡県　北九州市立鳴水小学校
福岡県　直方市立福地小学校
福岡県　福岡市立東住吉小学校
佐賀県　玄海町立有浦小学校
長崎県　小浜町立富津小学校
熊本県　三角町立郡浦小学校
大分県　大田村立田原小学校
宮崎県　都農町立都農南小学校
鹿児島県　入来町立副田小学校
沖縄県　与那城村立桃原小学校

### ●昭和63年・平成元年・２年度

北海道　札幌市立開成小学校
北海道　長万部町立国縫小学校
青森県　藤崎町立西中野目小学校
岩手県　平泉町立平泉小学校
宮城県　田尻町立沼部小学校
秋田県　河辺町立岩見三内小学校
山形県　八幡町立八幡小学校
福島県　岩瀬村立白方小学校
茨城県　美和村立隼郷小学校
栃木県　宇都宮市立富士見小学校
群馬県　明和村立明和西小学校
埼玉県　熊谷市立新堀小学校
千葉県　千葉市立横戸小学校
東京都　台東区立富士小学校
東京都　青梅市立第一小学校
神奈川県　横浜市立間門小学校
神奈川県　川崎市立宮内小学校
神奈川県　相模原市立くぬぎ台小学校
新潟県　小千谷市立片貝小学校
富山県　黒部市立生地小学校
石川県　金沢市立額小学校
福井県　福井市立東藤島小学校
山梨県　増穂町立増穂小学校
長野県　岡谷市立岡谷小学校
岐阜県　高山市立三枝小学校
静岡県　天竜市立光明小学校
愛知県　名古屋市立名北小学校
愛知県　祖父江町立丸甲小学校
三重県　久居市立桃園小学校
滋賀県　水口町立水口小学校
京都府　京都市立山王小学校
京都府　亀岡市立吉川小学校
大阪府　大阪市立今福小学校
大阪府　高石市立高陽小学校
兵庫県　神戸市立鴨越小学校
兵庫県　高砂市立曽根小学校
奈良県　東吉野村立四郷小学校
和歌山県　龍神村立福井小学校
鳥取県　倉吉市立上小鴨小学校
島根県　浜田市立原井小学校
岡山県　岡山市立御休小学校
広島県　大朝町立筏津小学校
広島県　向原町立向原小学校
山口県　大島町立屋代小学校
徳島県　阿南市立椿小学校
香川県　綾南町立昭和小学校
愛媛県　新居浜市立惣開小学校
高知県　馬路村立馬路小学校
福岡県　福岡市立赤坂小学校
福岡県　北九州市立鴨生田小学校
福岡県　岡垣町立戸切小学校
佐賀県　川副町立大詫間小学校
長崎県　峰町立佐賀小学校
熊本県　沼水町立泗水西小学校
大分県　湯布院町立湯平小学校
宮崎県　北郷町立黒荷田小学校
鹿児島県　鹿児島市立松原小学校
沖縄県　那覇市立神原小学校

### ●平成３・４年度

北海道　札幌市立二条小学校
北海道　札幌市立栄町小学校
青森県　大畑町立二枚橋小学校
岩手県　軽米町立小軽米小学校
宮城県　中田町立桜場小学校
秋田県　鹿角市立草木小学校
山形県　白鷹町立十王小学校
福島県　福島市立笹谷小学校
茨城県　鹿島町立豊郷小学校
栃木県　田沼町立戸奈良小学校
群馬県　境町立境小学校
埼玉県　皆野町立国神小学校
千葉県　千倉町立朝夷小学校
東京都　江戸川区立南小岩小学校
東京都　立川市立第七小学校
神奈川県　横浜市立宮谷小学校
神奈川県　川崎市立東門前小学校
神奈川県　厚木市立相川小学校
新潟県　板倉町立豊原小学校
富山県　砺波市立砺波北部小学校
石川県　小松市立苗代小学校
福井県　松岡町立御陵小学校
山梨県　山中湖村立東小学校
長野県　長野市立鍋屋田小学校
岐阜県　坂下町立坂下小学校
静岡県　小笠町立小笠南小学校
愛知県　名古屋市立葵小学校
愛知県　田原町立田原南部小学校
三重県　名張市立桔梗が丘東小学校
滋賀県　八日市市立布引小学校

京都府　京都市立伏見板橋小学校
京都府　宇治田原町立田原小学校
大阪府　大阪市立豊崎本庄小学校
大阪府　河内長野市立高向小学校
兵庫県　神戸市立西山小学校
兵庫県　南淡町立賀集小学校
奈良県　奈良市立鼓阪小学校
和歌山県　田辺市立上秋津小学校
鳥取県　気高町立浜村小学校
島根県　益田市立吉田南小学校
岡山県　井原市立青野小学校
広島県　広島市立似島小学校
広島県　廿日市市立宮園小学校
山口県　秋芳町立下郷小学校
徳島県　池田町立白地小学校
香川県　牟礼町立牟礼小学校
愛媛県　松山市立久枝小学校
高知県　大豊町立東豊永小学校
福岡県　北九州市立天神小学校
福岡県　福岡市立室見小学校
福岡県　豊前市立大村小学校
佐賀県　有明町立有明西小学校
長崎県　松浦市立今福小学校
熊本県　八代市立宮地東小学校
大分県　蒲江町立上入津小学校
宮崎県　野尻町立栗須小学校
鹿児島県　知覧町立霜出小学校
沖縄県　上野村立上野小学校

## ●平成５・６年度

北海道　大成町立平田内小学校
北海道　浜中町立茶内第一小学校
青森県　青森市立筒井南小学校
岩手県　宮古市立津軽石小学校
宮城県　気仙沼市立階上小学校
秋田県　千畑町立千畑南小学校
山形県　鶴岡市立栄小学校
福島県　鹿島町立鹿島小学校
茨城県　八郷町立東成井小学校
栃木県　塩原町立関谷小学校
群馬県　藤岡市立藤岡第一小学校
埼玉県　春日部市立八木崎小学校
千葉県　柏市立旭小学校
東京都　品川区立八潮南小学校
東京都　武蔵野市立第五小学校
神奈川県　横浜市立日野小学校
神奈川県　川崎市立千代ケ丘小学校
神奈川県　横須賀市立汐入小学校
新潟県　京ヶ瀬村立京ヶ瀬小学校
富山県　上市町立宮川小学校
石川県　輪島市立三井小学校
福井県　敦賀市立黒河小学校
山梨県　明野村立明野小学校
長野県　大町市立大町東小学校
岐阜県　美濃市立長瀬小学校
静岡県　天城湯ヶ島町立狩野小学校
愛知県　阿久比町立英比小学校
愛知県　名古屋市立大宝小学校
三重県　美里村立辰水小学校
滋賀県　彦根市立稲枝東小学校
京都府　夜久野町立精華小学校
京都府　京都市立百々小学校
大阪府　大阪市立新庄小学校
大阪府　寝屋川市立池田第二小学校
兵庫県　神戸市立多聞南小学校
兵庫県　氷上町立北小学校
奈良県　橿原市立耳成西小学校
和歌山県　本宮町立三里小学校
鳥取県　溝口町立溝口小学校
島根県　木次町立斐伊小学校
岡山県　中央町立打穴小学校
広島県　音戸町立早瀬小学校
広島県　東広島市立小谷小学校
山口県　豊北町立粟野小学校
徳島県　徳島市立一宮小学校
香川県　高松市立太田南小学校
愛媛県　今治市立桜井小学校
高知県　宿毛市立平田小学校
福岡県　北九州市立祝町小学校
福岡県　福岡市立八田小学校
福岡県　黒木町立黒木小学校
佐賀県　塩田町立久間小学校
長崎県　上五島町立浜ノ浦小学校
熊本県　矢部町立御岳小学校
大分県　国見町立竹田津小学校
宮崎県　高城町立石山小学校
鹿児島県　伊集院町立伊集院北小学校
沖縄県　石垣市立平久保小学校

## ●平成７・８年度

北海道　札幌市立西岡北小学校
北海道　本別町立勇足小学校
青森県　小泊村立小泊小学校
岩手県　北上市立鬼柳小学校
秋田県　男鹿市立北磯小学校
山形県　戸沢村立角川小学校
福島県　田島町立荒海小学校
茨城県　日立市立水木小学校
栃木県　粟野町立清洲第二小学校
群馬県　尾島町立世良田小学校
埼玉県　川口市立青木中央小学校
千葉県　成田市立本城小学校
東京都　新宿区立愛日小学校
東京都　中央区立常盤小学校
神奈川県　平塚市立なでしこ小学校
神奈川県　横浜市立神大寺小学校
神奈川県　川崎市西御幸小学校
新潟県　三島町立脇野小学校
富山県　高岡市立牧野小学校
石川県　中島町立熊木小学校
福井県　坂井町立大関小学校
山梨県　市川大門町立市川南小学校
長野県　茅野市立湖東小学校
岐阜県　岐阜市立三輪北小学校
静岡県　静岡市立宮竹小学校
愛知県　藤岡町立御作小学校
愛知県　名古屋市立長須賀小学校
三重県　上野市立花之木小学校
滋賀県　びわ町立びわ北小学校
京都府　長岡京市立長岡第三小学校
京都府　京都市立朱雀第一小学校
大阪府　豊中市立南丘小学校
大阪府　大阪市立梅南小学校

資料－６　◆ むし歯予防推進指定校／歯・口の健康つくり推進指定校

兵庫県　川西市立陽明小学校
奈良県　十津川村立上野地小学校
和歌山県　和歌山市立野崎西小学校
鳥取県　郡家町立郡家東小学校
島根県　多伎町立岐久小学校
岡山県　新見市立下熊谷小学校
広島県　甲山町立中央小学校
広島県　広島市立亀山南小学校
山口県　光市立周防小学校
徳島県　勝浦町立横瀬小学校
香川県　溝濃町立高篠小学校
愛媛県　城川町立魚成小学校
高知県　須崎市立安和小学校
福岡県　福岡市立東住吉小学校
福岡県　北九州市立鞘ヶ谷小学校
福岡県　添田町立真木小学校
佐賀県　青振村立青振小学校
長崎県　福島町立福島小学校
熊本県　高森町立高森小学校
大分県　上津江村立上津江小学校
宮崎県　都農町立都農小学校
鹿児島県　鹿屋市立古江小学校
沖縄県　中城村立中城小学校

## 歯・口の健康つくり推進指定校

### ●平成９・10年度

青森県　十和田市立下切田小学校
岩手県　種市町立角浜小学校
宮城県　米山町立善王寺小学校
秋田県　小坂町立七滝小学校
山形県　尾花沢市立明徳小学校
福島県　鮫川村立鮫川小学校
茨城県　結城市立江川北小学校
栃木県　矢板市立安沢小学校
群馬県　子持村立上白井小学校
埼玉県　鳩山町立松栄小学校
千葉県　千葉市立泉谷小学校
東京都　足立区立花畑西小学校
東京都　文京区立指ケ谷小学校
神奈川県　横浜市立もえぎ野小学校
神奈川県　川崎市立栗木台小学校
神奈川県　相模湖町立桂北小学校
新潟県　能生町立能生小学校
富山県　富山市立桜谷小学校
石川県　金沢市立千坂小学校
福井県　清水町清水西小学校
山梨県　大月市立強瀬小学校
長野県　青木村立青木小学校
岐阜県　御嵩町立伏見小学校
静岡県　三ケ日町立大崎小学校
愛知県　岩倉市立五条川小学校
愛知県　名古屋市立千石小学校
三重県　員弁町立東小学校
滋賀県　野洲町立三上小学校
京都府　綾部市立物部小学校
京都府　京都市立修学院第二小学校
大阪府　吹田市立北山田小学校
大阪府　大阪市立九条東小学校
兵庫県　神戸市立高丸小学校
奈良県　山添村立豊央小学校
和歌山県　打田町立田中小学校
鳥取県　境港市立渡小学校
島根県　江津市立川波小学校
岡山県　吉井町立仁美小学校
広島県　上下町立矢野小学校
広島県　福山市立日吉台小学校
山口県　田万川町立多磨小学校
徳島県　三好町立昼間小学校
香川県　津田町立鶴羽小学校
愛媛県　丹原町立中川小学校
高知県　安芸市立川北小学校
福岡県　北九州市立大里南小学校
福岡県　福岡市立春吉小学校
福岡県　久山町立久原小学校
佐賀県　玄海町立牟形小学校
長崎県　千々石町立第二小学校
熊本県　水俣市立深川小学校
大分県　津久見市立千怒小学校
宮崎県　日之影町立高巣野小学校
鹿児島県　龍郷町立龍郷小学校
沖縄県　那覇市立真地小学校

### ●平成11・12年度

青森県　八戸市立轟木小学校
岩手県　花巻市立太田小学校
宮城県　村田町立村田第二小学校
秋田県　大森町立白山小学校
山形県　川西町立吉島小学校
福島県　熱塩加納村立熱塩小学校
茨城県　水戸市立飯富小学校
栃木県　茂木町立茂木東小学校
群馬県　草津町立草津小学校
埼玉県　羽生市立岩瀬小学校
千葉県　八千代市立八千代台東小学校
東京都　狛江市立狛江第八小学校
東京都　葛飾区立清和小学校
神奈川県　横浜市立今宿小学校
神奈川県　厚木市立厚木第二小学校
富山県　宇奈月町立宇奈月小学校
石川県　門前町立松風台小学校
福井県　鯖江市立惜陰小学校
山梨県　一宮町立一宮北小学校
長野県　飯山市立飯山小学校
岐阜県　上石津町立時小学校
静岡県　河津町立西小学校
愛知県　下山村立田平小学校
愛知県　名古屋市立桶狭間小学校
三重県　芸濃町立明小学校
滋賀県　能登川町立能登川西小学校
京都府　京都市立嵯峨小学校
京都府　野田川町立三河内小学校
大阪府　泉南市立樽井小学校
大阪府　大阪市立古市小学校
兵庫県　神戸市立高倉台小学校
兵庫県　篠山市立城北小学校
和歌山県　日置川町立日置小学校

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 鳥取県 | 赤碕町立以西小学校 | 香川県 | 大野原町立紀伊小学校 | 長崎県 | 芦辺町立芦辺小学校 |
| 島根県 | 益田市立西益田小学校 | 愛媛県 | 御荘町立平城小学校 | 熊本県 | 熊本市立川口小学校 |
| 岡山県 | 真備町立箭田小学校 | 高知県 | 佐賀町立伊与喜小学校 | 大分県 | 野津町立野津小学校 |
| 広島県 | 吉田町立丹比西小学校 | 福岡県 | 福岡市立大名小学校 | 宮崎県 | 北川町立北川小学校 |
| 広島県 | 広島市立牛田小学校 | 福岡県 | 北九州市立山の口小学校 | 鹿児島県 | 大隅町立大隅南小学校 |
| 山口県 | 橘町立安下庄小学校 | 福岡県 | 小石原村立小石原小学校 | 沖縄県 | 竹富町立古見小学校 |
| 徳島県 | 川島町立学島小学校 | 佐賀県 | 牛津町立砥川小学校 | | |

## ●平成13・14年度

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 札幌市立定山渓小学校 | 福井県 | 勝山市立三室小学校 | 岡山県 | 北房町立水田小学校 |
| 青森県 | 弘前市立小友小学校 | 山梨県 | 甲府市立伊勢小学校 | 広島県 | 大竹市立木野小学校 |
| 岩手県 | 陸前高田市立長部小学校 | 長野県 | 駒ケ根市立赤穂南小学校 | 広島県 | 倉橋町立東小学校 |
| 宮城県 | 丸森町立大内小学校 | 岐阜県 | 下呂町立中原小学校 | 山口県 | 小野田市立有帆小学校 |
| 秋田県 | 秋田市立豊岩小学校 | 静岡県 | 静岡市立北沼上小学校 | 徳島県 | 那賀川町立今津小学校 |
| 山形県 | 最上町立向町小学校 | 愛知県 | 名古屋市立自由ヶ丘小学校 | 香川県 | 綾上町立羽床上小学校 |
| 福島県 | 楢葉町立楢葉南小学校 | 愛知県 | 西春町立西春小学校 | 愛媛県 | 久万町立明神小学校 |
| 茨城県 | 麻生町立大和第三小学校 | 三重県 | 名張市立錦生小学校 | 高知県 | 高知県立山田養護学校 |
| 栃木県 | 宇都宮市立清原東小学校 | 滋賀県 | 今津町立今津東小学校 | 福岡県 | 福岡市立赤坂小学校 |
| 群馬県 | 新治村立新巻小学校 | 京都府 | 京都市立藤城小学校 | 福岡県 | 北九州市立吉田小学校 |
| 埼玉県 | 越生町立越生小学校 | 京都府 | 木津町立相楽小学校 | 福岡県 | 大平村立西友枝小学校 |
| 千葉県 | 佐原市立竜成小学校 | 大阪府 | 大阪市立十三小学校 | 佐賀県 | 大町町立大町小学校 |
| 東京都 | 江東区立南陽小学校 | 大阪府 | 八尾市立南山本小学校 | 長崎県 | 若松町立若松小学校 |
| 東京都 | 日野市立平山台小学校 | 兵庫県 | 神戸市立藤原台小学校 | 熊本県 | 菊水町立菊水中央小学校 |
| 神奈川県 | 横浜市立日野南小学校 | 兵庫県 | 高砂市立伊保小学校 | 大分県 | 別府市立上人小学校 |
| 神奈川県 | 中井町立中村小学校 | 奈良県 | 御所市立名柄小学校 | 宮崎県 | 清武町立大久保小学校 |
| 新潟県 | 和島村立桐島小学校 | 和歌山県 | 南部町立岩代小学校 | 鹿児島県 | 東町立伊唐小学校 |
| 富山県 | 氷見市立明和小学校 | 鳥取県 | 鹿野町立鹿野小学校 | 沖縄県 | 北大東村立北大東小学校 |
| 石川県 | 小松市立向本折小学校 | 島根県 | 斐川町立出東小学校 | | |

### ◆むし歯予防推進指定校について◆

小学校の大部分の児童がむし歯を保有していることにかんがみて，学校における歯の保健指導を通じて，児童のむし歯を予防するための具体的な方法について実践的に研究し，今後の予防活動の充実を図る目的で，昭和53年から原則として各都道府県１校を指定し「むし歯予防推進指定校」として行われるようになった。

当初，指定期間は２年間であったが，周知のための期間が必要ということで昭和57年度から３年間となり，平成３年からは元の２年間に戻り，平成８年度まで第８次が指定された。

その途中，高学年の歯肉炎の増加を受けて，目的に「歯・口の健康」という「口」が加えられ，健康志向の世相も受けて「健康の保持・増進」の言葉が使われるようになった。

そして，平成９年度からは名称も改めて「歯・口の健康つくり推進指定校」となった。

資料- 7

# 日本学校保健会センター事業

## ◆財団法人日本学校保健会

財団法人日本学校保健会は，大正９年帝国学校衛生会として創立されて以来，名称・寄付行為等の変更等を経て今日に至っている。この間一貫して我が国学校保健の向上発展に寄与するために諸事業を実施してきた。特に，昭和49年度からは，各都道府県並びに政令指定都市の学校保健会が，加盟団体として参加することなり全国の関係者の総意を結集して学校保健の向上発展に努力することができるようになった。

更に，昭和48年からは文部省（現・文部科学省）から国庫補助を受け，研究・実践を目的とした学校保健センター的事業（平成８年度よりセンター事業と改称された）も開始し，日本の学校保健活動の普及促進の中核として寄与している。

戦前の学校保健は「学校衛生」の名称のように，伝染病対策とりわけ教職員の結核予防及び児童生徒のトラホーム予防・寄生虫予防についての対策が中心課題となった。戦後は，昭和22年学校体育指導要領の指導方針に「自己の健康について関心を持たせ・健康生活に関する理解を与え，これを生活化させる。」とあるように心身の管理から健康教育へと発展してきた。

特に昭和47年「児童生徒の健康増進に関する施策について」という文部大臣への答申（保健体育審議会）が出されたことは，昭和48年度からの国庫補助による学校保健センター的事業実施への強力な指針となっている。財団法人日本学校保健会の学校保健センター的事業は，普及・研究調査・健康増進事業の３部門において，各種の調査研究に取り組み，その成果を広く学校保健関係者に提供し，学校保健の充実向上に資している。

## ◆学校保健センター事業

文部大臣が，昭和43年保健体育審議会に「児童生徒の健康の保持増進に関する施策について」諮問し，それを受けて審議会は昭和47年に答申した。その答申のなかに「我が国の学校保健には数々の課題があり，それら課題の解決を図るためには国立の学校保健センターを設置すべきである」と述べている。

この答申を受けた文部省は，直ちに学校保健センターを設置することは困難であったため，㈶日本学校保健会に国立の学校保健センターが設立されたら当然そこで行われるべき事業の実施を担わせ，その事業費と

して国庫補助金を出すこととした。㈶日本学校保健会はこれを受諾して，文部省の指示によって機構を改め「学校保健センター的事業の企画運営委員会」の設置を決めて寄付行為を改訂し，文部省はこれを認可した。

こうして，㈶日本学校保健会は昭和48年度から国庫補助金を受けて学校保健センター的事業を実施することとなった。しかし，国庫補助金は文部省が予算要求して承認された国費であるため，予算要求時の文部省の説明と異なるような事業が実施されると文部省が責任を問われることとなるので，常に文部省と連携を蜜にして学校保健センター的事業を企画，運営してきた。

㈶日本学校保健会としては，児童生徒の心身の健全育成を目的として，設立以来継続して行っている「一般事業」と，昭和48年度からは国庫補助金で営む学校保健センター的事業を併せ行っている。平成８年度から名称を「学校保健センター事業」と改称した。

## ●事業内容

事業内容は，以下のとおりである。

①普及指導事業：学校保健情報の収集並びに成果の普及啓発に関する事業センター的事業の報告，成果の刊行，内外資料の収集。

②調査研究事業：当面する学校保健の重要課題をとりあげ，各課題毎に専門委員会を設け研究調査を重ね，それぞれの成果をまとめ学校現場に提供。

③委託事業（健康増進事業）：学校保健上の特定の課題について加盟団体に委託して現場実践による研究。

具体的なセンター的事業内容は，以下の通り

昭和48年度～52年度：健康相談委員会
昭和53～54年度：歯・口腔委員会
昭和55～56年度：歯の保健指導委員会
昭和57年度：歯の健康指導委員会
昭和58～平成３年度：児童生徒むし歯予防啓発推進事業 ― むし歯予防啓発推進委員会
平成４年度から現在まで：児童生徒等歯・口の健康つくり推進事業― 歯・口の健康つくり推進委員会
平成５年度～平成10年度：口腔機能発達研究委員会
平成13年度：就学時における健康診断マニュアル作成委員会

## ◆編集後記

日本学校歯科医会創立70周年の節目を迎え，平成14年度に記念誌を発行することになり，委員一同４月より精力的に委員会を重ねて参りました。

昭和57年に「日本学校歯科医会創立50周年記念誌」が発行されていますが，その中には我が国の学校歯科保健の歴史が余すことなく記載されており，豊富な内容と正確な資料に基づく記載にはただただ驚嘆するばかりでした。

委員を拝命したときには，このような立派な記念誌が出来るか，いささか不安でしたが，幸いにもこの20年間の資料は本会にほとんど保管されておりましたので前回のような資料集めの苦労はございませんでした。特に石川　實顧問から次回記念誌発行に向けて，資料収集・整理のご指示を頂いておりましたことも編集作業を容易にさせてくれました。榊原悠紀田郎顧問にも前回の発行を担当された立場からいろいろとアドバイスを頂きましたことに感謝いたします。

今回の記念誌は50周年記念誌のいわば続編ということになります。昭和57年度から平成13年度まで「20年間のあゆみ」を纏めたものです。

第一編に記載した50周年の歩みの要約は西連寺日学歯会長の講演から纏めさせて頂きましたことを記して厚くお礼申し上げます。

本誌は日本学校歯科医会の事業実績を中心に纏めてありますが，掲載資料は正確を期して各加盟団体あるいは会員の皆様に活用していただけるよう配慮したつもりです。しかし何分にも委員全員が素人集団ですので不備な点が多々あると存じますが，会員の皆様の温かいご理解を切にお願い申し上げます。

本会の歴史を紐解くと我が国の学校歯科保健の歴史そのものであり，先輩諸兄の献身的なご努力に改めて敬意を表すところです。しかもその恩恵を受けて今日の充実した学校歯科保健があることを思うと感謝とともにこの大切な財産を次の世代に橋渡しする責任の重さを感じているところです。

これからも息の長い地道な活動を通して，日本学校歯科医会の輝かしい歴史を刻んでゆきたいものです。

最後になりましたが，大変なお骨折りをおかけしました事務局，一世印刷㈱に心より感謝申し上げます。

平成15年３月吉日

日本学校歯科医会70周年記念誌編纂委員会

野溝　正志　　片野光一郎
湯浅　太郎　　中田　郁平
高木　忠雄　　丸山進一郎
相澤　　恒　　望月　兵衛



**日本学校歯科医会会誌**
**第89号**

œ { w Z ¨ ª
n § VO N L O

印　刷●平成15年３月20日
発　行●平成15年３月25日
発 行 人●西連寺 愛 憲
発 行 所●社団法人日本学校歯科医会
東京都千代田区九段北4−1−20
新歯科医師会館内
TEL.(03)3263−9330　FAX.(03)3263−9634
印 刷 所●一世印刷株式会社
東京都新宿区下落合２−６−22
TEL.(03)3952−5651